

令和7年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業

# 保育士等の意識及び業務負担軽減に 関する調査研究 報告書

令和8(2026)年3月



三菱UFJリサーチ&コンサルティング



## ■目次■

第1章 調査概要	1
I 調査目的	1
II 調査概要	1
1. 現役保育士等アンケート調査	1
2. 潜在保育士アンケート調査	1
3. 潜在保育士グループインタビュー調査	1
4. 保育施設等ヒアリング調査	2
III 調査研究の実施体制	2
IV 成果の公表方法	2
第2章 調査全体のまとめ	3
I 保育士の業務負担状況及び就業継続意向	3
II 保育補助者・保育支援者の活用状況及び業務負担軽減効果	5
III 保育 ICT の活用及び業務負担軽減効果	7
IV 潜在保育士の復職に向けて求められる取組について	9
第3章 現役保育士等アンケート調査結果	13
I 調査の概要	13
1. 調査目的	13
2. 調査対象	13
3. 調査実施方法	13
4. 調査実施時期	13
5. 回収結果	14
6. 調査内容	14
7. 留意事項	14
II 基本集計結果	15
1. 回答者属性について	15
2. 勤務している施設について	26
3. 勤務施設における働き方について	82
4. 業務負担感	96
5. 保育 ICT の活用状況について	108
6. 業務負担軽減に向けた取組及び効果について	139
7. 仕事や生活の満足度等について	161
8. 就業継続意向・キャリア展望について	179
III ICT 等の導入率・活用率、導入・活用による業務負担軽減効果の分析	193
1. 【施設票】パソコン・タブレット端末・業務用スマートフォンの整備率	193
2. 【施設票】インターネット環境の整備率	194
3. 【施設票】午睡センサーの導入・活用率	196

4. 【施設票】保育 ICT の導入・活用率 .....	198
5. 【施設票・保育士票】保育 ICT の導入・活用状況別にみた業務負担感.....	199
6. 【施設票・保育士票】保育 ICT の導入・活用状況別にみた業務負担軽減状況....	210
7. 【施設票・保育士票】保育 ICT の導入・活用状況や勤務状況別にみた今後の ICT 導入 意向 .....	218
第4章 潜在保育士アンケート調査結果 .....	225
I 調査の概要 .....	225
1. 調査目的 .....	225
2. 調査対象 .....	225
3. 調査実施方法 .....	225
4. 調査実施時期 .....	225
5. 回収結果 .....	225
6. 調査内容 .....	226
7. 留意事項 .....	226
II 基本集計結果 .....	227
1. 回答者属性 .....	227
2. 現在の就業状況 .....	233
3. 保育士として働いた経験や過去に勤務した施設について .....	237
4. 離職・働いていない理由や退職した施設の労働環境について.....	247
5. 今後保育士として働く際に求める条件等について .....	258
6. 今後保育士として働く際に求める支援や取組について .....	273
第5章 潜在保育士グループインタビュー調査結果 .....	279
I 調査の概要 .....	279
1. 調査目的 .....	279
2. 調査対象 .....	279
3. 調査対象の選定の視点及び選定方法 .....	279
4. 調査実施方法 .....	279
5. 調査実施時期 .....	279
6. 調査内容 .....	280
II グループインタビュー調査結果 .....	281
1. グループインタビューのまとめ .....	281
2. 各グループのインタビュー結果 .....	284
第6章 保育施設等ヒアリング調査結果 .....	309
I 調査の概要 .....	309
1. 調査目的 .....	309
2. 調査対象 .....	309
3. 調査対象の選定の視点及び選定方法 .....	309

4. 調査実施方法 .....	310
5. 調査実施時期 .....	310
6. 調査内容 .....	310
7. 調査対象一覧 .....	311
II ヒアリング調査結果（保育施設等向け調査結果） .....	312
1. 保育士の業務負担状況 .....	312
2. 保育補助者の活用 .....	316
3. 保育 ICT の活用 .....	320
4. 保育補助者や保育 ICT の活用以外の業務負担軽減の取組状況及び効果について..	324
資 料 編 .....	327
・参考資料1：調査票	
・参考資料2：統計表（現役保育士等アンケート調査）	
・参考資料3：統計表（潜在保育士アンケート調査）	



# 第1章 調査概要

## I 調査目的

保育士の有効求人倍率は全職種平均と比べても高い水準となっており、配置基準の改善や「こども誰でも通園制度」の制度化に伴い、保育士確保は喫緊の課題となっている。

このため保育士確保に向けては、働きやすい職場環境づくり、新規資格取得と就労の促進、離職者の再就職・職場復帰の促進、保育の現場・職業の魅力発信の取組等、総合的に推進してきたところであるが、保育士の登録者数と保育現場での就労者数との差は拡大しつつある。また、保育士を目指し養成施設を修了しても保育所等に就職する者の割合は84.2%であり、保育士になったのちに離職し、再就職しない者も一定数いる。

このような状況下において、保育所等の現場で就業する保育士を増加させるため、保育士資格を持っている者の意識を把握し、対策につなげる必要がある。

また、保育士の業務は、こどもの健やかな成長を支えるとても重要な職業である一方、行事の準備や書類作成、保護者への連絡等、長時間労働につながるイメージもあることから、保育業務の負担に対する課題を改善させる必要がある。

こうしたことから、本調査では保育士確保に対する課題を明らかにし、保育士の業務改善・負担軽減に向けて、保育士の役割がより理解され、働きやすい環境を整備し、離職防止、ひいては潜在保育士の復職促進に資する実効性のある施策につなげることを目的として、現役保育士・潜在保育士等を対象に意識・実態調査を行う。

## II 調査概要

### 1. 現役保育士等アンケート調査

現役保育士等について、職務満足度、今後の就業意向、キャリアパスへの意識等を把握することで、実態に即した支援策や情報提供を検討する。また、保育士等の日常業務における時間配分、精神的・肉体的負担の大きい業務、保育補助者・保育支援者の活用状況、ICT ツールの活用状況等を把握し、業務効率化や負担軽減に向けた検討に資する基礎的なデータを把握する。

調査概要の詳細については、13 ページ参照のこと。

### 2. 潜在保育士アンケート調査

潜在保育士について、保育士として働いていた場合の勤務状況及び離職理由、復職に対する現在の意向と障壁、復職に際して必要と考えるサポートや情報提供等を把握することで、実態に即した支援策や情報提供を検討する。

調査概要の詳細については、225 ページ参照のこと。

### 3. 潜在保育士グループインタビュー調査

潜在保育士へのアンケート結果を踏まえ、保育士として働いていた経験のある回答者に対し、勤務状況及び離職理由、復職に対する現在の意向と障壁、復職に際して必要と考えるサポートや情報提供等、特定のテーマについて深掘するため、グループインタビューを通じてより多角的な視点や具体的なニーズを把握する。

調査概要の詳細については、279 ページ参照のこと。

#### 4. 保育施設等ヒアリング調査

保育士確保に係る現場の課題を把握するとともに、保育士の業務改善・負担軽減に向けた職場環境の整備、保育士の離職防止、保育士資格保有者の復職促進等のための施策について検討することを目的として、保育施設等向けヒアリング調査を実施する。

調査概要の詳細については、309 ページ参照のこと。

### III 調査研究の実施体制

氏名	所属等（令和8（2026）年3月時点）
尾島 有美	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 社会政策部 上席主任研究員
野田 鈴子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 社会政策部 主任研究員
赤土 大介	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 社会政策部 主任研究員
鈴木 陽子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 社会政策部 主任研究員
栞田 恵	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 研究開発第2部（大阪） 副主任研究員
北川 康太	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 社会政策部 研究員
依田 公華	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 社会政策部 研究員

### IV 成果の公表方法

本事業の成果をとりまとめた本報告書は、三菱 UFJ リサーチ&コンサルティングのウェブサイトにて公開する。

## 第2章 調査全体のまとめ

本調査研究のテーマである、「保育士の業務負担状況及び就業継続意向」、「保育補助者・保育支援者の活用状況及び業務負担軽減効果」、「保育 ICT の活用及び業務負担軽減効果」、「潜在保育士の復職に向けて求められる取組」について、各調査（現役保育士等アンケート調査、潜在保育士アンケート調査、潜在保育士グループインタビュー調査、保育施設等ヒアリング調査）を踏まえたまとめは、以下のとおりである。

なお、現役保育士等アンケート調査は現在保育所等で働いている保育士等が対象であるのに対して、潜在保育士アンケート調査、潜在保育士等グループインタビュー調査は、現在は保育士として働いていない方が対象となっている。特に潜在保育士グループインタビュー調査は、過去に保育士として勤務した経験があるもののその後離職し、現在は保育士として就業していない方（保育離職者）のみを対象としており、各調査によって対象層が異なっている点に留意されたい。

### I 保育士の業務負担状況及び就業継続意向

#### ■勤務時間、休憩、休暇の取得状況

現役保育士等アンケート（保育士票）より保育士等の働き方をみると、正規職員の1日当たりの平均的な勤務時間は、「8時間を超えて10時間以下」（61.4%）、「10時間を超えて12時間以下」（4.8%）、「12時間超」（0.4%）を合わせると66.6%であった。（p84, 図表 3-58 参照）

正規職員が働いている時間帯は、「～9時（主に早朝保育の時間帯）」（81.0%）や、「18時～（主に延長保育の時間帯）」（59.5%）等、いわゆる早番、遅番の対応のため、早朝や夕方以降の勤務がある人が一定の割合いることが伺えた。（p86, 図表 3-60 参照）

休憩については、正規職員の1日当たりの休憩時間は、「45分以上」（32.8%）の割合がもっとも高いものの、30分未満（「20分以上30分未満」「10分以上20分未満」「10分未満」の合計）を合わせると34.7%を占めていた。労働基準法では、「労働時間が6時間を超え8時間以下の場合には少なくとも45分、8時間を超える場合は少なくとも1時間の休憩を与えなければならない」と定められているが、十分な休憩が取得できていないケースが多いことが伺える。（p91, 図表 3-65 参照）

休暇については、現役保育士等アンケート（施設票）において、年次有給休暇を10日以上取得した職員割合が「80%以上」（45.5%）がもっとも高いものの、「20%未満」（11.1%）、「20%以上40%未満」（9.6%）等の施設も一定みられた。（p95, 図表 3-68 参照）

潜在保育士グループインタビューでは、過去に保育士として勤務していた方から、保育士1人でみるこどもの数の多さ、残業や持ち帰り仕事の多さ、休暇の取得しづらさ等が挙げられた。いわゆる持ち帰り残業について、製作物等が終わらず、平日の帰宅後や休日に家で仕事をしなくてはいけなかったとの声が複数聞かれた。「子育て層グループ」では、持ち帰り残業により自宅でも常に仕事のことが頭から離れない状況では、子育てとの両立が難しいという声があった。また、休暇の取得しづらさについては、「休んでよい」と言える風土・慣習がなかった、体調不良で休暇を取得する場合でも平謝りしながら申請しなくてはいけなかった、休んだことに文句を言われ続けたなど、休暇を申請しづらい環境にあり、そのことが大きなストレスとなっていたことが伺えた。（p281）

施設ヒアリングでは休憩が十分取得できておらず、休憩とされている時間帯に、こどもの様子を見守りながら保育士も一緒に給食を食べていたり、こどもの午睡を見守りながらそのそばで事務作業や連絡帳に記入したりと、何らかの業務が行われているとの声が多く聞かれた。(p312, 図表 6-1 参照)

#### ■業務負担感、保育の現場で対応が難しいこと

現役保育士等アンケート（保育士票）より、1日当たりの平均的な業務時間割合を日常業務・非日常業務に分けて把握を行った。日常業務についてみると、全体では、「遊びや活動の指導・援助」（19.1%）が勤務時間全体の2割弱でもっとも高く、次いで「散歩、園外活動時の見守り、付き添い」（5.6%）「保護者対応（日常的な対応）」（5.5%）がともに5%程度を占めていた。非日常業務についてみると、全体では、「事務処理（集計事務、総務、経理、人事、物品管理・発注）」（5.8%）、「行事の準備・運営・後片付け等」（3.4%）となっている。また、業務従事時間に占める事務作業等時間の割合は24.1%、同じく保育対応にかかる時間の割合は70.1%であった。(p97, 図表 3-69, p98, 図表 3-70 参照)

一方、各業務について負担を感じる割合（保育士票、「とても感じる」「やや感じる」の合計）が高いものをみると、日常業務については、全体では、「書類作成（年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価）」（50.8%）、「書類作成（保育記録の作成）」（49.4%）、「保護者への連絡」（37.9%）、非日常業務については同じく「保護者対応（保護者への相談、家庭訪問、保護者会、保育参観等）」（42.4%）、「行事の準備・運営・後片付け等」（41.7%）、「研修（園外研修、園内研修、実習報告書の作成、実習生の指導等）」（39.7%）等が上位に挙げられた。(p101, 図表 3-72 参照)

また、保育士票より、保育の現場で対応が困難なこととして、全体では、「発達に課題のある子どもへの対応」（62.7%）、「保護者への対応」（55.9%）、「書類作業や事務作業」（29.3%）、「保育士1人でみるこどもの数の多さ」（28.7%）が上位に挙げられた。(p171, 図表 3-139 参照)

潜在保育士アンケート調査においても、保育離職者が過去に勤務した保育所等で負担感が大きかった業務として、「保護者への対応」（37.6%）、「書類作業や事務作業」（34.4%）、「保育士1人でみるこどもの多さ」（29.5%）、「発達に課題のある子どもへの対応」（24.8%）が上位に挙げられた。(p252, 図表 4-33 参照)

施設ヒアリングでは、保育の現場において業務負担が大きい業務内容として、保育にかかる計画や記録といった書類作成業務、運動会や発表会等の行事の準備等が挙げられた。保育士1人が担う業務が多く、保育 ICT を導入して効率化を図っているものの、業務負担は依然として大きいという声が聞かれた。また、業務量の多さだけでなく、配慮を必要とする子どもへの対応や保護者対応等に負担感がある様子も伺えた。近年、外国籍の子どもや保護者が増えており、コミュニケーションがうまく取れないことを課題に感じている施設もみられた。

1日の中では、朝の受け入れ、夕方のお迎えの時間帯が特に忙しいとの声が多かった。具体的には、職員が不足する時間帯でありながら、こどもの受け入れや送り出しの業務と並行して保育活動の準備や片付けを行わなければならない状況が伺えた。(p314, 図表 6-3 参照)

## ■就業継続意向、キャリア意向

現役保育士等アンケート（保育士票）より、今後の就業継続意向をみると、全体では、「今後も保育士として働き続けたい」が 80.1%、「今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい」が 17.2%であった。保育士を辞めたい人において、現在保育士として勤務している保育所等を退職したい理由は、「給与がよくないため」（25.2%）、「業務量が多く大変なため」（25.2%）、「保育士 1 人当たりの負担が大きい」（22.1%）等が上位であり、業務負担の大きさと、その負担に見合わない処遇水準が大きな要因となっていた。（p185, 図表 3-148～p186, 図表 3-149 参照）

潜在保育士アンケートにおいては、保育離職者が過去に勤務した保育所等を退職した理由として、「職場内の人間関係・ハラスメント」（19.8%）、「結婚のため」（18.7%）、「健康上の理由（体力含む）のため」（16.4%）が上位に挙げられた。（p247, 図表 4-27 参照）

また、今後のキャリア意向に関して、現役保育士等アンケート（保育士票）より、現在の職場で役職（上位の役職）に就きたいかをみると、「はい」が 17.3%、「いいえ」が 70.1%であった。上位の役職に就きたいと回答した保育士等について、その理由をみると、「自身の知識や経験で、職場に貢献したいと思ったため」（42.9%）がもっとも割合が高く、次いで「より高い収入が得られるため」（39.1%）となっていた。（p184, 図表 3-147、p190, 図表 3-151 参照）

## II 保育補助者・保育支援者<sup>1</sup>の活用状況及び業務負担軽減効果

### ■保育補助者等の活用状況

現役保育士等アンケート（施設票）より、保育補助者等の活用状況をみると、全体では、「保育補助者（保育士資格あり）」を活用している施設は 25.2%、「保育補助者（保育士資格なし）」は同 34.4%、「保育支援者」は同 15.3%であった。（p139, 図表 3-114～p141, 図表 3-116 参照）

同じく施設票において保育補助者等が担っている業務内容をみると、全体では、「保育補助者（保育士資格あり）」は「こどもの着替え」（72.8%）、「排泄の指導・援助」（71.9%）、「遊びや活動の指導・援助」（71.4%）、「散歩、園外活動時の見守り、付き添い」（70.3%）等、こどもに関わる業務が多くなっていた。同じく「保育補助者（保育士資格なし）」は、「給食の配膳・後片付け」（74.1%）、「こどもの着替え」（74.1%）、「散歩、園外活動時の見守り、付き添い」（71.5%）等、こどもに関わる業務のほか、「周辺業務（教材や遊具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等）」（73.9%）、「寝具の用意・後片付け」（73.4%）も上位に挙げられた。また、「保育支援者」は、「周辺業務（教材や遊具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等）」（61.2%）、「給食の配膳・後片付け」（58.3%）、「散歩、園外活動時の見守り、付き添い」（56.3%）等が上位に挙げられた。（p70, 図表 3-47、p74, 図表 3-50、p78, 図表 3-53 参照）

保育補助者等を活用していない施設について、その理由をみると、「保育補助者（保育士資格あり）」については「採用したいが、応募がない、もしくは応募がないことが想定されるため」が 23.5%でもっとも割合が高く、人材の採用・募集に苦労している施設が一定数みられる。一方、「保育補助者（保育士資格なし）」「保育支援者」については、「特になし」「導入の必要性を感じないため」がそれぞれ 2 割強と高くなっており、保育士資格の有無によって施設側の活用意向に差があることが伺えた。（p146, 図表 3-123～p152, 図表 3-125 参照）

<sup>1</sup> 「保育補助者」は、「保育補助者雇上強化事業」を活用して雇用されている方。「保育支援者」は、「保育体制強化事業」を活用して雇用されている方のほか、園外活動時の見守り・スポット支援員を含む。

施設ヒアリングでは、保育補助者が担う業務について、保育補助者の適性或資格に応じて業務配分を工夫しており、例えば、子育て支援員研修を修了した保育補助者には、なるべくこどもと関わる業務に配置している施設もみられた。ただし、保育補助者の活用における課題として、保育補助者に任せられる業務には限りがあるため、保育補助者がいても保育士が現場から離れられない実態があった。また、保育補助者の担当業務は多岐にわたるものの、保育活動の取りまとめ、保育にかかる計画や記録といった書類作成業務、保護者対応等の保育の中核にかかる業務は、保育士が担当するようにしている施設や、資格所有者のみを雇用する方針を取っており、保育補助者を配置しない施設もあった。(p316, 図表 6-4 参照)

#### ■保育補助者等の活用による業務負担軽減効果

現役保育士等アンケート（施設票）より、保育補助者等の活用によって業務負担軽減の効果があつたと回答した割合（「そう思う」「ややそう思う」の合計）をみると、全体では、「保育補助者（保育士資格あり）」(86.5%)、「保育補助者（保育士資格なし）」(87.0%)、「保育支援者」(89.3%)と、いずれも9割近くにのぼっていた。(p142, 図表 3-117, p143, 図表 3-119, p144, 図表 3-121 参照)

施設ヒアリングでは、多くの施設において、保育補助者の活用によって保育士の業務量が減少し、保育士が休憩や休暇を取得できるようになったほか、保育士のこどもと関わる時間が増えるなどの効果がみられた。また、配慮を必要とするこどもや集団から外れてしまうこどもへの個別対応を保育補助者が担うことで、保育士が安心してクラスの保育活動を進められるという意見もあつた。(p317, 図表 6-5 参照)

#### ■保育補助者等の今後の活用意向

現役保育士等アンケート（施設票）より、保育補助者等の今後の活用をみると、全体では、「現在活用していないが、今後活用したい」と回答した割合は、「保育補助者（保育士資格あり）」(24.2%)、「保育補助者（保育士資格なし）」(14.1%)、「保育支援者」(18.2%)であつた。(p139, 図表 3-114~p141, 図表 3-116 参照)

同じく施設票において保育補助者等を活用したい時間帯は、全体では、「～9時（主に早朝保育の時間帯）」(54.9%)、「18時～（主に延長保育の時間帯）」(49.9%)、「16時～18時」(44.8%)の順となっており、早朝や夕方以降における活用ニーズが高くなっていた。(p154, 図表 3-126 参照)

保育補助者等に担ってほしい業務内容は、全体では、「周辺業務（教材や遊具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等）」(28.7%)、「散歩、園外活動時の見守り、付き添い」(28.4%)、「給食の配膳・後片付け」(25.0%)、「寝かしつけ、午睡中の付き添い」(20.6%)等が上位に挙げられた。(p157, 図表 3-128 参照)

施設ヒアリングでは、今後の保育補助者の活用について、現場の保育士からも増員を求める声が多く、こどもと関わる業務に加え、行事・製作物の準備や施設の衛生管理、力仕事のサポート等を任せたいという意見が聞かれた。保育士がこどもと向き合う時間やノンコンタクトタイムを増やすためにも、保育補助者のサポートに期待が寄せられている。一方で、前述の保育補助者の活用における課題に加え、最低賃金が年々上昇していることから、保育補助者を雇用できる時間が短くなっている点も課題として挙げられた。(p318, 図表 6-6~p319, 図表 6-7 参照)

### III 保育 ICT の活用及び業務負担軽減効果

#### ■保育 ICT 等の活用状況

現役保育士等アンケート調査（施設票）より、保育 ICT の導入率をみると、全体では、4 機能<sup>2</sup>のいずれかを導入している割合は 84.6%、4 機能の全てを導入している割合は 13.4%であった。個別の機能別に導入率が高いものを挙げると、「園児の登園及び降園の管理に関する機能」（77.3%）、「保護者との連絡機能」（75.6%）、「保育に係る計画・記録に関する機能」（57.0%）、「職員の出退勤に関する機能」（51.5%）等となっており、保育 ICT 補助金の対象となっている機能がおおむね上位となっていた。（p116, 図表 3-85、p198, 図表 3-158 参照）

また、施設票において IoT デバイスの導入率をみると、全体では、「園内カメラ（ICT と連動していないもの）」（19.1%）、「午睡センサー（ICT と連動しているもの）」（9.9%）、「午睡センサー（ICT と連動していないもの）」（9.3%）となっていた。午睡センサーについて、ICT と連動しているもの、ICT と連動していないものいずれかを導入している割合は 18.7%であった。また、公営では、私営に比べて「導入している IoT デバイスはない」（公営：75.7%、私営：51.1%）とする割合が高い傾向にあり、私営に比べて IoT の導入率が低調であった。（p113, 図表 3-83 参照、p197, 図表 3-157）

続いて、保育 ICT 活用の基盤となるインターネット環境や機器の整備状況をみると、全体では、パソコン、タブレット端末、業務用スマートフォンのいずれかを整備している割合（整備場所は問わない）は 99.5%と、ほぼ全施設となっていた。また、インターネット環境は無線有線いずれかを整備している割合は 92.0%、無線有線両方を整備している割合は 27.5%で、何らかの端末及びインターネット環境が整備されている施設がほとんどであった。ただし、パソコン及びインターネット環境の整備場所をみると、職員室に比べて保育室に整備している割合は低い傾向にあった。（p109, 図表 3-79、p193, 図表 3-153～p194, 図表 3-154 参照）

#### ■保育 ICT の活用による業務負担感の変化

現役保育士等アンケート調査（施設票・保育士票）より、保育 ICT の各機能（登降園機能、保育計画・記録機能、保護者連絡機能、キャッシュレス決済機能）の導入有無別に、関連する業務の負担感（「とても感じる」もしくは「やや感じる」と回答した割合）についてみると、施設票・保育士票いずれにおいても、保育 ICT の導入有無別では大きな差はみられなかった。（p199, 図表 3-159～p203, 図表 3-164 参照）

一方、施設票・保育士票において、各機能を導入している施設のなかで、保育 ICT の導入が進んでいるかどうか別に関連する業務の負担感についてみると、おおむね「そう思う（保育 ICT の導入が進んでいると思う）」と回答したほうが他に比べて、登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し、書類作成（年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価）、書類作成（保育記録の作成）、保護者対応（日常的な対応）、保護者への連絡（連絡帳記入、お知らせ作成等）、実費徴収費用の集金の負担感が小さい傾向がみられた。（p204, 図表 3-165～p209, 図表 3-170

<sup>2</sup> 4 機能とは、「園児の登園及び降園の管理に関する機能」「保育に係る計画・記録に関する機能（ドキュメンテーションを除く）」「保護者との連絡に関する機能（ICT を介さない個別メールを除く）」「キャッシュレス決済に関する機能（保護者が直接銀行に申込み口座振替を除く）」を指す。以下同様。

参照)

単に、保育 ICT を導入しているかではなく、実際に ICT 導入が進んでいると感じられるかどうか、施設全体や保育士の業務負担感に違いをもたらすことが伺えた。

#### ■保育 ICT の活用による業務負担軽減効果

現役保育士等アンケート調査（施設票・保育士票）より、保育 ICT の活用による業務負担軽減効果（「軽減された」もしくは「やや軽減された」と回答した割合）をみると、施設票では 66.9%、保育士票では 50.2%となっていた。施設票について、4 機能の導入状況別にみると、「4 機能の全てを導入」しているほうが、そうでない施設に比べて、負担が「軽減された」とする割合が高い傾向がみられた（施設票／4 機能の全てを導入：31.6%、上記以外：17.8%）。（p133, 図表 3-109、p212, 図表 3-172 参照）

保育士票でも、施設票と同様の傾向がみられたほか、1 日当たりの休憩時間について、「4 機能の全てを導入」において「45 分以上」の割合が高く、勤務時間中の休憩を取得できている傾向がみられた（4 機能の全てを導入：38.8%、上記以外：31.1%）。（p217, 図表 3-175 参照）

さらに施設票・保育士票において、4 機能いずれかの導入状況別に業務負担軽減効果をみると、「4 機能のいずれかを導入」しているほうが、そうでない場合に比べて、負担が「軽減された」とする割合が高い傾向がみられた（施設票／4 機能のいずれかを導入：20.5%、上記以外：8.0%）。ただし、1 日当たりの休憩時間については、4 機能いずれかの導入有無によって大きな差はみられなかった。（p212, 図表 3-172 参照、p217, 図表 3-175 参照）

施設ヒアリングでは、書類作成について、従来の手書きでの作業と比較して、転記や修正が容易になり、保育にかかる計画や記録の作成、連絡帳の記入にかかる所要時間が短縮されたほか、いつでもどこでも書類作成ができるようになったことで、すき間時間を有効に使えるようになったという声もあった。（p320, 図表 6-8 参照）

#### ■保育 ICT の今後の活用意向

現役保育士等アンケート調査（施設票）より、保育 ICT の今後の活用意向をみると、全体では、「特にない」（32.2%）がもっとも割合が高く、次いで「キャッシュレス決済に関する機能（保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込まないもの）」（26.6%）、「写真・動画を活用した保育内容の記録（ドキュメンテーション）機能」（22.3%）となっている。（p121, 図表 3-89 参照）

施設ヒアリングでは、今後の保育 ICT の導入意向について、職員のシフト作成や保育士の書類作成業務に AI を活用することで、さらなる業務負担軽減を期待する声も聞かれた。（p322, 図表 6-9 参照）

## IV 潜在保育士の復職に向けて求められる取組について

### ■潜在保育士の離職理由

潜在保育士アンケートより、保育離職者、保育未就業者の現在の就業状況をみると、保育離職者の6割弱、保育未就業者の6割強が就業中であった。具体的な仕事の内容をみると、保育離職者は「一般企業や団体（「保育やこどもに関連する企業・団体」以外の企業・団体）」（16.2%）、「幼稚園教諭」（11.7%）、「保育士・教員以外の福祉・教育関係の専門職（社会福祉士、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー）」（9.0%）等が比較的多く、こどもに関わる仕事や福祉・教育関係の仕事に就いている人も一定程度みられた。また、保育未就業者は「一般企業や団体（「保育やこどもに関連する企業・団体」以外の企業・団体）」（31.2%）がもっとも多いが、「保育士・教員以外の福祉・教育関係の専門職（社会福祉士、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー）」（9.8%）、「放課後児童支援員（補助員を含む）」（4.2%）等、保育離職者と同様、こどもに関わる仕事や福祉・教育関係の仕事に就いている人が一定程度みられた。現在の雇用形態は、「正規職員」と「有期契約職員」（フルタイムもしくはパートタイムの合計）がおおよそ半々となっていた。（p233, 図表 4-11～p235, 図表 4-13 参照）

次に、保育士として働いた経験や過去に勤務していた施設についてみると、保育離職者が過去に勤務していた施設における雇用形態は、「正規職員」（57.4%）、「有期契約職員（パートタイム）」（23.8%）、「有期契約職員（フルタイム）」（13.9%）の順となっていた。また、保育士としての通算経験年数は、「5年以上10年未満」（24.9%）、「1年以上3年未満」（19.0%）、「3年以上5年未満」（16.8%）と、比較的分散していた。（p231, 図表 4-18、p242, 図表 4-21 参照）

保育離職者が保育士として職場を選ぶ際に重視していたこととしては、「職場の人間関係」（35.7%）、「勤務地（自宅から近い等）」（33.7%）、「給与」（31.4%）の3項目が特に多くなっていた。一方、前述のとおり、保育離職者が過去に就業した保育所等を退職した理由は、「職場内の人間関係・ハラスメント」（19.8%）、「結婚のため」（18.7%）、「健康上の理由（体力含む）のため」（16.4%）が上位であり、人間関係を重視して職場を選ぶ人が多いものの、離職の原因も人間関係・ハラスメントがもっとも多いという結果となっていた。（p245, 図表 4-26～p247, 図表 4-27 参照）

潜在保育士グループインタビューでも、過去に就業した保育所等の退職理由として、職場内の人間関係・ハラスメントが複数挙げられた。例えば、職場の先輩や上司の機嫌を損ねないように気を遣って働く必要があったというケースや、職場の先輩から強い口調で注意を受けたことをきっかけに職場に居づらくなったというケース、施設管理者が職員に対してパワーハラスメントを行っていたが、私立で職員の入れ替わりがほとんどなく、自治体には相談したが改善がなく辞めてしまったというケース等がみられた。退職理由についてグループ別に特徴がみられた点としては、「子育て層グループ」では、育児との両立に関して、早番、遅番の日は自分のこどもの送り迎えが問題となり、調整の負担が大きかったとの指摘があった。また、「保育士経験3年未満グループ」では、周囲からのサポートの少なさによる不安や、処遇と役割・責任の見合わなさが挙げられた。採用時に手厚いフォローがあると聞いて入職したが、実際は周囲からのサポートがないまま保護者対応や書類作成を行わざるを得なかったことや、就職時に聞いていた条件とは異なり非正規の職員でも担任をせざるを得なかったこと等が退職理由となっていた。「保育士離職後のブランクが長期のグループ」では行事の準備や保護者対応の負担感、「働き方や職場環境を理由に離

職したグループ」では健康上の理由として、体力的な負担が大きいことやこどもの抱っこにより腰痛が悪化したことが挙げられた。(p281)

#### ■潜在保育士の復職意向、復職する場合の働き方の希望等

潜在保育士アンケート調査より、今後、保育士として働く意向について、保育離職者、保育未就業者ともに「雇用の条件が合えば働きたい」が4割前後、「自分の周りや環境が変化すれば働きたい(子育てや介護が落ち着くなど)」が2割強となっていた。具体的な復職の時期については、「わからない」が4割強でもっとも多いが、次いで「半年以内」が2割弱で、保育離職者と保育未就業者で大きな差はみられなかった。(p268, 図表 4-50~p268, 図表 4-51 参照)

保育士として働く場合の雇用形態の希望をみると、全体では、「有期契約職員(パートタイム)」(44.0%)、「正規職員」(34.3%)が高くなっていた。時間帯については、全体では、「9時~12時」(65.5%)、「12時~14時」(54.4%)等日中の希望が高い傾向にあり、「~9時(主に早朝保育の時間帯)」(12.5%)、「18時~(主に延長保育の時間帯)」(5.0%)等、早番、遅番に当たる時間帯は1割強もしくはそれ以下にとどまっていた。「時間帯の希望は特にない」は16.7%であった。曜日については、全体では、「平日」(78.3%)の希望が高く、「土曜日」(9.5%)、「日曜日」(3.2%)等、土日の希望は少なかった。「曜日の希望は特にない」は16.9%であった。(p261, 図表 4-39, p265, 図表 4-46, p267, 図表 4-48 参照)

また、「正規職員」で働きたい人について、月給の希望は「25~30万円未満」が29.4%、次いで「20~25万円未満」が28.1%であった。同じく年間賞与の希望は「80~100万円未満」が17.7%、「60~80万円未満」が16.6%であった。(p262, 図表 4-41, p263, 図表 4-43 参照)

潜在保育士グループインタビューにおいて、復職の際に重視することをみると、「子育て層グループ」では勤務時間に融通が効くこと、希望する勤務時間とのマッチングが可能なこと、早番・遅番がないこと等、働く時間・時間帯が多く挙げられた。「保育士経験3年未満グループ」では、職場の人間関係や風通しのよさ等職場風土に関するもののほか、余裕のある人員配置もしくは小規模の保育所であること等、余裕を持って働くことができる環境が多く挙げられた。「保育士離職後のブランクが長期のグループ」では、保育補助の仕事や早朝の短時間のみ働くなど、補助的な役割を担い、ワーク・ライフ・バランスを確保できる働き方が多く挙げられた。「働き方や職場環境を理由に離職したグループ」では、給与・キャリアアップ等の処遇面、職場の人間関係が多く挙げられた。(p282)

一方で、潜在保育士アンケート調査では、保育士として働く意向がない人も35.4%と約3分の1を占めていた。保育士として働く意向がない理由は、全体では、「現在の仕事を続けたいため」(35.6%)、「給与がよくないため」(24.8%)、「自分には適性がないと感じるため」(22.0%)等が上位であった。保育未就業者では、保育士として働かなかった理由として、「給与がよくないため」(28.1%)、「自分には適性がないと感じたため」(16.8%)、「別の職業を希望したため」(13.7%)等が上位となっており、保育士の処遇水準が他の業種や職種と比べて低いこと、(保育士資格はあっても)保育の仕事への適性がないと考えていることが、保育の仕事を選ばない理由として大きかった。(p255, 図表 4-35, p268, 図表 4-50, p271, 図表 4-53 参照)

潜在保育士グループインタビューでは、保育所等以外で保育士の資格を活かせる仕事を希望する方もおり、こどもの命を預かるという責任の重さや、前述したような業務負担の重さに対して、

保育士の処遇が見合っていないという声が複数あった。実際、こどもが好きで保育の仕事自体には魅力を感じても、給与水準を理由にベビーシッターを選んでいるという方もみられた。(p282)

また、適性に関しては、保育士資格を取得して入職した際、現場には対応マニュアルが一切なく、例えば連絡帳の書き方、保育計画・記録等の書類の書き方、保護者トラブルがあった際の謝罪方法等、全て「見よう見まね」で仕事を覚えていく必要があり、そうしたことがうまくできる人もいればそうでない人もいるとの声が複数挙げられた。現場でどのように対応すればよいか迷っても、保育士1人が複数のこどもを見ている中で、他の職員と相談する余裕は全くないという切実な声もあった。困り事等を他の職員に相談し、解決できる職場風土がなければ、経験年数の浅い職員は手探りの中で保育業務に当たらざるを得ないため、そのことが「自分には適性がない」と感じる要因の1つとなっていることも考えられる。(p281)

#### ■潜在保育士の再就職に当たっての障壁、復職に向けて求められる支援等

潜在保育士アンケート調査より、今後、保育士として働く意向がある人について、保育士として就職するに当たって不安なことをみると、全体では、「保育士を辞めてからのブランクが長いこと」(26.0%)、「近年の保育分野の動向を知らないこと」(25.6%)、「保育の知識やスキルがないこと」(23.0%)等が上位となっており、再就職に際してブランクの長さを埋めるため、近年の保育分野の動向や現場で活用できる知識・スキルを学ぶ機会等を設けることにより、不安感を軽減・解消する必要性が伺えた。また、保育未就業者では、保育離職者と比べて、「保護者への対応」(33.0%)、「安全確保・事故対応」(24.2%)等の割合が高い傾向にあった。(p273, 図表 4-54 参照)

保育士への就職意向を高めるため、求職者向けにあるとよい取組は、「特になし」(25.8%)がもっとも多いが、そのほか、「未経験者やブランクのある方を対象とした就職説明会」(23.9%)、「求職者のニーズに合わせて保育所等とマッチングしてくれる相談窓口」(23.1%)等が比較的多かった。(p269, 図表 4-52 参照)

また、保育士として就職するにあたり、入職前後にあるとよい支援としては、全体では、「アルバイト等で入職前に実際の職場を知る機会」(41.8%)、「クラス担任以外から担当するなど徐々に業務経験を積むことができる配置の工夫」(40.8%)、「入職前に保育の知識やスキルを学べる(学び直す)機会」(35.2%)等が上位に挙げられた。保育未就業者は、保育離職者と比べて、「入職前に保育の知識やスキルを学べる(学び直す)機会」(44.8%)、「入職後に初任者向けの研修等を受けられる機会」(29.6%)を挙げる割合が高い傾向にあった。潜在保育士の復職に向けた支援として、入職前だけに限らず、入職した後も継続的に学べる場があることも重要といえる。(p276, 図表 4-55 参照)

潜在保育士グループインタビューでも、入職前後にあるとよい支援として、各グループに共通してアルバイト等で入職前に実際の職場を知る機会の確保や、クラス担任以外から担当する等の徐々に業務経験を積むことができる配置の工夫が比較的多く挙げられた。アルバイト等で入職前に実際の職場を知る機会については、施設内の人間関係や職場の雰囲気等は実際に経験してみないとわからないため、ボランティアや低い給与でもよいので、入職前に数日間～1週間程度、職場を体験できるとよいとの声が複数あった。また、現場を知る機会に関連して、保育所等を退職した人の口コミを閲覧できるウェブサイトがあれば、施設選びの参考にできるとの意見もあった。(p282)

グループ別に特徴のみられた点としては、「保育士経験3年未満グループ」では、手厚いフォロー体制を望む声が複数みられた。多忙な保育現場でマンツーマン指導のような育成は難しいとしても、困ったときに質問したり相談したりできる先輩職員がいると安心との声が多かった。また、新入職員に関する情報共有として、過去に保育所等での勤務経験があっても、業務経験年数が短かったり離職後のブランクが長かったりすると即戦力にはならないため、受け入れる施設では採用前にあらかじめ即戦力ではないと職員に伝えておくなど、認識を揃えておいてほしいとの意見もあった。「保育士離職後のブランクが長期のグループ」では、復職に際して保育所等に希望する働き方や処遇等を自ら伝えるのはハードルが高いため、求職者と保育所等の間に入って具体的な条件の調整やマッチングをしてくれるとよいとの声が聞かれた。そのほか、他の保育所等へ転園する際、以前の勤務施設に在職証明を依頼することが負担となっていることに対し、改善を求める声がみられた。「働き方や職場環境を理由に離職したグループ」では、年代の近い職員からのフォロー体制、入職前にピアノ等の実技や ICT 機器の使い方を学べることが挙げられた。(p282)

## 第3章 現役保育士等アンケート調査結果

### I 調査の概要

#### 1. 調査目的

現役保育士等について、職務満足度、今後の就業意向、キャリアパスへの意識等を把握することで、実態に即した支援策や情報提供を検討する。また、保育士の日常業務における時間配分、精神的・肉体的負担の大きい業務、保育補助者・保育支援者の活用状況、ICT ツールの活用状況等を把握し、業務効率化や負担軽減に向けた検討に資する基礎的なデータを把握する。

#### 2. 調査対象

##### 【施設票】

全国の保育所等（認可保育所、地域型保育事業所、保育所型認定こども園、幼保連携型認定こども園）。ただし、調査時点で活動中の保育所等を対象とする。

##### 【保育士票】

全国の保育所等（認可保育所、地域型保育事業所、保育所型認定こども園、幼保連携型認定こども園）に勤務する保育士、保育教諭（保育士の業務を補助する保育補助者・保育支援者を含む）とし、看護師や栄養士、調理員、事務職員等は対象外とした。調査対象とした職種は、以下のとおりである。

保育士（主任保育士、副主任保育士、リーダーを含む）／保育教諭（主幹保育教諭を含む） ／保育補助者／保育支援者／子育て支援員／家庭的保育者／家庭的保育補助者／ 施設長・所長（保育士資格を有する者）／副施設長・副所長
--

#### 3. 調査実施方法

##### （1）調査の依頼

- ・ こども家庭庁から都道府県→市区町村を経由し、保育所等へメールにて依頼状を展開した。なお、保育所等には「保育所等向け依頼状（事務連絡）」のほか「調査票見本」を併せて送付した。

##### （2）回答方法

- ・ ウェブ上にアンケートフォームを用意し、可能な限りウェブ上にて回答をいただいた。
- ・ 「調査票見本」の末尾に、返信用ラベルを添付し、ウェブ上にて回答が難しい場合には、郵送回答を可とした。

#### 4. 調査実施時期

2025年12月25日（木）～2026年1月26日（月）

## 5. 回収結果

有効回収数：22,623 件（うち、施設票：5,721 件、保育士票：16,902 件）

施設票の参考回収率：15.0%

- \* 施設数の母数は、こども家庭庁から公表されている「保育所等関連状況取りまとめ（令和7年4月1日）」における保育所等数の推移を参考に算出。

## 6. 調査内容

アンケート調査における主な調査内容は、次のとおりである。詳細は、巻末に掲載している調査票を参照されたい。

- ・ 基本情報
- ・ 回答者自身について
- ・ 勤務先施設について
- ・ 勤務先での働き方について
- ・ 業務負担感について
- ・ 施設における ICT 等の活用状況について
- ・ 業務負担軽減に向けた取組及び効果について
- ・ 仕事や生活の満足度等について
- ・ 就業継続意向・キャリア展望について

## 7. 留意事項

- ・ 一部の設問において、保育 ICT 補助金の対象となっている「園児の登園及び降園の管理に関する機能」「保育に係る計画・記録に関する機能」「保護者との連絡に関する機能」「キャッシュレス決済機能」の4つの機能（以下、「4機能」）について把握を行っている。
- ・ 構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とならない場合がある。
- ・ 数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、複数の選択肢を足し上げた合計値と、グラフ中の数値を用いた計算結果が一致しない場合がある。
- ・ 統計表中に使用されている記号等は、次のとおりである。
  - ▶ 「-」は、調査又は集計したが、該当数字がないもの、又は数字が得られないものを示す。
  - ▶ 「0」、「0.0」は、調査又は集計したが、該当数字が表章単位に満たないものを示す。

## II 基本集計結果

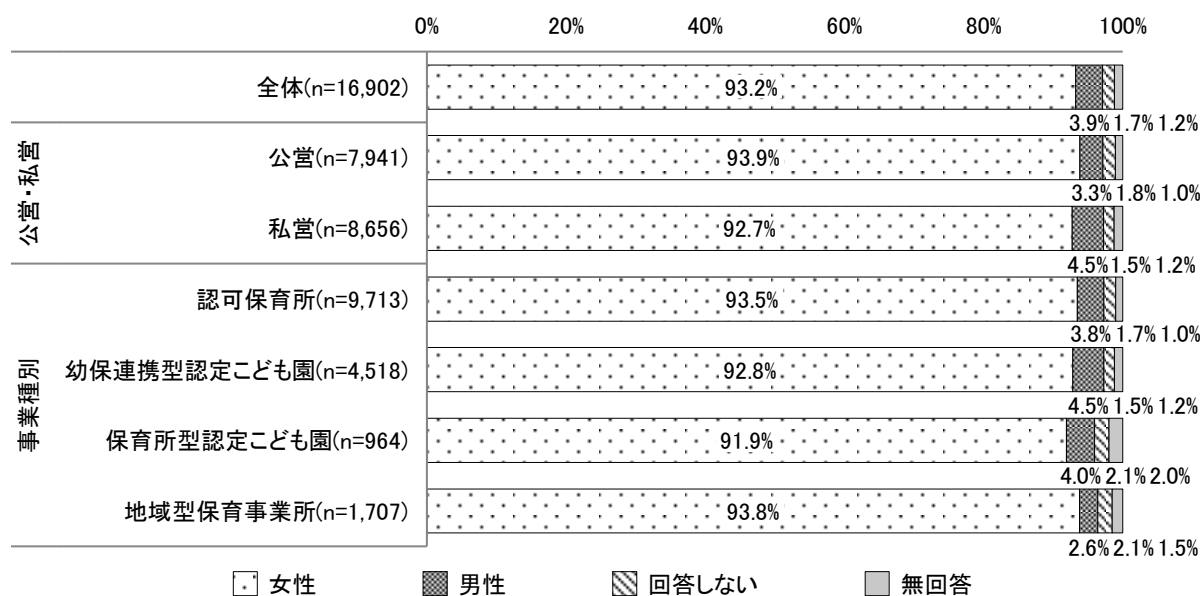
### 1. 回答者属性について

#### (1) 【保育士票】性別<sup>3</sup>

回答者の性別についてみると、「全体」では、「女性」が93.2%でもっとも割合が高く、次いで「男性」が3.9%となっている。

公私別・事業種別にみると、いずれも「女性」が9割を超えている。

図表 3-1 性別：単数回答（問5）



<sup>3</sup> 以降について、施設長のみを対象とした設問は【施設票】、施設長以外の保育士等を対象とした設問は【保育士票】、全員を対象とした設問は【共通】と記載している。

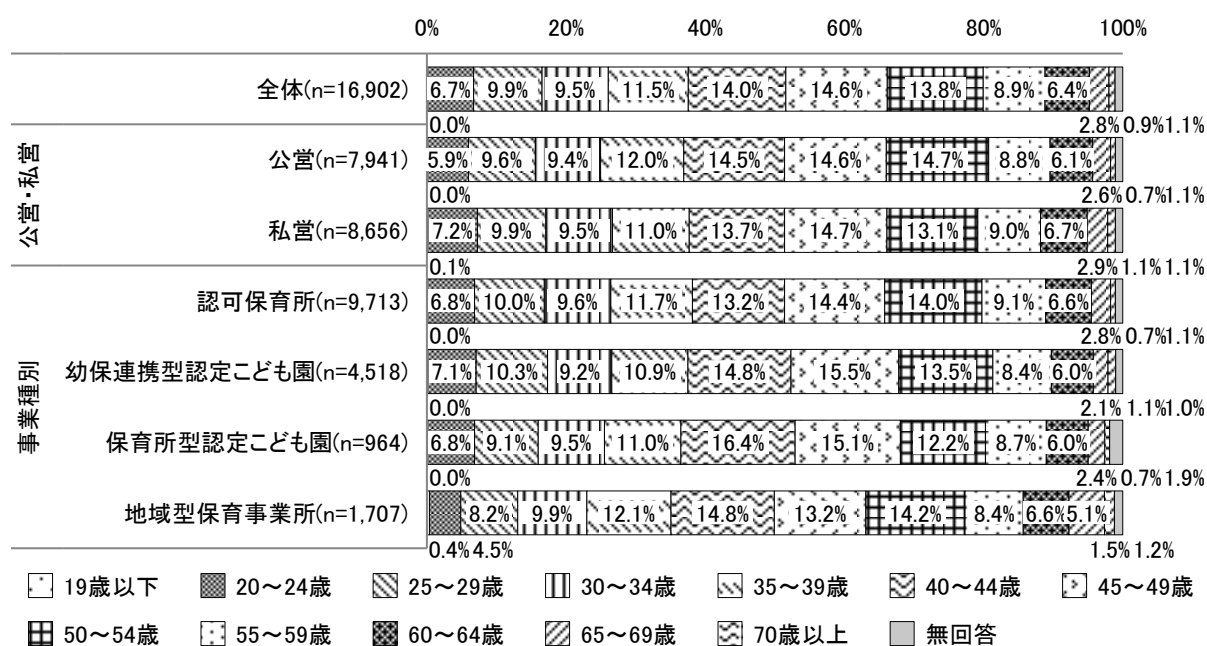
## (2) 【保育士票】年齢

回答者の年齢についてみると、「全体」では、「45～49歳」が14.6%でもっとも割合が高く、次いで「40～44歳」が14.0%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「50～54歳」、「私営」では「45～49歳」がそれぞれもっとも割合が高くなっている。

事業種別にみると、「認可保育所」「幼保連携型認定こども園」では、「45～49歳」がもっとも割合が高くなっている。「保育所型認定こども園」「地域型保育事業所」では、「40～44歳」がもっとも割合が高くなっている。

図表 3-2 年齢：単数回答（問6）



(3) 【共通】居住地域

回答者の居住地域については、以下のとおりとなっている。

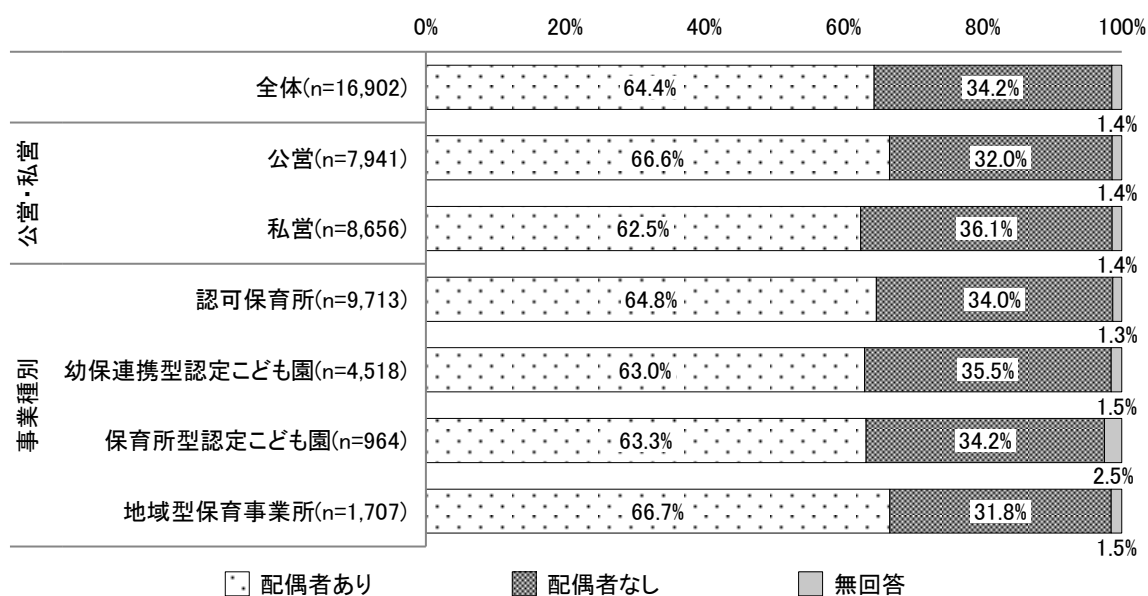
図表 3-3 居住地域：単数回答（問 11-1）

		合計	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
全体	n	22,623	841	226	602	458	254	125	458	390	409	269
	%	100.0	3.7	1.0	2.7	2.0	1.1	0.6	2.0	1.7	1.8	1.2
施設票	n	5,721	300	74	150	139	107	47	122	76	85	88
	%	100.0	5.2	1.3	2.6	2.4	1.9	0.8	2.1	1.3	1.5	1.5
保育士票	n	16,902	541	152	452	319	147	78	336	314	324	181
	%	100.0	3.2	0.9	2.7	1.9	0.9	0.5	2.0	1.9	1.9	1.1
		合計	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県
全体	n	22,623	1,435	1,032	1,175	774	567	368	211	268	271	574
	%	100.0	6.3	4.6	5.2	3.4	2.5	1.6	0.9	1.2	1.2	2.5
施設票	n	5,721	326	248	353	246	118	97	48	51	39	100
	%	100.0	5.7	4.3	6.2	4.3	2.1	1.7	0.8	0.9	0.7	1.7
保育士票	n	16,902	1,109	784	822	528	449	271	163	217	232	474
	%	100.0	6.6	4.6	4.9	3.1	2.7	1.6	1.0	1.3	1.4	2.8
		合計	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
全体	n	22,623	569	891	1,392	618	360	306	885	1,136	361	177
	%	100.0	2.5	3.9	6.2	2.7	1.6	1.4	3.9	5.0	1.6	0.8
施設票	n	5,721	134	221	299	81	87	81	267	288	66	47
	%	100.0	2.3	3.9	5.2	1.4	1.5	1.4	4.7	5.0	1.2	0.8
保育士票	n	16,902	435	670	1,093	537	273	225	618	848	295	130
	%	100.0	2.6	4.0	6.5	3.2	1.6	1.3	3.7	5.0	1.7	0.8
		合計	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
全体	n	22,623	166	326	336	660	217	266	57	311	222	429
	%	100.0	0.7	1.4	1.5	2.9	1.0	1.2	0.3	1.4	1.0	1.9
施設票	n	5,721	52	77	102	155	55	76	18	77	72	123
	%	100.0	0.9	1.3	1.8	2.7	1.0	1.3	0.3	1.3	1.3	2.1
保育士票	n	16,902	114	249	234	505	162	190	39	234	150	306
	%	100.0	0.7	1.5	1.4	3.0	1.0	1.1	0.2	1.4	0.9	1.8
		合計	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	無回答		
全体	n	22,623	93	180	469	408	138	300	641	2		
	%	100.0	0.4	0.8	2.1	1.8	0.6	1.3	2.8	0.0		
施設票	n	5,721	27	28	100	96	37	88	152	1		
	%	100.0	0.5	0.5	1.7	1.7	0.6	1.5	2.7	0.0		
保育士票	n	16,902	66	152	369	312	101	212	489	1		
	%	100.0	0.4	0.9	2.2	1.8	0.6	1.3	2.9	0.0		

#### (4) 【保育士票】婚姻状況

回答者の婚姻状況についてみると、「全体」では、「配偶者あり」が64.4%となっている。公私別・事業種別にみると、いずれも「配偶者あり」が6割台となっている。

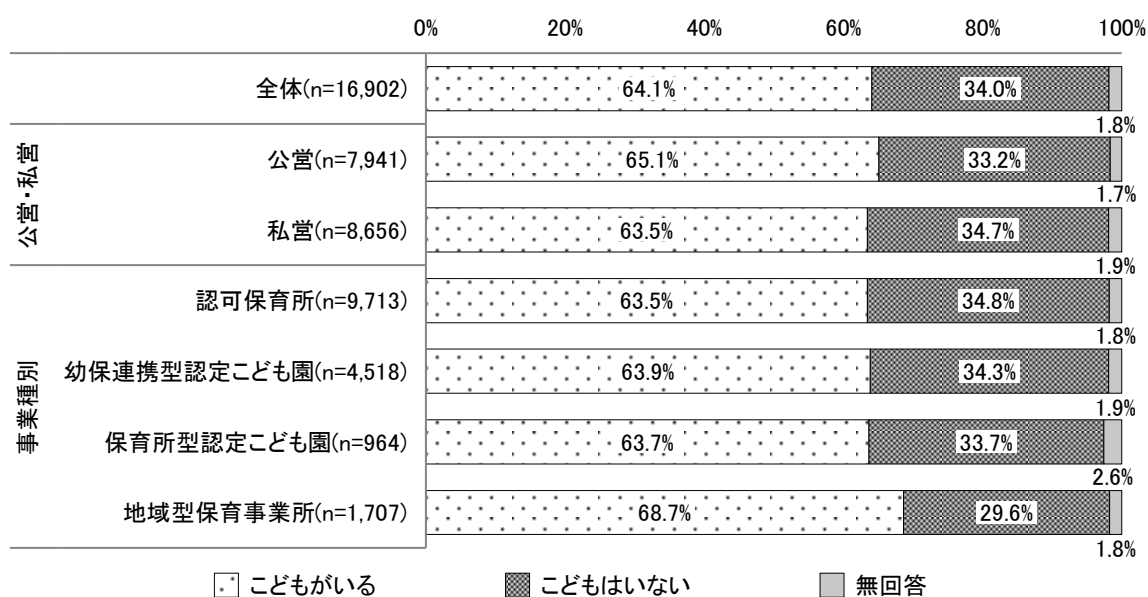
図表 3-4 婚姻状況：単数回答（問7）



### (5) 【保育士票】 こどもの有無

こどもの有無についてみると、「全体」では、「こどもがいる」が64.1%となっている。公私別にみると、いずれも「こどもがいる」が6割台半ばと、大きな差はみられない。事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて、「こどもがいる」が68.7%で割合が高くなっている。

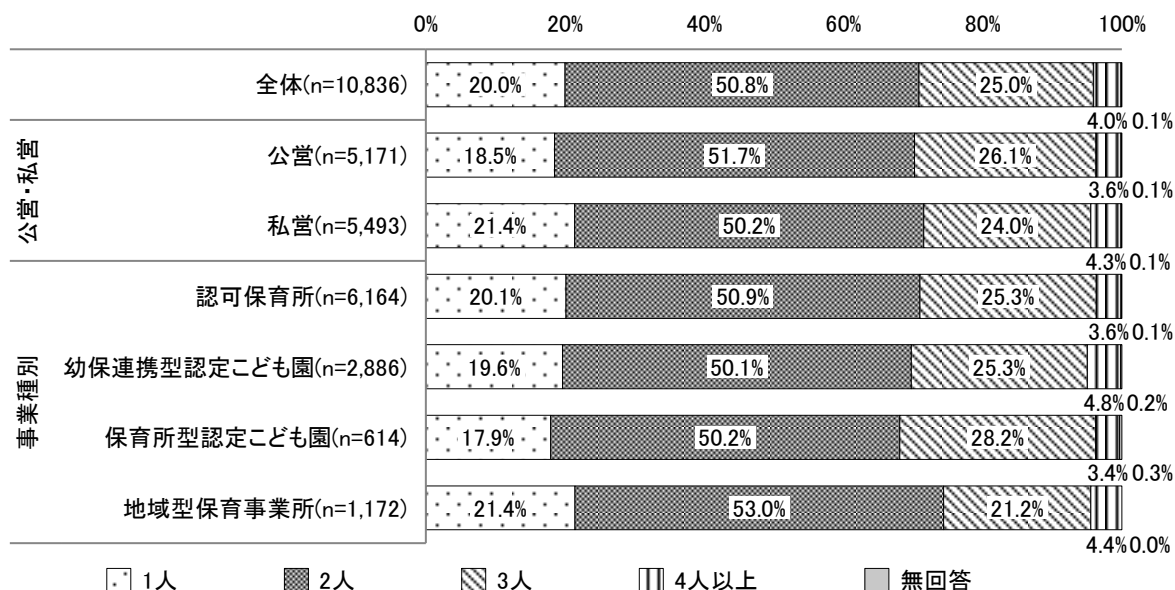
図表 3-5 こどもの有無：単数回答（問8）



### (6) 【保育士票】 こどもの人数

こどもがいる人について、人数をみると、「全体」では「2人」が50.8%でもっとも割合が高く、次いで「3人」が25.0%となっている。

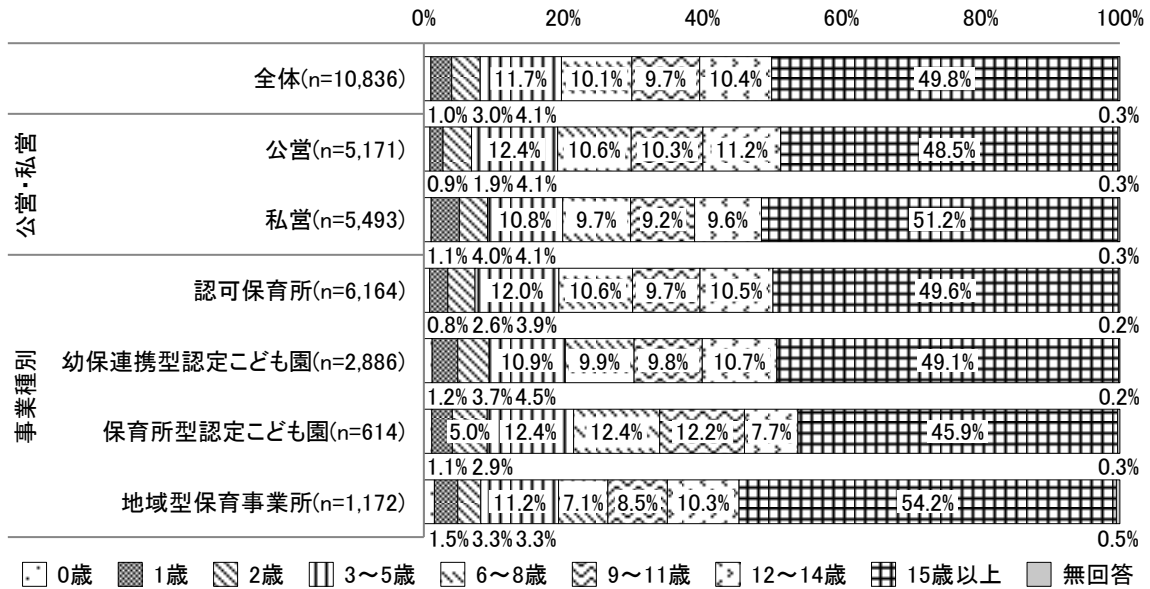
図表 3-6 こどもの人数：単数回答（問8より作成）



(7) 【保育士票】末子の年齢

こどもがいる人について、末子の年齢をみると、「15歳以上」が49.8%で約半数を占め、次いで「3～5歳」が11.7%となっている。

図表 3-7 末子の年齢：単数回答（問8より作成）



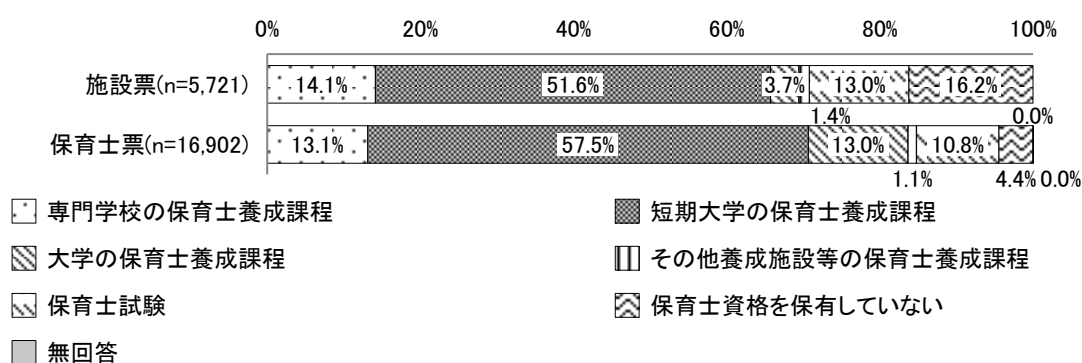
### (8) 【共通】保育士資格の有無・取得方法

保育士資格の有無及び資格を取得した方法について、調査種別にみると、「施設票」(施設長の状況)では、「短期大学の保育士養成課程」が51.6%でもっとも割合が高く、次いで「保育士資格を保有していない」が16.2%となっている。「保育士票」では、「短期大学の保育士養成課程」が57.5%でもっとも割合が高く、次いで「専門学校の保育士養成課程」が13.1%となっている。

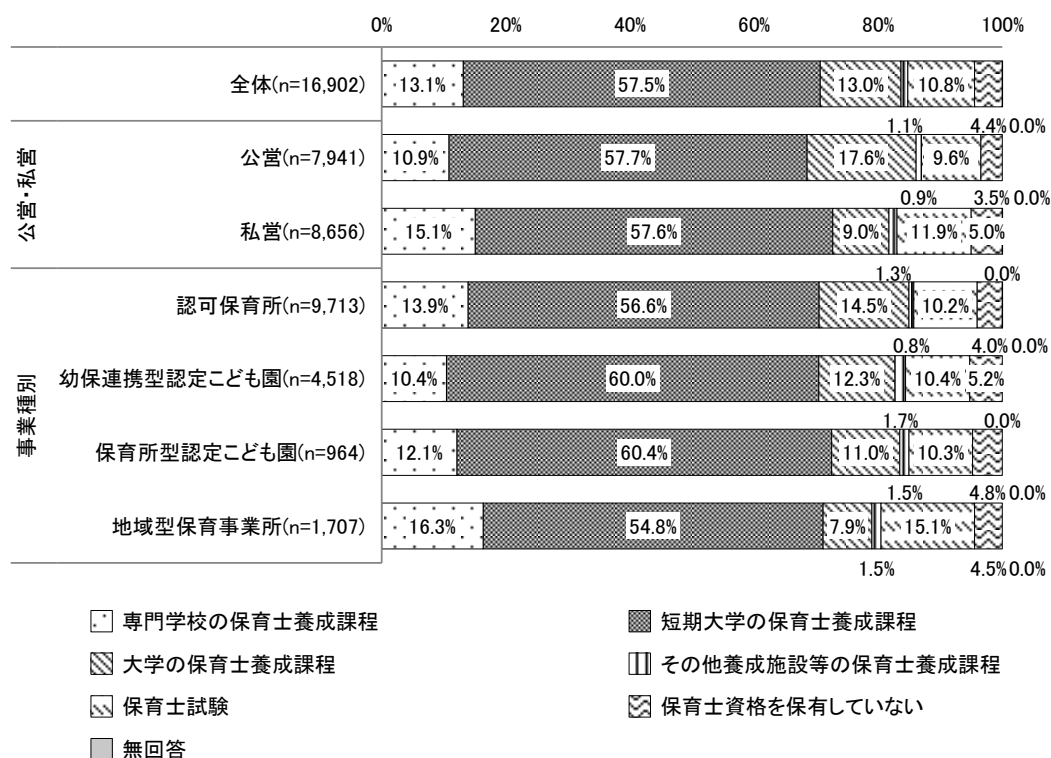
保育士票に限定して、公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「大学の保育士養成課程」が17.6%と高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「保育士試験」の割合が高くなっている。

図表 3-8 【調査種別】保育士資格の有無・取得方法：単数回答(問3)



図表 3-9 保育士資格の有無・取得方法：単数回答(問3)



注) 集計対象は保育士票のみ。

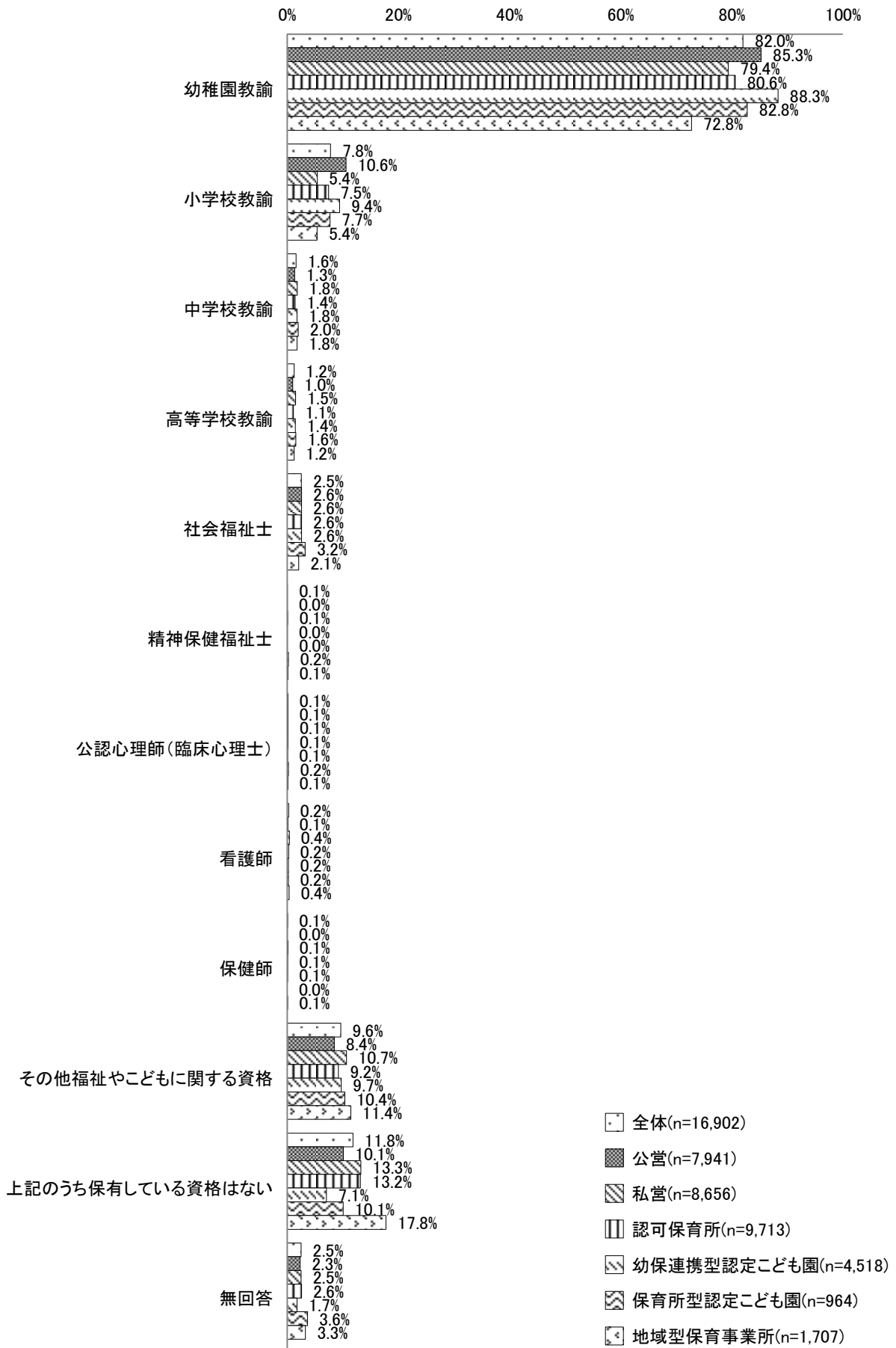
#### (9) 【保育士票】保育士資格以外に保有する資格

保育士資格以外に保有する資格についてみると、「全体」では、「幼稚園教諭」が82.0%でもっとも割合が高く、次いで「上記のうち保有している資格はない」が11.8%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「幼稚園教諭」が85.3%、「小学校教諭」が10.6%で割合が高くなっている。

事業種別にみると、「幼保連携型認定こども園」では、他に比べて「幼稚園教諭」の割合が高くなっている。「地域型保育事業所」では、他に比べて「上記のうち保有している資格はない」の割合が高くなっている。

図表 3-10 保育士資格以外に保有する資格：複数回答（問9）

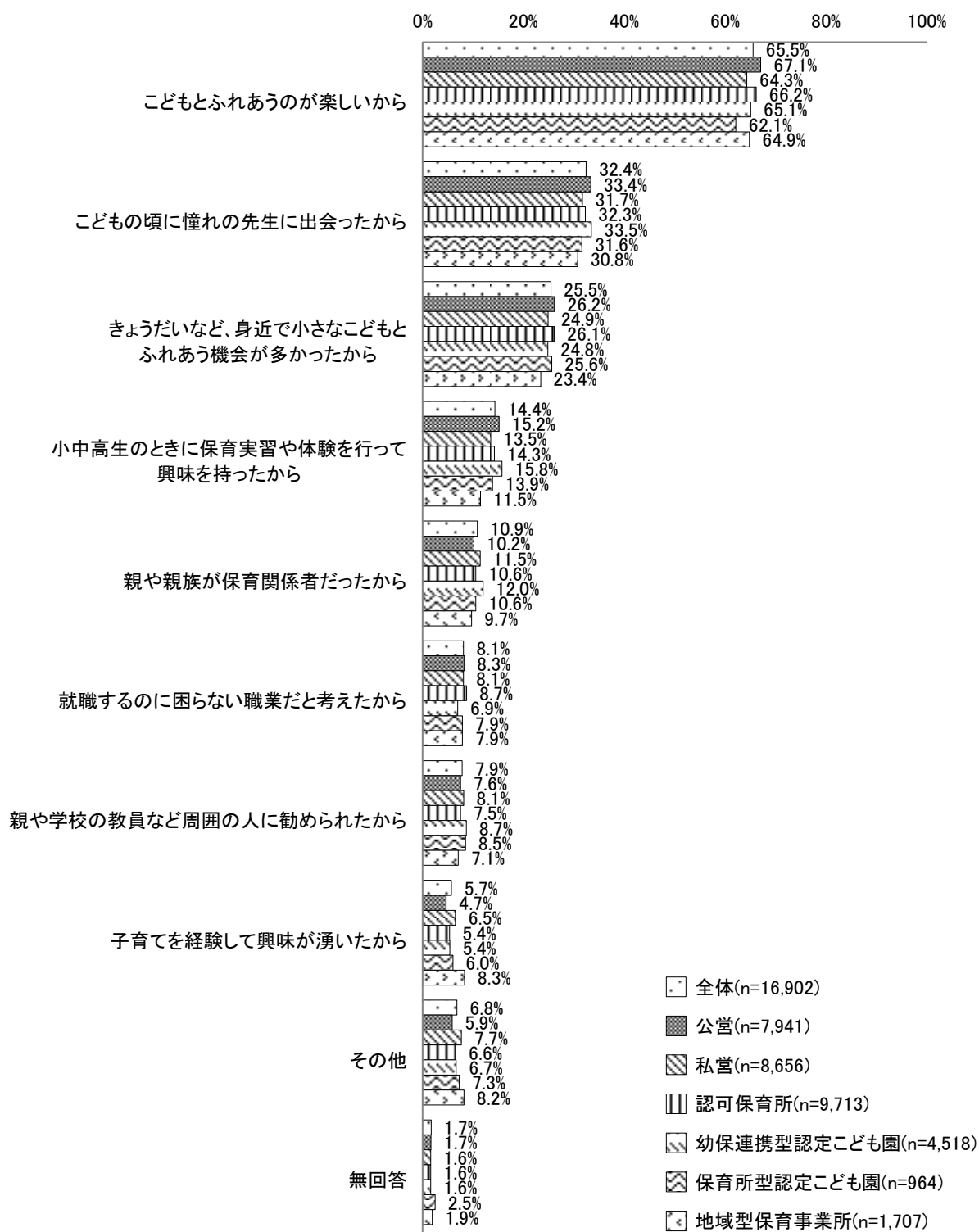


(10) 【保育士票】保育士を目指すきっかけ

保育士を目指すきっかけについてみると、「全体」では、「子どもとふれあうのが楽しいから」が65.5%でもっとも割合が高く、次いで「子どもの頃に憧れの先生に出会ったから」が32.4%となっている。

公私別・事業種別にみると、いずれも大きな差はみられない。

図表 3-11 保育士を目指すきっかけ：複数回答（問10）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■こどもが好きだから

- ・ こどもが好きで、親族に小さい子が生まれ、保育の現場に行きたいと思ったから。
- ・ こどもが好きで他にしたいことがなかったから。
- ・ こどもが好きで、発達成長に関して興味があったから。

■こどもの頃からの夢だったから

- ・ こどもの頃からの夢だったから。
- ・ こどもの頃からなりたい気持ちが強かったから。

■ピアノ等の特技を活かしたかったから

- ・ ピアノを習っていたので、ピアノを活かせる仕事をしたかった。
- ・ ピアノが得意で活かせる職業をと考えたため。
- ・ 自分の特技を活かせる職業だと思ったから。

■保育園での楽しい思い出があったから

- ・ 自分自身が保育園を利用している時期、先生方にとっても助けられたため。
- ・ 幼少期の保育園で過ごした楽しい思い出があったから。

■友人や知人の勧め

- ・ 友人に勧められたから。
- ・ 知人に勧められた。
- ・ 身近な小さなこどもの保護者から勧められたから。

■こどもの成長や幼児教育に関心があったから

- ・ こどもの成長に関われることにやりがいを感じた。
- ・ こどもの成長に深くかかわりたいと思ったから。
- ・ こどもの成長をそばで見守ることができるなどやりがいと魅力がすごくある仕事だと思ったから。
- ・ 幼児教育に深い関心があったため。

■資格を活かしたかったから

- ・ 資格を最大限に活かせる職業だと感じたから。
- ・ 資格を持ちたかったから。

■保育士不足を解消したかったから

- ・ 保育士不足だったから。自分のこどもも待機児童だったから。
- ・ 報道で保育士不足というのを目にしたから。
- ・ 保育士が不足していることに対して、役に立ちたいと考えたから。

## 2. 勤務している施設について

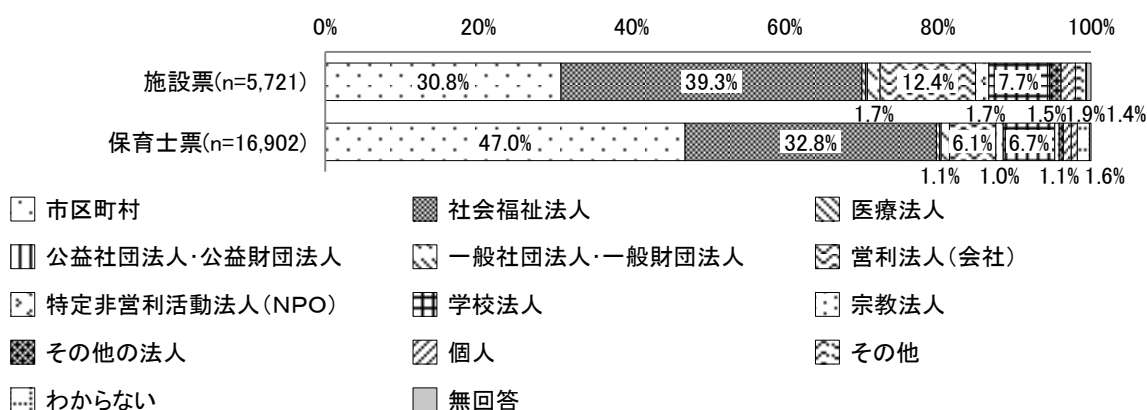
### (1) 【共通】勤務している保育所等の運営主体

勤務している保育所等の運営主体について、調査種別にみると、「施設票」では、「社会福祉法人」が 39.3%でもっとも割合が高く、次いで「市区町村」が 30.8%となっている。「保育士票」では、「市区町村」が 47.0%でもっとも割合が高く、次いで「社会福祉法人」が 32.8%となっている。

施設票に限定して、公私別にみると、「私営」では、「社会福祉法人」が 57.3%でもっとも割合が高く、次いで「営利法人（会社）」が 18.2%となっている。

事業種別にみると、「認可保育所」では「市区町村」、「幼保連携型認定こども園」では「学校法人」、「地域型保育事業所」では「営利法人（会社）」の割合がそれぞれ他に比べて高くなっている。

図表 3-12 【調査種別】勤務している保育所等の運営主体：単数回答（問12）

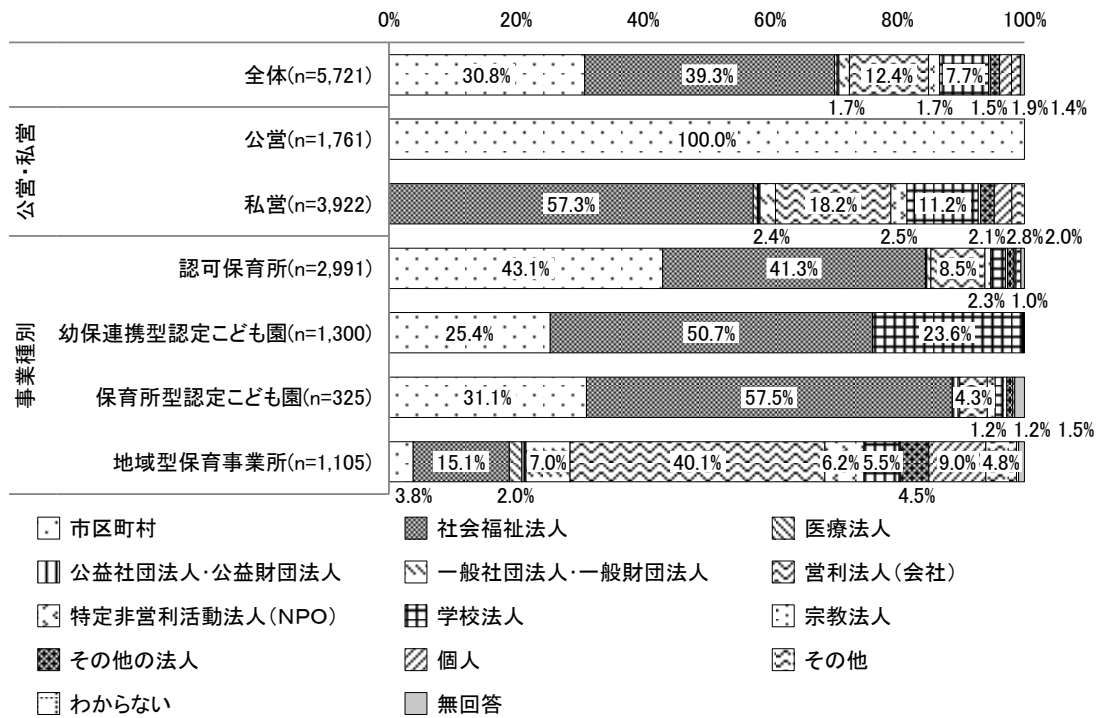


<数値表>

	合計	問12 勤務している保育所等の運営主体						
		市区町村	社会福祉法人	医療法人	公益社団法人・公益財団法人	一般社団法人・一般財団法人	営利法人(会社)	特定非営利活動法人(NPO)
施設票	5721	1761	2249	25	15	96	712	100
	100.0	30.8	39.3	0.4	0.3	1.7	12.4	1.7
保育士票	16902	7941	5548	73	32	181	1024	162
	100.0	47.0	32.8	0.4	0.2	1.1	6.1	1.0

	合計	問12 勤務している保育所等の運営主体						
		学校法人	宗教法人	その他の法人	個人	その他	わからない	無回答
施設票	5721	440	15	84	108	78	4	34
	100.0	7.7	0.3	1.5	1.9	1.4	0.1	0.6
保育士票	16902	1139	101	90	178	128	269	36
	100.0	6.7	0.6	0.5	1.1	0.8	1.6	0.2

図表 3-13 勤務している保育所等の運営主体：単数回答（問12）



注) 集計対象は施設票のみ。

< 数値表 >

	合計	問12 勤務している保育所等の運営主体						
		市区町村	社会福祉法人	医療法人	公益社団法人・公益財団法人	一般社団法人・一般財団法人	営利法人(会社)	特定非営利活動法人(NPO)
全体	5,721	1,761	2,249	25	15	96	712	100
	100.0	30.8	39.3	0.4	0.3	1.7	12.4	1.7
公営	1,761	1,761	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
私営	3,922	0	2,249	25	15	96	712	100
	100.0	0.0	57.3	0.6	0.4	2.4	18.2	2.5
認可保育所	2,991	1,288	1,236	3	5	18	255	28
	100.0	43.1	41.3	0.1	0.2	0.6	8.5	0.9
幼保連携型認定こども園	1,300	330	659	0	0	0	0	0
	100.0	25.4	50.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保育所型認定こども園	325	101	187	0	3	1	14	4
	100.0	31.1	57.5	0.0	0.9	0.3	4.3	1.2
地域型保育事業所	1,105	42	167	22	7	77	443	68
	100.0	3.8	15.1	2.0	0.6	7.0	40.1	6.2

	合計	問12 勤務している保育所等の運営主体						
		学校法人	宗教法人	その他の法人	個人	その他	わからない	無回答
全体	5,721	440	15	84	108	78	4	34
	100.0	7.7	0.3	1.5	1.9	1.4	0.1	0.6
公営	1,761	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
私営	3,922	440	15	84	108	78	0	0
	100.0	11.2	0.4	2.1	2.8	2.0	0.0	0.0
認可保育所	2,991	68	10	31	9	23	0	17
	100.0	2.3	0.3	1.0	0.3	0.8	0.0	0.6
幼保連携型認定こども園	1,300	307	1	0	0	1	0	2
	100.0	23.6	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2
保育所型認定こども園	325	4	2	3	0	1	0	5
	100.0	1.2	0.6	0.9	0.0	0.3	0.0	1.5
地域型保育事業所	1,105	61	2	50	99	53	4	10
	100.0	5.5	0.2	4.5	9.0	4.8	0.4	0.9

<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

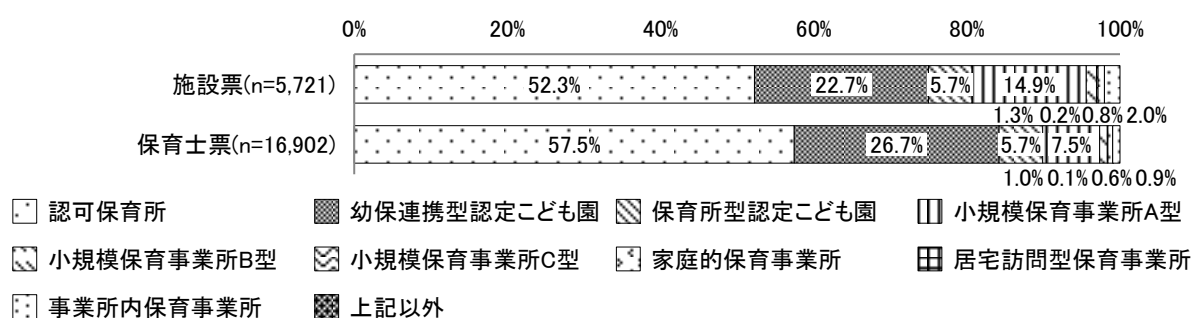
- ・ 公設民営。
- ・ 社会福祉協議会。
- ・ 社会医療法人。
- ・ 認可法人。
- ・ 公私連携型。
- ・ 地方公営企業。

## (2) 【共通】施設の事業種別

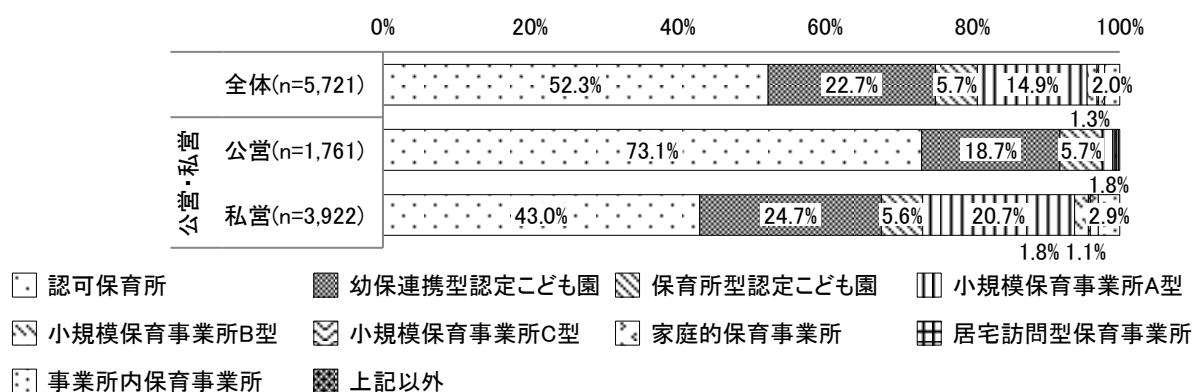
施設の事業種別について、調査種別にみると、「施設票」では、「認可保育所」が52.3%でもっとも割合が高く、次いで「幼保連携型認定こども園」が22.7%となっている。「保育士票」では、「認可保育所」が57.5%でもっとも割合が高く、次いで「幼保連携型認定こども園」が26.7%となっている。

施設票に限定して、公私別にみると、「公営」では、「認可保育所」が73.1%、「私営」では、「小規模保育事業所A型」が20.7%で割合が高くなっている。

図表 3-14 【調査種別】施設の事業種別：単数回答（問1）



図表 3-15 施設の事業種別：単数回答（問1）



注) 集計対象は施設票のみ。

### <数値表>

	合計	問1 施設の種別									
		認可保育所	幼保連携型認定こども園	保育所型認定こども園	小規模保育事業所A型	小規模保育事業所B型	小規模保育事業所C型	家庭的保育事業所	居宅訪問型保育事業所	事業所内保育事業所	上記以外
全体	5721 100.0	2991 52.3	1300 22.7	325 5.7	853 14.9	76 1.3	12 0.2	47 0.8	0 0.0	117 2.0	0 0.0
公営	1761 100.0	1288 73.1	330 18.7	101 5.7	31 1.8	3 0.2	1 0.1	4 0.2	0 0.0	3 0.2	0 0.0
私営	3922 100.0	1686 43.0	968 24.7	219 5.6	810 20.7	72 1.8	11 0.3	43 1.1	0 0.0	113 2.9	0 0.0

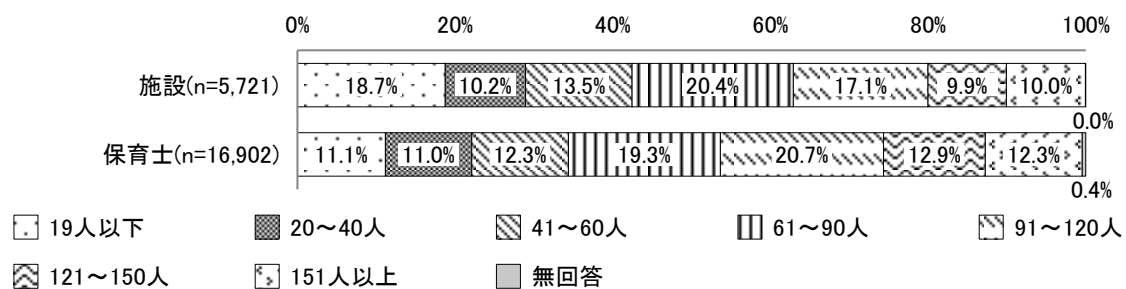
(3) 【共通】施設の定員（2025年4月1日時点）

施設の定員（2025年4月1日時点）について、調査種別にみると、「施設票」では、「61～90人」が20.4%でもっとも割合が高く、次いで「19人以下」が18.7%となっている。「保育士票」では、「91～120人」が20.7%でもっとも割合が高く、次いで「61～90人」が19.3%となっている。

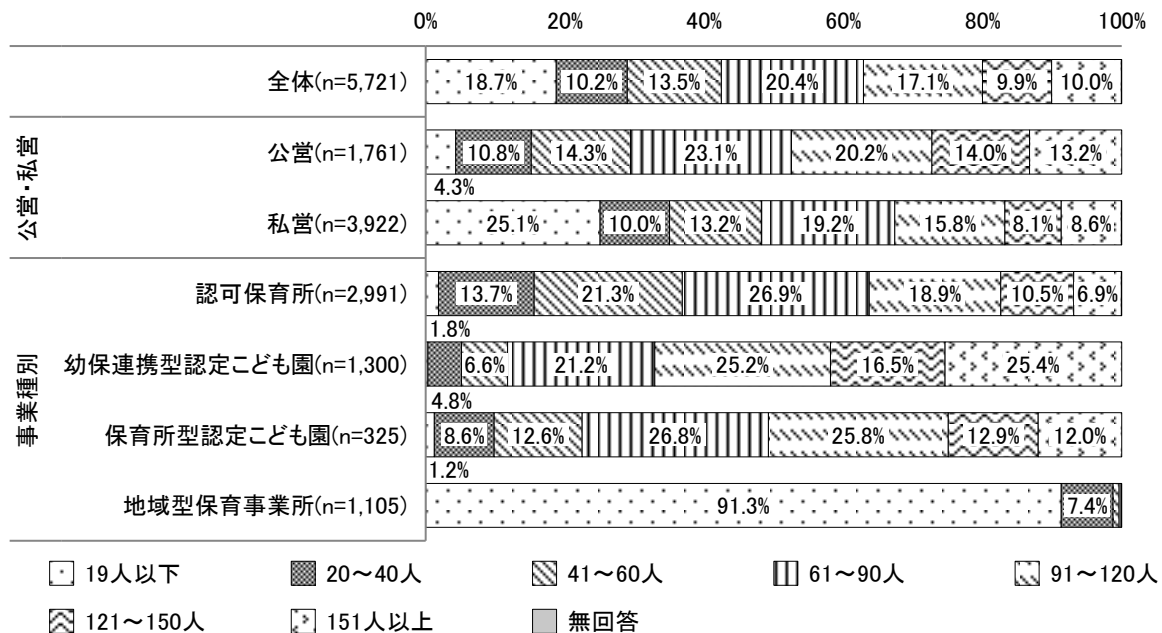
施設票に限定して、公私別にみると、「私营」では、「公営」に比べて「19人以下」が25.1%と高くなっている。

事業種別にみると、「幼保連携型認定こども園」では、他に比べて「151人以上」が25.4%で割合が高くなっている。「地域型保育事業所」では、他に比べて「19人以下」が91.3%で割合が高くなっている。

図表 3-16 【調査種別】施設の定員（2025年4月1日時点）：単数回答（問13）



図表 3-17 施設の定員（2025年4月1日時点）：単数回答（問13）



注) 集計対象は施設票のみ。

<数値表>

	合計	問13 2025年4月1日時点の定員							
		19人以下	20～40人	41～60人	61～90人	91～120人	121～150人	151人以上	無回答
全体	5,721 100.0	1,072 18.7	584 10.2	773 13.5	1,169 20.4	978 17.1	569 9.9	574 10.0	2 0.0
公営	1,761 100.0	76 4.3	191 10.8	251 14.3	407 23.1	356 20.2	247 14.0	233 13.2	0 0.0
私営	3,922 100.0	983 25.1	391 10.0	517 13.2	753 19.2	619 15.8	318 8.1	339 8.6	2 0.1
認可保育所	2,991 100.0	55 1.8	411 13.7	636 21.3	804 26.9	565 18.9	313 10.5	205 6.9	2 0.1
幼保連携型認定こども園	1,300 100.0	4 0.3	63 4.8	86 6.6	275 21.2	328 25.2	214 16.5	330 25.4	0 0.0
保育所型認定こども園	325 100.0	4 1.2	28 8.6	41 12.6	87 26.8	84 25.8	42 12.9	39 12.0	0 0.0
地域型保育事業所	1,105 100.0	1,009 91.3	82 7.4	10 0.9	3 0.3	1 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0

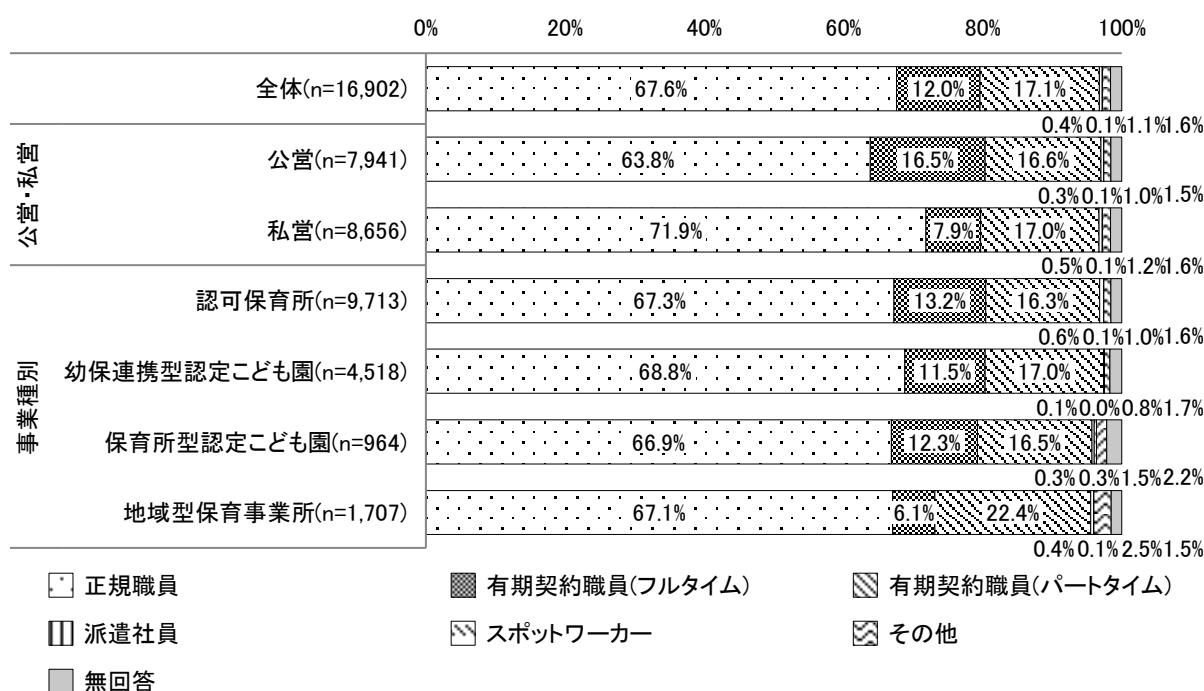
#### (4) 【保育士票】雇用形態

雇用形態についてみると、「全体」では、「正規職員」が67.6%でもっとも割合が高く、次いで「有期契約職員（パートタイム）」が17.1%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「有期契約職員（フルタイム）」が16.5%、「私営」では、「正規職員」が71.9%で割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「有期契約職員（パートタイム）」が22.4%と高くなっている。

図表 3-18 雇用形態：単数回答（問23）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

- ・ 再任用職員。
- ・ 会計年度任用職員。
- ・ 嘱託職員。
- ・ 個人事業主。
- ・ 経営者。
- ・ 任期付職員。
- ・ 臨時職員。
- ・ 無期契約職員（パートタイム）。
- ・ 無期契約職員（フルタイム）。
- ・ 業務委託。

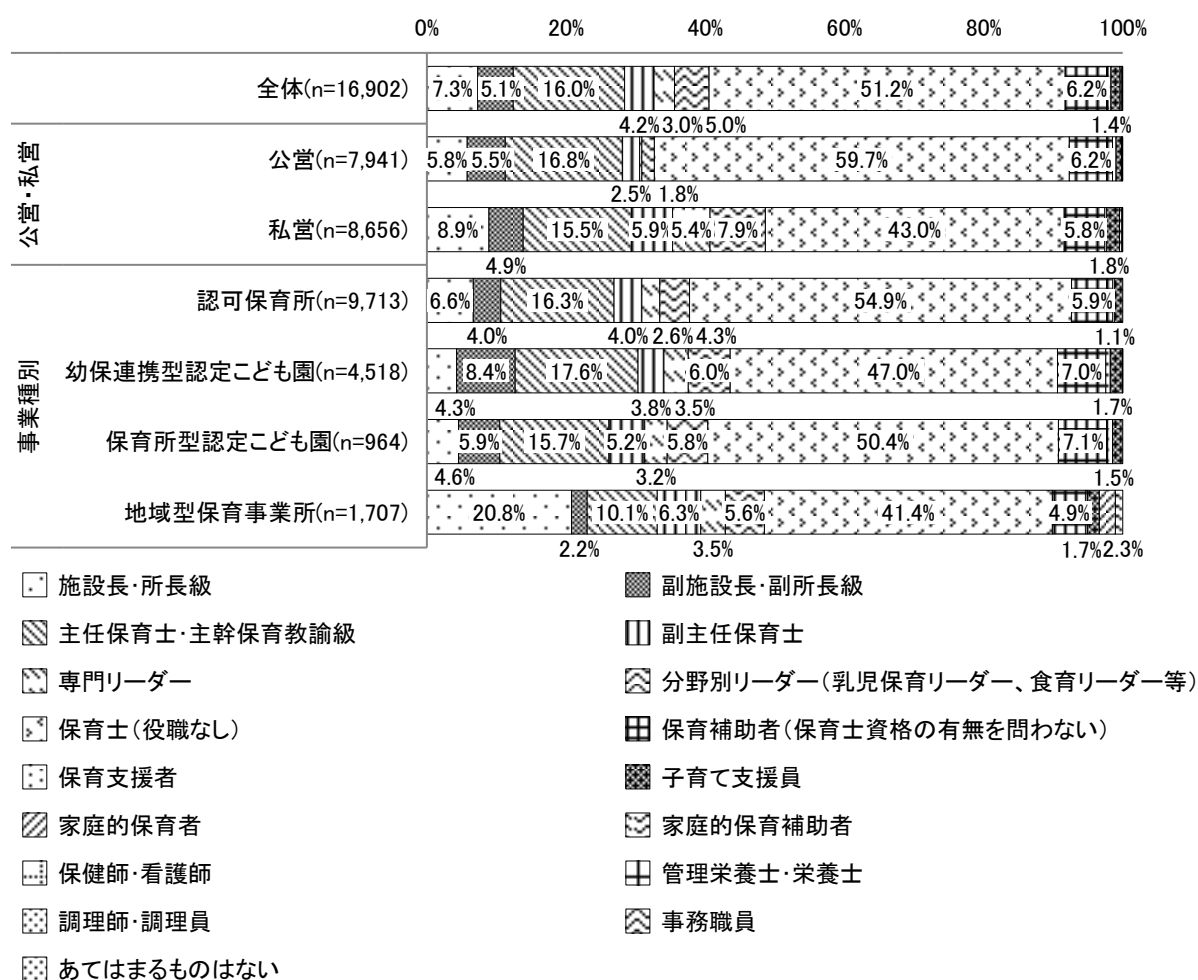
### (5) 【保育士票】職種

職種についてみると、「全体」では、「保育士（役職なし）」が 51.2%でもっとも割合が高く、次いで「主任保育士・主幹保育教諭級」が 16.0%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「保育士（役職なし）」が 59.7%で割合が高く、「私営」では、「副主任保育士」が 5.9%、「専門リーダー」が 5.4%、「分野別リーダー（乳児保育リーダー、食育リーダー等）」が 7.9%で割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「施設長・所長級」が 20.8%と割合が高くなっている。

図表 3-19 職種：単数回答（問2）



注) 共通項目ではあるが、保育士票の結果に限定している

<数値表>

	合計	問2 職種								
		施設長・ 所長級	副施設 長・副所 長級	主任保育 士・主幹 保育教諭 級	副主任保 育士	専門リー ダー	分野別 リーダー (乳児保 育リー ダー、食 育リー ダー等)	保育士 (役職な し)	保育補助 者(保育 士資格の 有無を問 わない)	保育支援 者
全体	16,902 100.0	1,238 7.3	862 5.1	2,699 16.0	715 4.2	501 3.0	840 5.0	8,646 51.2	1,041 6.2	70 0.4
公営	7,941 100.0	460 5.8	436 5.5	1,334 16.8	197 2.5	28 0.4	140 1.8	4,738 59.7	491 6.2	41 0.5
私営	8,656 100.0	770 8.9	426 4.9	1,345 15.5	514 5.9	466 5.4	688 7.9	3,718 43.0	505 5.8	25 0.3
認可保育所	9,713 100.0	645 6.6	388 4.0	1,579 16.3	388 4.0	253 2.6	415 4.3	5,330 54.9	575 5.9	30 0.3
幼保連携型認定こども園	4,518 100.0	194 4.3	379 8.4	797 17.6	170 3.8	157 3.5	273 6.0	2,124 47.0	315 7.0	29 0.6
保育所型認定こども園	964 100.0	44 4.6	57 5.9	151 15.7	50 5.2	31 3.2	56 5.8	486 50.4	68 7.1	7 0.7
地域型保育事業所	1,707 100.0	355 20.8	38 2.2	172 10.1	107 6.3	60 3.5	96 5.6	706 41.4	83 4.9	4 0.2

	合計	問2 職種							
		子育て支 援員	家庭的保 育者	家庭的保 育補助者	保健師・ 看護師	管理栄養 士・栄養 士	調理師・ 調理員	事務職員	あてはま るものは ない
全体	16,902 100.0	231 1.4	40 0.2	19 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
公営	7,941 100.0	60 0.8	9 0.1	7 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
私営	8,656 100.0	160 1.8	29 0.3	10 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
認可保育所	9,713 100.0	110 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
幼保連携型認定こども園	4,518 100.0	78 1.7	1 0.0	1 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
保育所型認定こども園	964 100.0	14 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
地域型保育事業所	1,707 100.0	29 1.7	39 2.3	18 1.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

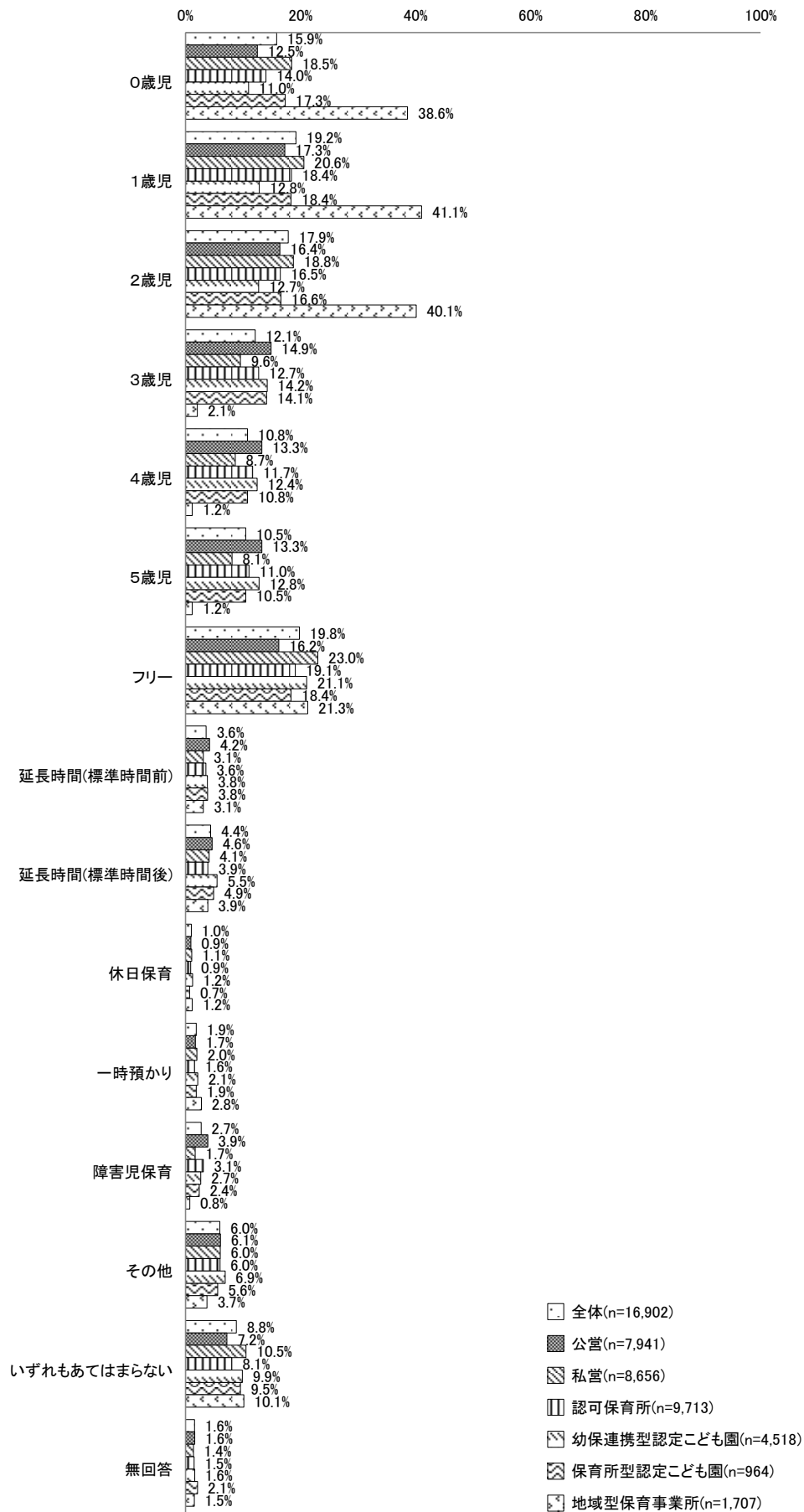
#### (6) 【保育士票】担当クラス等

担当クラス等についてみると、「全体」では、「フリー」が19.8%でもっとも割合が高く、次いで「1歳児」が19.2%となっている。

公私別にみると、「公営」では、『3～5歳児』（「3歳児」「4歳児」「5歳児」）、「私営」では、「0歳児」「フリー」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて『0～2歳児』（「0歳児」「1歳児」「2歳児」）の割合が高くなっている。

図表 3-20 担当クラス等：複数回答（問 22）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■特別支援・病児保育

- ・ 病後児保育。
- ・ 特別支援コーディネーター。
- ・ 医療的ケア。

■教育・指導関連

- ・ 指導保育教諭。
- ・ 新人保育士育成。

■子育て支援関連

- ・ 園内の子育て支援センター担当。
- ・ 家庭支援推進保育士。

■学童・未就園児関連

- ・ 学童保育。
- ・ 未就園児クラス。
- ・ 0～3歳児の親子登園クラス。

■休憩・代替業務

- ・ 休憩代替。
- ・ 休暇代替。

■事務・庶務業務

- ・ 事務全般。
- ・ 庶務。

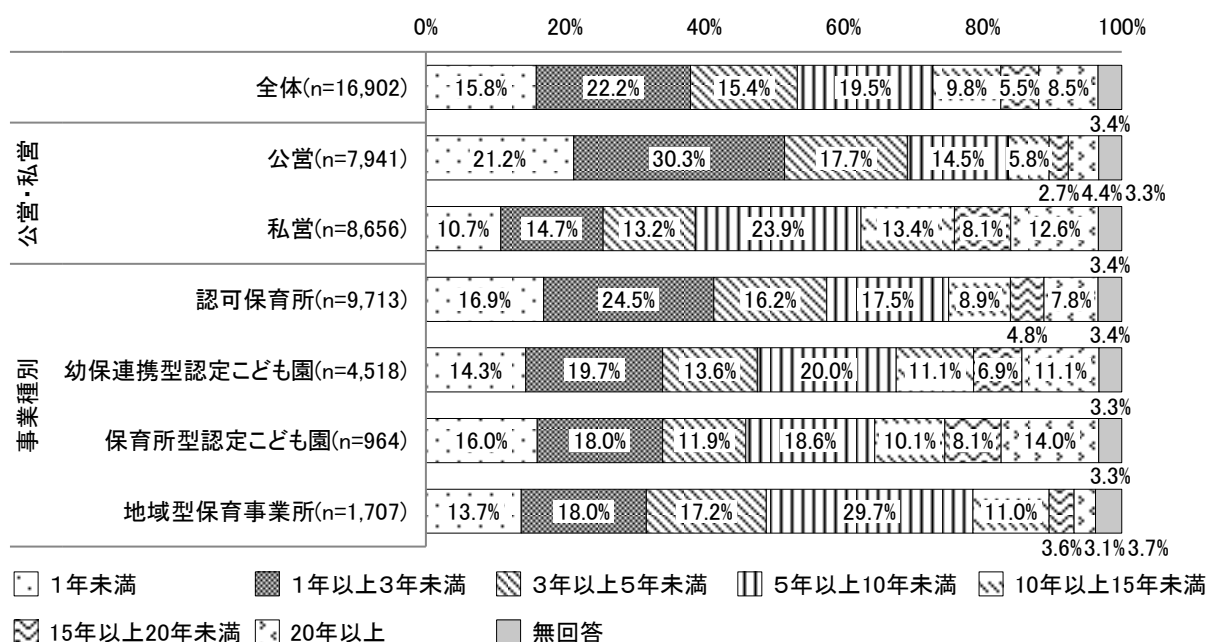
(7) 【保育士票】現在勤務している施設での勤続年数

現在勤務している施設での勤続年数についてみると、「全体」では、「1年以上3年未満」が22.2%でもっとも割合が高く、次いで「5年以上10年未満」が19.5%となっている。

公私別にみると、「公営」では、『5年未満』（「1年未満」「1年以上3年未満」「3年以上5年未満」の合計）が69.2%で割合が高くなっている。

事業種別にみると、「認可保育所」では、他に比べて『5年未満』（「1年未満」「1年以上3年未満」「3年以上5年未満」の合計）が57.6%で割合が高くなっている。

図表 3-21 現在勤務している施設での勤続年数：単数回答（問24-1）



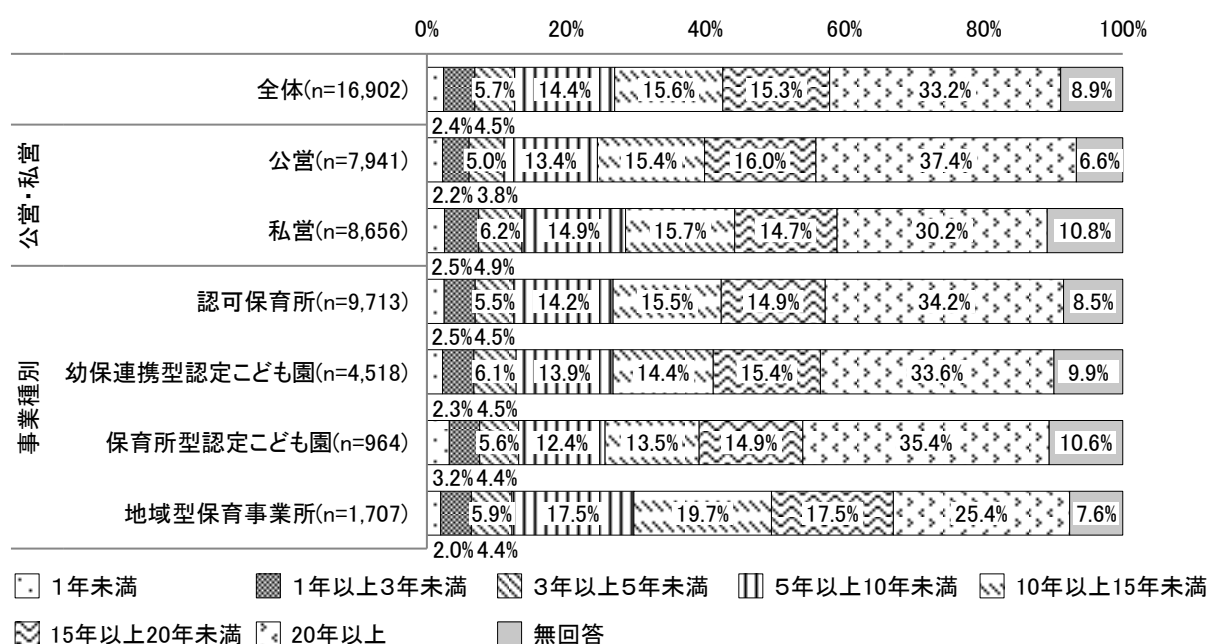
### (8) 【保育士票】保育に関わる仕事の通算経験年数

保育に関わる仕事の通算経験年数についてみると、「全体」では、「20年以上」が33.2%でもっとも割合が高く、次いで「10年以上15年未満」が15.6%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「20年以上」が37.4%で割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「10年以上15年未満」が19.7%で割合が高くなっている。

図表 3-22 保育に関わる仕事の通算経験年数：単数回答（問24-2）



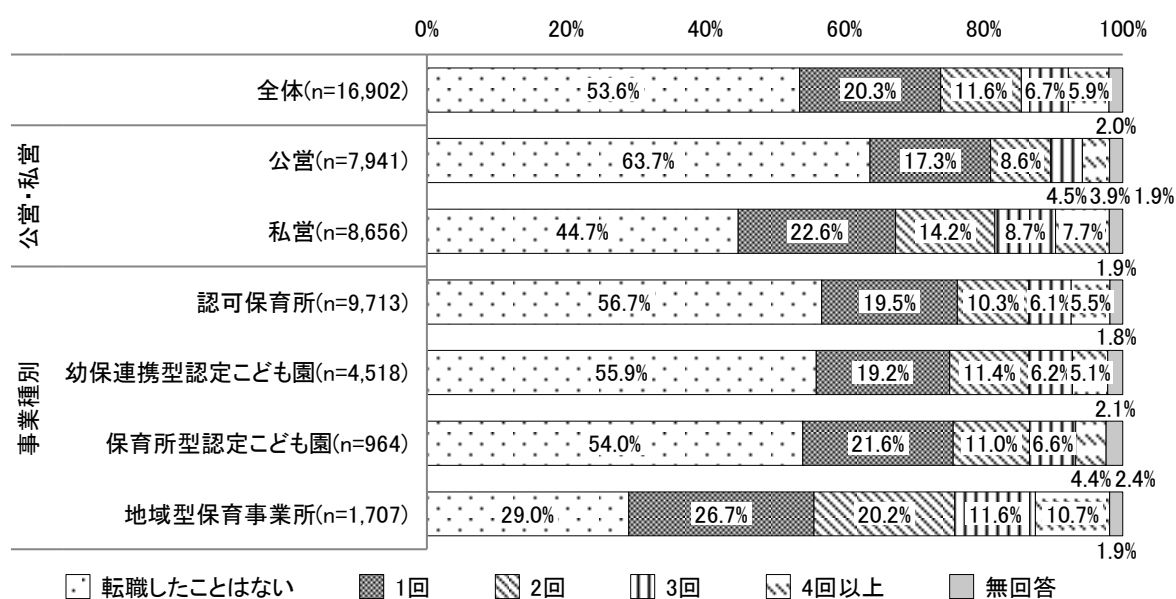
### (9) 【保育士票】 保育関係の転職回数

保育関係の転職回数についてみると、「全体」では、「転職したことはない」が53.6%でもっとも割合が高く、次いで「1回」が20.3%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「転職したことはない」が63.7%で割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて『転職したことがある』（「1回」「2回」「3回」「4回以上」の合計）が69.1%と割合が高く、転職回数が多い傾向がみられる。

図表 3-23 保育関係の転職回数：単数回答（問25）



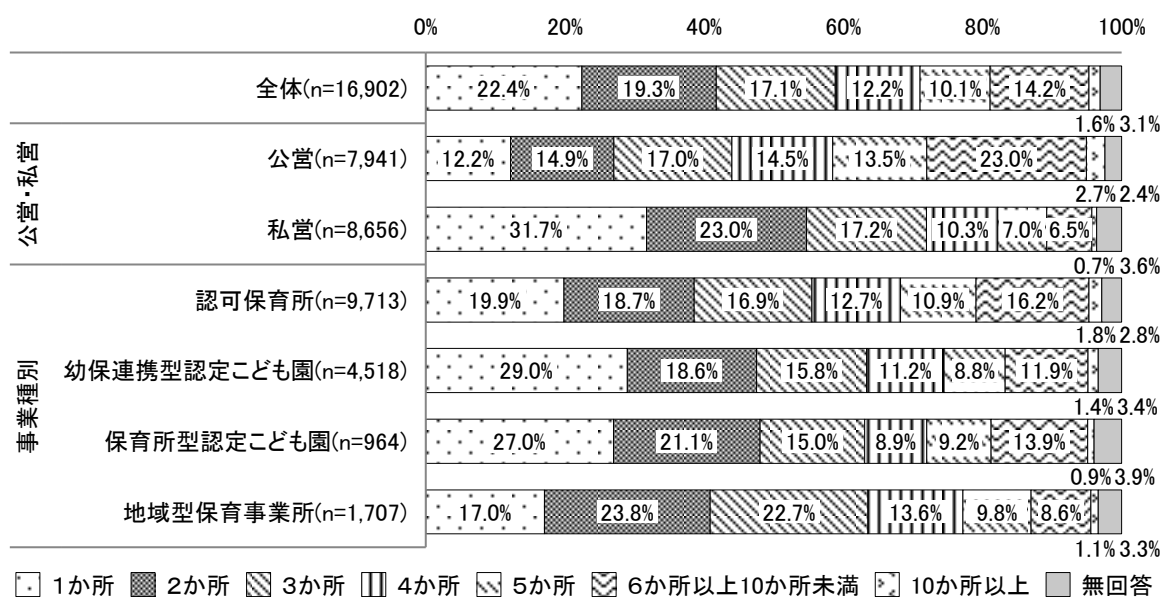
(10) 【保育士票】 これまでに勤務した保育施設数

これまでに勤務した保育施設数についてみると、「全体」では、「1か所」が22.4%でもっとも割合が高く、次いで「2か所」が19.3%となっている。

公私別にみると、「公営」では、『6か所以上』（「6か所以上10か所未満」、「10か所以上」の合計）が25.6%で割合が高く、「私営」では、「1か所」が31.7%で高くなっている。

事業種別にみると、「幼保連携型認定こども園」では、「1か所」が29.0%、「保育所型認定こども園」では、「1か所」が27.0%で、他に比べて割合が高くなっている。

図表 3-24 これまでに勤務した保育施設数：単数回答（問26）



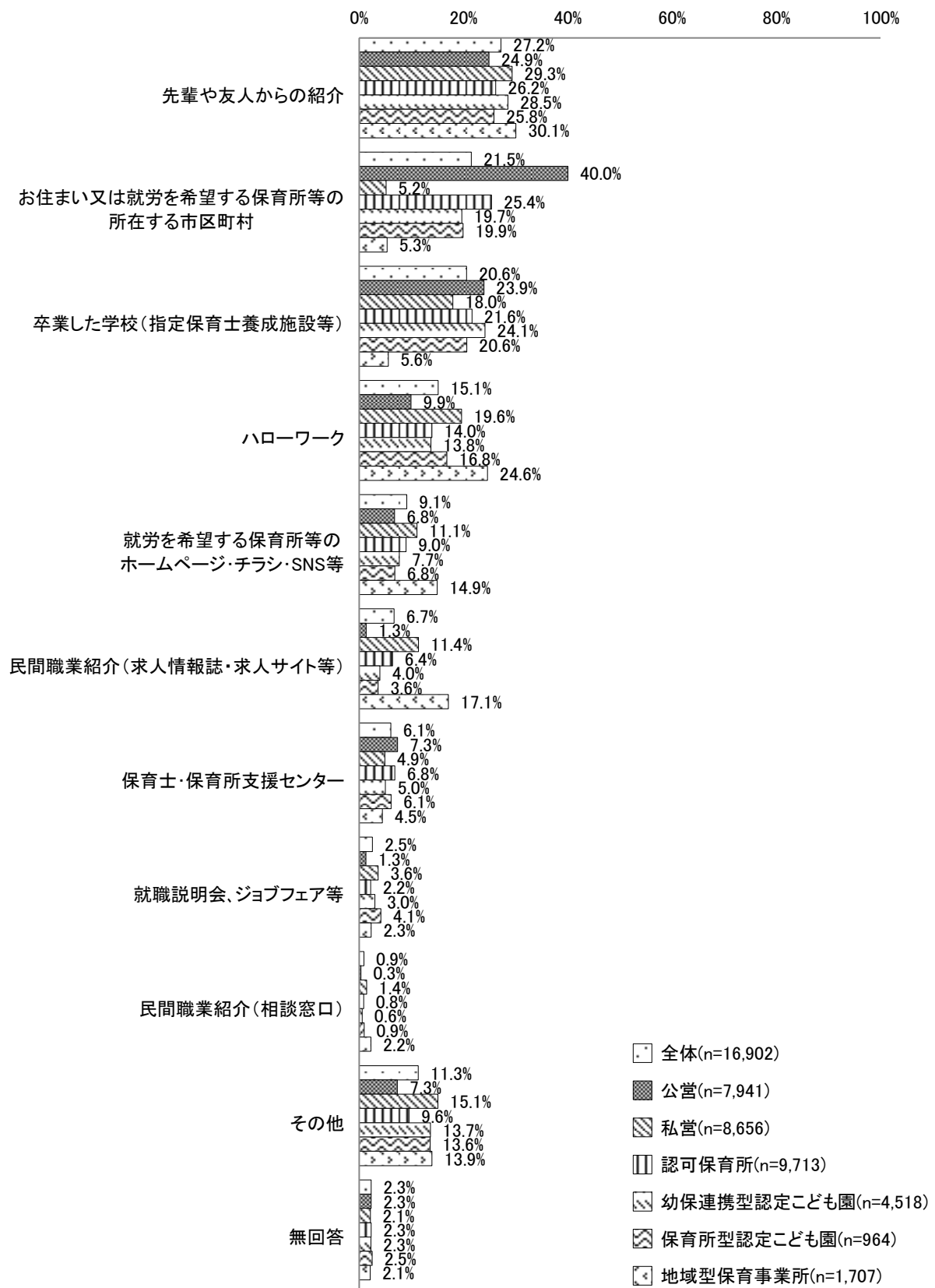
### (11) 【保育士票】現在勤務している施設への就職時に情報を活用した媒体

現在勤務している施設への就職時に情報を活用した媒体についてみると、「全体」では、「先輩や友人からの紹介」が27.2%でもっとも割合が高く、次いで「お住まい又は就労を希望する保育所等の所在する市区町村」が21.5%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「お住まい又は就労を希望する保育所等の所在する市区町村」、「私営」では、「ハローワーク」「民間職業紹介（求人情報誌・求人サイト等）」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「認可保育所」では、「お住まい又は就労を希望する保育所等の所在する市区町村」、「地域型保育事業所」では、「ハローワーク」「就労を希望する保育所等のホームページ・チラシ・SNS等」「民間職業紹介（求人情報誌・求人サイト等）」の割合が他に比べて高くなっている。

図表 3-25 現在勤務している施設への就職時に情報を活用した媒体：複数回答（問 27）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

- ・ 親族からの紹介。
- ・ 知人からの紹介。
- ・ 新聞の折込チラシ。
- ・ 園長先生からのオファー。
- ・ 保育士求人サイト。
- ・ インターネット検索。
- ・ 市役所の採用情報。

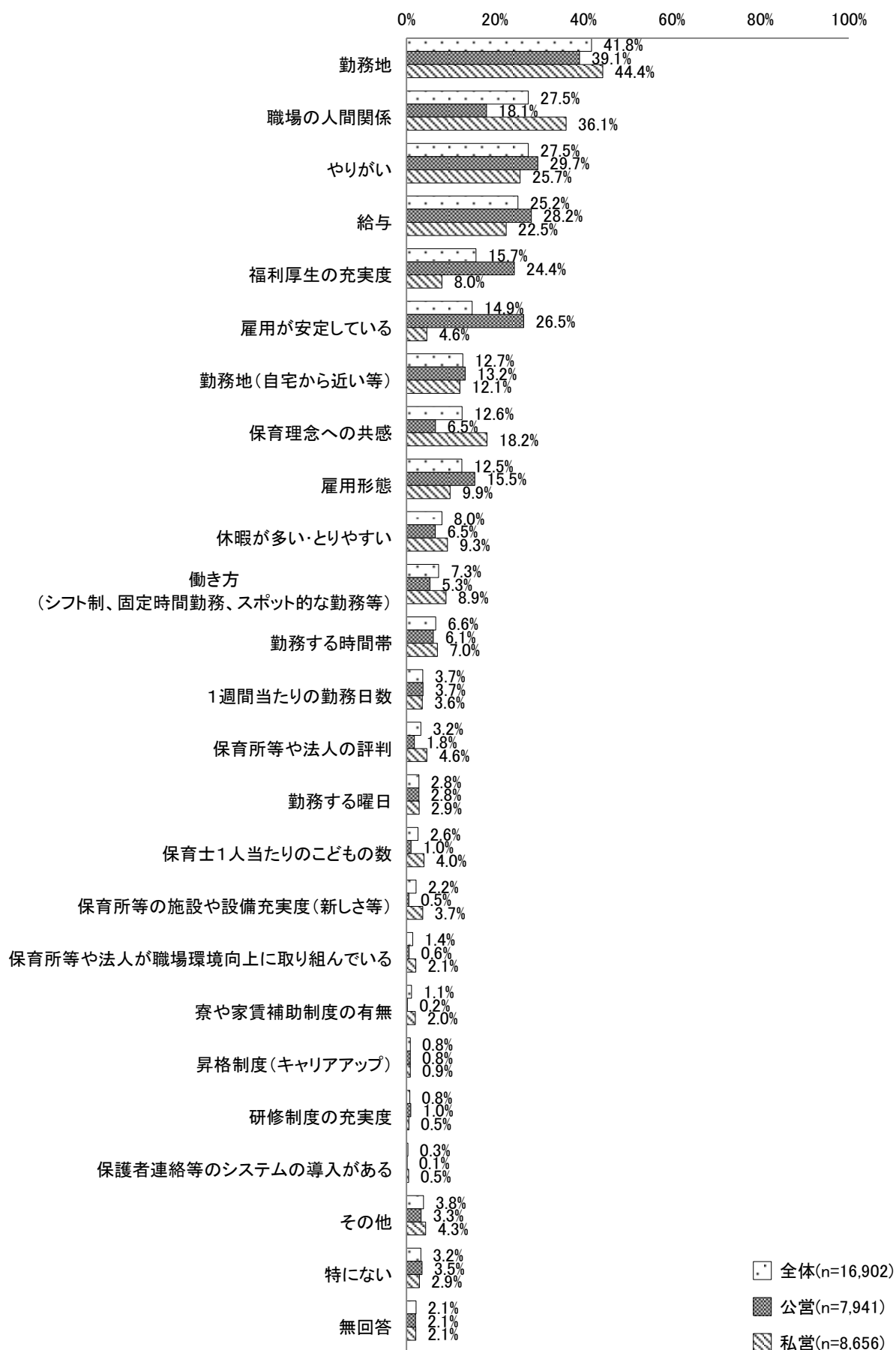
## (12) 【保育士票】現在勤務している施設を選ぶ際に重視したこと

現在勤務している施設を選ぶ際に重視したことについてみると、「全体」では、「勤務地」が41.8%でもっとも割合が高く、次いで「職場の人間関係」が27.5%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「雇用が安定している」「福利厚生の実度度」、「私営」では、「職場の人間関係」「保育理念への共感」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「働き方(シフト制、固定時間勤務、スポット的な勤務等)」「保育士1人当たりのこどもの数」の割合が高くなっている。

図表 3-26 【公私別】現在勤務している施設を選ぶ際に重視したこと：複数回答（問 28）



図表 3-27 【事業種別】現在勤務している施設を選ぶ際に重視したこと：複数回答（問28）

	合計	問28 現在勤務している施設を選ぶ際に重視したこと								
		勤務地	職場の人間関係	やりがい	給与	福利厚生 の充実度	雇用が安定している	勤務地 (自宅から近い等)	保育理念 への共感	雇用形態
全体	16,902 100.0	7,071 41.8	4,651 27.5	4,650 27.5	4,259 25.2	2,657 15.7	2,511 14.9	2,153 12.7	2,125 12.6	2,114 12.5
認可保育所	9,713 100.0	4,019 41.4	2,445 25.2	2,606 26.8	2,589 26.7	1,868 19.2	1,780 18.3	1,227 12.6	1,053 10.8	1,293 13.3
幼保連携型認定こども園	4,518 100.0	1,889 41.8	1,339 29.6	1,371 30.3	1,075 23.8	555 12.3	545 12.1	521 11.5	659 14.6	528 11.7
保育所型認定こども園	964 100.0	386 40.0	285 29.6	254 26.3	263 27.3	133 13.8	125 13.0	117 12.1	104 10.8	113 11.7
地域型保育事業所	1,707 100.0	777 45.5	582 34.1	419 24.5	332 19.4	101 5.9	61 3.6	288 16.9	309 18.1	180 10.5

	合計	問28 現在勤務している施設を選ぶ際に重視したこと								
		休暇が多い・とりやすい	働き方 (シフト制、固定時間勤務、スポット的な勤務等)	勤務する時間帯	1週間当たりの勤務日数	保育所等 や法人の評判	勤務する曜日	保育士1人当たりのこどもの数	保育所等の施設や設備充実度(新しさ等)	保育所等 や法人が職場環境向上に取り組んでいる
全体	16,902 100.0	1,354 8.0	1,230 7.3	1,115 6.6	624 3.7	548 3.2	471 2.8	437 2.6	367 2.2	232 1.4
認可保育所	9,713 100.0	787 8.1	620 6.4	596 6.1	358 3.7	301 3.1	242 2.5	192 2.0	179 1.8	119 1.2
幼保連携型認定こども園	4,518 100.0	300 6.6	328 7.3	304 6.7	139 3.1	173 3.8	145 3.2	57 1.3	122 2.7	70 1.5
保育所型認定こども園	964 100.0	76 7.9	56 5.8	56 5.8	37 3.8	39 4.0	30 3.1	14 1.5	9 0.9	16 1.7
地域型保育事業所	1,707 100.0	191 11.2	226 13.2	159 9.3	90 5.3	35 2.1	54 3.2	174 10.2	57 3.3	27 1.6

	合計	問28 現在勤務している施設を選ぶ際に重視したこと						
		寮や家賃補助制度の有無	昇格制度 (キャリアアップ)	研修制度 の充実度	保護者連絡等のシステムの導入がある	その他	特になし	無回答
全体	16,902 100.0	192 1.1	143 0.8	128 0.8	53 0.3	648 3.8	546 3.2	361 2.1
認可保育所	9,713 100.0	127 1.3	87 0.9	83 0.9	34 0.4	320 3.3	316 3.3	203 2.1
幼保連携型認定こども園	4,518 100.0	33 0.7	40 0.9	32 0.7	10 0.2	195 4.3	164 3.6	93 2.1
保育所型認定こども園	964 100.0	3 0.3	5 0.5	4 0.4	2 0.2	44 4.6	38 3.9	24 2.5
地域型保育事業所	1,707 100.0	29 1.7	11 0.6	9 0.5	7 0.4	89 5.2	28 1.6	41 2.4

<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■異動・公務員のため選択不可

- ・ 公立なので異動あり。選ぶことはできない。

■家族・親族の関係

- ・ 親の経営している園。

■施設の雰囲気・環境

- ・ 見学の際の雰囲気が良かった。

■実習先・卒園した園

- ・ 実習先であり、こどもの成長を見たかったため。
- ・ 卒園した園。

■新設・立ち上げ

- ・ 新設の園で気持ちを新たに働きたかった。

■保育方針・内容

- ・ 保育環境、保育内容。
- ・ こども主体の保育。
- ・ 園長の保育方針が気に入った。

■働きやすさ・条件

- ・ 残業や持ち帰りの仕事がほとんどない、休憩がとれる。
- ・ 働きやすさ（定時退社、持ち帰り仕事なし等）。
- ・ 家庭との両立、持ち帰り仕事なし。

■こどもと一緒に通える

- ・ こどもを一緒に通わせられるため。
- ・ こどもを預けながら仕事ができる。

■通勤距離・立地

- ・ 家から近い。
- ・ 地元で保育士になりたかった。

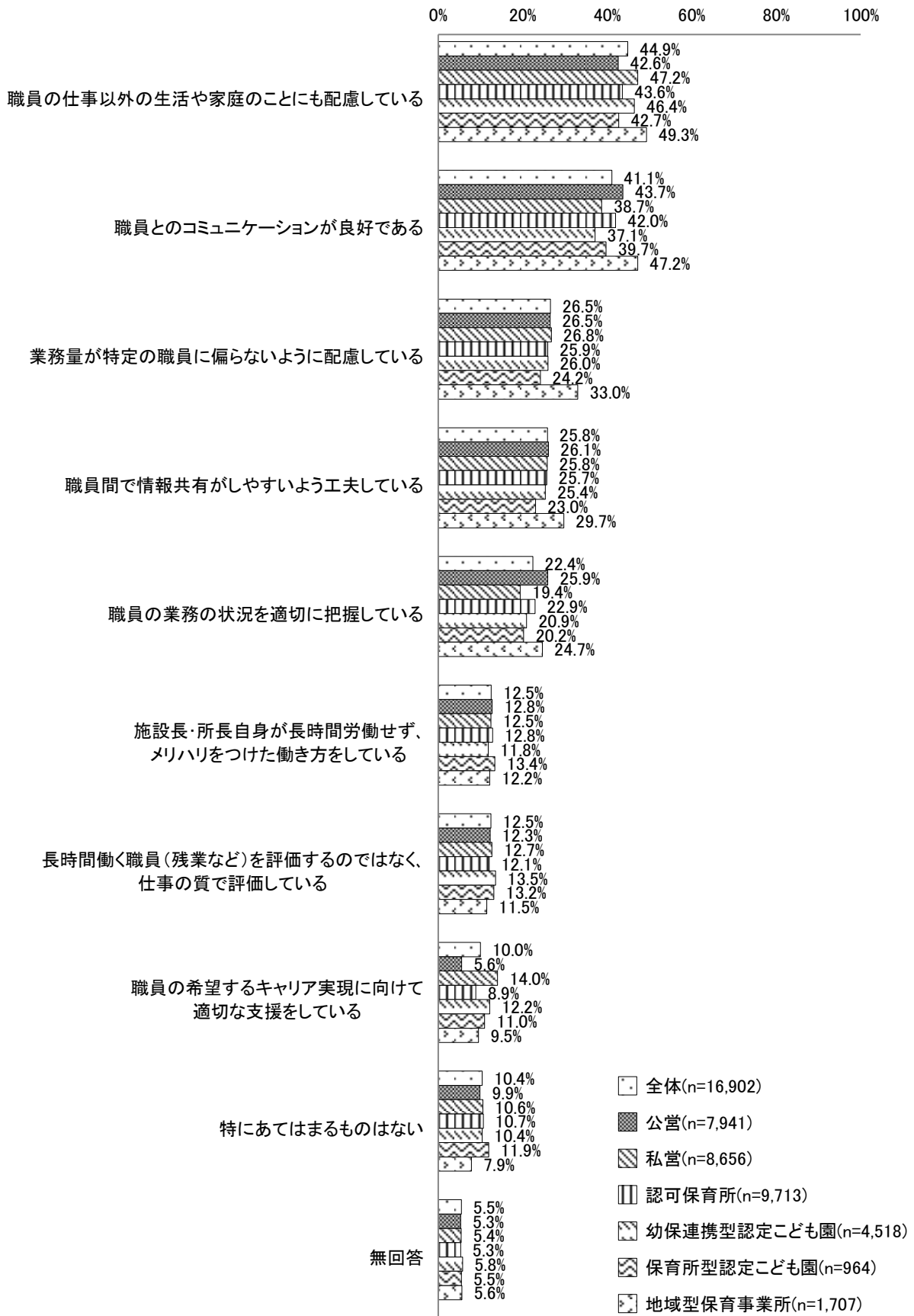
### (13) 【保育士票】施設長・所長級の仕事管理や職員育成

現在勤務している施設の施設長・所長級の仕事管理や職員育成についてみると、「全体」では、「職員の仕事以外の生活や家庭のことにも配慮している」が44.9%でもっとも割合が高く、次いで「職員とのコミュニケーションが良好である」が41.1%となっている。

公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「職員の希望するキャリア実現に向けて適切な支援をしている」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「業務量が特定の職員に偏らないように配慮している」の割合が高くなっている。

図表 3-28 施設長・所長級の仕事管理や職員育成：複数回答（問 29）



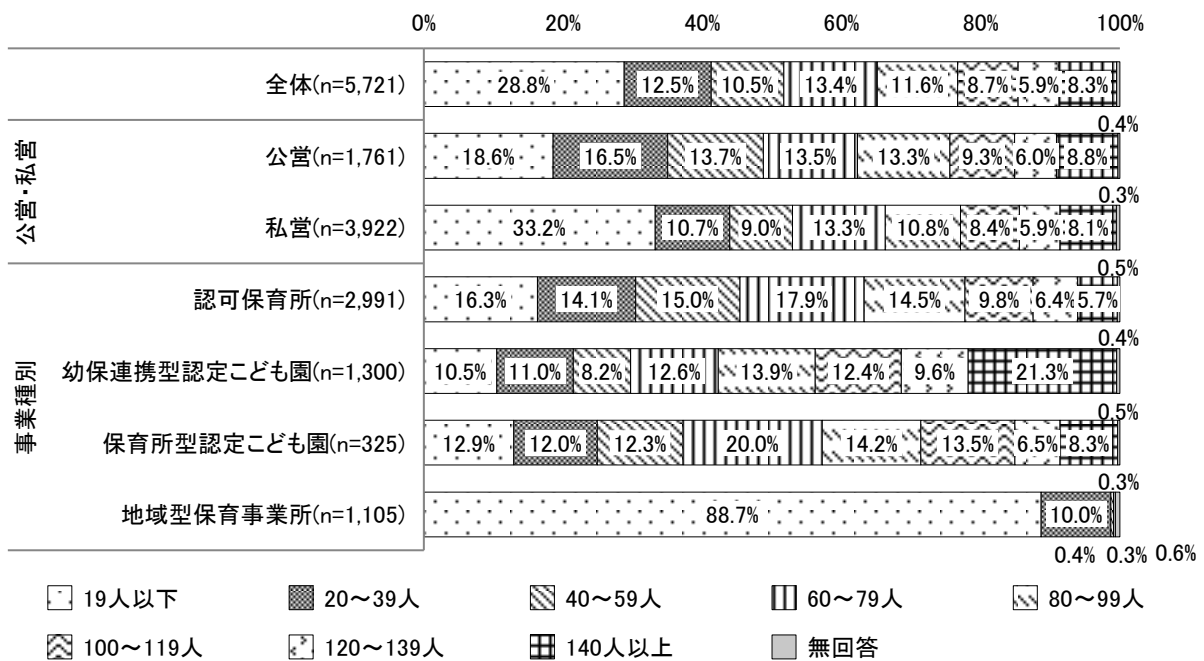
(14) 【施設票】年齢別現員数

施設における年齢別現員数（合計）についてみると、「全体」では、「19人以下」が28.8%でもっとも割合が高く、次いで「60～79人」が13.4%となっている。

公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「19人以下」の小規模な施設の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「幼保連携型認定こども園」では、他に比べて「140人以上」の割合が高くなっている。「地域型保育事業所」では、他に比べて「19人以下」の割合が高くなっている。

図表 3-29 年齢別現員数（合計）（2025年4月1日時点）：単数回答（問14-1より作成）



図表 3-30 年齢別現員数（2025年4月1日時点）（平均値）：数量回答（問14-1）

項目名	平均値
0歳児	3.8人 (n=5,473)
1歳児	9.8人 (n=5,621)
2歳児	11.4人 (n=5,629)
3歳児	15.2人 (n=4,870)
4歳児	15.5人 (n=4,846)
5歳児	16.0人 (n=4,844)
合計	64.3人 (n=5,696)

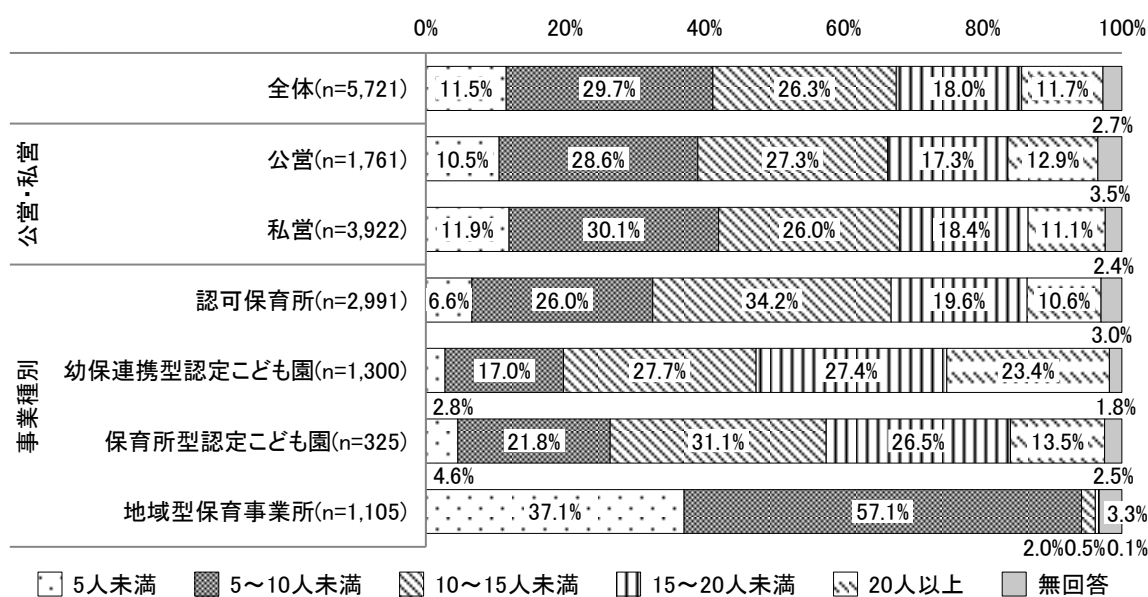
(15) 【施設票】保育士配置数

施設における保育士配置数（常勤換算・合計）についてみると、「全体」では、「5～10人未満」が29.7%でもっとも割合が高く、次いで「10～15人未満」が26.3%となっている。

公私別にみると、大きな差はみられない。

事業種別にみると、「幼保連携型認定こども園」では、他に比べて「20人以上」の割合が高くなっている。「地域型保育事業所」では、他に比べて『10人未満』（「5人未満」「5～10人未満」の合計）の割合が高くなっている。

図表 3-31 保育士配置数（常勤換算）（合計）：単数回答（問 14-2 より作成）



注) 保育士配置数にはパート、派遣の方等、正規の職員以外も含む。ただし、保育者として従事していない看護師・准看護師、保健師、栄養士、調理員、事務員、運転手等の職員は除く。

注) 常勤換算数＝「(従業員の1週間の勤務の延べ時間数(残業は除く)) ÷ (当事業所において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数(所定労働時間))」により算出。

図表 3-32 保育士配置数（常勤換算）（平均値）：数量回答（問 14-2）

項目名	平均値
0歳児	2.1人 (n=5,228)
1歳児	2.8人 (n=5,415)
2歳児	2.7人 (n=5,438)
3歳児	2.1人 (n=4,636)
4歳児	1.7人 (n=4,583)
5歳児	1.7人 (n=4,623)
合計	11.8人 (n=5,565)

(16) 【施設票】保育補助者等の職員数

保育補助者及び保育支援者について、施設種別及び施設の定員別にみた1施設当たりの常勤・非常勤の職員数は、それぞれ以下のとおりである。

「全体」の平均人数をみると、「保育補助者（有資格者）」は常勤（フルタイム）が1.3人、非常勤（パートタイム）が1.5人、「保育補助者（無資格者）」は常勤（フルタイム）が0.2人、非常勤（パートタイム）が0.8人、「保育支援者」は常勤（フルタイム）が0.1人、非常勤（パートタイム）が0.2人となっている。

図表 3-33 【事業種別】保育補助者等の1施設当たりの職員数（常勤・非常勤：実人数）（問15）  
【全体】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
常勤（フルタイム）	5,713	1.3	0	40	0	5,711	0.2	0	21	0	5,706	0.1	0	29	0
非常勤（パートタイム）	5,713	1.5	0	39	0	5,711	0.8	0	40	0	5,706	0.2	0	23	0
合計	5,713	2.8	0	69	0	5,711	1.0	0	40	0	5,706	0.3	0	42	0

注) 件数：施設数、平均・中央・最大・最小：人

注) 「保育補助者」は「保育補助者雇上強化事業」を活用して雇用されている方、「保育支援者」は「保育体制強化事業」を活用して雇用されている方のほか、園外活動時の見守り・スポット支援員を含む。以下同様。

【認可保育所】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
常勤（フルタイム）	2,986	1.6	0	40	0	2,986	0.2	0	16	0	2,983	0.1	0	19	0
非常勤（パートタイム）	2,986	1.6	0	39	0	2,986	1.0	0	40	0	2,983	0.3	0	23	0
合計	2,986	3.2	0	69	0	2,986	1.2	0	40	0	2,983	0.3	0	24	0

【幼保連携型認定こども園】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
常勤（フルタイム）	1,299	1.3	0	35	0	1,299	0.3	0	21	0	1,298	0.1	0	29	0
非常勤（パートタイム）	1,299	1.5	0	27	0	1,299	0.8	0	10	0	1,298	0.3	0	13	0
合計	1,299	2.8	0	52	0	1,299	1.1	0	25	0	1,298	0.4	0	42	0

【保育所型認定こども園】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
常勤（フルタイム）	325	1.2	0	31	0	324	0.3	0	4	0	324	0.1	0	2	0
非常勤（パートタイム）	325	1.1	0	24	0	324	0.5	0	6	0	324	0.2	0	6	0
合計	325	2.2	0	40	0	324	0.7	0	9	0	324	0.2	0	6	0

【小規模保育事業所】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
常勤（フルタイム）	939	0.8	0	8	0	938	0.1	0	3	0	937	0.0	0	5	0
非常勤（パートタイム）	939	1.2	0	16	0	938	0.4	0	8	0	937	0.2	0	15	0
合計	939	2.0	0	17	0	938	0.5	0	8	0	937	0.2	0	15	0

【事業所内保育事業所】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
常勤（フルタイム）	117	0.8	0	8	0	117	0.1	0	2	0	117	0.0	0	2	0
非常勤（パートタイム）	117	1.1	0	10	0	117	0.3	0	5	0	117	0.0	0	2	0
合計	117	1.9	0	16	0	117	0.4	0	6	0	117	0.1	0	2	0

【家庭的保育事業所】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
常勤（フルタイム）	47	0.5	0	4	0	47	0.1	0	1	0	47	0.1	0	2	0
非常勤（パートタイム）	47	1.6	1	6	0	47	1.5	2	4	0	47	0.2	0	3	0
合計	47	2.1	2	7	0	47	1.6	2	4	0	47	0.3	0	3	0

図表 3-34 【定員別】保育補助者等の1施設当たりの職員数（常勤・非常勤：実人数）（問15）

【全体】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
常勤（フルタイム）	5,713	1.3	0	40	0	5,711	0.2	0	21	0	5,706	0.1	0	29	0
非常勤（パートタイム）	5,713	1.5	0	39	0	5,711	0.8	0	40	0	5,706	0.2	0	23	0
合計	5,713	2.8	0	69	0	5,711	1.0	0	40	0	5,706	0.3	0	42	0

注）件数：施設数、平均・中央・最大・最小：人

注）「保育補助者」は「保育補助者雇上強化事業」を活用して雇用されている方、「保育支援者」は「保育体制強化事業」を活用して雇用されている方のほか、園外活動時の見守り・スポット支援員を含む。以下同様。

【19人以下】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
常勤（フルタイム）	1,070	0.8	0	14	0	1,068	0.1	0	3	0	1,067	0.0	0	5	0
非常勤（パートタイム）	1,070	1.2	0	16	0	1,068	0.4	0	8	0	1,067	0.2	0	15	0
合計	1,070	1.9	0	17	0	1,068	0.5	0	8	0	1,067	0.2	0	15	0

【20～40人】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
常勤（フルタイム）	584	1.0	0	27	0	584	0.2	0	6	0	583	0.0	0	8	0
非常勤（パートタイム）	584	1.1	0	13	0	584	0.5	0	7	0	583	0.2	0	6	0
合計	584	2.1	0	31	0	584	0.6	0	7	0	583	0.2	0	8	0

【41～60人】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
常勤（フルタイム）	773	1.3	0	29	0	773	0.2	0	6	0	772	0.1	0	3	0
非常勤（パートタイム）	773	1.3	0	18	0	773	0.7	0	14	0	772	0.2	0	5	0
合計	773	2.5	0	36	0	773	0.9	0	14	0	772	0.3	0	5	0

【61～90 人】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
常勤（フルタイム）	1,167	1.4	0	25	0	1,167	0.2	0	11	0	1,167	0.1	0	11	0
非常勤（パートタイム）	1,167	1.3	0	20	0	1,167	0.7	0	13	0	1,167	0.2	0	9	0
合計	1,167	2.7	0	35	0	1,167	0.9	0	13	0	1,167	0.3	0	13	0

【91～120 人】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
常勤（フルタイム）	976	1.6	0	29	0	976	0.3	0	21	0	974	0.1	0	19	0
非常勤（パートタイム）	976	1.8	0	34	0	976	1.0	0	18	0	974	0.3	0	16	0
合計	976	3.4	0	44	0	976	1.3	0	25	0	974	0.4	0	24	0

【121～150 人】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
常勤（フルタイム）	567	1.9	0	31	0	567	0.2	0	7	0	567	0.1	0	14	0
非常勤（パートタイム）	567	1.6	0	22	0	567	1.2	0	20	0	567	0.4	0	23	0
合計	567	3.5	0	41	0	567	1.4	0	22	0	567	0.5	0	23	0

【151 人以上】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
常勤（フルタイム）	574	2.0	0	40	0	574	0.4	0	16	0	574	0.2	0	29	0
非常勤（パートタイム）	574	2.4	0	39	0	574	1.3	0	40	0	574	0.4	0	13	0
合計	574	4.3	0	69	0	574	1.7	0	40	0	574	0.5	0	42	0

### (17) 【施設票】保育補助者等の雇用形態

保育補助者及び保育支援者がいる施設について、施設種別及び施設の定員別にみた1施設当たりの雇用形態別の職員数は、それぞれ以下のとおりである。

「全体」の平均人数をみると、「保育補助者（有資格者）」は正規職員が2.4人、有期契約職員（フルタイム）が1.3人、有期契約職員（パートタイム）が3.7人、派遣社員が0.2人、スポットワーカーが0.0人となっている。

同じく、「保育補助者（無資格者）」は正規職員が0.2人、有期契約職員（フルタイム）が0.4人、有期契約職員（パートタイム）が1.9人、派遣社員が0.0人、スポットワーカーが0.0人となっている。

「保育支援者」は正規職員が0.3人、有期契約職員（フルタイム）が0.2人、有期契約職員（パートタイム）が1.4人、派遣社員が0.1人、スポットワーカーが0.1人となっている。

図表 3-35 【事業種別】保育補助者等の1施設当たりの職員数（各雇用形態：実人数）（問16）

#### 【全体】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
正規職員	1,802	2.4	0	35	0	2,152	0.2	0	7	0	795	0.3	0	29	0
有期契約職員(フルタイム)	1,802	1.3	0	32	0	2,152	0.4	0	11	0	795	0.2	0	8	0
有期契約職員(パートタイム)	1,802	3.7	3	39	0	2,152	1.9	1	40	0	795	1.4	1	23	0
派遣社員	1,802	0.2	0	8	0	2,152	0.0	0	6	0	795	0.1	0	6	0
スポットワーカー	1,802	0.0	0	14	0	2,152	0.0	0	6	0	795	0.1	0	15	0
不明	1,802	0.1	0	27	0	2,152	0.0	0	12	0	795	0.0	0	3	0

注) 件数：施設数、平均・中央・最大・最小：人

注) 「保育補助者」は「保育補助者雇上強化事業」を活用して雇用されている方、「保育支援者」は「保育体制強化事業」を活用して雇用されている方のほか、園外活動時の見守り・スポット支援員を含む。以下同様。

注) スポットワーカーとは、短時間かつ単発の就労を内容とする雇用契約の下で働く者（主にスマートフォンのアプリを経由してマッチングが行われる者）を指す。以下同様。

#### 【認可保育所】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
正規職員	1,003	2.5	0	31	0	1,207	0.1	0	7	0	408	0.4	0	19	0
有期契約職員(フルタイム)	1,003	1.5	0	32	0	1,207	0.4	0	10	0	408	0.3	0	8	0
有期契約職員(パートタイム)	1,003	3.8	3	39	0	1,207	2.2	1	40	0	408	1.5	1	23	0
派遣社員	1,003	0.2	0	8	0	1,207	0.0	0	5	0	408	0.0	0	5	0
スポットワーカー	1,003	0.0	0	14	0	1,207	0.0	0	6	0	408	0.0	0	4	0
不明	1,003	0.1	0	27	0	1,207	0.0	0	12	0	408	0.0	0	3	0

#### 【幼保連携型認定こども園】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
正規職員	313	3.2	0	35	0	497	0.3	0	6	0	222	0.3	0	29	0
有期契約職員(フルタイム)	313	1.7	0	24	0	497	0.5	0	11	0	222	0.2	0	3	0
有期契約職員(パートタイム)	313	4.8	3	27	0	497	1.8	1	10	0	222	1.5	1	13	0
派遣社員	313	0.1	0	4	0	497	0.0	0	6	0	222	0.1	0	6	0
スポットワーカー	313	0.0	0	3	0	497	0.0	0	2	0	222	0.0	0	3	0
不明	313	0.0	0	9	0	497	0.0	0	3	0	222	0.1	0	3	0

【保育所型認定こども園】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
正規職員	77	3.4	0	31	0	110	0.2	0	4	0	37	0.1	0	1	0
有期契約職員(フルタイム)	77	1.3	1	8	0	110	0.6	0	4	0	37	0.3	0	2	0
有期契約職員(パートタイム)	77	3.6	2	24	0	110	1.4	1	6	0	37	1.1	1	5	0
派遣社員	77	0.1	0	3	0	110	0.0	0	1	0	37	0.2	0	6	0
スポットワーカー	77	0.0	0	0	0	110	0.0	0	0	0	37	0.0	0	0	0
不明	77	0.0	0	0	0	110	0.0	0	1	0	37	0.1	0	1	0

【小規模保育事業所】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
正規職員	338	1.5	0	8	0	280	0.2	0	5	0	114	0.2	0	3	0
有期契約職員(フルタイム)	338	0.6	0	7	0	280	0.1	0	3	0	114	0.1	0	2	0
有期契約職員(パートタイム)	338	2.6	2	13	0	280	1.1	1	8	0	114	0.9	1	3	0
派遣社員	338	0.1	0	2	0	280	0.0	0	1	0	114	0.0	0	1	0
スポットワーカー	338	0.0	0	3	0	280	0.0	0	2	0	114	0.2	0	15	0
不明	338	0.1	0	6	0	280	0.0	0	2	0	114	0.1	0	1	0

【事業所内保育事業所】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
正規職員	38	1.4	0	6	0	24	0.3	0	2	0	5	0.6	0	2	0
有期契約職員(フルタイム)	38	0.6	0	7	0	24	0.3	0	1	0	5	0.2	0	1	0
有期契約職員(パートタイム)	38	2.9	3	16	0	24	1.1	1	5	0	5	0.6	0	2	0
派遣社員	38	0.1	0	2	0	24	0.0	0	1	0	5	0.0	0	0	0
スポットワーカー	38	0.0	0	0	0	24	0.0	0	0	0	5	0.0	0	0	0
不明	38	0.1	0	4	0	24	0.0	0	1	0	5	0.0	0	0	0

【家庭的保育事業所】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
正規職員	33	0.8	1	3	0	34	0.2	0	4	0	9	0.6	0	2	0
有期契約職員(フルタイム)	33	0.0	0	1	0	34	0.1	0	1	0	9	0.0	0	0	0
有期契約職員(パートタイム)	33	2.2	2	6	0	34	1.8	2	3	0	9	1.0	1	3	0
派遣社員	33	0.0	0	0	0	34	0.0	0	0	0	9	0.0	0	0	0
スポットワーカー	33	0.0	0	0	0	34	0.0	0	0	0	9	0.0	0	0	0
不明	33	0.0	0	0	0	34	0.0	0	1	0	9	0.0	0	0	0

図表 3-36 【定員別】保育補助者等の1施設当たりの職員数（各雇用形態：実人数）（問16）

【全体】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
正規職員	1,802	2.4	0	35	0	2,152	0.2	0	7	0	795	0.3	0	29	0
有期契約職員(フルタイム)	1,802	1.3	0	32	0	2,152	0.4	0	11	0	795	0.2	0	8	0
有期契約職員(パートタイム)	1,802	3.7	3	39	0	2,152	1.9	1	40	0	795	1.4	1	23	0
派遣社員	1,802	0.2	0	8	0	2,152	0.0	0	6	0	795	0.1	0	6	0
スポットワーカー	1,802	0.0	0	14	0	2,152	0.0	0	6	0	795	0.1	0	15	0
不明	1,802	0.1	0	27	0	2,152	0.0	0	12	0	795	0.0	0	3	0

注) 件数：施設数、平均・中央・最大・最小：人

注) 「保育補助者」は「保育補助者雇上強化事業」を活用して雇用されている方、「保育支援者」は「保育体制強化事業」を活用して雇用されている方のほか、園外活動時の見守り・スポット支援員を含む。以下同様。

【19人以下】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
正規職員	401	1.4	0	14	0	322	0.2	0	5	0	122	0.2	0	2	0
有期契約職員(フルタイム)	401	0.5	0	7	0	322	0.1	0	3	0	122	0.1	0	2	0
有期契約職員(パートタイム)	401	2.5	2	13	0	322	1.1	1	8	0	122	0.9	1	3	0
派遣社員	401	0.0	0	2	0	322	0.0	0	1	0	122	0.0	0	1	0
スポットワーカー	401	0.0	0	3	0	322	0.0	0	2	0	122	0.2	0	15	0
不明	401	0.1	0	8	0	322	0.0	0	2	0	122	0.0	0	1	0

【20～40人】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
正規職員	211	1.7	0	27	0	196	0.1	0	2	0	65	0.3	0	8	0
有期契約職員(フルタイム)	211	0.8	0	10	0	196	0.3	0	4	0	65	0.1	0	2	0
有期契約職員(パートタイム)	211	2.5	2	16	0	196	1.4	1	7	0	65	1.3	1	8	0
派遣社員	211	0.1	0	6	0	196	0.0	0	1	0	65	0.0	0	0	0
スポットワーカー	211	0.0	0	4	0	196	0.0	0	1	0	65	0.0	0	2	0
不明	211	0.0	0	4	0	196	0.0	0	1	0	65	0.0	0	1	0

【41～60人】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
正規職員	277	2.1	0	29	0	294	0.2	0	4	0	107	0.1	0	3	0
有期契約職員(フルタイム)	277	1.0	0	13	0	294	0.5	0	5	0	107	0.3	0	3	0
有期契約職員(パートタイム)	277	2.8	2	18	0	294	1.5	1	14	0	107	1.2	1	5	0
派遣社員	277	0.2	0	8	0	294	0.0	0	2	0	107	0.0	0	2	0
スポットワーカー	277	0.0	0	4	0	294	0.0	0	1	0	107	0.0	0	0	0
不明	277	0.0	0	4	0	294	0.0	0	2	0	107	0.0	0	3	0

【61～90人】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
正規職員	335	2.6	0	23	0	448	0.1	0	3	0	158	0.2	0	10	0
有期契約職員(フルタイム)	335	1.4	0	14	0	448	0.5	0	8	0	158	0.3	0	5	0
有期契約職員(パートタイム)	335	3.6	3	15	0	448	1.7	1	13	0	158	1.3	1	9	0
派遣社員	335	0.2	0	6	0	448	0.0	0	3	0	158	0.0	0	1	0
スポットワーカー	335	0.0	0	9	0	448	0.0	0	5	0	158	0.1	0	3	0
不明	335	0.0	0	8	0	448	0.0	0	1	0	158	0.0	0	1	0

【91～120人】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
正規職員	270	3.1	0	27	0	413	0.2	0	6	0	144	0.3	0	19	0
有期契約職員(フルタイム)	270	1.9	0	17	0	413	0.4	0	10	0	144	0.3	0	8	0
有期契約職員(パートタイム)	270	4.8	4	24	0	413	2.2	1	18	0	144	1.6	1	15	0
派遣社員	270	0.2	0	6	0	413	0.0	0	2	0	144	0.0	0	2	0
スポットワーカー	270	0.0	0	3	0	413	0.0	0	3	0	144	0.0	0	1	0
不明	270	0.0	0	9	0	413	0.0	0	2	0	144	0.1	0	3	0

【121～150人】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
正規職員	150	3.9	0	32	0	234	0.1	0	3	0	92	0.4	0	15	0
有期契約職員(フルタイム)	150	2.0	0	22	0	234	0.5	0	7	0	92	0.2	0	2	0
有期契約職員(パートタイム)	150	4.9	4	22	0	234	2.7	2	19	0	92	1.8	1	23	0
派遣社員	150	0.3	0	7	0	234	0.1	0	5	0	92	0.1	0	6	0
スポットワーカー	150	0.1	0	9	0	234	0.0	0	6	0	92	0.0	0	0	0
不明	150	0.2	0	27	0	234	0.0	0	3	0	92	0.1	0	3	0

【151人以上】

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
正規職員	157	3.7	0	35	0	244	0.3	0	7	0	107	0.7	0	29	0
有期契約職員(フルタイム)	157	2.7	0	32	0	244	0.6	0	11	0	107	0.2	0	8	0
有期契約職員(パートタイム)	157	7.2	5	39	0	244	2.8	2	40	0	107	1.7	1	13	0
派遣社員	157	0.1	0	3	0	244	0.1	0	6	0	107	0.2	0	6	0
スポットワーカー	157	0.1	0	14	0	244	0.0	0	4	0	107	0.1	0	4	0
不明	157	0.0	0	5	0	244	0.1	0	12	0	107	0.0	0	3	0

(18) 【施設票】採用に必須としている資格等

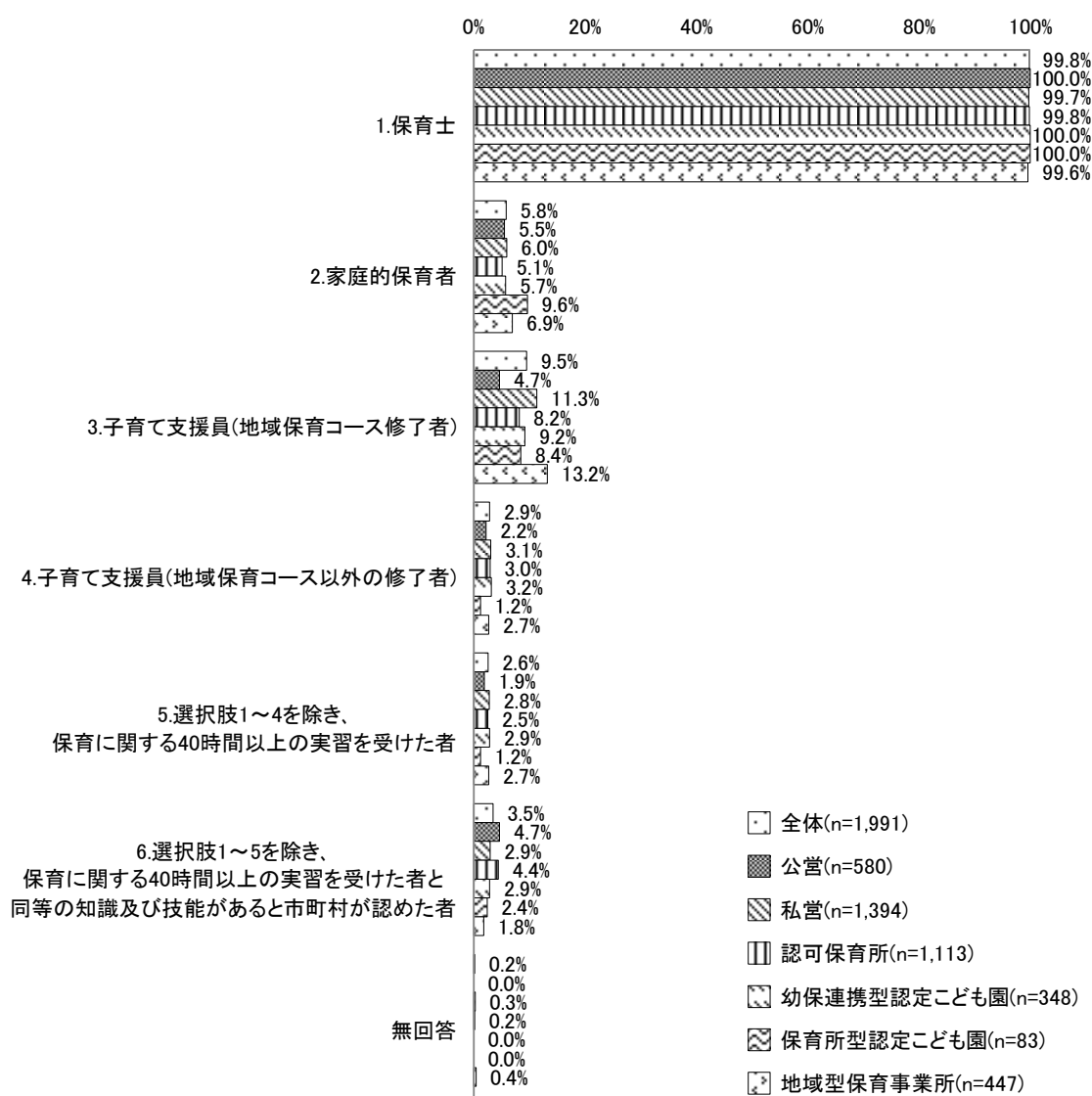
①保育補助者(保育士資格あり)の採用に必須としている資格等

保育補助者(保育士資格あり)を雇用している施設について、採用に必須としている資格等をみると、「全体」では、「1. 保育士」が 99.8%でもっとも割合が高く、次いで「3. 子育て支援員(地域保育コース修了者)」が 9.5%となっている。

公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「3. 子育て支援員(地域保育コース修了者)」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「3. 子育て支援員(地域保育コース修了者)」の割合が高くなっている。

図表 3-37 保育補助者(保育士資格あり)の採用に必須としている資格等：複数回答(問17-1)



注) 「全体」「私営」「認可保育所」「地域型保育事業所」においては、それぞれ無回答が存在するため、「1. 保育士」の回答割合は 100%となっていない。

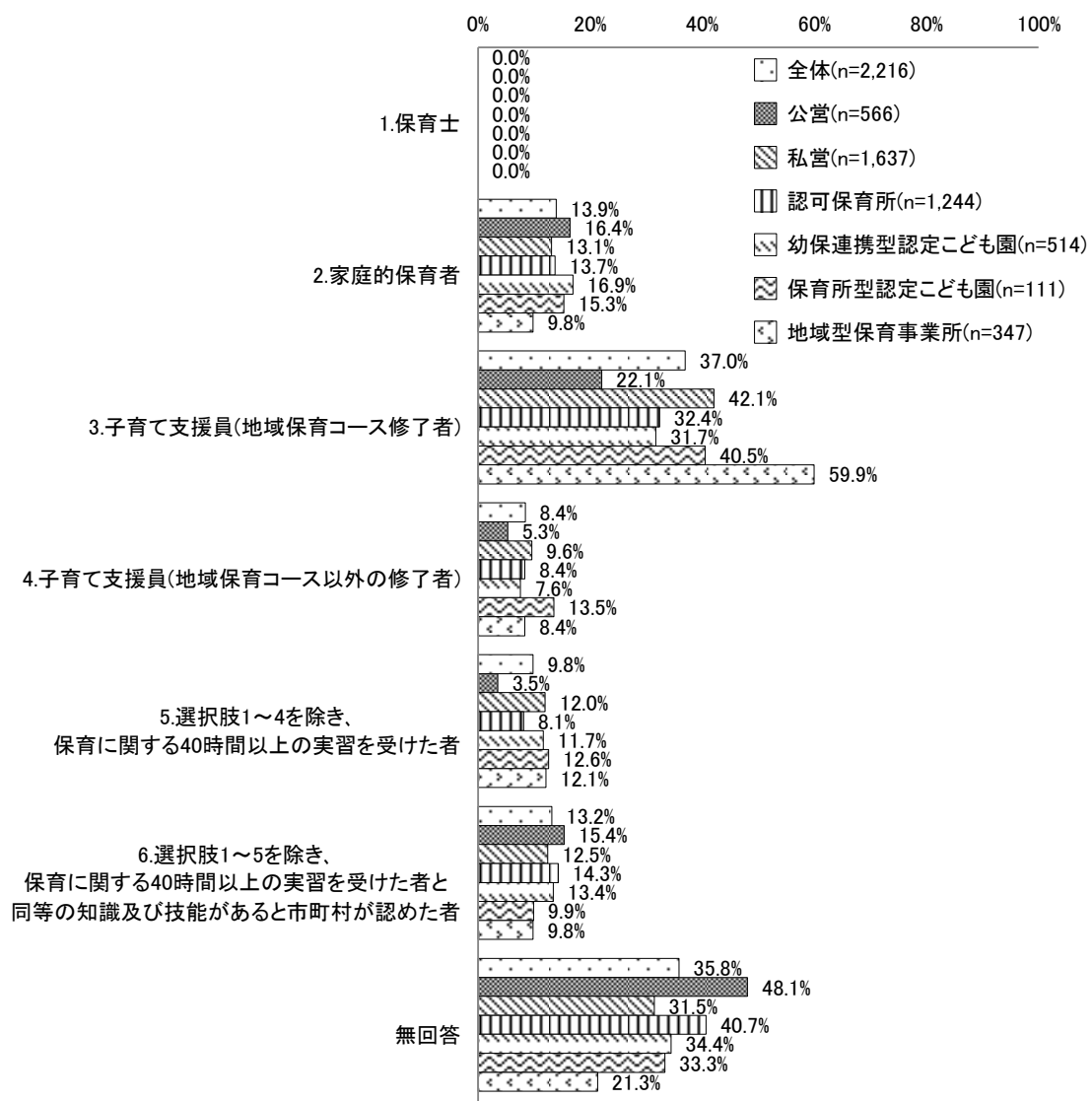
## ②保育補助者(保育士資格なし)の採用に必須としている資格等

保育補助者(保育士資格なし)を雇用している施設について、採用に必須としている資格等をみると、「全体」では、「3. 子育て支援員(地域保育コース修了者)」が37.0%でもっとも割合が高く、次いで「家庭的保育者」が13.9%となっている。

公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「3. 子育て支援員(地域保育コース修了者)」 「5. 選択肢1~4を除き、保育に関する40時間以上の実習を受けた者」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、他に比べて「保育所型認定こども園」では「4. 子育て支援員(地域保育コース以外の修了者)」、「地域型保育事業所」では「3. 子育て支援員(地域保育コース修了者)」の割合が高くなっている。

図表 3-38 保育補助者(保育士資格なし)の採用に必須としている資格等：複数回答(問17-2)



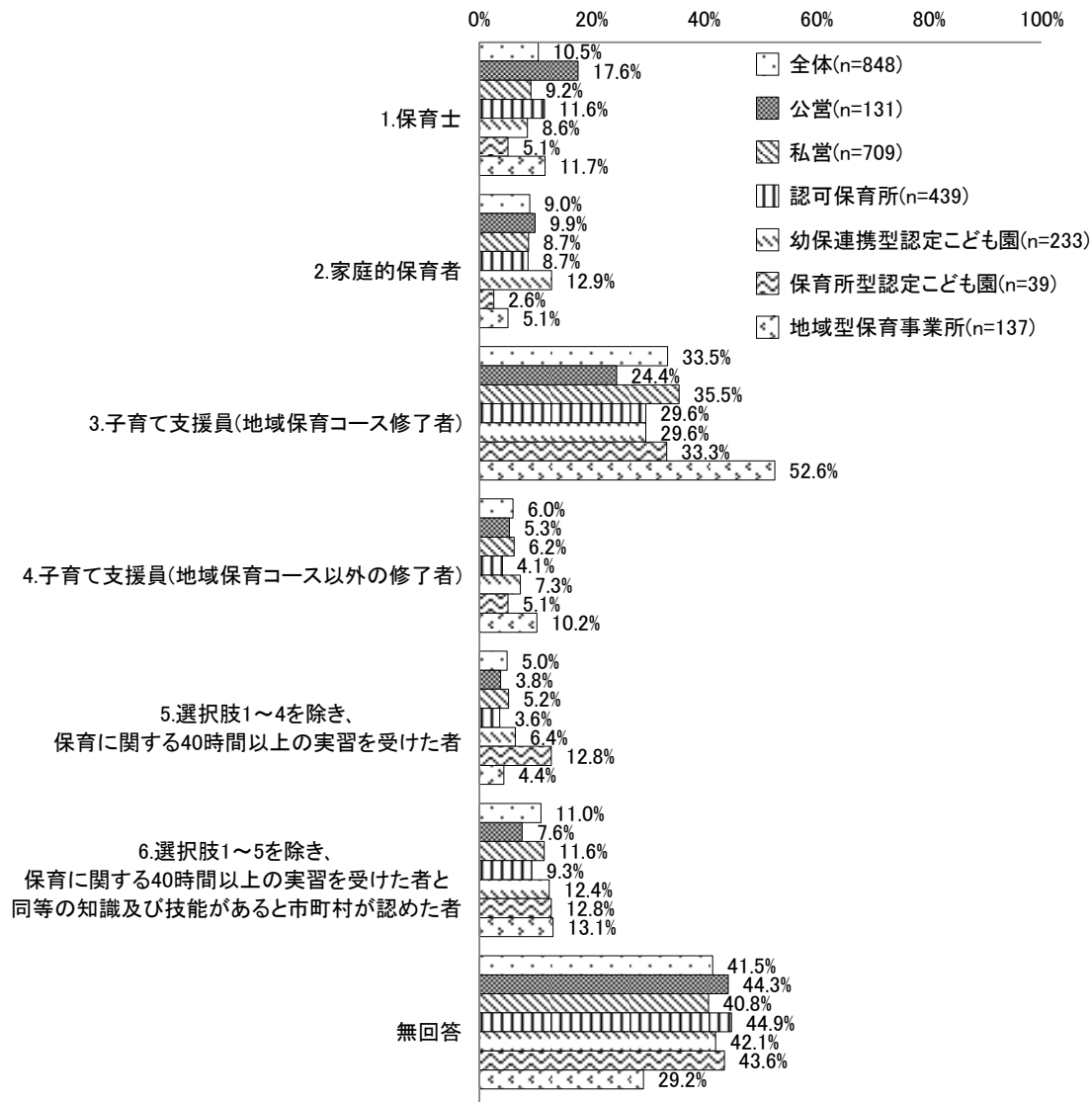
### ③保育支援者の採用に必須としている資格等

保育支援者を雇用している施設について、採用に必須としている資格等をみると、「全体」では、「3. 子育て支援員(地域保育コース修了者)」が33.5%でもっとも割合が高く、次いで「6. 選択肢1～5を除き、保育に関する40時間以上の実習を受けた者と同等の知識及び技能があると市町村が認めた者」が11.0%となっている。

公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「3. 子育て支援員(地域保育コース修了者)」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、他に比べて「保育所型認定こども園」では「5. 選択肢1～4を除き、保育に関する40時間以上の実習を受けた者」、「地域型保育事業所」では「3. 子育て支援員(地域保育コース修了者)」の割合が高くなっている。

図表 3-39 保育支援者の採用に必須としている資格等：複数回答（問17-3）



(19) 【施設票】資格保有人数

保育補助者及び保育支援者がいる施設について、1施設当たりの資格保有人数の平均人数をみると、「保育補助者（有資格者）」は保育士が5.8人、家庭的保育者（研修受講者）が0.1人、子育て支援員（研修受講者）が0.2人、「保育補助者（無資格者）」は家庭的保育者（研修受講者）が0.2人、子育て支援員（研修受講者）が1.2人、「保育支援者」は保育士が0.6人、家庭的保育者（研修受講者）が0.1人、子育て支援員（研修受講者）が0.9人となっている。

図表 3-40 保育補助者等の1施設当たりの資格保有人数（問18）

	保育補助者（有資格）					保育補助者（無資格）					保育支援者				
	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小	件数	平均	中央	最大	最小
保育士	1,627	5.8	4	47	0	-	-	-	-	-	383	0.6	0	24	0
家庭的保育者（研修受講者）	783	0.1	0	8	0	1,047	0.2	0	14	0	357	0.1	0	3	0
子育て支援員（研修受講者）	831	0.2	0	7	0	1,536	1.2	1	12	0	519	0.9	1	6	0
不明	789	0.2	0	25	0	1,200	0.6	0	18	0	436	0.7	0	16	0

注) 件数：施設数、平均・中央・最大・最小：人

注) 「保育補助者」は「保育補助者雇上強化事業」を活用して雇用されている方、「保育支援者」は「保育体制強化事業」を活用して雇用されている方のほか、園外活動時の見守り・スポット支援員を含む。

(20) 【施設票】 保育補助者等を雇用している時間帯

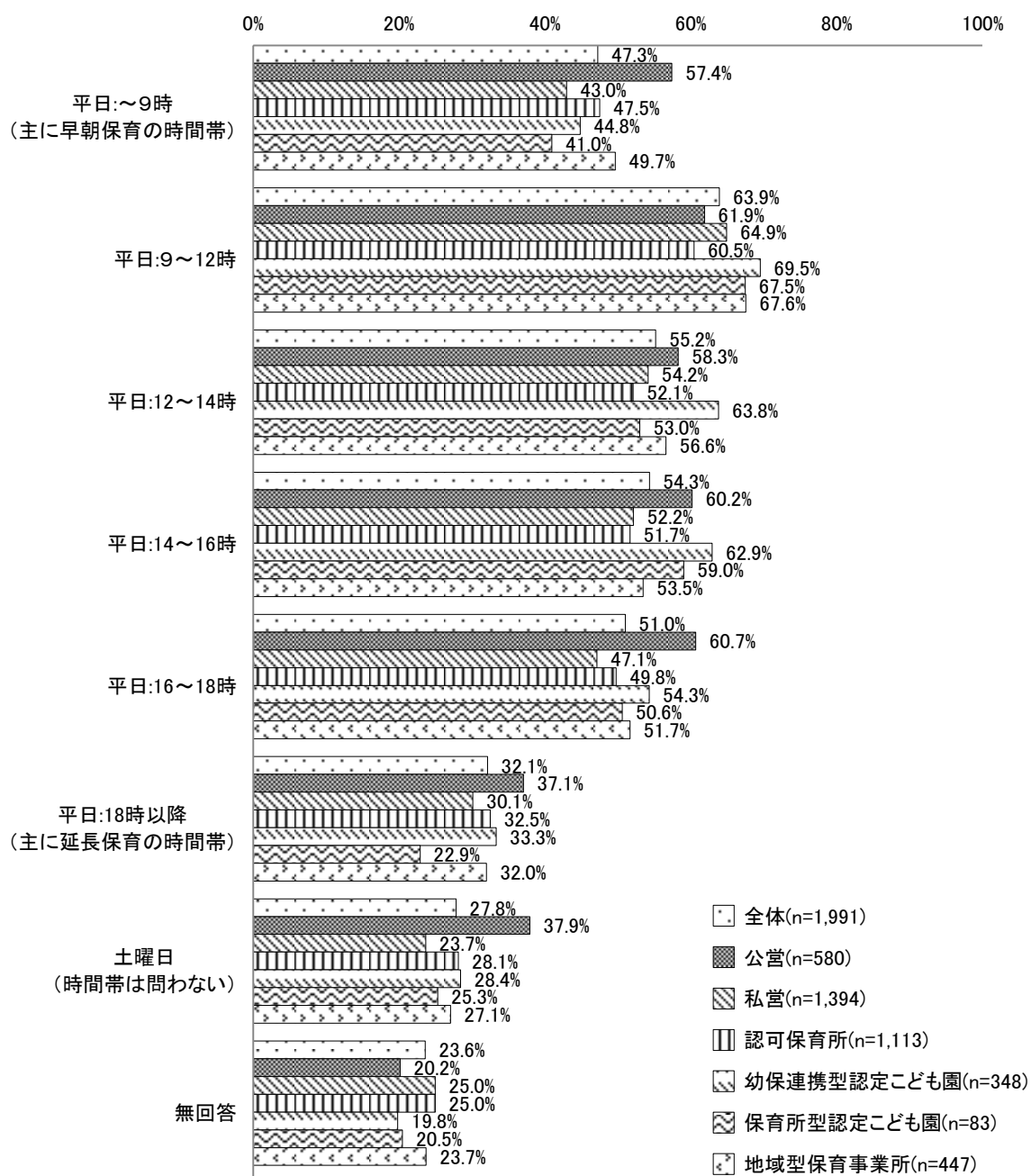
① 保育補助者(保育士資格あり)を雇用している時間帯

保育補助者(保育士資格あり)を雇用している施設について、雇用している時間帯をみると、「全体」では、「平日：9～12時」が63.9%でもっとも割合が高く、次いで「平日：12～14時」が55.2%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「平日：～9時(主に早朝保育の時間帯)」「平日：16～18時」「土曜日(時間帯は問わない)」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「幼保連携型認定こども園」では、他に比べて「平日：12～14時」「平日14～16時」の割合が高くなっている。

図表 3-41 保育補助者(保育士資格あり)を雇用している時間帯：複数回答(問19-1)



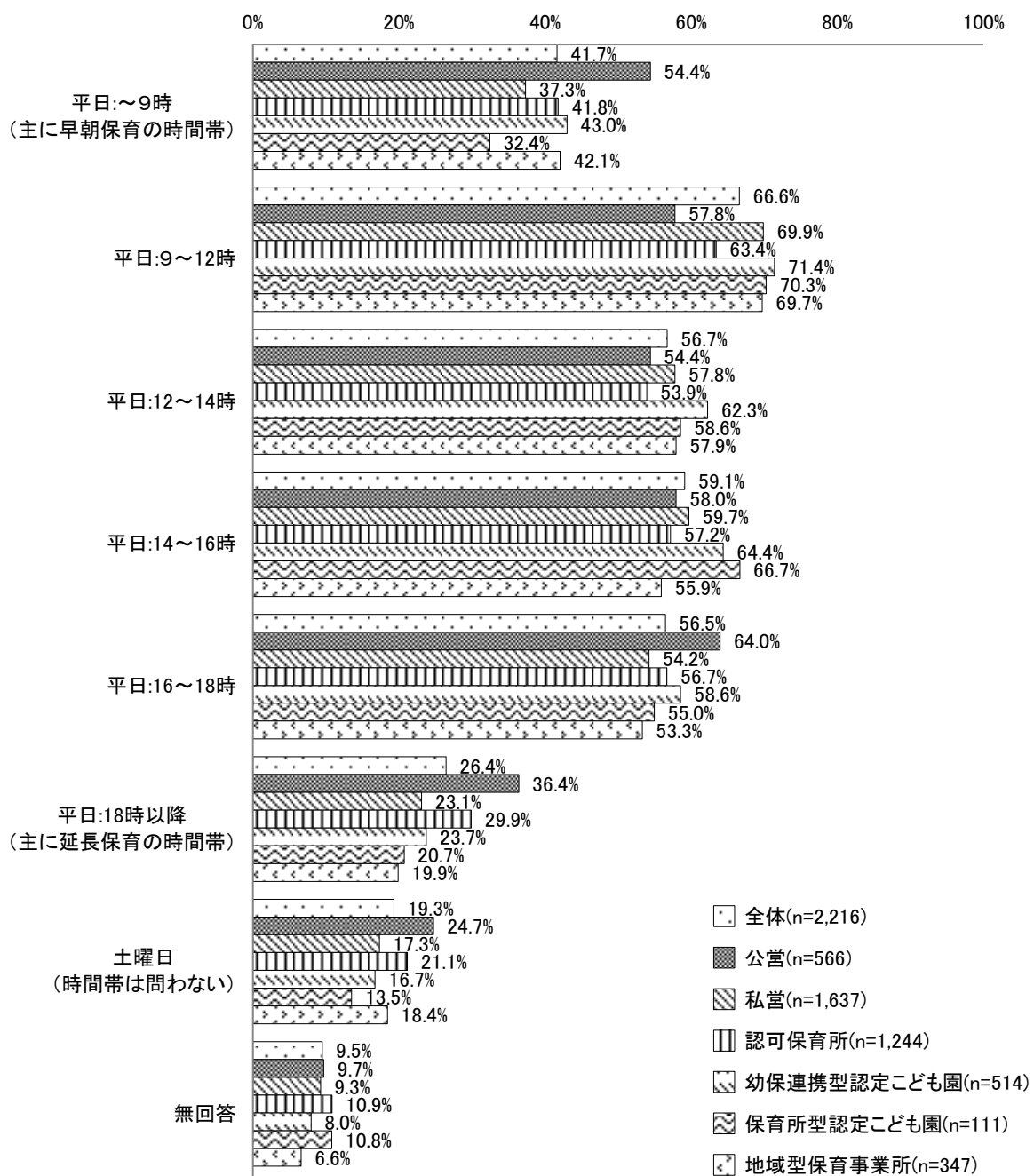
## ②保育補助者（保育士資格なし）を雇用している時間帯

保育補助者（保育士資格なし）を雇用している施設について、雇用している時間帯をみると、「全体」では、「平日：9～12時」が66.6%でもっとも割合が高く、次いで「平日：14～16時」が59.1%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「平日：～9時（主に早朝保育の時間帯）」「平日：16～18時」「平日：18時以降（主に延長保育の時間帯）」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「認可保育所」では、他に比べて「平日：18時以降（主に延長保育の時間帯）」の割合が高くなっている。

図表 3-42 保育補助者（保育士資格なし）を雇用している時間帯：複数回答（問 19-2）



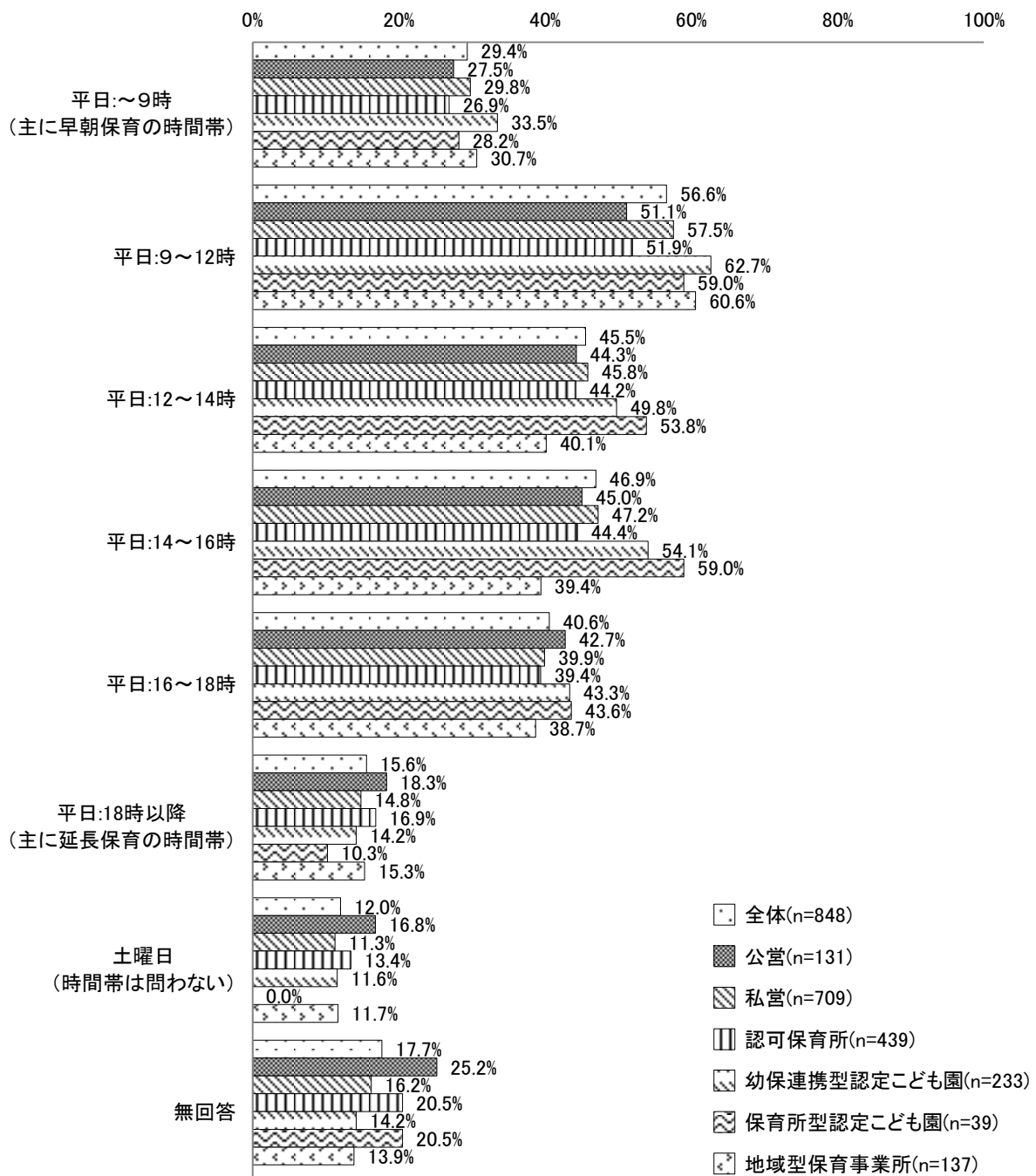
### ③保育支援者を雇用している時間帯

保育支援者を雇用している施設について、雇用している時間帯をみると、「全体」では、「平日：9～12時」が56.6%でもっとも割合が高く、次いで「平日：14～16時」が46.9%となっている。

公私別にみると、「公営」では「土曜日（時間帯は問わない）」、「私営」では「平日：9～12時」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「幼保連携型認定こども園」「保育所型認定こども園」では、他に比べて「平日：12～14時」、「平日：14～16時」の割合が高くなっている。

図表 3-43 保育支援者を雇用している時間帯：複数回答（問19-3）



(21) 【施設票】雇用している保育補助者等の年齢層

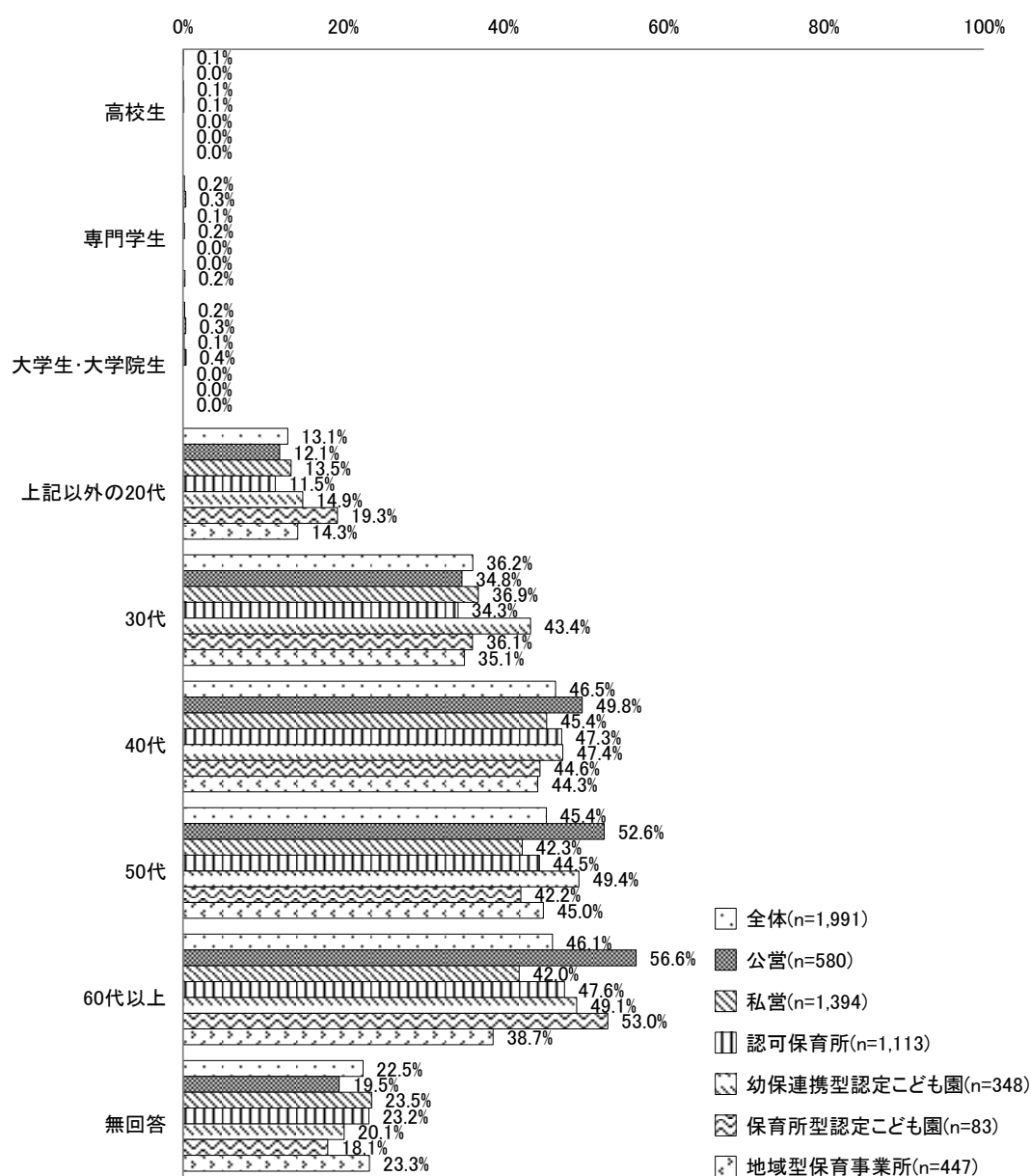
①雇用している保育補助者(保育士資格あり)の年齢層

保育補助者(保育士資格あり)を雇用している施設について、雇用している保育補助者(保育士資格あり)の年齢層をみると、「全体」では、「40代」が46.5%でもっとも割合が高く、次いで「60代以上」が46.1%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて『50代以上』(「50代」「60代以上」)の割合が高くなっている。

事業種別にみると、他に比べて、「幼保連携型認定こども園」では「30代」の割合が高く、「地域型保育事業所」では「60代以上」の割合が低くなっている。

図表 3-44 雇用している保育補助者(保育士資格あり)の年齢層：複数回答(問20-1)



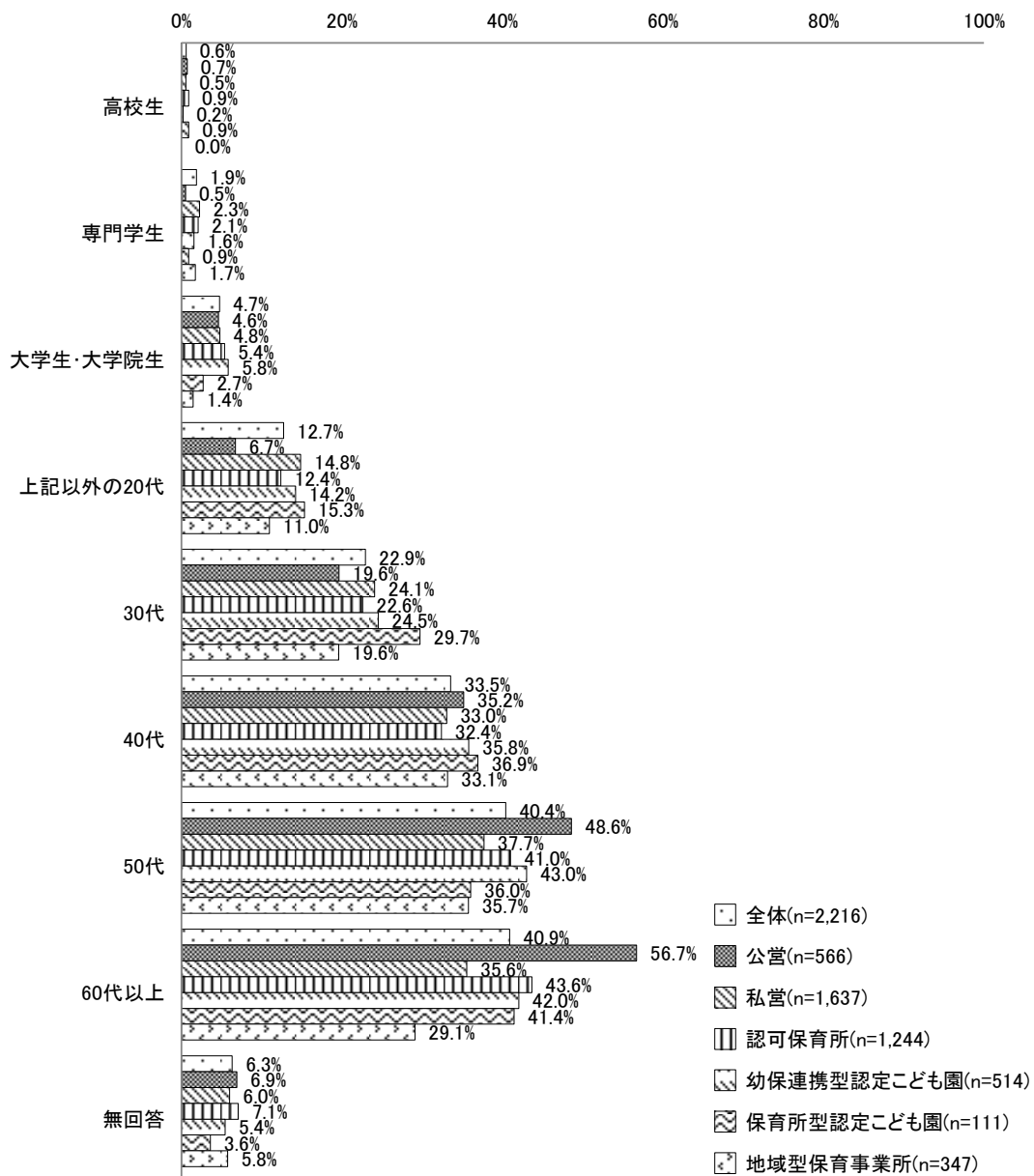
## ②雇用している保育補助者(保育士資格なし)の年齢層

保育補助者(保育士資格なし)を雇用している施設について、雇用している保育補助者(保育士資格なし)の年齢層をみると、「全体」では、「60代以上」が40.9%でもっとも割合が高く、次いで「50代」が40.4%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて『50代以上』(「50代」「60代以上」)の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「保育所型認定こども園」では、他に比べて「30代」の割合が高く、「地域型保育事業所」では、他に比べて「60代以上」の割合が低くなっている。

図表 3-45 雇用している保育補助者(保育士資格なし)の年齢層：複数回答(問20-2)



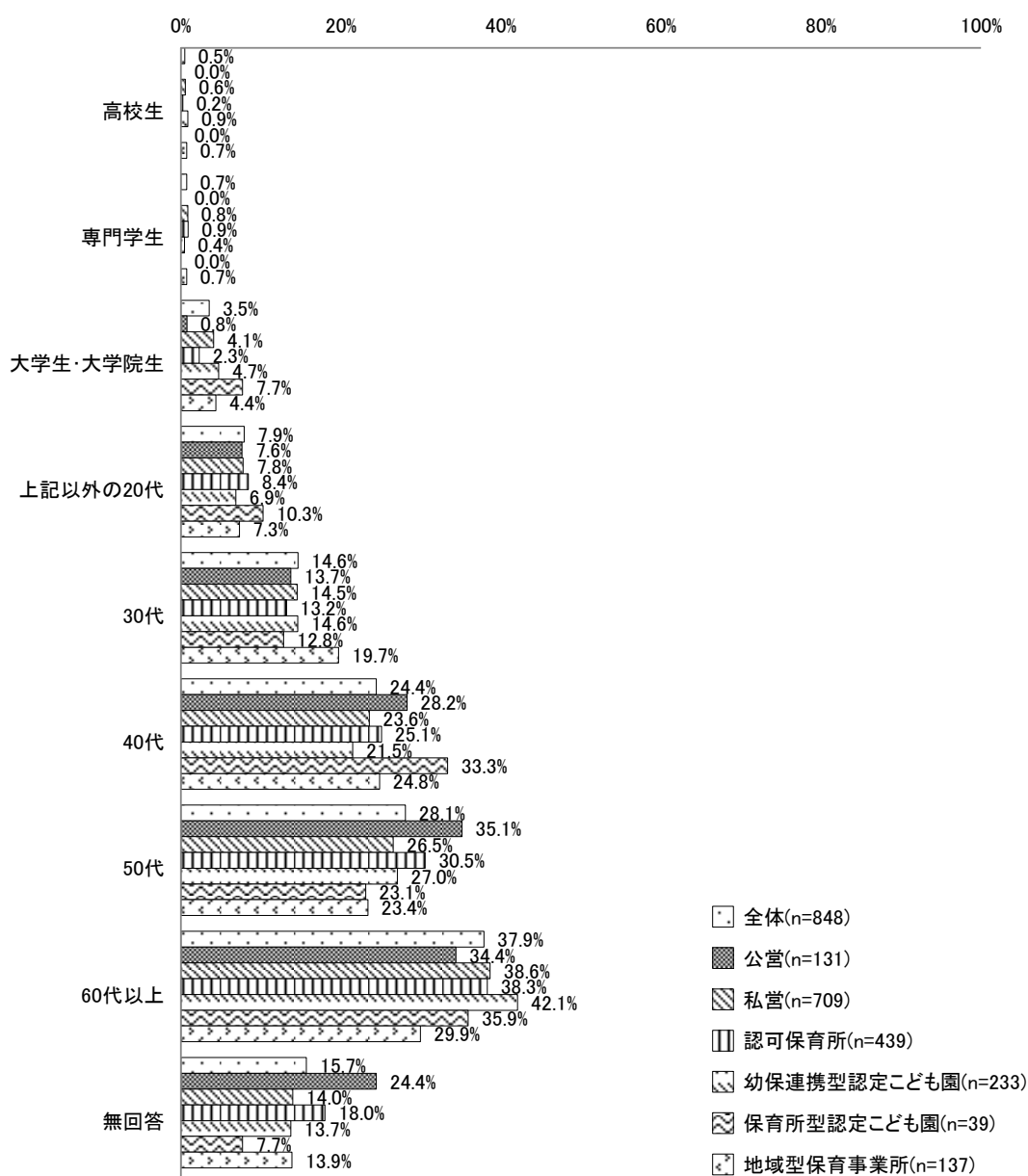
### ③雇用している保育支援者の年齢層

保育支援者を雇用している施設について、雇用している保育支援者の年齢層をみると、「全体」では、「60代以上」が37.9%でもっとも割合が高く、次いで「50代」が28.1%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて『40～50代』（「40代」「50代」）の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「30代」の割合が高く、「60代以上」の割合が低くなっている。

図表 3-46 雇用している保育支援者の年齢層：複数回答（問20-2）



## (22) 【共通】保育補助者等の業務内容

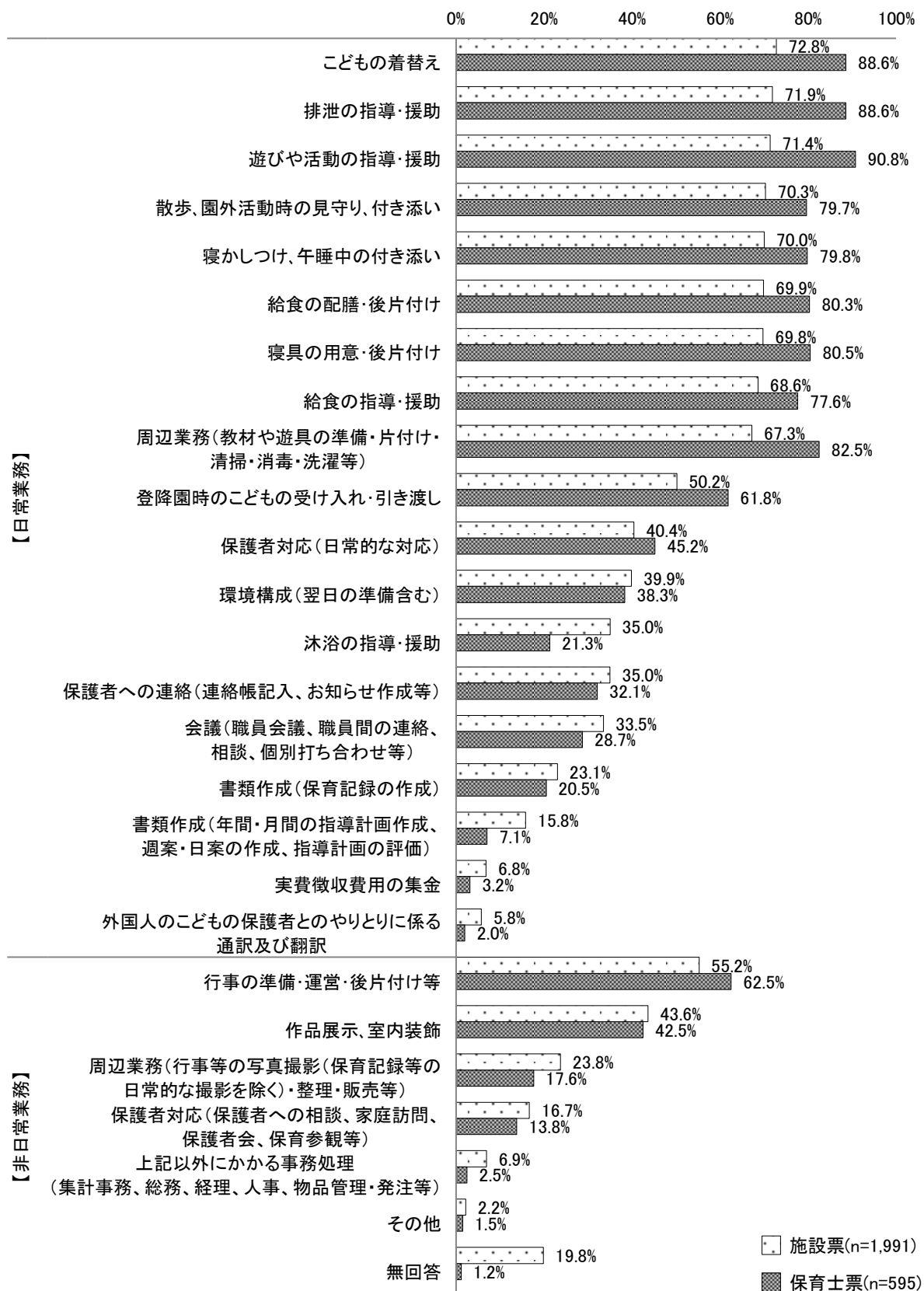
### ①保育補助者(保育士資格あり)の業務内容

保育補助者(保育士資格あり)を雇用している施設又は回答者本人が保育補助者(保育士資格あり)の場合、保育補助者(保育士資格あり)の業務内容について、調査種別にみると、「施設票」では、「こどもの着替え」が72.8%でもっとも割合が高く、次いで「排泄の指導・援助」が71.9%となっている。「保育士票」(保育補助者本人)では、「遊びや活動の指導・援助」が90.8%でもっとも割合が高く、次いで「こどもの着替え」「排泄の指導・援助」が88.6%となっている。

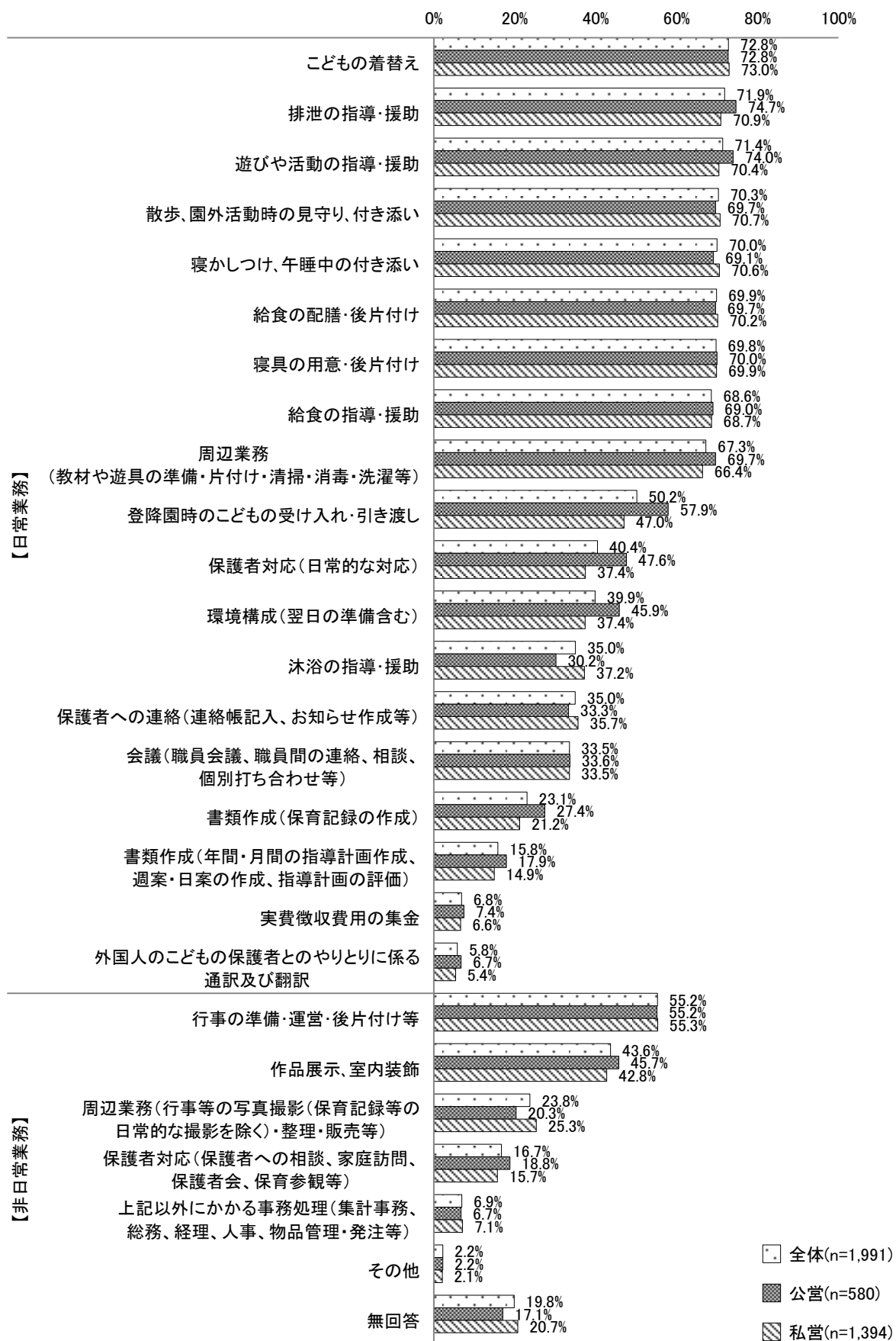
施設票に限定して、公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し」「保護者対応(日常的な対応)」「環境構成(翌日の準備含む)」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「会議(職員会議、職員間の連絡、相談、個別打ち合わせ等)」「保護者への連絡(連絡帳記入、お知らせ作成等)」「周辺業務(行事等の写真撮影(保育記録等の日常的な撮影を除く)・整理・販売等)」の割合が高くなっている。

図表 3-47 【調査種別】保育補助者(保育士資格あり)の業務内容：複数回答（問 21-1）



図表 3-48 【公私別】保育補助者(保育士資格あり)の業務内容：複数回答（問 21-1）



注) 集計対象は施設票のみ。

図表 3-49 【事業種別】保育補助者(保育士資格あり)の業務内容：複数回答（問21-1）

	合計	問21-1 業務内容 保育補助者(保育士資格あり)								
		こどもの着替え	排泄の指導・援助	遊びや活動の指導・援助	散歩、園外活動時の見守り、付き添い	寝かしつけ、午睡中の付き添い	給食の配膳・後片付け	寝具の用意・後片付け	給食の指導・援助	周辺業務(教材や遊具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等)
全体	1,991 100.0	1,449 72.8	1,431 71.9	1,421 71.4	1,400 70.3	1,394 70.0	1,391 69.9	1,389 69.8	1,366 68.6	1,339 67.3
公営	580 100.0	422 72.8	433 74.7	429 74.0	404 69.7	401 69.1	404 69.7	406 70.0	400 69.0	404 69.7
私営	1,394 100.0	1,017 73.0	989 70.9	982 70.4	986 70.7	984 70.6	978 70.2	974 69.9	957 68.7	926 66.4
認可保育所	1,113 100.0	805 72.3	798 71.7	785 70.5	770 69.2	765 68.7	777 69.8	769 69.1	751 67.5	738 66.3
幼保連携型認定こども園	348 100.0	257 73.9	251 72.1	252 72.4	240 69.0	250 71.8	252 72.4	246 70.7	241 69.3	234 67.2
保育所型認定こども園	83 100.0	56 67.5	55 66.3	61 73.5	60 72.3	61 73.5	59 71.1	57 68.7	61 73.5	55 66.3
地域型保育事業所	447 100.0	331 74.0	327 73.2	323 72.3	330 73.8	318 71.1	303 67.8	317 70.9	313 70.0	312 69.8

	合計	問21-1 業務内容 保育補助者(保育士資格あり)								
		登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し	保護者対応(日常的な対応)	環境構成(翌日の準備含む)	沐浴の指導・援助	保護者への連絡(連絡帳記入、お知らせ作成等)	会議(職員会議、職員間の連絡、相談、個別打ち合わせ等)	書類作成(保育記録の作成)	書類作成(年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価)	実費徴収費用の集金
全体	1,991 100.0	999 50.2	805 40.4	794 39.9	697 35.0	696 35.0	667 33.5	459 23.1	315 15.8	136 6.8
認可保育所	1,113 100.0	554 49.8	459 41.2	455 40.9	406 36.5	367 33.0	329 29.6	255 22.9	170 15.3	73 6.6
幼保連携型認定こども園	348 100.0	184 52.9	140 40.2	132 37.9	118 33.9	88 25.3	95 27.3	70 20.1	42 12.1	16 4.6
保育所型認定こども園	83 100.0	42 50.6	30 36.1	26 31.3	24 28.9	24 28.9	21 25.3	14 16.9	7 8.4	5 6.0
地域型保育事業所	447 100.0	219 49.0	176 39.4	181 40.5	149 33.3	217 48.5	222 49.7	120 26.8	96 21.5	42 9.4

	合計	問21-1 業務内容 保育補助者(保育士資格あり)							
		外国人のこどもの保護者とのやりとりに係る通訳及び翻訳	行事の準備・運営・後片付け等	作品展示、室内装飾	周辺業務(行事等の写真撮影(保育記録等の日常的な撮影を除く)・整理・販売等)	保護者対応(保護者への相談、家庭訪問、保護者会、保育参観等)	上記以外にかかる事務処理(集計事務、総務、経理、人事、物品管理・発注等)	その他	無回答
全体	1,991 100.0	115 5.8	1,100 55.2	869 43.6	473 23.8	332 16.7	138 6.9	44 2.2	395 19.8
認可保育所	1,113 100.0	65 5.8	607 54.5	485 43.6	229 20.6	177 15.9	72 6.5	25 2.2	225 20.2
幼保連携型認定こども園	348 100.0	14 4.0	202 58.0	144 41.4	80 23.0	53 15.2	21 6.0	9 2.6	61 17.5
保育所型認定こども園	83 100.0	5 6.0	39 47.0	29 34.9	12 14.5	10 12.0	3 3.6	3 3.6	15 18.1
地域型保育事業所	447 100.0	31 6.9	252 56.4	211 47.2	152 34.0	92 20.6	42 9.4	7 1.6	94 21.0

注) 集計対象は施設票のみ。

<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

- ・ 環境美化作業。
- ・ 園内外の清掃。
- ・ 早朝、夕方の保育補助。
- ・ おやつ準備、片付け、清掃、障害児の遊びの活動の援助。
- ・ 各担任の制作準備の手伝いなど。
- ・ 行事時の自転車置き場の誘導・整理等。
- ・ 担任が休みの時は日誌を記入。
- ・ 研修、会議への参加。
- ・ バス乗車。
- ・ 畑・花壇・プランターの管理。

## ②保育補助者(保育士資格なし)の業務内容

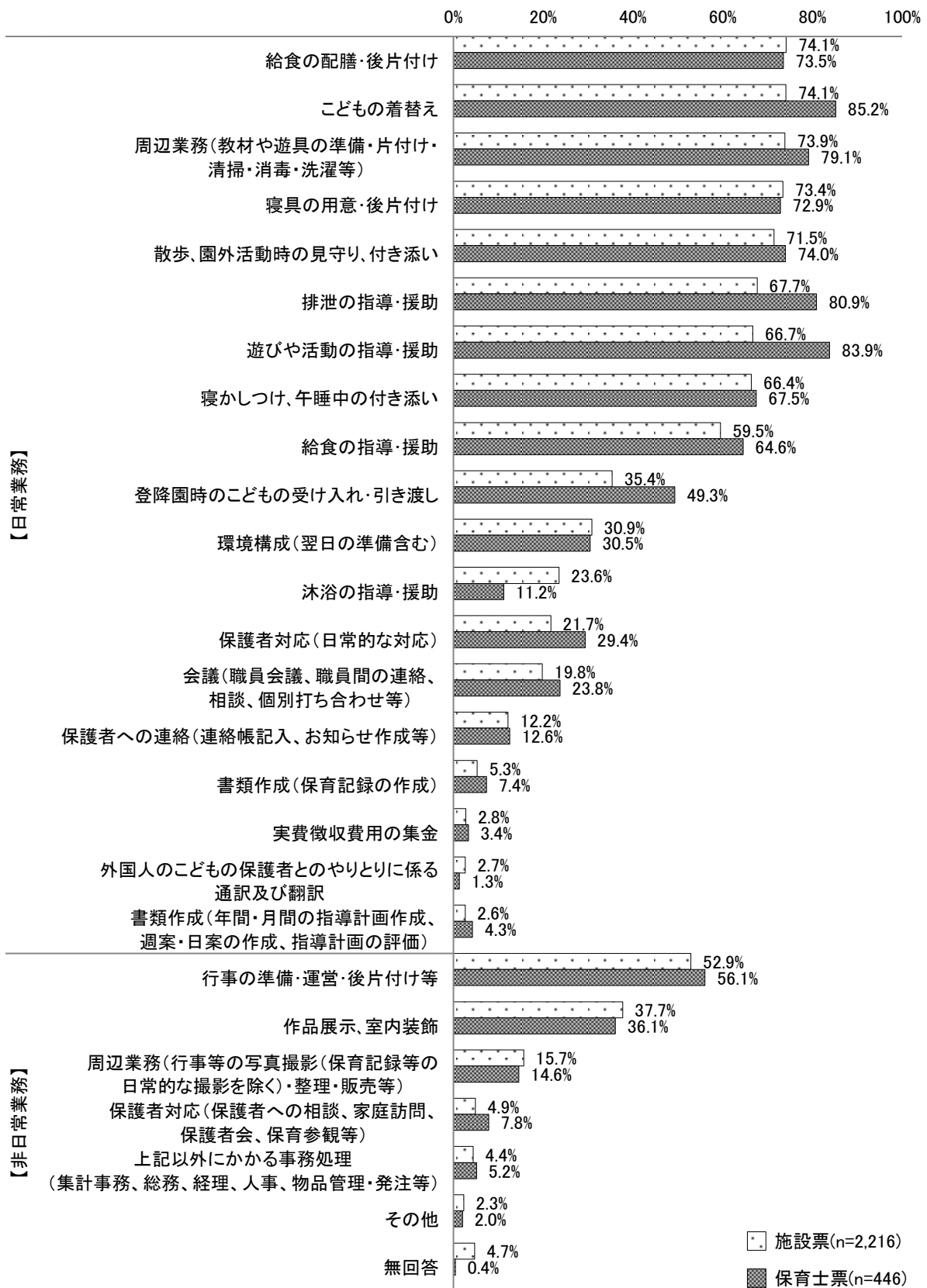
保育補助者(保育士資格なし)を雇用している施設又は回答者本人が保育補助者(保育士資格なし)の場合、保育補助者(保育士資格なし)の業務内容について、調査種別にみると、「施設票」では、「給食の配膳・後片付け」「こどもの着替え」がともに74.1%でもっとも高くなっている。

「保育士票」(保育補助者本人)では、「こどもの着替え」が85.2%でもっとも割合が高く、次いで「遊びや活動の指導・援助」が83.9%となっている。

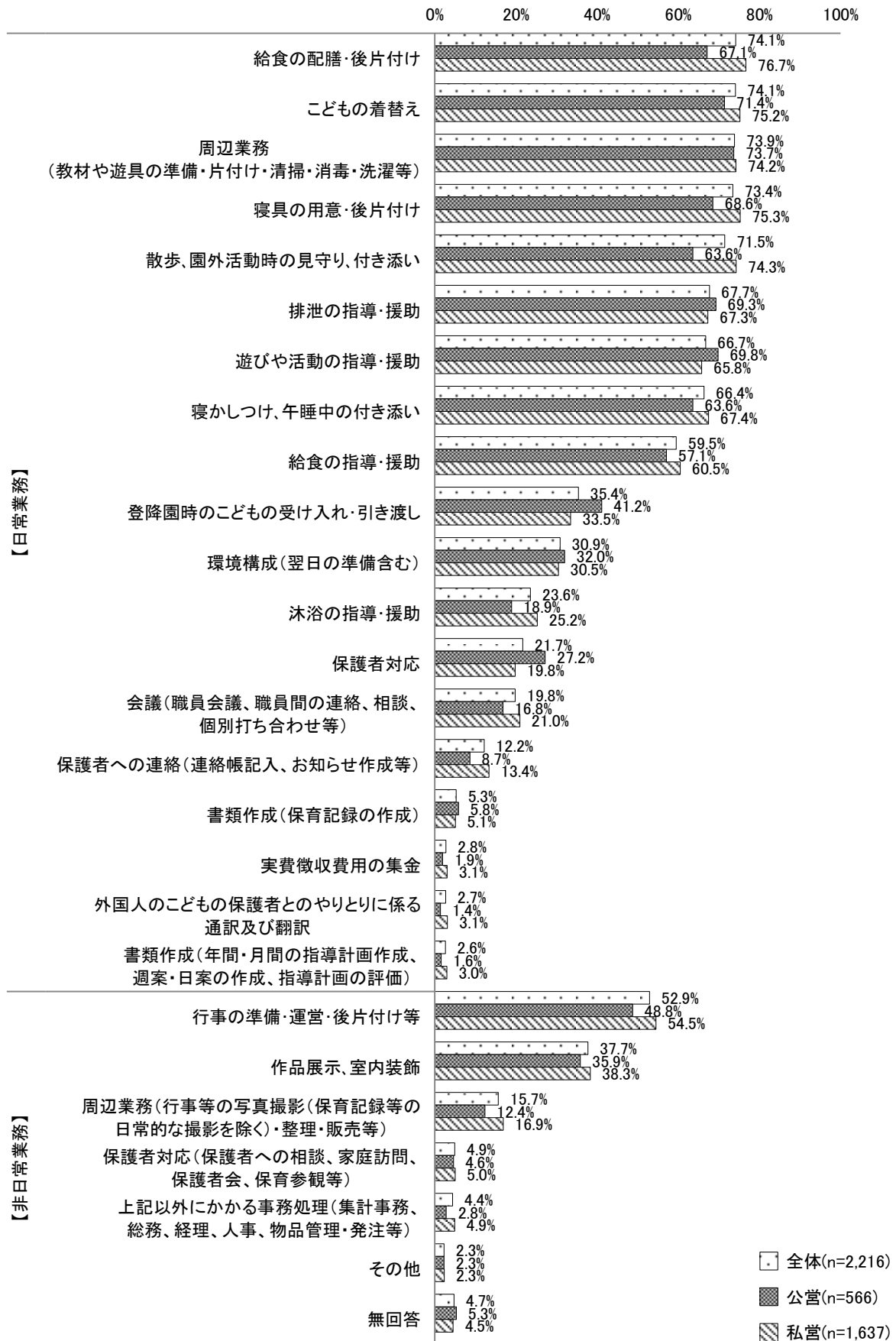
施設票に限定して、公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「散歩、園外活動時の見守り、付き添い」「給食の配膳・後片付け」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「会議(職員会議、職員間の連絡、相談、個別打ち合わせ等)」「保護者への連絡(連絡帳記入、お知らせ作成等)」「周辺業務(行事等の写真撮影(保育記録等の日常的な撮影を除く)・整理・販売等)」の割合が高くなっている。

図表 3-50 【調査種別】保育補助者(保育士資格なし)の業務内容：複数回答（問 21-2）



図表 3-51 【公私別】保育補助者(保育士資格なし)の業務内容：複数回答（問 21-2）



注) 集計対象は施設票のみ。

図表 3-52 【事業種別】保育補助者(保育士資格なし)の業務内容：複数回答（問21-2）

	合計	問21-2 業務内容 保育補助者(保育士資格なし)								
		給食の配膳・後片付け	こどもの着替え	周辺業務(教材や遊具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等)	寝具の用意・後片付け	散歩、園外活動時の見守り、付き添い	排泄の指導・援助	遊びや活動の指導・援助	寝かしつけ、午睡中の付き添い	給食の指導・援助
全体	2,216 100.0	1,643 74.1	1,642 74.1	1,637 73.9	1,627 73.4	1,584 71.5	1,500 67.7	1,479 66.7	1,471 66.4	1,319 59.5
認可保育所	1,244 100.0	926 74.4	932 74.9	921 74.0	916 73.6	871 70.0	874 70.3	846 68.0	835 67.1	735 59.1
幼保連携型認定こども園	514 100.0	380 73.9	367 71.4	364 70.8	359 69.8	358 69.6	330 64.2	329 64.0	320 62.3	323 62.8
保育所型認定こども園	111 100.0	87 78.4	76 68.5	84 75.7	91 82.0	86 77.5	73 65.8	69 62.2	80 72.1	62 55.9
地域型保育事業所	347 100.0	250 72.0	267 76.9	268 77.2	261 75.2	269 77.5	223 64.3	235 67.7	236 68.0	199 57.3

	合計	問21-2 業務内容 保育補助者(保育士資格なし)								
		登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し	環境構成(翌日の準備含む)	沐浴の指導・援助	保護者対応	会議(職員会議、職員間の連絡、相談、個別打ち合わせ等)	保護者への連絡(連絡帳記入、お知らせ作成等)	書類作成(保育記録の作成)	実費徴収費用の集金	外国人のこどもの保護者とのやりとりに係る通訳及び翻訳
全体	2,216 100.0	784 35.4	684 30.9	522 23.6	481 21.7	439 19.8	270 12.2	117 5.3	61 2.8	59 2.7
認可保育所	1,244 100.0	438 35.2	399 32.1	308 24.8	273 21.9	214 17.2	134 10.8	61 4.9	29 2.3	27 2.2
幼保連携型認定こども園	514 100.0	192 37.4	136 26.5	100 19.5	105 20.4	80 15.6	43 8.4	18 3.5	17 3.3	15 2.9
保育所型認定こども園	111 100.0	33 29.7	36 32.4	33 29.7	21 18.9	20 18.0	14 12.6	6 5.4	3 2.7	4 3.6
地域型保育事業所	347 100.0	121 34.9	113 32.6	81 23.3	82 23.6	125 36.0	79 22.8	32 9.2	12 3.5	13 3.7

	合計	問21-2 業務内容 保育補助者(保育士資格なし)							
		書類作成(年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価)	行事の準備・運営・後片付け等	作品展示、室内装飾	周辺業務(行事等の写真撮影(保育記録等の日常的な撮影を除く)・整理・販売等)	保護者対応(保護者への相談、家庭訪問、保護者会、保育参観等)	上記以外にかかる事務処理(集計事務、総務、経理、人事、物品管理・発注等)	その他	無回答
全体	2,216 100.0	58 2.6	1,173 52.9	836 37.7	347 15.7	109 4.9	97 4.4	51 2.3	105 4.7
認可保育所	1,244 100.0	26 2.1	654 52.6	487 39.1	172 13.8	49 3.9	40 3.2	28 2.3	63 5.1
幼保連携型認定こども園	514 100.0	6 1.2	260 50.6	164 31.9	69 13.4	28 5.4	30 5.8	17 3.3	28 5.4
保育所型認定こども園	111 100.0	2 1.8	67 60.4	42 37.8	16 14.4	5 4.5	4 3.6	3 2.7	2 1.8
地域型保育事業所	347 100.0	24 6.9	192 55.3	143 41.2	90 25.9	27 7.8	23 6.6	3 0.9	12 3.5

注) 集計対象は施設票のみ。

<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

- ・ 環境美化作業。
- ・ 園内の掃除。
- ・ バス添乗。
- ・ こどもの見守り。
- ・ 共用部分の掃除・おもちゃの消毒・登降園時のこどもの見守り。
- ・ 早朝、夕方の保育補助。
- ・ 給食配膳・片付け。
- ・ 食育に関わる野菜のお世話等。
- ・ こどもと行う畑の作物の苗植え、収穫の準備、片付け、除草作業。
- ・ 行事の際の託児。
- ・ 行事時の自転車置き場の誘導・整理等。
- ・ 壁面創作。
- ・ 倉庫、物品の管理。
- ・ 外国語活動。
- ・ 発達障害児支援。

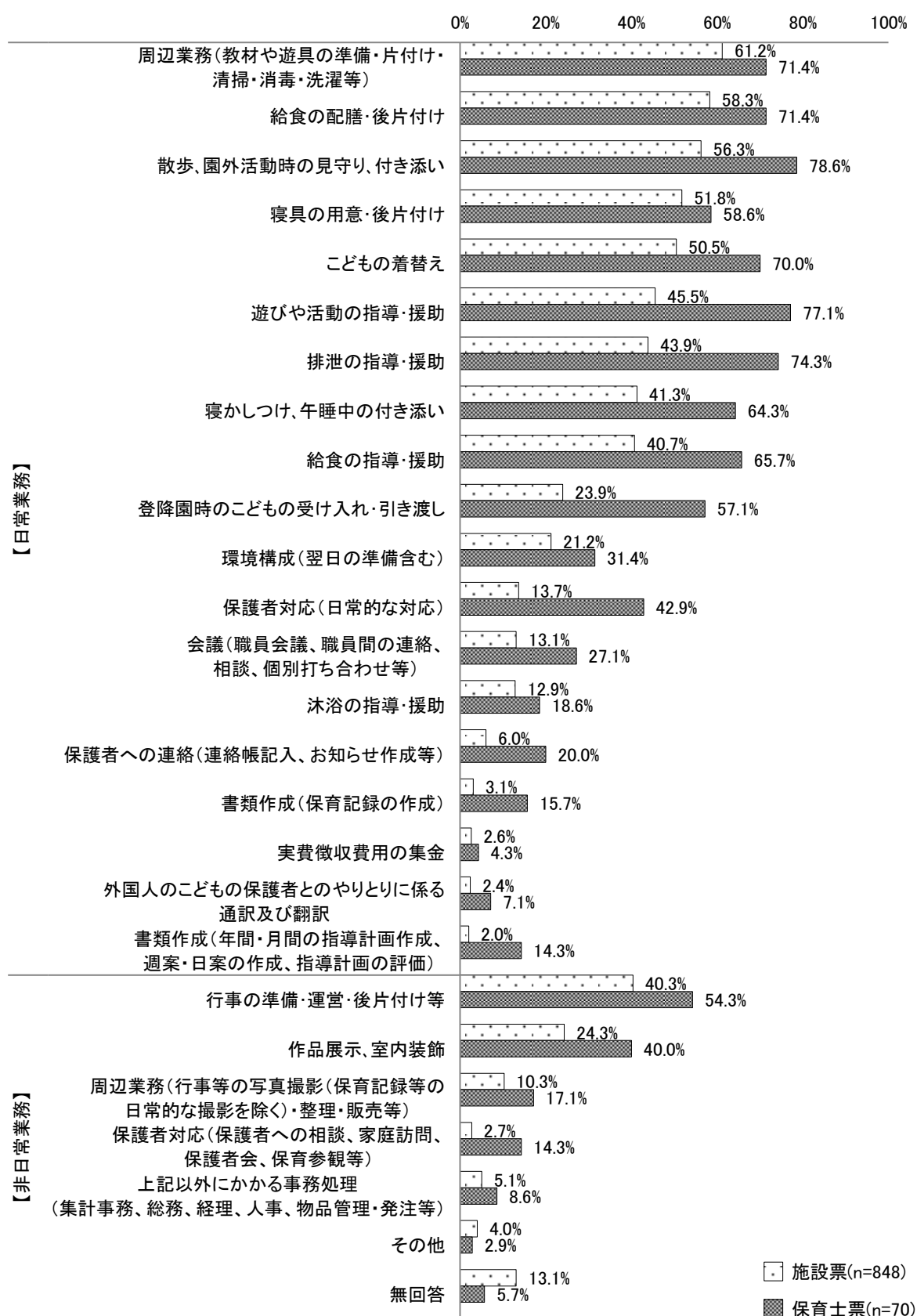
### ③保育支援者の業務内容

保育支援者を雇用している施設又は回答者本人が保育支援者の場合、保育支援者の業務内容について、調査種別にみると、「施設票」では、「周辺業務（教材や遊具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等）」が61.2%でもっとも割合が高く、次いで「給食の配膳・後片付け」が58.3%となっている。「保育士票」（保育支援者本人）では、「散歩、園外活動時の見守り、付き添い」が78.6%でもっとも割合が高く、次いで「遊びや活動の指導・援助」が77.1%となっている。

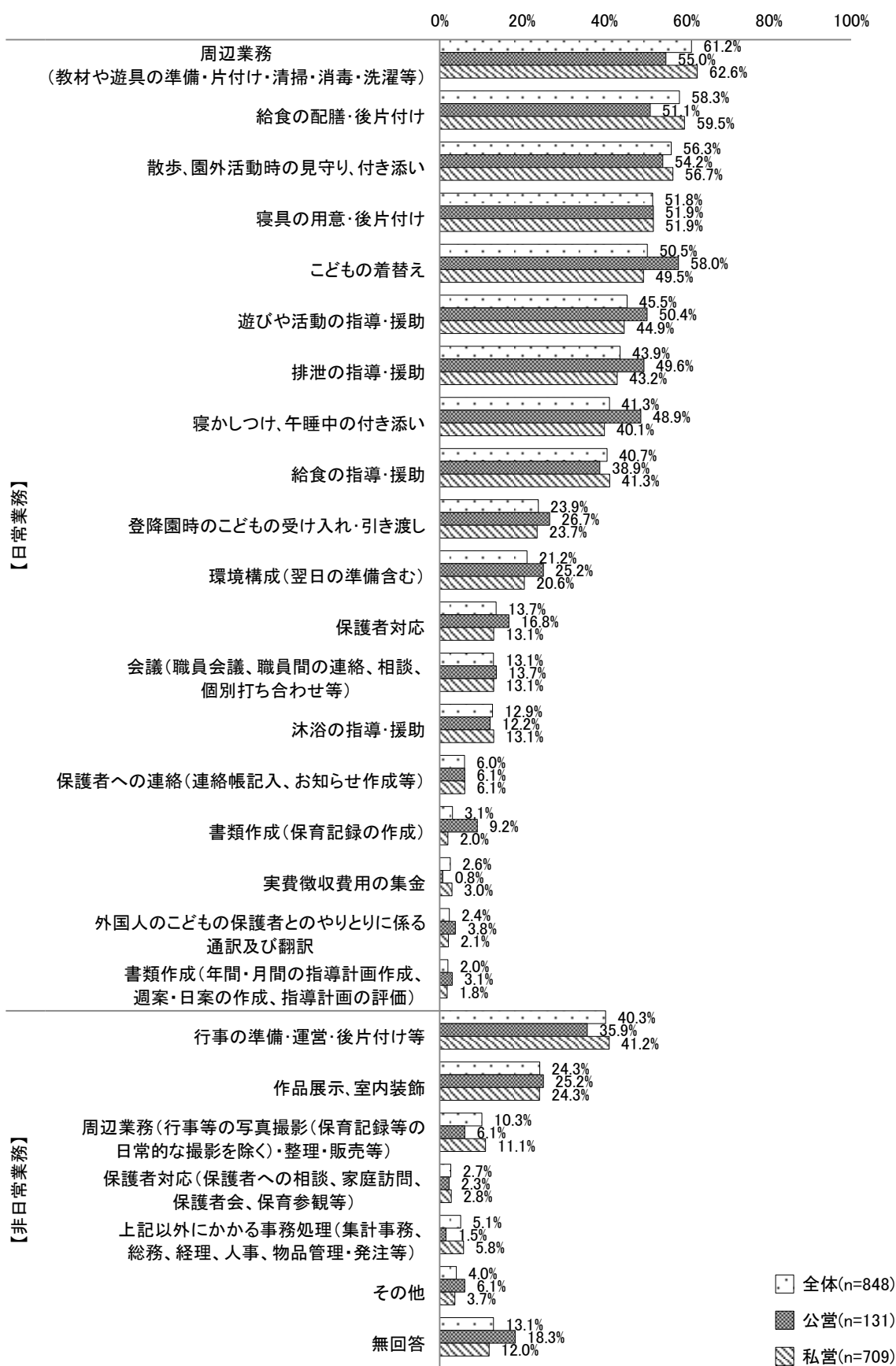
施設票に限定して、公私別にみると、「公営」では、「こどもの着替え」「寝かしつけ、午睡中の付き添い」「排泄の指導・援助」、「私営」では、「給食の配膳・後片付け」「周辺業務（教材や遊具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等）」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「寝かしつけ、午睡中の付き添い」「会議（職員会議、職員間の連絡、相談、個別打ち合わせ等）」の割合が高くなっている。

図表 3-53 【調査種別】 保育支援者の業務内容：複数回答（問 21-3）



図表 3-54 【公私別】保育支援者の業務内容：複数回答（問 21-3）



注) 集計対象は施設票のみ。

図表 3-55 【事業種別】保育支援者の業務内容：複数回答（問21-3）

	合計	問21-3 業務内容_保育支援者								
		周辺業務 (教材や 遊具の準 備・片付 け・清 掃・消 毒・洗濯 等)	給食の配 膳・後片 付け	散歩、園 外活動時 の見守 り、付き 添い	寝具の用 意・後片 付け	こどもの 着替え	遊びや活 動の指 導・援助	排泄の指 導・援助	寝かしつ け、午睡 中の付き 添い	給食の指 導・援助
全体	848 100.0	519 61.2	494 58.3	477 56.3	439 51.8	428 50.5	386 45.5	372 43.9	350 41.3	345 40.7
認可保育所	439 100.0	273 62.2	257 58.5	245 55.8	242 55.1	230 52.4	201 45.8	202 46.0	187 42.6	183 41.7
幼保連携型認定こども園	233 100.0	136 58.4	126 54.1	121 51.9	92 39.5	106 45.5	99 42.5	89 38.2	76 32.6	93 39.9
保育所型認定こども園	39 100.0	27 69.2	24 61.5	22 56.4	20 51.3	15 38.5	13 33.3	16 41.0	15 38.5	13 33.3
地域型保育事業所	137 100.0	83 60.6	87 63.5	89 65.0	85 62.0	77 56.2	73 53.3	65 47.4	72 52.6	56 40.9

	合計	問21-3 業務内容_保育支援者								
		登降園時 のこども の受け入 れ・引き 渡し	環境構成 (翌日の 準備含 む)	保護者対 応	会議(職 員会議、 職員間の 連絡、相 談、個別 打ち合わ せ等)	沐浴の指 導・援助	保護者へ の連絡 (連絡帳 記入、お 知らせ作 成等)	書類作成 (保育記 録の作 成)	実費徴収 費用の集 金	外国人の こどもの 保護者と のやりと りに係る 通訳及び 翻訳
全体	848 100.0	203 23.9	180 21.2	116 13.7	111 13.1	109 12.9	51 6.0	26 3.1	22 2.6	20 2.4
認可保育所	439 100.0	95 21.6	94 21.4	57 13.0	48 10.9	59 13.4	26 5.9	15 3.4	10 2.3	9 2.1
幼保連携型認定こども園	233 100.0	68 29.2	53 22.7	41 17.6	27 11.6	21 9.0	9 3.9	7 3.0	9 3.9	7 3.0
保育所型認定こども園	39 100.0	8 20.5	4 10.3	2 5.1	2 5.1	4 10.3	1 2.6	0 0.0	1 2.6	0 0.0
地域型保育事業所	137 100.0	32 23.4	29 21.2	16 11.7	34 24.8	25 18.2	15 10.9	4 2.9	2 1.5	4 2.9

	合計	問21-3 業務内容_保育支援者							
		書類作成 (年間・ 月間の指 導計画作 成、週 案・日案 の作成、 指導計画 の評価)	行事の準 備・運営・ 後片付け 等	作品展 示、室内 装飾	周辺業務 (行事等 の写真撮 影(保育 記録等の 日常的な 撮影を除 く)・整 理・販売 等)	保護者対 応(保護 者への相 談、家庭 訪問、保 護者会、 保育参観 等)	上記以外 にかかる 事務処理 (集計事 務、総 務、経 理、人 事、物品 管理・発 注等)	その他	無回答
全体	848 100.0	17 2.0	342 40.3	206 24.3	87 10.3	23 2.7	43 5.1	34 4.0	111 13.1
認可保育所	439 100.0	11 2.5	167 38.0	110 25.1	38 8.7	13 3.0	20 4.6	17 3.9	67 15.3
幼保連携型認定こども園	233 100.0	3 1.3	92 39.5	44 18.9	24 10.3	3 1.3	15 6.4	10 4.3	27 11.6
保育所型認定こども園	39 100.0	0 0.0	16 41.0	9 23.1	3 7.7	0 0.0	0 0.0	4 10.3	2 5.1
地域型保育事業所	137 100.0	3 2.2	67 48.9	43 31.4	22 16.1	7 5.1	8 5.8	3 2.2	15 10.9

注) 集計対象は施設票のみ。

<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

- ・ 施設の清掃、消毒など。
- ・ 事務全般。
- ・ プール見守り。
- ・ 居残り保育支援。
- ・ 登降園見守り。
- ・ バス運転手。
- ・ 通園バス添乗補助。
- ・ 衣装制作、教材準備、保育環境整備。
- ・ 写真の整理・販売準備。
- ・ クリーンセンターへのゴミ運搬。

### 3. 勤務施設における働き方について

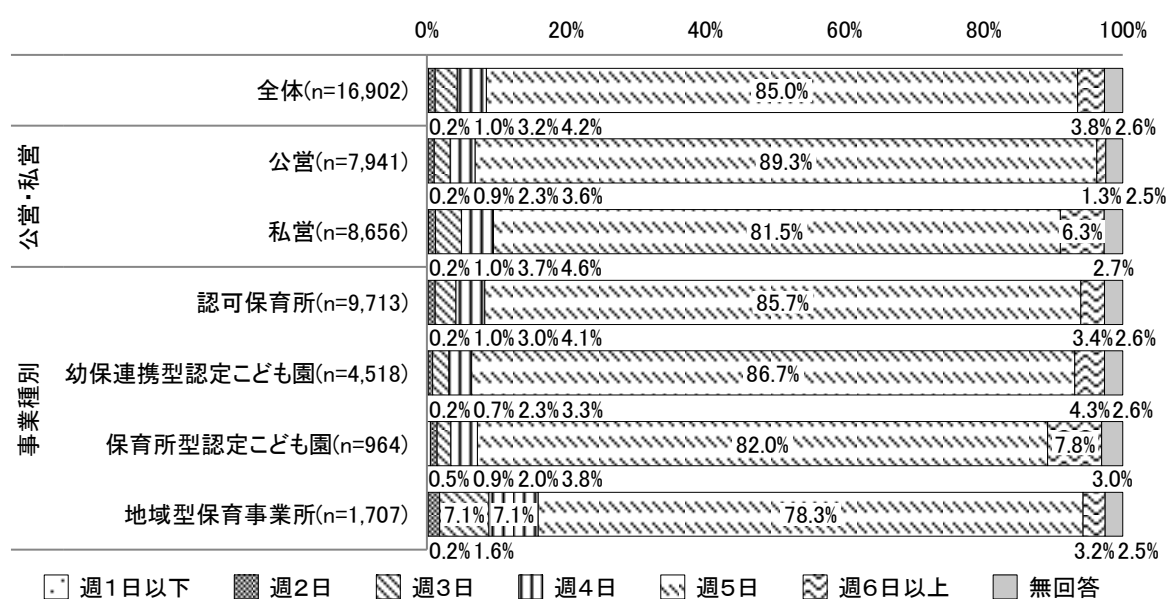
#### (1) 【保育士票】平均的な1週間の勤務日数

平均的な1週間の勤務日数についてみると、「全体」では、「週5日」が85.0%でもっとも割合が高く、次いで「週4日」が4.2%となっている。

公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「週6日以上」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて『週4日以下』（「週1日以下」「週2日」「週3日」「週4日」の合計）の割合が高くなっている。

図表 3-56 平均的な1週間の勤務日数：単数回答（問30-1）



## (2) 【保育士票】 1日当たりの平均的な勤務時間

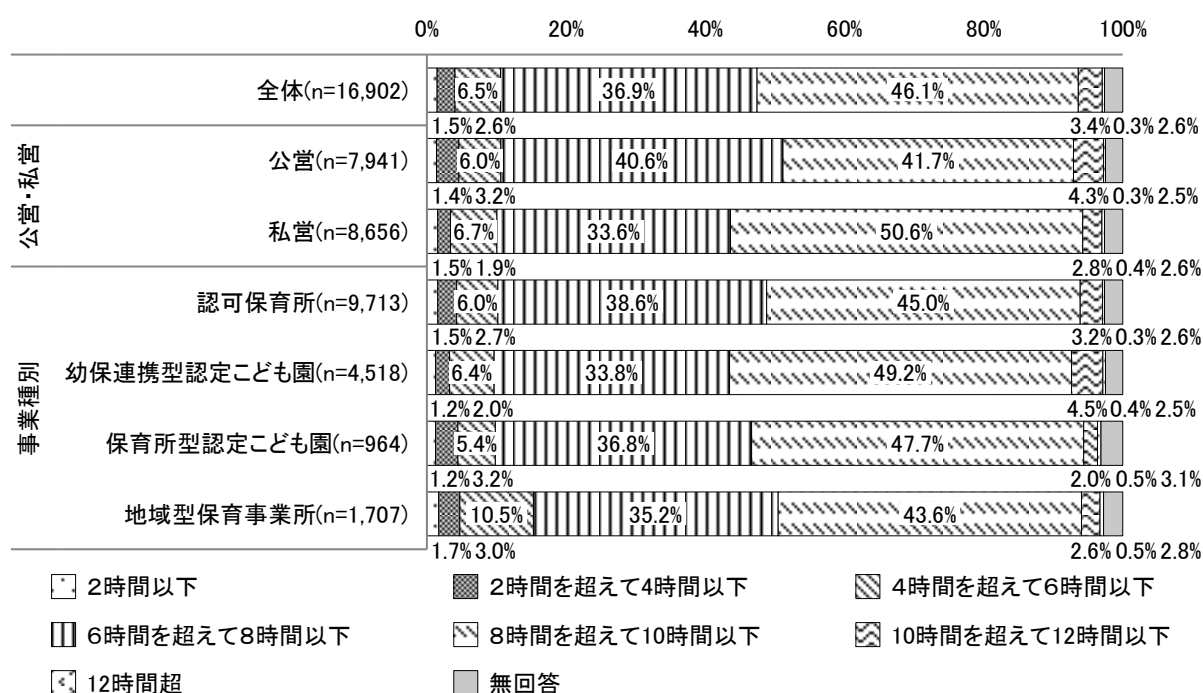
1日当たりの平均的な勤務時間についてみると、「全体」では、「8時間を超えて10時間以下」が46.1%でもっとも割合が高く、次いで「6時間を超えて8時間以下」が36.9%となっている。

公私別にみると、「公営」では「6時間を超えて8時間以下」、「私営」では「8時間を超えて10時間以下」の割合が高くなっている。

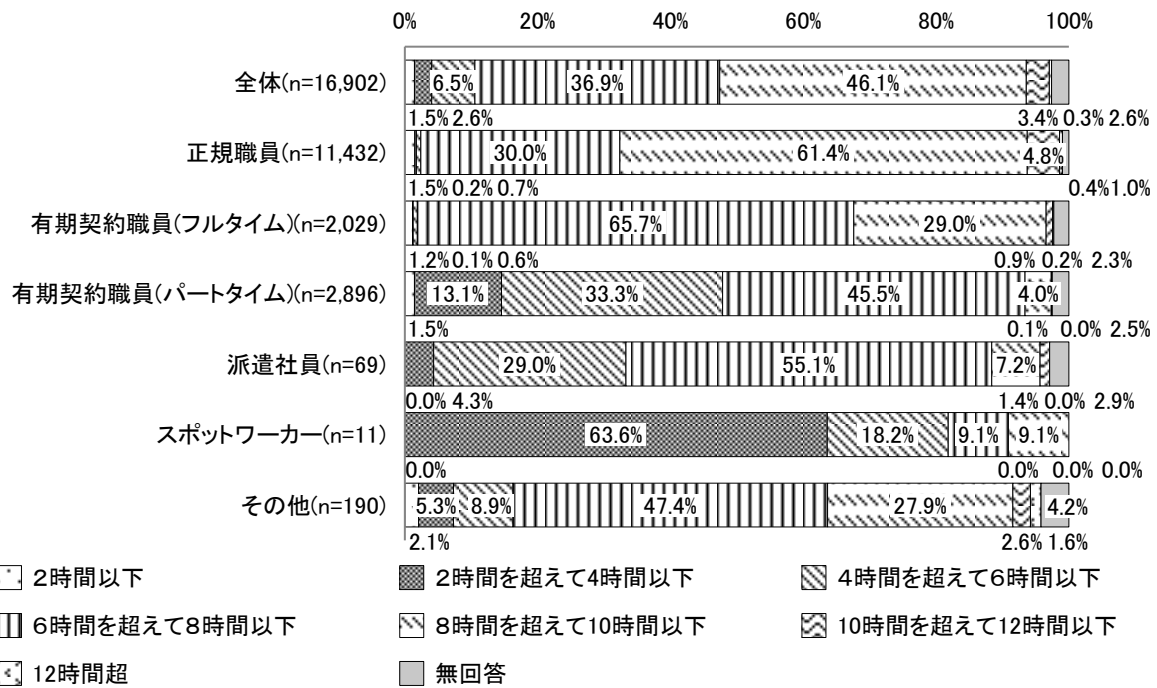
事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて『6時間以下』（「2時間以下」「2時間を超えて4時間以下」「4時間を超えて6時間以下」の合計）の割合が高くなっている。

雇用形態別にみると、「正規職員」では他に比べて「8時間を超えて10時間以下」の割合が高くなっている。

図表 3-57 1日当たりの平均的な勤務時間：単数回答（問30-2）



図表 3-58 【雇用形態別】 1日当たりの平均的な勤務時間：単数回答（問30-2）



注) 「スポットワーカー」はサンプルサイズが小さいため、参考値。

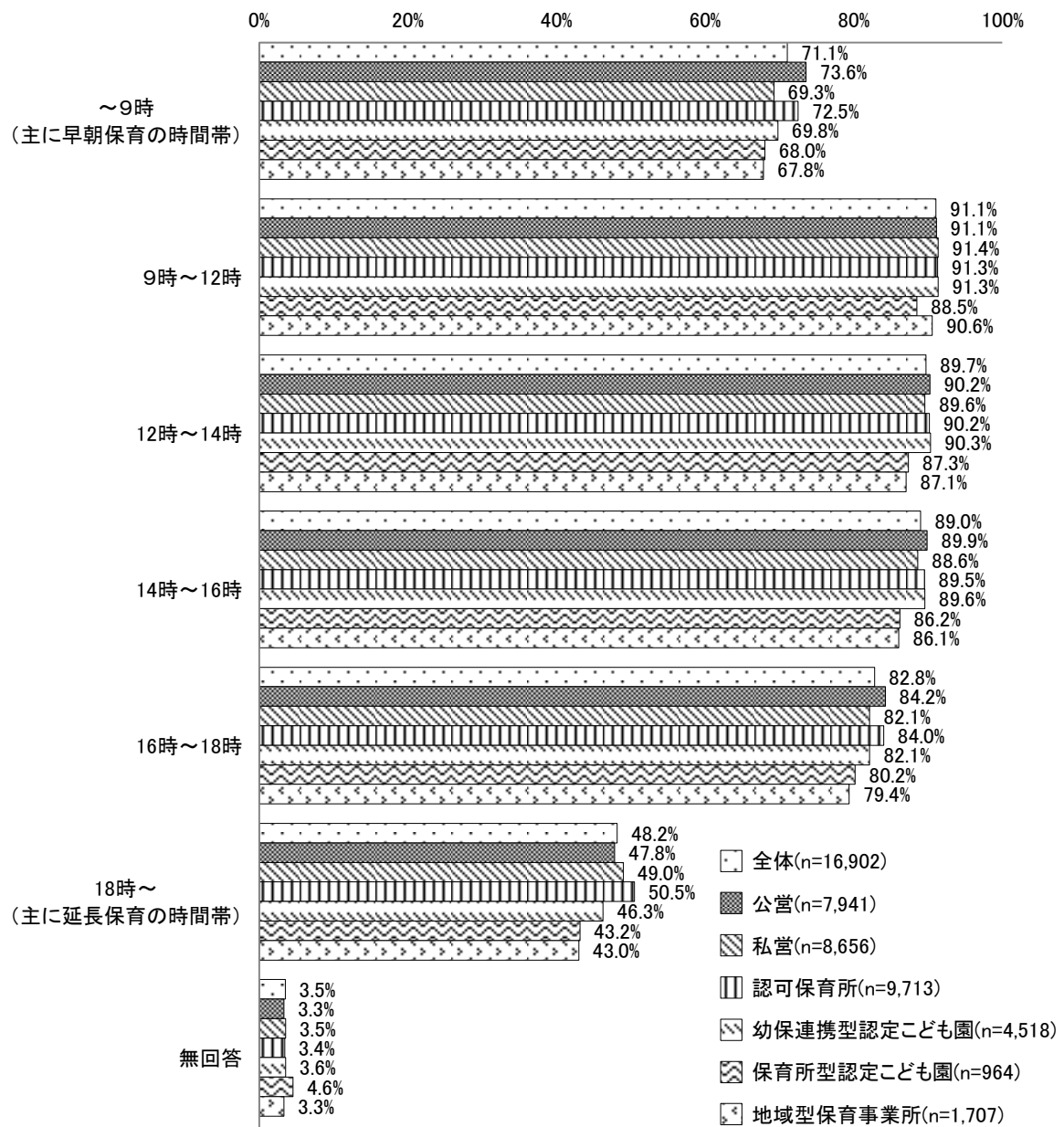
### (3) 【保育士票】働いている時間帯

働いている時間帯について、「全体」では、「9時～12時」が91.1%でもっとも割合が高く、次いで「12時～14時」が89.7%となっている。

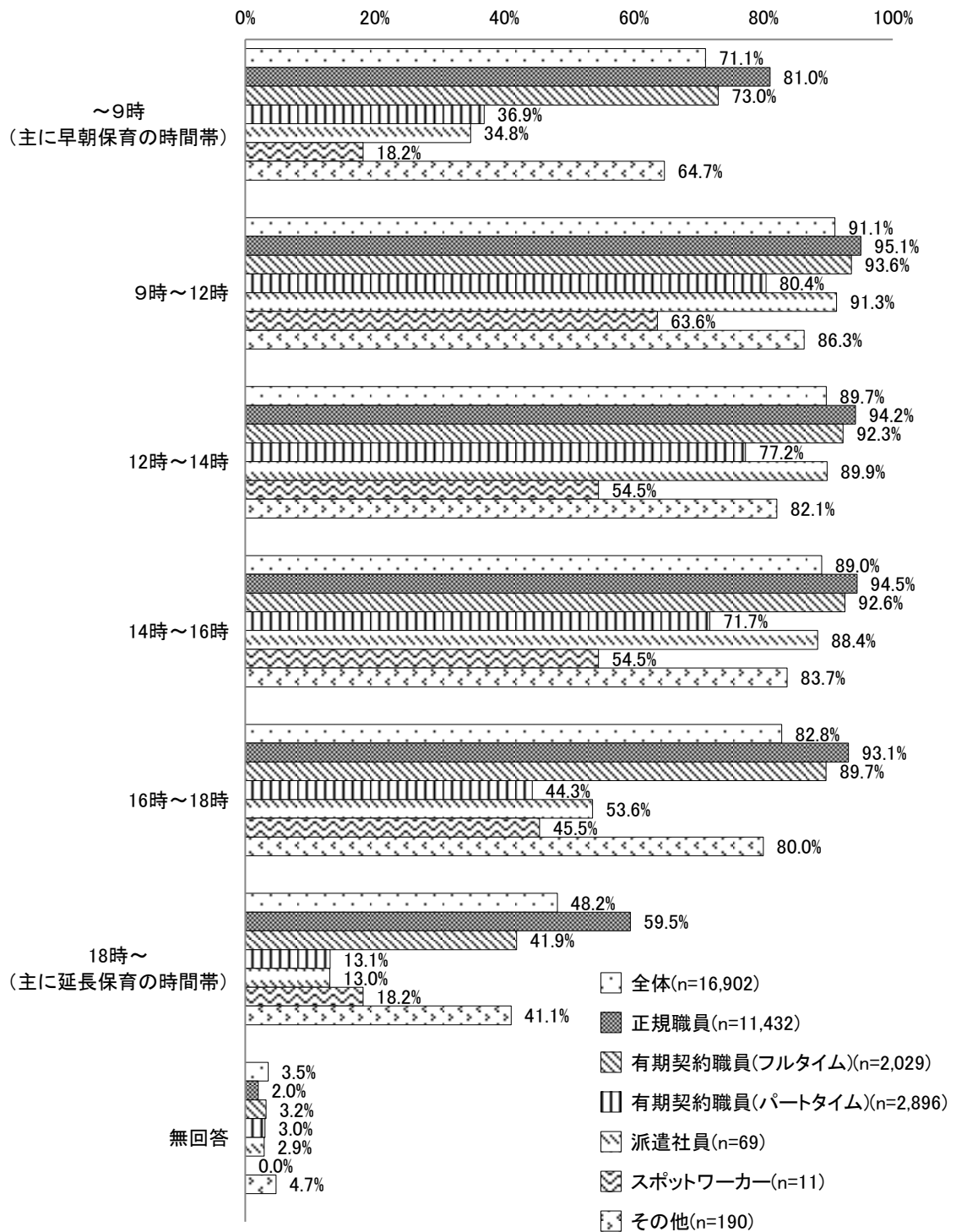
公私別・事業種別にみると、いずれも大きな差はみられない。

雇用形態別にみると、「正規職員」では他に比べて全般的に回答割合が高い傾向にあるが、とりわけ「～9時（主に早朝保育の時間帯）」「18時～（主に延長保育の時間帯）」の割合が高くなっている。

図表 3-59 働いている時間帯：複数回答（問30-3）



図表 3-60 【雇用形態別】働いている時間帯：複数回答（問 30-3）



注) 「スポットワーカー」はサンプルサイズが小さいため、参考値。

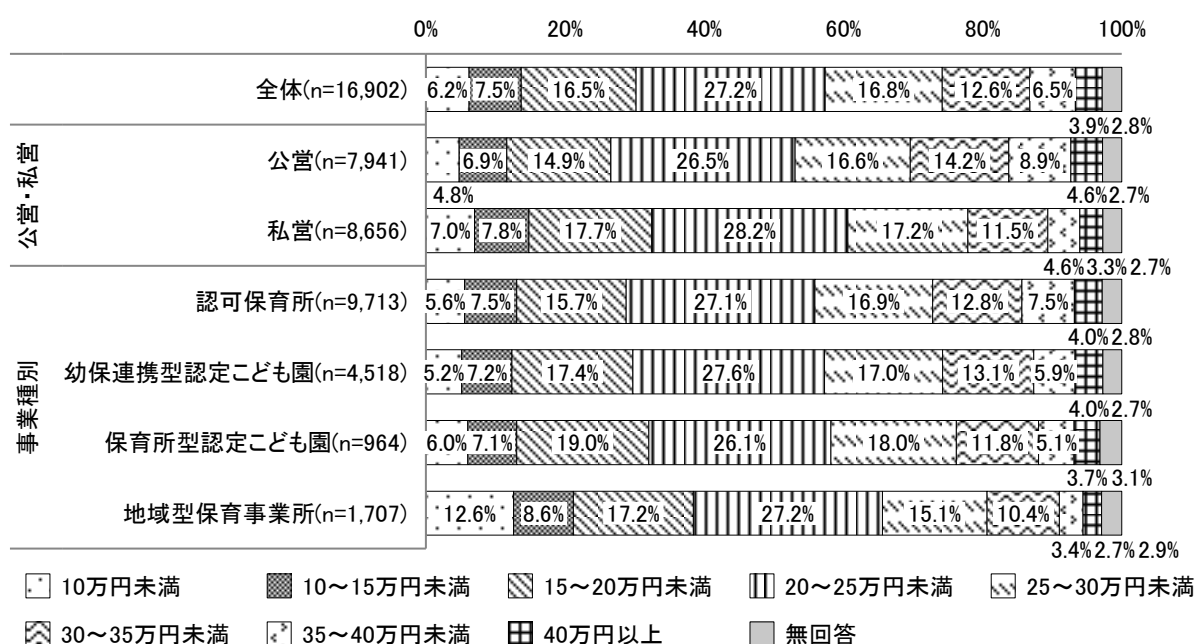
#### (4) 【保育士票】 平均的な月給

平均的な月給についてみると、「全体」では、「20～25万円未満」が27.2%でもっとも割合が高く、次いで「25～30万円未満」が16.8%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて『30万円以上』（「30～35万円未満」「35～40万円未満」「40万円以上」の合計）の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて『15万円未満』（「10万円未満」「10～15万円未満」の合計）の割合が高くなっている。

図表 3-61 平均的な月給：単数回答（問30-4）



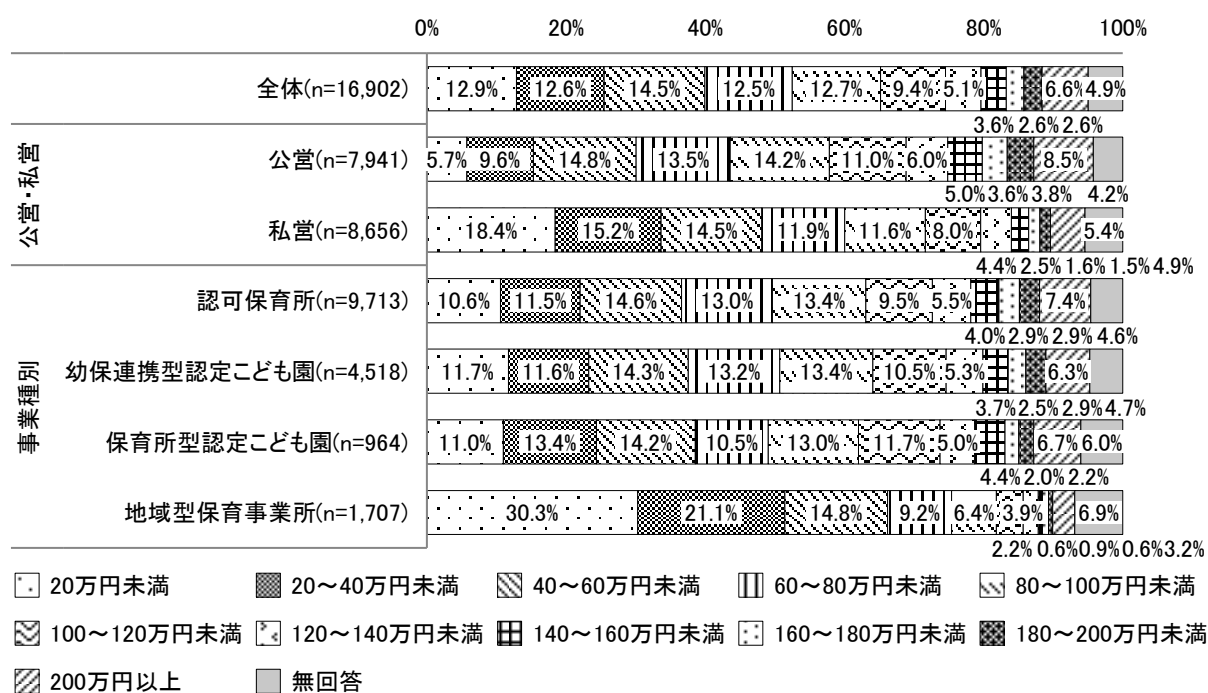
(5) 【保育士票】今年の年間賞与

今年の年間賞与についてみると、「全体」では、「40～60万円未満」が14.5%でもっとも割合が高く、次いで「20万円未満」が12.9%となっている。

公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて『40万円未満』（「20万円未満」「20～40万円未満」の合計）の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて『40万円未満』（「20万円未満」「20～40万円未満」の合計）の割合が高くなっている。

図表 3-62 今年の年間賞与：単数回答（問 30-5）

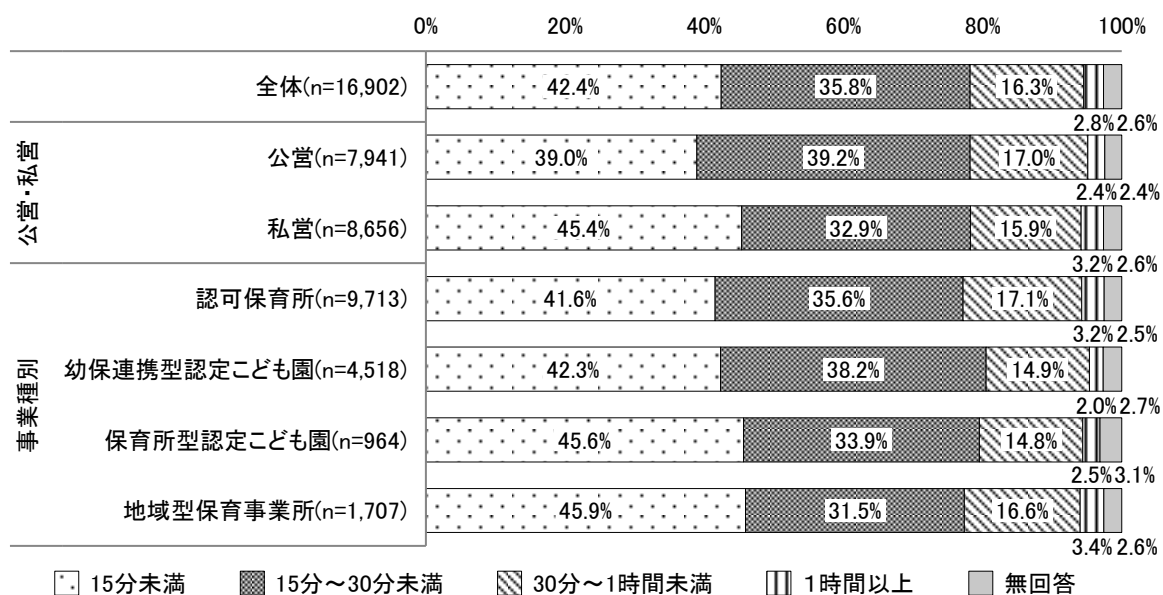


(6) 【保育士票】通勤時間

通勤時間についてみると、「全体」では、「15分未満」が42.4%でもっとも割合が高く、次いで「15分～30分未満」が35.8%となっている。

公私別・事業種別にみると、いずれも30分未満（「15分未満」「15分～30分未満」の合計）が8割前後となっている。

図表 3-63 通勤時間：単数回答（問 30-6）



### (7) 【保育士票】 1日当たりの休憩時間

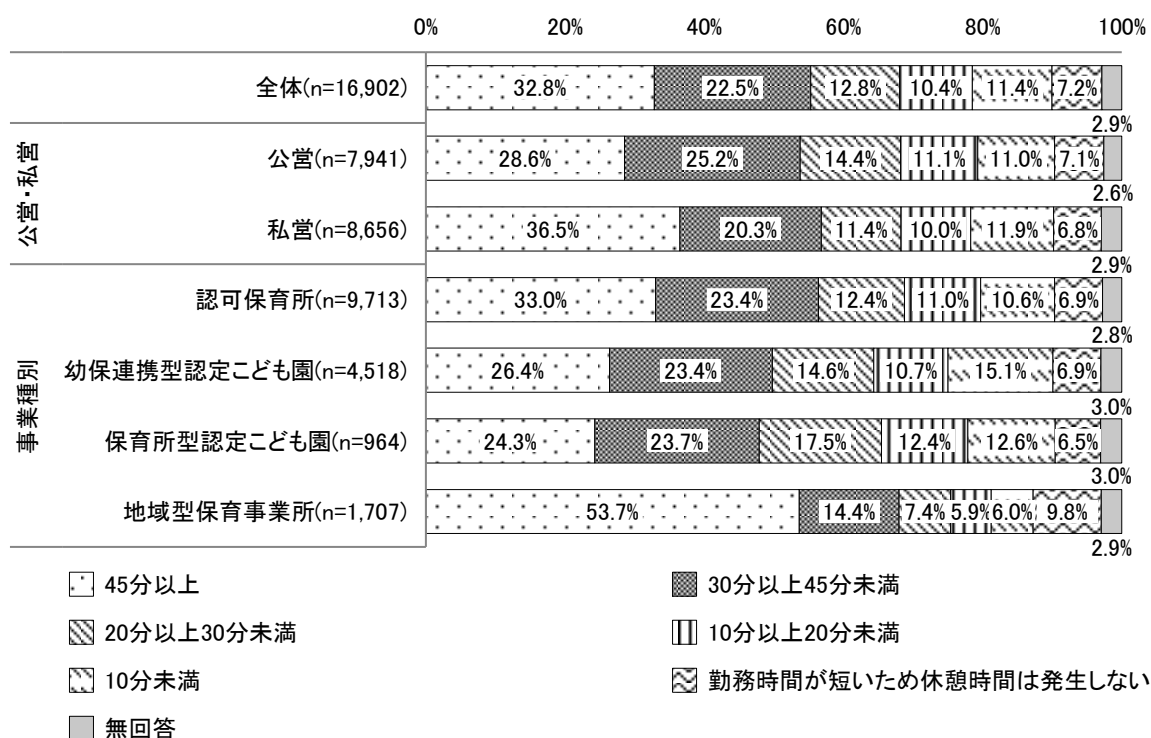
1日当たりの休憩時間についてみると、「全体」では、「45分以上」が32.8%でもっとも割合が高く、次いで「30分以上45分未満」が22.5%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「45分以上」の割合が低くなっている。

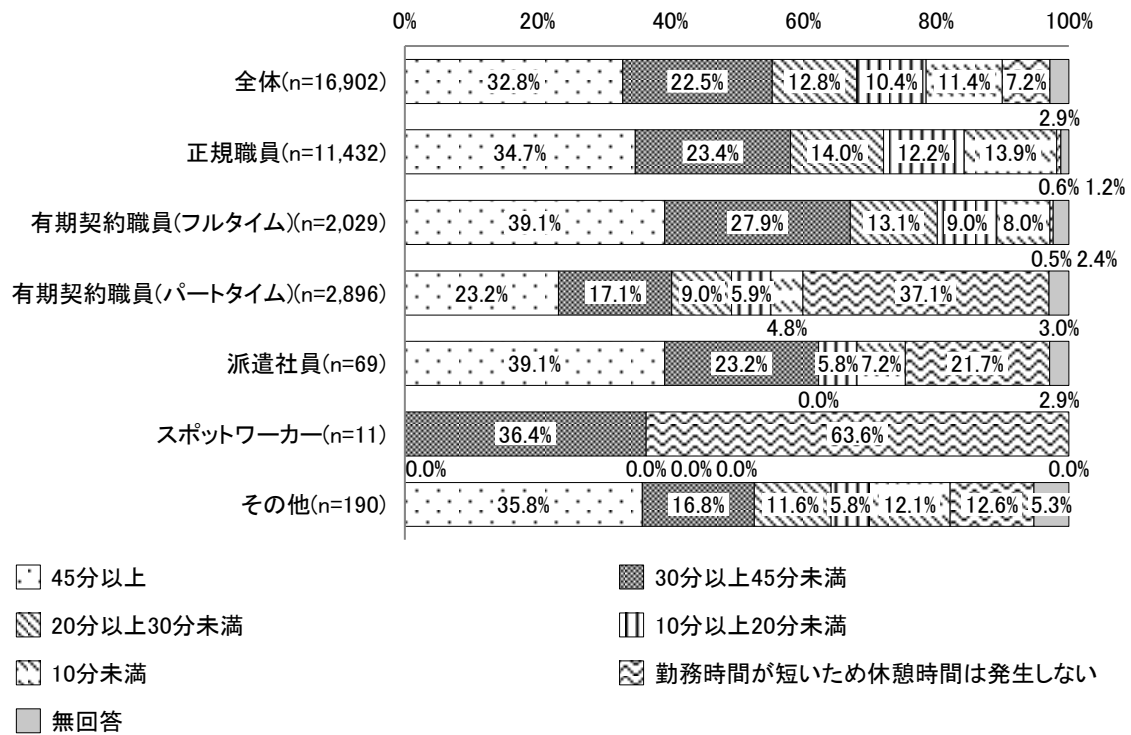
事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「45分以上」の割合が高くなっている。

雇用形態別にみると、「有期契約職員（フルタイム）」「派遣社員」では、他に比べて「45分以上」の割合が高くなっている。

図表 3-64 1日当たりの休憩時間：単数回答（問31）



図表 3-65 【雇用形態別】 1日当たりの休憩時間：単数回答（問31）



注) 「スポットワーカー」はサンプルサイズが小さいため、参考値。

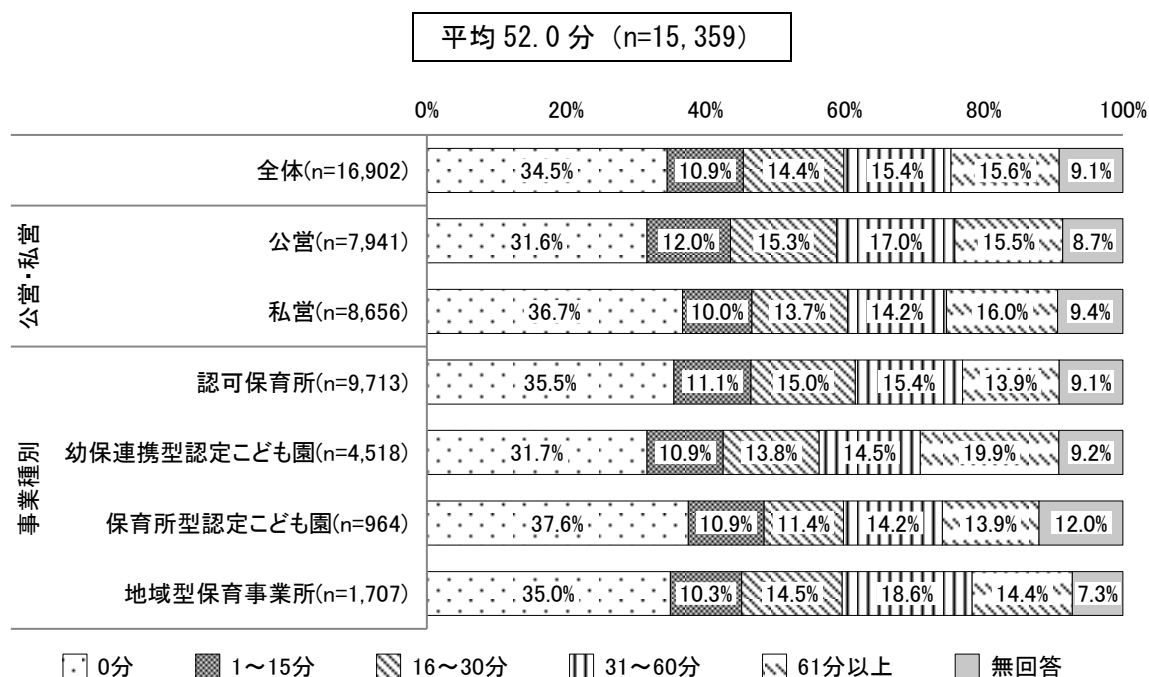
(8) 【保育士票】ノンコンタクトタイムの取得状況

ノンコンタクトタイムについてみると、「全体」では、「0分」が34.5%でもっとも割合が高く、次いで「61分以上」が15.6%となっている。

公私別では、大きな差はみられない。

事業種別にみると、「幼保連携型認定こども園」では、他に比べて「61分以上」の割合が高くなっている。

図表 3-66 ノンコンタクトタイムの取得状況：単数回答（問 32 より作成）



注) ノンコンタクトタイムとは、休憩時間とは異なり、勤務時間中にこどもと関わらずに事務作業や打ち合わせ等の業務をする時間のこと。1日当たりの平均的なノンコンタクトタイムについて、回答してもらった。

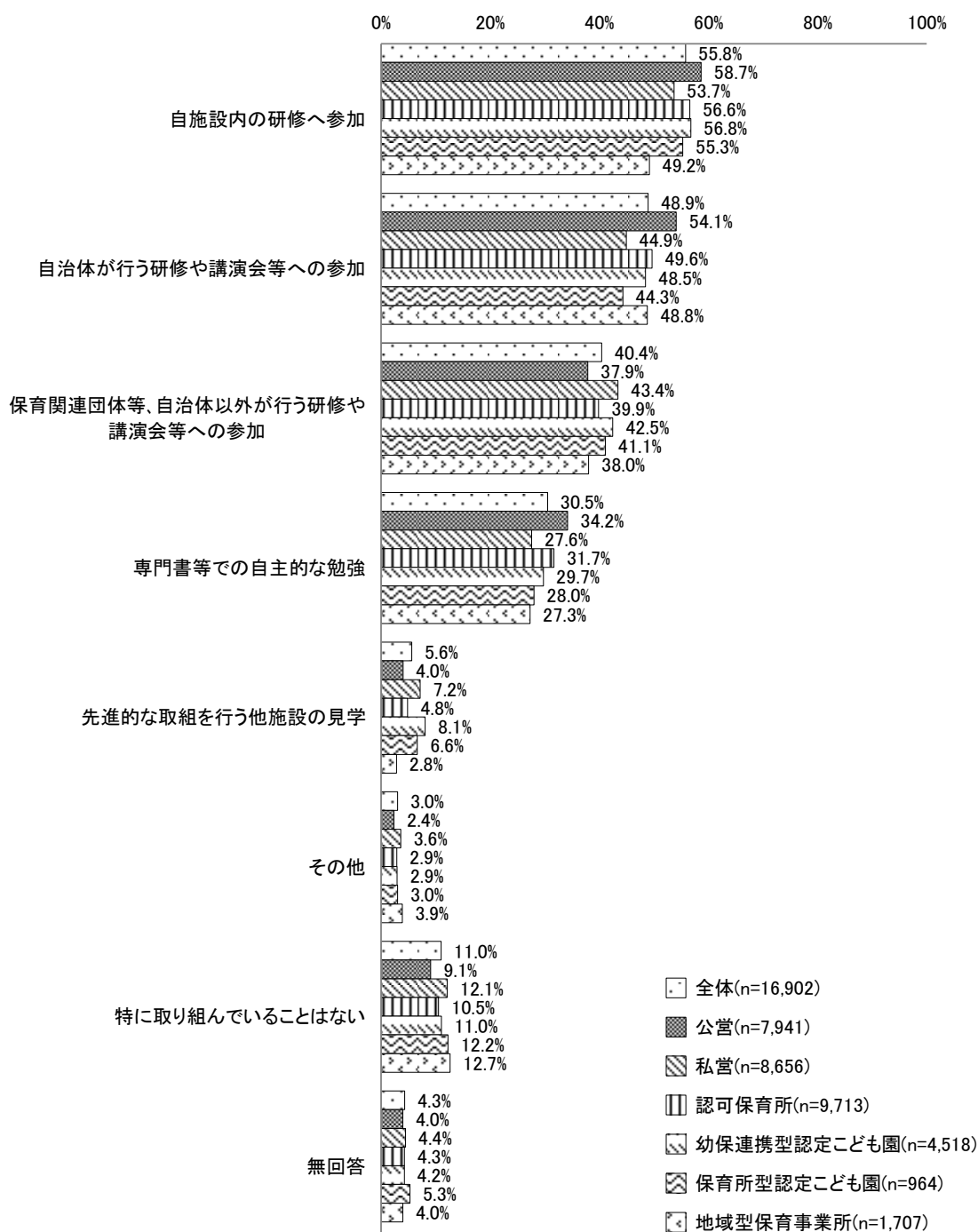
(9) 【保育士票】保育業務の資質向上のための取組

保育業務の資質向上のための取組についてみると、「全体」では、「自施設内の研修へ参加」が55.8%でもっとも割合が高く、次いで「自治体が行う研修や講演会等への参加」が48.9%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私营」に比べて「自治体が行う研修や講演会等への参加」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「自施設内の研修へ参加」の割合が低くなっている。

図表 3-67 保育業務の資質向上のための取組：複数回答（問33）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■オンライン・SNS を活用した情報収集

- ・ オンライン研修。
- ・ SNS での情報収集。

■キャリアアップ研修・資格取得

- ・ キャリアアップ研修。
- ・ 資格取得の勉強。
- ・ 保育士資格取得を目指す。

■自主的な勉強・研修参加

- ・ 自主的に研修に参加している。
- ・ 自発的にスタッフとミーティングし、意思疎通を図っている。

■他施設・他業種との交流

- ・ 他地域、他施設現場職員との交流・情報共有。
- ・ 近隣保育所との情報交換。
- ・ 異業種交流会。

■園内研修・職員間の意見交換

- ・ 園内研修。
- ・ 職員との意見交換・職務の見直し、改善。
- ・ 職員間での毎日の振り返り。

■専門家・講師からの学び

- ・ 学識経験者を訪問。
- ・ 保育アドバイザーとの指導契約。
- ・ 大学で講義を受ける。

■保育関連の書籍・資料の活用

- ・ 保育雑誌を購入し、保育で活用。
- ・ 新聞からの保育関連の情報収集。
- ・ 本を読む。

■動画・メディアの活用

- ・ 無料で公開されている動画を見ている。
- ・ 動画を利用した学び。
- ・ 保育・教育系番組の視聴。

■ ボランティア・地域活動

- ・ 私的機関の食育・自然体験のボランティア活動。
- ・ 地域交流。
- ・ 図書館ボランティアで、勉強会に参加。

■ その他

- ・ 執筆活動。
- ・ 和太鼓チームに所属してのお稽古。

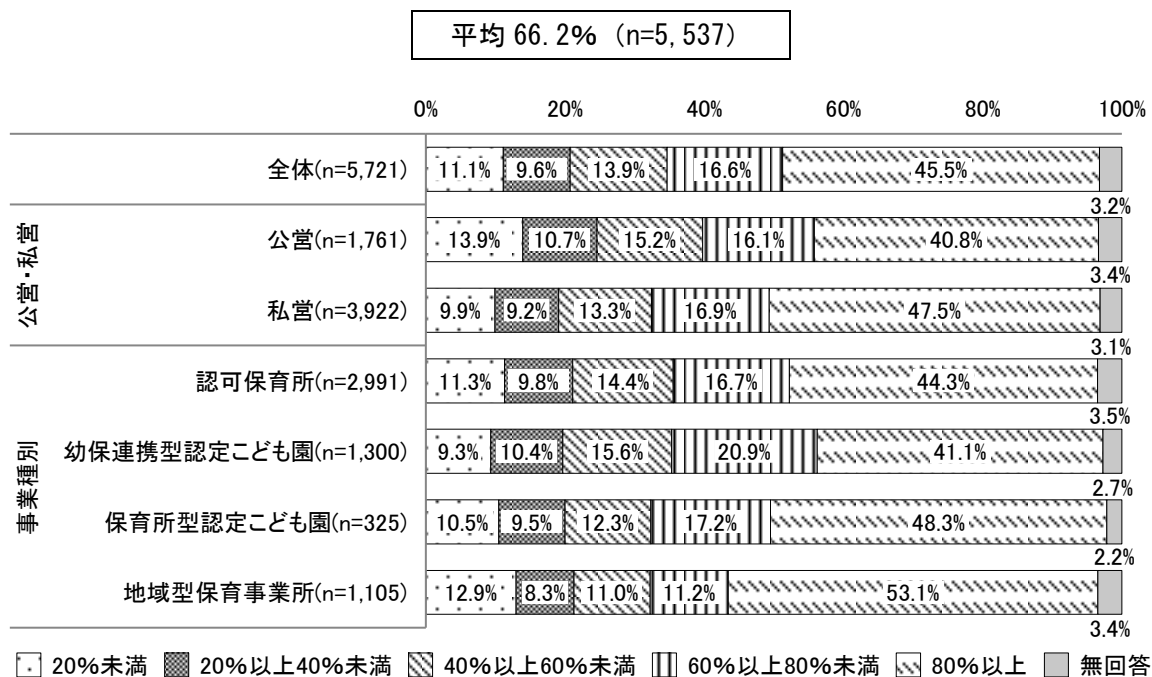
(10) 【施設票】 年次有給休暇を10日以上取得した職員割合

年次有給休暇を10日以上取得した職員の割合についてみると、「全体」では、「80%以上」が45.5%でもっとも割合が高く、次いで「60%以上80%未満」が16.6%となっている。また、平均値は66.2%となっている。

公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「80%以上」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて、「80%以上」が高くなっている。

図表 3-68 年次有給休暇を10日以上取得した職員割合：単数回答（問34より作成）



注) 対象は、令和6年度に在籍していた常勤職員（保育士・保育教諭）である。

## 4. 業務負担感

### (1) 【保育士票】業務従事時間に占める、日常業務・非日常業務の割合

業務従事時間に占める日常業務の割合についてみると、「全体」では、「遊びや活動の指導・援助」が19.1%でもっとも割合が高く、次いで「散歩、園外活動時の見守り、付き添い」が5.6%となっている。また、業務従事時間に占める、日常業務全体の割合は83.1%となっている。

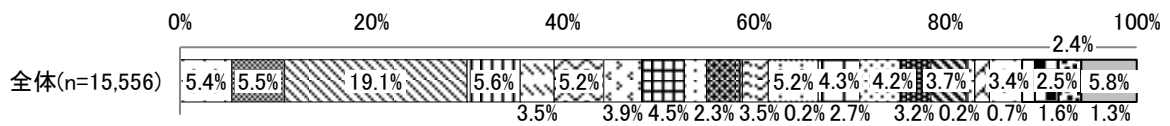
非日常業務の割合についてみると、「全体」では、「上記以外にかかる事務処理（事務集計、総務、経理、人事、物品管理・発注等）」が5.8%でもっとも割合が高く、次いで「行事の準備・運営・後片付け等」が3.4%となっている。また、業務従事時間に占める、非日常業務全体の割合は16.9%となっている。

また、業務従事時間に占める、保育対応にかかる時間の割合は、70.1%となっている<sup>4</sup>。

---

<sup>4</sup> 保育対応にかかる時間：日常業務のうち「登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し」～「環境構成（翌日の準備を含む）」「周辺業務（教材や教具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等）」「外国人のこどもの保護者とのやりとりに係る通訳及び翻訳」及び非日常業務のうち「作品展示、室内装飾」「保護者対応（保護者への相談、家庭訪問、保護者会、保育参観等）」の合計。

図表 3-69 業務従事時間に占める、日常業務・非日常業務の割合：単数回答（問 35 より作成）



- 登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し
- 保護者対応(日常的な対応)
- 遊びや活動の指導・援助
- 散歩、園外活動時の見守り、付き添い
- こどもの着替え
- 給食の指導・援助
- 給食の配膳・後片付け
- 寝かしつけ・午睡中の付き添い
- 寝具の用意・後片付け
- 排泄の指導・援助
- 沐浴の指導・援助
- 環境構成(翌日の準備を含む)
- 会議(職員会議、職員間の連絡、相談、個別打ち合わせ等)
- 周辺業務(教材や教具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等)
- 書類作成(年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価)
- 書類作成(保育記録の作成)
- 保護者への連絡(連絡帳記入、お知らせ作成等)
- 外国人のこどもの保護者とのやりとりに係る通訳及び翻訳
- 実費徴収費用の集金
- 作品展示、室内装飾
- 行事の準備・運営・後片付け等
- 周辺業務(行事等の写真撮影(保育記録等のための日常的な撮影を除く)・整理・販売等)
- 保護者対応(保護者への相談、家庭訪問、保護者会、保育参観等)
- 研修(園外研修、園内研修、実習報告書の作成、実習生の指導等)
- 上記以外にかかる事務処理(事務集計、総務、経理、人事、物品管理・発注等)

<数値表>

	日常業務									
	登降園時の こどもの受け入れ・引き渡し	保護者対応 (日常的な対応)	遊びや活動 の指導・援助	散歩、園外活 動時の見守り、付き添い	こどもの着 替え	給食の指導・ 援助	給食の配膳・ 後片付け	寝かしつけ・ 午睡中の付き添い	寝具の用意・ 後片付け	排泄の指導・ 援助
保育士票 (n=15,556)	5.4	5.5	19.1	5.6	3.5	5.2	3.9	4.5	2.3	3.5

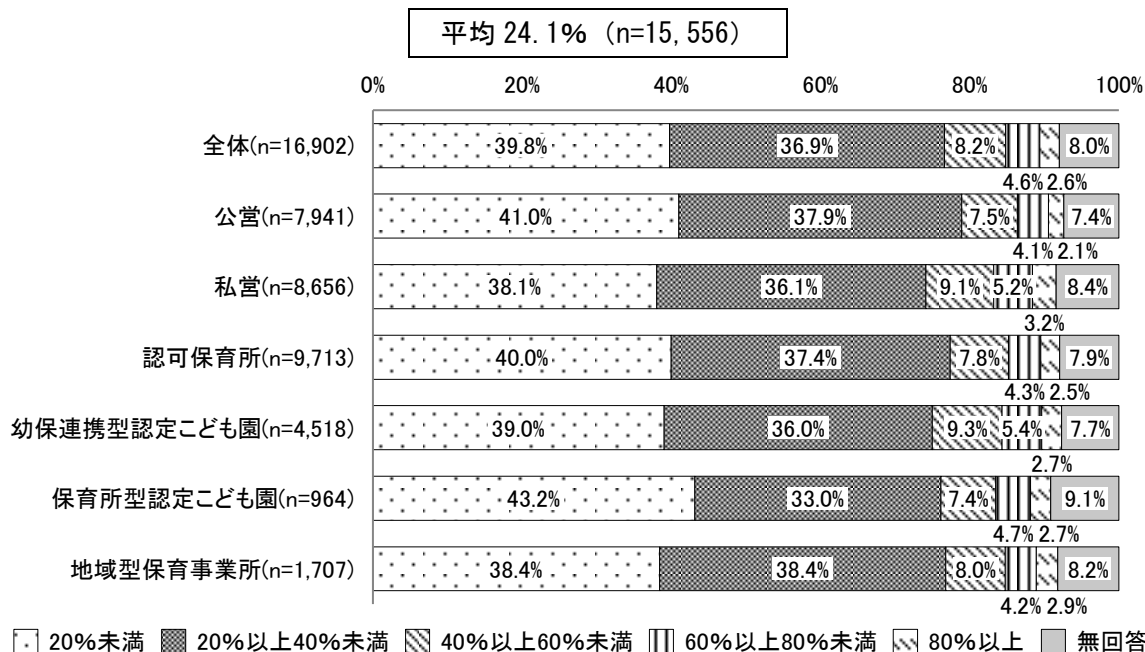
	日常業務									非日常業務 作品展示、室 内装飾
	沐浴の指導・ 援助	環境構成 (翌日の準備を含む)	会議(職員 会議、職員 間の連絡、 相談、個別 打ち合わせ 等)	周辺業務 (教材や教 具の準備・ 片付け・清 掃・消毒・ 洗濯等)	書類作成 (年間・月 間の指導計 画作成、週 案・日案の 作成、指導 計画の評 価)	書類作成 (保育記録 の作成)	保護者への 連絡(連絡 帳記入、お 知らせ作成 等)	外国人のこ どもの保護 者とのやり とりに係る 通訳及び翻 訳	実費徴収費 用の集金	
保育士票 (n=15,556)	0.2	2.7	5.2	4.3	4.2	3.2	3.7	0.2	0.7	1.6

	非日常業務				
	行事の準備・ 運営・後片付 け等	周辺業務 (行事等の 写真撮影 (保育記録 等のための 日常的な撮 影を除く)・ 整理・販売 等)	保護者対応 (保護者へ の相談、家 庭訪問、保 護者会、保 育参観等)	研修(園外 研修、園内 研修、実習 報告書の作 成、実習生 の指導等)	上記以外に かかる事務 処理(事務 集計、総 務、経理、 人事、物品 管理・発注 等)
保育士票 (n=15,556)	3.4	1.3	2.5	2.4	5.8

(2) 【保育士票】業務従事時間に占める、事務作業等時間の割合

業務従事時間に占める事務作業等時間の割合についてみると、「全体」では、「20%未満」が39.8%でもっとも割合が高く、次いで「20%以上40%未満」が36.9%となっている。また、平均値は24.1%となっている。

図表 3-70 業務従事時間に占める、事務作業等時間の割合：単数回答（問35より作成）



注) 事務作業等時間：日常業務のうち「会議（職員会議、職員間の連絡、相談、個別打ち合わせ等）」「書類作成（年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価）」「書類作成（保育記録の作成）」「保護者への連絡（連絡帳記入、お知らせ作成等）」「実費徴収費用の集金」及び非日常業務のうち「周辺業務（行事等の写真撮影（保育記録等のための日常的な撮影を除く）・整理・販売等）」「上記以外にかかる事務処理（事務集計、総務、経理、人事、物品管理・発注等）」の合計。

### (3) 【共通】業務の負担感

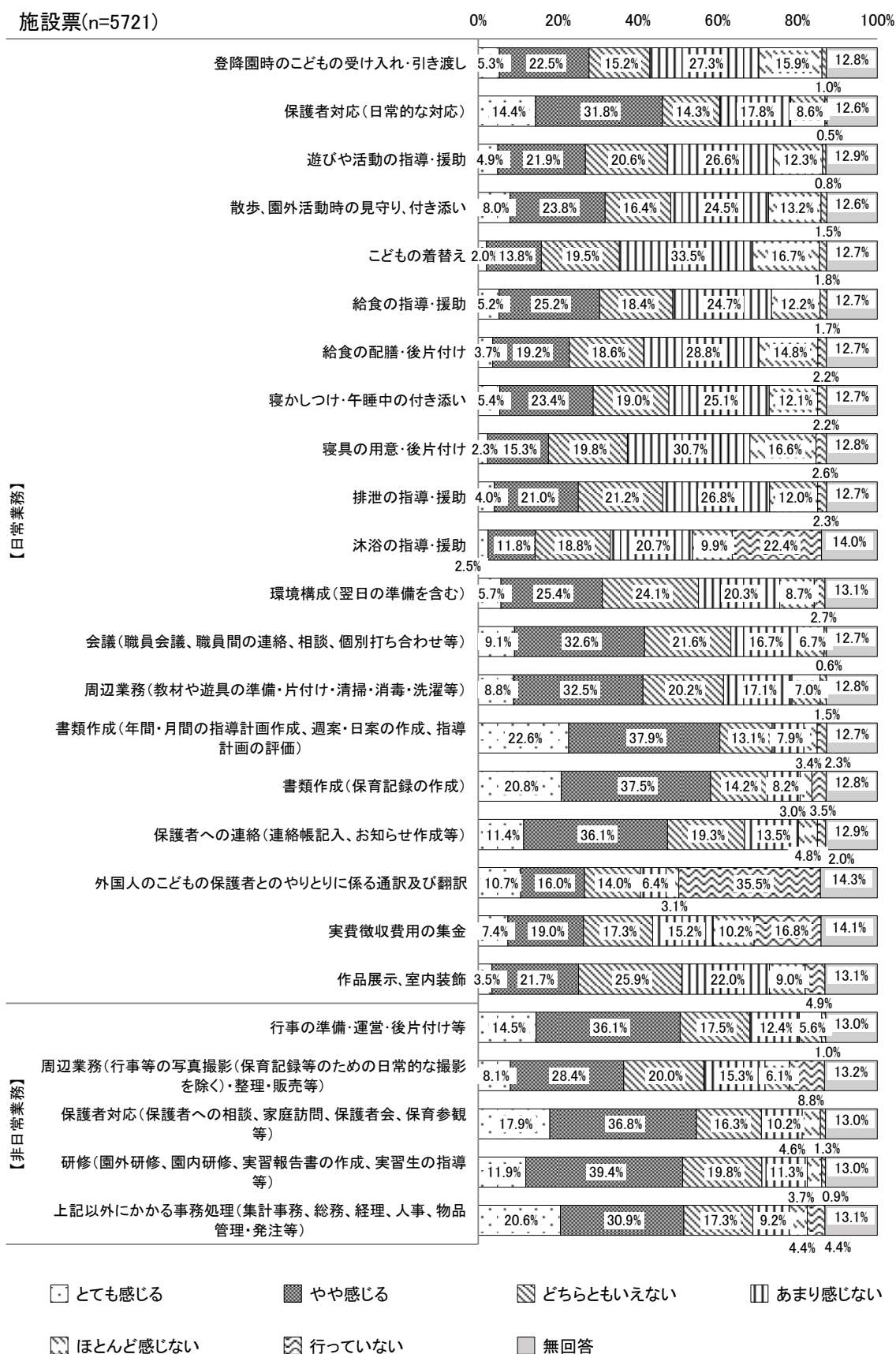
業務の負担感について、「とても感じる」「やや感じる」を合わせた割合は、施設票・保育士票いずれにおいても、「書類作成(年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価)」(施設票 60.6%、保育士票 50.8%)でもっとも高く、次いで「書類作成(保育記録の作成)」(施設票 58.3%、保育士票 49.4%)、「保護者対応(保護者への相談、家庭訪問、保護者会、保育参観等)」(施設票 54.7%、保育士票 42.4%)となっており、書類作成や保護者対応の負担が高いことが伺える。

調査種別にみると、「遊びや活動の指導・援助」を除いて、いずれの項目も施設票のほうが保育士票に比べて、「とても感じる」「やや感じる」を合わせた割合が高くなっている。

公私別にみると、「こどもの着替え」及び「沐浴の指導・援助」を除いて、いずれの項目も「公営」のほうが「私営」に比べて、「とても感じる」「やや感じる」を合わせた割合が高くなっており、特に「保護者対応(日常的な対応)」「遊びや活動の指導・援助」「環境構成(翌日の準備を含む)」「会議(職員会議、職員間の連絡、相談、個別打ち合わせ等)」「実費徴収費用の集金」「保護者対応(保護者への相談、家庭訪問、保護者会、保育参観等)」「研修(園外研修、園内研修、実習報告書の作成、実習生の指導等)」「上記以外にかかる事務処理(集計事務、総務、経理、人事、物品管理・発注等)」に関して10ポイント以上高い割合となっている。

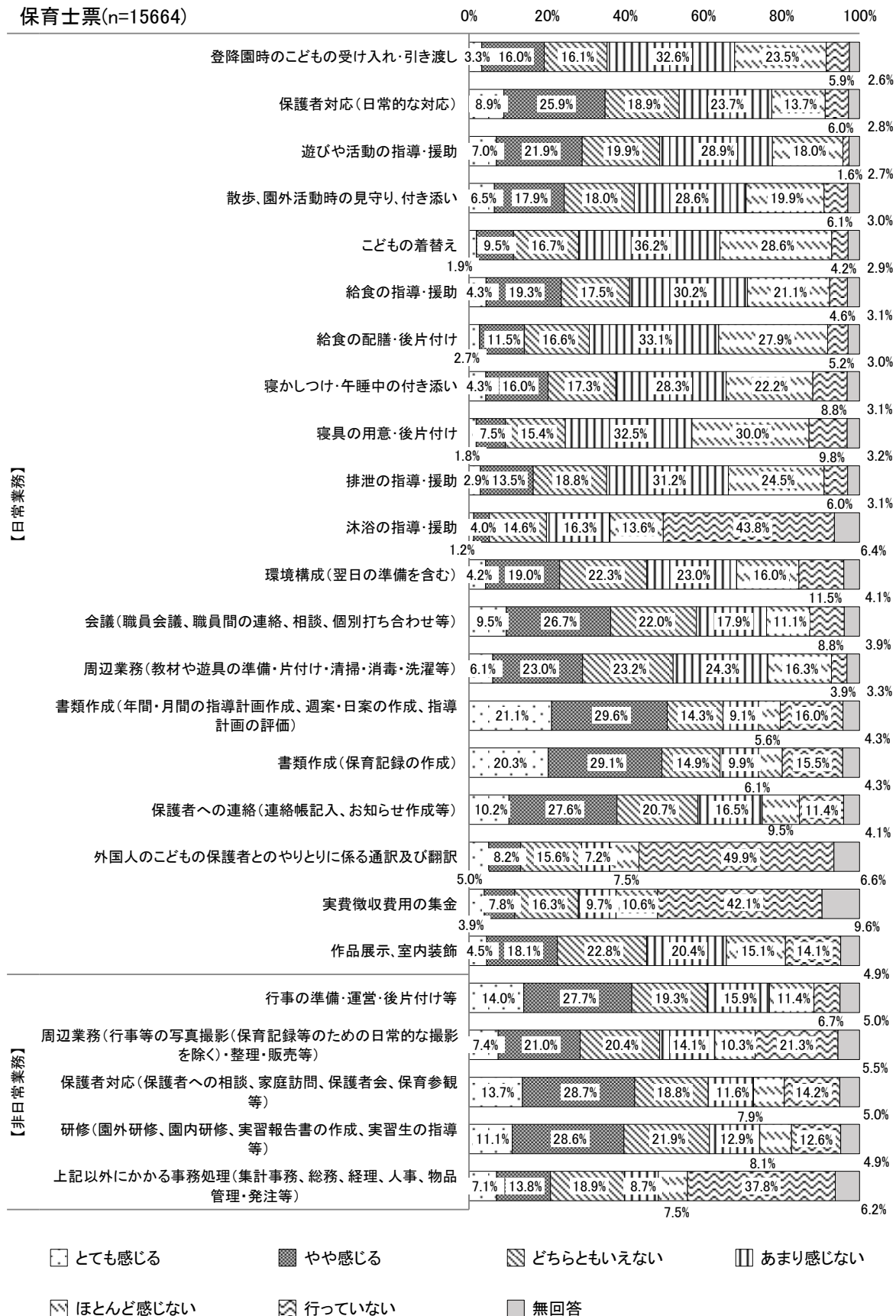
事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「保護者対応(日常的な対応)」「保護者への連絡(連絡帳記入、お知らせ作成等)」「実費徴収費用の集金」「行事の準備・運営・後片付け等」「保護者対応(保護者への相談、家庭訪問、保護者会、保育参観等)」について「とても感じる」「やや感じる」を合わせた割合が低くなっている。

図表 3-71 【施設票】業務の負担感：単数回答（問 36）



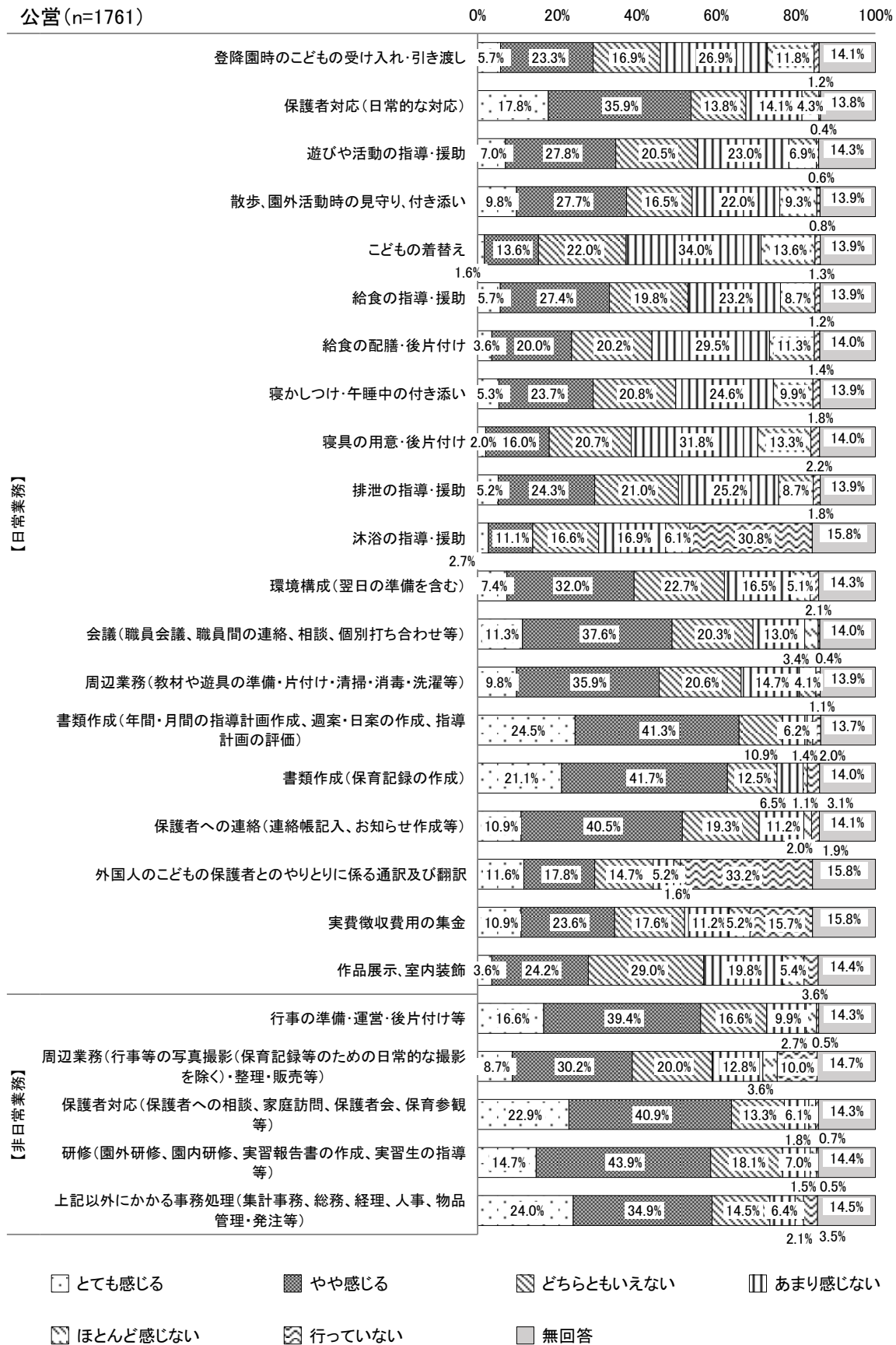
注) 施設票については、施設管理者が園全体でみたときの業務負担感について回答している。以下同様。

図表 3-72 【保育士票】業務の負担感：単数回答（問 36）



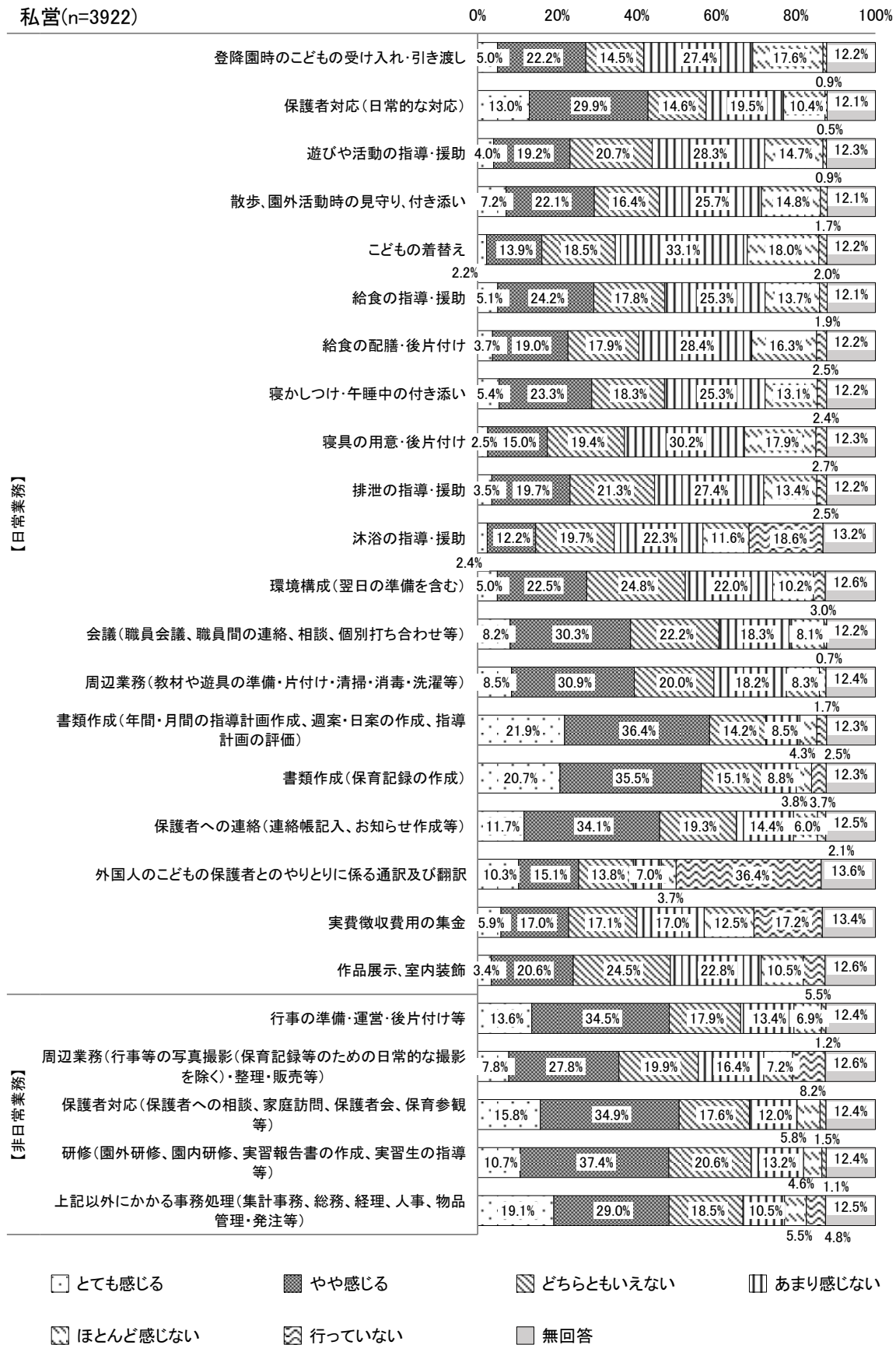
注) 保育士票の対象は問2で「2. 副施設長・副所長級」～「12. 家庭的保育補助者」と回答した者のみ。

図表 3-73 【公営】業務の負担感：単数回答（問 36）



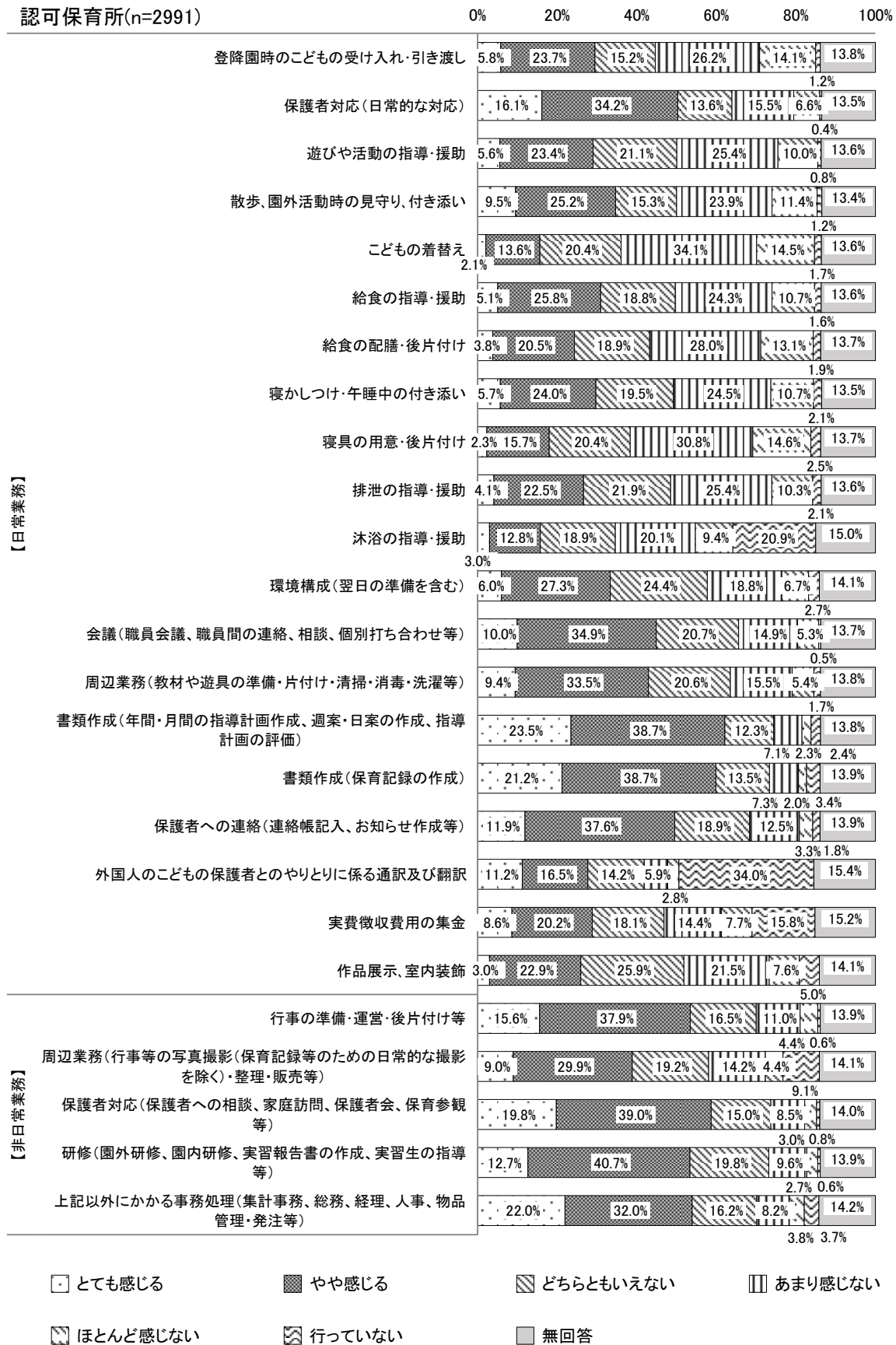
注) 集計対象は施設票のみ。

図表 3-74 【私営】業務の負担感：単数回答（問 36）



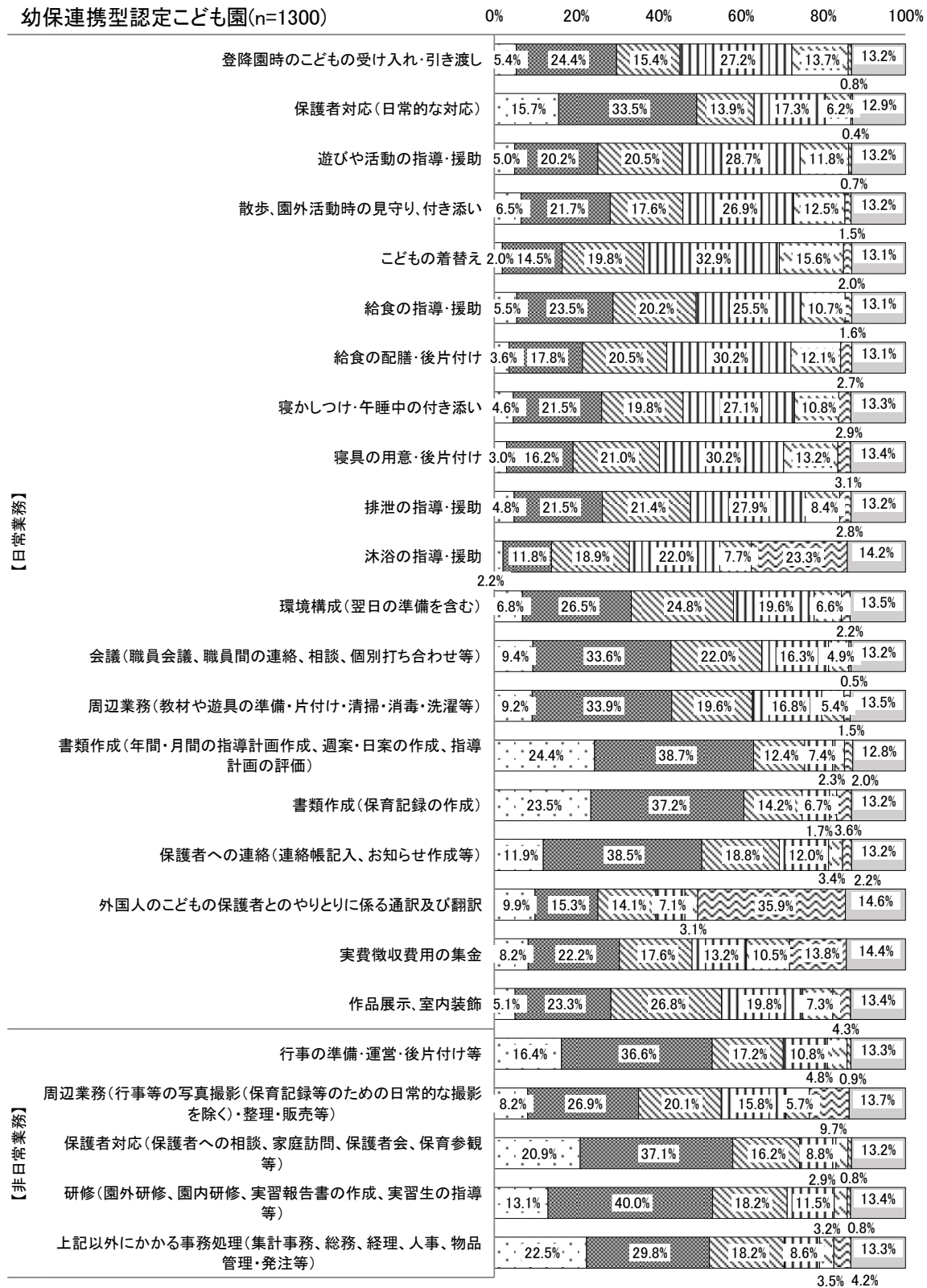
注) 集計対象は施設票のみ。

図表 3-75 【認可保育所】業務の負担感：単数回答（問 36）



注) 集計対象は施設票のみ。

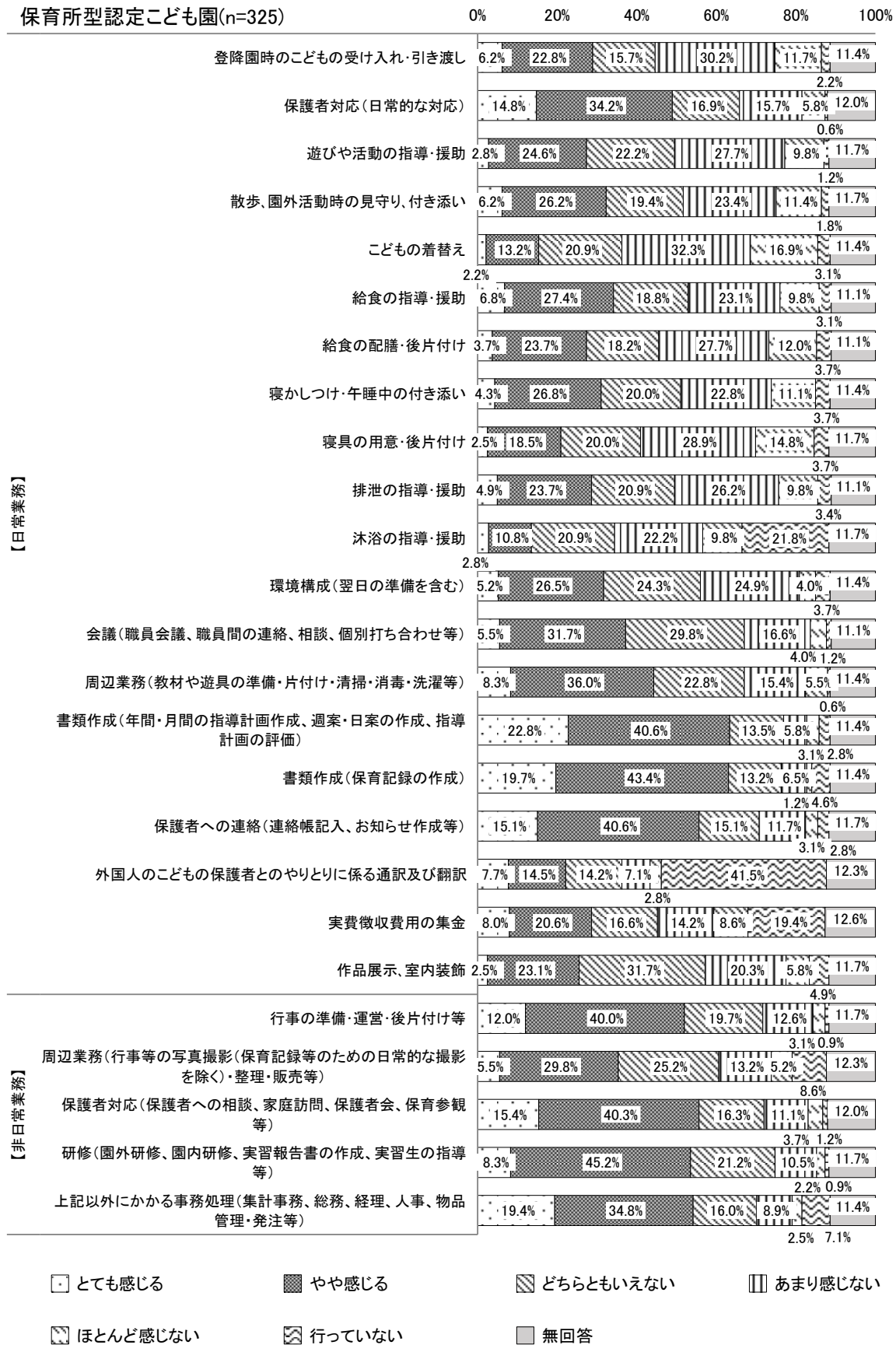
図表 3-76 【幼保連携型認定こども園】業務の負担感：単数回答（問 36）



とても感じる     
  やや感じる     
  どちらともいえない     
  あまり感じない  
 ほとんど感じない     
  行っていない     
  無回答

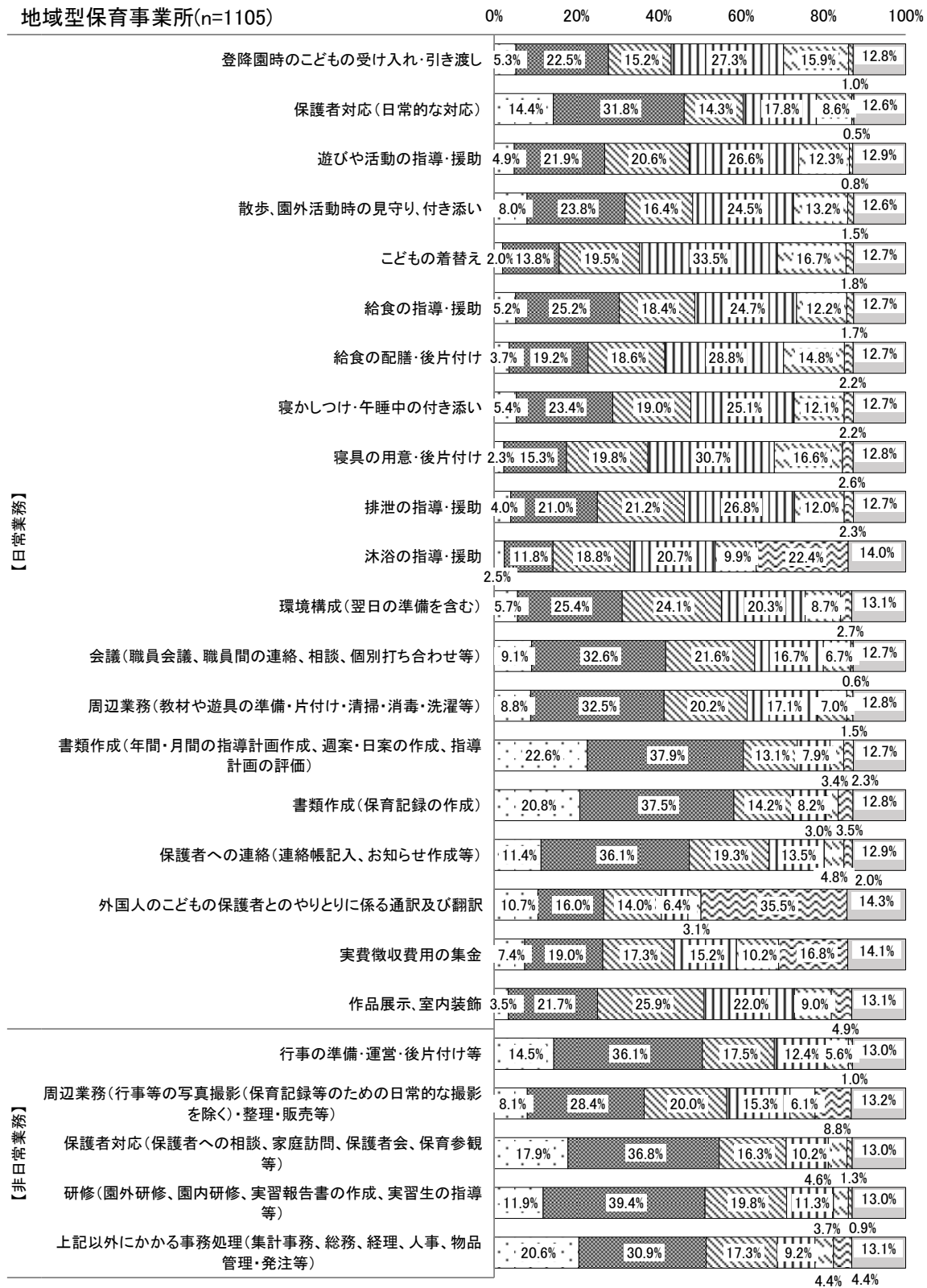
注) 集計対象は施設票のみ。

図表 3-77 【保育所型認定こども園】業務の負担感：単数回答（問36）



注) 集計対象は施設票のみ。

図表 3-78 【地域型保育事業所】業務の負担感：単数回答（問 36）



とても感じる       やや感じる       どちらともいえない       あまり感じない  
 ほとんど感じない       行っていない       無回答

注) 集計対象は施設票のみ。

## 5. 保育 ICT の活用状況について

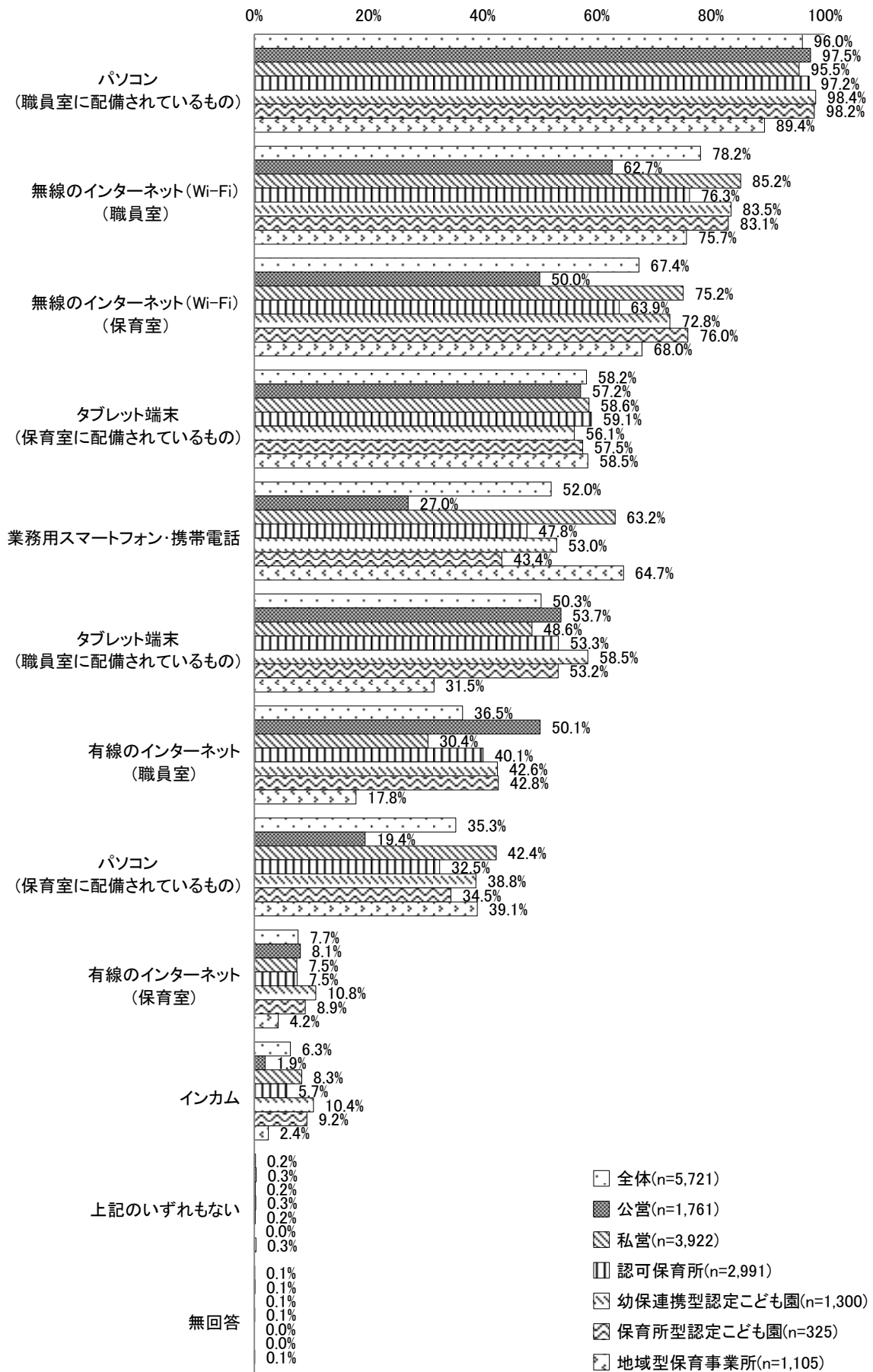
### (1) 【施設票】 配備されている機器やインターネット環境

配備されている機器やインターネット環境についてみると、「全体」では、「パソコン（職員室に配備されているもの）」が96.0%でもっとも割合が高く、次いで「無線のインターネット（Wi-Fi）（職員室）」が78.2%となっている。

公私別にみると、「公営」に比べて「私営」では、「業務用スマートフォン・携帯電話」「無線のインターネット（Wi-Fi）（職員室）」「無線のインターネット（Wi-Fi）（保育室）」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、他に比べて「幼保連携型認定こども園」では「タブレット端末（職員室に配備されているもの）」の割合が、「地域型保育事業所」では「業務用スマートフォン・携帯電話」の割合がそれぞれ高くなっている。

図表 3-79 配備されている機器やインターネット環境：複数回答（問 37）



(2) 【施設票】端末の台数の整備状況

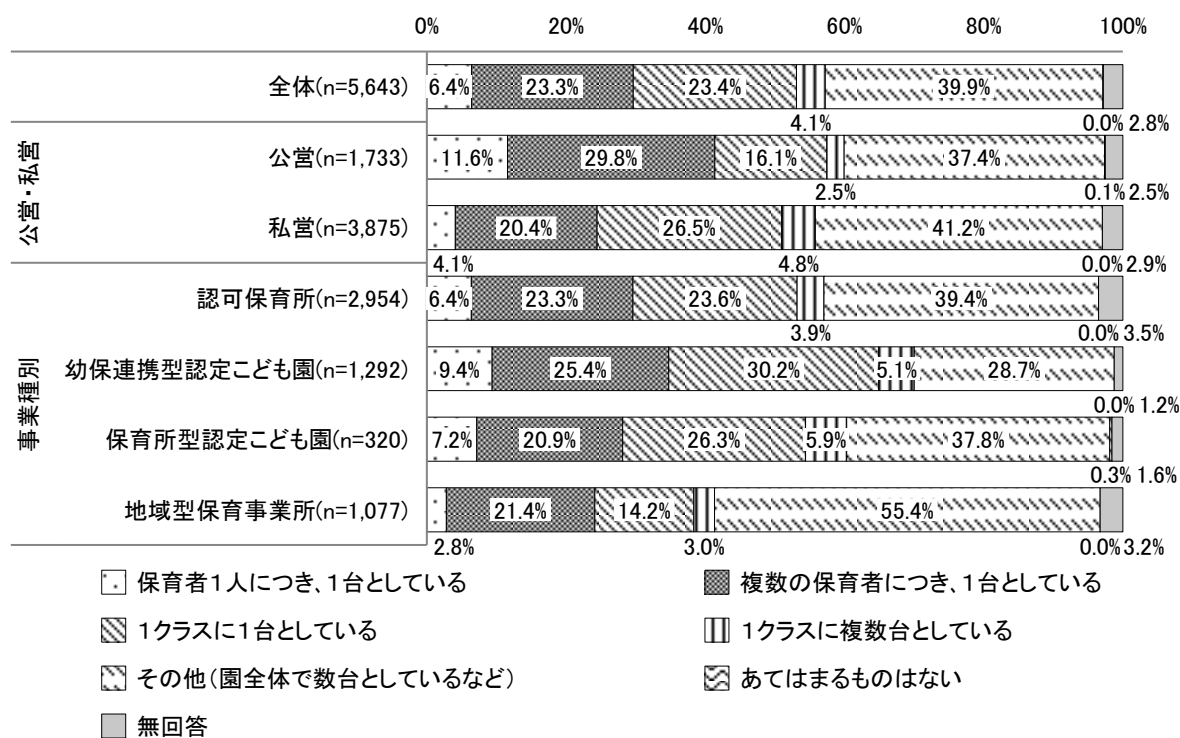
①パソコンの整備状況

パソコンが配備されている施設について、パソコンの整備状況を見ると、「全体」では、「その他（園全体で数台としているなど）」が 39.9%でもっとも割合が高く、次いで「1クラスに1台としている」が 23.4%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「保育者1人につき、1台としている」「複数の保育者につき、1台としている」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「幼保連携型認定こども園」では、他に比べて「1クラスに1台としている」の割合が高くなっている。また、「地域型保育事業所」では、他に比べて「その他（園全体で数台としているなど）」の割合が高くなっている。

図表 3-80 パソコンの整備状況：単数回答（問 38-1）



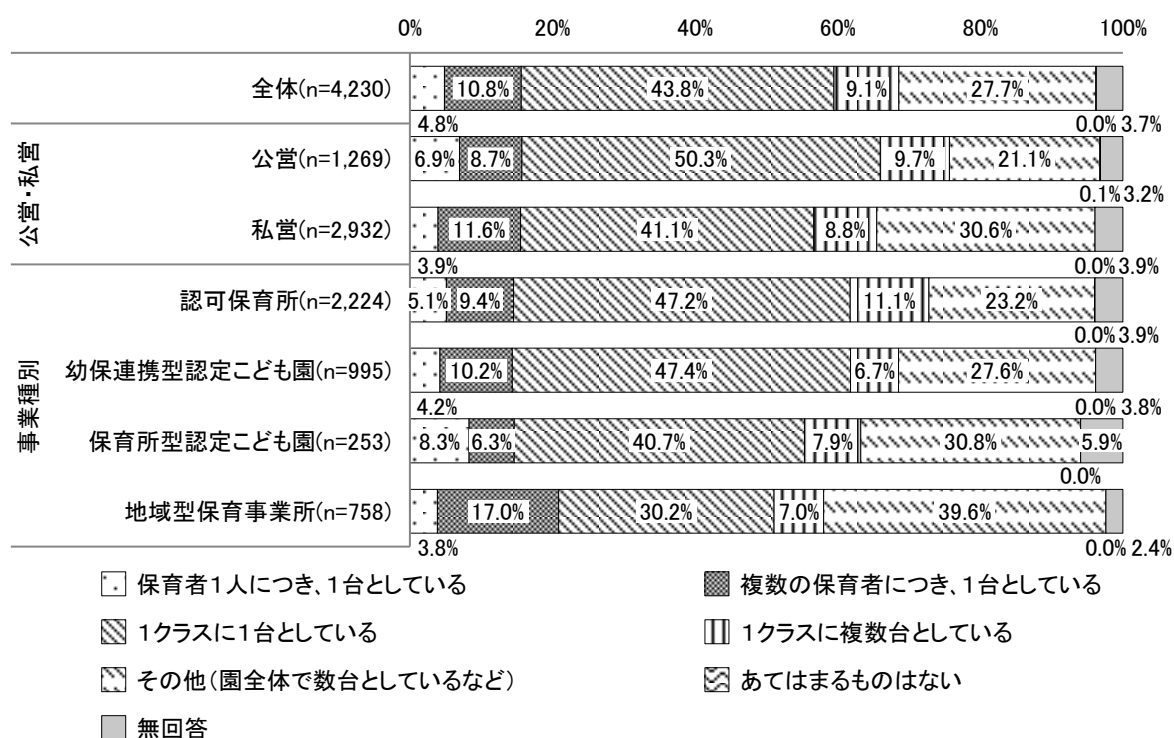
## ②タブレット端末の整備状況

タブレット端末が配備されている施設について、タブレット端末の整備状況を見ると、「全体」では、「1クラスに1台としている」が43.8%でもっとも割合が高く、次いで「その他（園全体で数台としているなど）」が27.7%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「1クラスに1台としている」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「複数の保育者につき、1台としている」「その他（園全体で数台としているなど）」の割合が高くなっている。

図表 3-81 タブレット端末の整備状況：単数回答（問38-2）



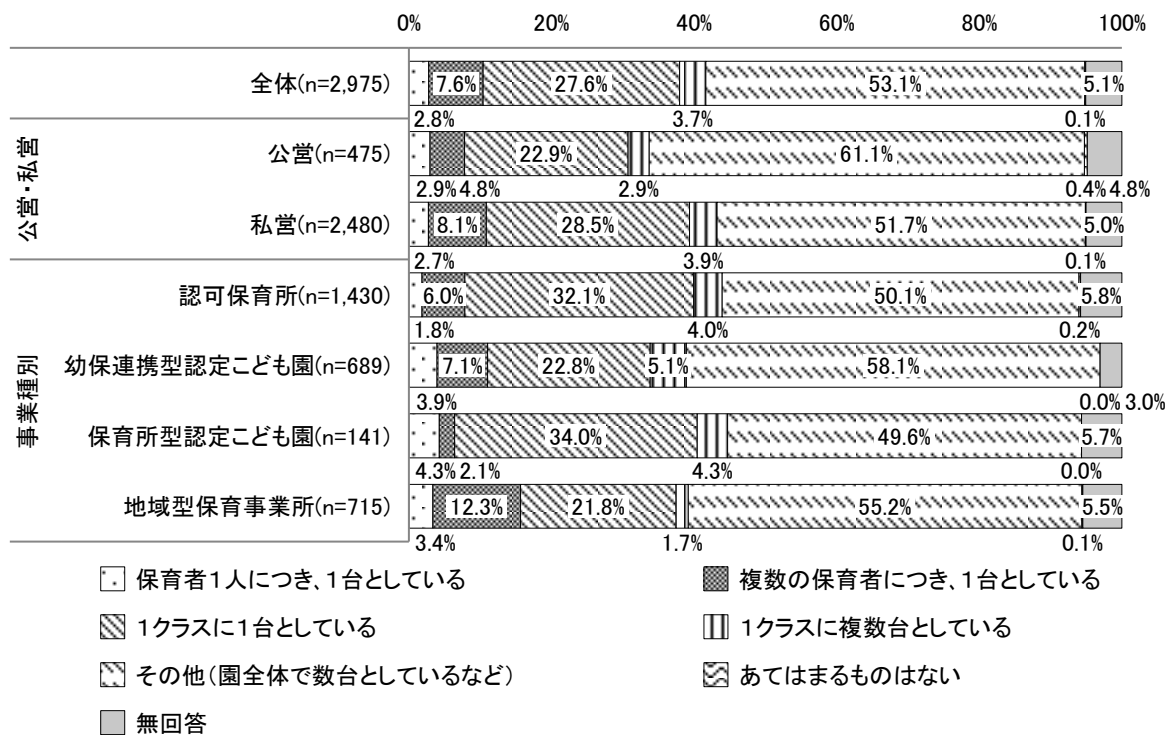
### ③業務用スマートフォン・携帯電話の整備状況

業務用スマートフォン・携帯電話が配備されている施設について、業務用スマートフォン・携帯電話の整備状況をみると、「全体」では、「その他（園全体で数台としているなど）」が 53.1%でもっとも割合が高く、次いで「1クラスに1台としている」が 27.6%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「その他（園全体で数台としているなど）」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「認可保育所」「保育所型認定こども園」では、他に比べて「1クラスに1台としている」の割合が高くなっている。

図表 3-82 業務用スマートフォン・携帯電話の整備状況：単数回答（問 38-3）

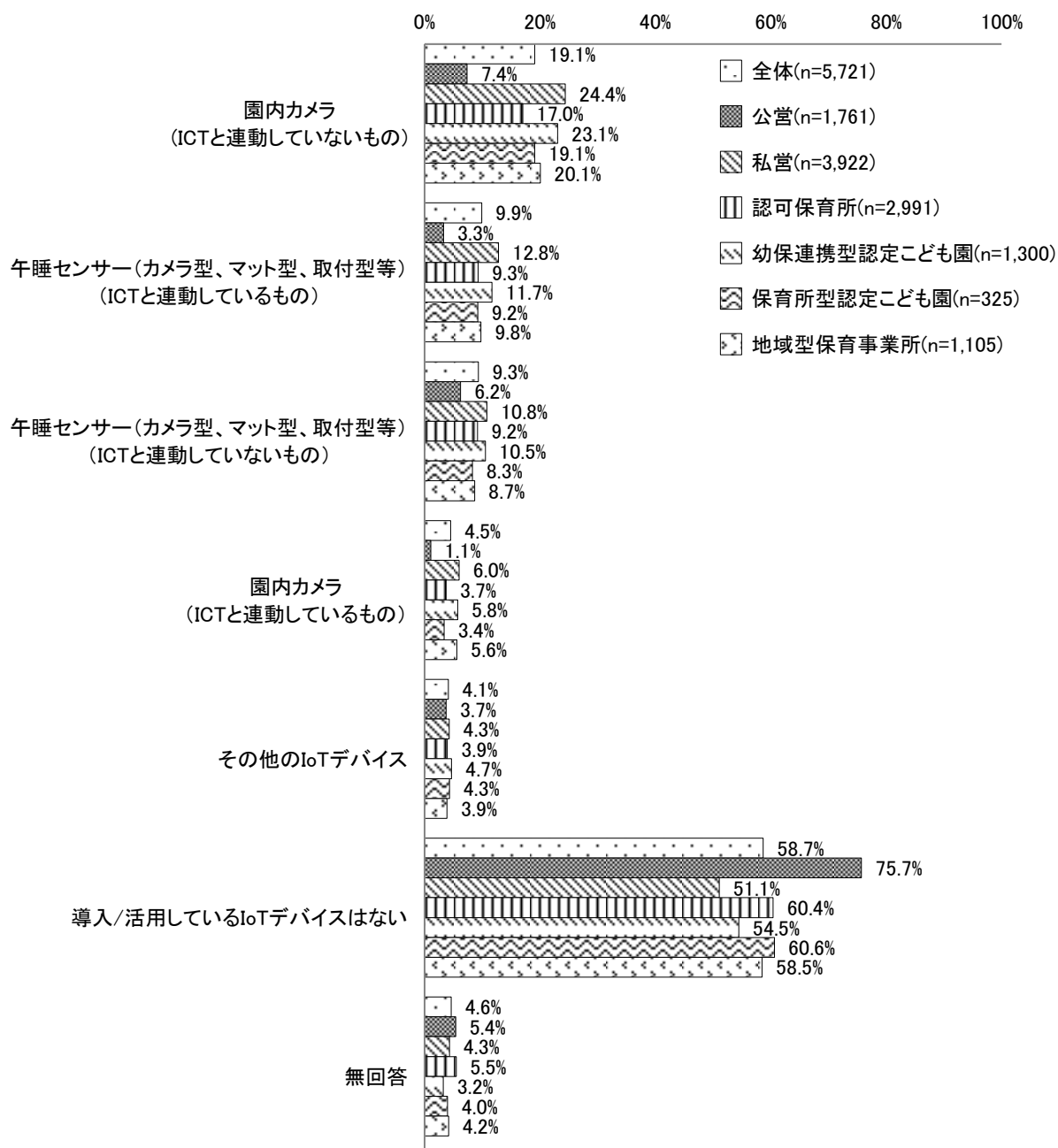


### (3) 【施設票】設置・配備している IoT デバイス

設置・配備している IoT デバイスについてみると、「全体」では、「導入/活用している IoT デバイスはない」が 58.7%でもっとも割合が高く、次いで「園内カメラ (ICT と連動していないもの)」が 19.1%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「導入/活用している IoT デバイスはない」の割合が高くなっている。事業種別では大きな差はみられない。

図表 3-83 設置・配備している IoT デバイス：複数回答（問 39-1）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

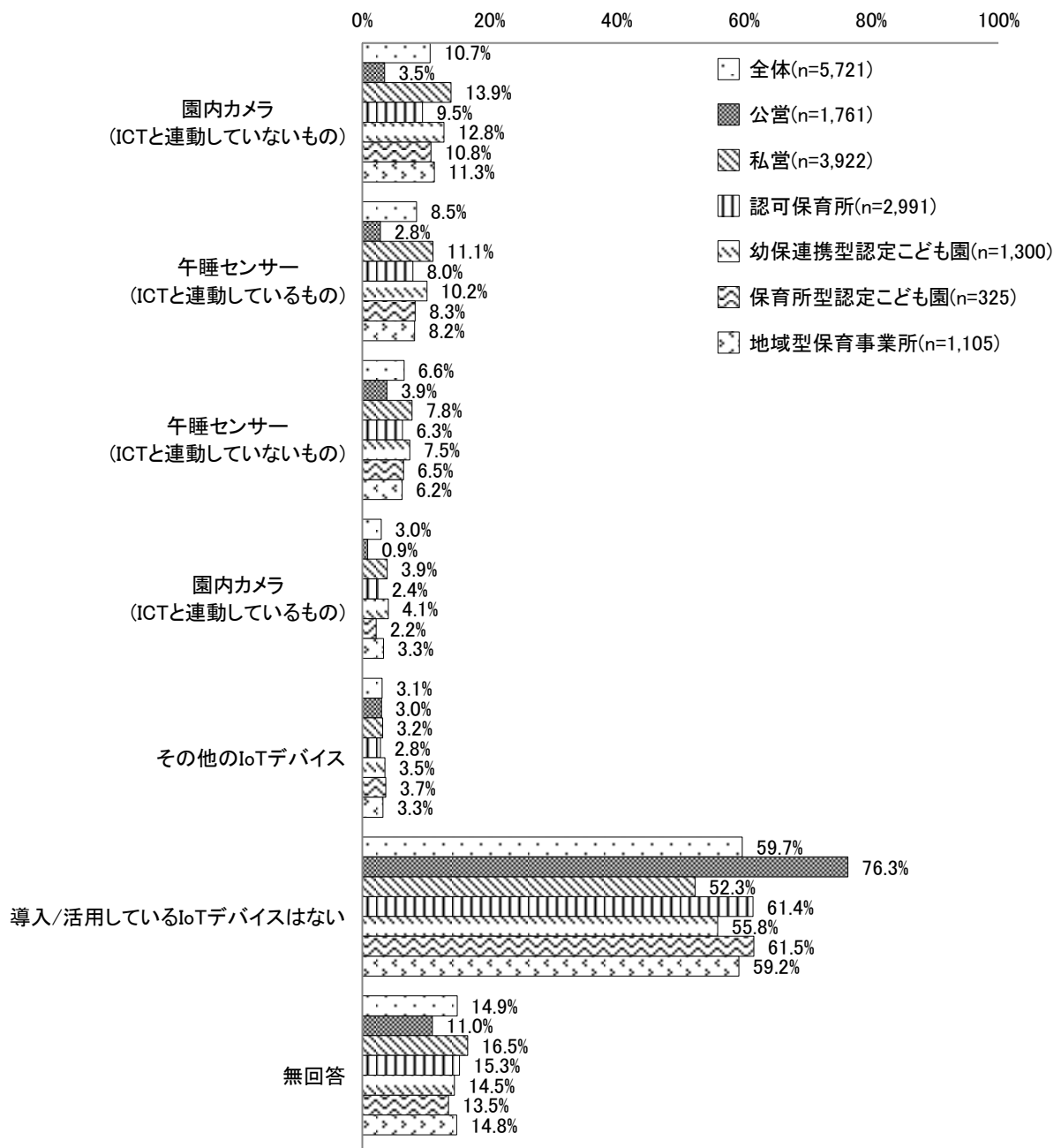
- ・ 園外カメラ。
- ・ スマート体温計。
- ・ タブレット端末と連動する体温計。
- ・ 温湿度計。
- ・ 保育室内の温度、湿度、二酸化炭素量を計測する機器。
- ・ 給食室冷蔵庫温度センサー。
- ・ プロジェクター。
- ・ 電子黒板・大型ディスプレイ。
- ・ 音声アシスタント端末。
- ・ ウェアラブル IoT。
- ・ 自動清掃ロボット。

#### (4) 【施設票】実際に活用している IoT デバイス

実際に活用している IoT デバイスについてみると、「全体」では、「導入/活用している IoT デバイスはない」が 59.7%でもっとも割合が高く、次いで「園内カメラ (ICT と連動していないもの)」が 10.7%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「導入/活用している IoT デバイスはない」の割合が高くなっている。事業種別では大きな差はみられない。

図表 3-84 実際に活用している IoT デバイス：複数回答（問 39-2）



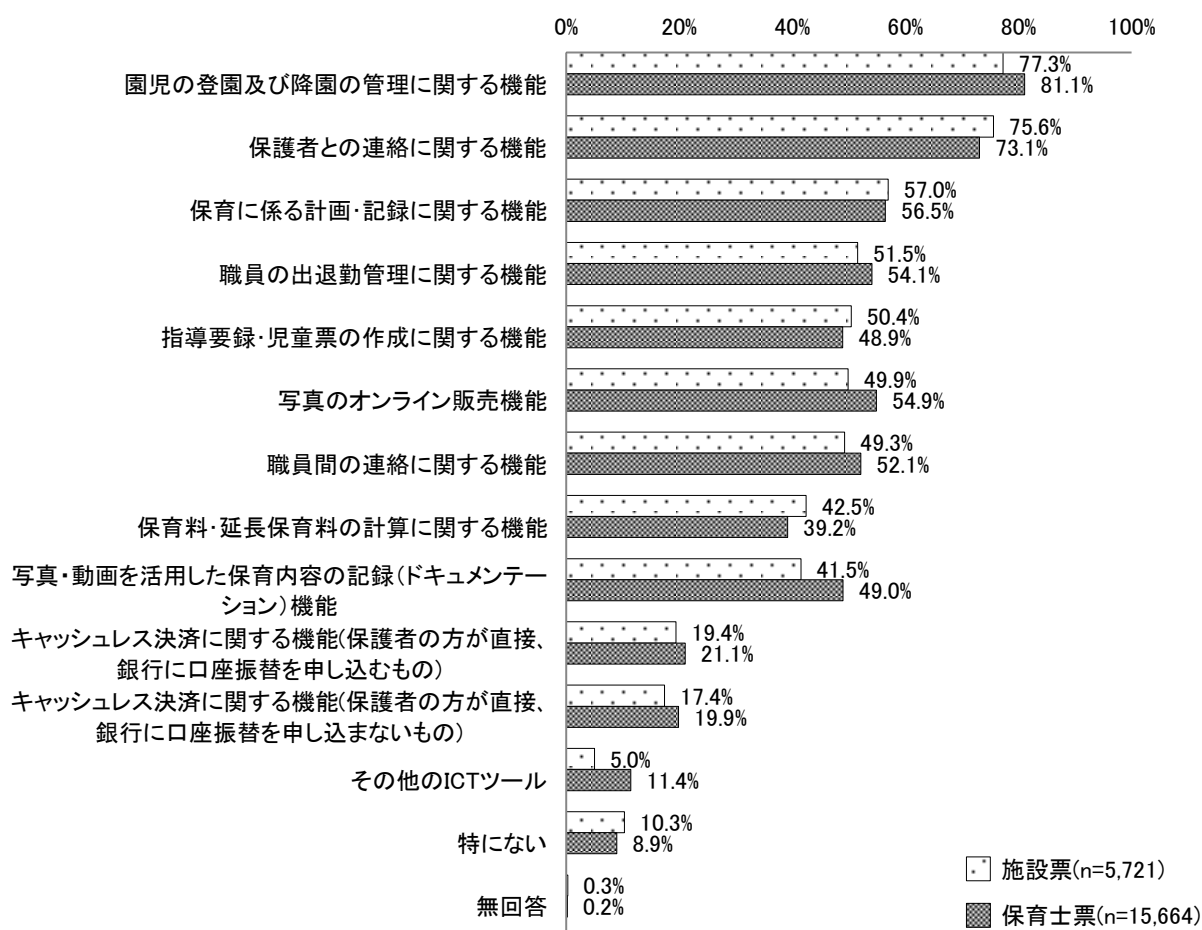
### (5) 【共通】導入している ICT

導入している ICT について、調査種別にみると、「施設票」では、「園児の登園及び降園の管理に関する機能」が 77.3%でもっとも割合が高く、次いで「保護者との連絡に関する機能」が 75.6%となっている。「保育士票」では、「園児の登園及び降園の管理に関する機能」が 81.1%でもっとも割合が高く、次いで「保護者との連絡に関する機能」が 73.1%となっている。

施設票に限定して、公私別にみると、「私营」では、「公営」に比べて「保育料・延長保育料の計算に関する機能」「キャッシュレス決済に関する機能（保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込むもの）」の割合が高くなっている。

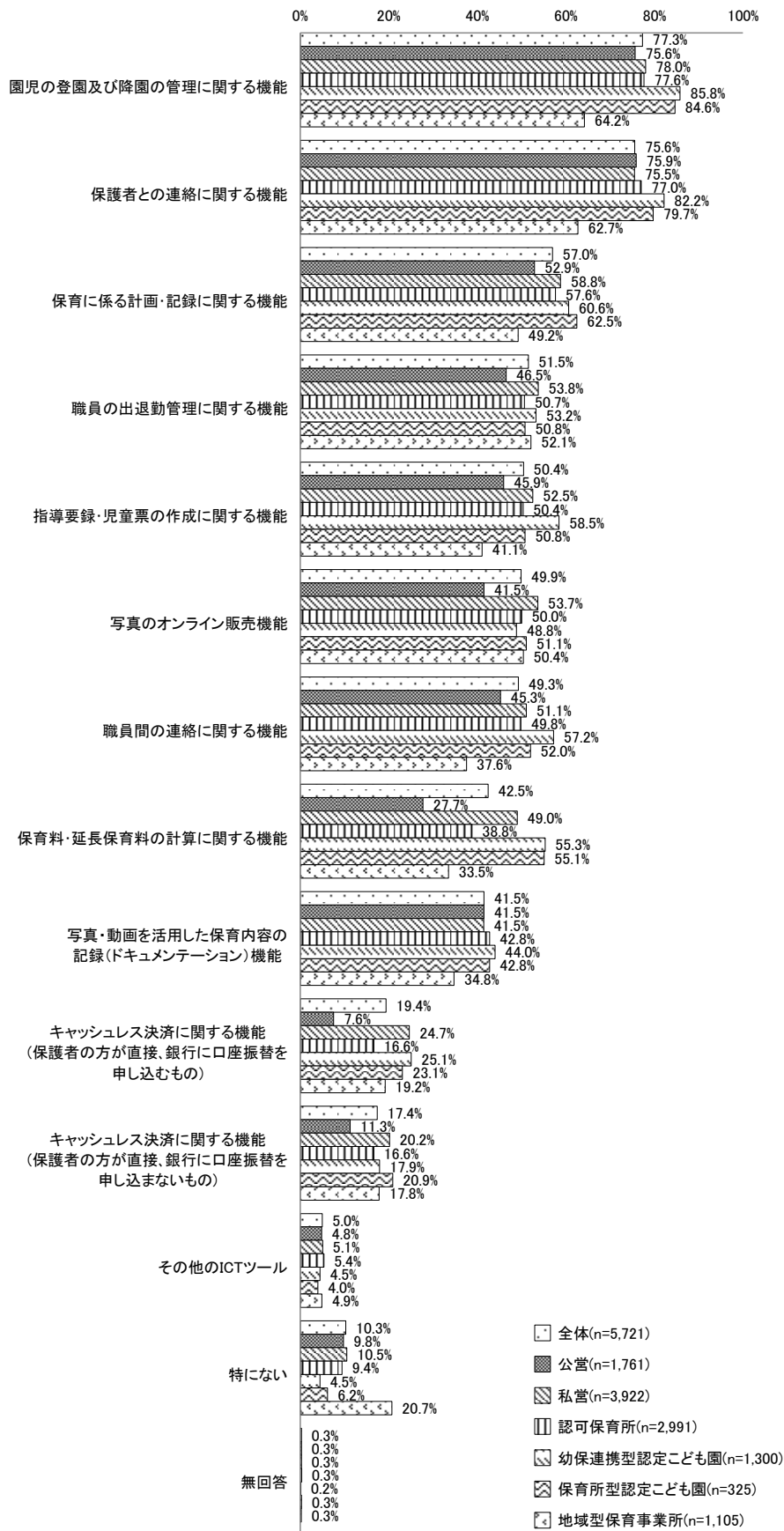
事業種別にみると、「幼保連携型認定こども園」では、他に比べて全般的に導入している割合が高くなっている。

図表 3-85 【調査種別】導入している ICT：複数回答（問 40-1）



注) 保育士票の対象は問 2 で「2. 副施設長・副所長級」～「12. 家庭的保育補助者」と回答した者のみ。

図表 3-86 導入している ICT：複数回答（問 40-1）



注) 集計対象は施設票のみ。

<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

- ・ タブレット端末を使用した学習。
- ・ アンケート集計、シフト管理。
- ・ 給食管理。
- ・ 健康管理。
- ・ 身体測定。
- ・ クラウドサービス。

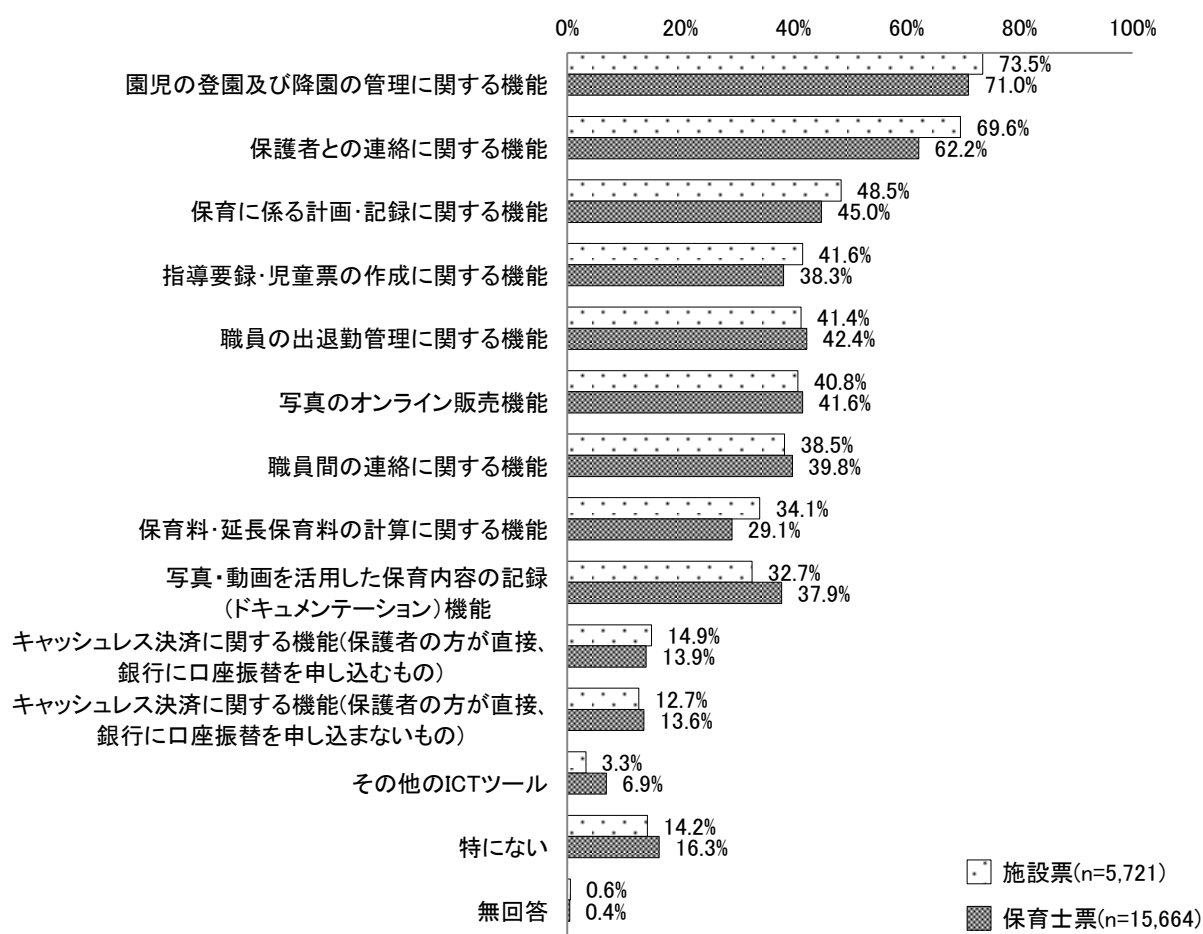
(6) 【共通】導入している ICT のうち、実際に活用している ICT

導入している ICT のうち、実際に活用している ICT について、調査種別にみると、「施設票」では、「園児の登園及び降園の管理に関する機能」が 73.5%でもっとも割合が高く、次いで「保護者との連絡に関する機能」が 69.6%となっている。「保育士票」では、「園児の登園及び降園の管理に関する機能」が 71.0%でもっとも割合が高く、次いで「保護者との連絡に関する機能」が 62.2%となっている。

公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「保育料・延長保育料の計算に関する機能」の割合が高くなっている。

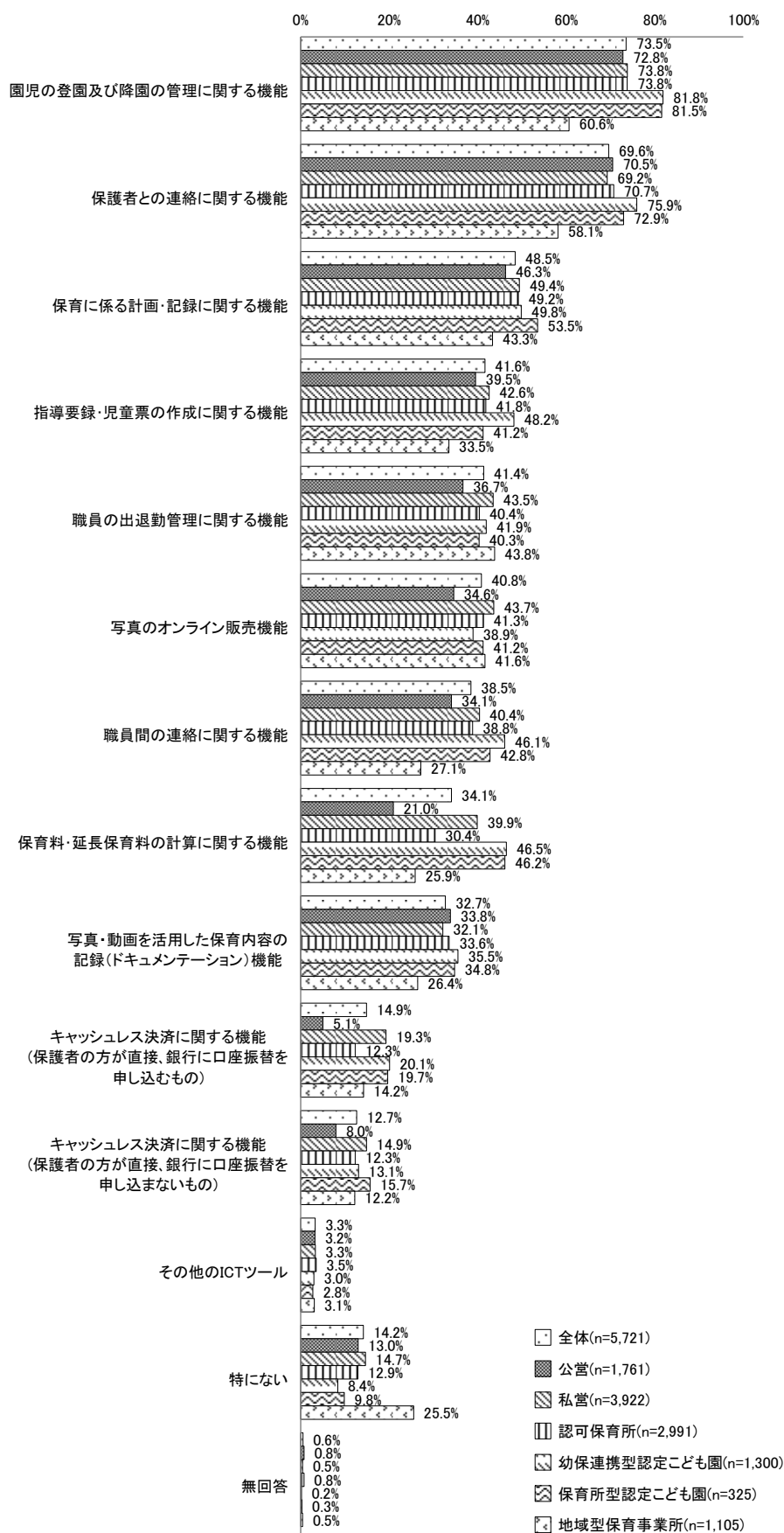
事業種別にみると、「幼保連携型認定こども園」では、他に比べて全般的に活用している割合が高くなっている。

図表 3-87 【調査種別】導入している ICT のうち、実際に活用している ICT：複数回答（問 40-2）



注) 保育士票の対象は問 2 で「2. 副施設長・副所長級」～「12. 家庭的保育補助者」と回答した者のみ。

図表 3-88 導入している ICT のうち、実際に活用している ICT : 複数回答 (問 40-2)



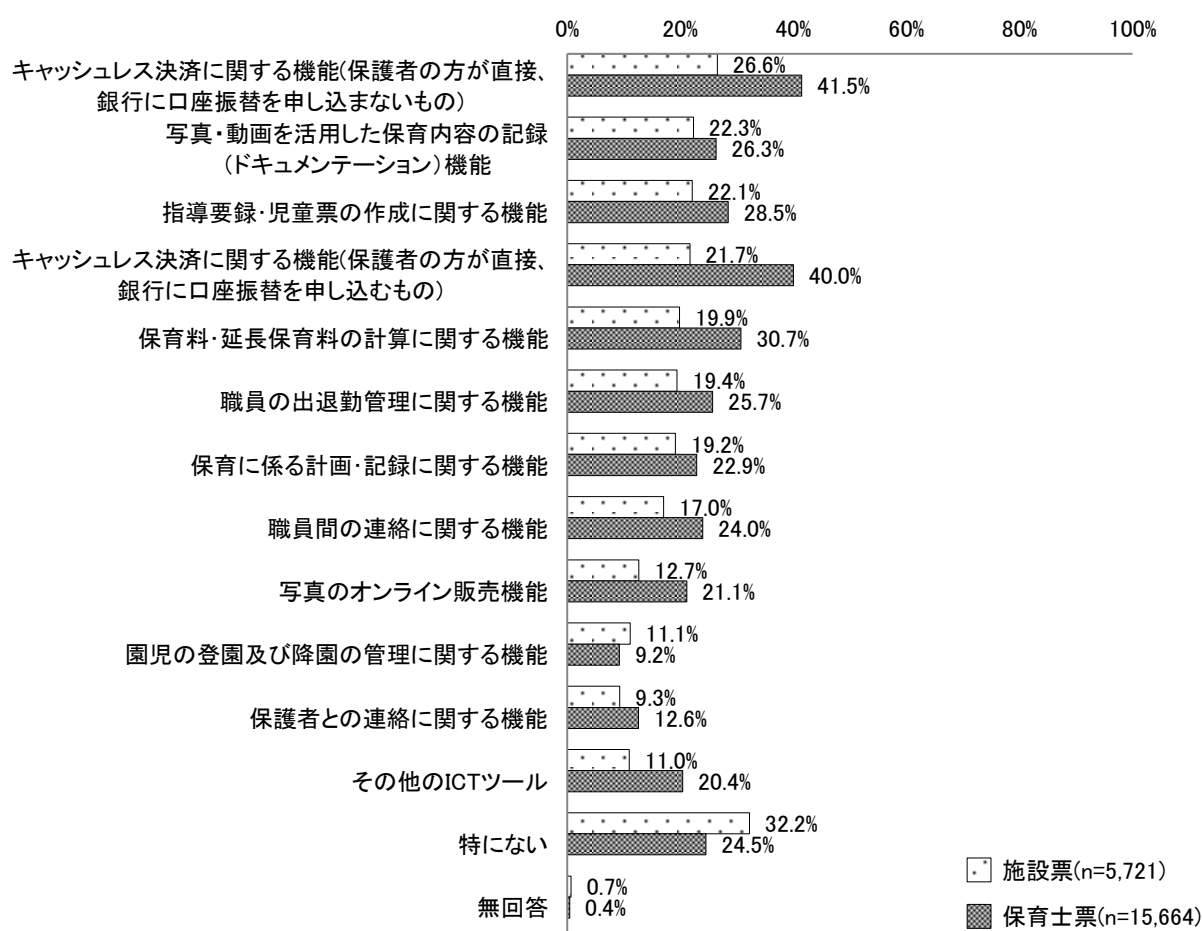
注) 集計対象は施設票のみ。

(7) 【共通】今後導入したい ICT

今後導入したい ICT について、調査種別に見ると、「施設票」では、「特にない」が 32.2%でもっとも割合が高く、次いで「キャッシュレス決済に関する機能（保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込まないもの）」が 26.6%となっている。「保育士票」では、「キャッシュレス決済に関する機能（保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込まないもの）」が 41.5%でもっとも割合が高く、次いで「キャッシュレス決済に関する機能（保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込むもの）」が 40.0%となっている。

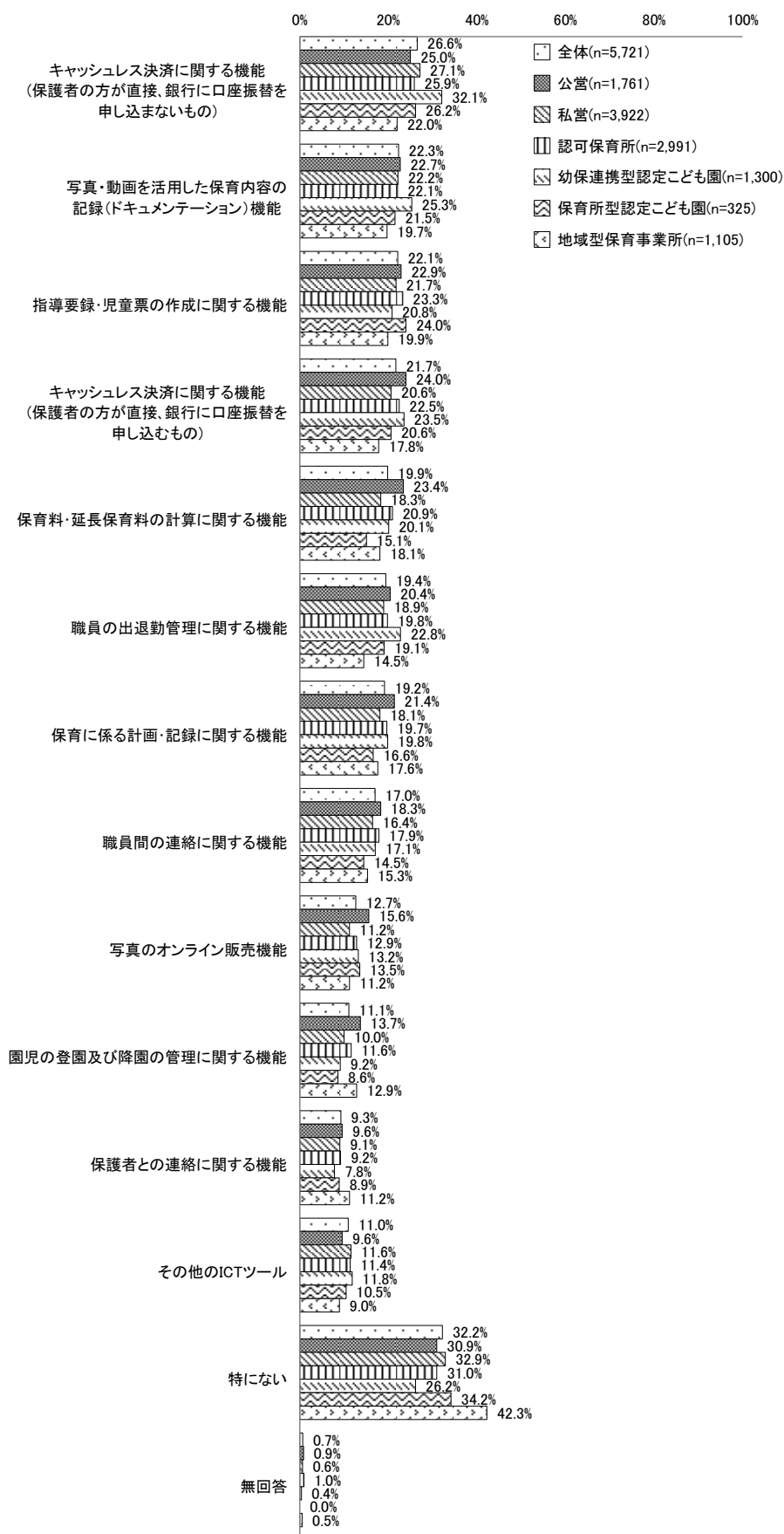
施設票に限定して公私別・事業種別に見ると、公私別には大きな差はみられないが、事業種別に見ると、「地域型保育事業所」で「特にない」の割合が高くなっている。

図表 3-89 【調査種別】今後導入したい ICT：複数回答（問 40-3）



注) 保育士票の対象は問 2 で「2. 副施設長・副所長級」～「12. 家庭的保育補助者」と回答した者のみ。

図表 3-90 今後導入したい ICT：複数回答（問 40-3）



注) 集計対象は施設票のみ。

<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■職員管理・シフト作成

- ・ シフト自動作成。
- ・ シフト作成 AI ツール。

■保護者連絡・連絡帳

- ・ 保護者との連絡帳。
- ・ 連絡帳を ICT で記入したい。
- ・ 連絡帳の電子化。

■キャッシュレス決済

- ・ 集金のキャッシュレス。
- ・ 職員の集金キャッシュレス決済。

■AI・自動化ツール

- ・ AI による書類の簡素化作成。
- ・ 生成 AI による計画書。

■給食・健康管理

- ・ 給食管理。
- ・ 健康診断の記録。
- ・ 園児の体重管理ツール。

■その他

- ・ 電子黒板。
- ・ 災害時対応。

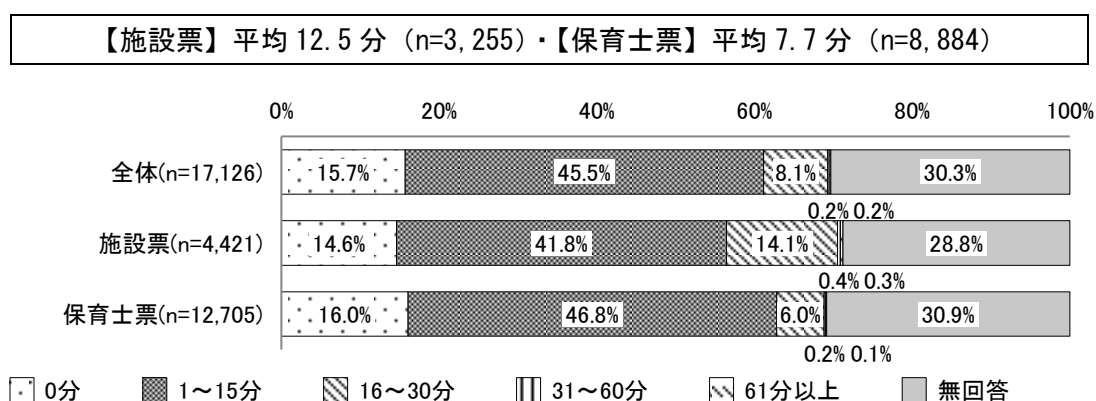
(8) 【共通】 ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間

園児の登園及び降園の管理に関する機能を導入している施設において、ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（当日の出欠席人数の確認）を調査種別にみると、「施設票」では、「1～15分」が41.8%でもっとも割合が高く、次いで「0分」が14.6%となっている。「保育士票」では、「1～15分」が46.8%でもっとも割合が高く、次いで「0分」が16.0%となっている。

施設票に限定して公私別にみると、「公営」のほうが、「私営」に比べて「1～15分」の割合が高くなっている。

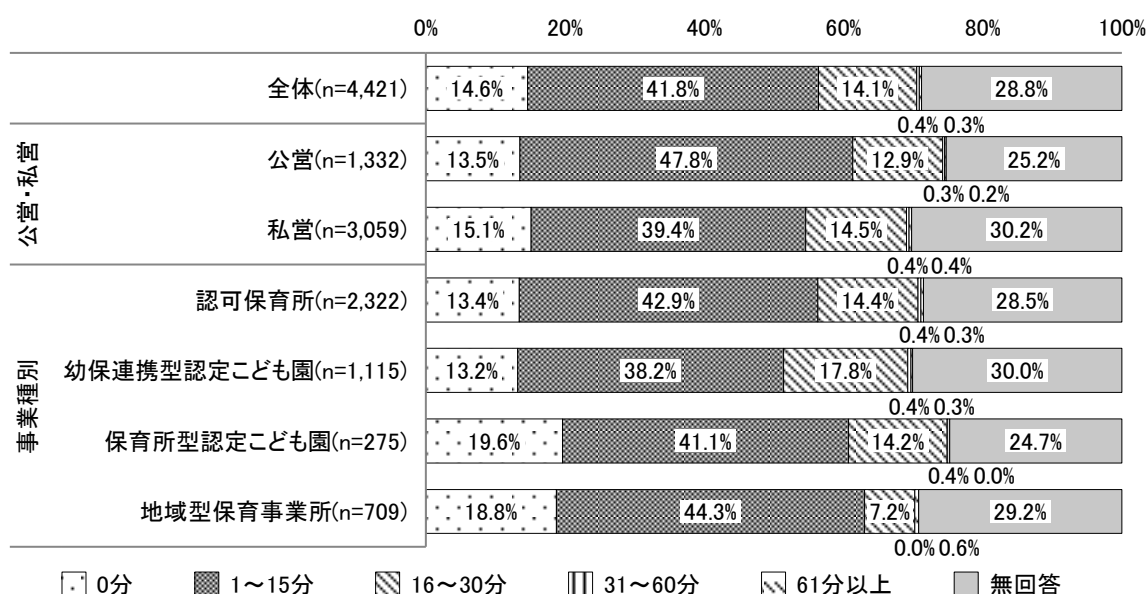
事業種別では、大きな差はみられない。

図表 3-91 【調査種別】 ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり）  
当日の出欠席人数の確認：単数回答（問 41-1 より作成）



注) 「全体」は、園児の登園及び降園の管理に関する機能を導入している施設。

図表 3-92 ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり）  
当日の出欠席人数の確認：単数回答（問 41-1 より作成）



注) 「全体」は、園児の登園及び降園の管理に関する機能を導入している施設。

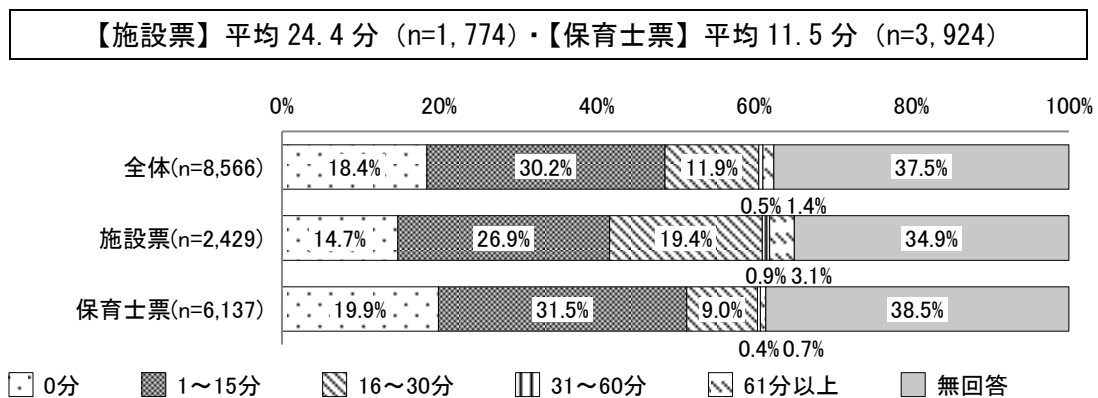
注) 集計対象は施設票のみ。

保育料・延長保育料の計算に関する機能を導入している施設において、ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（延長保育・預かり保育の利用実績の確認や集計）を調査種別にみると、「施設票」では、「1～15分」が26.9%でもっとも割合が高く、次いで「16～30分」が19.4%となっている。「保育士票」では、「1～15分」が31.5%でもっとも割合が高く、次いで「0分」が19.9%となっている。

施設票に限定して公私別にみると、公私別では大きな差はみられない。

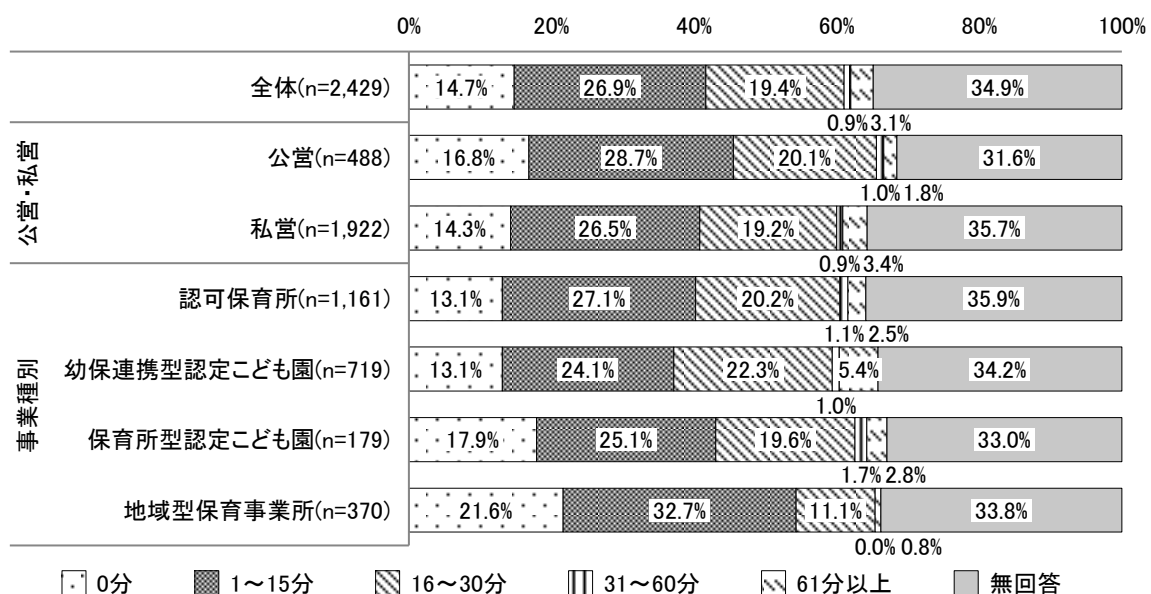
事業種別では、「地域型保育事業所」では他に比べて、「0分」「1～15分」の割合が高くなっている。

図表 3-93 【調査種別】ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり）  
延長保育・預かり保育の利用実績の確認や集計：単数回答（問41-2より作成）



注)「全体」は、保育料・延長保育料の計算に関する機能を導入している施設。

図表 3-94 ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり）  
延長保育・預かり保育の利用実績の確認や集計：単数回答（問41-2より作成）



注)「全体」は、保育料・延長保育料の計算に関する機能を導入している施設。

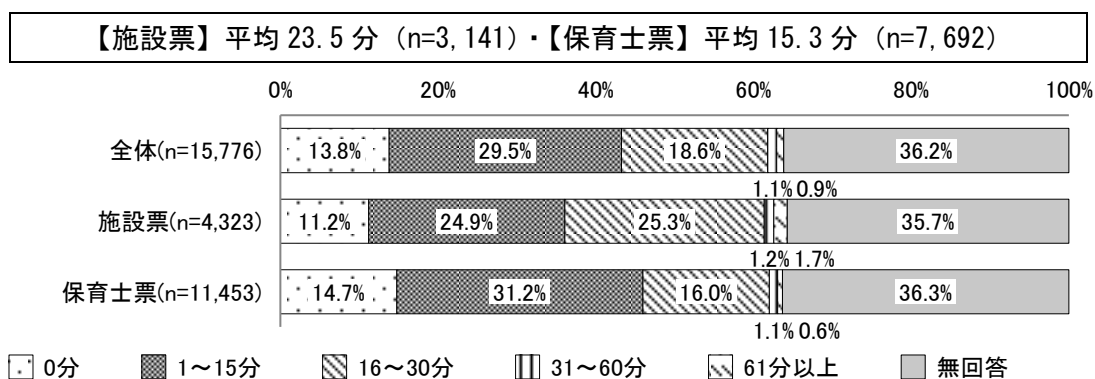
注) 集計対象は施設票のみ。

保護者との連絡に関する機能を導入している施設において、ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（保護者への連絡（おたよりの印刷・仕分け・配付など）を調査種別にみると、「施設票」では、「16～30分」が25.3%でもっとも割合が高く、次いで「1～15分」が24.9%となっている。「保育士票」では、「1～15分」が31.2%でもっとも割合が高く、次いで「16～30分」が16.0%となっている。

施設票に限定して公私別にみると、公私別では大きな差はみられない。

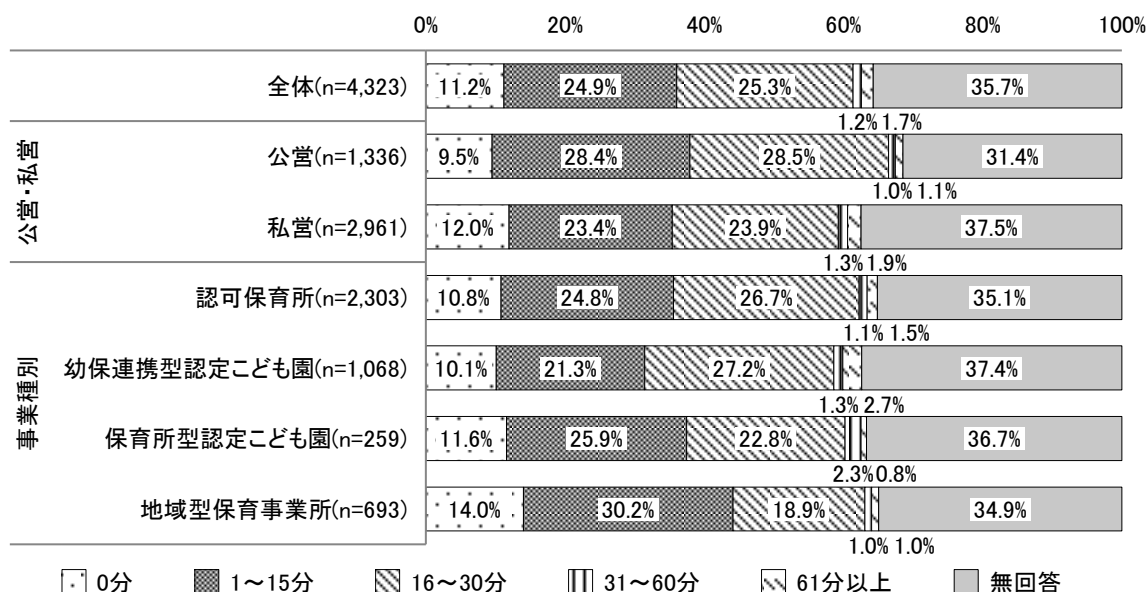
事業種別では、「地域型保育事業所」では他に比べて、「1～15分」の割合が高くなっている。

図表 3-95 【調査種別】ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり）  
保護者への連絡（おたよりの印刷・仕分け・配付など）  
：単数回答（問41-3より作成）



注)「全体」は、保護者との連絡に関する機能を導入している施設。

図表 3-96 ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり）  
保護者への連絡（おたよりの印刷・仕分け・配付など）  
：単数回答（問41-3より作成）



注)「全体」は、保護者との連絡に関する機能を導入している施設。

注) 集計対象は施設票のみ。

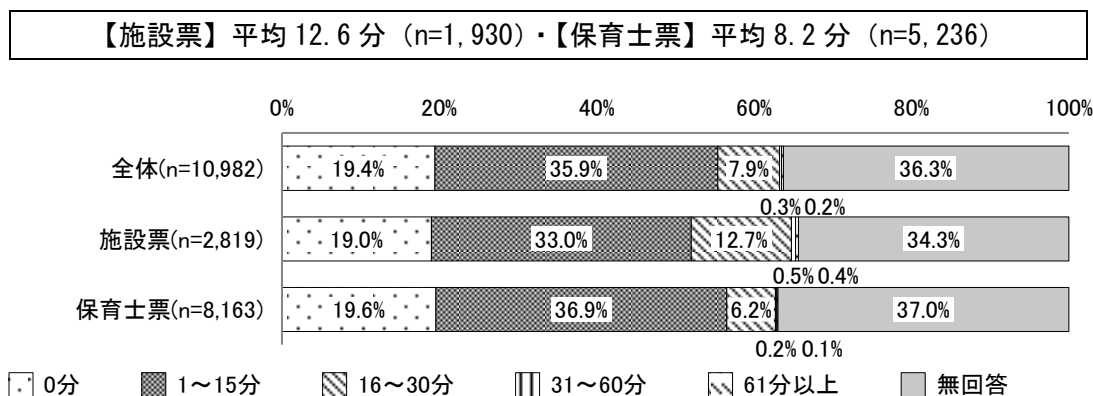
職員間の連絡に関する機能を導入している施設において、ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（職員間の連絡）を調査種別にみると、「施設票」では、「1～15分」が33.0%でもっとも割合が高く、次いで「0分」が19.0%となっている。「保育士票」では、「1～15分」が36.9%でもっとも割合が高く、次いで「0分」が19.6%となっている。

施設票に限定して公私別にみると、公私別では大きな差はみられない。

事業種別では、「地域型保育事業所」では他に比べて、「0分」の割合が高くなっている。

図表 3-97 【調査種別】 ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり）

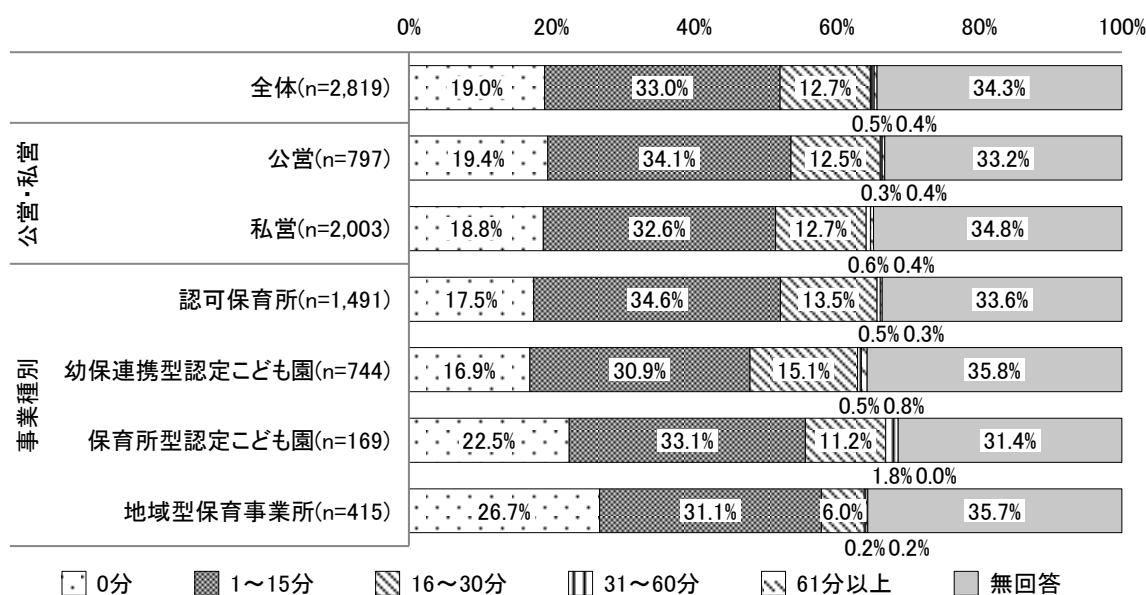
職員間の連絡：単数回答（問 41-4 より作成）



注) 「全体」は、職員間の連絡に関する機能を導入している施設。

図表 3-98 ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり）

職員間の連絡：単数回答（問 41-4 より作成）



注) 「全体」は、職員間の連絡に関する機能を導入している施設。

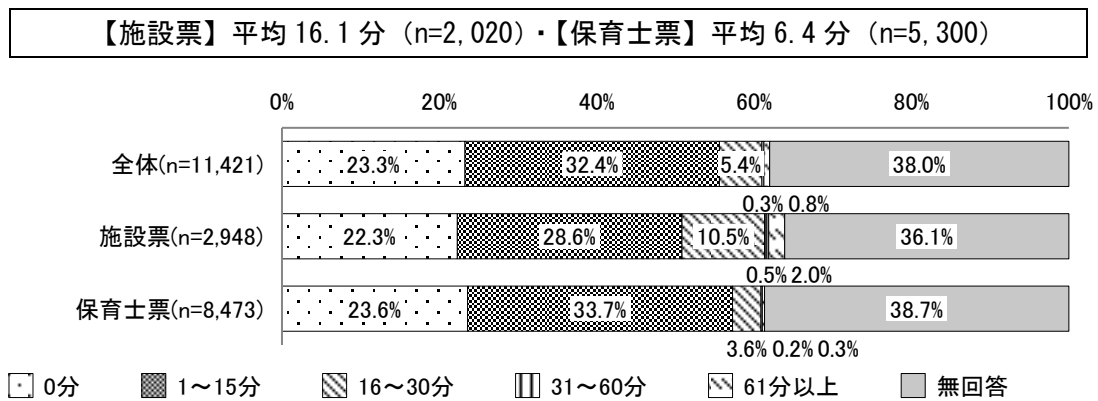
注) 集計対象は施設票のみ。

職員の出退勤管理に関する機能を導入している施設において、ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（職員の出退勤管理）を調査種別にみると、「施設票」では、「1～15分」が28.6%でもっとも割合が高く、次いで「0分」が22.3%となっている。「保育士票」では、「1～15分」が33.7%でもっとも割合が高く、次いで「0分」が23.6%となっている。

施設票に限定して公私別にみると、公私別では大きな差はみられない。

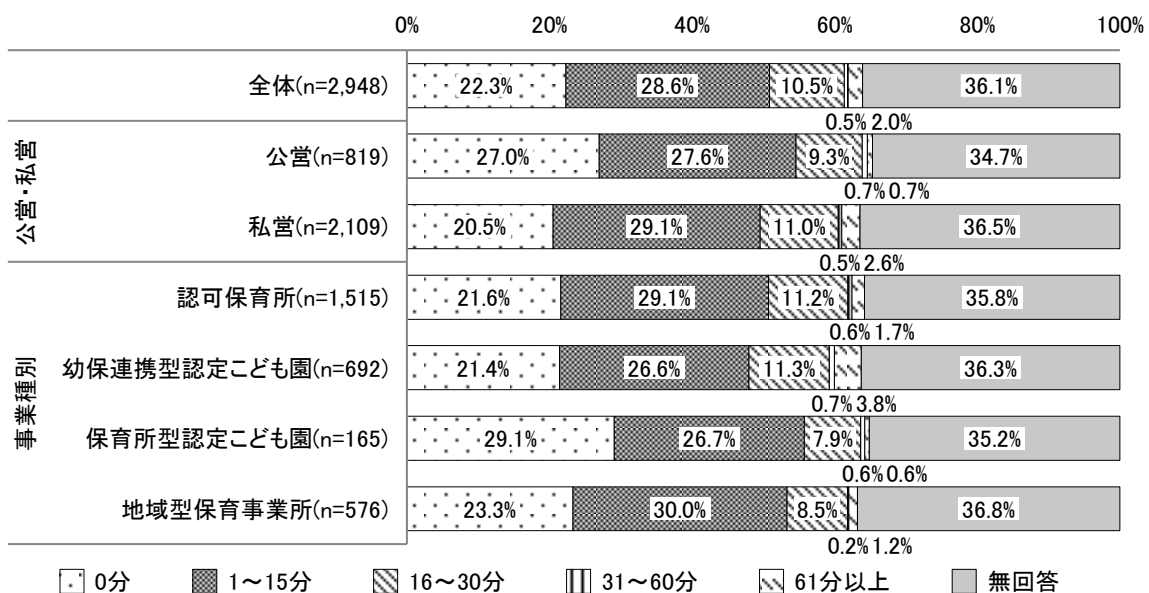
事業種別では、「保育所型認定こども園」では他に比べて、「0分」の割合が高くなっている。

図表 3-99 【調査種別】 ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり）  
職員の出退勤管理：単数回答（問 41-5 より作成）



注) 「全体」は、職員の出退勤管理に関する機能を導入している施設。

図表 3-100 ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり）  
職員の出退勤管理：単数回答（問 41-5 より作成）



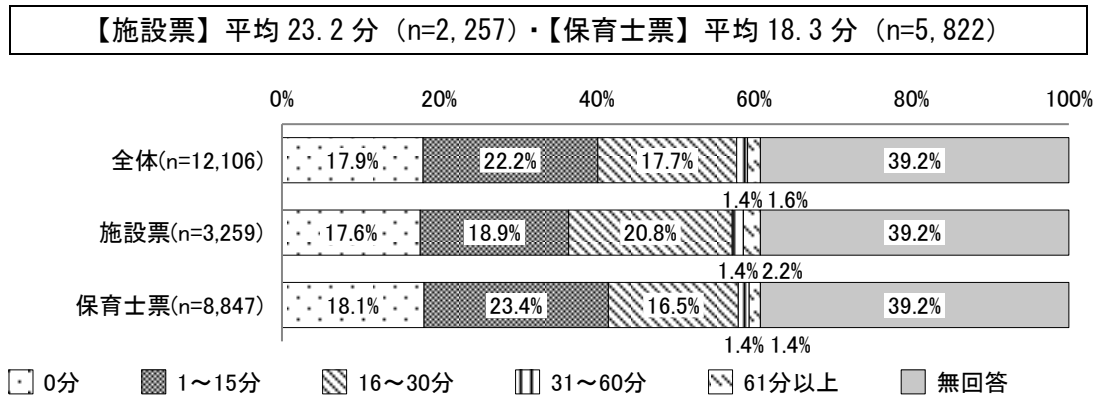
注) 「全体」は、職員の出退勤管理に関する機能を導入している施設。

注) 集計対象は施設票のみ。

保育に係る計画・記録に関する機能を導入している施設において、ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（保育の計画・日誌作成）を調査種別にみると、「施設票」では、「16～30分」が20.8%でもっとも割合が高く、次いで「1～15分」が18.9%となっている。「保育士票」では、「1～15分」が23.4%でもっとも割合が高く、次いで「0分」が18.1%となっている。

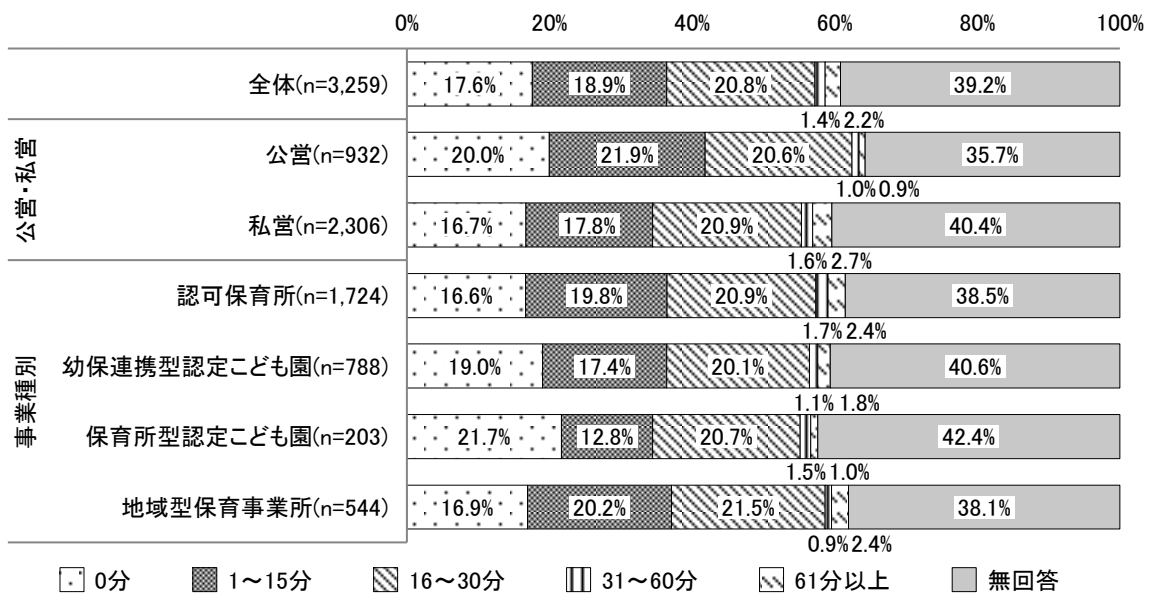
施設票に限定して公私別・事業種別にみると、いずれも大きな差はみられない。

図表 3-101 【調査種別】 ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり）  
保育の計画・日誌作成：単数回答（問41-6より作成）



注) 「全体」は、保育に係る計画・記録に関する機能を導入している施設。

図表 3-102 ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり）  
保育の計画・日誌作成：単数回答（問41-6より作成）



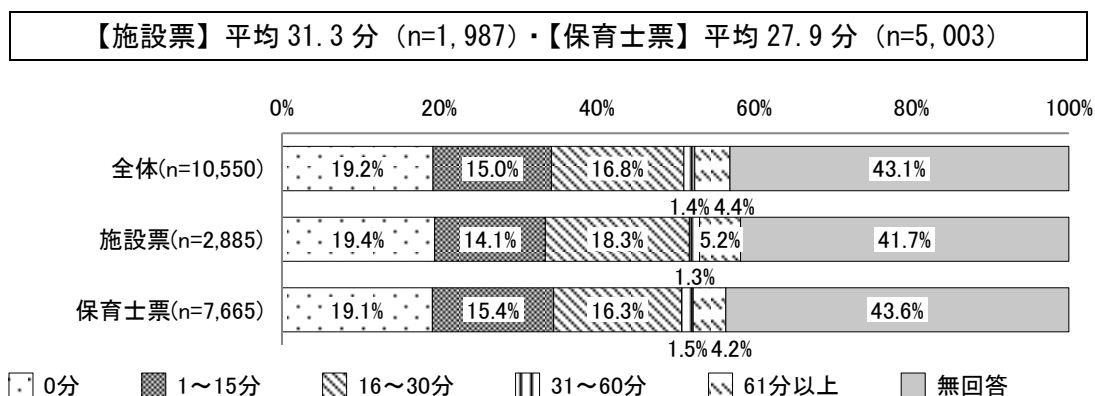
注) 「全体」は、保育に係る計画・記録に関する機能を導入している施設。

注) 集計対象は施設票のみ。

指導要録・児童票の作成に関する機能を導入している施設において、ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（指導要録・児童票作成）を調査種別にみると、「施設票」では、「0分」が19.4%でもっとも割合が高く、次いで「16～30分」が18.3%となっている。「保育士票」では、「0分」が19.1%でもっとも割合が高く、次いで「16～30分」が16.3%となっている。

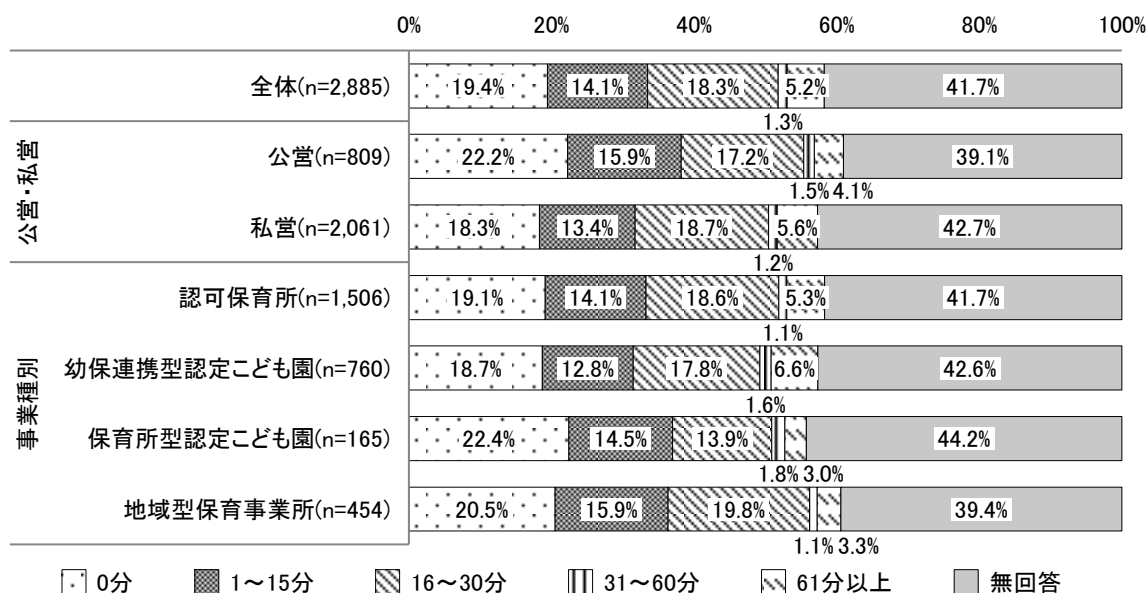
施設票に限定して公私別・事業種別にみると、いずれも大きな差はみられない。

図表 3-103 【調査種別】ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり）  
指導要録・児童票作成：単数回答（問41-7より作成）



注) 「全体」は、指導要録・児童票の作成に関する機能を導入している施設。

図表 3-104 ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり）  
指導要録・児童票作成：単数回答（問41-7より作成）



注) 「全体」は、指導要録・児童票の作成に関する機能を導入している施設。

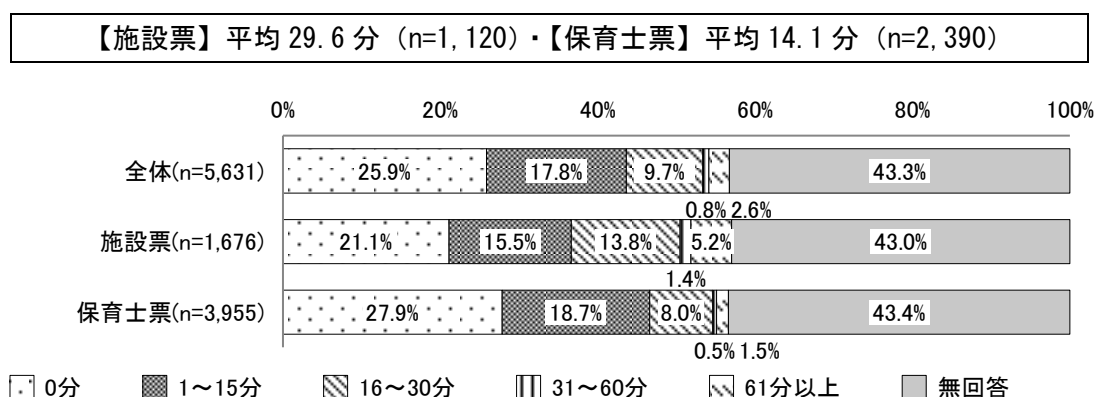
注) 集計対象は施設票のみ。

キャッシュレス決済に関する機能を導入している施設において、ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（利用者からの集金）を調査種別にみると、「施設票」では、「0分」が21.1%でもっとも割合が高く、次いで「1～15分」が15.5%となっている。「保育士票」では、「0分」が27.9%でもっとも割合が高く、次いで「1～15分」が18.7%となっている。

施設票に限定して公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「0分」の割合が高くなっている。

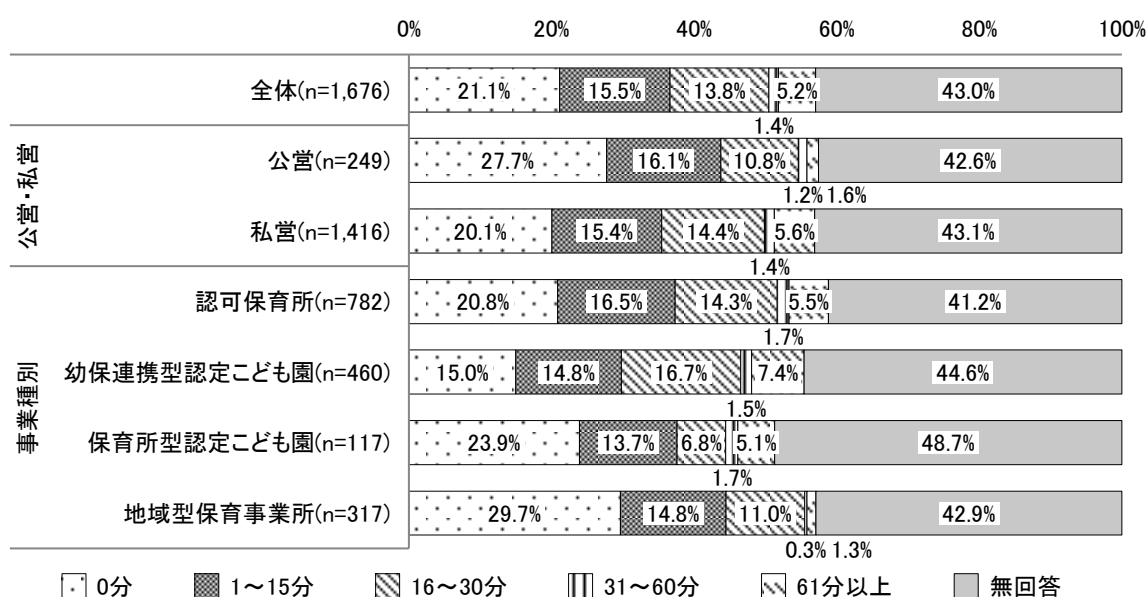
事業種別では、「地域型保育事業所」では他に比べて、「0分」の割合が高くなっている。

図表 3-105 【調査種別】ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり）  
利用者からの集金：単数回答（問 41-8 より作成）



注) 「全体」は、キャッシュレス決済に関する機能（保護者が直接、銀行に口座振替を申し込まないもの）もしくは、キャッシュレス決済に関する機能（保護者が直接、銀行に口座振替を申し込むもの）を導入している施設。

図表 3-106 ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり）  
利用者からの集金：単数回答（問 41-8 より作成）



注) 「全体」は、キャッシュレス決済に関する機能（保護者が直接、銀行に口座振替を申し込まないもの）もしくは、キャッシュレス決済に関する機能（保護者が直接、銀行に口座振替を申し込むもの）を導入している施設。

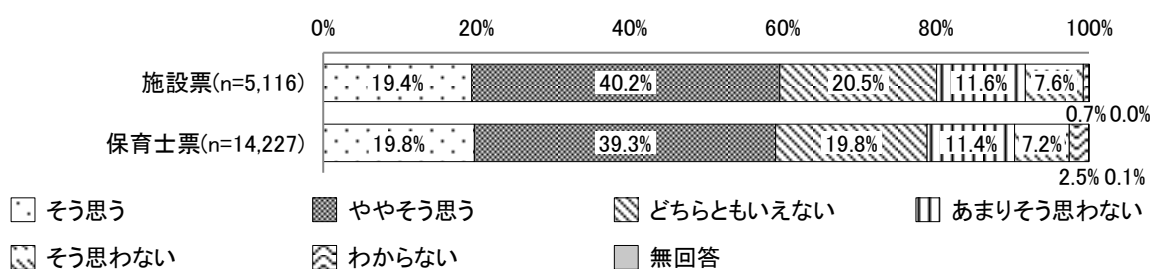
注) 集計対象は施設票のみ。

(9) 【共通】ICT等の導入が進んでいると思うか

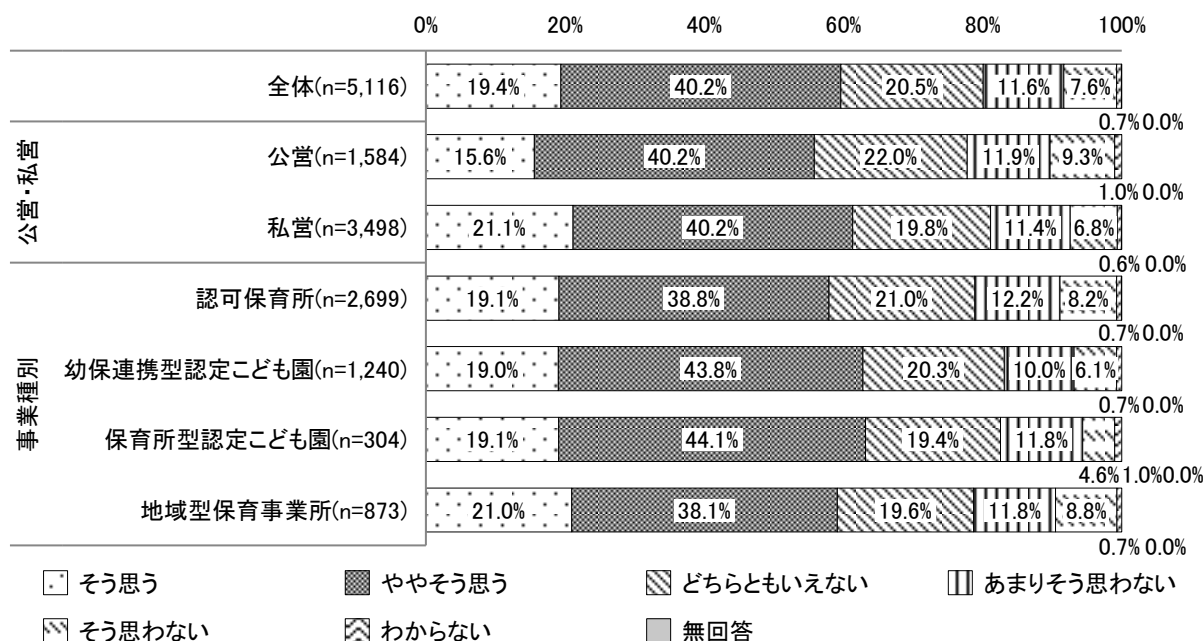
いずれかのICTが導入されていると回答した施設又は保育士等について、ICT等の導入が進んでいると思うかを調査種別にみると、「施設票」では、「ややそう思う」が40.2%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が20.5%となっている。「保育士票」では、「ややそう思う」が39.3%でもっとも割合が高く、次いで「そう思う」「どちらともいえない」がいずれも19.8%となっている。

施設票に限定して公私別・事業種別にみると、いずれも大きな差はみられない。

図表 3-107 【調査種別】ICT等の導入が進んでいると思うか：単数回答（問42）



図表 3-108 ICT等の導入が進んでいると思うか：単数回答（問42）



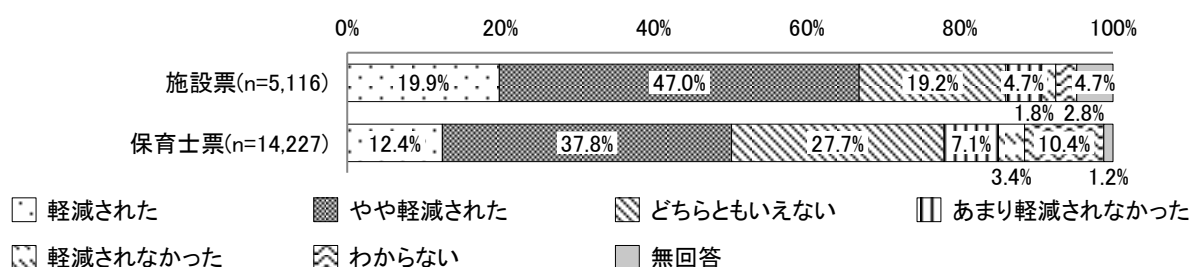
注) 集計対象は施設票のみ。

(10) 【共通】ICT等の活用による業務負担軽減への効果

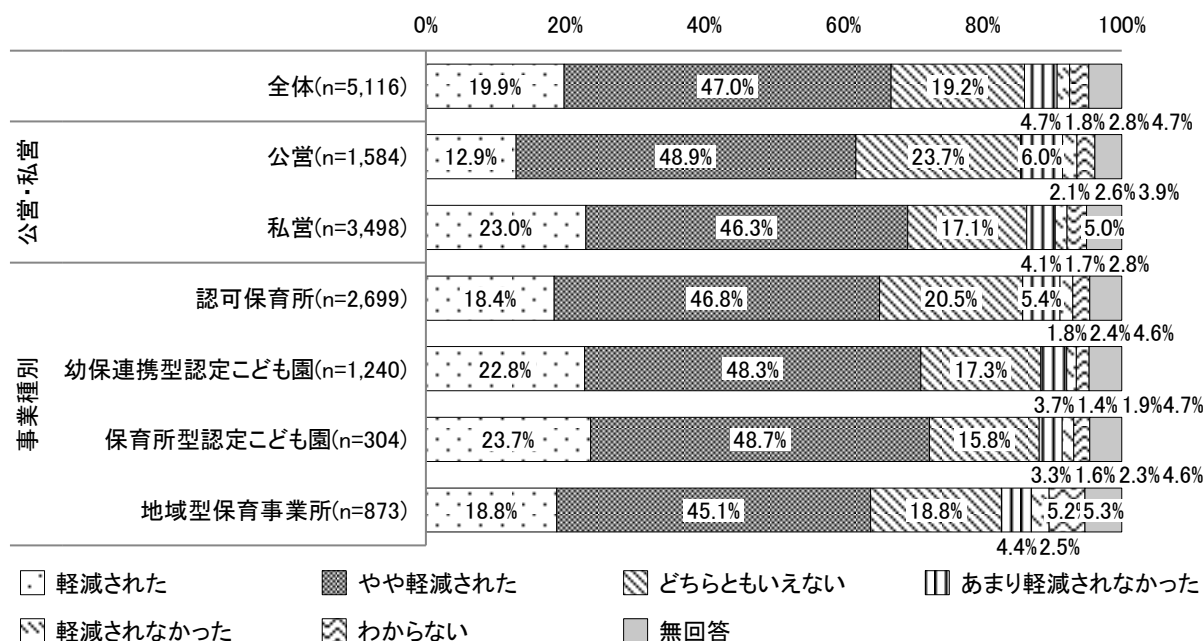
いずれかのICTが導入されていると回答した施設又は保育士等について、ICT等の活用による業務負担軽減への効果を調査種別にみると、「施設票」では、「やや軽減された」が47.0%でもっとも割合が高く、次いで「軽減された」が19.9%となっている。「保育士票」では、「やや軽減された」が37.8%でもっとも割合が高く、次いで「どちらともいえない」が27.7%となっている。

施設票に限定して公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「軽減された」の割合が低くなっている。事業種別では大きな差はみられない。

図表 3-109 【調査種別】ICT等の活用による業務負担軽減への効果：単数回答（問43）



図表 3-110 ICT等の活用による業務負担軽減への効果：単数回答（問43）



注) 集計対象は施設票のみ。

### (11) 【共通】ICT等が導入されていない、又は、進んでいないと思う理由

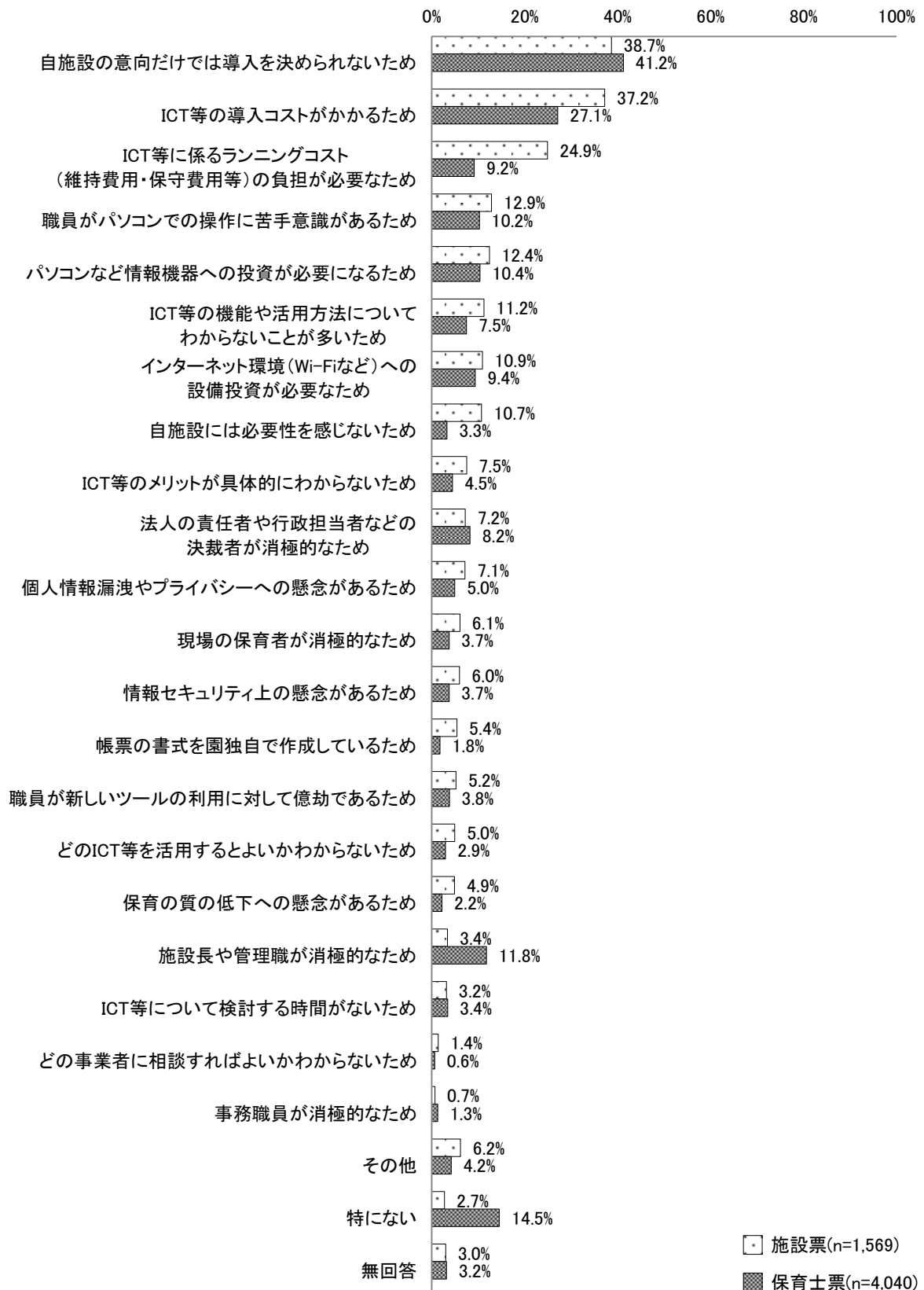
いずれのICTも導入されていないと回答した施設又は保育士等について、ICT等が導入されていない、又は、進んでいないと思う理由を調査種別にみると、「施設票」では、「自施設の意向だけでは導入を決められないため」が38.7%でもっとも割合が高く、次いで「ICT等の導入コストがかかるため」が37.2%となっている。「保育士票」では、「自施設の意向だけでは導入を決められないため」が41.2%でもっとも割合が高く、次いで「ICT等の導入コストがかかるため」が27.1%となっている。

施設票に限定して公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「自施設の意向だけでは導入を決められないため」「インターネット環境（Wi-Fiなど）への設備投資が必要なため」の割合が高くなっている。

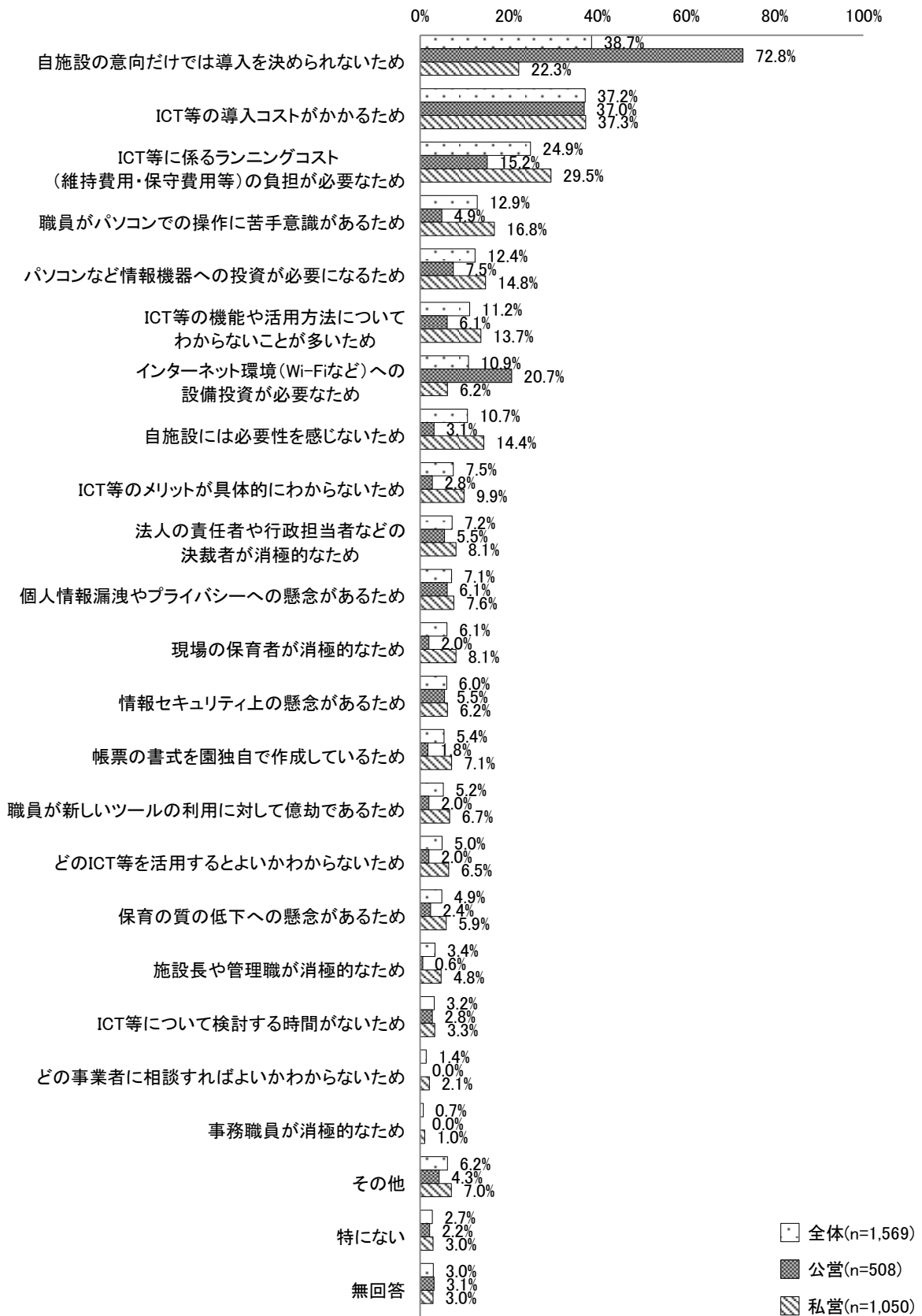
事業種別にみると、「保育所型認定こども園」では、他に比べて「ICT等について検討する時間がないため」「ICT等の機能や活用方法についてわからないことが多いため」の割合が高くなっている。また、「地域型保育事業所」では、他に比べて「自施設には必要性を感じないため」の割合が高くなっている。

図表 3-111 【調査種別】 ICT 等が導入されていない、又は、進んでいないと思う理由：

複数回答（問 44）



図表 3-112 【公私別】ICT等が導入されていない、又は、進んでいないと思う理由：  
複数回答（問44）



注) 集計対象は施設票のみ。

図表 3-113 【事業種別】ICT等が導入されていない、又は、進んでいないと思う理由：

複数回答（問44）

	合計	問44 ICT等が導入されていない、または、進んでいないと思う理由							
		自施設の意向だけでは導入を決められないため	ICT等の導入コストがかかるため	ICT等に係るランニングコスト（維持費用・保守費用等）の負担が必要のため	職員がパソコンでの操作に苦手意識があるため	パソコンなど情報機器への投資が必要になるため	ICT等の機能や活用方法についてわからないことが多いため	インターネット環境（Wi-Fiなど）への設備投資が必要のため	自施設には必要性を感じないため
全体	1,569 100.0	607 38.7	584 37.2	391 24.9	202 12.9	195 12.4	176 11.2	171 10.9	168 10.7
認可保育所	832 100.0	363 43.6	307 36.9	189 22.7	109 13.1	104 12.5	96 11.5	115 13.8	54 6.5
幼保連携型認定こども園	258 100.0	108 41.9	104 40.3	72 27.9	25 9.7	31 12.0	25 9.7	40 15.5	19 7.4
保育所型認定こども園	70 100.0	26 37.1	19 27.1	11 15.7	9 12.9	7 10.0	13 18.6	6 8.6	3 4.3
地域型保育事業所	409 100.0	110 26.9	154 37.7	119 29.1	59 14.4	53 13.0	42 10.3	10 2.4	92 22.5

	合計	問44 ICT等が導入されていない、または、進んでいないと思う理由							
		ICT等のメリットが具体的にわからないため	法人の責任者や行政担当者などの決裁者が消極的なため	個人情報漏洩やプライバシーへの懸念があるため	現場の保育者が消極的なため	情報セキュリティ上の懸念があるため	帳票の書き式を園独自で作成しているため	職員が新しいツールの利用に対して億劫であるため	どのICT等を活用するとよいかわからないため
全体	1,569 100.0	118 7.5	113 7.2	112 7.1	95 6.1	94 6.0	85 5.4	82 5.2	78 5.0
認可保育所	832 100.0	56 6.7	57 6.9	64 7.7	45 5.4	48 5.8	37 4.4	37 4.4	44 5.3
幼保連携型認定こども園	258 100.0	20 7.8	18 7.0	17 6.6	14 5.4	19 7.4	14 5.4	16 6.2	11 4.3
保育所型認定こども園	70 100.0	5 7.1	5 7.1	9 12.9	3 4.3	7 10.0	6 8.6	5 7.1	4 5.7
地域型保育事業所	409 100.0	37 9.0	33 8.1	22 5.4	33 8.1	20 4.9	28 6.8	24 5.9	19 4.6

	合計	問44 ICT等が導入されていない、または、進んでいないと思う理由							
		保育の質の低下への懸念があるため	施設長や管理職が消極的なため	ICT等について検討する時間がないため	どの事業者に相談すればよいかわからないため	事務職員が消極的なため	その他	特になし	無回答
全体	1,569 100.0	77 4.9	53 3.4	50 3.2	22 1.4	11 0.7	97 6.2	43 2.7	47 3.0
認可保育所	832 100.0	49 5.9	18 2.2	24 2.9	14 1.7	2 0.2	46 5.5	20 2.4	29 3.5
幼保連携型認定こども園	258 100.0	11 4.3	11 4.3	7 2.7	2 0.8	3 1.2	16 6.2	5 1.9	10 3.9
保育所型認定こども園	70 100.0	3 4.3	4 5.7	6 8.6	2 2.9	3 4.3	3 4.3	2 2.9	2 2.9
地域型保育事業所	409 100.0	14 3.4	20 4.9	13 3.2	4 1.0	3 0.7	32 7.8	16 3.9	6 1.5

注) 集計対象は施設票のみ。

<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■小規模・少人数のため必要性を感じない

- ・ こどもの人数が少ないため、その必要性を感じないから。

■コスト・予算の問題

- ・ 意向はあるが、コスト面等で自治体の予算が今まで付かなかった。
- ・ 揃える経費がない。

■保護者・職員の ICT 活用への抵抗

- ・ 一部の職員がパソコンでの操作に苦手意識があるため。
- ・ 保護者から連絡帳は手書きが良いとの意見が多いため。

■現在のシステム・ツールに不満

- ・ 現在導入している ICT システムでは満足できていないため。
- ・ 使用しているツールが複数あるため一本化したい。

■導入準備中・計画中

- ・ 導入に向けて動いている最中。

■アナログのよさを重視

- ・ アナログで大事にしてきている伝統的なものが多いため。
- ・ 口頭で意見交換や保育内容を話し合っている環境にある。

■技術的な問題・インフラ不足

- ・ Wi-Fi 環境がない。
- ・ パソコンの台数が3台しかないため、個人個人で使いたい時に使えない。

■管理職・上層部の意向

- ・ 施設長が理解できていないと感ずるため。
- ・ 上司が決めることなので介入できない。

■業務負担が増える懸念

- ・ ICT 化しても結局やることが多いから大変さは変わってない。
- ・ 今までのやり方と同時進行しているので、負担が増えている。

■その他

- ・ ICT 導入よりも、仕事内容そのものの見直しを望んでいる。
- ・ ICT を知らない。
- ・ 施設が今年度で閉園になるため。

## 6. 業務負担軽減に向けた取組及び効果について

### (1) 【施設票】保育補助者等の活用意向

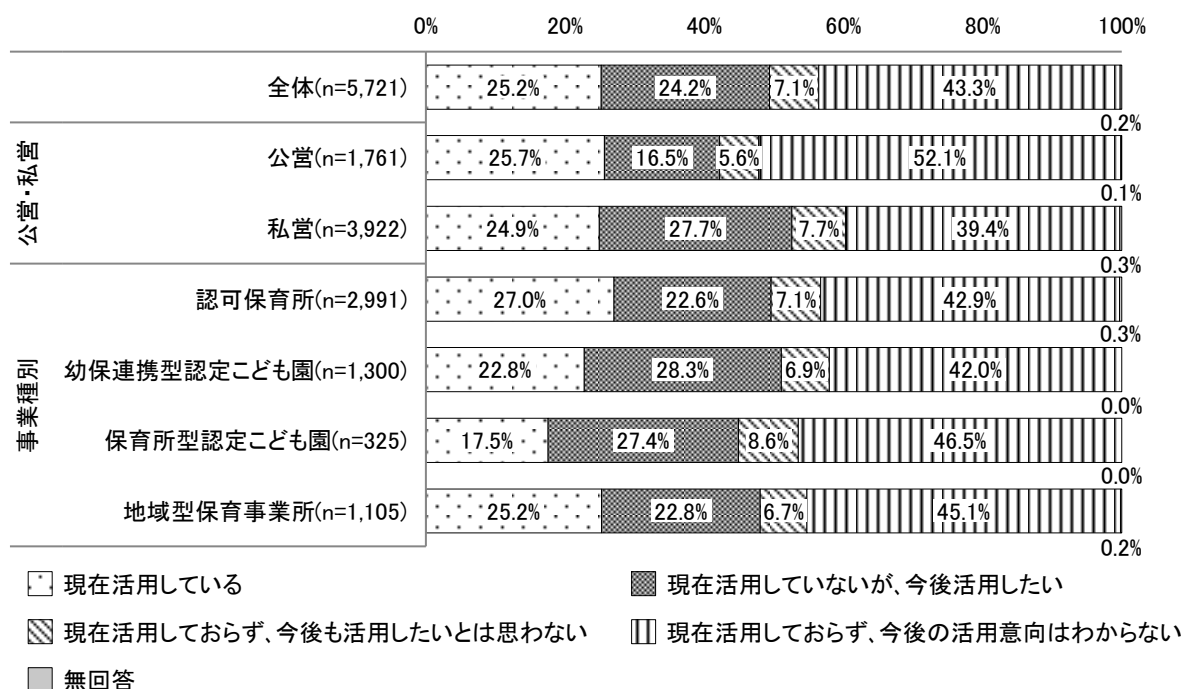
#### ①保育補助者(保育士資格あり)の活用意向

保育補助者(保育士資格あり)の活用意向についてみると、「全体」では、「現在活用しておらず、今後の活用意向はわからない」が43.3%でもっとも割合が高く、次いで「現在活用している」が25.2%となっている。

公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「現在活用していないが、今後活用したい」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「保育所型認定こども園」では、他に比べて「現在活用している」の割合が低くなっている。

図表 3-114 保育補助者(保育士資格あり)の活用意向：単数回答（問45-1）



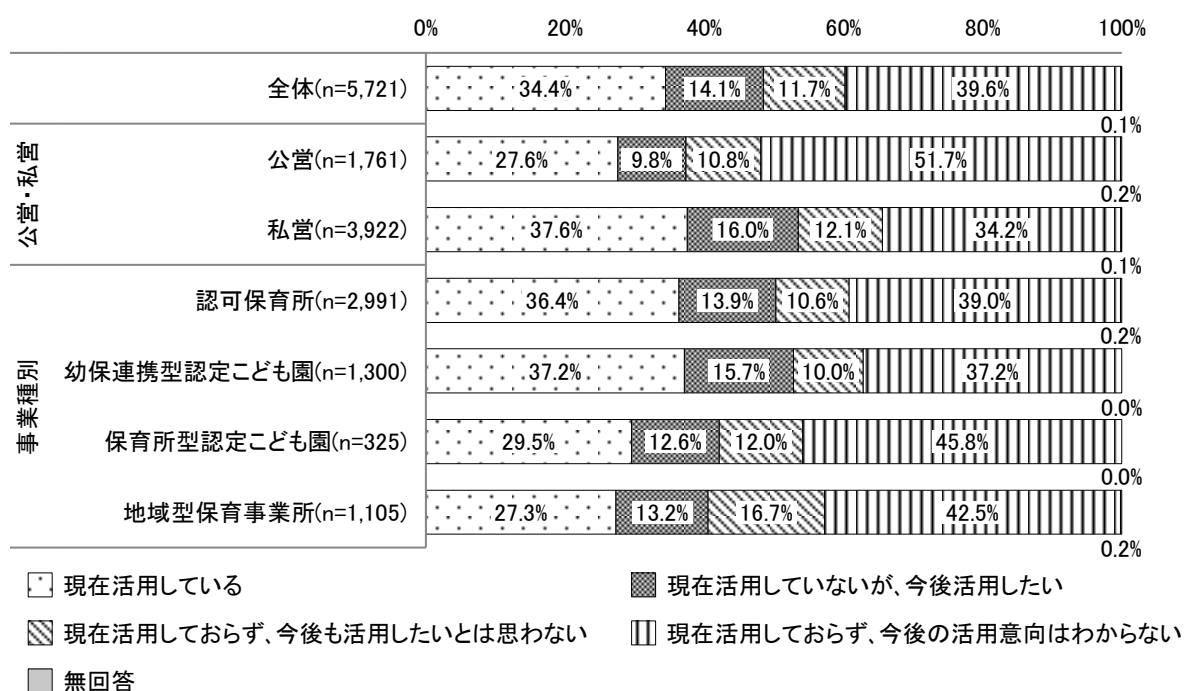
## ②保育補助者(保育士資格なし)の活用意向

保育補助者(保育士資格なし)の活用意向についてみると、「全体」では、「現在活用しておらず、今後の活用意向はわからない」が39.6%でもっとも割合が高く、次いで「現在活用している」が34.4%となっている。

公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「現在活用している」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「現在活用している」の割合が低くなっている。

図表 3-115 保育補助者(保育士資格なし)の活用意向：単数回答（問 45-2）

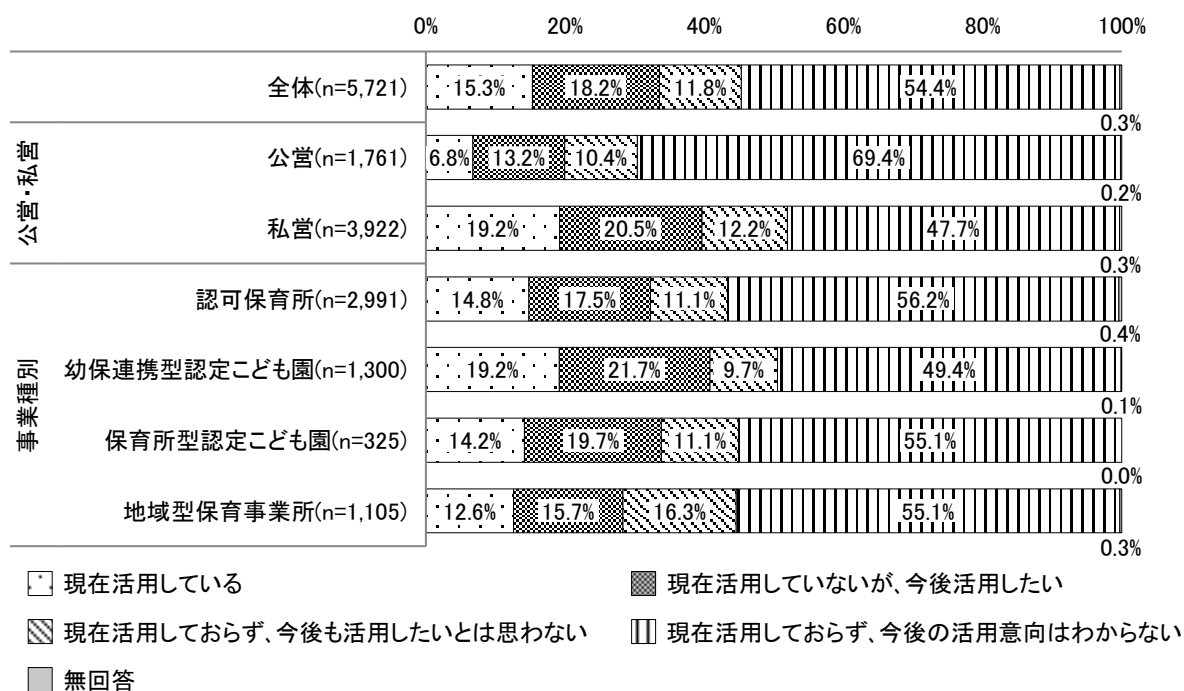


### ③保育支援者の活用意向

保育支援者の活用意向についてみると、「全体」では、「現在活用しておらず、今後の活用意向はわからない」が54.4%でもっとも割合が高く、次いで「現在活用していないが、今後活用したい」が18.2%となっている。

公私別にみると、「私营」では、「公営」に比べて「現在活用している」「現在活用していないが、今後活用したい」の割合が高くなっている。事業種別では大きな差はみられない。

図表 3-116 保育支援者の活用意向：単数回答（問45-3）



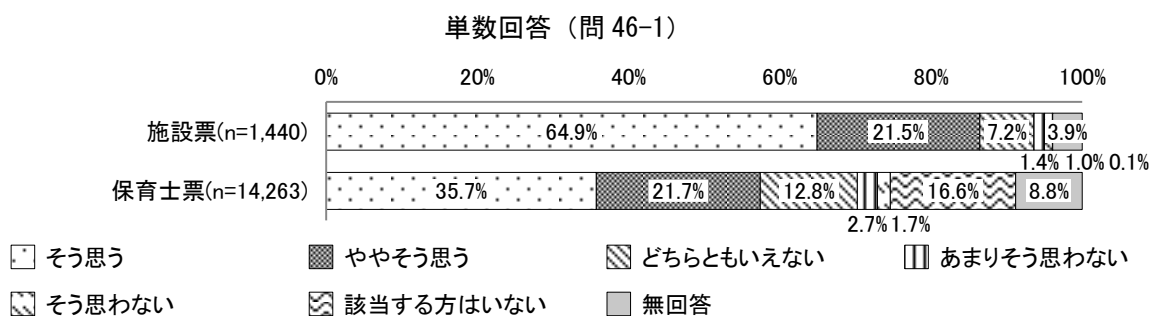
(2) 【共通】業務負担軽減への効果

①保育補助者(保育士資格あり)の業務負担軽減への効果

保育補助者(保育士資格あり)を雇用している施設又は保育士(保育補助者の配置は問わない)について、業務負担軽減に効果があったかを調査種別にみると、「そう思う(軽減された、以下同様)」と回答した割合は「施設票」では64.9%、「保育士票」では35.7%となっている。

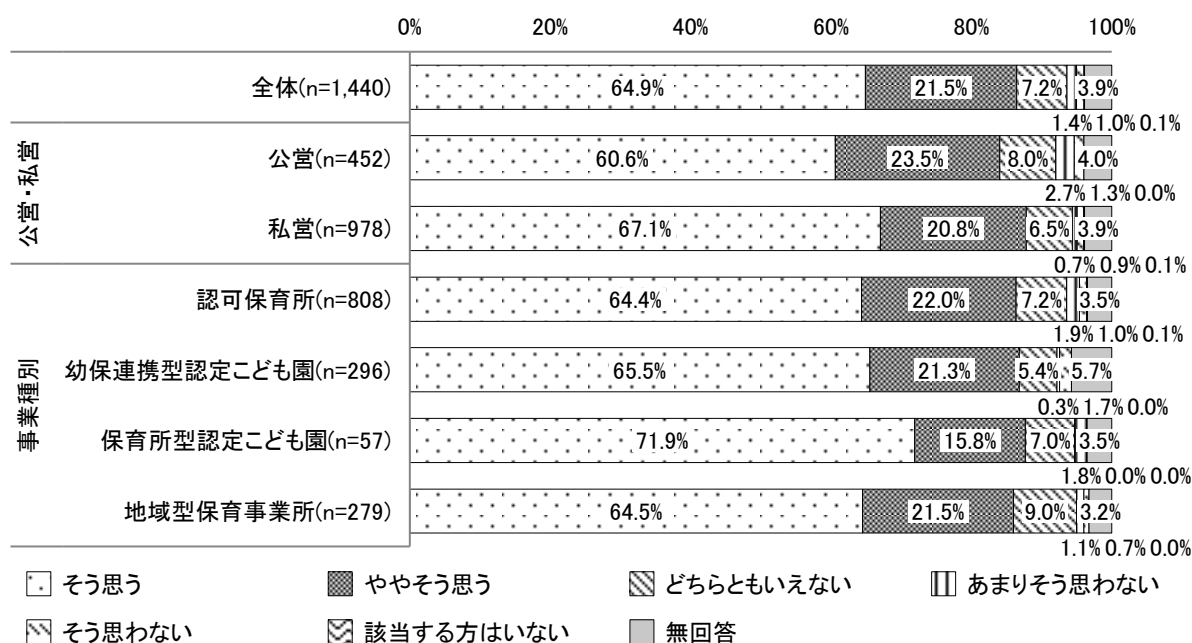
施設票に限定して、公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「そう思う」の割合が高くなっている。事業種別にみると、「保育所型認定こども園」では、他に比べて「そう思う」の割合が高くなっている。

図表 3-117 【調査種別】業務負担軽減への効果\_保育補助者(保育士資格あり) :



注) 保育士票の対象は問2で「2. 副施設長・副所長級」～「7. 保育士」と回答した者のみ。

図表 3-118 業務負担軽減への効果\_保育補助者(保育士資格あり) : 単数回答 (問 46-1)



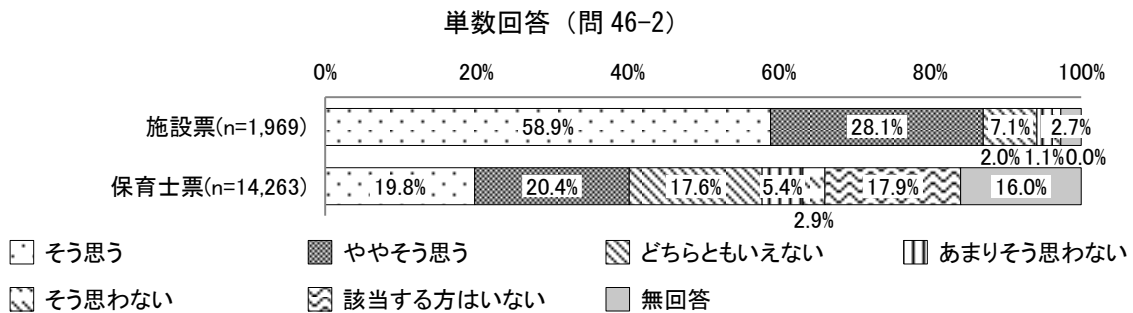
注) 集計対象は施設票のみ。

## ②保育補助者(保育士資格なし)の業務負担軽減への効果

保育補助者(保育士資格なし)を雇用している施設又は保育士(保育補助者の配置は問わない)について、業務負担軽減に効果があったかを調査種別にみると、「そう思う(軽減された、以下同様)」と回答した割合は「施設票」では58.9%、「保育士票」では19.8%となっている。

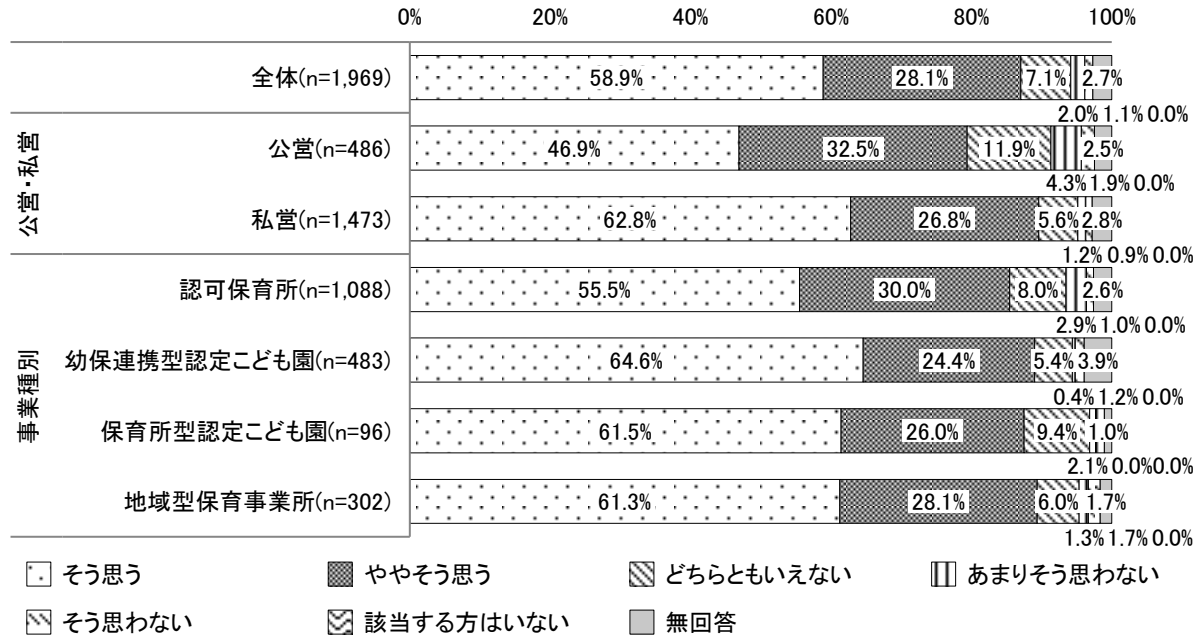
施設票に限定して、公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「そう思う」の割合が高くなっている。事業種別にみると、「幼保連携型認定こども園」では、他に比べて「そう思う」の割合が高くなっている。

図表 3-119 【調査種別】業務負担軽減への効果\_保育補助者(保育士資格なし) :



注) 保育士票の対象は問2で「2. 副施設長・副所長級」～「7. 保育士」と回答した者のみ。

図表 3-120 業務負担軽減への効果\_保育補助者(保育士資格なし) : 単数回答(問46-2)



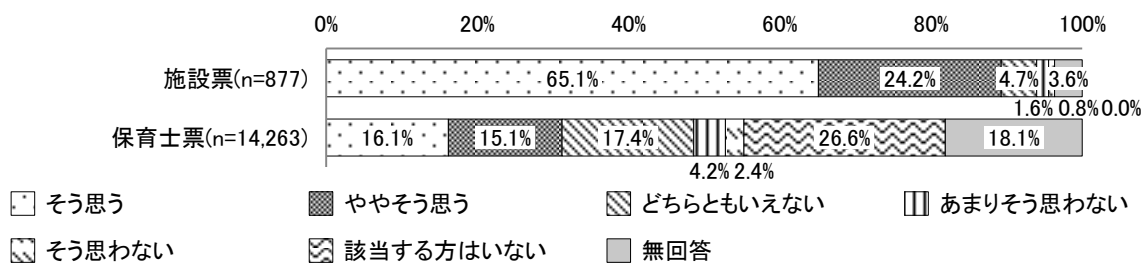
注) 集計対象は施設票のみ。

### ③保育支援者の業務負担軽減への効果

保育支援者を雇用している施設又は保育士（保育支援者の配置は問わない）について、業務負担軽減に効果があったかを調査種別にみると、「そう思う（軽減された、以下同様）」と回答した割合が「施設票」では65.1%、「保育士票」では16.1%となっている。

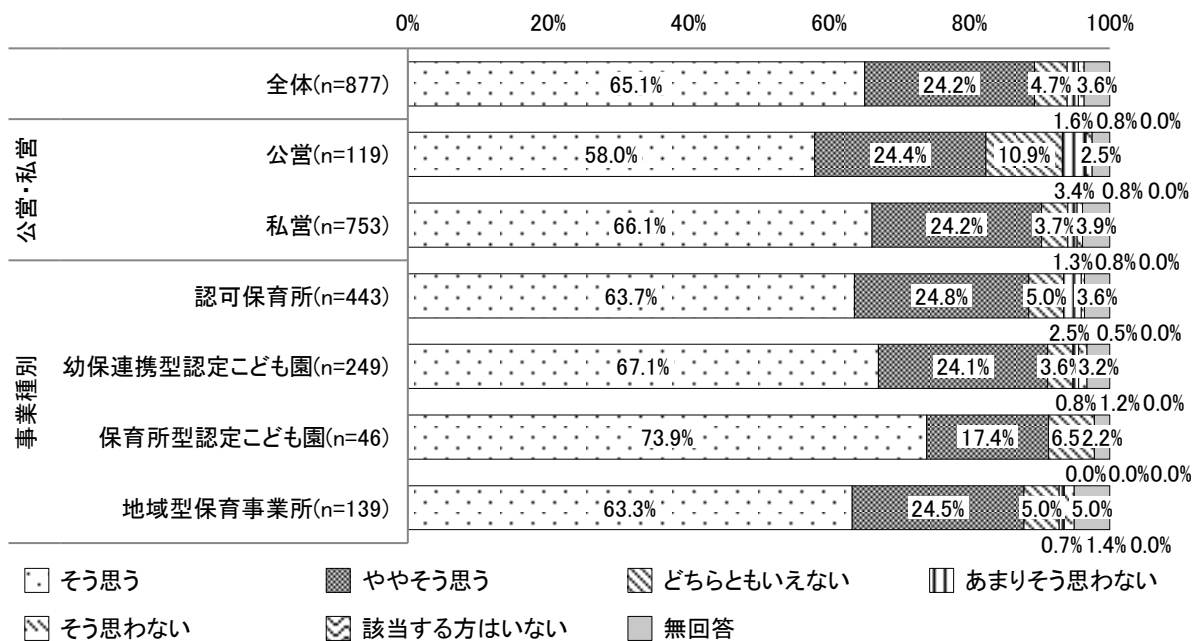
施設票に限定して、公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「そう思う」の割合が高くなっている。事業種別にみると、「保育所型認定こども園」では、他に比べて「そう思う」の割合が高くなっている。

図表 3-121 【調査種別】業務負担軽減への効果\_保育支援者：単数回答（問 46-3）



注) 保育士票の対象は問2で「2. 副施設長・副所長級」～「7. 保育士」と回答した者のみ。

図表 3-122 業務負担軽減への効果\_保育支援者：単数回答（問 46-3）



注) 集計対象は施設票のみ。

### (3) 【施設票】活用していない理由

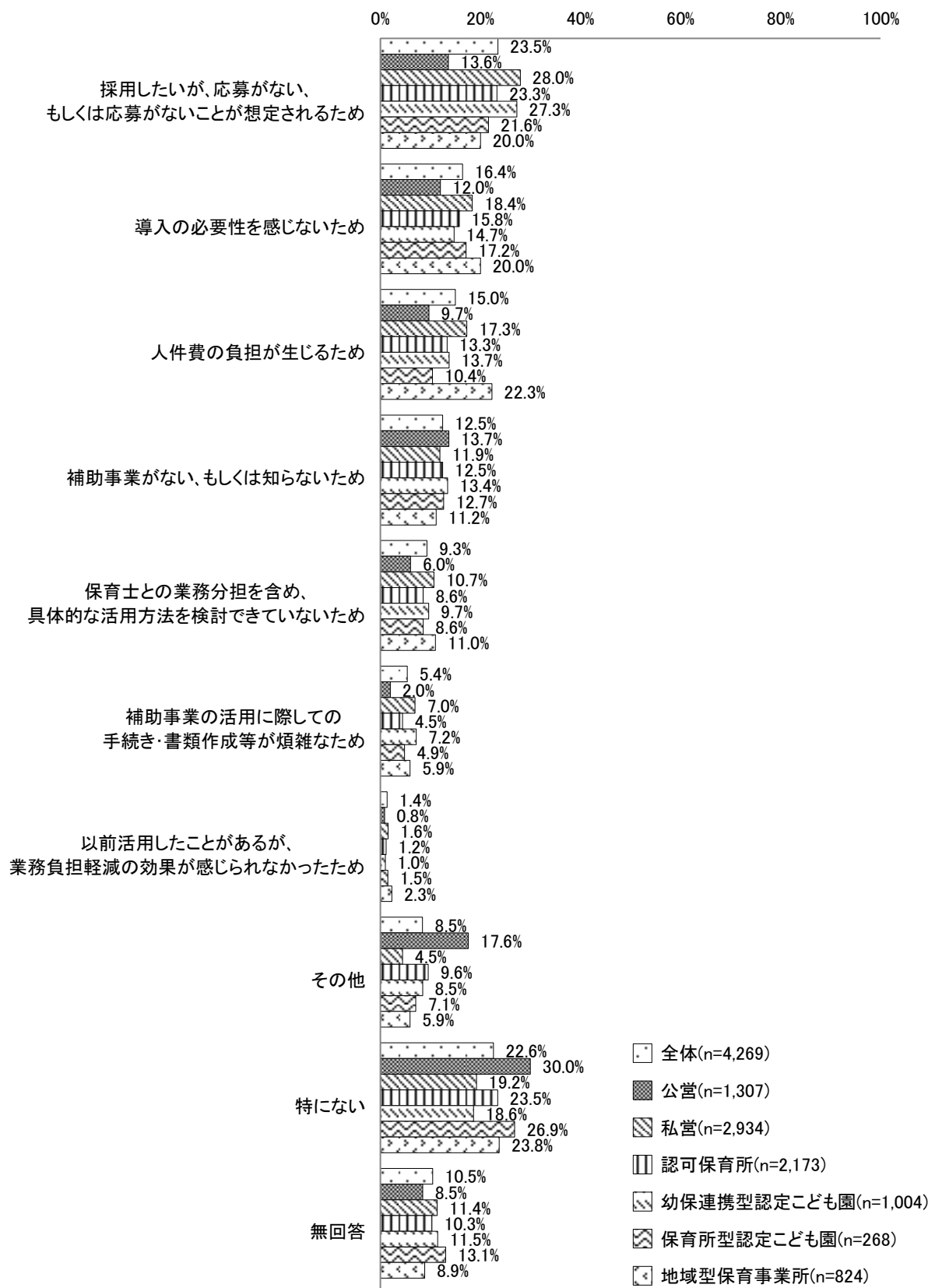
#### ①保育補助者(保育士資格あり)を活用していない理由

保育補助者(保育士資格あり)を活用していない施設について、その理由をみると、「全体」では、「採用したいが、応募がない、もしくは応募がないことが想定されるため」が23.5%でもっとも割合が高く、次いで「特にない」が22.6%となっている。

公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「採用したいが、応募がない、もしくは応募がないことが想定されるため」「人件費の負担が生じるため」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「人件費の負担が生じるため」の割合が高くなっている。

図表 3-123 保育補助者(保育士資格あり) を活用していない理由：複数回答（問 47-1）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■公立施設のため自治体が決定

- ・ 公立園のため、園独自での導入はしないため。
- ・ 市が決定する。

■保育士として採用したい

- ・ 保育士資格があるなら保育士として採用したい。
- ・ 資格があれば保育士として雇用する。

■事業の対象外・適用外

- ・ 事業の対象施設ではないため。
- ・ 事業要件が合わない。
- ・ 補助事業でない雇用をしている。

■人員が充足

- ・ 保育士が充足している。
- ・ 現在職員数が充足しているため。

■採用は本部・会社が決定

- ・ 本部が決める。
- ・ 運営母体（株式会社）の意向。

■応募者がいない

- ・ 募集しても応募者がいない。
- ・ 応募が来ない。

■負担が大きい・コストの問題

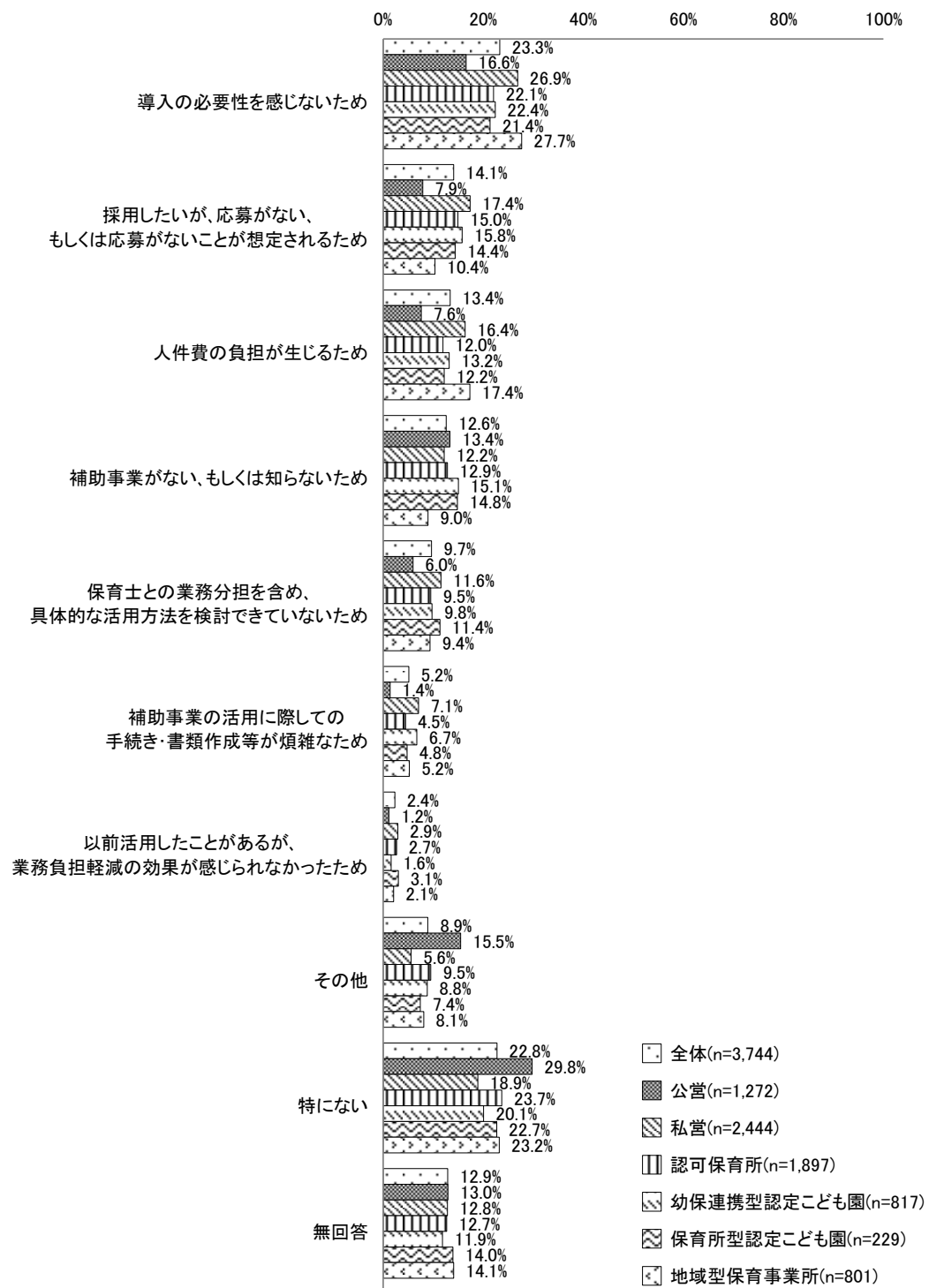
- ・ 導入時、園負担が大きい。
- ・ 負担が大きい。

## ②保育補助者(保育士資格なし)を活用していない理由

保育補助者(保育士資格なし)を活用していない施設について、その理由をみると、「全体」では、「導入の必要性を感じないため」が23.3%でもっとも割合が高く、次いで「特になし」が22.8%となっている。

公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「導入の必要性を感じないため」「採用したいが、応募がない、もしくは応募がないことが想定されるため」「人件費の負担が生じるため」の割合が高くなっている。事業種別では大きな差はみられない。

図表 3-124 保育補助者(保育士資格なし)を活用していない理由：複数回答（問 47-2）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■公立施設のため自治体が決定

- ・ 公立のため園独自では活用できない。

■資格者を優先して採用

- ・ 資格ありの人を優先的に採用しているから。
- ・ 有資格者を希望しているため。

■事業の対象外・適用外

- ・ 事業の対象施設ではないため。
- ・ 補助事業がない。

■採用は本部・会社が決定

- ・ 会社の意向による。
- ・ 本部が決める。

■人員が充足

- ・ 人員が確保されているため。
- ・ 現在職員数が充足しているため。

■応募者がいない

- ・ 応募が来ない。
- ・ 過去に利用したことがあるが、現在該当者がいない。

■無資格者への不安

- ・ 資格がないことに不安。
- ・ 無資格のため能力が未知数。

■その他

- ・ タイミングが合わなかったため。今後は積極的に活用したい。
- ・ 以前活用していたが保育士資格を取得したため。

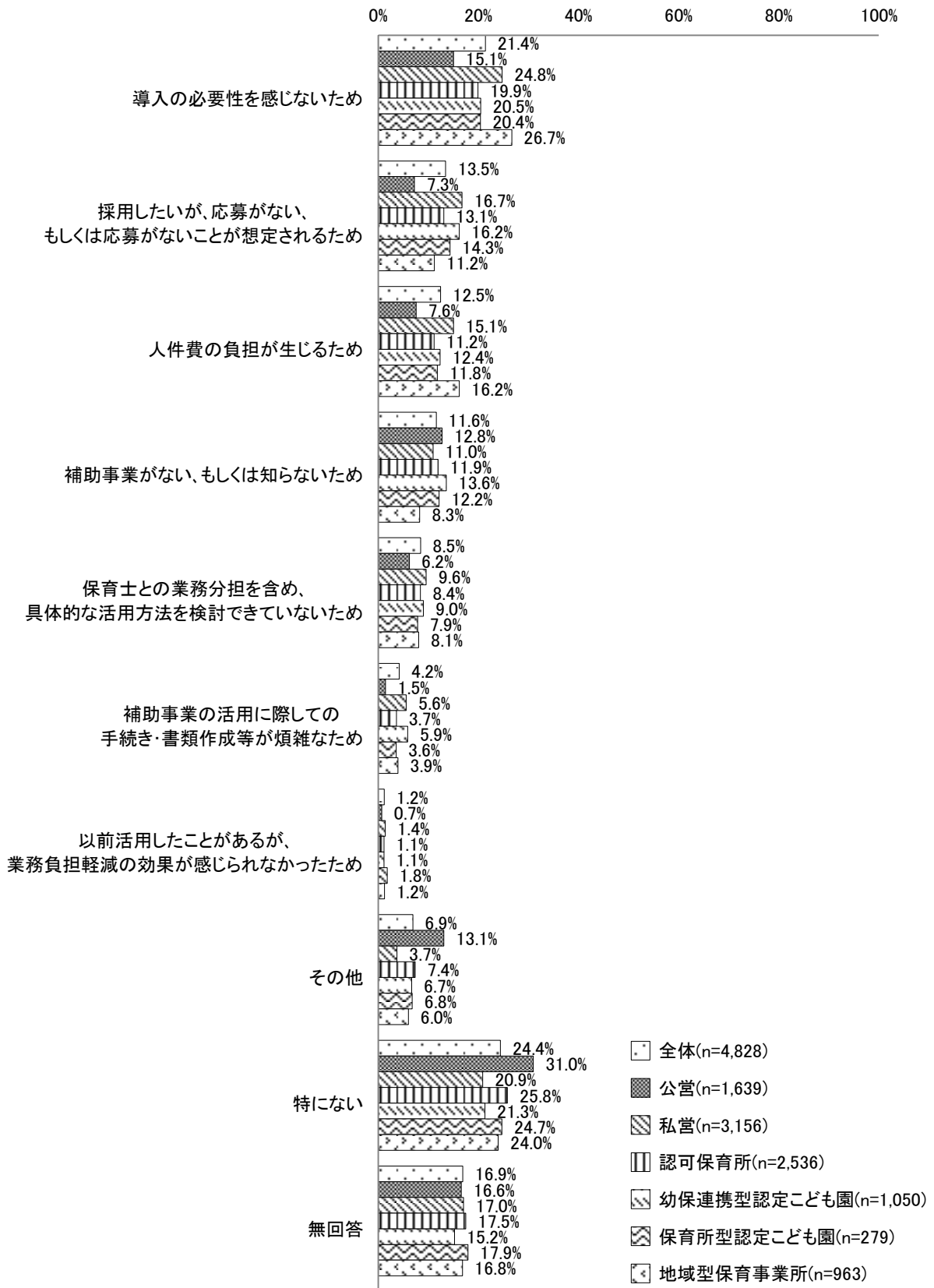
### ③保育支援者を活用していない理由

保育支援者を活用していない施設について、その理由をみると、「全体」では、「特にない」が24.4%でもっとも割合が高く、次いで「導入の必要性を感じないため」が21.4%となっている。

公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「導入の必要性を感じないため」「採用したいが、応募がない、もしくは応募がないことが想定されるため」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「導入の必要性を感じないため」の割合が高くなっている。

図表 3-125 保育支援者を活用していない理由：複数回答（問 47-3）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■公立施設のため自治体が決定

- ・ 公立のため園独自では活用できない。

■資格者を優先して採用

- ・ 資格ありの人を優先的に採用しているから。
- ・ 有資格者で足りれば不必要なため。

■事業の対象外・適用外

- ・ 事業の対象施設ではないため。
- ・ 市に補助事業がないため。

■採用は本部・会社が決定

- ・ 会社の意向による。
- ・ 本部が決める。

■人員が充足

- ・ 保育補助者が充足しているため。
- ・ 現在職員数が充足しているため。

■応募者がいない

- ・ 応募が来ない。

■無資格者への不安

- ・ 資格保持者が望ましい。
- ・ 無資格のため能力が未知数。

■その他

- ・ 有資格者は保育士、無資格者は保育補助者として採用するため。

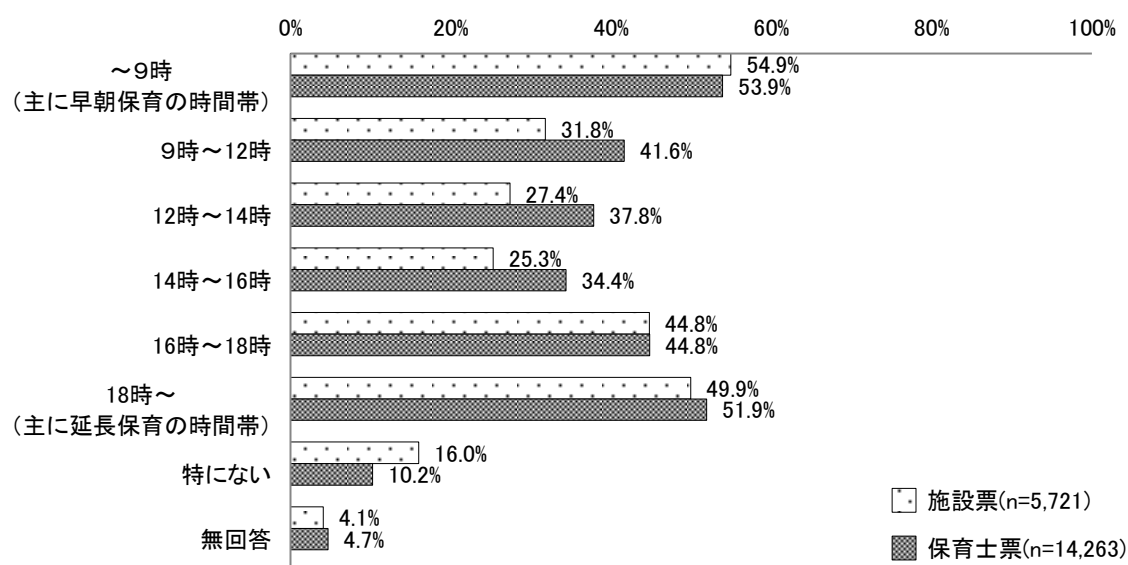
#### (4) 【共通】保育補助者等を活用したい時間帯

保育補助者等を活用したい時間帯について、調査種別にみると、「施設票」では、「～9時（主に早朝保育の時間帯）」が54.9%でもっとも割合が高く、次いで「18時～（主に延長保育の時間帯）」が49.9%となっている。「保育士票」では、「～9時（主に早朝保育の時間帯）」が53.9%でもっとも割合が高く、次いで「18時～（主に延長保育の時間帯）」が51.9%となっている。

施設票に限定して、公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「18時～（主に延長保育の時間帯）」の割合が高くなっている。

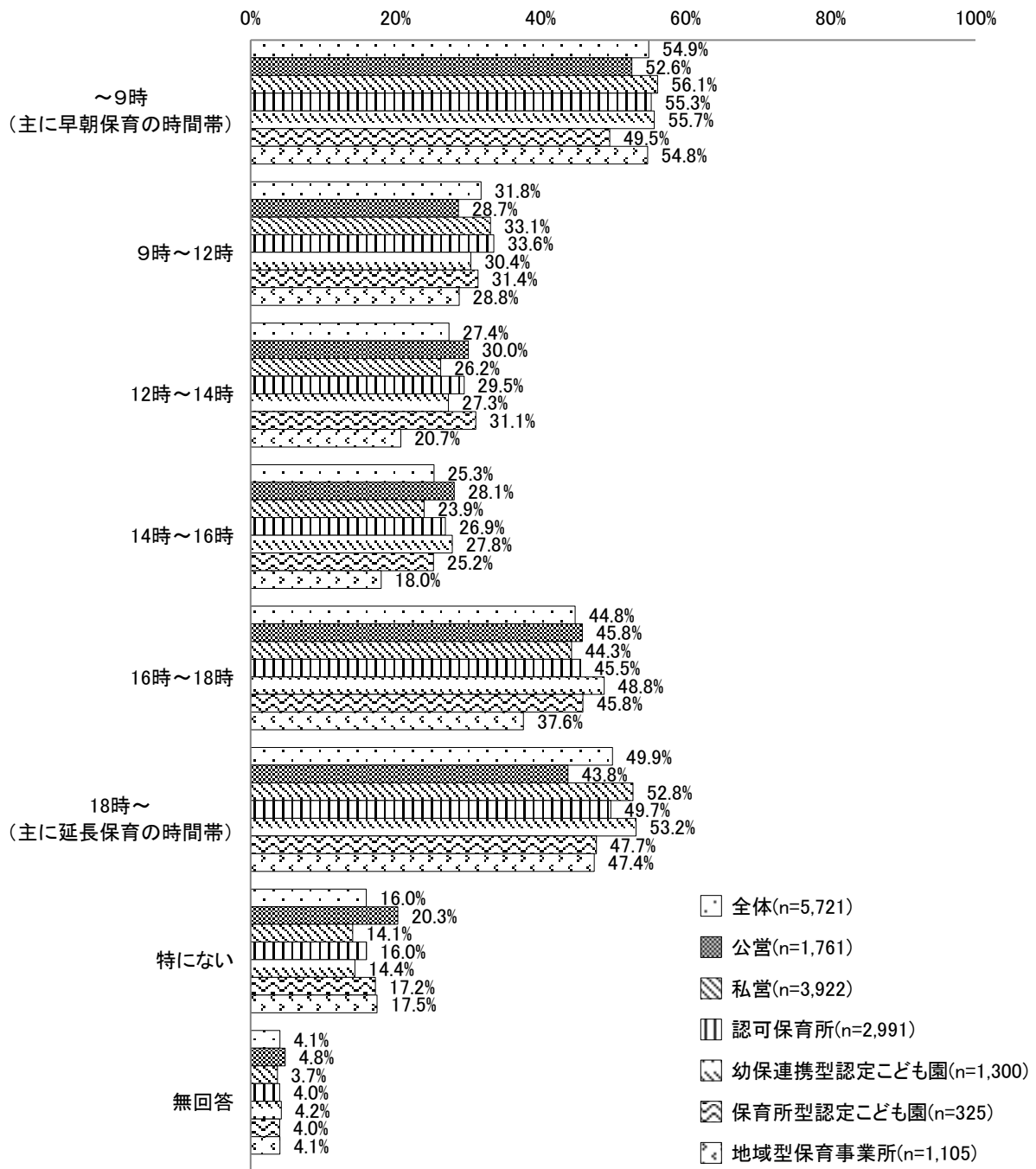
事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「12時～14時」「14時～16時」「16時～18時」の割合が低くなっている。

図表 3-126 【調査種別】保育補助者等を活用したい時間帯：複数回答（問48）



注) 保育士票の対象は問2で「2. 副施設長・副所長級」～「7. 保育士」と回答した者のみ。

図表 3-127 保育補助者等を活用したい時間帯：複数回答（問 48）



注) 集計対象は施設票のみ。

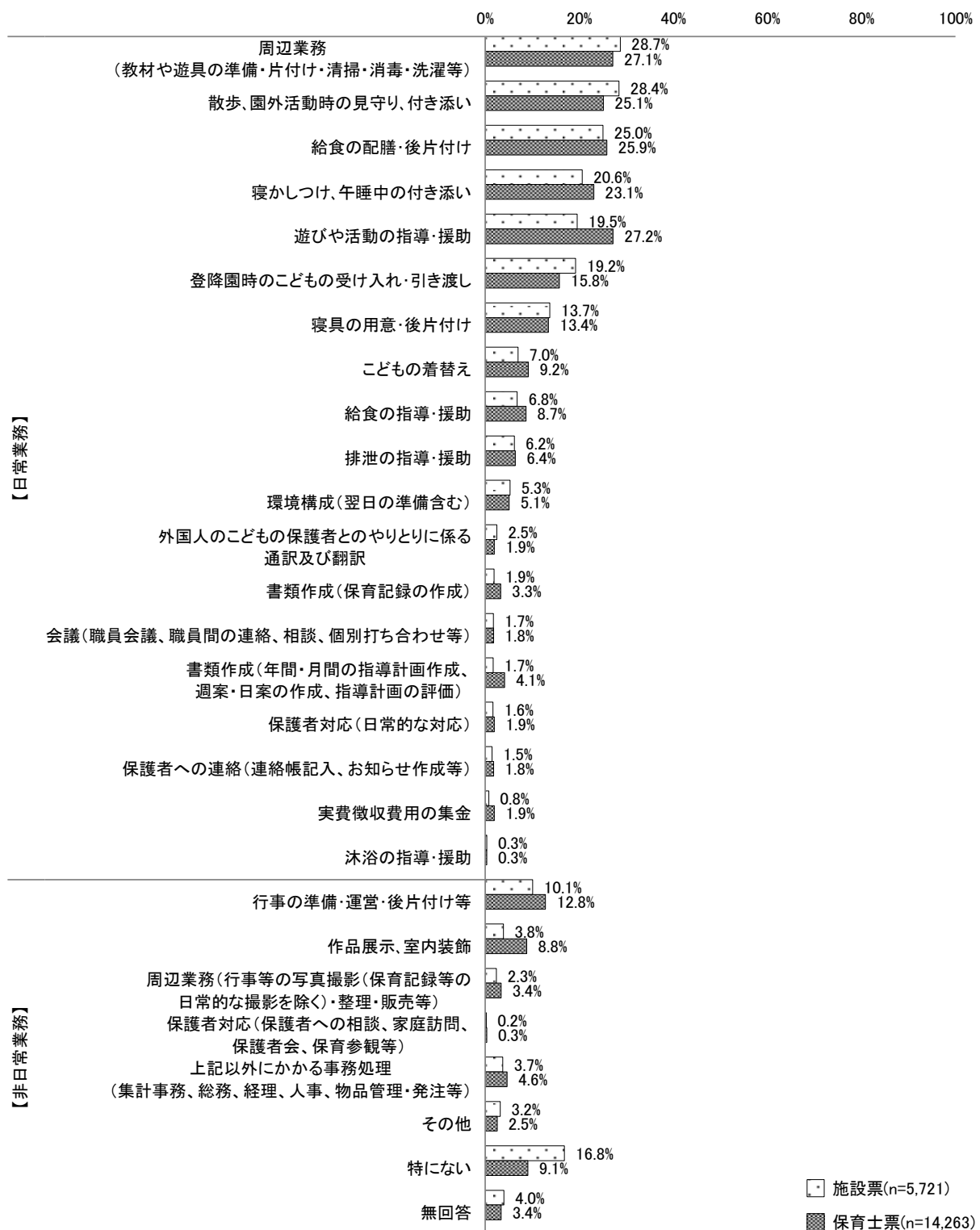
#### (5) 【共通】保育補助者等に担ってほしい業務内容

保育補助者等に担ってほしい業務内容について、調査種別にみると、「施設票」では、「周辺業務（教材や遊具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等）」が28.7%でもっとも割合が高く、次いで「散歩、園外活動時の見守り、付き添い」が28.4%となっている。「保育士票」では、「遊びや活動の指導・援助」が27.2%でもっとも割合が高く、次いで「周辺業務（教材や遊具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等）」が27.1%となっている。

施設票に限定して、公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「散歩、園外活動時の見守り、付き添い」の割合が高くなっている。

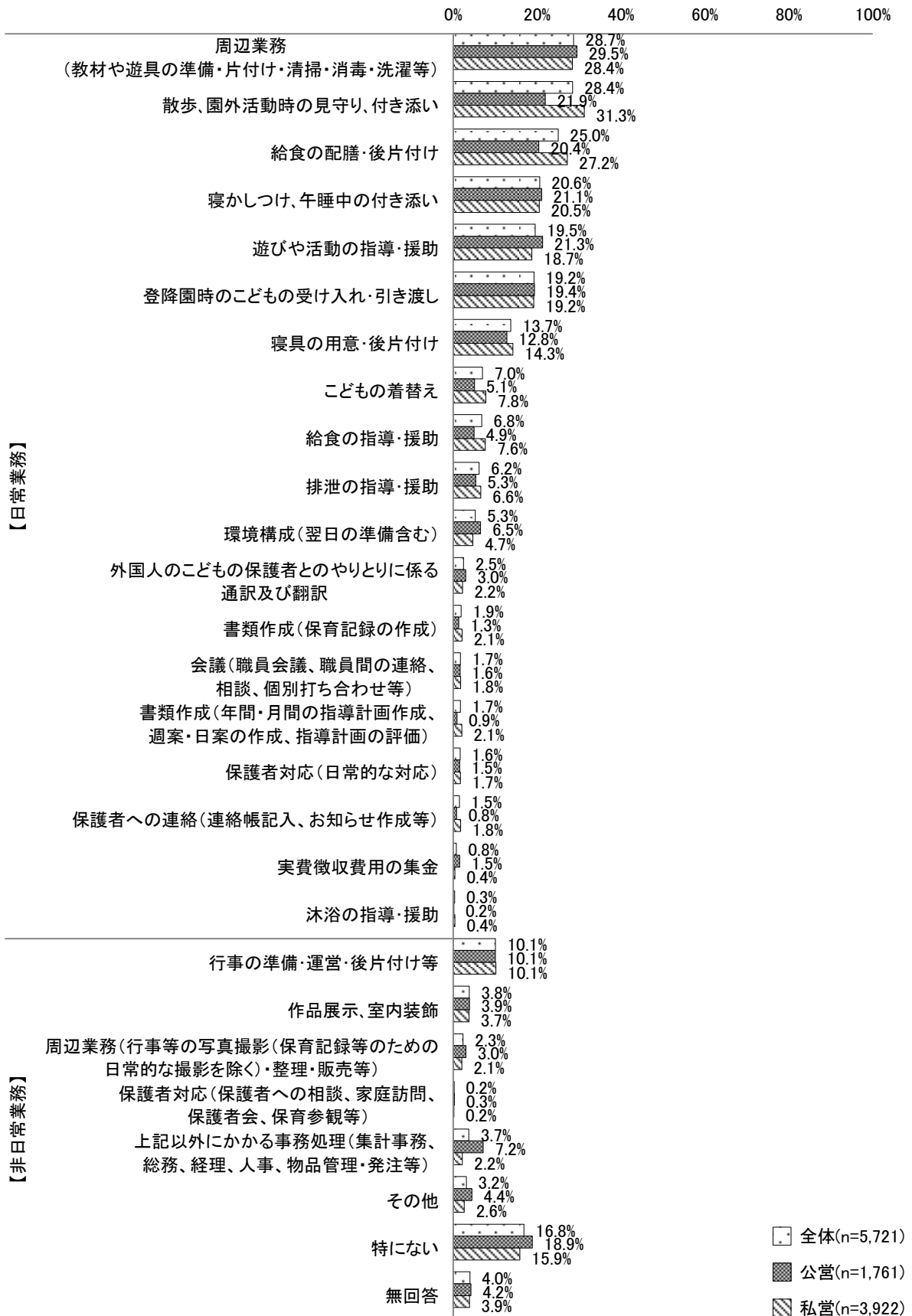
事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「散歩、園外活動時の見守り、付き添い」の割合が高くなっている。

図表 3-128 【調査種別】保育補助者等に担ってほしい業務内容：複数回答（問49）



注) 保育士票の対象は問2で「2. 副施設長・副所長級」～「7. 保育士」と回答した者のみ。

図表 3-129 【公私別】保育補助者等に担ってほしい業務内容：複数回答（問 49）



注) 集計対象は施設票のみ。

図表 3-130 【事業種別】保育補助者等に担ってほしい業務内容：複数回答（問49）

	問49 保育補助者等に担ってほしい業務内容									
	合計	周辺業務 (教材や 遊具の準 備・片付 け・清 掃・消 毒・洗濯 等)	散歩、園 外活動時 の見守 り、付き 添い	給食の配 膳・後片 付け	寝かしつ け、午睡 中の付き 添い	遊びや活 動の指 導・援助	登降園時 のこども の受け入 れ・引き 渡し	寝具の用 意・後片 付け	こどもの 着替え	給食の指 導・援助
全体	5,721 100.0	1,642 28.7	1,627 28.4	1,431 25.0	1,179 20.6	1,117 19.5	1,100 19.2	785 13.7	398 7.0	389 6.8
認可保育所	2,991 100.0	888 29.7	825 27.6	781 26.1	647 21.6	593 19.8	564 18.9	426 14.2	190 6.4	192 6.4
幼保連携型認定こども園	1,300 100.0	423 32.5	299 23.0	339 26.1	224 17.2	282 21.7	284 21.8	187 14.4	96 7.4	87 6.7
保育所型認定こども園	325 100.0	91 28.0	95 29.2	100 30.8	50 15.4	66 20.3	56 17.2	62 19.1	23 7.1	22 6.8
地域型保育事業所	1,105 100.0	240 21.7	408 36.9	211 19.1	258 23.3	176 15.9	196 17.7	110 10.0	89 8.1	88 8.0

	問49 保育補助者等に担ってほしい業務内容									
	合計	排泄の指 導・援助	環境構成 (翌日の 準備含 む)	外国人の こどもの 保護者と のやりと りに係る 通訳及び 翻訳	書類作成 (保育記 録の作 成)	会議(職 員会議、 職員間の 連絡、相 談、個別 打ち合わ せ等)	書類作成 (年間・ 月間の指 導計画作 成、週 案・日案 の作成、 指導計画 の評価)	保護者対 応(日常 的な対 応)	保護者へ の連絡 (連絡帳 記入、お 知らせ作 成等)	実費徴収 費用の集 金
全体	5,721 100.0	354 6.2	302 5.3	141 2.5	107 1.9	98 1.7	97 1.7	94 1.6	83 1.5	43 0.8
認可保育所	2,991 100.0	175 5.9	169 5.7	78 2.6	59 2.0	58 1.9	47 1.6	54 1.8	41 1.4	24 0.8
幼保連携型認定こども園	1,300 100.0	110 8.5	75 5.8	43 3.3	19 1.5	15 1.2	20 1.5	21 1.6	16 1.2	16 1.2
保育所型認定こども園	325 100.0	12 3.7	17 5.2	4 1.2	7 2.2	4 1.2	6 1.8	5 1.5	8 2.5	1 0.3
地域型保育事業所	1,105 100.0	57 5.2	41 3.7	16 1.4	22 2.0	21 1.9	24 2.2	14 1.3	18 1.6	2 0.2

	問49 保育補助者等に担ってほしい業務内容									
	合計	沐浴の指 導・援助	行事の準 備・運営・ 後片付け 等	作品展 示、室内 装飾	周辺業務 (行事等 の写真撮 影(保育 記録等 のための 日常的な 撮影を除 く)・整 理・販売 等)	保護者対 応(保護 者への相 談、家庭 訪問、保 護者会、 保育参観 等)	上記以外 にかかる 事務処理 (集計事 務、総 務、経 理、人 事、物品 管理・発 注等)	その他	特にな い	無回答
全体	5,721 100.0	19 0.3	576 10.1	220 3.8	134 2.3	12 0.2	213 3.7	181 3.2	963 16.8	228 4.0
認可保育所	2,991 100.0	6 0.2	321 10.7	117 3.9	71 2.4	8 0.3	127 4.2	102 3.4	477 15.9	114 3.8
幼保連携型認定こども園	1,300 100.0	9 0.7	133 10.2	48 3.7	35 2.7	2 0.2	52 4.0	54 4.2	194 14.9	56 4.3
保育所型認定こども園	325 100.0	1 0.3	29 8.9	14 4.3	7 2.2	1 0.3	9 2.8	4 1.2	61 18.8	10 3.1
地域型保育事業所	1,105 100.0	3 0.3	93 8.4	41 3.7	21 1.9	1 0.1	25 2.3	21 1.9	231 20.9	48 4.3

注) 集計対象は施設票のみ。

<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■延長保育・時間外保育の補助

- ・ 早朝、延長保育。
- ・ 夕方の長時間保育の援助。

■職員の休憩・代替

- ・ 職員の休憩時間確保のためのカバー。
- ・ 職員休暇時の代替。

■環境整備・清掃

- ・ 環境整備。
- ・ 清掃、消毒作業。
- ・ 園庭整備。

■特別支援・配慮児対応

- ・ 特別な支援・配慮を必要とするこどもへの援助。
- ・ 配慮児対応。
- ・ 支援必要児の対応。

■保育補助・見守り

- ・ クラスに入り保育を補助。
- ・ 早番・遅番・プール監視などのこどもの見守り補助。

■土曜・休日保育

- ・ 土曜日の保育。
- ・ 休日保育。

■書類作成・事務補助

- ・ 書類作成以外の日常業務。
- ・ 担任が事務をしている間の保育。
- ・ 会議資料作成、会議録作成。

■園バス・送迎補助

- ・ 通園バス添乗業務。

■その他

- ・ 用務員業務。
- ・ 駐車場の見守り、交通整理。
- ・ 調理。

## 7. 仕事や生活の満足度等について

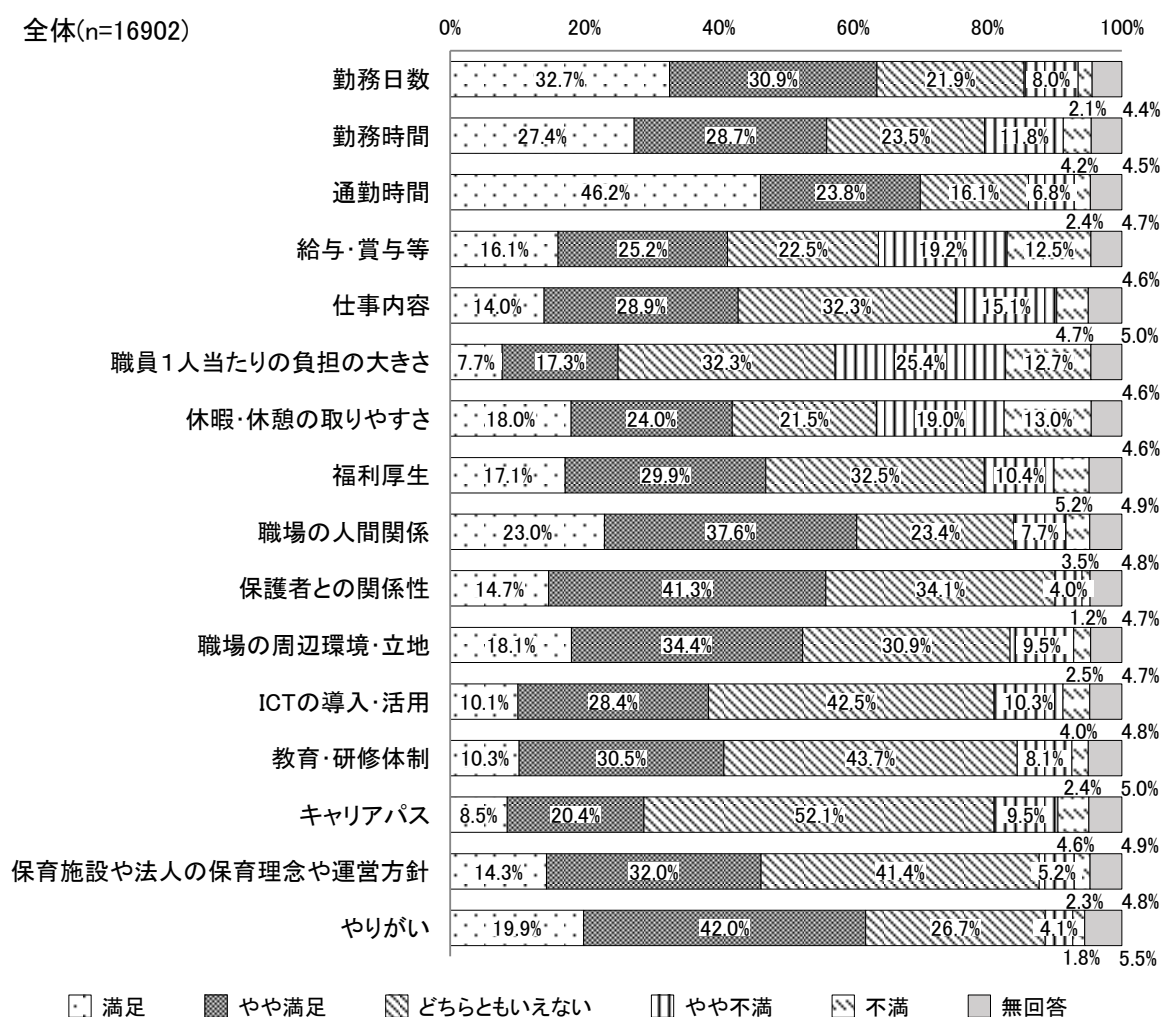
### (1) 【保育士票】満足度

満足度について、「満足」「やや満足」を合わせた割合をみると、「全体」では、「通勤時間」が70.0%でもっとも割合が高く、次いで「勤務日数」が63.5%、「やりがい」が61.9%となっている。一方、「やや不満」「不満」を合わせた割合をみると、「職員1人当たりの負担の大きさ」が38.1%でもっとも割合が高く、次いで「休暇・休憩の取りやすさ」が32.0%、「給与・賞与等」が31.7%となっている。

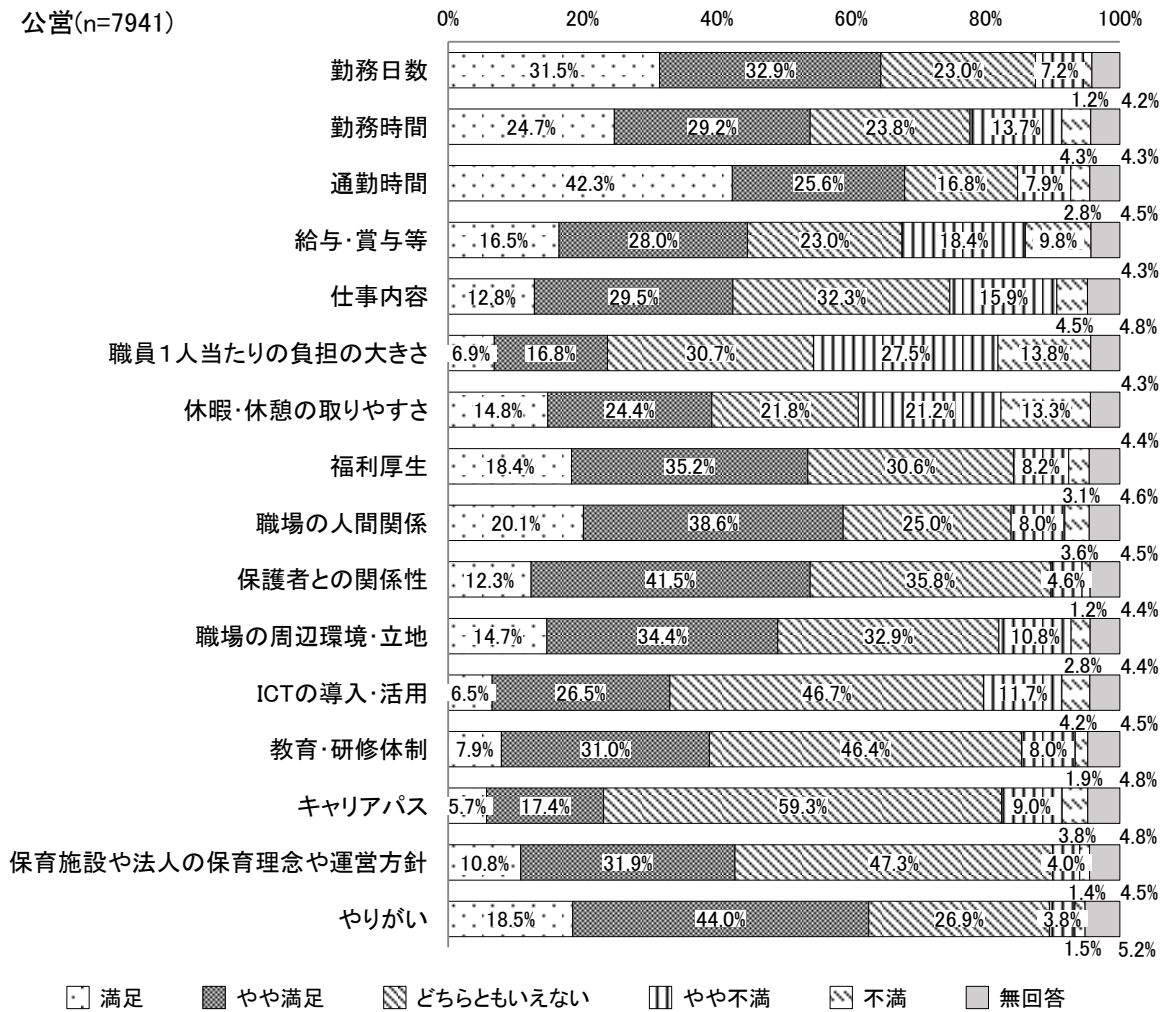
公私別に「満足」「やや満足」を合わせた割合をみると、「福利厚生」は「公営」のほうが高いが、「ICTの導入・活用」「キャリアパス」は「私営」のほうが高くなっている。

事業種別に同様の割合をみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「職員1人当たりの負担の大きさ」「休暇・休憩の取りやすさ」「保護者との関係性」についての満足度が高くなっている。

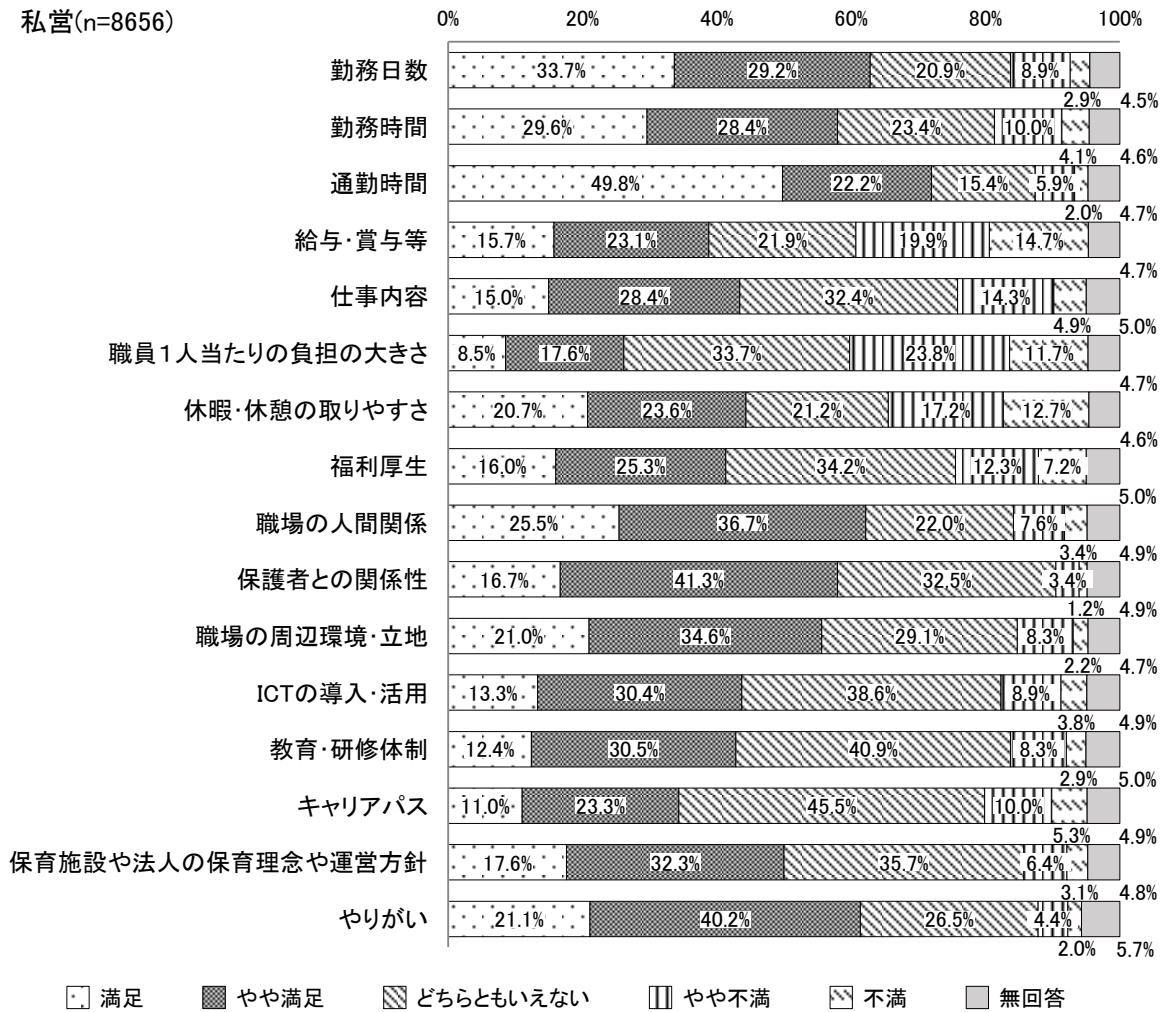
図表 3-131 【全体】満足度：単数回答（問50）



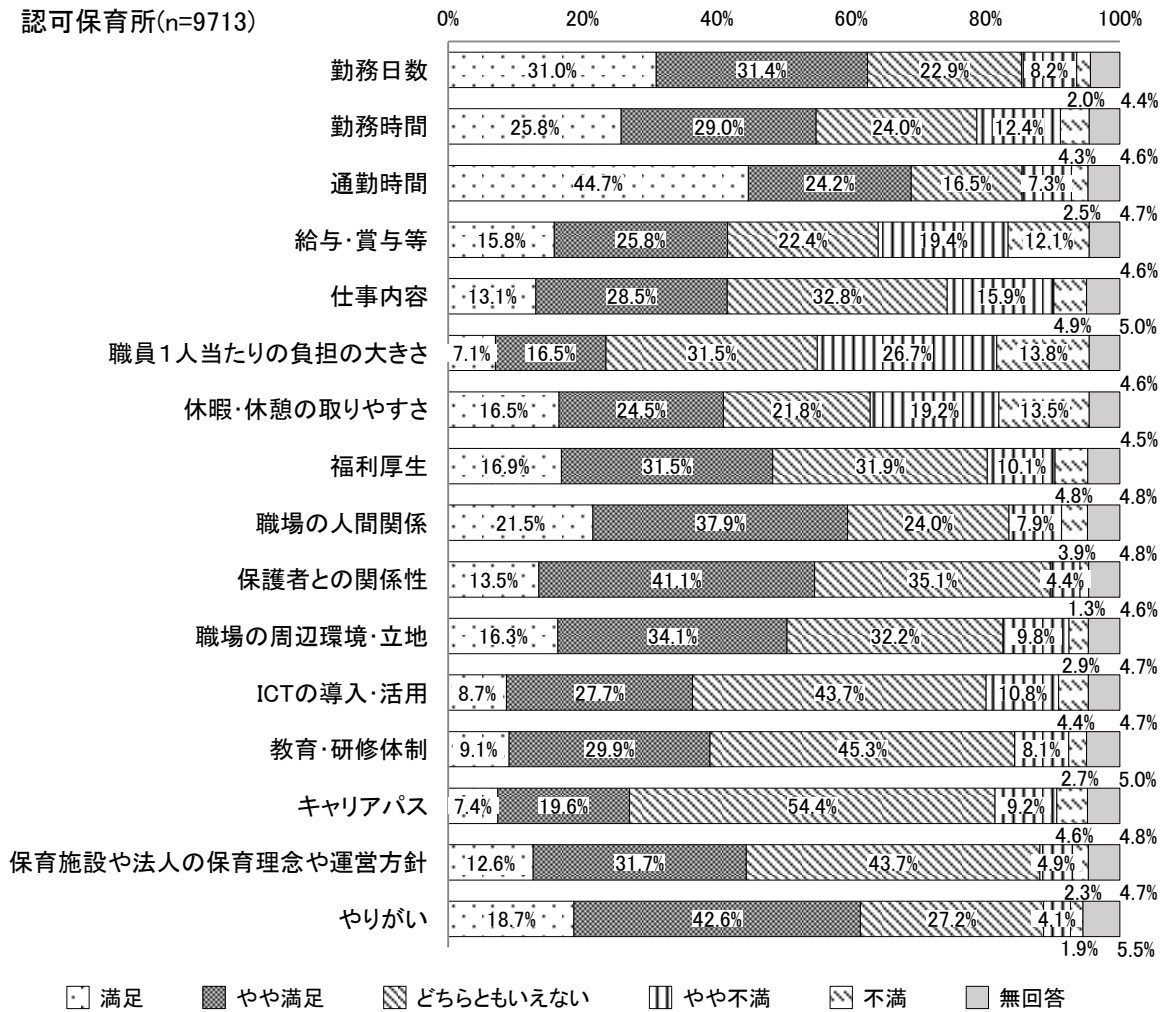
図表 3-132 【公営】満足度：単数回答（問 50）



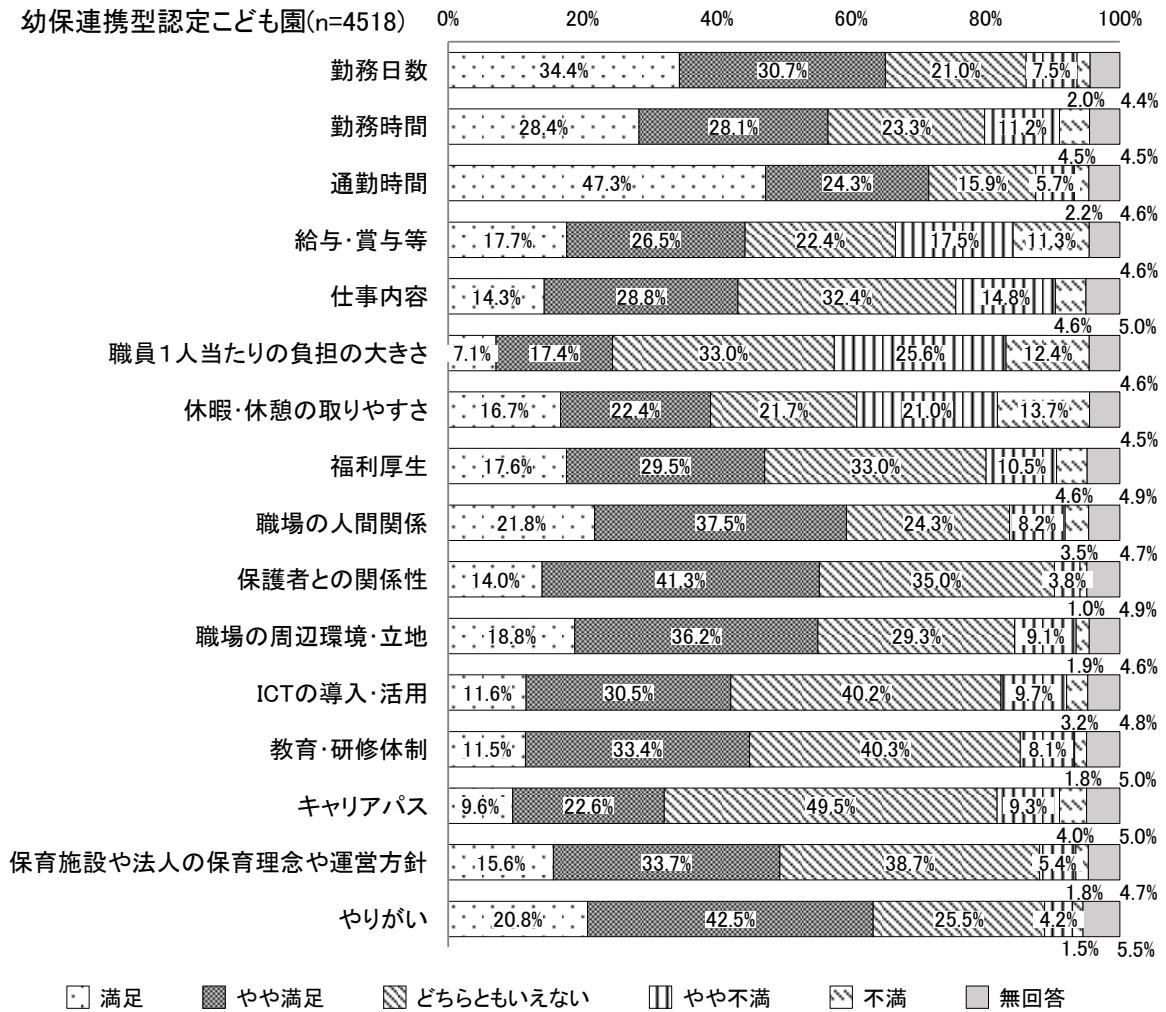
図表 3-133 【私営】満足度：単数回答（問50）



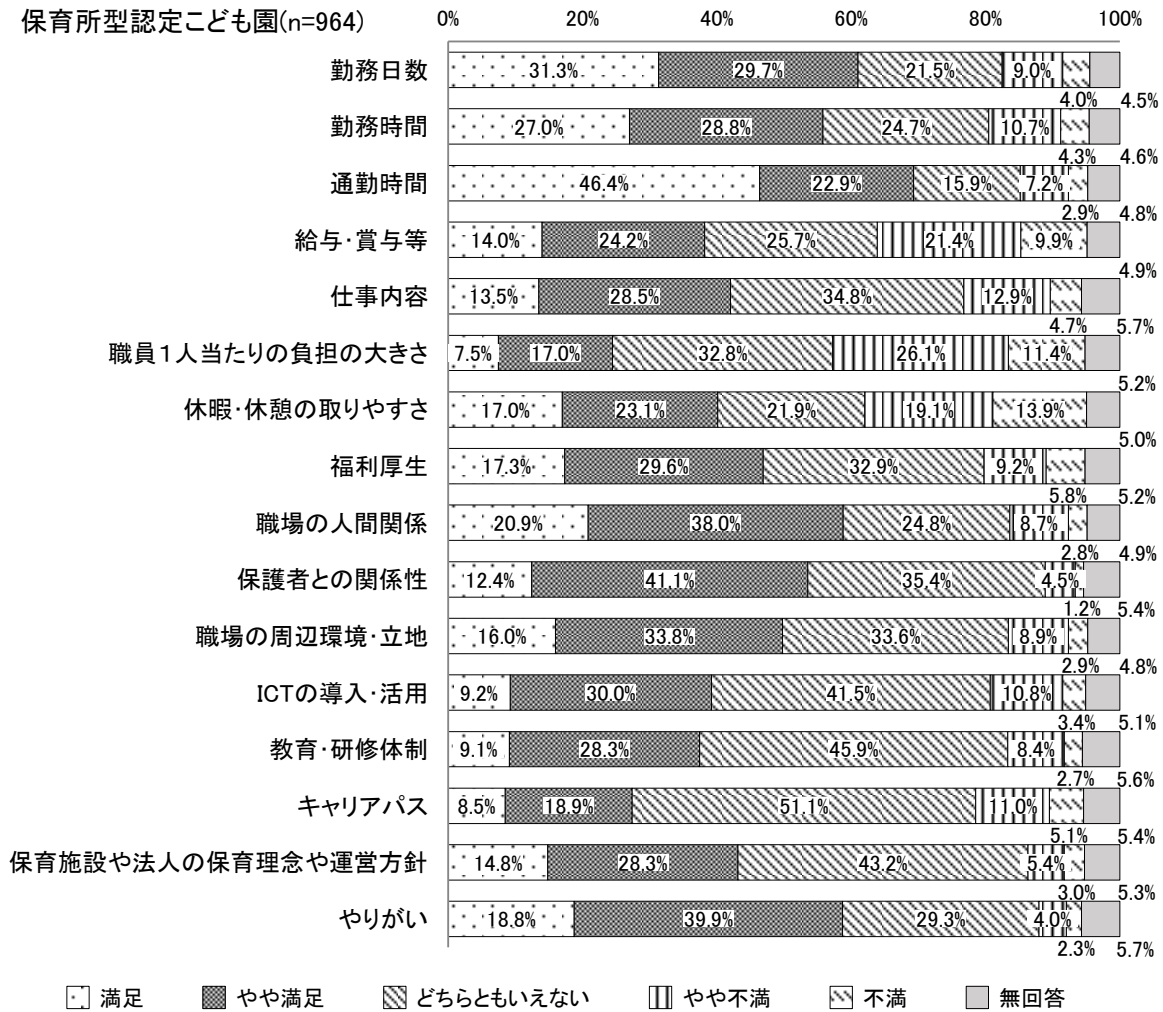
図表 3-134 【認可保育所】満足度：単数回答（問 50）



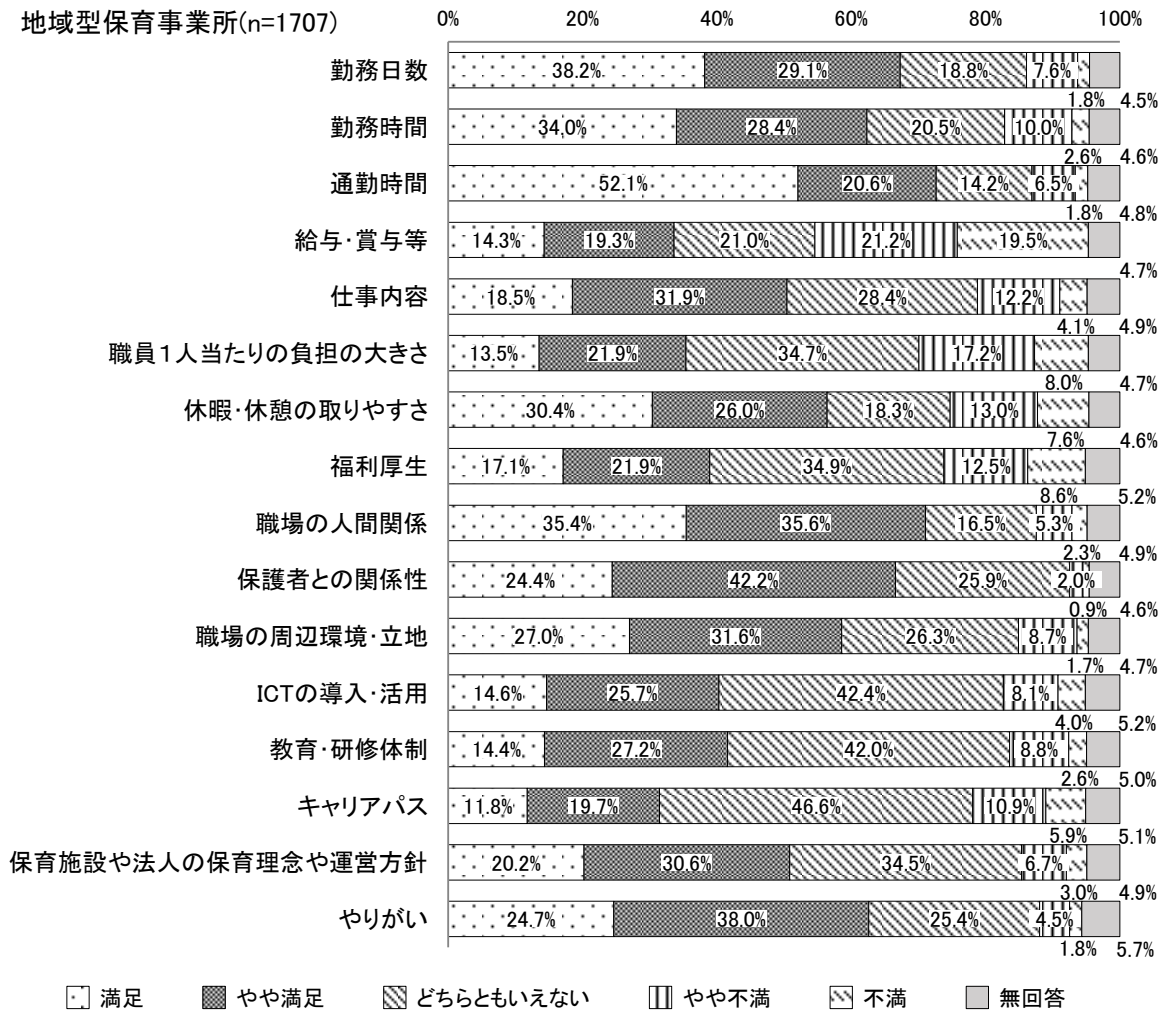
図表 3-135 【幼保連携型認定こども園】満足度：単数回答（問 50）



図表 3-136 【保育所型認定こども園】満足度：単数回答（問 50）



図表 3-137 【地域型保育事業所】満足度：単数回答（問 50）

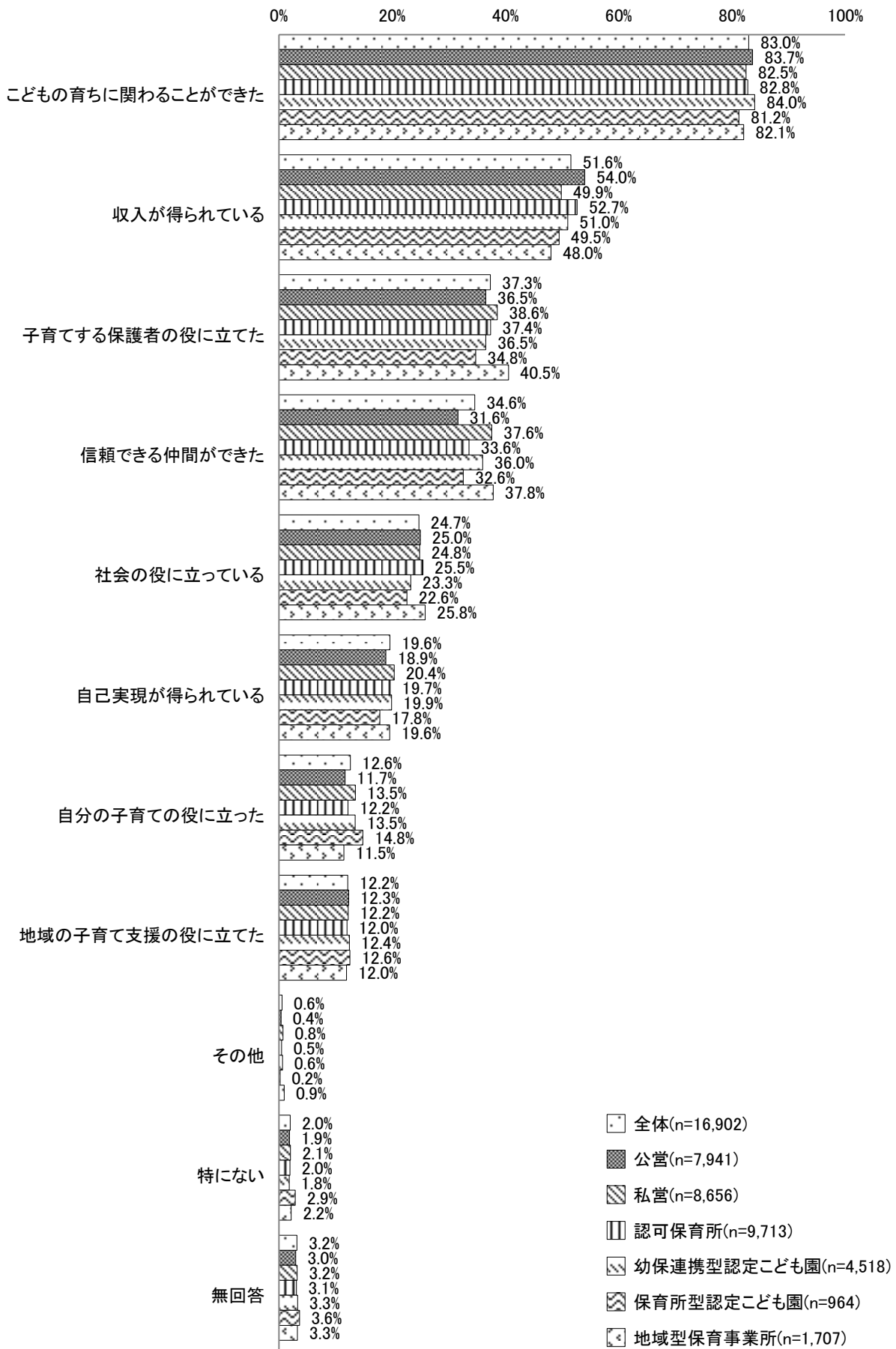


(2) 【保育士票】保育の現場でのやりがい

保育の現場でのやりがいについてみると、「全体」では、「こどもの育ちに関わることができた」が83.0%でもっとも割合が高く、次いで「収入が得られている」が51.6%となっている。

公私別・事業種別では大きな差はみられない。

図表 3-138 保育の現場でのやりがい：複数回答（問 51）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■こどもの成長を見守る喜び

- ・ こどもの成長が見られた時。
- ・ こどもたちの成長を間近で感じ取れる。
- ・ 卒園児が帰ってきて成長が見られる。

■保護者や地域との信頼関係

- ・ 保護者との信頼関係。
- ・ 保護者に信頼してもらえている。
- ・ 役に立てているかはわからないが、地域の方々と一緒に子育てができていることに喜びを感じる。

■自分のスキルや特技を活かせる

- ・ 自分の特技（ピアノ、読み聞かせ、運動）を活かせる。
- ・ 自分の得た知識を活用できる。
- ・ 資格を活かした職業につけた。

■こどもとの関わりから得る学び

- ・ こどもからパワーをもらえる。
- ・ こどもと関わることは生きがいに感じる。また、様々な学びを得た。

■職員や同僚との関係

- ・ 職員の成長を感じる。
- ・ 同僚に感謝される。
- ・ 新人保育士の成長や仕事への意欲が高まっている。

■自分の成長やキャリア

- ・ キャリアを活かしている。
- ・ 自分の今後の子育ての勉強になった。

■保育の理念や方針に共感

- ・ 保育観が合っている。
- ・ 興味のある保育理念の場所で働いている。
- ・ キリスト教保育の実施に関わることができている。

■その他

- ・ 園が評価されてきている。
- ・ 社会との関わりが持っていること。

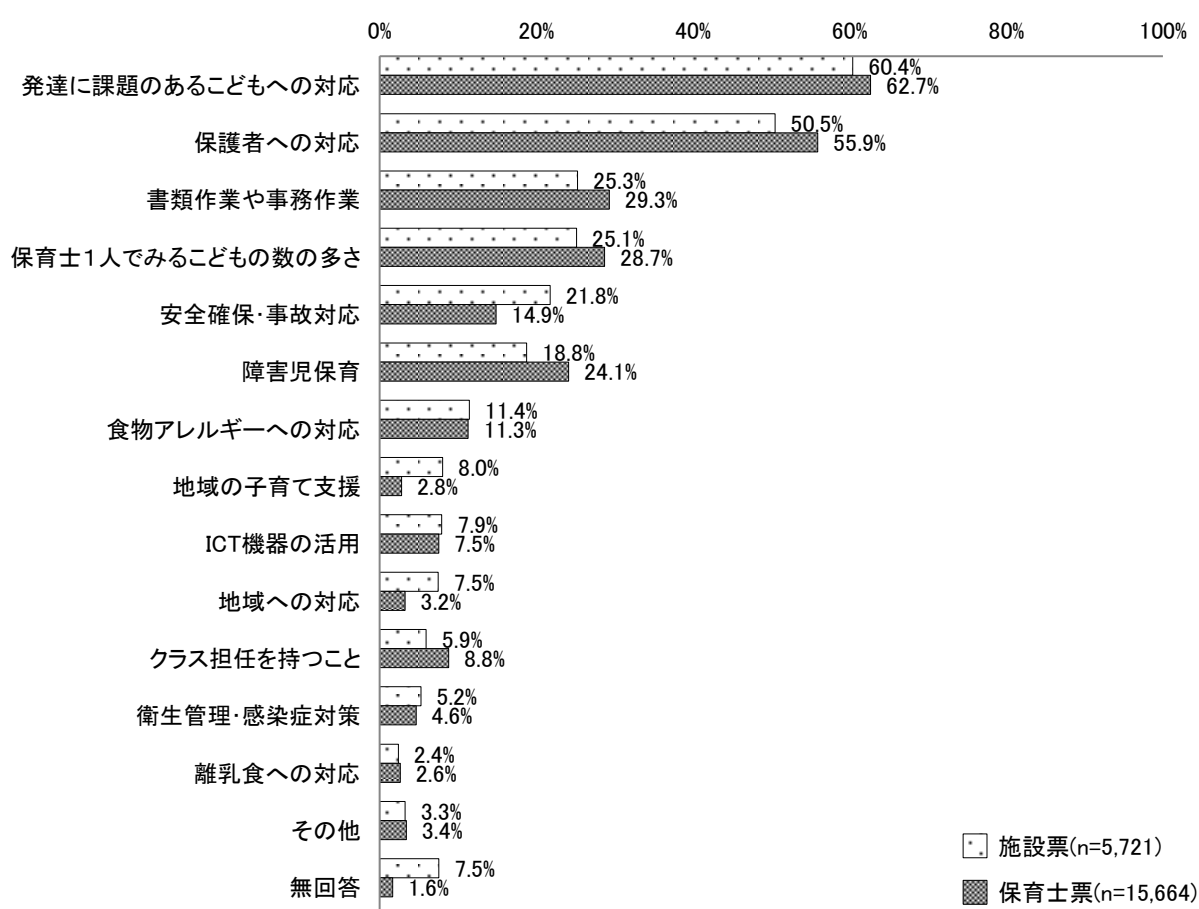
### (3) 【共通】保育の現場で対応が困難なこと

保育の現場で対応が困難なことについて、調査種別にみると、「施設票」では、「発達に課題のあるこどもへの対応」が60.4%でもっとも割合が高く、次いで「保護者への対応」が50.5%となっている。「保育士票」では、「発達に課題のあるこどもへの対応」が62.7%でもっとも割合が高く、次いで「保護者への対応」が55.9%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて、「保護者への対応」「安全確保・事故対応」の割合が高くなっている。

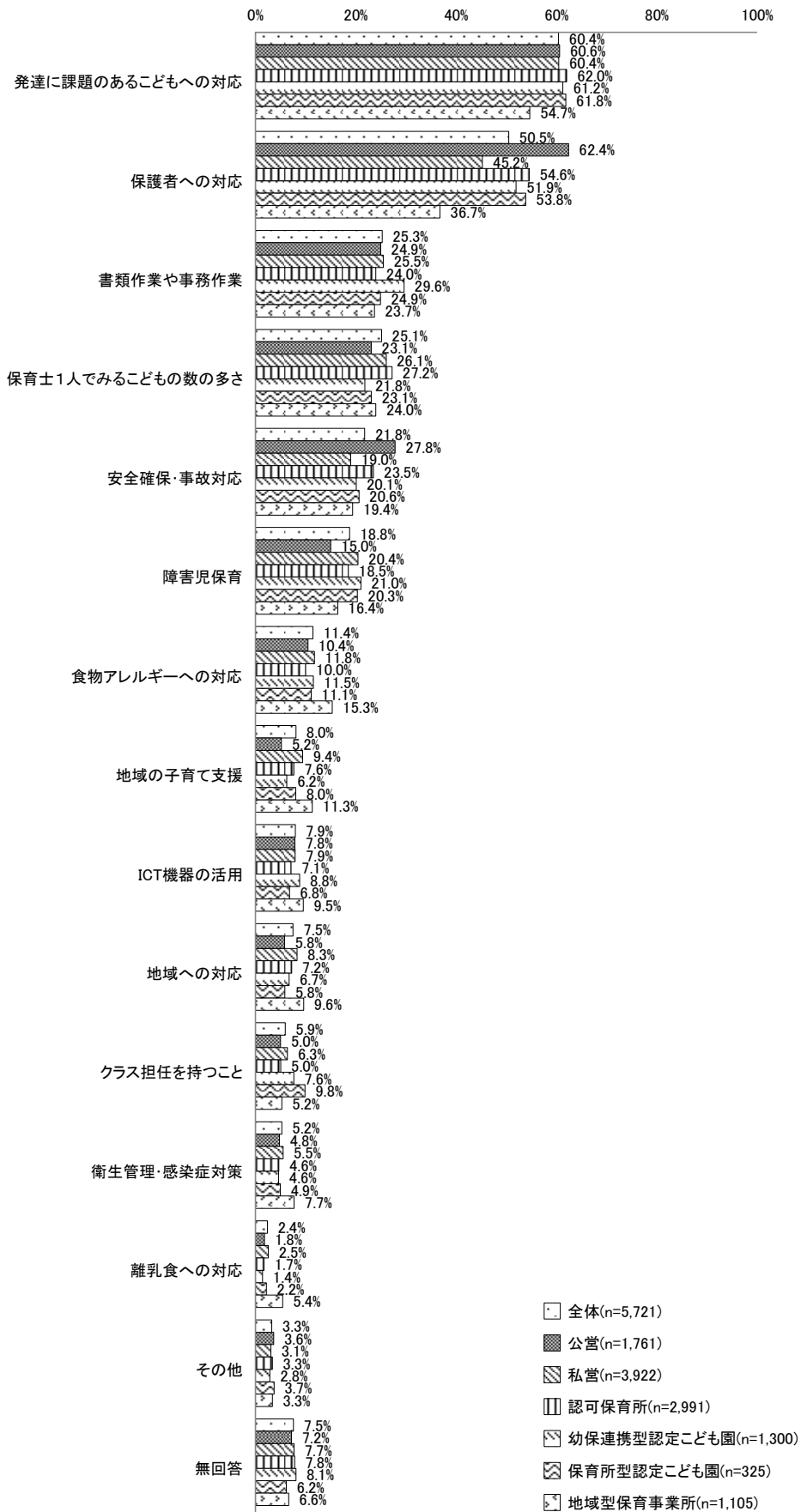
事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「保護者への対応」の割合が低くなっている。

図表 3-139 【調査種別】保育の現場で対応が困難なこと：複数回答（問52）



注) 保育士票の対象は問2で「2. 副施設長・副所長級」～「12. 家庭的保育補助者」と回答した者のみ。

図表 3-140 保育の現場で対応が困難なこと：複数回答（問 52）



注) 集計対象は施設票のみ。

<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■職員間の人間関係

- ・ 職員同士の人間関係、連携の取り方。

■人材育成・職員の指導。

- ・ 人材育成。
- ・ リーダー層の育成。
- ・ 新人保育士の育成。

■保育士の確保・人員不足

- ・ 保育士不足。
- ・ 人員確保。

■外国籍のこども・保護者対応

- ・ 外国人のこどもや保護者への対応。
- ・ 日本語が通じない外国にルーツがある園児及びご家庭の対応。

■保育の質の向上

- ・ 保育の質の向上。
- ・ 保育士の資質向上。

■職員の休憩時間・休暇の確保

- ・ 休憩や休暇の取得。
- ・ 休憩代替に対する配置職員の少なさ。

■行事の準備・運営

- ・ 行事の多さ。
- ・ 行事の計画と運営、準備。
- ・ 運動会や発表会の進め方。

■保育時間の長さ・業務量

- ・ 保育時間が長いことへの対応。
- ・ やるべきこと（仕事量）の多さ。
- ・ 業務が時間内に終わらない。

■その他

- ・ 医療的ケア児の受け入れ。
- ・ 災害対応。
- ・ 施設の老朽化。

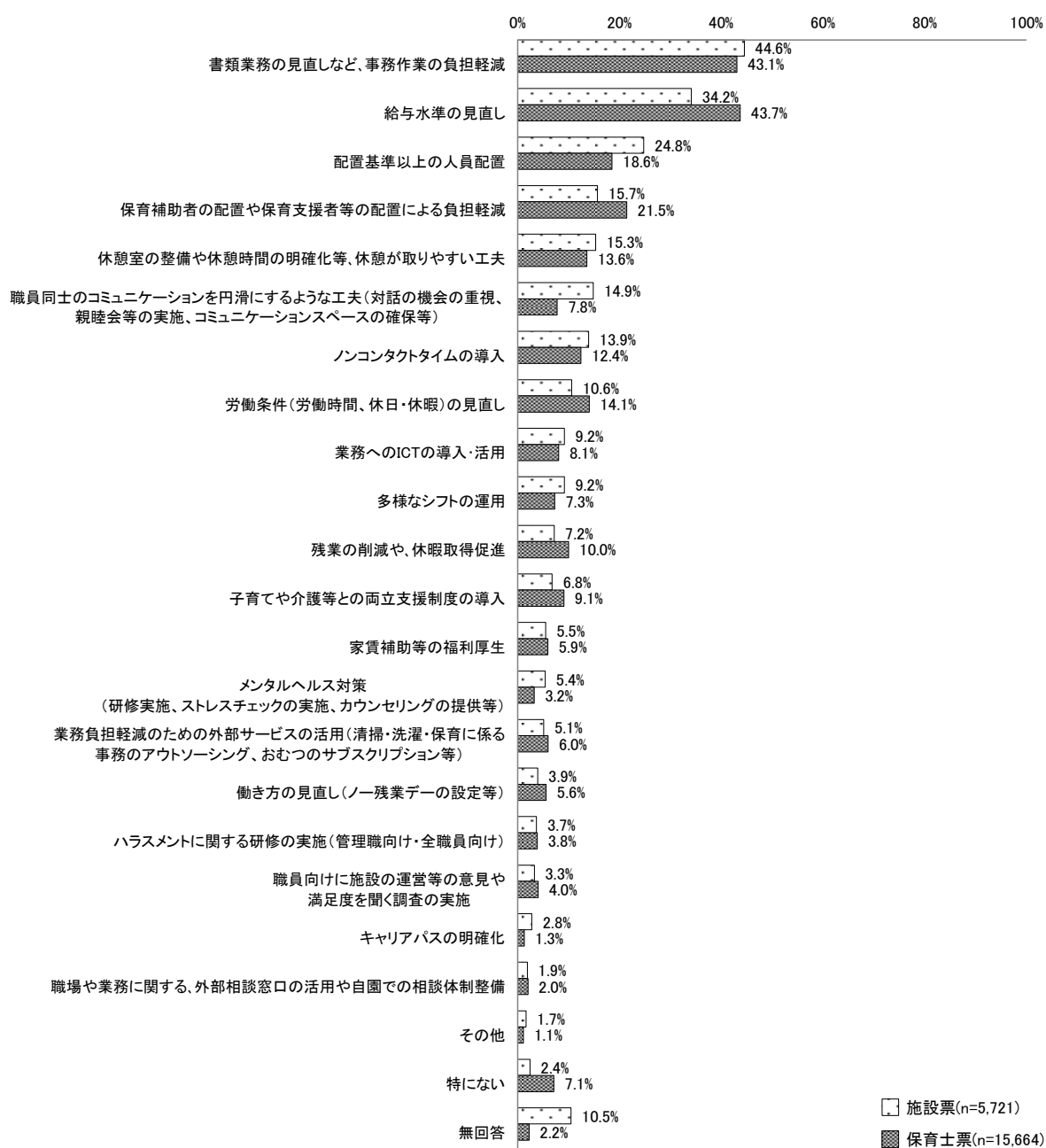
#### (4) 【共通】職場の改善点

職場の改善点について、調査種別にみると、「施設票」では、「書類業務の見直しなど、事務作業の負担軽減」が44.6%でもっとも割合が高く、次いで「給与水準の見直し」が34.2%となっている。「保育士票」では、「給与水準の見直し」が43.7%でもっとも割合が高く、次いで「書類業務の見直しなど、事務作業の負担軽減」が43.1%となっている。

公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「給与水準の見直し」の割合が高くなっている。

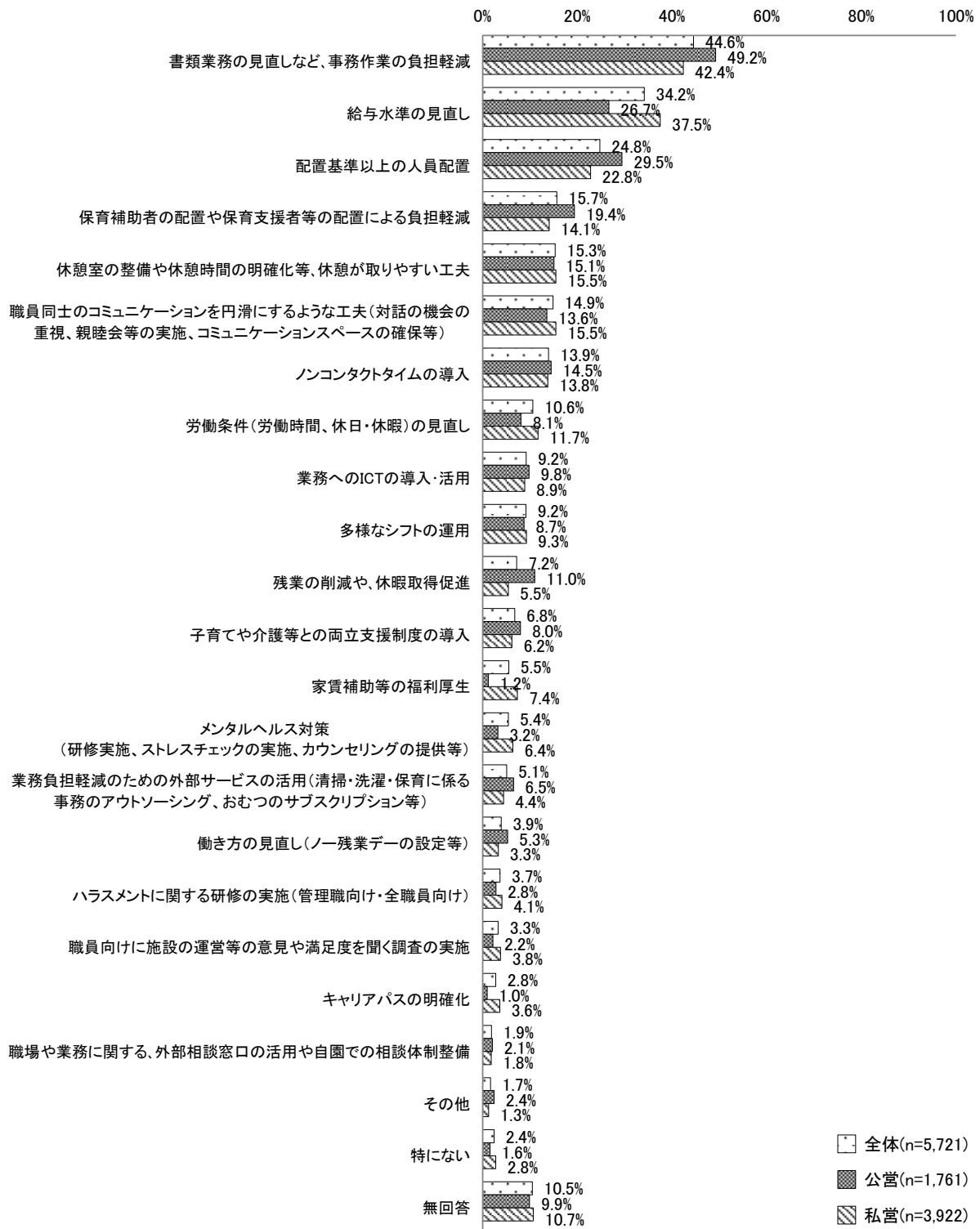
事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「給与水準の見直し」の割合が高くなっている。

図表 3-141 【調査種別】職場の改善点：複数回答（問53）



注) 保育士票の対象は問2で「2. 副施設長・副所長級」～「12. 家庭的保育補助者」と回答した者のみ。

図表 3-142 【公私別】職場の改善点：複数回答（問 53）



注) 集計対象は施設票のみ。

図表 3-143 【事業種別】職場の改善点：複数回答（問53）

	合計	問53 職場の改善点							
		書類業務の見直しなど、事務作業の負担軽減	給与水準の見直し	配置基準以上の人員配置	保育補助者の配置や保育支援者等の配置による負担軽減	休憩室の整備や休憩時間の明確化等、休憩が取りやすい工夫	職員同士のコミュニケーションを円滑にするような工夫	ノンコンタクトタイムの導入	労働条件（労働時間、休日・休暇）の見直し
全体	5,721 100.0	2,549 44.6	1,954 34.2	1,419 24.8	898 15.7	877 15.3	851 14.9	798 13.9	608 10.6
認可保育所	2,991 100.0	1,369 45.8	997 33.3	804 26.9	482 16.1	441 14.7	455 15.2	415 13.9	318 10.6
幼保連携型認定こども園	1,300 100.0	614 47.2	380 29.2	291 22.4	214 16.5	217 16.7	210 16.2	204 15.7	131 10.1
保育所型認定こども園	325 100.0	145 44.6	96 29.5	83 25.5	48 14.8	61 18.8	53 16.3	51 15.7	32 9.8
地域型保育事業所	1,105 100.0	421 38.1	481 43.5	241 21.8	154 13.9	158 14.3	133 12.0	128 11.6	127 11.5

	合計	問53 職場の改善点							
		業務へのICTの導入・活用	多様なシフトの運用	残業の削減や、休暇取得促進	子育てや介護等との両立支援制度の導入	家賃補助等の福利厚生	メンタルヘルス対策（研修実施、ストレスチェックの実施、カウンセリングの提供等）	業務負担軽減のための外部サービスの活用	働き方の見直し（ノー残業デーの設定等）
全体	5,721 100.0	527 9.2	525 9.2	411 7.2	388 6.8	316 5.5	311 5.4	292 5.1	225 3.9
認可保育所	2,991 100.0	274 9.2	274 9.2	243 8.1	217 7.3	148 4.9	147 4.9	158 5.3	127 4.2
幼保連携型認定こども園	1,300 100.0	133 10.2	129 9.9	114 8.8	84 6.5	47 3.6	80 6.2	60 4.6	59 4.5
保育所型認定こども園	325 100.0	26 8.0	32 9.8	20 6.2	27 8.3	16 4.9	17 5.2	27 8.3	13 4.0
地域型保育事業所	1,105 100.0	94 8.5	90 8.1	34 3.1	60 5.4	105 9.5	67 6.1	47 4.3	26 2.4

	合計	問53 職場の改善点						
		ハラスメントに関する研修の実施（管理職向け・全職員向け）	職員向けに施設の運営等の意見や満足度を聞く調査の実施	キャリアパスの明確化	職場や業務に関する、外部相談窓口の活用や自園での相談体制整備	その他	特になし	無回答
全体	5,721 100.0	212 3.7	188 3.3	160 2.8	109 1.9	95 1.7	139 2.4	601 10.5
認可保育所	2,991 100.0	97 3.2	74 2.5	70 2.3	56 1.9	52 1.7	52 1.7	323 10.8
幼保連携型認定こども園	1,300 100.0	53 4.1	50 3.8	38 2.9	27 2.1	24 1.8	25 1.9	143 11.0
保育所型認定こども園	325 100.0	17 5.2	8 2.5	10 3.1	4 1.2	7 2.2	7 2.2	31 9.5
地域型保育事業所	1,105 100.0	45 4.1	56 5.1	42 3.8	22 2.0	12 1.1	55 5.0	104 9.4

注) 集計対象は施設票のみ。

<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■人員確保・職員配置

- ・ 正規職員の確保と増員。
- ・ バス添乗などのシフトに入れる職員の増員。

■職員の育成・指導

- ・ 職員の育成。
- ・ 新人をサポートする体制づくり。
- ・ 保育士の質の向上の取組。

■職場環境・設備の改善

- ・ 施設の老朽化対策。
- ・ 休憩室の設置、更衣室の拡大化（男女別）、事務作業のできる部屋確保、相談室確保。
- ・ 安全な園庭。

■業務負担の軽減

- ・ 事務作業の負担、人員配置、休暇取得促進、ノンコンタクトタイムの導入、多様な働き方の運用、管理者向けのハラスメント研修など。
- ・ 持ち帰りの仕事。

■給与・福利厚生の改善

- ・ 給与の改善。
- ・ 福利厚生の拡充。
- ・ 退職金制度を導入してほしい。

■保育の質・内容の見直し

- ・ 保育自体の見直し。
- ・ 教育・保育の質の向上。

■管理職・上司の対応

- ・ 管理職の資質向上。
- ・ 園長が現場を知ろうとせず現場の意見を聞かず独断で決めてしまう。
- ・ パワハラ、いじめのない職場にしてほしい。

■行事・会議の見直し

- ・ 行事の見直し。
- ・ 職員会議を平日の昼間にやって欲しい。その日は会議の為に園を休みにしてほしい。
- ・ 行事の企画、計画、取り組み方の負担。

■保護者対応の改善

- ・ 保護者対応を担当に任せすぎる。
- ・ 保護者側からの協力体制を強化したい。
- ・ 子育て、保育に関する理解促進。

■その他

- ・ 市からの利用者に対する利用ルールの徹底。
- ・ 地域区分の見直し。
- ・ 自由に有給休暇を取れるとよい。

## 8. 就業継続意向・キャリア展望について

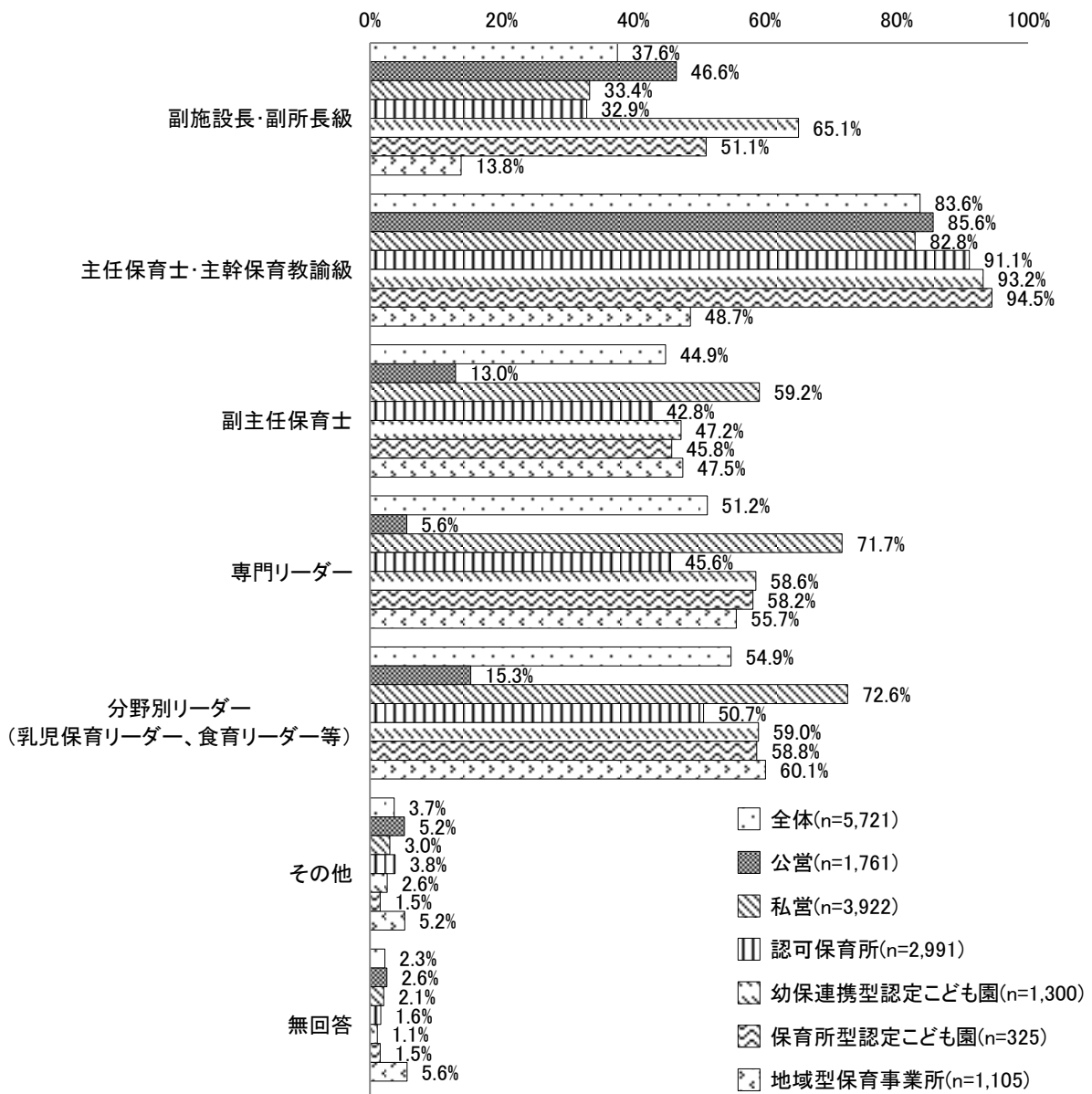
### (1) 【施設票】職位区分の設定有無

職位区分の設定有無についてみると、「全体」では、「主任保育士・主幹保育教諭級」が 83.6% でもっとも割合が高く、次いで「分野別リーダー（乳児保育リーダー、食育リーダー等）」が 54.9% となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「副施設長・副所長級」の割合が高くなっている一方、「副主任保育士」「専門リーダー」「分野別リーダー（乳児保育リーダー、食育リーダー等）」の割合は低くなっている。

事業種別にみると、「幼保連携型認定こども園」では、他に比べて「副施設長・副所長級」の割合が高く、「地域型保育事業所」では、「副施設長・副所長級」「主任保育士・主幹保育教諭級」の割合が低くなっている。

図表 3-144 職位区分の設定有無：複数回答（問 54）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

- ・ クラスリーダー。
- ・ 学年リーダー。
- ・ 主査保育士。
- ・ 指導保育教諭。
- ・ 保育リーダー。
- ・ 上級保育士・中級保育士。
- ・ 特別支援コーディネーター。
- ・ ICT 特任保育士。
- ・ 専門サブリーダー。
- ・ サポーター。
- ・ メンター。
- ・ 事務長。

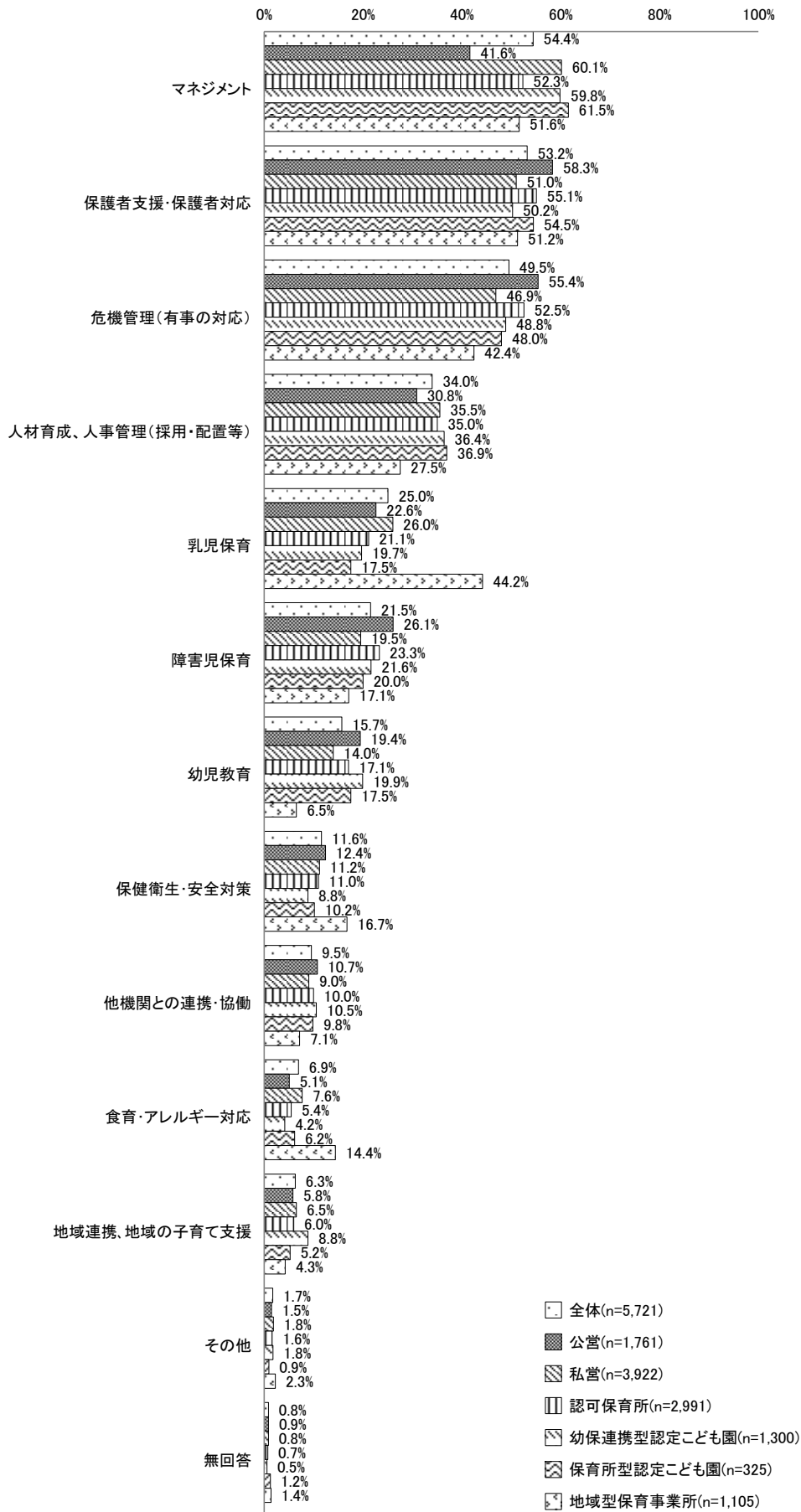
## (2) 【施設票】キャリアを積むために必要な専門知識

キャリアを積むために必要な専門知識についてみると、「全体」では、「マネジメント」が 54.4%でもっとも割合が高く、次いで「保護者支援・保護者対応」が 53.2%となっている。

公私別にみると、「公営」では、「私営」に比べて「危機管理（有事の対応）」の割合が高くなっている一方、「マネジメント」の割合が低くなっている。

事業種別にみると、他に比べて「幼保連携型認定こども園」「保育所型認定こども園」では「マネジメント」、「地域型保育事業所」では「乳児保育」「食育・アレルギー対応」の割合がそれぞれ高くなっている。

図表 3-145 キャリアを積むために必要な専門知識：複数回答（問 55）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■人間関係・コミュニケーション能力

- ・ 職員間の連携・コミュニケーション力。
- ・ 人間関係のスキル。
- ・ 他者理解力（幼児理解力・保護者理解力・職場同僚性・心理的安全性等を含む）。

■保育の専門知識・実践

- ・ 保育実践。
- ・ こどもの発達過程・発達心理。
- ・ 発達障害に関する保育の仕方。

■リーダーシップ・マネジメント

- ・ リーダーシップ。
- ・ ミドルリーダーとしての役割など。

■社会人としての常識・教養

- ・ 社会人マナー。
- ・ 社会人としての常識。

■人権に関する知識

- ・ 人権教育保育。
- ・ こどもの人権。

■財務・労務管理

- ・ 予算・会計等に関する知識。
- ・ 労務に関する知識・経験。
- ・ 財務会計と文書管理システム。

■自己管理・メンタルヘルス

- ・ 自身のメンタル及びアンガーマネジメント。
- ・ 内省。

■保護者支援・対応

- ・ リスクマネジメント（安全面や保護者支援）。
- ・ 保護者対応に関すること。

■その他

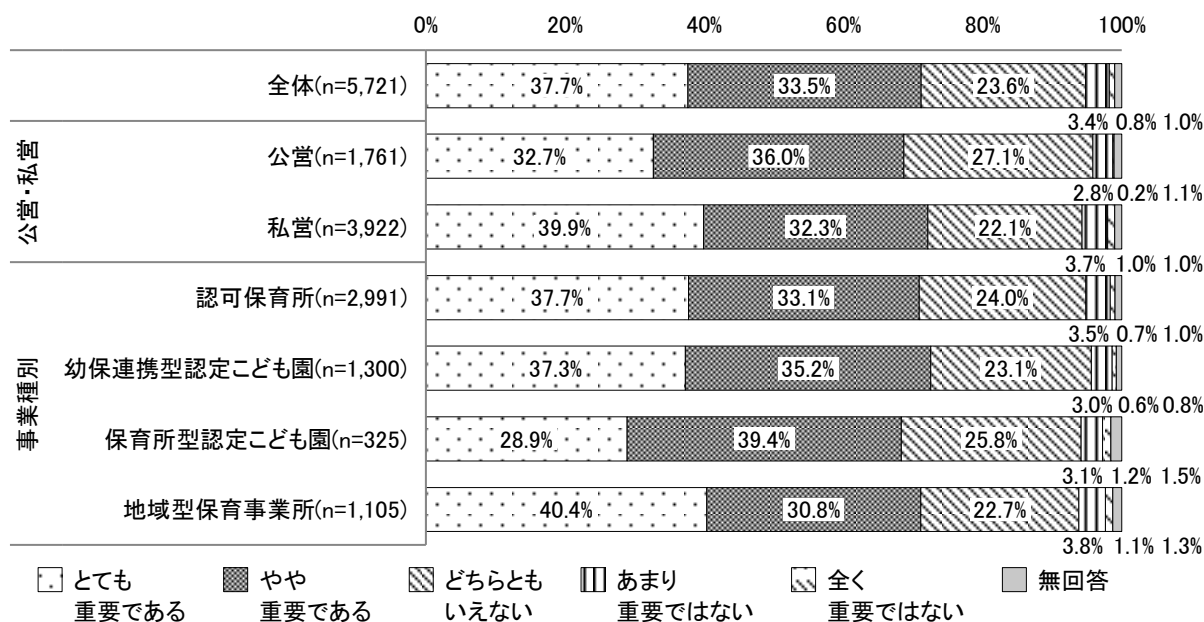
- ・ 保護者支援は十分すぎるほど制度・対策・対応が行われている。これからはこどもの成長・発達に支援視点を移していく必要性を感じる。

### (3) 【施設票】保育士のキャリア形成におけるキャリアラダー整備の重要度

保育士のキャリア形成におけるキャリアラダー整備の重要度をみると、「全体」では、「とても重要である」が 37.7%でもっとも割合が高く、次いで「やや重要である」が 33.5%となっている。

公私別には大きな差がみられないが、事業種別にみると、「保育所型認定こども園」では、他に比べて「とても重要である」の割合が低くなっている。

図表 3-146 保育士のキャリア形成におけるキャリアラダー整備の重要度：単数回答（問 56）

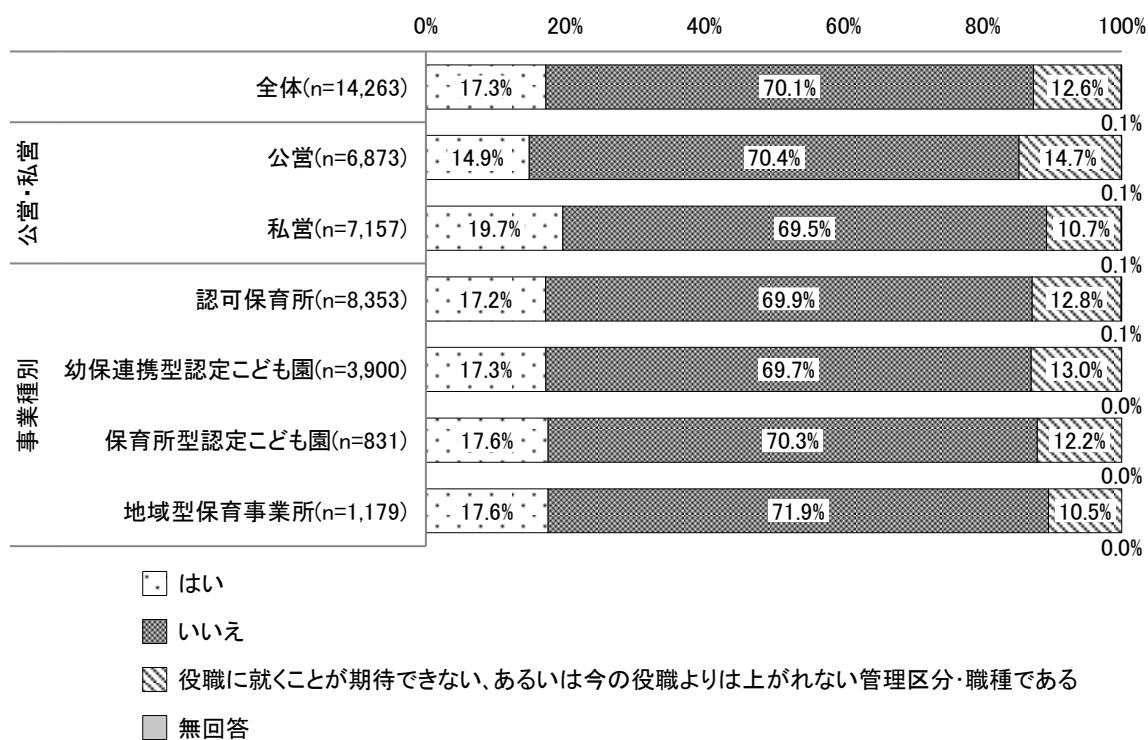


(4) 【保育士票】現在の職場で役職に就きたいか

現在の職場で役職に就きたいかについてみると、「全体」では、「いいえ」が70.1%でもっとも割合が高く、次いで「はい」が17.3%となっている。

公私別・事業種別では大きな差はみられない。

図表 3-147 現在の職場で役職に就きたいか：単数回答（問57）



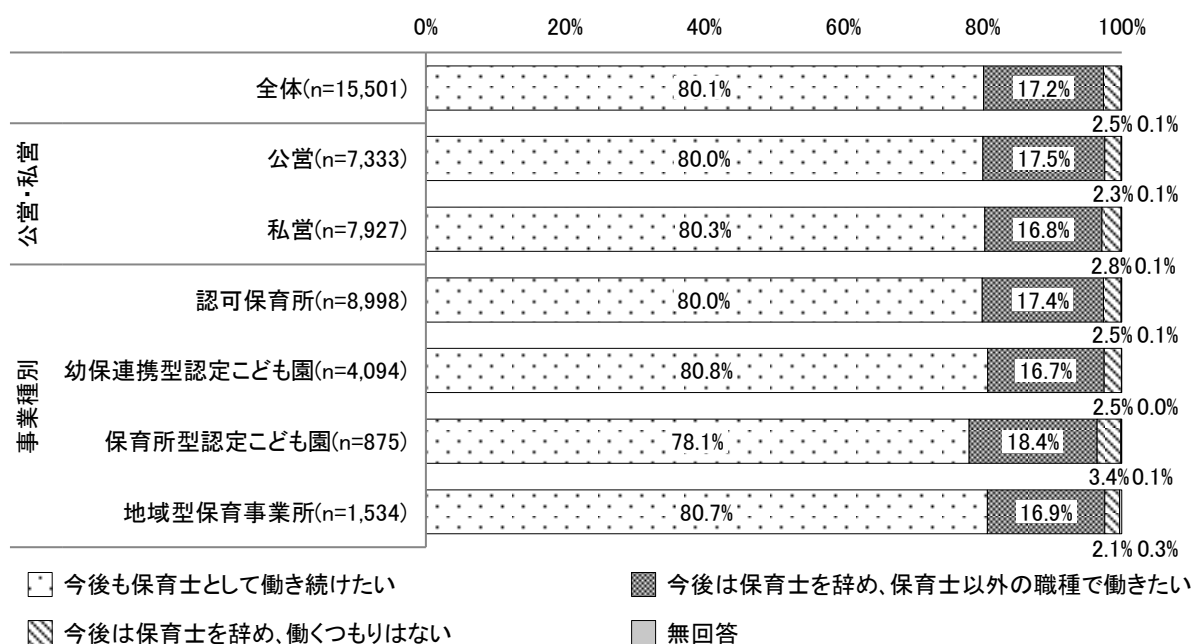
注) 保育士票の対象は問2で「2. 副施設長・副所長級」～「7. 保育士」と回答した者のみ。

### (5) 【保育士票】就業継続意向

就業継続意向をみると、「全体」では、「今後も保育士として働きたい」が80.1%でもっとも割合が高く、次いで「今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい」が17.2%となっている。

公私別・事業種別では大きな差はみられない。

図表 3-148 就業継続意向：単数回答（問59）



注) 保育士票の対象は問2で「1. 施設長・所長級」～「7. 保育士」と回答した者のみ。

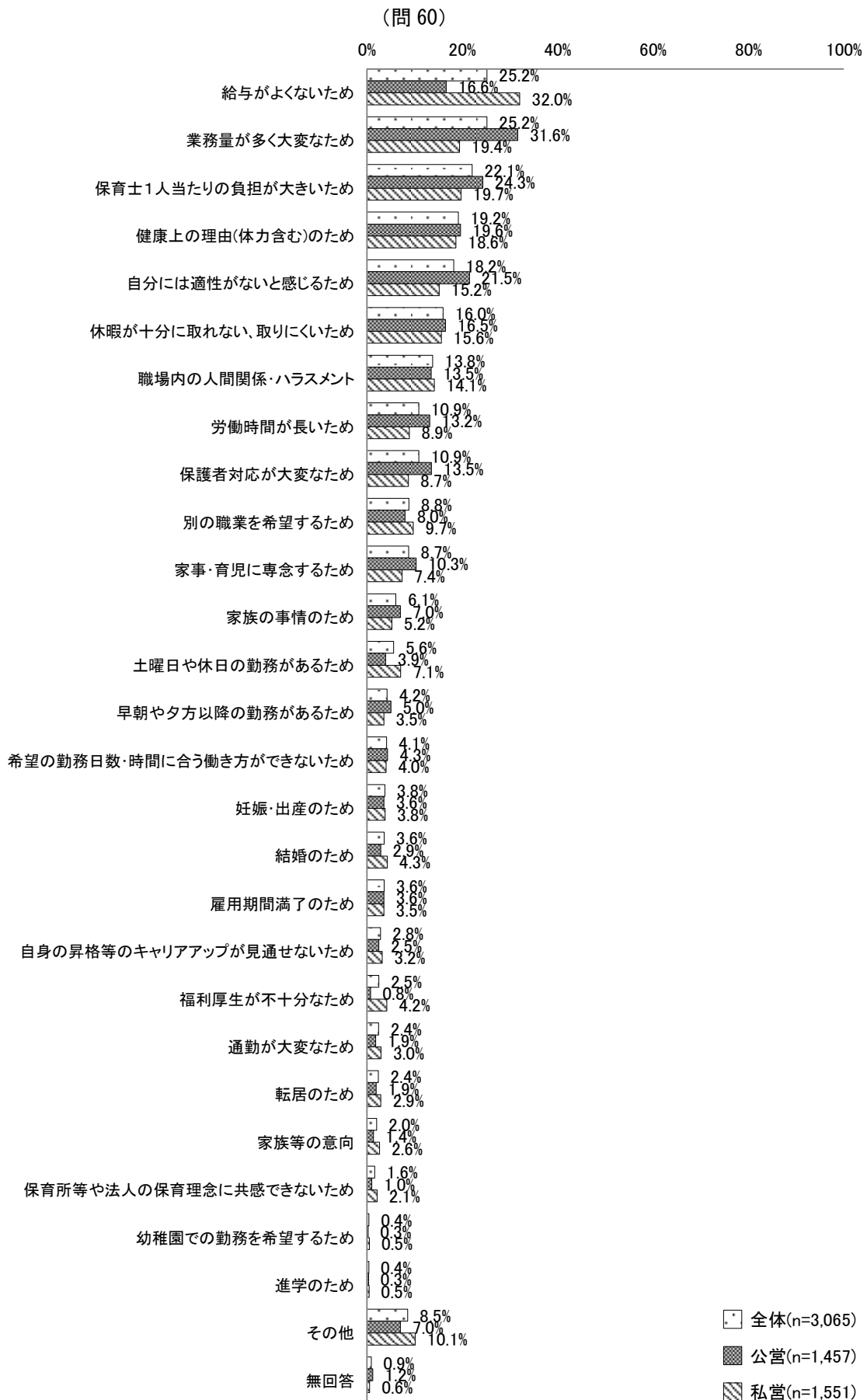
### (6) 【保育士票】現在保育士として勤務している保育所等を退職したい理由

今後は保育士を辞めたいと回答した者について、現在保育士として勤務している保育所等を退職したい理由をみると、「全体」では、「給与がよくないため」「業務量が多く大変なため」が25.2%でもっとも割合が高く、次いで「保育士1人当たりの負担が大きい」が22.1%となっている。

公私別にみると、「公営」では「業務量が多く大変なため」、「私営」では「給与がよくないため」の割合がそれぞれ高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「給与がよくないため」の割合が高くなっている。

図表 3-149 【公私別】現在保育士として勤務している保育所等を退職したい理由：複数回答



図表 3-150【事業種別】現在保育士として勤務している保育所等を退職したい理由：複数回答（問60）

	合計	問60 現在保育士として勤務している保育所等を退職したい理由									
		給与がよ くないた め	業務量 が多く 大変な ため	保育士 1人当 たりの 負担が 大きい ため	健康上 の理由 (体力 含む) のため	自分 には適 性がな いと感 じるた め	休暇が 十分に 取れな い、取 りにく いため	職場内 の人間 関係・ ハラ メント	労働時 間が長 いた め	保護者 対応が 大変な ため	別の職 業を希 望する ため
全体	3,065 100.0	771 25.2	771 25.2	677 22.1	587 19.2	558 18.2	490 16.0	423 13.8	334 10.9	334 10.9	269 8.8
認可保育所	1,796 100.0	424 23.6	477 26.6	429 23.9	347 19.3	344 19.2	282 15.7	235 13.1	185 10.3	224 12.5	174 9.7
幼保連携型認定こども園	787 100.0	183 23.3	192 24.4	167 21.2	142 18.0	144 18.3	141 17.9	128 16.3	103 13.1	77 9.8	63 8.0
保育所型認定こども園	191 100.0	53 27.7	54 28.3	34 17.8	37 19.4	34 17.8	33 17.3	28 14.7	26 13.6	16 8.4	9 4.7
地域型保育事業所	291 100.0	111 38.1	48 16.5	47 16.2	61 21.0	36 12.4	34 11.7	32 11.0	20 6.9	17 5.8	23 7.9

	合計	問60 現在保育士として勤務している保育所等を退職したい理由									
		家事・育 児に専 念する ため	家族の事 情のため	土曜日 や休日 の勤務 がある ため	早朝や 夕方降 の勤務 がある ため	希望の 勤務日 数・時 間に合 う働き 方がで きない ため	妊娠・出 産のため	結婚のた め	雇用期間 満了のた め	自身の昇 格等の キャリア アップが 見通せ ないた め	福利厚生 が不十分 なため
全体	3,065 100.0	268 8.7	186 6.1	171 5.6	130 4.2	126 4.1	115 3.8	110 3.6	110 3.6	87 2.8	76 2.5
認可保育所	1,796 100.0	160 8.9	111 6.2	88 4.9	90 5.0	73 4.1	60 3.3	59 3.3	61 3.4	54 3.0	43 2.4
幼保連携型認定こども園	787 100.0	69 8.8	38 4.8	41 5.2	18 2.3	40 5.1	36 4.6	33 4.2	38 4.8	24 3.0	14 1.8
保育所型認定こども園	191 100.0	18 9.4	17 8.9	21 11.0	12 6.3	4 2.1	7 3.7	8 4.2	4 2.1	3 1.6	2 1.0
地域型保育事業所	291 100.0	21 7.2	20 6.9	21 7.2	10 3.4	9 3.1	12 4.1	10 3.4	7 2.4	6 2.1	17 5.8

	合計	問60 現在保育士として勤務している保育所等を退職したい理由							
		通勤が大 変なた め	転居のた め	家族等 の意向	保育所 等や法 人の保 育理念 に共感 できな いた め	幼稚園 での勤 務を希 望する ため	進学 のため	その他	無回答
全体	3,065 100.0	75 2.4	73 2.4	62 2.0	50 1.6	13 0.4	12 0.4	262 8.5	28 0.9
認可保育所	1,796 100.0	39 2.2	40 2.2	30 1.7	32 1.8	5 0.3	7 0.4	148 8.2	18 1.0
幼保連携型認定こども園	787 100.0	23 2.9	21 2.7	19 2.4	11 1.4	5 0.6	4 0.5	67 8.5	6 0.8
保育所型認定こども園	191 100.0	3 1.6	4 2.1	6 3.1	3 1.6	0 0.0	0 0.0	15 7.9	2 1.0
地域型保育事業所	291 100.0	10 3.4	8 2.7	7 2.4	4 1.4	3 1.0	1 0.3	32 11.0	2 0.7

<その他の具体的な回答>※主な回答を抜粋

■年齢・体力的な理由

- ・ 年齢的に退職したい。
- ・ 体力的に限界を感じるため。

■精神的・ストレスの負担

- ・ 精神的負担が大きい。
- ・ 上司のパワハラに耐えられないため。
- ・ 仕事のストレスが多く、なかなかこどもを授からない。

■給与・待遇への不満

- ・ 責任の重さと給料が見合っていない。
- ・ 給与と勤務時間のバランスをよくしたい。
- ・ 給料に見合った働き方ではないため。

■家庭・子育てとの両立

- ・ 子育てとの両立ができず、我が子を放ったらかして保育をしている意味がわからない。
- ・ もう少し、自分のこどもとの時間が穏やかにとれる仕事を探したい。
- ・ 家族の仕事を手伝えるため。

■職場環境・人間関係

- ・ 職場の人間関係。
- ・ 園長の対応の悪さ。

■新しい挑戦・他の職業への興味

- ・ 新しいことにチャレンジしたいため。
- ・ 他の職業に興味があるため。
- ・ 別の職業でこどもと関わりたいため。

■保育業界への不満・疑問

- ・ 親（保護者）のために保育現場に強いられる事が増えてきているように感じるため。
- ・ この国の教育に対する姿勢に希望を失ったため。
- ・ 保育士の質を向上させることが出来ないと感じたため。

■その他

- ・ 間もなく定年退職のため。
- ・ 留学をしたい。
- ・ 病気のため。

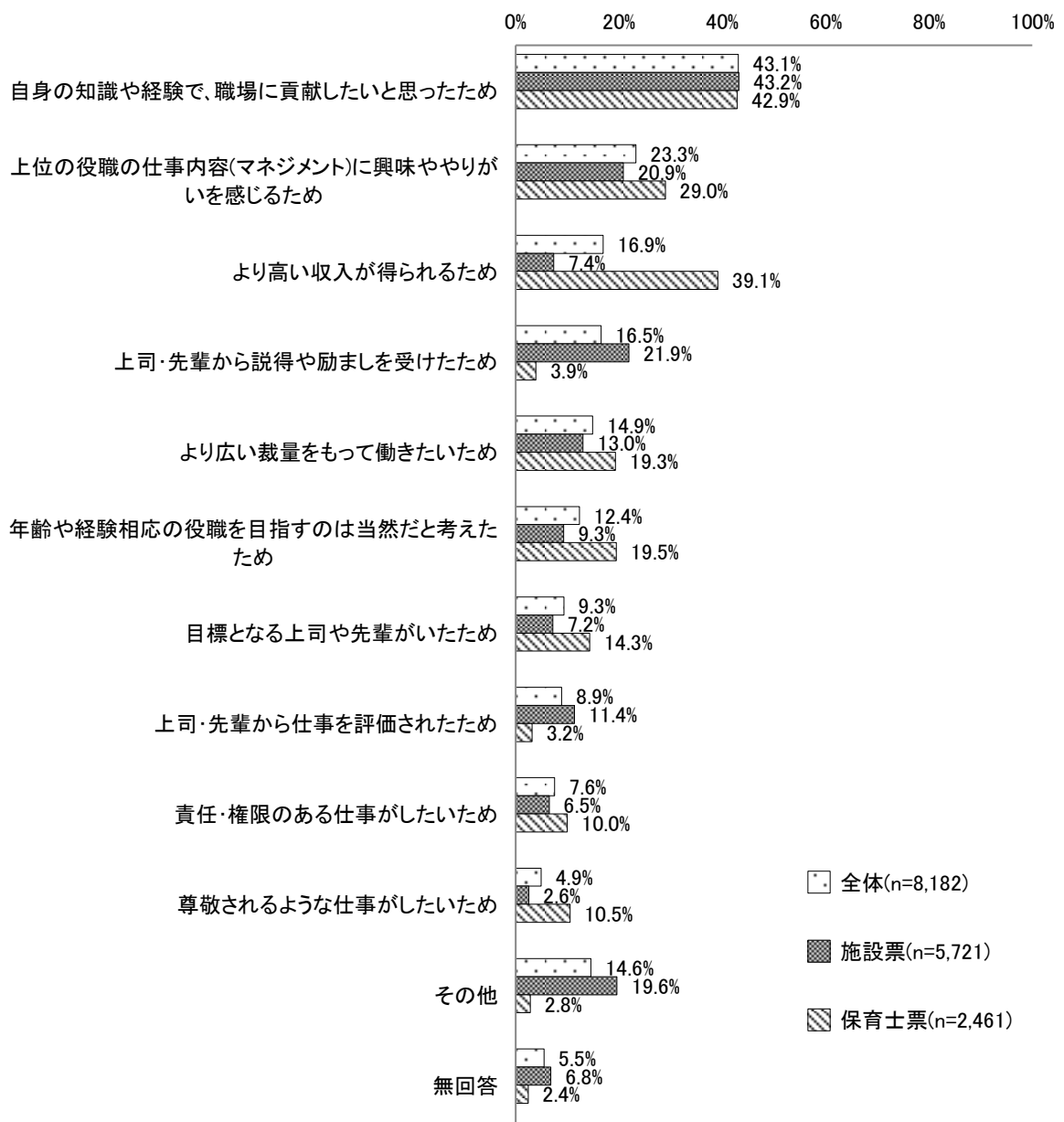
#### (7) 【共通】役職（上位の役職）に今後就きたい（就いた）理由

施設長又は上位の役職に就きたいと回答した保育士について、役職（上位の役職）に今後就きたい（就いた）理由をみると、「施設票」では、「自身の知識や経験で、職場に貢献したいと思ったため」が43.2%でもっとも割合が高く、次いで「上司・先輩から説得や励ましを受けたため」が21.9%となっている。「保育士票」では、「自身の知識や経験で、職場に貢献したいと思ったため」が42.9%でもっとも割合が高く、次いで「より高い収入が得られるため」が39.1%となっている。

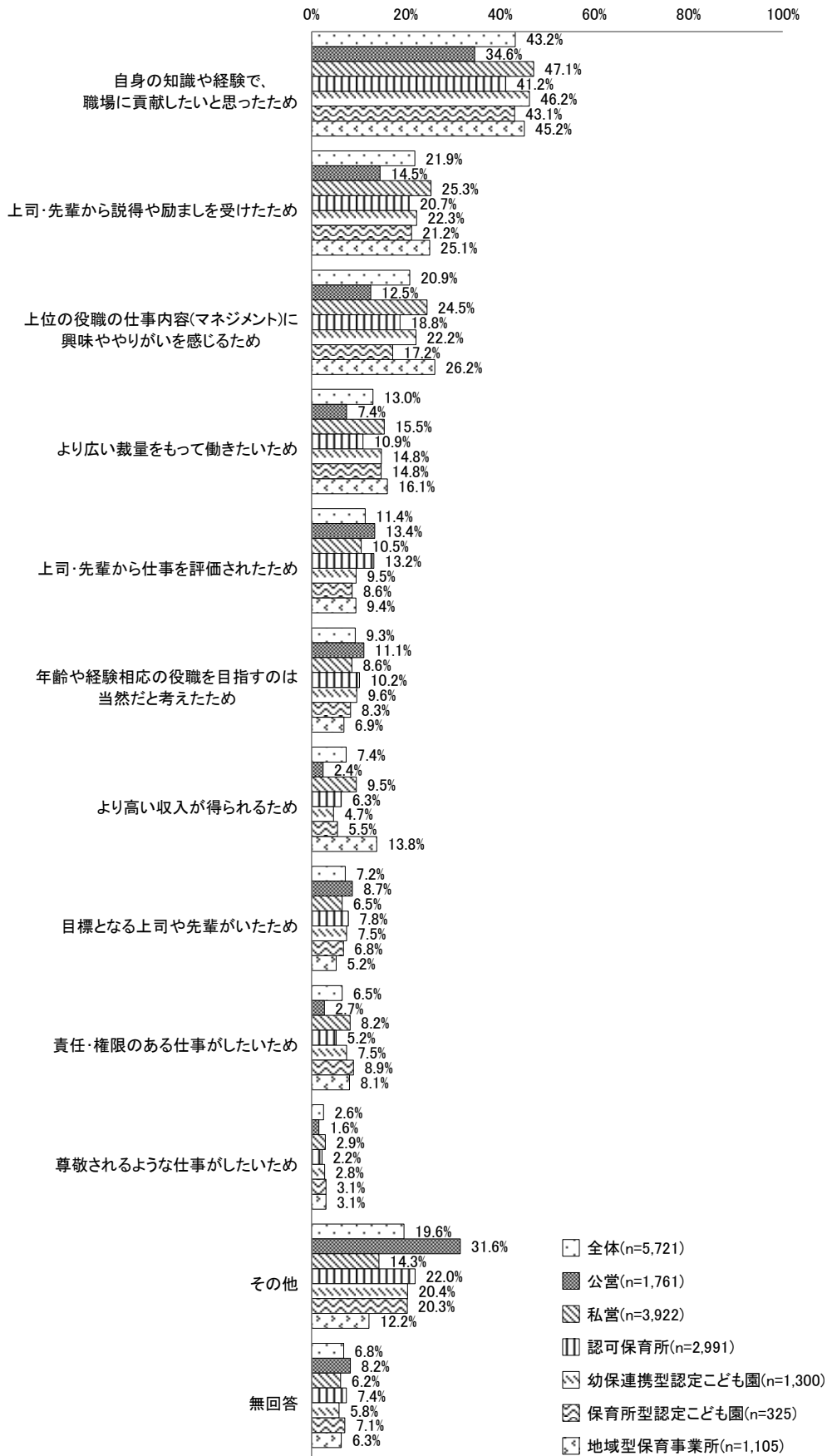
施設票に限定して、公私別にみると、「私営」では、「公営」に比べて「上位の役職の仕事内容（マネジメント）に興味ややりがいを感じるため」「より広い裁量をもって働きたいため」「自身の知識や経験で、職場に貢献したいと思ったため」の割合が高くなっている。

事業種別にみると、「地域型保育事業所」では、他に比べて「より高い収入が得られるため」の割合が高くなっている。

図表 3-151 【調査種別】 役職（上位の役職）に今後就きたい理由：複数回答（問 58）



図表 3-152 役職（上位の役職）に今後就きたい理由：複数回答（問 58）



注) 集計対象は施設票のみ。

<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■人事異動・辞令による

- ・ 希望ではなく、人事異動のため。

■保育の質向上・職場環境改善

- ・ 職場環境の改善、保育者の質の向上を図れる立場であるため。
- ・ 保育士の労働環境を改善するため。
- ・ 業務内容の見直しをしたい。皆が働きやすく、仕事と家庭の両立を図れるようにしていきたい。

■前任者の退職・引き継ぎ

- ・ 前園長が退職したため。
- ・ 前任の退職により、役職に欠員が出たため。

■家業の継承

- ・ 家業を継ぐため。

■自分の保育理念の実現

- ・ 理想とする保育の実現のため。
- ・ 保育理念への共感。

■経営者としての立場

- ・ 自分で立ち上げた施設なので。
- ・ 個人経営のため。

■他に適任者がいない

- ・ 他に適任者がいなかった。

■社会貢献・地域貢献

- ・ 地域の子育て支援を行いたいため。
- ・ 社会貢献の出来る事業を立ち上げたかったため。
- ・ 地域に貢献したいと思ったため。

■自分の成長・キャリアアップ

- ・ 自分自身がキャリアアップしたいため。
- ・ 自分への挑戦。

### III ICT等の導入率・活用率、導入・活用による業務負担軽減効果の分析

#### 1. 【施設票】パソコン・タブレット端末・業務用スマートフォンの整備率

パソコン、タブレット端末、業務用スマートフォン・携帯電話のいずれかが整備されている施設の割合は、「全体」では99.5%となっている。

図表 3-153 パソコン・タブレット端末・業務用スマートフォンの整備率（問37より作成）

全体	5,692
	99.5
公営	1,749
	99.3
私営	3,905
	99.6
認可保育所	2,974
	99.4
幼保連携型認定こども園	1,296
	99.7
保育所型認定こども園	325
	100.0
地域型保育事業所	1,097
	99.3
小規模保育事業所	936
	99.5
家庭的保育事業所	44
	93.6
事業所内保育事業所	117
	100.0

注) 上段：実数、下段：%

注) パソコン又はタブレット端末、業務用スマートフォン・携帯電話のいずれかが、園内（配備場所は問わない）に整備されている施設である。なお、集計対象には問37の回答が不明の施設を含む。

注) 居宅訪問型保育事業所は、サンプルサイズが小さいため、非掲載としている。以下同様。

## 2. 【施設票】インターネット環境の整備率

インターネット環境について無線有線の別に見ると、「全体」では、「無線有線いずれか」が整備されている割合は92.0%、「無線のみ」は54.9%、「有線のみ」は9.6%、「無線有線両方」は27.5%となっている。

図表 3-154 インターネット環境の整備率（問37より作成）

	無線有線いずれか	無線のみ	有線のみ	無線有線両方
全体	5,264	3,139	549	1,576
	92.0	54.9	9.6	27.5
公営	1,555	663	392	500
	88.3	37.6	22.3	28.4
私営	3,677	2,458	155	1,064
	93.8	62.7	4.0	27.1
認可保育所	2,727	1,505	351	871
	91.2	50.3	11.7	29.1
幼保連携型認定こども園	1,232	674	118	440
	94.8	51.8	9.1	33.8
保育所型認定こども園	304	165	27	112
	93.5	50.8	8.3	34.5
地域型保育事業所	1,001	795	53	153
	90.6	71.9	4.8	13.8
小規模保育事業所	859	695	36	128
	91.3	73.9	3.8	13.6
家庭的保育事業所	38	33	2	3
	80.9	70.2	4.3	6.4
事業所内保育事業所	104	67	15	22
	88.9	57.3	12.8	18.8

注) 上段：実数、下段：%

パソコン・タブレット端末・業務用スマートフォンのいずれかを整備している施設において、  
 配備されている機器やインターネット環境についてみると、「パソコン（職員室に配備されているもの）」が96.5%でもっとも割合が高く、次いで「無線のインターネット（Wi-Fi）（職員室）」が78.5%となっている。

図表 3-155 パソコン・タブレット端末・業務用スマートフォンを整備している施設に  
 配備されている機器やインターネット環境（問37×問37より作成）

	合計	問37 配備されている機器やインターネット環境					
		パソコン (職員室に 配備され ているも の)	パソコン (保育室に 配備され ているも の)	タブレッ ト端末(職 員室に配 備されて いるもの)	タブレッ ト端末(保 育室に配 備されて いるもの)	業務用ス マート フォン・ 携帯電話	インカム
PC・タブレット端末・業務用スマー トフォンあり（配備場所問わない）	5,692 100.0	5,494 96.5	2,021 35.5	2,875 50.5	3,329 58.5	2,975 52.3	362 6.4

	合計	問37 配備されている機器やインターネット環境					
		有線のイ ンター ネット(職 員室)	有線のイ ンター ネット(保 育室)	無線のイ ンター ネット (Wi- Fi) (職 員室)	無線のイ ンター ネット (Wi- Fi) (保 育室)	上記のい ずれもな い	無回答
PC・タブレット端末・業務用スマー トフォンあり（配備場所問わない）	5,692 100.0	2,086 36.6	438 7.7	4,466 78.5	3,851 67.7	0 0.0	0 0.0

注) 上段：実数、下段：%

### 3. 【施設票】午睡センサーの導入・活用率

午睡センサーの導入・活用率についてみると、「全体」では、「午睡センサー（カメラ型、マット型、取付型）（ICTと連動しているもの）」の導入率は9.9%、活用率は8.5%となっている。同様に、「午睡センサー（カメラ型、マット型、取付型）（ICTと連動していないもの）」の導入率は9.3%、活用率は6.6%となっている。

図表 3-156 午睡センサーの整備率（カメラ型、マット型、取付型等）（問39より作成）

	ICTと 連動しているもの		ICTと 連動していないもの	
	導入	活用	導入	活用
全体	567	488	534	375
	9.9	8.5	9.3	6.6
公営	58	50	110	68
	3.3	2.8	6.2	3.9
私営	503	436	424	307
	12.8	11.1	10.8	7.8
認可保育所	277	238	274	188
	9.3	8.0	9.2	6.3
幼保連携型認定こども園	152	132	137	97
	11.7	10.2	10.5	7.5
保育所型認定こども園	30	27	27	21
	9.2	8.3	8.3	6.5
地域型保育事業所	108	91	96	69
	9.8	8.2	8.7	6.2
小規模保育事業所	99	82	83	58
	10.5	8.7	8.8	6.2
家庭的保育事業所	2	2	4	3
	4.3	4.3	8.5	6.4
事業所内保育事業所	7	7	9	8
	6.0	6.0	7.7	6.8

注) 上段：実数、下段：%

また、ICT と連動しているもの、ICT と連動していないものいずれかの午睡センサーの導入・活用状況についてみると、「全体」では、導入率は 18.7%、活用率は 14.8%となっている。

図表 3-157 いずれかの午睡センサーの整備率（カメラ型、マット型、取付型等）  
（ICT と連動しているもの、連動していないものいずれか）（問 39 より作成）

	導入	活用
全体	1,071	847
	18.7	14.8
公営	165	117
	9.4	6.6
私営	900	728
	22.9	18.6
認可保育所	537	420
	18.0	14.0
幼保連携型認定こども園	284	227
	21.8	17.5
保育所型認定こども園	56	47
	17.2	14.5
地域型保育事業所	194	153
	17.6	13.8
小規模保育事業所	172	133
	18.3	14.1
家庭的保育事業所	6	5
	12.8	10.6
事業所内保育事業所	16	15
	13.7	12.8

注) 上段：実数、下段：%

#### 4. 【施設票】保育 ICT の導入・活用率

保育 ICT のうち、「園児の登園及び降園の管理に関する機能」「保育に係る計画・記録に関する機能（ドキュメンテーションを除く）」「保護者との連絡に関する機能（ICT を介さない個別メールを除く）」「キャッシュレス決済に関する機能（保護者が直接銀行に申込み口座振替を除く）」の4機能の導入・活用状況をみると、「全体」では、4機能全ての導入率は13.4%、活用率は8.8%となっている。同様に、4機能いずれかの導入率は84.6%、同じく活用率80.9%となっている。

図表 3-158 4機能の導入・活用状況（キャッシュレス決済に関する機能は、保護者が直接銀行に申込み口座振替を除く）（問40-1・問40-2より作成）

	4機能の全て		4機能のいずれか	
	導入	活用	導入	活用
全体	765	502	4,842	4,631
	13.4	8.8	84.6	80.9
公営	149	96	1,470	1,412
	8.5	5.5	83.5	80.2
私営	615	406	3,341	3,189
	15.7	10.4	85.2	81.3
認可保育所	390	254	2,552	2,446
	13.0	8.5	85.3	81.8
幼保連携型認定こども園	170	115	1,200	1,147
	13.1	8.8	92.3	88.2
保育所型認定こども園	52	36	297	284
	16.0	11.1	91.4	87.4
地域型保育事業所	153	97	793	754
	13.8	8.8	71.8	68.2
小規模保育事業所	141	87	700	668
	15.0	9.2	74.4	71.0
家庭的保育事業所	1	0	16	14
	2.1	0.0	34.0	29.8
事業所内保育事業所	11	10	77	72
	9.4	8.5	65.8	61.5

注) 上段：実数、下段：%

注) 4機能とは、「園児の登園及び降園の管理に関する機能」「保育に係る計画・記録に関する機能（ドキュメンテーションを除く）」「保護者との連絡に関する機能（ICT を介さない個別メールを除く）」「キャッシュレス決済に関する機能（保護者が直接銀行に申込み口座振替を除く）」を指す。

## 5. 【施設票・保育士票】保育 ICT の導入・活用状況別にみた業務負担感

### (1) 各機能の導入有無別

保育 ICT の各機能（登降園機能、保育計画・記録機能、保護者連絡機能、キャッシュレス決済機能）の導入有無別に、関連する業務の負担感についてみると、登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し、書類作成（年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価）、書類作成（保育記録の作成）、保護者対応（日常的な対応）、保護者への連絡（連絡帳記入、お知らせ作成等）、実費徴収費用の集金の負担感について、施設票・保育士票いずれにおいても、保育 ICT の導入の有無別では大きな差はみられない。

#### <登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し>

図表 3-159 園児の登園及び降園の管理に関する機能の導入有無別

業務の負担感\_登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し（問 40-1×問 36-1 より作成）

#### 【施設票】

	合計	問36-1 業務の負担感_登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し						
		とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	ほとんど感じない	行っていない	無回答
全体	5,721 100.0	303 5.3	1,287 22.5	871 15.2	1,562 27.3	907 15.9	60 1.0	731 12.8
導入あり	4,421 100.0	245 5.5	1,037 23.5	681 15.4	1,197 27.1	665 15.0	43 1.0	553 12.5
導入なし	1,284 100.0	58 4.5	249 19.4	189 14.7	364 28.3	241 18.8	17 1.3	166 12.9

#### 【保育士票】

	合計	問36-1 業務の負担感_登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し						
		とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	ほとんど感じない	行っていない	無回答
全体	15,664 100.0	511 3.3	2,505 16.0	2,520 16.1	5,114 32.6	3,677 23.5	926 5.9	411 2.6
導入あり	12,705 100.0	411 3.2	2,065 16.3	2,040 16.1	4,173 32.8	3,016 23.7	703 5.5	297 2.3
導入なし	2,921 100.0	100 3.4	439 15.0	475 16.3	932 31.9	653 22.4	219 7.5	103 3.5

注) 上段：実数、下段：%

注) 施設票は、施設管理者が園全体でみたときの業務負担感について回答したものである。以下同様。

<書類作成（年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価）>

図表 3-160 保育に係る計画・記録に関する機能の導入有無別  
業務の負担感\_書類作成（年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価）  
（問 40-1×問 36-15 より作成）

【施設票】

	合計	問36-15 業務の負担感_書類作成（年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価）						
		とても感じる	やや感じる	どちらともいえ ない	あまり感 じない	ほとんど 感じない	行って いない	無回答
全体	5,721 100.0	1,295 22.6	2,171 37.9	750 13.1	452 7.9	193 3.4	134 2.3	726 12.7
導入あり	3,259 100.0	755 23.2	1,240 38.0	417 12.8	264 8.1	105 3.2	70 2.1	408 12.5
導入なし	2,446 100.0	539 22.0	930 38.0	333 13.6	187 7.6	87 3.6	64 2.6	306 12.5

【保育士票】

	合計	問36-15 業務の負担感_書類作成（年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価）						
		とても感じる	やや感じる	どちらともいえ ない	あまり感 じない	ほとんど 感じない	行って いない	無回答
全体	15,664 100.0	3,311 21.1	4,639 29.6	2,233 14.3	1,428 9.1	873 5.6	2,510 16.0	670 4.3
導入あり	8,847 100.0	1,870 21.1	2,669 30.2	1,297 14.7	829 9.4	539 6.1	1,315 14.9	328 3.7
導入なし	6,779 100.0	1,439 21.2	1,961 28.9	936 13.8	598 8.8	332 4.9	1,182 17.4	331 4.9

<書類作成（保育記録の作成）>

図表 3-161 保育に係る計画・記録に関する機能の導入有無別  
業務の負担感\_書類作成（保育記録の作成）（問 40-1×問 36-16 より作成）

【施設票】

	合計	問36-16 業務の負担感_書類作成（保育記録の作成）						
		とても感じる	やや感じる	どちらともいえ ない	あまり感 じない	ほとんど 感じない	行って いない	無回答
全体	5,721 100.0	1,190 20.8	2,143 37.5	814 14.2	469 8.2	169 3.0	202 3.5	734 12.8
導入あり	3,259 100.0	703 21.6	1,214 37.3	468 14.4	262 8.0	95 2.9	105 3.2	412 12.6
導入なし	2,446 100.0	487 19.9	928 37.9	345 14.1	206 8.4	73 3.0	97 4.0	310 12.7

【保育士票】

	合計	問36-16 業務の負担感_書類作成（保育記録の作成）						
		とても感じる	やや感じる	どちらともいえ ない	あまり感じ ない	ほとんど 感じない	行ってい ない	無回答
全体	15,664 100.0	3,174 20.3	4,562 29.1	2,332 14.9	1,543 9.9	953 6.1	2,427 15.5	673 4.3
導入あり	8,847 100.0	1,773 20.0	2,634 29.8	1,355 15.3	904 10.2	570 6.4	1,284 14.5	327 3.7
導入なし	6,779 100.0	1,399 20.6	1,920 28.3	976 14.4	638 9.4	380 5.6	1,131 16.7	335 4.9

<保護者対応（日常的な対応）>

図表 3-162 保護者との連絡に関する機能の導入有無別  
業務の負担感\_保護者対応（日常的な対応）（問 40-1×問 36-2 より作成）

【施設票】

	合計	問36-2 業務の負担感_保護者対応（日常的な対応）						
		とても感じる	やや感じる	どちらともいえ ない	あまり感じ ない	ほとんど 感じない	行ってい ない	無回答
全体	5,721 100.0	824 14.4	1,819 31.8	819 14.3	1,019 17.8	490 8.6	29 0.5	721 12.6
導入あり	4,323 100.0	648 15.0	1,423 32.9	619 14.3	738 17.1	344 8.0	23 0.5	528 12.2
導入なし	1,382 100.0	175 12.7	395 28.6	199 14.4	281 20.3	145 10.5	6 0.4	181 13.1

【保育士票】

	合計	問36-2 業務の負担感_保護者対応（日常的な対応）						
		とても感じる	やや感じる	どちらともいえ ない	あまり感じ ない	ほとんど 感じない	行ってい ない	無回答
全体	15,664 100.0	1,397 8.9	4,064 25.9	2,967 18.9	3,712 23.7	2,147 13.7	936 6.0	441 2.8
導入あり	11,453 100.0	996 8.7	3,007 26.3	2,186 19.1	2,772 24.2	1,597 13.9	614 5.4	281 2.5
導入なし	4,173 100.0	401 9.6	1,053 25.2	773 18.5	937 22.5	545 13.1	315 7.5	149 3.6

<保護者への連絡（連絡帳記入、お知らせ作成等）>

図表 3-163 保護者との連絡に関する機能の導入有無別

業務の負担感\_保護者への連絡（連絡帳記入、お知らせ作成等）（問40-1×問36-17より作成）

【施設票】

	合計	問36-17 業務の負担感_保護者への連絡（連絡帳記入、お知らせ作成）						
		とても感じる	やや感じる	どちらともいえません	あまり感じない	ほとんど感じない	行っていない	無回答
全体	5,721 100.0	651 11.4	2,063 36.1	1,105 19.3	772 13.5	273 4.8	117 2.0	740 12.9
導入あり	4,323 100.0	512 11.8	1,612 37.3	819 18.9	572 13.2	182 4.2	85 2.0	541 12.5
導入なし	1,382 100.0	138 10.0	450 32.6	286 20.7	199 14.4	90 6.5	32 2.3	187 13.5

【保育士票】

	合計	問36-17 業務の負担感_保護者への連絡（連絡帳記入、お知らせ作成等）						
		とても感じる	やや感じる	どちらともいえません	あまり感じない	ほとんど感じない	行っていない	無回答
全体	15,664 100.0	1,605 10.2	4,331 27.6	3,241 20.7	2,584 16.5	1,488 9.5	1,778 11.4	637 4.1
導入あり	11,453 100.0	1,172 10.2	3,249 28.4	2,414 21.1	1,883 16.4	1,091 9.5	1,237 10.8	407 3.6
導入なし	4,173 100.0	432 10.4	1,077 25.8	820 19.7	700 16.8	393 9.4	532 12.7	219 5.2

<実費徴収費用の集金>

図表 3-164 キャッシュレス決済に関する機能（保護者が直接銀行に申込み口座振替を除く）の導入有無別 業務の負担感\_実費徴収費用の集金（問 40-1×問 36-19 より作成）

【施設票】

	合計	問36-19 業務の負担感_実費徴収費用の集金						
		とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	ほとんど感じない	行っていない	無回答
全体	5,721 100.0	424 7.4	1,085 19.0	991 17.3	869 15.2	586 10.2	961 16.8	805 14.1
導入あり	995 100.0	69 6.9	160 16.1	174 17.5	140 14.1	114 11.5	222 22.3	116 11.7
導入なし	4,710 100.0	354 7.5	925 19.6	816 17.3	728 15.5	471 10.0	739 15.7	677 14.4

【保育士票】

	合計	問36-19 業務の負担感_実費徴収費用の集金						
		とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	ほとんど感じない	行っていない	無回答
全体	15,664 100.0	614 3.9	1,217 7.8	2,558 16.3	1,513 9.7	1,663 10.6	6,591 42.1	1,508 9.6
導入あり	3,110 100.0	113 3.6	216 6.9	496 15.9	342 11.0	325 10.5	1,343 43.2	275 8.8
導入なし	12,516 100.0	501 4.0	999 8.0	2,060 16.5	1,171 9.4	1,336 10.7	5,229 41.8	1,220 9.7

(2) 各機能の導入有無×ICT 導入が進んでいるか別

一方、保育 ICT の各機能（登降園機能、保育計画・記録機能、保護者連絡機能、キャッシュレス決済機能）を導入している施設において、保育 ICT の導入が進んでいるかどうか別に、関連する業務の負担感についてみると、登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し、書類作成（年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価）、書類作成（保育記録の作成）、保護者対応（日常的な対応）、保護者への連絡（連絡帳記入、お知らせ作成等）、実費徴収費用の集金の負担感について、施設票・保育士票いずれにおいても、「そう思う（保育 ICT の導入が進んでいると思う）」では、他に比べて負担を感じている割合（「とても感じる」もしくは「やや感じる」と回答した割合）が少ない傾向がみられる。

単に、保育 ICT を導入しているかではなく、実際に ICT 導入が進んでいると感じられるかどうか、施設全体や保育士の業務負担感に違いをもたらすことが伺える。

<登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し>

図表 3-165 園児の登園及び降園の管理に関する機能を導入している施設のうち、  
ICT 導入が進んでいるか別 業務の負担感\_登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し  
(問 40-1・問 42×問 36-1 より作成)

【施設票】

	合計	問36-1 業務の負担感_登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し						
		とても感 じる	やや感 じる	どちらと もいえな い	あまり感 じない	ほとんど 感じない	行って いない	無回答
全体	5,721 100.0	303 5.3	1,287 22.5	871 15.2	1,562 27.3	907 15.9	60 1.0	731 12.8
導入あり-そう思う	976 100.0	42 4.3	207 21.2	135 13.8	253 25.9	193 19.8	8 0.8	138 14.1
導入あり-ややそう思う	1,984 100.0	115 5.8	477 24.0	285 14.4	554 27.9	275 13.9	20 1.0	258 13.0
導入あり-どちらともいえない	911 100.0	61 6.7	220 24.1	168 18.4	228 25.0	131 14.4	8 0.9	95 10.4
導入あり-あまりそう思わない	396 100.0	20 5.1	95 24.0	64 16.2	121 30.6	42 10.6	6 1.5	48 12.1
導入あり-そう思わない	129 100.0	6 4.7	34 26.4	26 20.2	34 26.4	18 14.0	1 0.8	10 7.8
導入あり-わからない	25 100.0	1 4.0	4 16.0	3 12.0	7 28.0	6 24.0	0 0.0	4 16.0

注) 上段：実数、下段：%。また、「全体」には当該機能を導入していない施設も含む。以下同様。

注) 施設票については、施設管理者が園全体でみたときの業務負担感について回答している。

注) 「導入あり-わからない」は、サンプルサイズが小さいため、参考値。

【保育士票】

	合計	問36-1 業務の負担感_登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し						
		とても感 じる	やや感 じる	どちらと もいえな い	あまり感 じない	ほとんど 感じない	行って いない	無回答
全体	15,664 100.0	511 3.3	2,505 16.0	2,520 16.1	5,114 32.6	3,677 23.5	926 5.9	411 2.6
導入あり-そう思う	2,769 100.0	106 3.8	412 14.9	367 13.3	910 32.9	732 26.4	176 6.4	66 2.4
導入あり-ややそう思う	5,433 100.0	157 2.9	915 16.8	875 16.1	1,804 33.2	1,279 23.5	283 5.2	120 2.2
導入あり-どちらともいえない	2,550 100.0	72 2.8	382 15.0	519 20.4	832 32.6	571 22.4	120 4.7	54 2.1
導入あり-あまりそう思わない	1,180 100.0	37 3.1	236 20.0	171 14.5	400 33.9	260 22.0	51 4.3	25 2.1
導入あり-そう思わない	476 100.0	29 6.1	89 18.7	77 16.2	138 29.0	111 23.3	20 4.2	12 2.5
導入あり-わからない	292 100.0	9 3.1	31 10.6	31 10.6	88 30.1	62 21.2	52 17.8	19 6.5

<書類作成（年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価）>

図表 3-166 保育に係る計画・記録に関する機能を導入している施設のうち、  
ICT 導入が進んでいるか別 業務の負担感\_書類作成（年間・月間の指導計画作成、  
週案・日案の作成、指導計画の評価）（問 40-1・問 42×問 36-15 より作成）

【施設票】

	合計	問36-15 業務の負担感_書類作成（年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価）						
		とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	ほとんど感じない	行っていない	無回答
全体	5,721 100.0	1,295 22.6	2,171 37.9	750 13.1	452 7.9	193 3.4	134 2.3	726 12.7
導入あり-そう思う	892 100.0	180 20.2	319 35.8	111 12.4	94 10.5	36 4.0	27 3.0	125 14.0
導入あり-ややそう思う	1,525 100.0	356 23.3	589 38.6	197 12.9	110 7.2	44 2.9	23 1.5	206 13.5
導入あり-どちらともいえない	592 100.0	145 24.5	246 41.6	79 13.3	42 7.1	15 2.5	14 2.4	51 8.6
導入あり-あまりそう思わない	196 100.0	58 29.6	72 36.7	18 9.2	15 7.7	9 4.6	5 2.6	19 9.7
導入あり-そう思わない	40 100.0	14 35.0	11 27.5	8 20.0	1 2.5	0 0.0	1 2.5	5 12.5
導入あり-わからない	14 100.0	2 14.3	3 21.4	4 28.6	2 14.3	1 7.1	0 0.0	2 14.3

注)「導入あり-わからない」は、サンプルサイズが小さいため、参考値。

【保育士票】

	合計	問36-15 業務の負担感_書類作成（年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価）						
		とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	ほとんど感じない	行っていない	無回答
全体	15,664 100.0	3,311 21.1	4,639 29.6	2,233 14.3	1,428 9.1	873 5.6	2,510 16.0	670 4.3
導入あり-そう思う	2,400 100.0	447 18.6	653 27.2	336 14.0	252 10.5	197 8.2	411 17.1	104 4.3
導入あり-ややそう思う	4,053 100.0	832 20.5	1,295 32.0	614 15.1	372 9.2	211 5.2	583 14.4	146 3.6
導入あり-どちらともいえない	1,517 100.0	325 21.4	491 32.4	245 16.2	140 9.2	86 5.7	193 12.7	37 2.4
導入あり-あまりそう思わない	529 100.0	160 30.2	171 32.3	67 12.7	39 7.4	21 4.0	53 10.0	18 3.4
導入あり-そう思わない	184 100.0	79 42.9	38 20.7	23 12.5	13 7.1	9 4.9	17 9.2	5 2.7
導入あり-わからない	160 100.0	26 16.3	21 13.1	12 7.5	12 7.5	14 8.8	58 36.3	17 10.6

<書類作成（保育記録の作成）>

図表 3-167 保育に係る計画・記録に関する機能を導入している施設のうち、  
ICT 導入が進んでいるか別 業務の負担感\_書類作成（保育記録の作成）  
（問 40-1・問 42×問 36-16 より作成）

【施設票】

	合計	問36-16 業務の負担感_書類作成（保育記録の作成）						
		とても感 じる	やや感 じる	どちらと もいえな い	あまり感 じない	ほとんど 感じない	行って いない	無回答
全体	5,721 100.0	1,190 20.8	2,143 37.5	814 14.2	469 8.2	169 3.0	202 3.5	734 12.8
導入あり-そう思う	892 100.0	167 18.7	312 35.0	123 13.8	98 11.0	31 3.5	34 3.8	127 14.2
導入あり-ややそう思う	1,525 100.0	332 21.8	579 38.0	224 14.7	103 6.8	42 2.8	41 2.7	204 13.4
導入あり-どちらともいえない	592 100.0	129 21.8	239 40.4	95 16.0	40 6.8	14 2.4	20 3.4	55 9.3
導入あり-あまりそう思わない	196 100.0	63 32.1	65 33.2	16 8.2	18 9.2	8 4.1	7 3.6	19 9.7
導入あり-そう思わない	40 100.0	10 25.0	16 40.0	7 17.5	1 2.5	0 0.0	1 2.5	5 12.5
導入あり-わからない	14 100.0	2 14.3	3 21.4	3 21.4	2 14.3	0 0.0	2 14.3	2 14.3

注)「導入あり-わからない」は、サンプルサイズが小さいため、参考値。

【保育士票】

	合計	問36-16 業務の負担感_書類作成（保育記録の作成）						
		とても感 じる	やや感 じる	どちらと もいえな い	あまり感 じない	ほとんど 感じない	行って いない	無回答
全体	15,664 100.0	3,174 20.3	4,562 29.1	2,332 14.9	1,543 9.9	953 6.1	2,427 15.5	673 4.3
導入あり-そう思う	2,400 100.0	434 18.1	647 27.0	339 14.1	280 11.7	193 8.0	403 16.8	104 4.3
導入あり-ややそう思う	4,053 100.0	786 19.4	1,278 31.5	632 15.6	402 9.9	240 5.9	570 14.1	145 3.6
導入あり-どちらともいえない	1,517 100.0	300 19.8	473 31.2	283 18.7	148 9.8	87 5.7	187 12.3	39 2.6
導入あり-あまりそう思わない	529 100.0	155 29.3	171 32.3	64 12.1	46 8.7	25 4.7	53 10.0	15 2.8
導入あり-そう思わない	184 100.0	76 41.3	38 20.7	23 12.5	16 8.7	7 3.8	18 9.8	6 3.3
導入あり-わからない	160 100.0	21 13.1	27 16.9	14 8.8	11 6.9	17 10.6	53 33.1	17 10.6

<保護者対応（日常的な対応）>

図表 3-168 保護者との連絡に関する機能を導入している施設のうち、  
ICT 導入が進んでいるか別 業務の負担感\_保護者対応（日常的な対応）  
（問 40-1・問 42×問 36-2 より作成）

【施設票】

	合計	問36-2 業務の負担感_保護者対応（日常的な対応）						
		とても感 じる	やや感じ る	どちらと もいえな い	あまり感 じない	ほとんど 感じない	行って ない	無回答
全体	5,721 100.0	824 14.4	1,819 31.8	819 14.3	1,019 17.8	490 8.6	29 0.5	721 12.6
導入あり-そう思う	966 100.0	133 13.8	288 29.8	137 14.2	170 17.6	98 10.1	7 0.7	133 13.8
導入あり-ややそう思う	1,908 100.0	285 14.9	633 33.2	257 13.5	346 18.1	138 7.2	9 0.5	240 12.6
導入あり-どちらともいえない	851 100.0	136 16.0	281 33.0	147 17.3	133 15.6	66 7.8	1 0.1	87 10.2
導入あり-あまりそう思わない	396 100.0	64 16.2	153 38.6	42 10.6	67 16.9	23 5.8	5 1.3	42 10.6
導入あり-そう思わない	175 100.0	28 16.0	62 35.4	34 19.4	15 8.6	14 8.0	1 0.6	21 12.0
導入あり-わからない	26 100.0	2 7.7	5 19.2	2 7.7	7 26.9	5 19.2	0 0.0	5 19.2

注)「導入あり-わからない」は、サンプルサイズが小さいため、参考値。

【保育士票】

	合計	問36-2 業務の負担感_保護者対応（日常的な対応）						
		とても感 じる	やや感じ る	どちらと もいえな い	あまり感 じない	ほとんど 感じない	行って ない	無回答
全体	15,664 100.0	1,397 8.9	4,064 25.9	2,967 18.9	3,712 23.7	2,147 13.7	936 6.0	441 2.8
導入あり-そう思う	2,624 100.0	215 8.2	600 22.9	459 17.5	654 24.9	459 17.5	172 6.6	65 2.5
導入あり-ややそう思う	4,982 100.0	419 8.4	1,329 26.7	966 19.4	1,244 25.0	651 13.1	251 5.0	122 2.4
導入あり-どちらともいえない	2,189 100.0	173 7.9	597 27.3	484 22.1	518 23.7	279 12.7	93 4.2	45 2.1
導入あり-あまりそう思わない	1,001 100.0	108 10.8	322 32.2	177 17.7	220 22.0	117 11.7	35 3.5	22 2.2
導入あり-そう思わない	406 100.0	64 15.8	116 28.6	64 15.8	87 21.4	55 13.5	13 3.2	7 1.7
導入あり-わからない	248 100.0	16 6.5	43 17.3	36 14.5	49 19.8	35 14.1	50 20.2	19 7.7

<保護者への連絡（連絡帳記入、お知らせ作成等）>

図表 3-169 保護者との連絡に関する機能を導入している施設のうち、  
ICT 導入が進んでいるか別 業務の負担感\_保護者への連絡（連絡帳記入、お知らせ作成等）  
（問 40-1・問 42×問 36-17 より作成）

【施設票】

	合計	問36-17 業務の負担感_保護者への連絡（連絡帳記入、お知らせ作成等）						
		とても感 じる	やや感 じる	どちらと もいえな い	あまり感 じない	ほとんど 感じない	行って ない	無回答
全体	5,721 100.0	651 11.4	2,063 36.1	1,105 19.3	772 13.5	273 4.8	117 2.0	740 12.9
導入あり-そう思う	966 100.0	104 10.8	321 33.2	164 17.0	163 16.9	54 5.6	22 2.3	138 14.3
導入あり-ややそう思う	1,908 100.0	230 12.1	709 37.2	373 19.5	248 13.0	74 3.9	32 1.7	242 12.7
導入あり-どちらともいえない	851 100.0	105 12.3	345 40.5	167 19.6	97 11.4	32 3.8	13 1.5	92 10.8
導入あり-あまりそう思わない	396 100.0	57 14.4	161 40.7	69 17.4	42 10.6	16 4.0	9 2.3	42 10.6
導入あり-そう思わない	175 100.0	15 8.6	70 40.0	40 22.9	16 9.1	4 2.3	7 4.0	23 13.1
導入あり-わからない	26 100.0	1 3.8	6 23.1	6 23.1	5 19.2	2 7.7	2 7.7	4 15.4

注)「導入あり-わからない」は、サンプルサイズが小さいため、参考値。

【保育士票】

	合計	問36-17 業務の負担感_保護者への連絡（連絡帳記入、お知らせ作成等）						
		とても感 じる	やや感 じる	どちらと もいえな い	あまり感 じない	ほとんど 感じない	行って ない	無回答
全体	15,664 100.0	1,605 10.2	4,331 27.6	3,241 20.7	2,584 16.5	1,488 9.5	1,778 11.4	637 4.1
導入あり-そう思う	2,624 100.0	241 9.2	672 25.6	514 19.6	482 18.4	310 11.8	300 11.4	105 4.0
導入あり-ややそう思う	4,982 100.0	479 9.6	1,461 29.3	1,043 20.9	830 16.7	465 9.3	526 10.6	178 3.6
導入あり-どちらともいえない	2,189 100.0	205 9.4	621 28.4	547 25.0	340 15.5	179 8.2	233 10.6	64 2.9
導入あり-あまりそう思わない	1,001 100.0	131 13.1	334 33.4	203 20.3	151 15.1	77 7.7	78 7.8	27 2.7
導入あり-そう思わない	406 100.0	93 22.9	118 29.1	74 18.2	54 13.3	32 7.9	26 6.4	9 2.2
導入あり-わからない	248 100.0	22 8.9	43 17.3	33 13.3	26 10.5	27 10.9	74 29.8	23 9.3

<実費徴収費用の集金>

図表 3-170 キャッシュレス決済に関する機能（保護者が直接銀行に申込み口座振替を除く）を導入している施設のうち、ICT 導入が進んでいるか別  
業務の負担感\_実費徴収費用の集金（問 40-1・問 42×問 36-19 より作成）

【施設票】

	合計	問36-19 業務の負担感_実費徴収費用の集金						
		とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	ほとんど感じない	行っていない	無回答
全体	5,721 100.0	424 7.4	1,085 19.0	991 17.3	869 15.2	586 10.2	961 16.8	805 14.1
導入あり-そう思う	325 100.0	20 6.2	42 12.9	48 14.8	59 18.2	37 11.4	89 27.4	30 9.2
導入あり-ややそう思う	433 100.0	31 7.2	72 16.6	75 17.3	46 10.6	54 12.5	90 20.8	65 15.0
導入あり-どちらともいえない	154 100.0	13 8.4	28 18.2	30 19.5	24 15.6	16 10.4	30 19.5	13 8.4
導入あり-あまりそう思わない	51 100.0	5 9.8	8 15.7	14 27.5	6 11.8	5 9.8	8 15.7	5 9.8
導入あり-そう思わない	29 100.0	0 0.0	9 31.0	7 24.1	4 13.8	2 6.9	4 13.8	3 10.3
導入あり-わからない	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0

注)「導入あり-そう思わない」「導入あり-わからない」は、サンプルサイズが小さいため、参考値。

【保育士票】

	合計	問36-19 業務の負担感_実費徴収費用の集金						
		とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	ほとんど感じない	行っていない	無回答
全体	15,664 100.0	614 3.9	1,217 7.8	2,558 16.3	1,513 9.7	1,663 10.6	6,591 42.1	1,508 9.6
導入あり-そう思う	1,019 100.0	36 3.5	56 5.5	140 13.7	117 11.5	112 11.0	460 45.1	98 9.6
導入あり-ややそう思う	1,294 100.0	39 3.0	90 7.0	219 16.9	142 11.0	142 11.0	545 42.1	117 9.0
導入あり-どちらともいえない	500 100.0	20 4.0	44 8.8	92 18.4	51 10.2	46 9.2	212 42.4	35 7.0
導入あり-あまりそう思わない	167 100.0	8 4.8	20 12.0	25 15.0	21 12.6	12 7.2	65 38.9	16 9.6
導入あり-そう思わない	67 100.0	6 9.0	3 4.5	11 16.4	7 10.4	3 4.5	36 53.7	1 1.5
導入あり-わからない	61 100.0	4 6.6	3 4.9	9 14.8	4 6.6	9 14.8	25 41.0	7 11.5

## 6. 【施設票・保育士票】保育 ICT の導入・活用状況別にみた業務負担軽減状況

4機能の導入状況別に業務負担軽減状況を見ると、施設票・保育士票いずれにおいても、「4機能の全てを導入」「4機能の全てを活用」「4機能のいずれかを導入」「4機能のいずれかを活用」のほうが、そうでない場合に比べて、ICT等の導入が進んでいると感じている割合が高い。

また、ICT等による業務負担軽減への効果についても、施設票・保育士票いずれにおいても、「4機能の全てを導入」「4機能の全てを活用」「4機能のいずれかを導入」「4機能のいずれかを活用」のほうが、そうでない場合に比べて業務負担軽減の効果を感じている割合が高い傾向がみられる。

一方、ICT導入前と比べて短縮できた業務時間については、4機能の導入・活用状況別では、大きな差はみられない。

次に、保育士票において1日当たりの休憩時間をみると、「4機能の全てを導入」「4機能の全てを活用」において「45分以上」の割合が高いが、4機能いずれかの導入・活用有無によっては大きな差はみられず、4機能全てを導入・活用している場合は、勤務時間内に休憩を取得できている傾向がみられる。

図表 3-171 4機能の導入状況別 ICT等の導入が進んでいると思うか  
(問40-1・問40-2×問42より作成)

### 【施設票】

	合計	問42 ICT等の導入が進んでいると思うか						
		そう思う	ややそう 思う	どちらと もいえな い	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	わからな い	無回答
全体	5,116 100.0	993 19.4	2,057 40.2	1,048 20.5	593 11.6	387 7.6	37 0.7	1 0.0
4機能の全てを導入	765 100.0	308 40.3	347 45.4	90 11.8	16 2.1	2 0.3	2 0.3	0 0.0
上記以外	4,351 100.0	685 15.7	1,710 39.3	958 22.0	577 13.3	385 8.8	35 0.8	1 0.0
4機能の全てを活用	502 100.0	232 46.2	210 41.8	52 10.4	7 1.4	0 0.0	1 0.2	0 0.0
上記以外	4,598 100.0	760 16.5	1,844 40.1	993 21.6	583 12.7	383 8.3	35 0.8	0 0.0
4機能のいずれかを導入	4,842 100.0	993 20.5	2,039 42.1	1,007 20.8	524 10.8	248 5.1	30 0.6	1 0.0
上記以外	274 100.0	0 0.0	18 6.6	41 15.0	69 25.2	139 50.7	7 2.6	0 0.0
4機能のいずれかを活用	4,631 100.0	962 20.8	1,980 42.8	969 20.9	485 10.5	207 4.5	28 0.6	0 0.0
上記以外	469 100.0	30 6.4	74 15.8	76 16.2	105 22.4	176 37.5	8 1.7	0 0.0

【保育士票】

	合計	問42 ICT等の導入が進んでいると思うか						
		そう思う	ややそう 思う	どちらと もいえな い	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	わからな い	無回答
全体	14,227 100.0	2,810 19.8	5,595 39.3	2,814 19.8	1,622 11.4	1,019 7.2	359 2.5	8 0.1
4機能の全てを導入	2,378 100.0	903 38.0	1,009 42.4	329 13.8	67 2.8	22 0.9	46 1.9	2 0.1
上記以外	11,849 100.0	1,907 16.1	4,586 38.7	2,485 21.0	1,555 13.1	997 8.4	313 2.6	6 0.1
4機能の全てを活用	1,499 100.0	613 40.9	618 41.2	195 13.0	30 2.0	12 0.8	30 2.0	1 0.1
上記以外	12,702 100.0	2,192 17.3	4,971 39.1	2,616 20.6	1,589 12.5	1,001 7.9	329 2.6	4 0.0
4機能のいずれかを導入	13,532 100.0	2,801 20.7	5,553 41.0	2,734 20.2	1,431 10.6	683 5.0	325 2.4	5 0.0
上記以外	695 100.0	9 1.3	42 6.0	80 11.5	191 27.5	336 48.3	34 4.9	3 0.4
4機能のいずれかを活用	12,136 100.0	2,517 20.7	5,080 41.9	2,440 20.1	1,259 10.4	567 4.7	270 2.2	3 0.0
上記以外	2,065 100.0	288 13.9	509 24.6	371 18.0	360 17.4	446 21.6	89 4.3	2 0.1

注) 上段：実数、下段：%

注) 4機能とは、「園児の登園及び降園の管理に関する機能」「保育に係る計画・記録に関する機能（ドキュメンテーションを除く）」「保護者との連絡に関する機能（ICTを介さない個別メールを除く）」「キャッシュレス決済に関する機能（保護者が直接銀行に申込み口座振替を除く）」を指す。

図表 3-172 4機能の導入状況別 ICT等の活用による業務負担軽減への効果

(問40-1・問40-2×問43より作成)

【施設票】

	合計	問43 ICT等の活用による業務負担軽減への効果						
		軽減された	やや軽減された	どちらともいえない	あまり軽減されなかった	軽減されなかった	わからない	無回答
全体	5,116 100.0	1,016 19.9	2,404 47.0	980 19.2	240 4.7	93 1.8	141 2.8	242 4.7
4機能の全てを導入	765 100.0	242 31.6	353 46.1	108 14.1	16 2.1	8 1.0	9 1.2	29 3.8
上記以外	4,351 100.0	774 17.8	2,051 47.1	872 20.0	224 5.1	85 2.0	132 3.0	213 4.9
4機能の全てを活用	502 100.0	174 34.7	226 45.0	65 12.9	11 2.2	4 0.8	6 1.2	16 3.2
上記以外	4,598 100.0	842 18.3	2,172 47.2	912 19.8	228 5.0	88 1.9	132 2.9	224 4.9
4機能のいずれかを導入	4,842 100.0	994 20.5	2,343 48.4	914 18.9	207 4.3	80 1.7	85 1.8	219 4.5
上記以外	274 100.0	22 8.0	61 22.3	66 24.1	33 12.0	13 4.7	56 20.4	23 8.4
4機能のいずれかを活用	4,631 100.0	966 20.9	2,266 48.9	863 18.6	195 4.2	72 1.6	68 1.5	201 4.3
上記以外	469 100.0	50 10.7	132 28.1	114 24.3	44 9.4	20 4.3	70 14.9	39 8.3

【保育士票】

	合計	問43 ICT等の活用による業務負担軽減への効果						
		軽減された	やや軽減された	どちらともいえない	あまり軽減されなかった	軽減されなかった	わからない	無回答
全体	14,227 100.0	1,768 12.4	5,372 37.8	3,947 27.7	1,010 7.1	484 3.4	1,473 10.4	173 1.2
4機能の全てを導入	2,378 100.0	493 20.7	938 39.4	582 24.5	121 5.1	48 2.0	172 7.2	24 1.0
上記以外	11,849 100.0	1,275 10.8	4,434 37.4	3,365 28.4	889 7.5	436 3.7	1,301 11.0	149 1.3
4機能の全てを活用	1,499 100.0	317 21.1	607 40.5	353 23.5	75 5.0	21 1.4	111 7.4	15 1.0
上記以外	12,702 100.0	1,448 11.4	4,759 37.5	3,589 28.3	932 7.3	462 3.6	1,358 10.7	154 1.2
4機能のいずれかを導入	13,532 100.0	1,736 12.8	5,256 38.8	3,766 27.8	947 7.0	429 3.2	1,256 9.3	142 1.0
上記以外	695 100.0	32 4.6	116 16.7	181 26.0	63 9.1	55 7.9	217 31.2	31 4.5
4機能のいずれかを活用	12,136 100.0	1,546 12.7	4,787 39.4	3,370 27.8	853 7.0	383 3.2	1,073 8.8	124 1.0
上記以外	2,065 100.0	219 10.6	579 28.0	572 27.7	154 7.5	100 4.8	396 19.2	45 2.2

図表 3-173 【施設票】 4機能の導入状況別 ICT導入前と比べて短縮できた業務時間(1日当たり)  
(問40-1・問40-2×問41-1～問41-8より作成)

<当日の出欠席人数の確認にかかる時間>

	合計	問41-1 ICT導入前と比べて短縮できた業務時間(1日当たり(単位:分))_当日の出欠席人数の確認					
		0分	1~15分	16~30分	31~60分	61分以上	無回答
全体	4,421 100.0	646 14.6	1,849 41.8	623 14.1	16 0.4	15 0.3	1,272 28.8
4機能の全てを導入	765 100.0	120 15.7	310 40.5	106 13.9	2 0.3	3 0.4	224 29.3
上記以外	3,656 100.0	526 14.4	1,539 42.1	517 14.1	14 0.4	12 0.3	1,048 28.7
4機能の全てを活用	502 100.0	78 15.5	208 41.4	70 13.9	1 0.2	2 0.4	143 28.5
上記以外	3,909 100.0	565 14.5	1,636 41.9	552 14.1	15 0.4	12 0.3	1,129 28.9
4機能のいずれかを導入	4,421 100.0	646 14.6	1,849 41.8	623 14.1	16 0.4	15 0.3	1,272 28.8
上記以外	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4機能のいずれかを活用	4,273 100.0	617 14.4	1,782 41.7	606 14.2	15 0.4	14 0.3	1,239 29.0
上記以外	138 100.0	26 18.8	62 44.9	16 11.6	1 0.7	0 0.0	33 23.9

注)「全体」は、園児の登園及び降園の管理に関する機能を導入している施設。

注)「4機能のいずれかを導入」の「上記以外」は、該当する施設がないため、0件となっている。

<延長保育・預かり保育の利用実績の確認や集計にかかる時間>

	合計	問41-2 ICT導入前と比べて短縮できた業務時間(1日当たり(単位:分))_延長保育・預かり保育の利用実績の確認や集計					
		0分	1~15分	16~30分	31~60分	61分以上	無回答
全体	2,429 100.0	358 14.7	654 26.9	471 19.4	23 0.9	76 3.1	847 34.9
4機能の全てを導入	637 100.0	104 16.3	177 27.8	118 18.5	7 1.1	18 2.8	213 33.4
上記以外	1,792 100.0	254 14.2	477 26.6	353 19.7	16 0.9	58 3.2	634 35.4
4機能の全てを活用	412 100.0	56 13.6	116 28.2	88 21.4	4 1.0	14 3.4	134 32.5
上記以外	2,010 100.0	300 14.9	534 26.6	382 19.0	19 0.9	62 3.1	713 35.5
4機能のいずれかを導入	2,423 100.0	357 14.7	654 27.0	471 19.4	23 0.9	76 3.1	842 34.8
上記以外	6 100.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 83.3
4機能のいずれかを活用	2,336 100.0	345 14.8	621 26.6	450 19.3	22 0.9	74 3.2	824 35.3
上記以外	86 100.0	11 12.8	29 33.7	20 23.3	1 1.2	2 2.3	23 26.7

注)「全体」は、保育料・延長保育料の計算に関する機能を導入している施設。

注) 4機能のいずれかを導入の「上記以外」は、サンプルサイズが小さいため、参考値。

<保護者への連絡（おたよりの印刷・仕分け・配付など）にかかる時間>

	合計	問41-3 ICT導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり（単位：分）） 保護者への連絡（おたよりの印刷・仕分け・配付など）にかかる時間					
		0分	1～15分	16～30分	31～60分	61分以上	無回答
全体	4,323 100.0	484 11.2	1,075 24.9	1,094 25.3	53 1.2	72 1.7	1,545 35.7
4機能の全てを導入	765 100.0	77 10.1	190 24.8	181 23.7	9 1.2	15 2.0	293 38.3
上記以外	3,558 100.0	407 11.4	885 24.9	913 25.7	44 1.2	57 1.6	1,252 35.2
4機能の全てを活用	502 100.0	53 10.6	122 24.3	120 23.9	6 1.2	10 2.0	191 38.0
上記以外	3,808 100.0	430 11.3	949 24.9	971 25.5	47 1.2	62 1.6	1,349 35.4
4機能のいずれかを導入	4,323 100.0	484 11.2	1,075 24.9	1,094 25.3	53 1.2	72 1.7	1,545 35.7
上記以外	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4機能のいずれかを活用	4,160 100.0	462 11.1	1,024 24.6	1,055 25.4	50 1.2	71 1.7	1,498 36.0
上記以外	150 100.0	21 14.0	47 31.3	36 24.0	3 2.0	1 0.7	42 28.0

注)「全体」は、保護者との連絡に関する機能を導入している施設。

注)「4機能のいずれかを導入」の「上記以外」は、該当する施設がないため0件となっている。

<職員間の連絡にかかる時間>

	合計	問41-4 ICT導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり（単位：分）） 職員間の連絡					
		0分	1～15分	16～30分	31～60分	61分以上	無回答
全体	2,819 100.0	536 19.0	931 33.0	358 12.7	15 0.5	11 0.4	968 34.3
4機能の全てを導入	588 100.0	135 23.0	181 30.8	72 12.2	5 0.9	2 0.3	193 32.8
上記以外	2,231 100.0	401 18.0	750 33.6	286 12.8	10 0.4	9 0.4	775 34.7
4機能の全てを活用	372 100.0	78 21.0	116 31.2	55 14.8	4 1.1	1 0.3	118 31.7
上記以外	2,437 100.0	456 18.7	811 33.3	301 12.4	11 0.5	10 0.4	848 34.8
4機能のいずれかを導入	2,785 100.0	529 19.0	923 33.1	351 12.6	15 0.5	11 0.4	956 34.3
上記以外	34 100.0	7 20.6	8 23.5	7 20.6	0 0.0	0 0.0	12 35.3
4機能のいずれかを活用	2,686 100.0	512 19.1	890 33.1	329 12.2	15 0.6	10 0.4	930 34.6
上記以外	123 100.0	22 17.9	37 30.1	27 22.0	0 0.0	1 0.8	36 29.3

注)「全体」は、職員間の連絡に関する機能を導入している施設。

<職員の出退勤管理にかかる時間>

	合計	問41-5 ICT導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり（単位：分））_職員の出退勤管理					
		0分	1～15分	16～30分	31～60分	61分以上	無回答
全体	2,948 100.0	657 22.3	842 28.6	309 10.5	16 0.5	60 2.0	1,064 36.1
4機能の全てを導入	635 100.0	157 24.7	159 25.0	73 11.5	4 0.6	17 2.7	225 35.4
上記以外	2,313 100.0	500 21.6	683 29.5	236 10.2	12 0.5	43 1.9	839 36.3
4機能の全てを活用	405 100.0	89 22.0	107 26.4	51 12.6	2 0.5	12 3.0	144 35.6
上記以外	2,536 100.0	565 22.3	734 28.9	255 10.1	14 0.6	48 1.9	920 36.3
4機能のいずれかを導入	2,849 100.0	618 21.7	826 29.0	307 10.8	16 0.6	60 2.1	1,022 35.9
上記以外	99 100.0	39 39.4	16 16.2	2 2.0	0 0.0	0 0.0	42 42.4
4機能のいずれかを活用	2,757 100.0	599 21.7	794 28.8	296 10.7	16 0.6	56 2.0	996 36.1
上記以外	184 100.0	55 29.9	47 25.5	10 5.4	0 0.0	4 2.2	68 37.0

注)「全体」は、職員の出退勤管理に関する機能を導入している施設。

<保育の計画・日誌作成にかかる時間>

	合計	問41-6 ICT導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり（単位：分））_保育の計画・日誌作成					
		0分	1～15分	16～30分	31～60分	61分以上	無回答
全体	3,259 100.0	573 17.6	615 18.9	677 20.8	46 1.4	71 2.2	1,277 39.2
4機能の全てを導入	765 100.0	137 17.9	135 17.6	167 21.8	13 1.7	19 2.5	294 38.4
上記以外	2,494 100.0	436 17.5	480 19.2	510 20.4	33 1.3	52 2.1	983 39.4
4機能の全てを活用	502 100.0	85 16.9	90 17.9	119 23.7	11 2.2	12 2.4	185 36.9
上記以外	2,751 100.0	486 17.7	523 19.0	556 20.2	35 1.3	59 2.1	1,092 39.7
4機能のいずれかを導入	3,259 100.0	573 17.6	615 18.9	677 20.8	46 1.4	71 2.2	1,277 39.2
上記以外	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4機能のいずれかを活用	3,172 100.0	561 17.7	600 18.9	648 20.4	42 1.3	70 2.2	1,251 39.4
上記以外	81 100.0	10 12.3	13 16.0	27 33.3	4 4.9	1 1.2	26 32.1

注)「全体」は、保育に係る計画・記録に関する機能を導入している施設。

注)「4機能のいずれかを導入」の「上記以外」は、該当する施設がないため0件となっている。

<指導要録・児童票作成にかかる時間>

	合計	問41-7 ICT導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり（単位：分））_指導要録・児童票作成					
		0分	1～15分	16～30分	31～60分	61分以上	無回答
全体	2,885 100.0	560 19.4	406 14.1	528 18.3	37 1.3	150 5.2	1,204 41.7
4機能の全てを導入	656 100.0	137 20.9	85 13.0	114 17.4	7 1.1	34 5.2	279 42.5
上記以外	2,229 100.0	423 19.0	321 14.4	414 18.6	30 1.3	116 5.2	925 41.5
4機能の全てを活用	418 100.0	81 19.4	58 13.9	78 18.7	6 1.4	24 5.7	171 40.9
上記以外	2,461 100.0	477 19.4	347 14.1	448 18.2	31 1.3	126 5.1	1,032 41.9
4機能のいずれかを導入	2,876 100.0	557 19.4	405 14.1	526 18.3	37 1.3	149 5.2	1,202 41.8
上記以外	9 100.0	3 33.3	1 11.1	2 22.2	0 0.0	1 11.1	2 22.2
4機能のいずれかを活用	2,796 100.0	546 19.5	393 14.1	504 18.0	36 1.3	141 5.0	1,176 42.1
上記以外	83 100.0	12 14.5	12 14.5	22 26.5	1 1.2	9 10.8	27 32.5

注)「全体」は、指導要録・児童票の作成に関する機能を導入している施設。

注) 4機能のいずれかを導入の「上記以外」は、サンプルサイズが小さいため、参考値。

<利用者からの集金にかかる時間>

	合計	問41-8 ICT導入前と比べて短縮できた業務時間（1日当たり（単位：分））_利用者からの集金					
		0分	1～15分	16～30分	31～60分	61分以上	無回答
全体	1,676 100.0	354 21.1	260 15.5	232 13.8	23 1.4	87 5.2	720 43.0
4機能の全てを導入	765 100.0	189 24.7	113 14.8	96 12.5	11 1.4	37 4.8	319 41.7
上記以外	911 100.0	165 18.1	147 16.1	136 14.9	12 1.3	50 5.5	401 44.0
4機能の全てを活用	502 100.0	109 21.7	80 15.9	70 13.9	10 2.0	26 5.2	207 41.2
上記以外	1,174 100.0	245 20.9	180 15.3	162 13.8	13 1.1	61 5.2	513 43.7
4機能のいずれかを導入	1,650 100.0	348 21.1	255 15.5	232 14.1	23 1.4	87 5.3	705 42.7
上記以外	26 100.0	6 23.1	5 19.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 57.7
4機能のいずれかを活用	1,585 100.0	338 21.3	239 15.1	215 13.6	23 1.5	84 5.3	686 43.3
上記以外	91 100.0	16 17.6	21 23.1	17 18.7	0 0.0	3 3.3	34 37.4

注)「全体」は、キャッシュレス決済に関する機能（保護者が直接銀行に口座振替を申し込まないもの）もしくは、キャッシュレス決済に関する機能（保護者が直接銀行に口座振替を申し込むもの）を導入している施設。

注) 4機能のいずれかを導入の「上記以外」は、サンプルサイズが小さいため、参考値。

図表 3-174 【保育士票】4機能の導入状況別 1日当たりの平均的な勤務時間

(問 40-1・問 40-2×問 30-2 より作成)

	合計	問30-2 1日当たりの平均的な勤務時間							
		2時間以下	2時間を 超えて4 時間以下	4時間を 超えて6 時間以下	6時間を 超えて8 時間以下	8時間を 超えて10 時間以下	10時間を 超えて12 時間以下	12時間超	無回答
全体	16,902 100.0	247 1.5	438 2.6	1,101 6.5	6,234 36.9	7,800 46.1	583 3.4	57 0.3	442 2.6
4機能の全てを導入	2,378 100.0	46 1.9	72 3.0	161 6.8	890 37.4	1,069 45.0	64 2.7	9 0.4	67 2.8
上記以外	13,248 100.0	178 1.3	353 2.7	936 7.1	5,054 38.1	5,940 44.8	389 2.9	32 0.2	366 2.8
4機能の全てを活用	1,499 100.0	28 1.9	51 3.4	101 6.7	567 37.8	666 44.4	39 2.6	5 0.3	42 2.8
上記以外	14,099 100.0	195 1.4	373 2.6	996 7.1	5,371 38.1	6,325 44.9	414 2.9	36 0.3	389 2.8
4機能のいずれかを導入	13,532 100.0	193 1.4	339 2.5	909 6.7	5,103 37.7	6,183 45.7	407 3.0	34 0.3	364 2.7
上記以外	2,094 100.0	31 1.5	86 4.1	188 9.0	841 40.2	826 39.4	46 2.2	7 0.3	69 3.3
4機能のいずれかを活用	12,136 100.0	180 1.5	293 2.4	797 6.6	4,554 37.5	5,575 45.9	377 3.1	33 0.3	327 2.7
上記以外	3,462 100.0	43 1.2	131 3.8	300 8.7	1,384 40.0	1,416 40.9	76 2.2	8 0.2	104 3.0

図表 3-175 【保育士票】4機能の導入状況別 休憩時間（1日当たり）

(問 40-1・問 40-2×問 31 より作成)

	合計	問31 休憩時間（1日当たり）						
		45分以上	30分以上 45分未満	20分以上 30分未満	10分以上 20分未満	10分未満	勤務時間が 短いため 休憩時間 は発生 しない	無回答
全体	16,902 100.0	5,550 32.8	3,800 22.5	2,156 12.8	1,766 10.4	1,935 11.4	1,212 7.2	483 2.9
4機能の全てを導入	2,378 100.0	923 38.8	505 21.2	267 11.2	187 7.9	229 9.6	193 8.1	74 3.1
上記以外	13,248 100.0	4,118 31.1	3,009 22.7	1,709 12.9	1,414 10.7	1,590 12.0	1,012 7.6	396 3.0
4機能の全てを活用	1,499 100.0	608 40.6	319 21.3	157 10.5	105 7.0	139 9.3	126 8.4	45 3.0
上記以外	14,099 100.0	4,425 31.4	3,190 22.6	1,814 12.9	1,491 10.6	1,678 11.9	1,078 7.6	423 3.0
4機能のいずれかを導入	13,532 100.0	4,389 32.4	3,094 22.9	1,697 12.5	1,397 10.3	1,576 11.6	986 7.3	393 2.9
上記以外	2,094 100.0	652 31.1	420 20.1	279 13.3	204 9.7	243 11.6	219 10.5	77 3.7
4機能のいずれかを活用	12,136 100.0	3,949 32.5	2,801 23.1	1,533 12.6	1,258 10.4	1,389 11.4	855 7.0	351 2.9
上記以外	3,462 100.0	1,084 31.3	708 20.5	438 12.7	338 9.8	428 12.4	349 10.1	117 3.4

## 7. 【施設票・保育士票】保育 ICT の導入・活用状況や勤務状況別にみた今後の ICT 導入意向

ICT の導入が進んでいると思うかどうか別に、今後導入したい ICT をみると、施設票・保育士票ともに、全般的に「あまりそう思わない」もしくは「そう思わない」において各機能の回答割合が高くなっており、施設においても保育士等においても、ICT 等の導入が十分でないと感じているほど、今後の ICT 導入意向が高い傾向がみられる。

図表 3-176 【施設票】ICT の導入が進んでいると思うか別 今後導入したい ICT  
(問 42×問 40-3 より作成)

	合計	問40-3 今後導入したいICT						
		園児の登園及び降園の管理に関する機能	保育料・延長保育料の計算に関する機能	保護者との連絡に関する機能	職員間の連絡に関する機能	職員の出退勤管理に関する機能	保育に係る計画・記録に関する機能	指導要録・児童票の作成に関する機能
全体	5,721 100.0	636 11.1	1,136 19.9	531 9.3	973 17.0	1,111 19.4	1,096 19.2	1,265 22.1
そう思う	993 100.0	12 1.2	132 13.3	9 0.9	92 9.3	115 11.6	52 5.2	92 9.3
ややそう思う	2,057 100.0	43 2.1	345 16.8	71 3.5	325 15.8	354 17.2	272 13.2	343 16.7
どちらともいえない	1,048 100.0	68 6.5	229 21.9	78 7.4	188 17.9	211 20.1	204 19.5	242 23.1
あまりそう思わない	593 100.0	113 19.1	160 27.0	91 15.3	140 23.6	156 26.3	206 34.7	224 37.8
そう思わない	387 100.0	160 41.3	147 38.0	99 25.6	101 26.1	115 29.7	162 41.9	172 44.4
わからない	37 100.0	6 16.2	7 18.9	4 10.8	6 16.2	5 13.5	5 13.5	7 18.9

	合計	問40-3 今後導入したいICT						
		キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込まないもの)	キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込むもの)	写真・動画を活用した保育内容の記録(ドキュメンテーション)機能	写真のオンライン販売機能	その他のICTツール	特になし	無回答
全体	5,721 100.0	1,519 26.6	1,242 21.7	1,277 22.3	725 12.7	628 11.0	1,844 32.2	40 0.7
そう思う	993 100.0	258 26.0	205 20.6	134 13.5	101 10.2	140 14.1	393 39.6	6 0.6
ややそう思う	2,057 100.0	582 28.3	482 23.4	403 19.6	214 10.4	245 11.9	635 30.9	8 0.4
どちらともいえない	1,048 100.0	297 28.3	239 22.8	265 25.3	130 12.4	106 10.1	305 29.1	8 0.8
あまりそう思わない	593 100.0	189 31.9	161 27.2	197 33.2	107 18.0	69 11.6	123 20.7	2 0.3
そう思わない	387 100.0	99 25.6	89 23.0	126 32.6	61 15.8	35 9.0	79 20.4	3 0.8
わからない	37 100.0	8 21.6	6 16.2	10 27.0	5 13.5	2 5.4	20 54.1	1 2.7

図表 3-177 【保育士票】 ICT の導入が進んでいると思うか別 今後導入したい ICT  
(問 42×問 40-3 より作成)

	合計	問40-3 今後導入したいICT							
		園児の登園及び降園の管理に関する機能	保育料・延長保育料の計算に関する機能	保護者との連絡に関する機能	職員間の連絡に関する機能	職員の出退勤管理に関する機能	保育に係る計画・記録に関する機能	指導要録・児童票の作成に関する機能	
全体	15,664 100.0	1,447 9.2	4,812 30.7	1,975 12.6	3,754 24.0	4,033 25.7	3,592 22.9	4,461 28.5	
そう思う	2,810 100.0	26 0.9	604 21.5	107 3.8	407 14.5	453 16.1	223 7.9	368 13.1	
ややそう思う	5,595 100.0	104 1.9	1,652 29.5	341 6.1	1,250 22.3	1,359 24.3	932 16.7	1,358 24.3	
どちらともいえない	2,814 100.0	185 6.6	933 33.2	354 12.6	757 26.9	826 29.4	758 26.9	940 33.4	
あまりそう思わない	1,622 100.0	327 20.2	706 43.5	401 24.7	557 34.3	569 35.1	712 43.9	769 47.4	
そう思わない	1,019 100.0	445 43.7	569 55.8	446 43.8	446 43.8	466 45.7	609 59.8	636 62.4	
わからない	359 100.0	33 9.2	89 24.8	38 10.6	89 24.8	71 19.8	82 22.8	102 28.4	

	合計	問40-3 今後導入したいICT							
		キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込まないもの)	キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込むもの)	写真・動画を活用した保育内容の記録(ドキュメンテーション)機能	写真のオンライン販売機能	その他のICTツール	特になし	無回答	
全体	15,664 100.0	6,496 41.5	6,265 40.0	4,122 26.3	3,311 21.1	3,197 20.4	3,842 24.5	69 0.4	
そう思う	2,810 100.0	1,057 37.6	992 35.3	383 13.6	408 14.5	604 21.5	831 29.6	13 0.5	
ややそう思う	5,595 100.0	2,452 43.8	2,365 42.3	1,276 22.8	1,161 20.8	1,168 20.9	1,114 19.9	9 0.2	
どちらともいえない	2,814 100.0	1,242 44.1	1,224 43.5	864 30.7	690 24.5	606 21.5	513 18.2	3 0.1	
あまりそう思わない	1,622 100.0	822 50.7	786 48.5	688 42.4	425 26.2	373 23.0	181 11.2	5 0.3	
そう思わない	1,019 100.0	602 59.1	573 56.2	567 55.6	316 31.0	273 26.8	97 9.5	0 0.0	
わからない	359 100.0	123 34.3	121 33.7	82 22.8	71 19.8	59 16.4	139 38.7	0 0.0	

ICT等の活用による業務負担軽減の効果別に、今後導入したいICTをみると、施設票・保育士票ともに「あまり軽減されなかった」もしくは「軽減されなかった」において各機能の回答割合が高い傾向にあり、おおむねICT等を導入したことによる業務負担の軽減が十分でないと感じているほど、今後の導入意向が高い傾向がみられる。

図表 3-178 【施設票】ICT等の活用による業務負担軽減の効果別 今後導入したいICT  
(問43×問40-3より作成)

	合計	問40-3 今後導入したいICT						
		園児の登園及び降園の管理に関する機能	保育料・延長保育料の計算に関する機能	保護者との連絡に関する機能	職員間の連絡に関する機能	職員の出退勤管理に関する機能	保育に係る計画・記録に関する機能	指導要録・児童票の作成に関する機能
全体	5,721	636	1,136	531	973	1,111	1,096	1,265
	100.0	11.1	19.9	9.3	17.0	19.4	19.2	22.1
軽減された	1,016	38	160	29	108	167	95	132
	100.0	3.7	15.7	2.9	10.6	16.4	9.4	13.0
やや軽減された	2,404	122	426	149	401	441	424	502
	100.0	5.1	17.7	6.2	16.7	18.3	17.6	20.9
どちらともいえない	980	110	239	78	180	208	211	251
	100.0	11.2	24.4	8.0	18.4	21.2	21.5	25.6
あまり軽減されなかった	240	34	60	26	52	40	64	75
	100.0	14.2	25.0	10.8	21.7	16.7	26.7	31.3
軽減されなかった	93	15	28	10	21	16	16	18
	100.0	16.1	30.1	10.8	22.6	17.2	17.2	19.4
わからない	141	47	42	35	37	30	45	46
	100.0	33.3	29.8	24.8	26.2	21.3	31.9	32.6

	合計	問40-3 今後導入したいICT						
		キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込まないもの)	キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込むもの)	写真・動画を活用した保育内容の記録(ドキュメンテーション)機能	写真のオンライン販売機能	その他のICTツール	特にない	無回答
全体	5,721	1,519	1,242	1,277	725	628	1,844	40
	100.0	26.6	21.7	22.3	12.7	11.0	32.2	0.7
軽減された	1,016	294	252	183	96	143	341	3
	100.0	28.9	24.8	18.0	9.4	14.1	33.6	0.3
やや軽減された	2,404	675	529	572	300	262	724	12
	100.0	28.1	22.0	23.8	12.5	10.9	30.1	0.5
どちらともいえない	980	261	235	215	124	106	276	7
	100.0	26.6	24.0	21.9	12.7	10.8	28.2	0.7
あまり軽減されなかった	240	70	63	61	35	21	67	2
	100.0	29.2	26.3	25.4	14.6	8.8	27.9	0.8
軽減されなかった	93	17	15	19	10	7	34	0
	100.0	18.3	16.1	20.4	10.8	7.5	36.6	0.0
わからない	141	35	27	34	23	20	44	3
	100.0	24.8	19.1	24.1	16.3	14.2	31.2	2.1

図表 3-179 【保育士票】ICT等の活用による業務負担軽減への効果別 今後導入したいICT  
(問43×問40-3より作成)

	合計	問40-3 今後導入したいICT							
		園児の登園及び降園の管理に関する機能	保育料・延長保育料の計算に関する機能	保護者との連絡に関する機能	職員間の連絡に関する機能	職員の出退勤管理に関する機能	保育に係る計画・記録に関する機能	指導要録・児童票の作成に関する機能	
全体	15,664 100.0	1,447 9.2	4,812 30.7	1,975 12.6	3,754 24.0	4,033 25.7	3,592 22.9	4,461 28.5	
軽減された	1,768 100.0	61 3.5	430 24.3	124 7.0	310 17.5	385 21.8	232 13.1	338 19.1	
やや軽減された	5,372 100.0	264 4.9	1,701 31.7	496 9.2	1,301 24.2	1,413 26.3	1,130 21.0	1,490 27.7	
どちらともいえない	3,947 100.0	323 8.2	1,325 33.6	489 12.4	968 24.5	1,071 27.1	966 24.5	1,220 30.9	
あまり軽減されなかった	1,010 100.0	115 11.4	383 37.9	182 18.0	332 32.9	306 30.3	333 33.0	381 37.7	
軽減されなかった	484 100.0	65 13.4	184 38.0	93 19.2	159 32.9	138 28.5	160 33.1	191 39.5	
わからない	1,473 100.0	257 17.4	482 32.7	277 18.8	403 27.4	392 26.6	452 30.7	498 33.8	

	合計	問40-3 今後導入したいICT							
		キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込まないもの)	キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込むもの)	写真・動画を活用した保育内容の記録(ドキュメンテーション)機能	写真のオンライン販売機能	その他のICTツール	特になし	無回答	
全体	15,664 100.0	6,496 41.5	6,265 40.0	4,122 26.3	3,311 21.1	3,197 20.4	3,842 24.5	69 0.4	
軽減された	1,768 100.0	752 42.5	674 38.1	365 20.6	328 18.6	401 22.7	391 22.1	7 0.4	
やや軽減された	5,372 100.0	2,463 45.8	2,383 44.4	1,406 26.2	1,139 21.2	1,141 21.2	986 18.4	9 0.2	
どちらともいえない	3,947 100.0	1,735 44.0	1,707 43.2	1,092 27.7	860 21.8	841 21.3	785 19.9	8 0.2	
あまり軽減されなかった	1,010 100.0	473 46.8	460 45.5	336 33.3	237 23.5	240 23.8	162 16.0	3 0.3	
軽減されなかった	484 100.0	229 47.3	219 45.2	169 34.9	119 24.6	123 25.4	87 18.0	0 0.0	
わからない	1,473 100.0	578 39.2	554 37.6	441 29.9	339 23.0	304 20.6	417 28.3	3 0.2	

1日当たりの平均的な勤務時間別に、今後導入したいICTをみると、全般的に「8時間を超えて10時間以下」「10時間を超えて12時間以下」において各機能の回答割合が高い傾向にあり、フルタイム勤務者ほど、今後のICT導入意向が高い傾向がみられる。

図表 3-180 【保育士票】 1日当たりの平均的な勤務時間別 今後導入したいICT  
(問30-2×問40-3より作成)

	合計	問40-3 今後導入したいICT							
		園児の登園及び降園の管理に関する機能	保育料・延長保育料の計算に関する機能	保護者との連絡に関する機能	職員間の連絡に関する機能	職員の出退勤管理に関する機能	保育に係る計画・記録に関する機能	指導要録・児童票の作成に関する機能	
全体	15,664 100.0	1,447 9.2	4,812 30.7	1,975 12.6	3,754 24.0	4,033 25.7	3,592 22.9	4,461 28.5	
2時間以下	224 100.0	18 8.0	68 30.4	18 8.0	55 24.6	54 24.1	50 22.3	54 24.1	
2時間を超えて 4時間以下	429 100.0	22 5.1	94 21.9	39 9.1	79 18.4	82 19.1	63 14.7	78 18.2	
4時間を超えて 6時間以下	1,100 100.0	55 5.0	250 22.7	112 10.2	221 20.1	224 20.4	173 15.7	242 22.0	
6時間を超えて 8時間以下	5,956 100.0	554 9.3	1,852 31.1	746 12.5	1,412 23.7	1,571 26.4	1,329 22.3	1,685 28.3	
8時間を超えて 10時間以下	7,022 100.0	720 10.3	2,268 32.3	949 13.5	1,757 25.0	1,853 26.4	1,776 25.3	2,142 30.5	
10時間を超えて 12時間以下	453 100.0	33 7.3	152 33.6	58 12.8	111 24.5	141 31.1	107 23.6	131 28.9	
12時間超	41 100.0	2 4.9	10 24.4	3 7.3	9 22.0	14 34.1	6 14.6	8 19.5	

	合計	問40-3 今後導入したいICT							無回答
		キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込まないもの)	キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込むもの)	写真・動画を活用した保育内容の記録(ドキュメンテーション)機能	写真のオンライン販売機能	その他のICTツール	特になし		
全体	15,664 100.0	6,496 41.5	6,265 40.0	4,122 26.3	3,311 21.1	3,197 20.4	3,842 24.5	69 0.4	
2時間以下	224 100.0	88 39.3	85 37.9	49 21.9	46 20.5	51 22.8	71 31.7	1 0.4	
2時間を超えて 4時間以下	429 100.0	132 30.8	125 29.1	79 18.4	89 20.7	80 18.6	170 39.6	6 1.4	
4時間を超えて 6時間以下	1,100 100.0	369 33.5	347 31.5	216 19.6	212 19.3	185 16.8	414 37.6	7 0.6	
6時間を超えて 8時間以下	5,956 100.0	2,479 41.6	2,403 40.3	1,504 25.3	1,275 21.4	1,247 20.9	1,489 25.0	18 0.3	
8時間を超えて 10時間以下	7,022 100.0	3,036 43.2	2,932 41.8	2,057 29.3	1,489 21.2	1,436 20.5	1,463 20.8	28 0.4	
10時間を超えて 12時間以下	453 100.0	212 46.8	193 42.6	118 26.0	97 21.4	101 22.3	94 20.8	1 0.2	
12時間超	41 100.0	16 39.0	17 41.5	9 22.0	11 26.8	9 22.0	10 24.4	0 0.0	

1日当たりの休憩時間別に、今後導入したいICTをみると、全般的に「10分未満」において各機能の回答割合が高い傾向にあり、休憩時間が短いほど、今後のICT導入意向が高い傾向がみられる。

図表 3-181 【保育士票】休憩時間（1日当たり）別 今後導入したいICT  
(問31×問40-3より作成)

	合計	問40-3 今後導入したいICT						
		園児の登園及び降園の管理に関する機能	保育料・延長保育料の計算に関する機能	保護者との連絡に関する機能	職員間の連絡に関する機能	職員の出退勤管理に関する機能	保育に係る計画・記録に関する機能	指導要録・児童票の作成に関する機能
全体	15,664 100.0	1,447 9.2	4,812 30.7	1,975 12.6	3,754 24.0	4,033 25.7	3,592 22.9	4,461 28.5
45分以上	5,051 100.0	406 8.0	1,442 28.5	523 10.4	1,113 22.0	1,169 23.1	1,042 20.6	1,329 26.3
30分以上45分未満	3,524 100.0	336 9.5	1,152 32.7	463 13.1	888 25.2	901 25.6	846 24.0	1,049 29.8
20分以上30分未満	1,977 100.0	213 10.8	637 32.2	257 13.0	501 25.3	527 26.7	440 22.3	549 27.8
10分以上20分未満	1,605 100.0	169 10.5	537 33.5	224 14.0	380 23.7	452 28.2	432 26.9	531 33.1
10分未満	1,824 100.0	211 11.6	644 35.3	319 17.5	519 28.5	614 33.7	542 29.7	623 34.2
勤務時間が短いため 休憩時間は発生しない	1,209 100.0	63 5.2	269 22.2	132 10.9	240 19.9	257 21.3	192 15.9	252 20.8

	合計	問40-3 今後導入したいICT						
		キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込まないもの)	キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込むもの)	写真・動画を活用した保育内容の記録(ドキュメンテーション)機能	写真のオンライン販売機能	その他のICTツール	特にない	無回答
全体	15,664 100.0	6,496 41.5	6,265 40.0	4,122 26.3	3,311 21.1	3,197 20.4	3,842 24.5	69 0.4
45分以上	5,051 100.0	1,978 39.2	1,901 37.6	1,233 24.4	950 18.8	995 19.7	1,328 26.3	22 0.4
30分以上45分未満	3,524 100.0	1,473 41.8	1,433 40.7	967 27.4	756 21.5	728 20.7	804 22.8	13 0.4
20分以上30分未満	1,977 100.0	831 42.0	802 40.6	547 27.7	458 23.2	410 20.7	457 23.1	6 0.3
10分以上20分未満	1,605 100.0	748 46.6	718 44.7	473 29.5	355 22.1	357 22.2	304 18.9	4 0.2
10分未満	1,824 100.0	892 48.9	861 47.2	584 32.0	466 25.5	392 21.5	342 18.8	9 0.5
勤務時間が短いため 休憩時間は発生しない	1,209 100.0	400 33.1	375 31.0	226 18.7	232 19.2	228 18.9	460 38.0	9 0.7

業務従事時間に占める事務作業等時間の割合別では、今後の ICT 導入意向に大きな差はみられない。

図表 3-182 【保育士票】業務従事時間に占める事務作業等時間の割合別 今後導入したい ICT  
(問 35×問 40-3 より作成)

		合計	問40-3 今後導入したいICT						
			園児の登園及び降園の管理に関する機能	保育料・延長保育料の計算に関する機能	保護者との連絡に関する機能	職員間の連絡に関する機能	職員の出退勤管理に関する機能	保育に係る計画・記録に関する機能	指導要録・児童票の作成に関する機能
	全体	15,664 100.0	1,447 9.2	4,812 30.7	1,975 12.6	3,754 24.0	4,033 25.7	3,592 22.9	4,461 28.5
問35-13+15+16+17+19+22+25 事務作業等時間の割合	20%未満	6,644 100.0	549 8.3	2,001 30.1	806 12.1	1,525 23.0	1,665 25.1	1,476 22.2	1,808 27.2
	20%以上40%未満	5,921 100.0	601 10.2	1,986 33.5	805 13.6	1,565 26.4	1,641 27.7	1,470 24.8	1,838 31.0
	40%以上60%未満	1,065 100.0	116 10.9	300 28.2	144 13.5	240 22.5	271 25.4	245 23.0	290 27.2
	60%以上80%未満	499 100.0	44 8.8	142 28.5	36 7.2	92 18.4	113 22.6	103 20.6	138 27.7
	80%以上	234 100.0	23 9.8	69 29.5	30 12.8	51 21.8	60 25.6	51 21.8	66 28.2

		合計	問40-3 今後導入したいICT						
			キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込みできないもの)	キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込みもの)	写真・動画を活用した保育内容の記録(ドキュメンテーション)機能	写真のオンライン販売機能	その他のICTツール	特になし	無回答
	全体	15,664 100.0	6,496 41.5	6,265 40.0	4,122 26.3	3,311 21.1	3,197 20.4	3,842 24.5	69 0.4
問35-13+15+16+17+19+22+25 事務作業等時間の割合	20%未満	6,644 100.0	2,634 39.6	2,530 38.1	1,642 24.7	1,353 20.4	1,322 19.9	1,822 27.4	16 0.2
	20%以上40%未満	5,921 100.0	2,703 45.7	2,634 44.5	1,722 29.1	1,370 23.1	1,297 21.9	1,212 20.5	9 0.2
	40%以上60%未満	1,065 100.0	436 40.9	404 37.9	286 26.9	215 20.2	203 19.1	236 22.2	3 0.3
	60%以上80%未満	499 100.0	206 41.3	181 36.3	137 27.5	91 18.2	104 20.8	120 24.0	1 0.2
	80%以上	234 100.0	91 38.9	87 37.2	68 29.1	49 20.9	38 16.2	59 25.2	0 0.0

## 第4章 潜在保育士アンケート調査結果

### I 調査の概要

#### 1. 調査目的

潜在保育士について、保育士として働いていた場合の勤務状況及び離職理由、復職に対する現在の意向と障壁、復職に際して必要と考えるサポートや情報提供等を把握することで、実態に即した支援策や情報提供を検討する。

#### 2. 調査対象

以下、2つの調査対象に対して調査を実施した。

①インターネット調査会社のモニター：1,500人

- うち、保育離職者（保育士資格を持ちながら現在保育士として就業していない者）：1,000人

- うち、保育未就業者（保育士資格を持つが、保育士として働いた経験がない者）：500人

※なお、モニター調査の実施に当たっては、全国8地域区分の人口比と等しくなるよう割付を行った上で回収を行った。

②保育士・保育所支援センターの登録者（同センターを經由して調査を依頼）

#### 3. 調査実施方法

##### （1）調査の依頼・回答方法

①インターネット調査会社のモニターを対象としたインターネット調査。

②こども家庭庁から、全国の保育士・保育所支援センターへメールにて依頼状を展開し、登録者（潜在保育士等）へ調査を依頼。ウェブ上にアンケートフォームを用意し、ウェブ上にて回答。

#### 4. 調査実施時期

2025年12月25日（木）～2026年1月26日（月）

#### 5. 回収結果

有効回収数：2,008件（うち、保育離職者1,251件、保育未就業者757件）

## 6. 調査内容

アンケート調査における主な調査内容は、次のとおりである。詳細は、巻末に掲載している調査票を参照されたい。

- ・ 回答者属性
- ・ 保育士として働いた経験や過去に勤務した施設について
- ・ 離職・働いていない理由や退職した施設の労働環境について
- ・ 今後保育士として働く際に求める条件等について
- ・ 今後保育士として働く際に求める支援や取組について

## 7. 留意事項

- ・ 構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とならない場合がある。
- ・ 数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、複数の選択肢を足し上げた合計値と、グラフ中の数値を用いた計算結果が一致しない場合がある。
- ・ 統計表中に使用されている記号等は、次のとおりである。
  - ▶ 「-」は、調査又は集計したが、該当数字がないもの、又は数字が得られないものを示す。
  - ▶ 「0」、「0.0」は、調査又は集計したが、該当数字が表章単位に満たないものを示す。

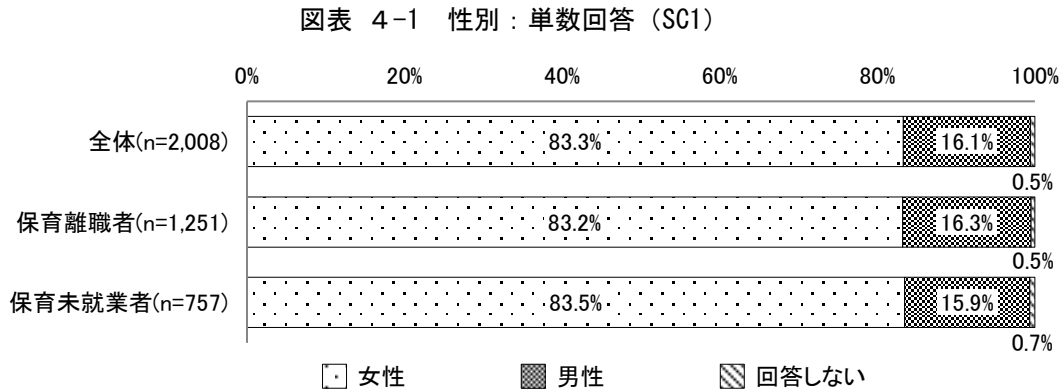
## II 基本集計結果

### 1. 回答者属性

#### (1) 【共通】性別

回答者の性別についてみると、「全体」では、「女性」が83.3%、「男性」が16.1%となっている。

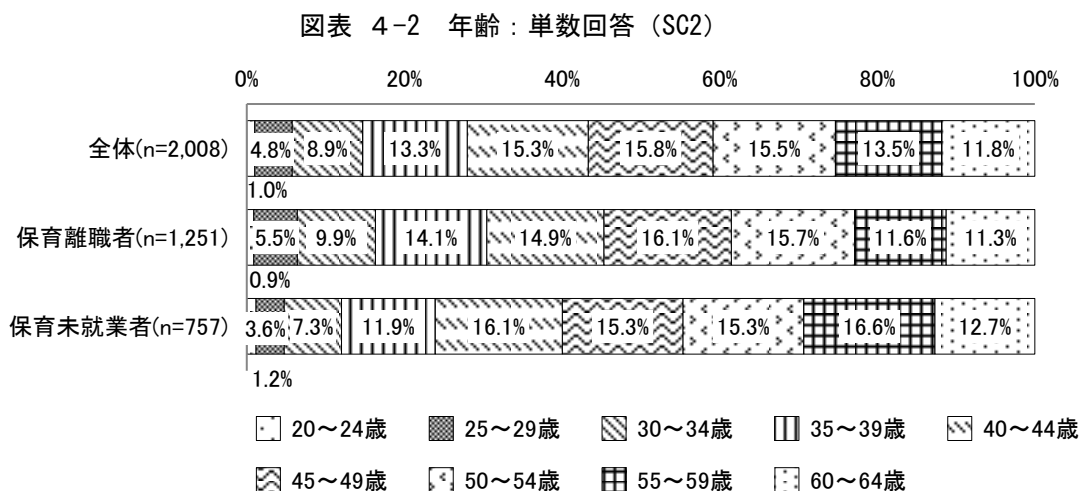
「保育離職者」では、「女性」が83.2%、「男性」が16.3%、「保育未就業者」では、「女性」が83.5%、「男性」が15.9%となっている。



#### (2) 【共通】年齢

回答者の年齢についてみると、「全体」では、「45～49歳」が15.8%でもっとも割合が高く、次いで「50～54歳」が15.5%となっている。

「保育離職者」では、「45～49歳」が16.1%でもっとも割合が高く、次いで「50～54歳」が15.7%となっている。「保育未就業者」では、「55～59歳」が16.6%でもっとも割合が高く、次いで「40～44歳」が16.1%となっている。



(3) 【共通】居住地域

回答者の居住地域については、以下のとおりとなっている。

図表 4-3 居住地域：単数回答（SC3）

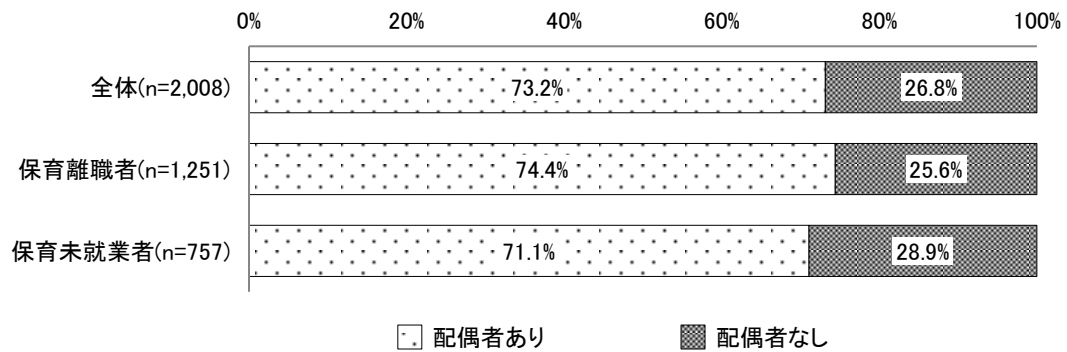
		合計	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
全体	n	2,008	130	18	12	35	7	13	23	53	56	48
	%	100.0	6.5	0.9	0.6	1.7	0.3	0.6	1.1	2.6	2.8	2.4
保育離職者	n	1,251	81	11	7	24	5	8	16	29	33	33
	%	100.0	6.5	0.9	0.6	1.9	0.4	0.6	1.3	2.3	2.6	2.6
保育未就業者	n	757	49	7	5	11	2	5	7	24	23	15
	%	100.0	6.5	0.9	0.7	1.5	0.3	0.7	0.9	3.2	3.0	2.0
		合計	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県
全体	n	2,008	75	87	182	210	28	17	14	5	11	25
	%	100.0	3.7	4.3	9.1	10.5	1.4	0.8	0.7	0.2	0.5	1.2
保育離職者	n	1,251	51	53	114	117	20	10	10	1	9	14
	%	100.0	4.1	4.2	9.1	9.4	1.6	0.8	0.8	0.1	0.7	1.1
保育未就業者	n	757	24	34	68	93	8	7	4	4	2	11
	%	100.0	3.2	4.5	9.0	12.3	1.1	0.9	0.5	0.5	0.3	1.5
		合計	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
全体	n	2,008	40	48	114	31	30	30	131	108	20	9
	%	100.0	2.0	2.4	5.7	1.5	1.5	1.5	6.5	5.4	1.0	0.4
保育離職者	n	1,251	23	29	72	19	25	19	67	72	10	6
	%	100.0	1.8	2.3	5.8	1.5	2.0	1.5	5.4	5.8	0.8	0.5
保育未就業者	n	757	17	19	42	12	5	11	64	36	10	3
	%	100.0	2.2	2.5	5.5	1.6	0.7	1.5	8.5	4.8	1.3	0.4
		合計	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
全体	n	2,008	21	13	38	37	23	12	6	20	6	93
	%	100.0	1.0	0.6	1.9	1.8	1.1	0.6	0.3	1.0	0.3	4.6
保育離職者	n	1,251	15	12	23	22	8	10	3	16	5	64
	%	100.0	1.2	1.0	1.8	1.8	0.6	0.8	0.2	1.3	0.4	5.1
保育未就業者	n	757	6	1	15	15	15	2	3	4	1	29
	%	100.0	0.8	0.1	2.0	2.0	2.0	0.3	0.4	0.5	0.1	3.8
		合計	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県			
全体	n	2,008	3	12	21	14	9	21	49			
	%	100.0	0.1	0.6	1.0	0.7	0.4	1.0	2.4			
保育離職者	n	1,251	2	9	14	9	7	9	35			
	%	100.0	0.2	0.7	1.1	0.7	0.6	0.7	2.8			
保育未就業者	n	757	1	3	7	5	2	12	14			
	%	100.0	0.1	0.4	0.9	0.7	0.3	1.6	1.8			

#### (4) 【共通】婚姻状況

回答者の婚姻状況についてみると、「全体」では、「配偶者あり」が73.2%、「配偶者なし」が26.8%となっている。

「保育離職者」では、「配偶者あり」が74.4%、「配偶者なし」が25.6%となっている。「保育未就業者」では、「配偶者あり」が71.1%、「配偶者なし」が28.9%となっている。

図表 4-4 婚姻状況：単数回答（問1）

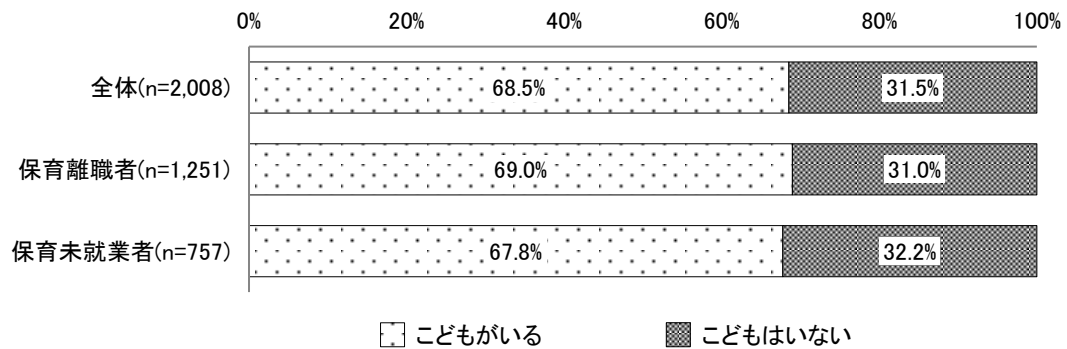


#### (5) 【共通】こどもの有無

回答者のこどもの有無についてみると、「全体」では、「こどもがいる」が68.5%、「こどもはいない」が31.5%となっている。

「保育離職者」では、「こどもがいる」が69.0%、「こどもはいない」が31.0%となっている。「保育未就業者」では、「こどもがいる」が67.8%、「こどもはいない」が32.2%となっている。

図表 4-5 こどもの有無：単数回答（問2）

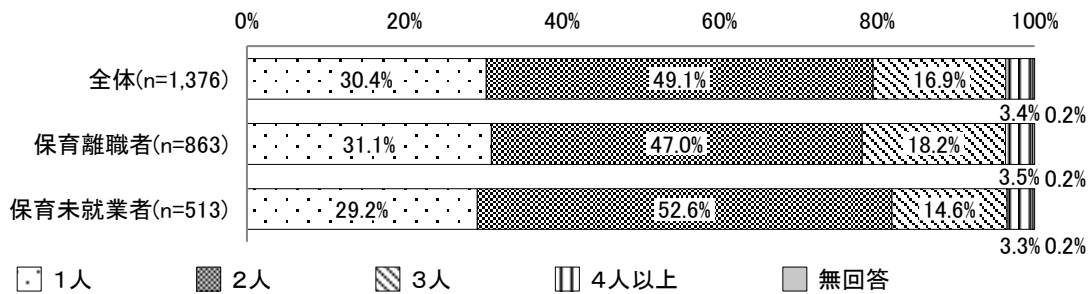


### (6) 【共通】こどもの人数

こどもがいる人について、人数をみると、「全体」では、「2人」が49.1%でもっとも割合が高く、次いで「1人」が30.4%となっている。

「保育離職者」では、「2人」が47.0%でもっとも割合が高く、次いで「1人」が31.1%となっている。「保育未就業者」では、「2人」が52.6%でもっとも割合が高く、次いで「1人」が29.2%となっている。

図表 4-6 こどもの人数：単数回答（問2より作成）

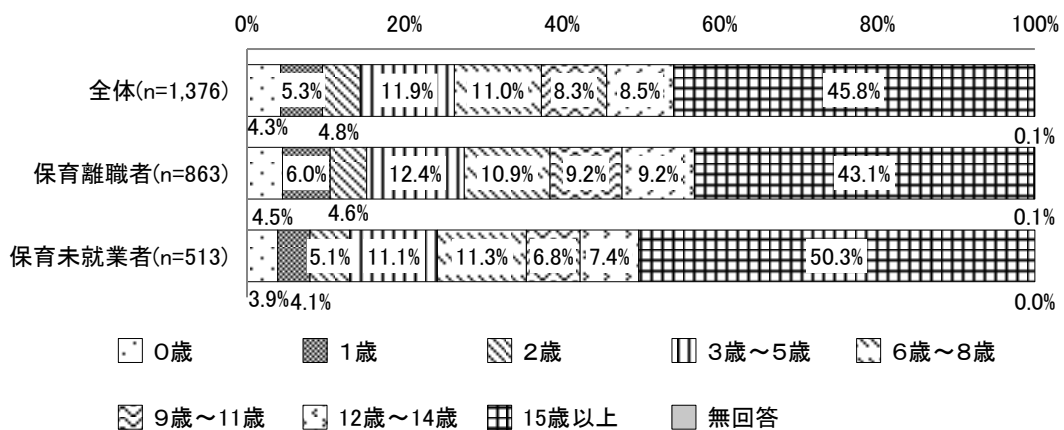


### (7) 【共通】末子の年齢

こどもがいる人について、末子の年齢をみると、「全体」では、「15歳以上」が45.8%でもっとも割合が高く、次いで「3歳～5歳」が11.9%となっている。

「保育離職者」では、「15歳以上」が43.1%でもっとも割合が高く、次いで「3歳～5歳」が12.4%となっている。「保育未就業者」では、「15歳以上」が50.3%でもっとも割合が高く、次いで「6歳～8歳」が11.3%となっている。

図表 4-7 末子の年齢：単数回答（問2より作成）

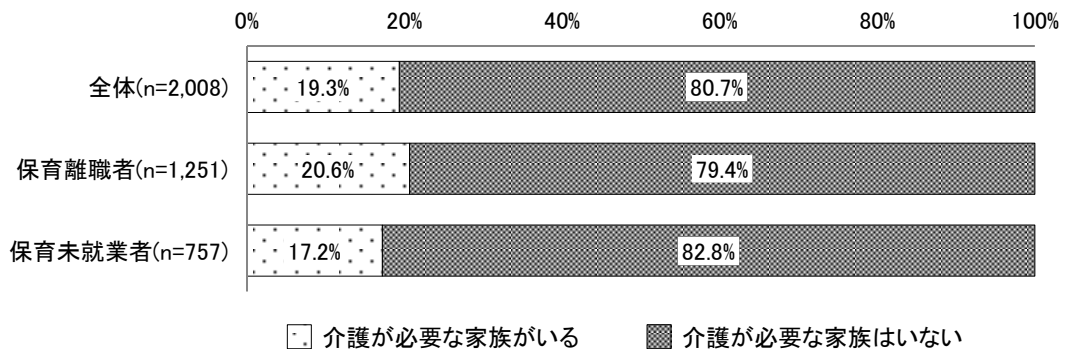


(8) 【共通】介護が必要な家族の有無（同居、別居を問わない）

介護が必要な家族の有無（同居、別居を問わない）についてみると、「全体」では、「介護が必要な家族はいない」が80.7%、「介護が必要な家族がいる」が19.3%となっている。

「保育離職者」では、「介護が必要な家族はいない」が79.4%、「介護が必要な家族がいる」が20.6%となっている。「保育未就業者」では、「介護が必要な家族はいない」が82.8%、「介護が必要な家族がいる」が17.2%となっている。

図表 4-8 介護が必要な家族の有無（同居、別居を問わない）：単数回答（問3）

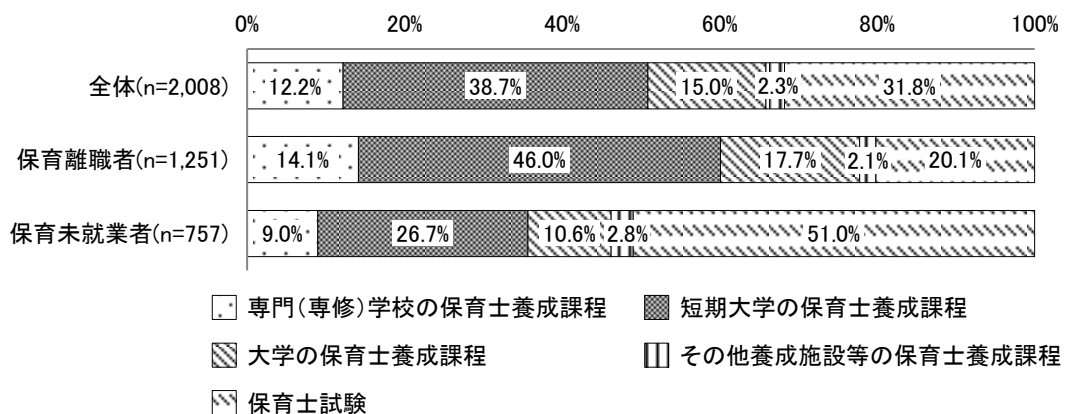


(9) 【共通】保育士資格の取得方法

保育士資格を取得した方法についてみると、「全体」では、「短期大学の保育士養成課程」が38.7%でもっとも割合が高く、次いで「保育士試験」が31.8%となっている。

「保育離職者」では、「短期大学の保育士養成課程」が46.0%でもっとも割合が高く、次いで「保育士試験」が20.1%となっている。「保育未就業者」では、「保育士試験」が51.0%でもっとも割合が高く、次いで「短期大学の保育士養成課程」が26.7%となっている。

図表 4-9 保育士資格の取得方法：単数回答（問4）

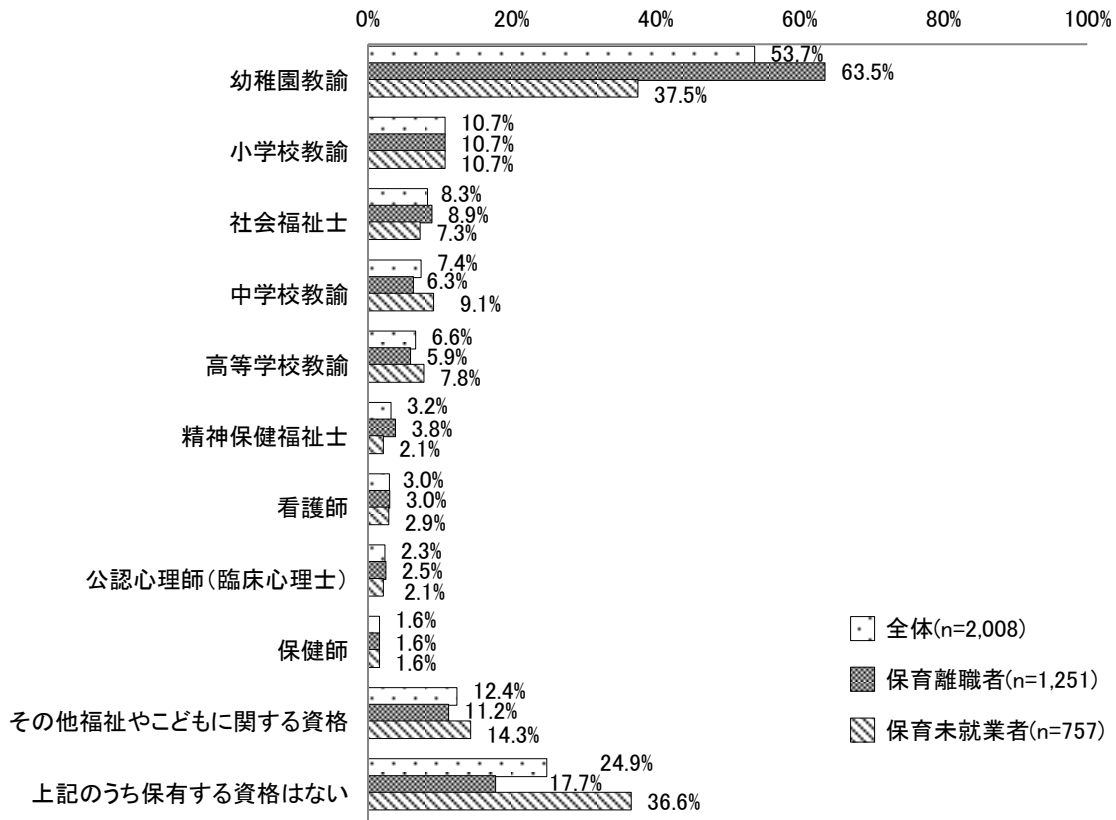


(10) 【共通】保育士資格以外に保有する資格

保育士資格以外に保有する資格についてみると、「全体」では、「幼稚園教諭」が53.7%でもっとも割合が高く、次いで「上記のうち保有する資格はない」が24.9%となっている。

「保育離職者」では、「幼稚園教諭」が63.5%でもっとも割合が高く、次いで「上記のうち保有する資格はない」が17.7%となっている。「保育未就業者」では、「幼稚園教諭」が37.5%でもっとも割合が高く、次いで「上記のうち保有する資格はない」が36.6%となっている。

図表 4-10 保育士資格以外に保有する資格：複数回答（問5）



<その他福祉やこどもに関する資格>※主な回答を抜粋

■介護・福祉系

- ・ 介護福祉士。
- ・ 社会福祉主事。
- ・ ホームヘルパー。

■こども関係

- ・ 放課後児童支援員。
- ・ 児童発達支援士。
- ・ 児童厚生員。
- ・ 特別支援学校教諭。

■保健医療・心理系

- ・ 医師。
- ・ 准看護師。
- ・ 認定心理士。
- ・ 養護教諭。

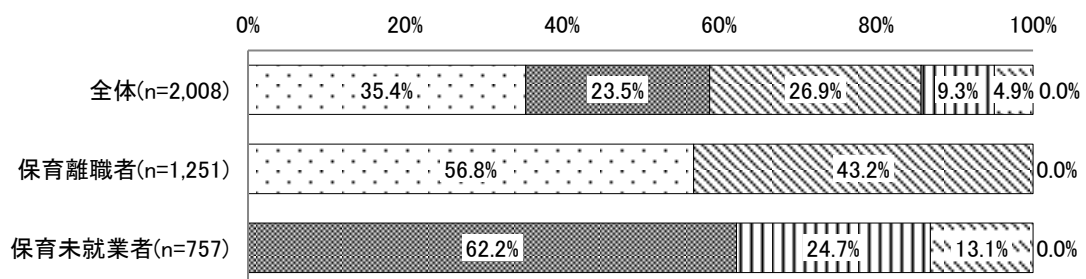
## 2. 現在の就業状況

### (1) 【共通】現在の就業状況（自営・パートを含む）

現在の就業状況についてみると、「全体」では、「現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には、保育士として働いた経験がある」が35.4%でもっとも割合が高く、次いで「現在、働いていないが、過去には、保育士として働いた経験がある」が26.9%となっている。

「保育離職者」では、「現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には、保育士として働いた経験がある」が56.8%、「現在、働いていないが、過去には、保育士として働いた経験がある」が43.2%となっている。「保育未就業者」では、「現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも、保育士として働いた経験はない」が62.2%、「現在、働いていないが、過去、保育士以外の職種で働いた経験がある」が24.7%となっている。

図表 4-11 現在の就業状況（自営・パートを含む）：単数回答（SC5）



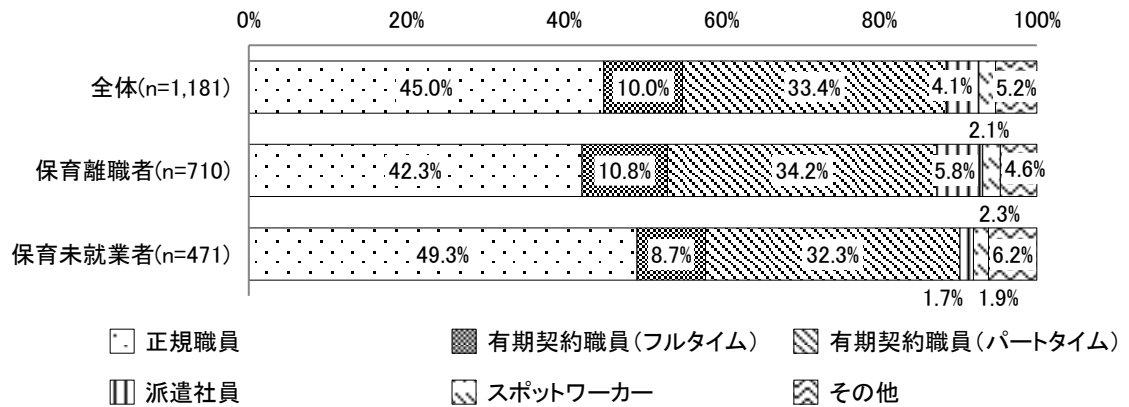
- 現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には、保育士として働いた経験がある
- 現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも、保育士として働いた経験はない
- ▨ 現在、働いていないが、過去には、保育士として働いた経験がある
- ▧ 現在、働いていないが、過去、保育士以外の職種で働いた経験がある
- ▩ 現在、働いておらず、過去にも、職種問わず働いた経験はない
- 現在、保育士として働いている

(2) 【共通】現在の雇用形態

現在働いている人について、雇用形態をみると、「全体」では、「正規職員」が45.0%でもっとも割合が高く、次いで「有期契約職員（パートタイム）」が33.4%となっている。

「保育離職者」では、「正規職員」が42.3%でもっとも割合が高く、次いで「有期契約職員（パートタイム）」が34.2%となっている。「保育未就業者」では、「正規職員」が49.3%でもっとも割合が高く、次いで「有期契約職員（パートタイム）」が32.3%となっている。

図表 4-12 現在の雇用形態：単数回答（SC6）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■個人事業主・自営業

- ・ フリーランス。
- ・ 自営業。
- ・ 会社経営。

■アルバイト・非常勤

- ・ アルバイト。
- ・ 無期雇用パート。
- ・ 嘱託職員。
- ・ 日雇い労働者。

■その他

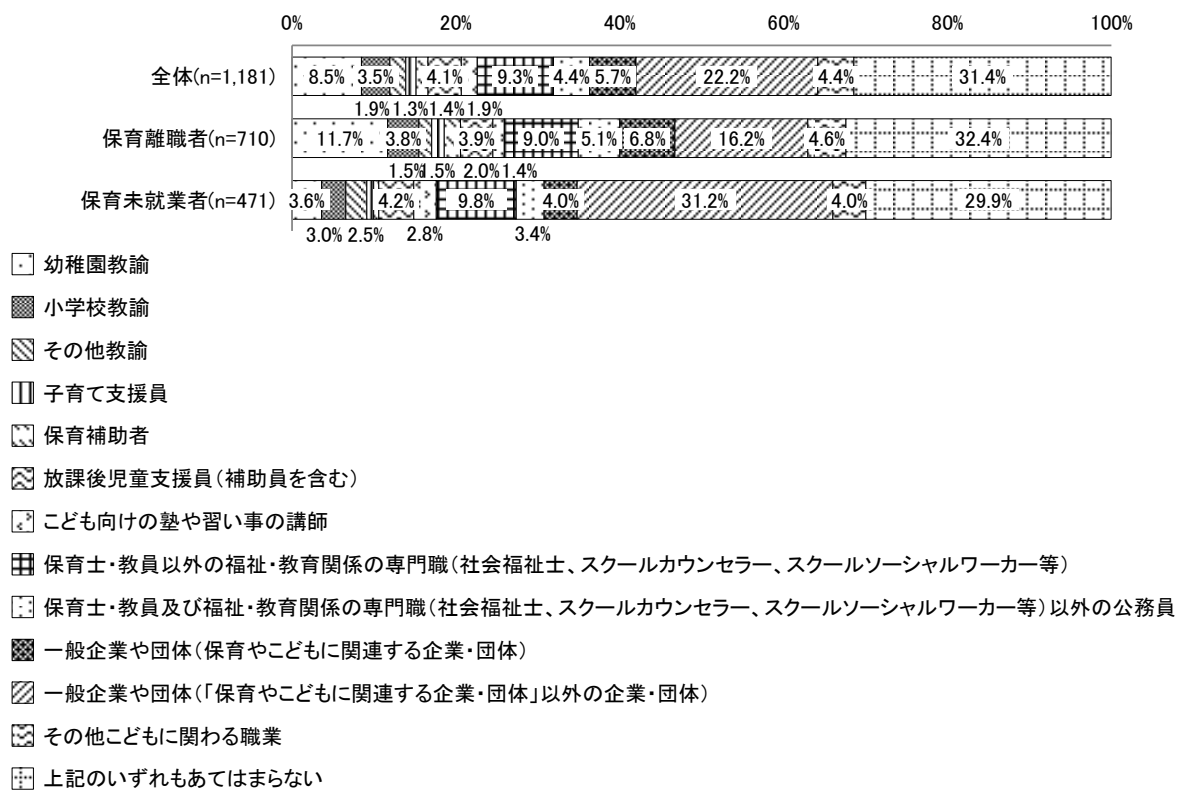
- ・ 市の有償ボランティア。

### (3) 【共通】現在の仕事

現在働いている人について、具体的な仕事内容についてみると、「全体」では、「上記のいずれもあてはまらない」が31.4%でもっとも割合が高く、次いで「一般企業や団体（「保育や子どもに関連する企業・団体」以外の企業・団体）」が22.2%となっている。

「保育離職者」では、「上記のいずれもあてはまらない」が32.4%でもっとも割合が高く、次いで「一般企業や団体（「保育や子どもに関連する企業・団体」以外の企業・団体）」が16.2%となっている。「保育未就業者」では、「一般企業や団体（「保育や子どもに関連する企業・団体」以外の企業・団体）」が31.2%でもっとも割合が高く、次いで「上記のいずれもあてはまらない」が29.9%となっている。

図表 4-13 現在の仕事：単数回答（SC7）



注) 「上記のいずれもあてはまらない」の割合が3割強を占めるが、「一般企業や団体（「保育や子どもに関連する企業・団体」以外の企業・団体）」などに該当する方が同選択肢に回答している可能性も考えられる。

<数値表>

	合計	SC7. 現在の仕事についてお答えください。						
		幼稚園教諭	小学校教諭	その他教諭	子育て支援員	保育補助者	放課後児童支援員(補助員を含む)	子ども向けの塾や習い事の講師
全体	1,181 100.0	100 8.5	41 3.5	23 1.9	15 1.3	17 1.4	48 4.1	23 1.9
保育離職者	710 100.0	83 11.7	27 3.8	11 1.5	11 1.5	14 2.0	28 3.9	10 1.4
保育未就業者	471 100.0	17 3.6	14 3.0	12 2.5	4 0.8	3 0.6	20 4.2	13 2.8

	合計	SC7. 現在の仕事についてお答えください。					
		保育士・教員以外の福祉・教育関係の専門職(社会福祉士、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等)	保育士・教員及び福祉・教育関係の専門職(社会福祉士、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等)以外の公務員	一般企業や団体(保育やこどもに関連する企業・団体)	一般企業や団体(「保育やこどもに関連する企業・団体」以外の企業・団体)	その他こどもに関わる職業	上記のいずれもあてはまらない
全体	1,181 100.0	110 9.3	52 4.4	67 5.7	262 22.2	52 4.4	371 31.4
保育離職者	710 100.0	64 9.0	36 5.1	48 6.8	115 16.2	33 4.6	230 32.4
保育未就業者	471 100.0	46 9.8	16 3.4	19 4.0	147 31.2	19 4.0	141 29.9

<その他福祉やこどもに関わる職業>※主な回答を抜粋

<p>■子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ベビーシッター。</li> <li>・ 保育運営関係。</li> <li>・ 保育園の事務員。</li> </ul> <p>■特別支援・療育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援員。</li> <li>・ 小学校生活介助員。</li> </ul> <p>■保健医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小児科医。</li> <li>・ 看護師。</li> </ul>
--

■行政

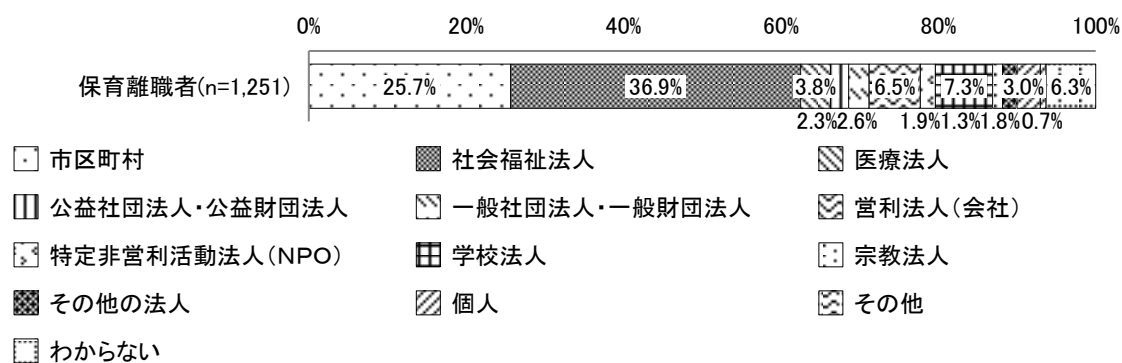
- ・ 地方自治体の相談員。
- ・ 市町村こども部局。

### 3. 保育士として働いた経験や過去に勤務した施設について

#### (1) 【保育離職者】過去に保育士として勤務していた施設の運営主体

過去に保育士として勤務していた施設の運営主体についてみると、「保育離職者」では、「社会福祉法人」が36.9%でもっとも割合が高く、次いで「市区町村」が25.7%となっている。

図表 4-14 過去に保育士として勤務していた施設の運営主体：単数回答（問12）



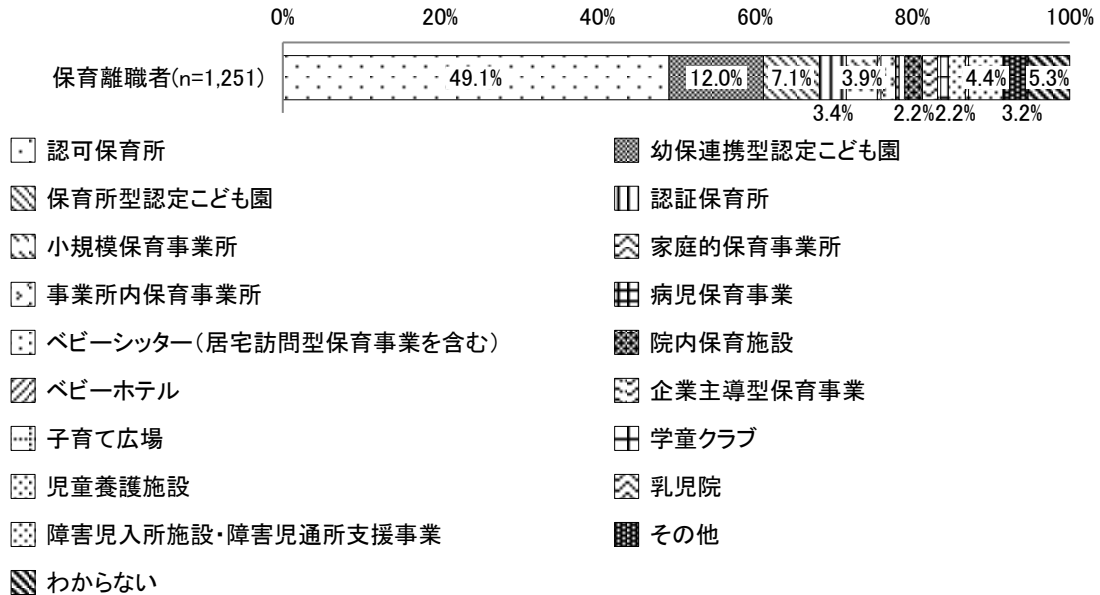
<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

- ・ 合同会社。
- ・ 社会福祉法人と学校法人。

(2) 【保育離職者】過去に保育士として勤務していた施設の種別

過去に保育士として勤務していた施設の種別についてみると、「保育離職者」では、「認可保育所」が 49.1%でもっとも割合が高く、次いで「幼保連携型認定こども園」が 12.0%となっている。

図表 4-15 過去に保育士として勤務していた施設の種別：単数回答（問13）



<数値表>

	合計	問13. 過去に保育士として勤務していた施設の種別									
		認可保育所	幼保連携型認定こども園	保育所型認定こども園	認証保育所	小規模保育事業所	家庭的保育事業所	事業所内保育事業所	病児保育事業	ベビーシッター(居宅訪問型保育事業を含む)	院内保育施設
保育離職者	1,251	614	150	89	43	49	6	23	6	9	27
	100.0	49.1	12.0	7.1	3.4	3.9	0.5	1.8	0.5	0.7	2.2

	合計	問13. 過去に保育士として勤務していた施設の種別								
		ベビーホテル	企業主導型保育事業	子育て広場	学童クラブ	児童養護施設	乳児院	障害児入所施設・障害児通所支援事業	その他	わからない
保育離職者	1,251	1	24	5	12	27	5	55	40	66
	100.0	0.1	1.9	0.4	1.0	2.2	0.4	4.4	3.2	5.3

<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

<p>■児童発達支援・放課後等デイサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援事業所。</li> <li>放課後等デイサービス。</li> </ul> <p>■子育て・家庭支援関連施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母子生活支援施設。</li> <li>子育て支援センター。</li> <li>児童相談所。</li> <li>児童館。</li> </ul> <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認可外保育所。</li> <li>インターナショナル幼保園。</li> <li>市役所。</li> </ul>
---

(3) 【保育離職者】過去に保育士として勤務していた施設の所在地域

過去に保育士として勤務していた施設の所在地域については、以下のとおりとなっている。

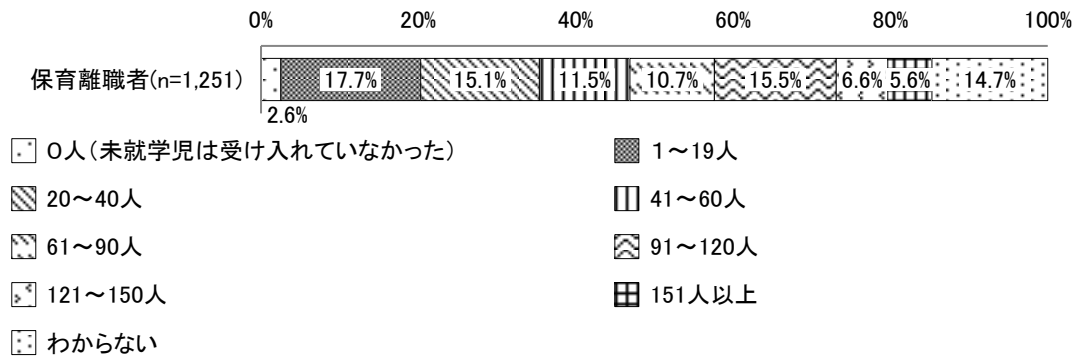
図表 4-16 過去の勤務施設の所在地域：単数回答（問14）

	合計	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
n	1,251	79	9	10	17	6	13	17	32	30	31
%	100.0	6.3	0.7	0.8	1.4	0.5	1.0	1.4	2.6	2.4	2.5
	合計	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県
n	1,251	39	47	156	107	22	11	12	2	8	9
%	100.0	3.1	3.8	12.5	8.6	1.8	0.9	1.0	0.2	0.6	0.7
	合計	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
n	1,251	20	27	75	16	19	22	74	68	14	3
%	100.0	1.6	2.2	6.0	1.3	1.5	1.8	5.9	5.4	1.1	0.2
	合計	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
n	1,251	14	12	22	27	8	8	3	12	5	63
%	100.0	1.1	1.0	1.8	2.2	0.6	0.6	0.2	1.0	0.4	5.0
	合計	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県			
n	1,251	4	10	13	7	6	10	32			
%	100.0	0.3	0.8	1.0	0.6	0.5	0.8	2.6			

(4) 【保育離職者】過去に保育士として勤務していた施設の未就学児の定員規模

過去に保育士として勤務していた施設の未就学児の定員規模についてみると、「保育離職者」では、「1～19人」が17.7%でもっとも割合が高く、次いで「91～120人」が15.5%となっている。

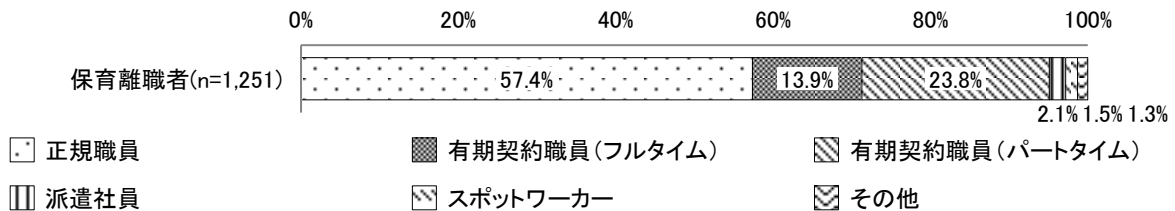
図表 4-17 過去に保育士として勤務していた施設の未就学児の定員規模：単数回答（問15）



(5) 【保育離職者】過去に保育士として勤務していた施設での雇用形態

過去に保育士として勤務していた施設での雇用形態についてみると、「保育離職者」では、「正規職員」が57.4%でもっとも割合が高く、次いで「有期契約職員（パートタイム）」が23.8%となっている。

図表 4-18 過去に保育士として勤務していた施設での雇用形態：単数回答（問16）



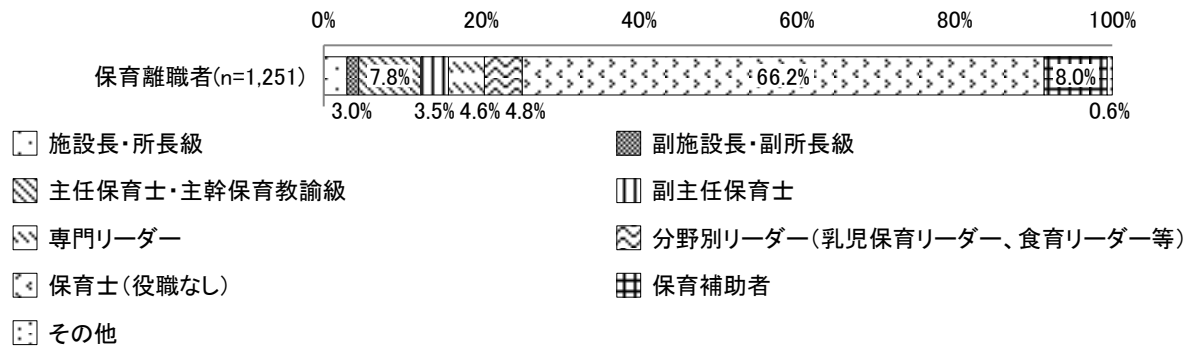
<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

- ・ 臨時職員。
- ・ 契約社員。
- ・ 自営。
- ・ 宿直のみ。

(6) 【保育離職者】過去に保育士として勤務していた施設での役職

過去に保育士として勤務していた施設での役職についてみると、「保育離職者」では、「保育士(役職なし)」が66.2%でもっとも割合が高く、次いで「保育補助者」が8.0%となっている。

図表 4-19 過去に保育士として勤務していた施設での役職：単数回答（問17）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

- ・ 施設責任者。
- ・ クラスリーダー。
- ・ 児童指導員。

(7) 【保育離職者】過去に勤務した施設（直近）における勤続年数

過去に勤務した施設（直近）における勤続年数についてみると、「保育離職者」では、「1年以上3年未満」が29.0%でもっとも割合が高く、次いで「3年以上5年未満」が19.8%となっている。

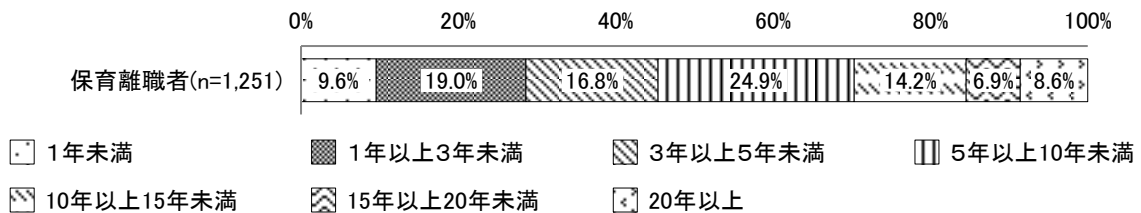
図表 4-20 過去に勤務した施設（直近）における勤続年数：単数回答（問6\_1）



(8) 【保育離職者】保育士通算の経験年数

保育士通算の経験年数についてみると、「保育離職者」では、「5年以上10年未満」が24.9%でもっとも割合が高く、次いで「1年以上3年未満」が19.0%となっている。

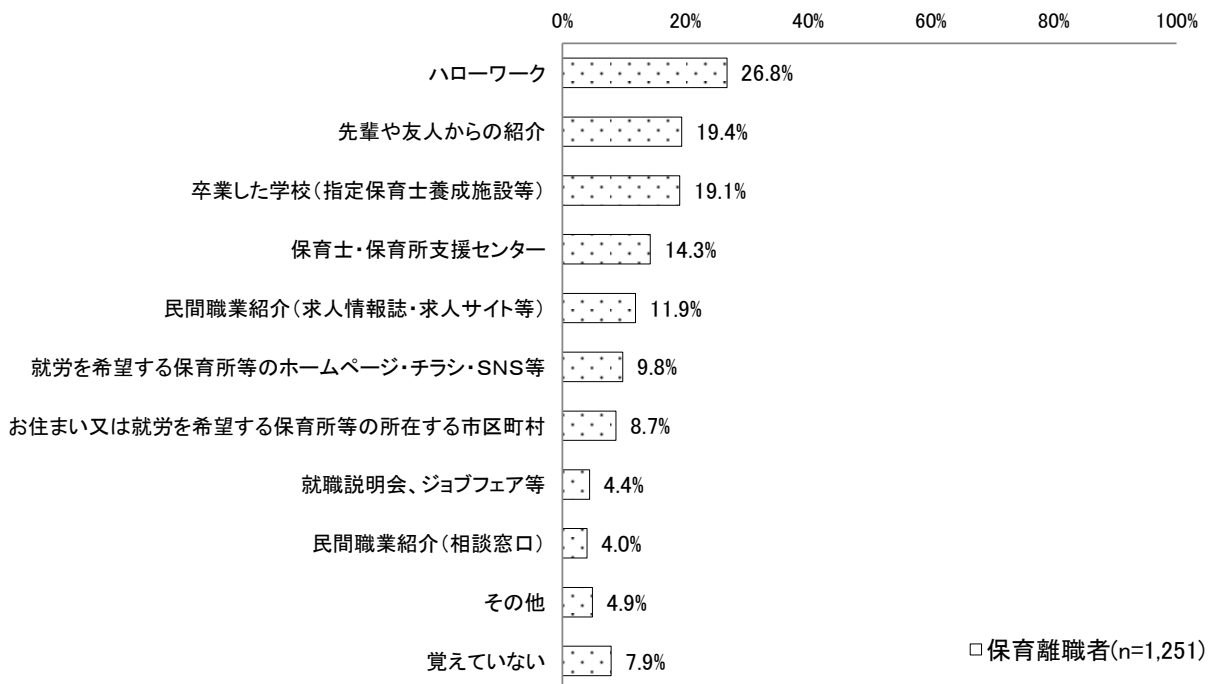
図表 4-21 保育士通算の経験年数：単数回答（問6\_2）



(9) 【保育離職者】直近の施設に就職時に情報を活用した媒体

直近の施設に就職時に情報を活用した媒体についてみると、「保育離職者」では、「ハローワーク」が26.8%でもっとも割合が高く、次いで「先輩や友人からの紹介」が19.4%となっている。

図表 4-22 直近の施設に就職時に情報を活用した媒体：複数回答（問7）



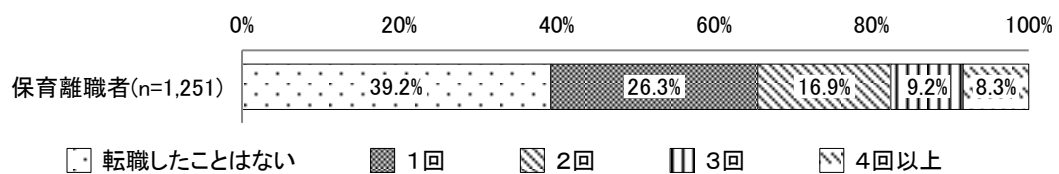
<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

- 知人・親族からの紹介
  - ・ 知り合いの紹介。
  - ・ 園長に誘われて。
  - ・ 親族の紹介。
  
- 広報・広告等
  - ・ 新聞広告。
  - ・ 市報。
  - ・ 保育園入口に募集の貼り紙があった。
  
- 同一施設の他部署、実習先等
  - ・ 同じ法人内の発達障害児部門。
  - ・ 以前違う立場で同施設で働いていた。
  - ・ 実習先。
  
- その他
  - ・ 直接応募した。
  - ・ ネット情報。

(10) 【保育離職者】保育関係の転職回数（保育士以外の仕事への転職は除く）

保育関係の転職回数についてみると、「保育離職者」では、「転職したことはない」が39.2%で最も割合が高く、次いで「1回」が26.3%となっている。

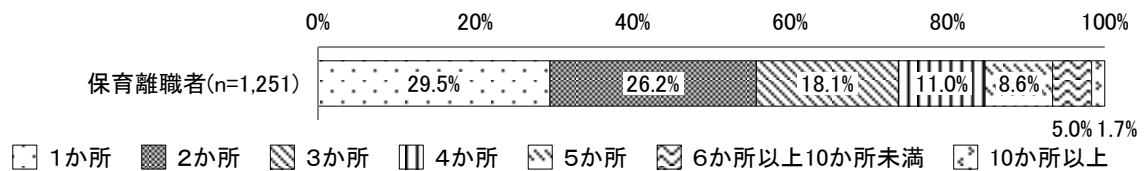
図表 4-23 保育関係の転職回数（保育士以外の仕事への転職は除く）：単数回答（問8）



(11) 【保育離職者】 これまでに保育士として勤務した施設数（同法人内や同自治体内で施設を異動した場合も箇所数に含む）

これまでに保育士として勤務した施設数についてみると、「保育離職者」では、「1か所」が29.5%でもっとも割合が高く、次いで「2か所」が26.2%となっている。

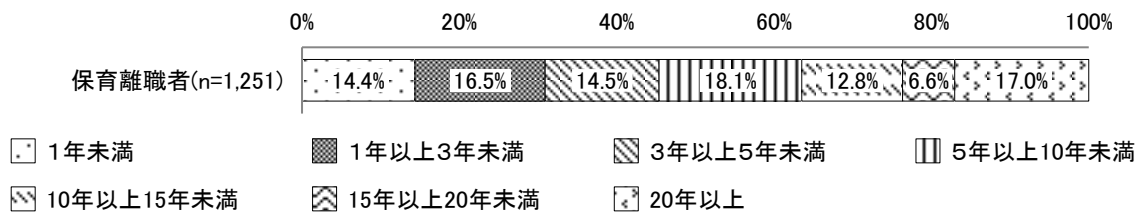
図表 4-24 これまでに保育士として勤務した施設数（同法人内や同自治体内で施設を異動した場合も箇所数に含む）：単数回答（問9）



(12) 【保育離職者】 保育士を辞めてからの年数

保育士を辞めてからの年数についてみると、「保育離職者」では、「5年以上10年未満」が18.1%でもっとも割合が高く、次いで「20年以上」が17.0%となっている。

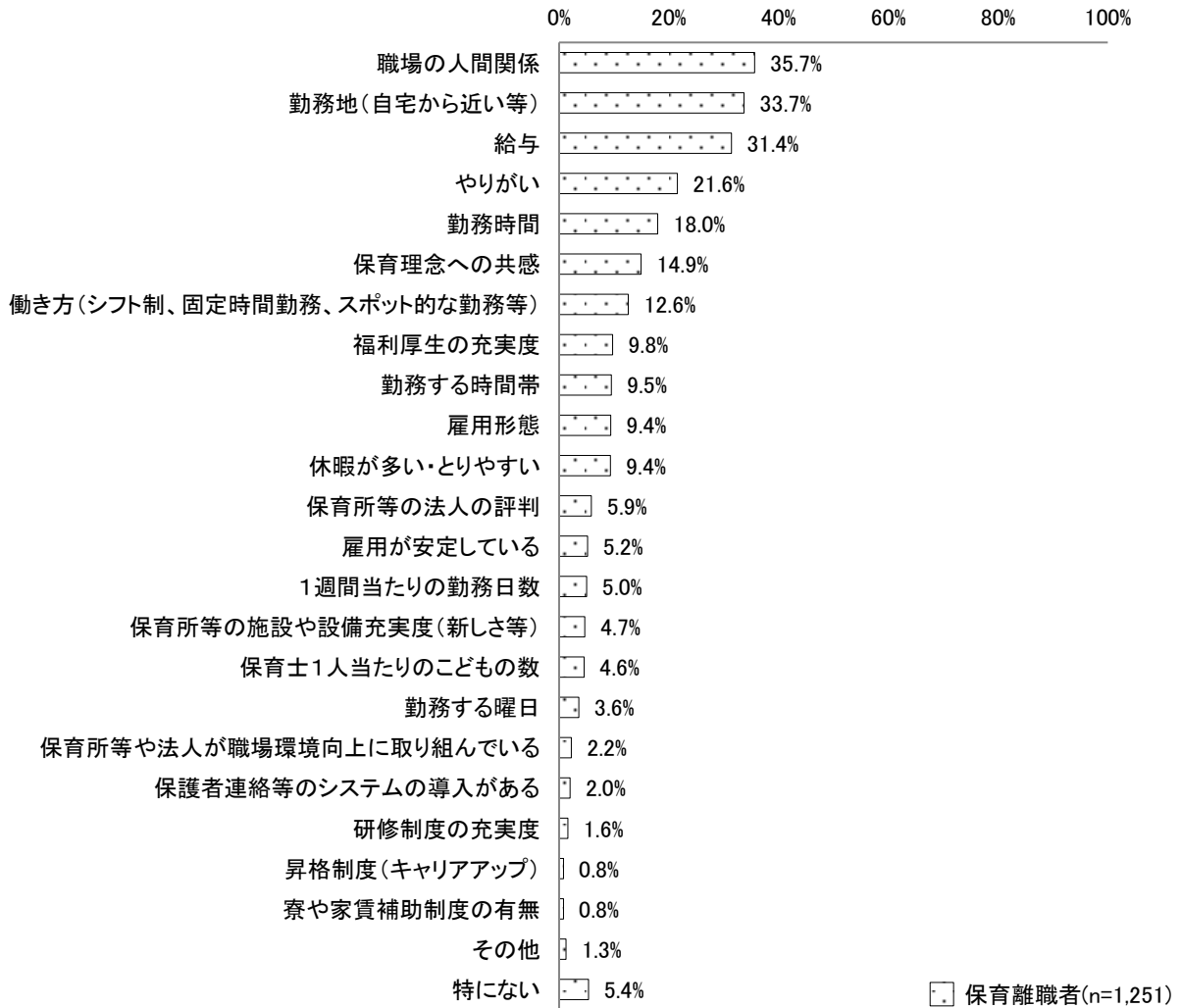
図表 4-25 保育士を辞めてからの年数：単数回答（問10）



(13) 【保育離職者】保育士として職場を選ぶ際に重視したこと

保育士として職場を選ぶ際に重視したことについてみると、「保育離職者」では、「職場の人間関係」が35.7%でもっとも割合が高く、次いで「勤務地（自宅から近い等）」が33.7%となっている。

図表 4-26 保育士として職場を選ぶ際に重視したこと：複数回答（問11）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■労働条件・待遇

- ・ 保育補助から募集していた。
- ・ 掃除の負担が少ない。
- ・ 年間休日数。

■職場環境

- ・ 職場のいじめ、保護者のクレームに対しての職場の方針。
- ・ 髪色や服装の自由。
- ・ こどもの急病等で欠席や早退に理解のある職場環境。

■その他

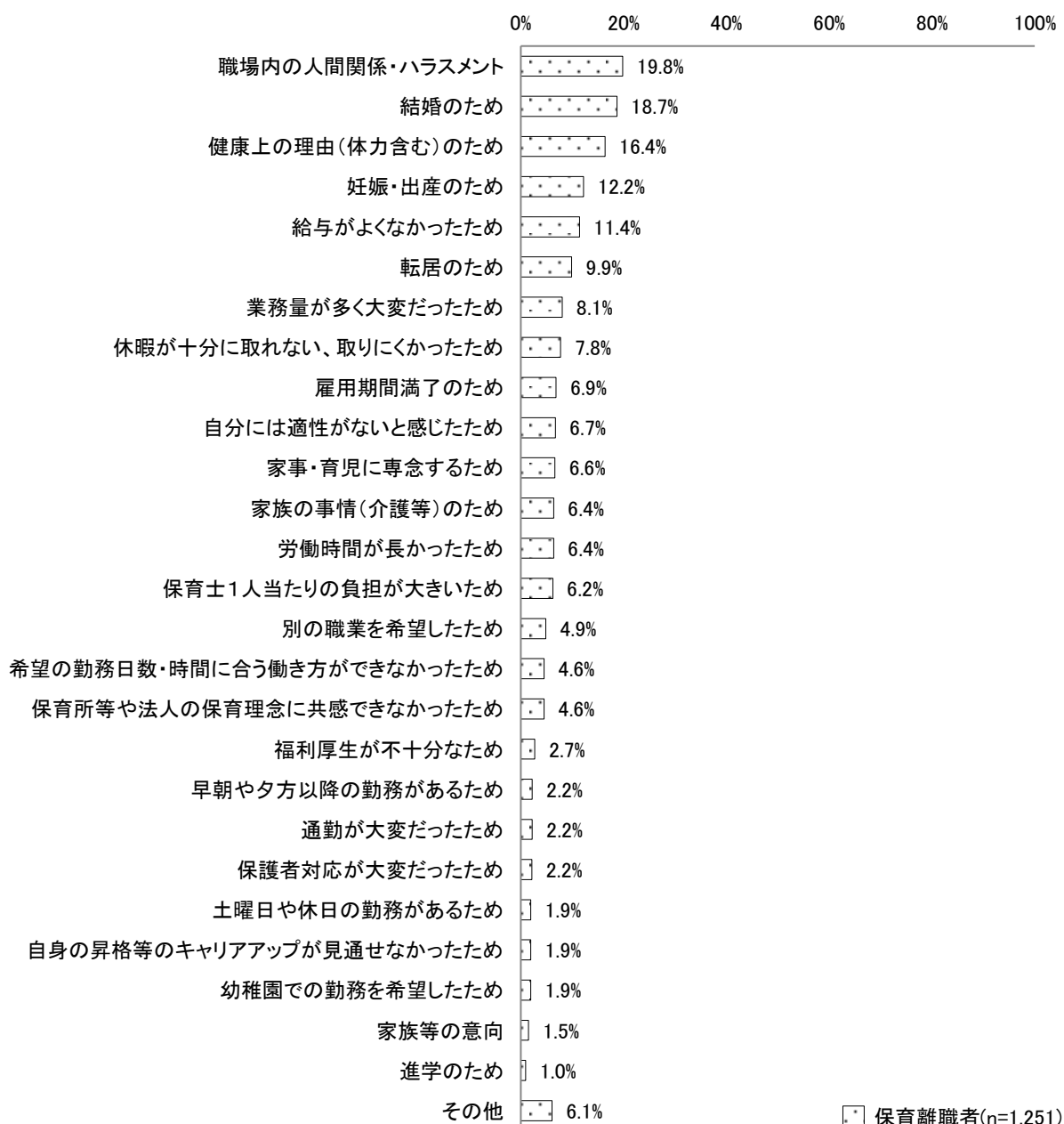
- ・ 就職氷河期で選べなかった。
- ・ 公務員なので選べない。

#### 4. 離職・働いていない理由や退職した施設の労働環境について

##### (1) 【保育離職者】保育士として就業していた保育所等を退職した理由

保育士として就業していた保育所等を退職した理由についてみると、「保育離職者」では、「職場内の人間関係・ハラスメント」が19.8%でもっとも割合が高く、次いで「結婚のため」が18.7%となっている。

図表 4-27 保育士として就業していた保育所等を退職した理由：複数回答（問18）



<別の職業を希望したための具体的回答>※主な回答を抜粋

■教育分野

- ・ 小学校教諭。
- ・ 教員。
- ・ 塾。

■福祉・介護分野

- ・ 学童保育支援員。
- ・ 放課後等デイサービス指導員。
- ・ 社会福祉士。
- ・ 介護職。

■一般企業、公務員

- ・ 事務職。
- ・ 会社員。
- ・ 公務員。

<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■閉園又は閉所のため

- ・ 保育所の閉園。
- ・ 運営法人が施設の休所を決定したため。
- ・ 倒産。

■パワーハラスメント

- ・ 園長のパワハラ。
- ・ 人手不足からの八つ当たりパワハラで休職に追い込まれました。
- ・ 園長の意向。

■保育環境

- ・ こどもの安全に対し不安が強くなったため。
- ・ 不衛生な園。
- ・ 元々いる保育者の対応がひどく心が痛むようになったため。

■施設の体制変換

- ・ 保育施設から学童保育に体制が変わったから。
- ・ 町の運営だった保育園が、民間のものとなり、雇用してもらえなかった。

■配置転換や役職変更

- ・ 職場からの要請で職種変更。

- ・ 保育所から本社へ異動のため。
- ・ 園長への昇職を断ったため。
- ・ 役職が変わったから。

■働き方

- ・ なぜ同じ仕事をしていても正職員のほうが給料が多いのだろうと疑問を感じたため。
- ・ 副業が禁止になったため。
- ・ 短期で臨時だったから。

■家庭の事情や個人的な事情

- ・ 不妊治療のため。
- ・ 離婚して移住のため。
- ・ 扶養から出てしまうので。

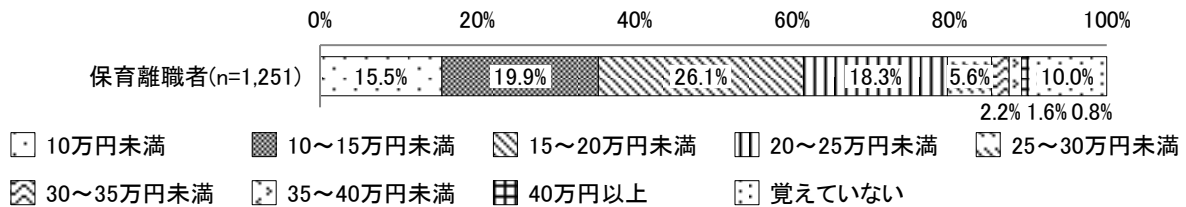
■その他

- ・ 幼稚園から就職してほしいと頼まれたから。
- ・ コロナで通園できなくなったから。
- ・ やりきった。
- ・ 留学。

(2) 【保育離職者】保育所等を退職した時の月給

保育所等を退職した時の月給についてみると、「保育離職者」では、「15～20万円未満」が26.1%でもっとも割合が高く、次いで「10～15万円未満」が19.9%となっている。

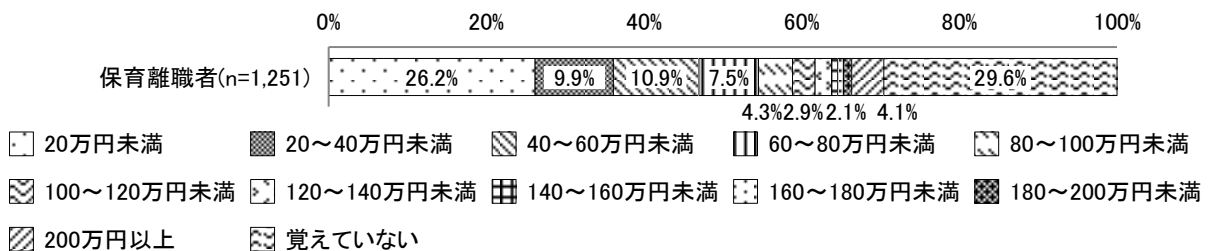
図表 4-28 保育所等を退職した時の月給：単数回答（問19）



(3) 【保育離職者】保育所等を退職した時の年間賞与

保育所等を退職した時の年間賞与についてみると、「保育離職者」では、「覚えていない」が29.6%でもっとも割合が高く、次いで「20万円未満」が26.2%となっている。

図表 4-29 保育所等を退職した時の年間賞与：単数回答（問20）



<数値表>

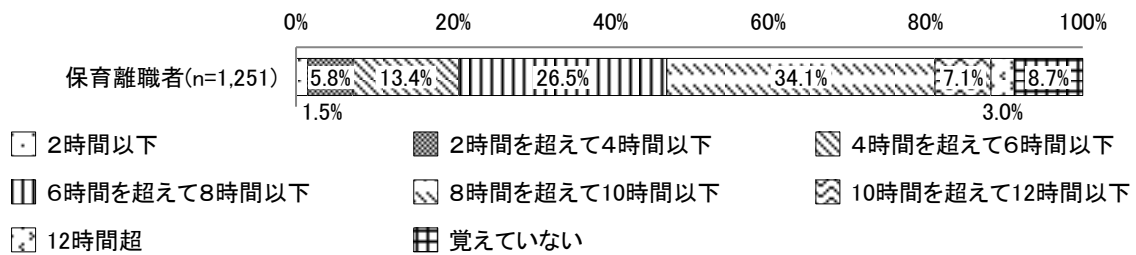
	合計	問20. 保育所等を退職した時の年間賞与					
		20万円未満	20～40万円未満	40～60万円未満	60～80万円未満	80～100万円未満	100～120万円未満
保育離職者	1,251	328	124	136	94	54	36
	100.0	26.2	9.9	10.9	7.5	4.3	2.9

	合計	問20. 保育所等を退職した時の年間賞与					
		120～140万円未満	140～160万円未満	160～180万円未満	180～200万円未満	200万円以上	覚えていない
保育離職者	1,251	26	10	9	13	51	370
	100.0	2.1	0.8	0.7	1.0	4.1	29.6

(4) 【保育離職者】保育所等を退職した際の1日当たりの平均的な勤務時間

保育所等を退職した際の1日当たりの平均的な勤務時間についてみると、「保育離職者」では、「8時間を超えて10時間以下」が34.1%でもっとも割合が高く、次いで「6時間を超えて8時間以下」が26.5%となっている。

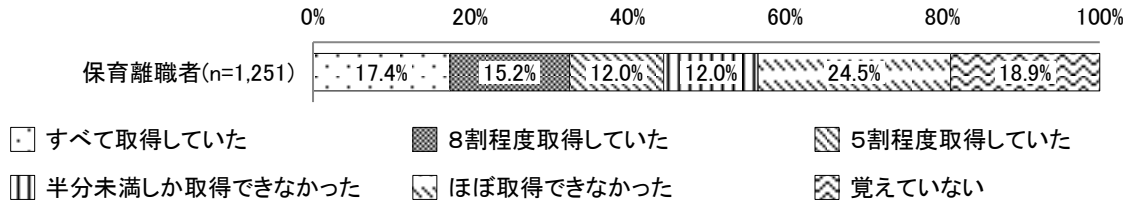
図表 4-30 保育所等を退職した際の1日当たりの平均的な勤務時間：単数回答（問21）



(5) 【保育離職者】過去に勤務していた保育所等における、年次有給休暇の取得状況

過去に勤務していた保育所等における、年次有給休暇の取得状況についてみると、「保育離職者」では、「ほぼ取得できなかった」が24.5%でもっとも割合が高く、次いで「覚えていない」が18.9%となっている。

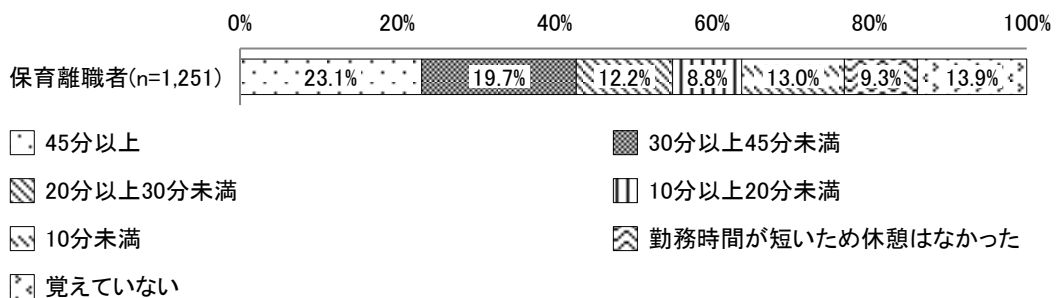
図表 4-31 過去に勤務していた保育所等における、年次有給休暇の取得状況：単数回答（問22）



(6) 【保育離職者】過去に勤務していた保育所等における、1日当たりの休憩時間

過去に勤務していた保育所等における、1日当たりの休憩時間についてみると、「保育離職者」では、「45分以上」が23.1%でもっとも割合が高く、次いで「30分以上45分未満」が19.7%となっている。

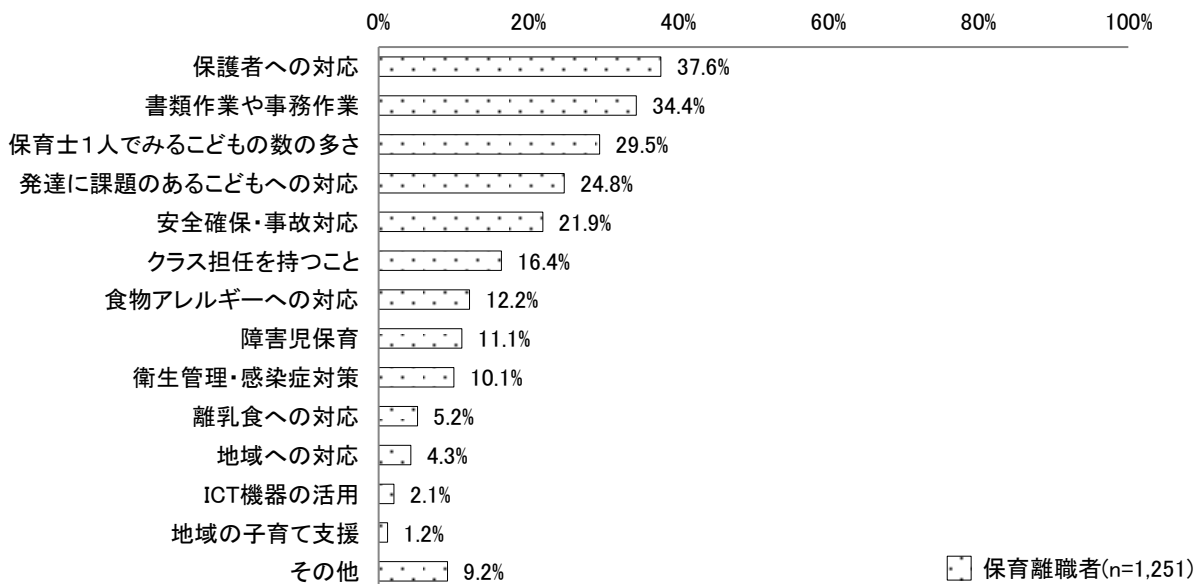
図表 4-32 過去に勤務していた保育所等における、1日当たりの休憩時間：単数回答（問23）



(7) 【保育離職者】過去に勤務していた保育所等で働く中で、負担感が大きかった業務

過去に勤務していた保育所等で働く中で、負担感が大きかった業務についてみると、「保育離職者」では、「保護者への対応」が 37.6%でもっとも割合が高く、次いで「書類作業や事務作業」が 34.4%となっている。

図表 4-33 過去に勤務していた保育所等で働く中で、負担感が大きかった業務：複数回答  
(問 24)



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■人間関係

- ・ 保育士間の人間関係。効率の悪い方や悪い対応に合わせないといけない。
- ・ 保育士同士の連携。女性ばかり 30 人以上スタッフがいて、いつも誰かが誰かの悪口ばかり言い合っていることに嫌気がさした。
- ・ 園長が職員をまとめきれず、職員の間人間関係が大変だった。

■上司や先輩保育士との関わり

- ・ 先輩保育士からの嫉妬。
- ・ 園長、理事長との関わり。
- ・ 園長の機嫌取り。

■行事の準備

- ・ 行事の計画・準備。
- ・ 運動会や発表会等の行事。
- ・ 行事の下見で出掛けたり、他園との交流の打ち合わせ等、園外での準備。

■仕事量や仕事内容

- ・ 仕事量が多すぎて家に帰っても仕事をしなくてはならないこと。

- ・ パートなのに書類があり時給 50 円アップで書いていた。
- ・ 年長だったのでお昼寝時間お便り帳を書くのに必死であった。

#### ■労働時間やシフトの不安定さ

- ・ 勤務時間が、安定していなかった。早朝や延長保育など、先に働いている職員の穴埋め要員としてシフトが組まれていたため、日によって時間数、時間帯がバラバラで予定がたてられなかったことでリズムがとりにくかった。
- ・ 泊まり込み、時間がない。
- ・ 中抜け時間があったので、拘束時間が長かった。

#### ■保育士以外の業務

- ・ 保育士としての業務以外を無理やり頼まれる。
- ・ 雑用として扱われること。
- ・ 掃除。

#### ■働き方

- ・ 保育士に休憩はない。
- ・ 夜の会議。
- ・ 施設への応援を簡単に頼まれること。

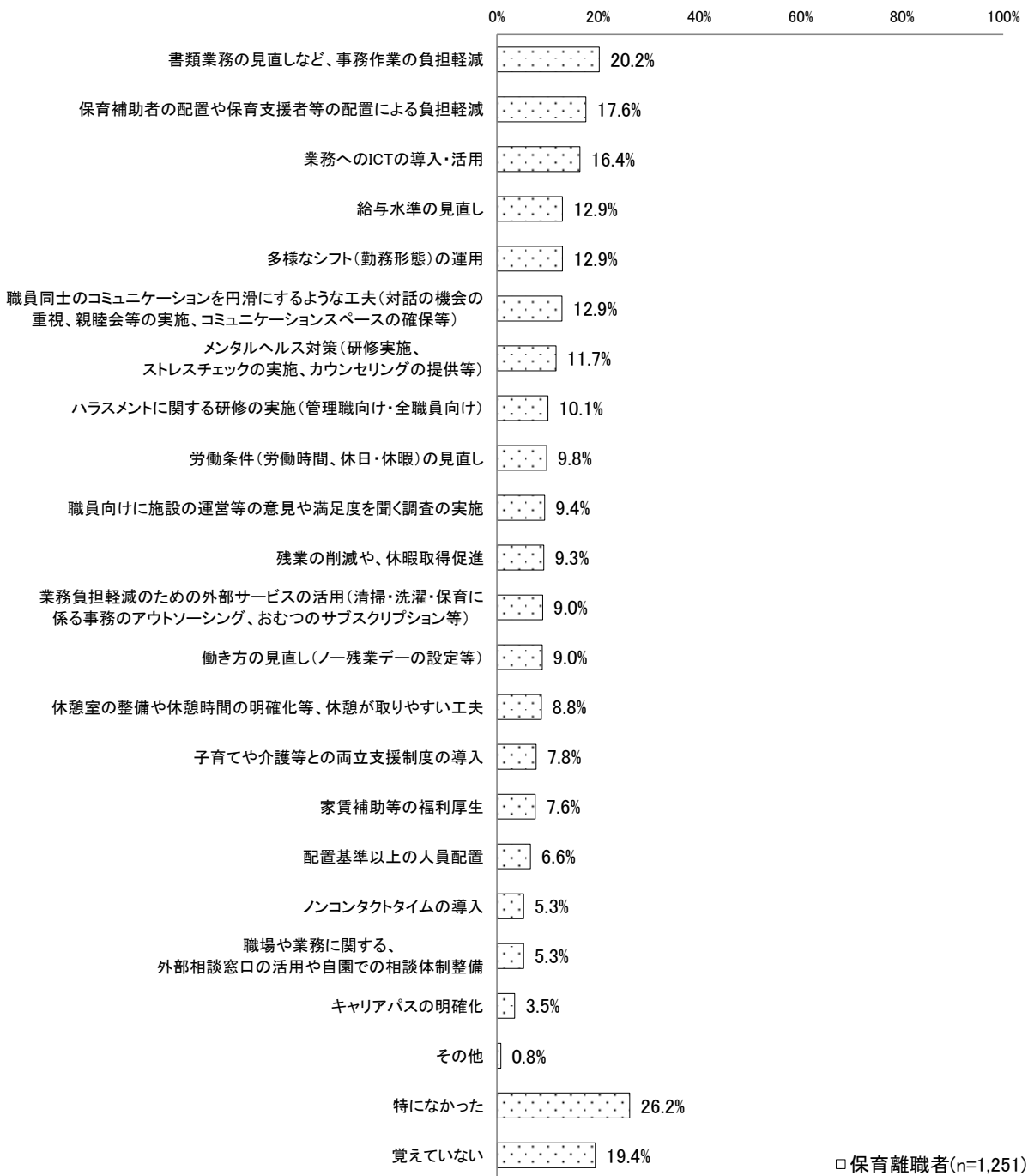
#### ■その他の業務負担

- ・ 炎天下でのプールや長時間の戸外遊び。
- ・ 立ち座りの頻繁な作業。
- ・ 手作り、こどもに合わせた遊びづくり。

(8) 【保育離職者】過去に勤務していた保育所等における、職場環境改善のための取組実施状況

過去に勤務していた保育所等における、職場環境改善のための取組実施状況についてみると、「保育離職者」では、「特になかった」が26.2%でもっとも割合が高く、次いで「書類業務の見直しなど、事務作業の負担軽減」が20.2%となっている。

図表 4-34 過去に勤務していた保育所等における、職場環境改善のための取組実施状況：複数回答  
(問 25)



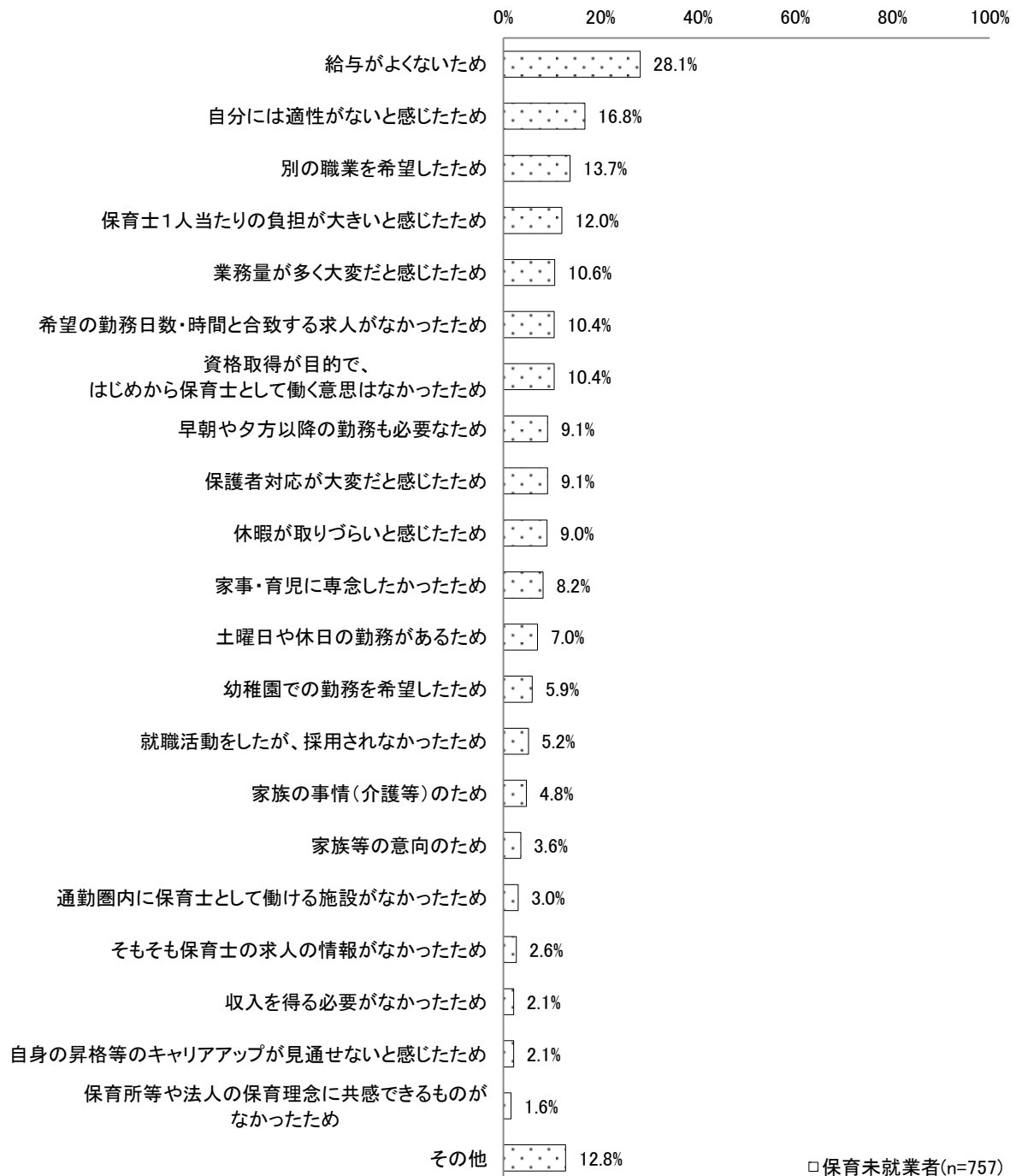
<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

- ・ やろうとする姿はあったがやれていない。
- ・ 上司からの聞き取り。

(9) 【保育未就業者】保育士として働かなかった理由

保育士として働かなかった理由についてみると、「給与がよくないため」が28.1%でもっとも割合が高く、次いで「自分には適性がないと感じたため」が16.8%となっている。

図表 4-35 保育士として働かなかった理由：複数回答（問26）



<別の職業を希望したための具体的回答>※主な回答を抜粋

■教育分野

- ・ 小学校教諭。
- ・ 教員。
- ・ 教員業務支援員。
- ・ 習い事講師。

■福祉分野

- ・ 放課後児童支援員。
- ・ 福祉関係団体職員。
- ・ 障害者福祉施設。
- ・ ベビーシッター。

■介護・保健医療分野

- ・ 介護福祉士。
- ・ 看護師。
- ・ 保健師として働きたかったため。

■一般企業、公務員

- ・ 事務職。
- ・ 一般企業。
- ・ 公務員。

<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■体調不良や病気のため

- ・ 病気療養中のため。
- ・ 体調を崩したため。
- ・ 病気になってドクターストップされたため。

■他の職業に就いているため

- ・ 今の仕事が辞められない。
- ・ 別職種の正社員で勤務しているため（転職することになった場合の保険として取得したため）。
- ・ 現職を辞めてまでなる必要性を感じなかったため。

■勤務条件や働き方

- ・ 夜勤が無く、サービス残業があると会社に説明された。女性中心の職場環境で男女格差がある。
- ・ 自分のこどもの都合に合わせられないため。

- ・ 仕事のオンオフがなく、休日も業務用チャットが鳴りっぱなしで精神的に休まらないため。

#### ■家族の事情

- ・ 要介護の家族がおり、急な対応を要することがあり、影響のない仕事を要したため。
- ・ まだまだこどもに手がかかることと、現在の仕事がかかり融通が利くため子育てしやすいこともあり、なかなか転職に至らないため。
- ・ こどもができたため。

#### ■不安や自信の欠如

- ・ 働きたい意思はあるが、本当に働けるのか不安なため。
- ・ 保育士では、正規職員として働く自信がなかったのだ。
- ・ やったことがないので自信がない。

#### ■人間関係や職場環境への不安

- ・ 現役保育士の勤務態度があまりにも悪く、人間関係も最悪だった光景を実習で目にして、保育園で働きたくないと思った。
- ・ 研修で嫌な思いしかしなかった。
- ・ モンスターペアレントを知り、失望したから。

#### ■今後のための資格取得

- ・ 定年後、保育士としてチャレンジするため。
- ・ 小学校教諭を続けるに当たって、幼児期の発達について学びたかったから。また、定年後の働き口として考えていたから。
- ・ 現在の収入と同等の保育士求人がないため、定年後に保育士の仕事を考えているため。

#### ■希望に合う求人がなかった

- ・ 病後児保育をしたかったが、なかった。
- ・ 当初、公立保育園の採用枠がほとんどなかったため。
- ・ 保育所以外で保育士の資格を活かして働きたかったが、自分に合った職がなかった。

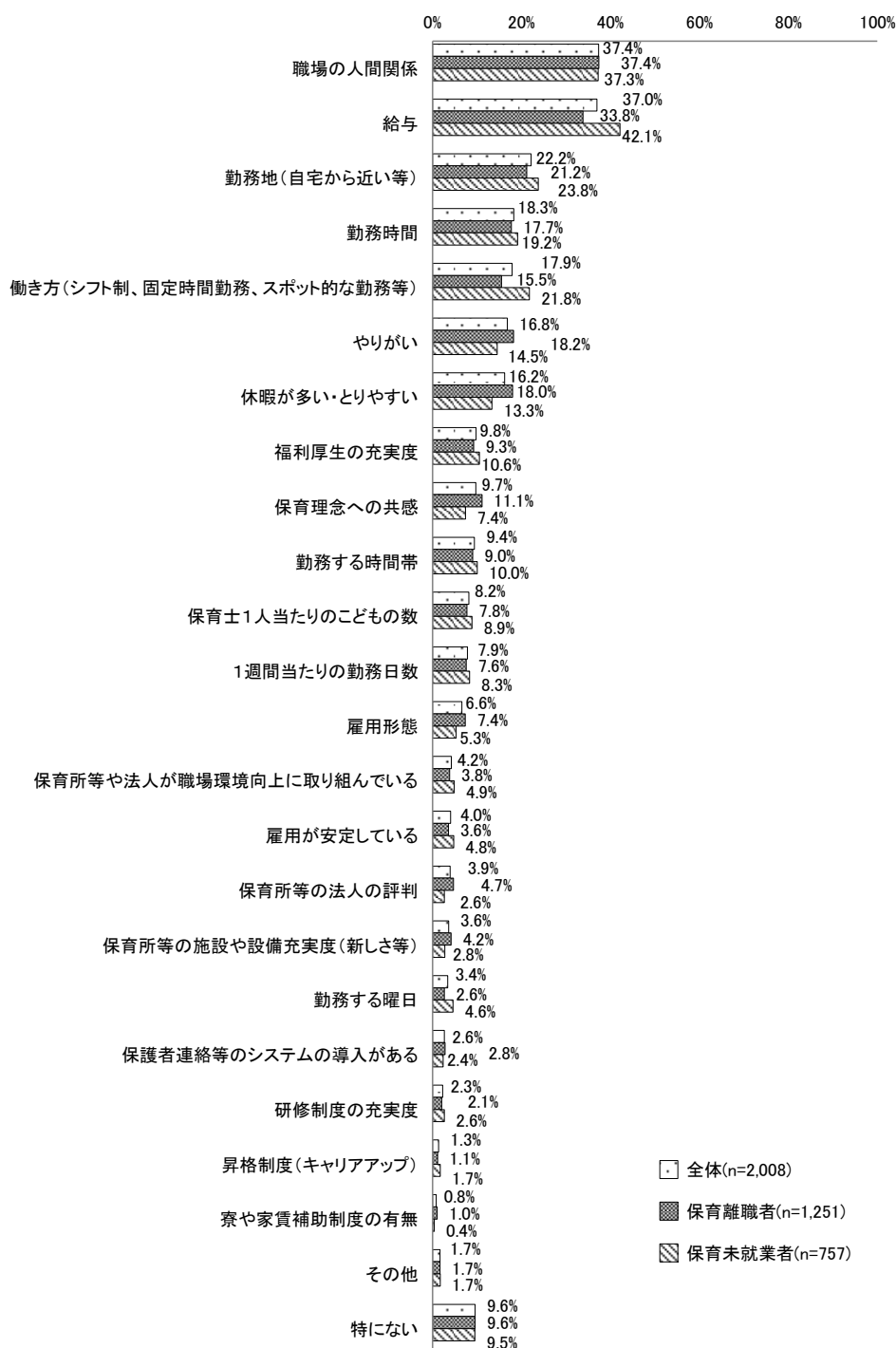
## 5. 今後保育士として働く際に求める条件等について

### (1) 【共通】今後、保育士として働く場合に重視すること

今後、保育士として働く場合に重視することについてみると、「全体」では、「職場の人間関係」が37.4%でもっとも割合が高く、次いで「給与」が37.0%となっている。

「保育離職者」では、「職場の人間関係」が37.4%でもっとも割合が高く、次いで「給与」が33.8%となっている。「保育未就業者」では、「給与」が42.1%でもっとも割合が高く、次いで「職場の人間関係」が37.3%となっている。

図表 4-36 今後、保育士として働く場合に重視すること：複数回答（問 27）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

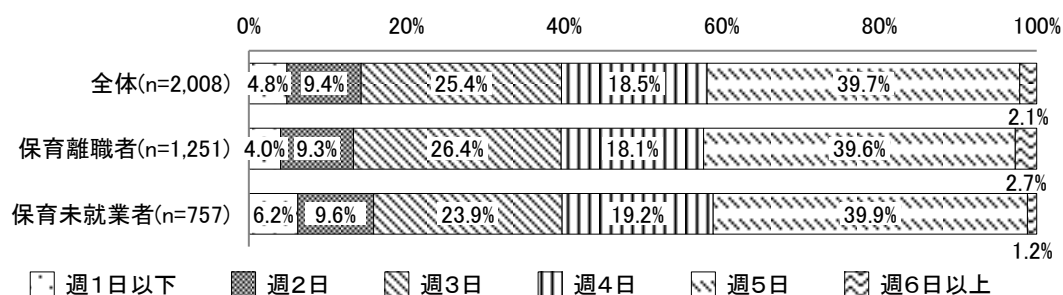
- 労働条件・待遇・働きやすさ
  - ・ 明確な就業規則があり、法令遵守している。
  - ・ 土日、祝日、お盆、年末年始がしっかり休み。
  - ・ 自分が妊娠している時期にも働きやすいか。
- 職場環境・働き方
  - ・ トラブル対応やハラスメント対策がしっかりしている。
  - ・ 担当するこどもの数を減らし、職員には適切な教育と研修を行い、冗長性があり無理のない施設運営をする。
  - ・ 多子家庭（未就学児）に理解のある職場。
- 安全・安心・こどもへの配慮
  - ・ 安全面の対応。
  - ・ 不適切保育をする人がいない環境。
- 保育士として働く意思がない
  - ・ 保育士としては働かない。
  - ・ 働くつもりはない。

(2) 【共通】今後、保育士として働く場合の希望／平均的な1週間の勤務日数

今後、保育士として働く場合、1週間の勤務日数の希望についてみると、「全体」では、「週5日」が39.7%でもっとも割合が高く、次いで「週3日」が25.4%となっている。

「保育離職者」では、「週5日」が39.6%でもっとも割合が高く、次いで「週3日」が26.4%となっている。「保育未就業者」では、「週5日」が39.9%でもっとも割合が高く、次いで「週3日」が23.9%となっている。

図表 4-37 今後、保育士として働く場合の希望／平均的な1週間の勤務日数：単数回答  
(問 28\_1)

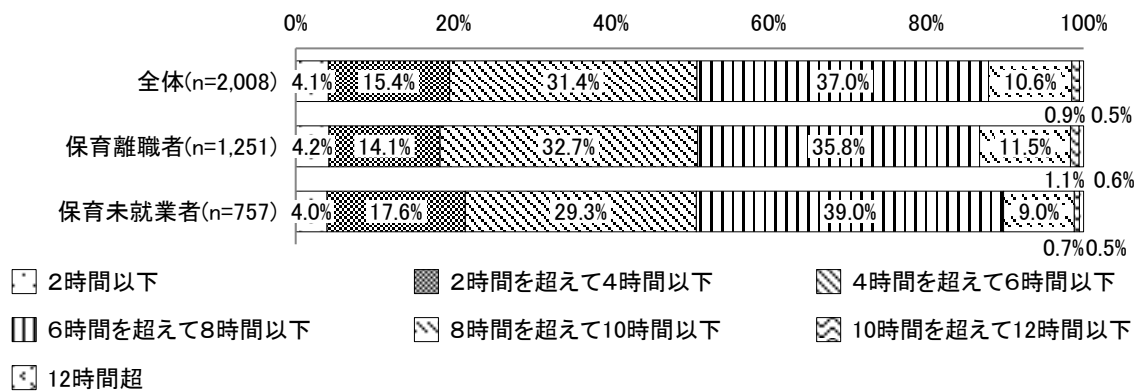


(3) 【共通】今後、保育士として働く場合の希望／平均的な1日の勤務時間

「全体」では、「6時間を超えて8時間以下」が37.0%でもっとも割合が高く、次いで「4時間を超えて6時間以下」が31.4%となっている。

「保育離職者」では、「6時間を超えて8時間以下」が35.8%でもっとも割合が高く、次いで「4時間を超えて6時間以下」が32.7%となっている。「保育未就業者」では、「6時間を超えて8時間以下」が39.0%でもっとも割合が高く、次いで「4時間を超えて6時間以下」が29.3%となっている。

図表 4-38 今後、保育士として働く場合の希望／平均的な1日の勤務時間：単数回答（問28\_2）

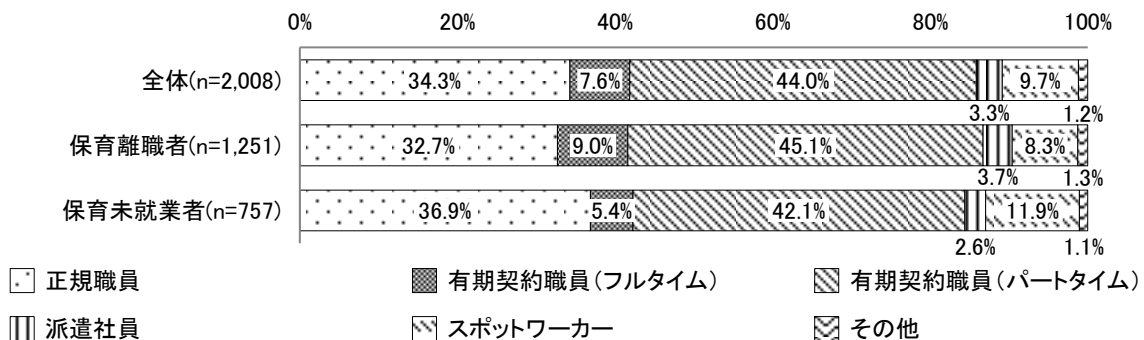


(4) 【共通】 今後、保育士として働く場合の希望／雇用形態

今後、保育士として働く場合、雇用形態の希望についてみると、「全体」では、「有期契約職員（パートタイム）」が44.0%でもっとも割合が高く、次いで「正規職員」が34.3%となっている。

「保育離職者」では、「有期契約職員（パートタイム）」が45.1%でもっとも割合が高く、次いで「正規職員」が32.7%となっている。「保育未就業者」では、「有期契約職員（パートタイム）」が42.1%でもっとも割合が高く、次いで「正規職員」が36.9%となっている。

図表 4-39 今後、保育士として働く場合の希望／雇用形態：単数回答（問 28\_3）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■限定的な働き方

- ・ 宿直のみ。
- ・ 働き始めはパート、環境が良かったりこどもが完全に手がかからなくなればフルタイムなども視野に入れるかもしれない。
- ・ 週に3日あるいは週に20時間になり、厚生年金に入れる週労働時間での無期雇用（可能なら）。

■その他の働き方

- ・ フリーランス。
- ・ 無期契約職員（パートタイム）。
- ・ ボランティアでもよい。

■希望しない・働く意思がない

- ・ 保育士として働く気持ちはない。
- ・ 改めて保育士として働くことはない。

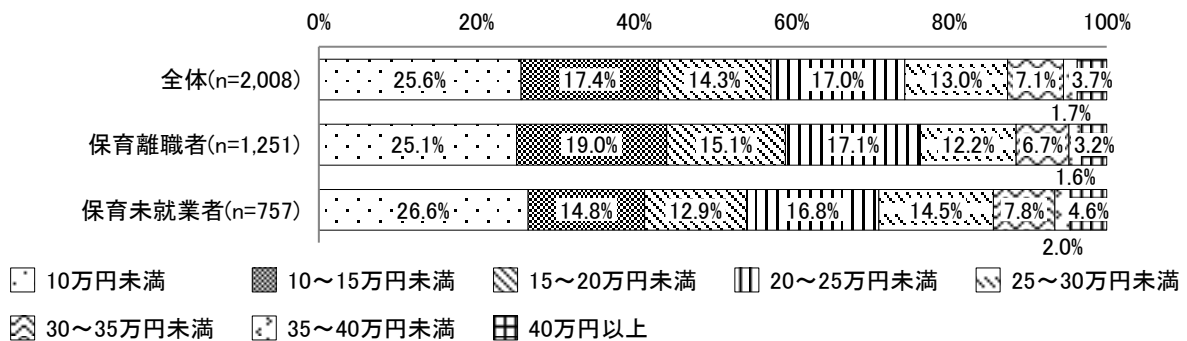
(5) 【共通】 今後、保育士として働く場合の希望／月給

今後、保育士として働く場合、月給の希望についてみると、「全体」では、「10万円未満」が25.6%でもっとも割合が高く、次いで「10～15万円未満」が17.4%となっている。

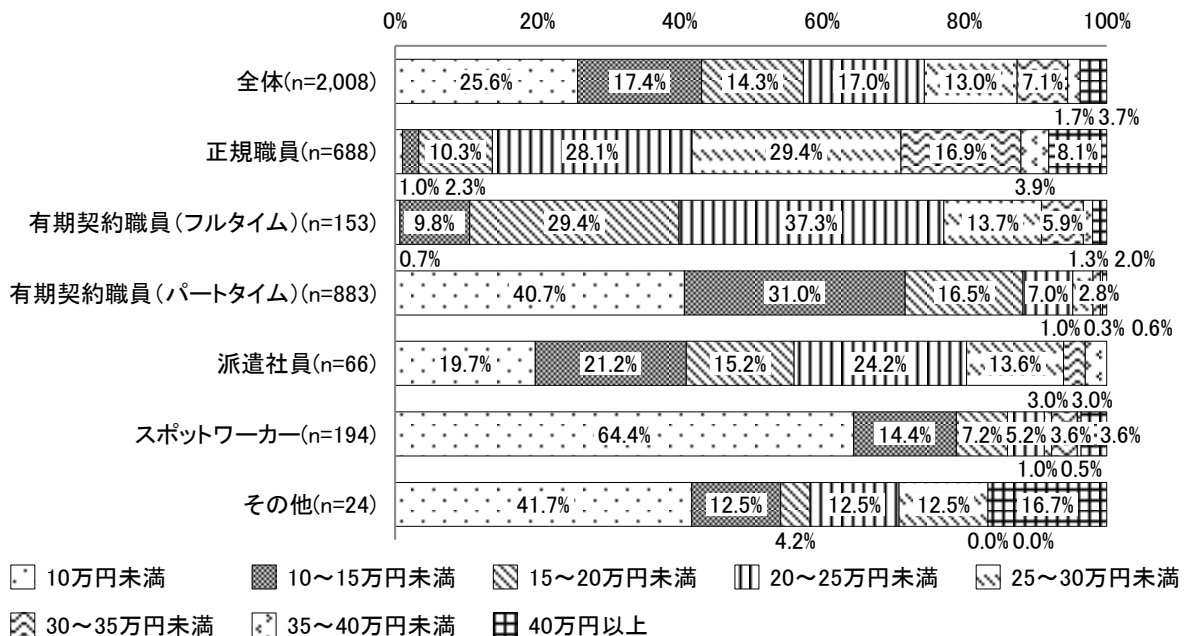
「保育離職者」では、「10万円未満」が25.1%でもっとも割合が高く、次いで「10～15万円未満」が19.0%となっている。「保育未就業者」では、「10万円未満」が26.6%でもっとも割合が高く、次いで「20～25万円未満」が16.8%となっている。

また、希望する雇用形態別にみると、「正規職員」では、「25～30万円未満」が29.4%、「20～25万円未満」が28.1%と、雇用形態によって大きく異なっている。

図表 4-40 今後、保育士として働く場合の希望／月給：単数回答（問 28\_4）



図表 4-41 希望する雇用形態別 今後、保育士として働く場合の希望／月給：単数回答（問 28\_4）



注) 「その他」はサンプルサイズが小さいため、参考値。

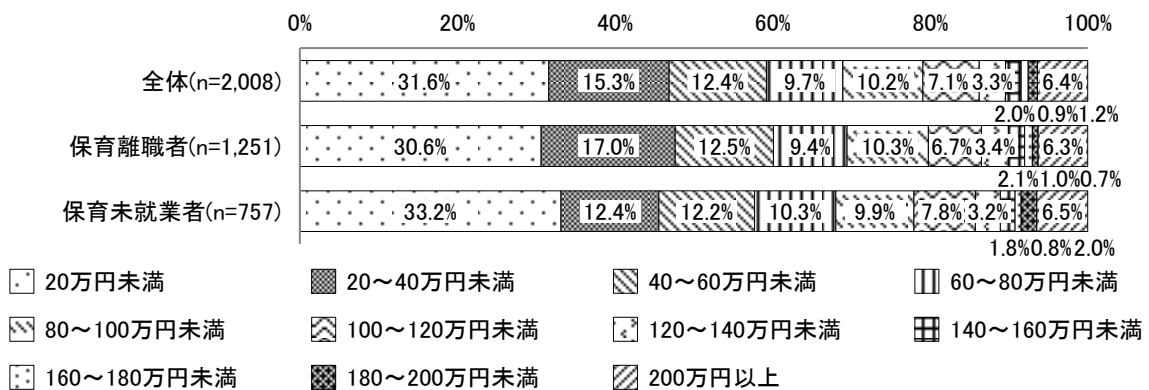
(6) 【共通】今後、保育士として働く場合の希望／年間賞与

今後、保育士として働く場合、年間賞与の希望についてみると、「全体」では、「20万円未満」が31.6%でもっとも割合が高く、次いで「20～40万円未満」が15.3%となっている。

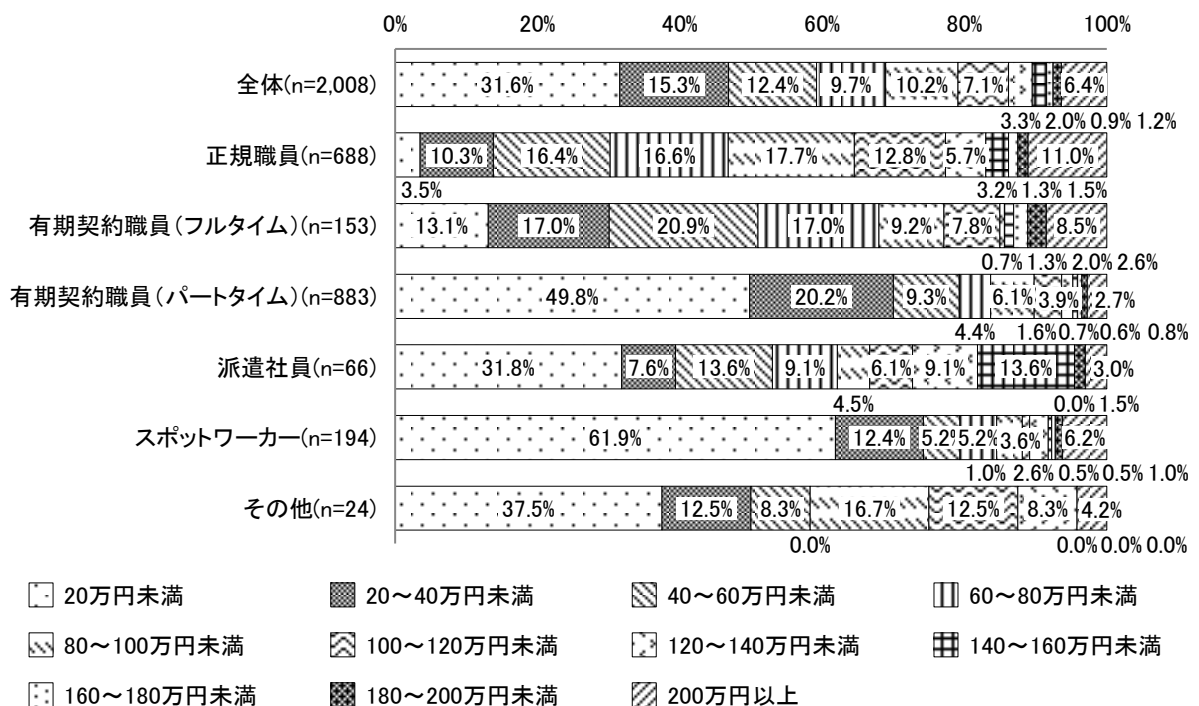
「保育離職者」では、「20万円未満」が30.6%でもっとも割合が高く、次いで「20～40万円未満」が17.0%となっている。「保育未就業者」では、「20万円未満」が33.2%でもっとも割合が高く、次いで「20～40万円未満」が12.4%となっている。

また、希望する雇用形態別にみると、「正規職員」では、「80～100万円未満」が17.7%、「60～80万円未満」が16.6%と、雇用形態によって大きく異なっている。

図表 4-42 今後、保育士として働く場合の希望／年間賞与：単数回答（問28\_5）



図表 4-43 希望する雇用形態別 今後、保育士として働く場合の希望／年間賞与：単数回答（問28\_5）



注) 「その他」はサンプルサイズが小さいため、参考値。

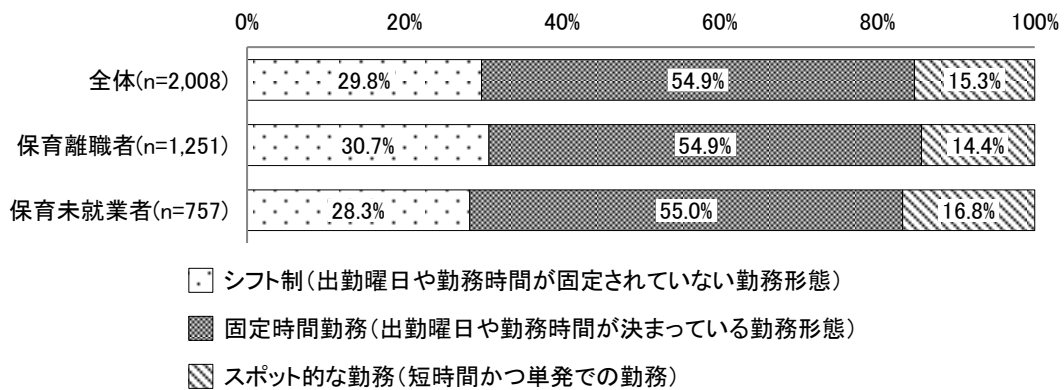
(7) 【共通】 今後、保育士として働く場合の希望／働き方

今後、保育士として働く場合、働き方の希望についてみると、「全体」では、「固定時間勤務（出勤曜日や勤務時間が決まっている勤務形態）」が 54.9%でもっとも割合が高く、次いで「シフト制（出勤曜日や勤務時間が固定されていない勤務形態）」が 29.8%となっている。

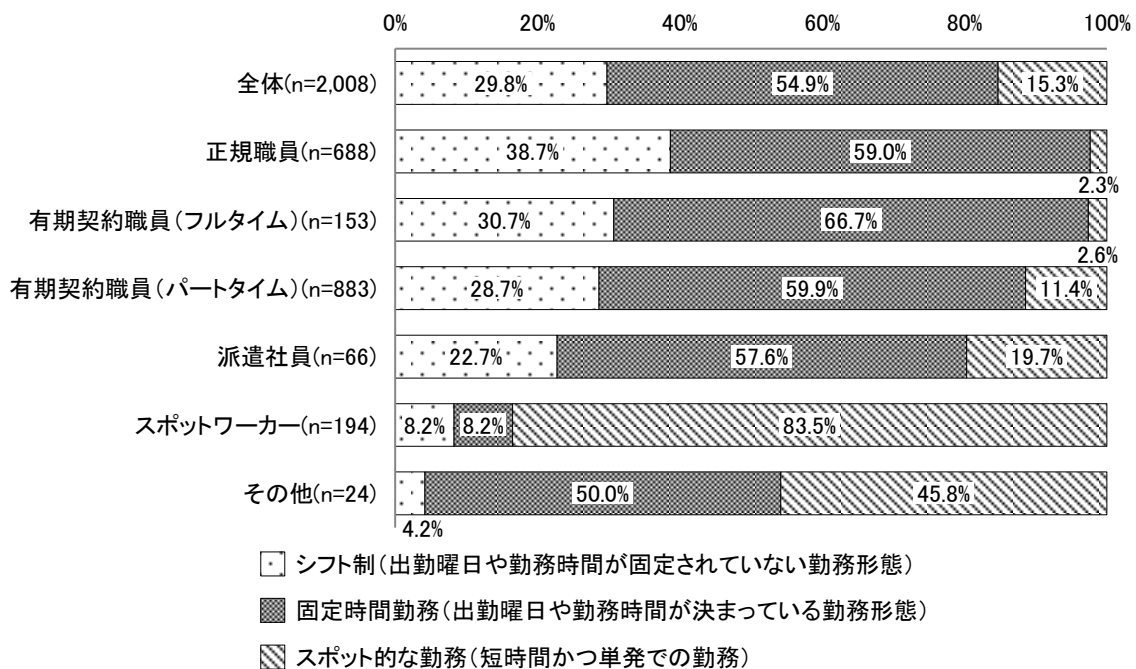
「保育離職者」では、「固定時間勤務（出勤曜日や勤務時間が決まっている勤務形態）」が 54.9%でもっとも割合が高く、次いで「シフト制（出勤曜日や勤務時間が固定されていない勤務形態）」が 30.7%となっている。「保育未就業者」では、「固定時間勤務（出勤曜日や勤務時間が決まっている勤務形態）」が 55.0%でもっとも割合が高く、次いで「シフト制（出勤曜日や勤務時間が固定されていない勤務形態）」が 28.3%となっている。

また、希望する雇用形態別にみると、「正規職員」では、他に比べて「シフト制（出勤曜日や勤務時間が固定されていない勤務形態）」の割合が高くなっている。

図表 4-44 今後、保育士として働く場合の希望／働き方：単数回答（問 28\_6）



図表 4-45 希望する雇用形態別 今後、保育士として働く場合の希望／働き方：単数回答（問 28\_6）



注) 「その他」はサンプルサイズが小さいため、参考値。

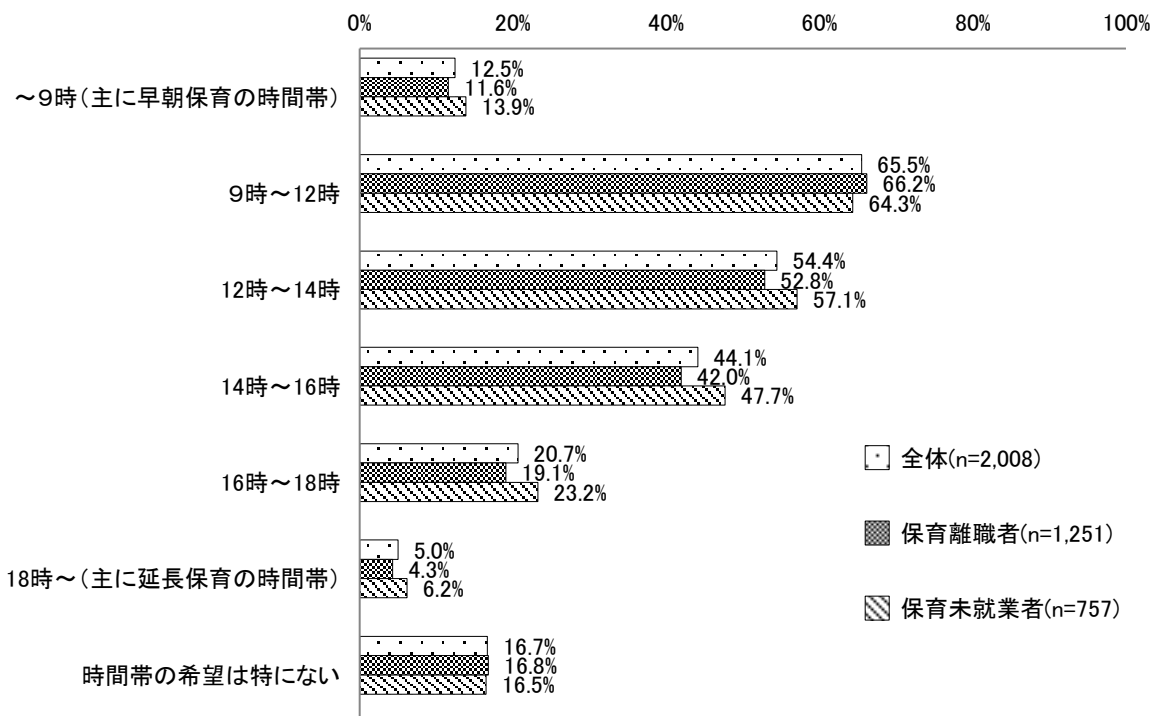
(8) 【共通】今後、保育士として働く場合の希望／働きたい時間帯

今後、保育士として働く場合、時間帯の希望についてみると、「全体」では、「9時～12時」が65.5%でもっとも割合が高く、次いで「12時～14時」が54.4%となっている。

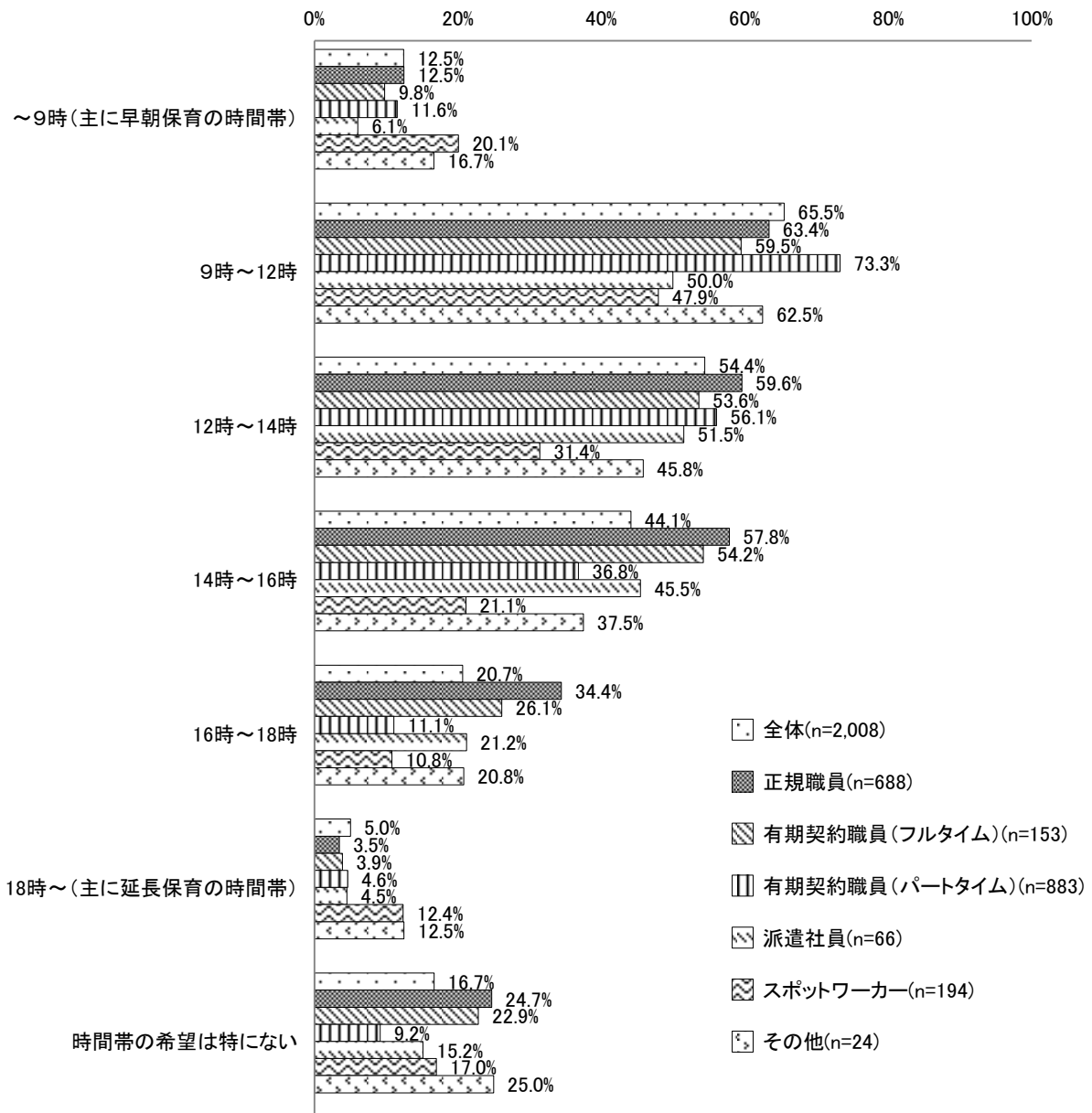
「保育離職者」では、「9時～12時」が66.2%でもっとも割合が高く、次いで「12時～14時」が52.8%となっている。「保育未就業者」では、「9時～12時」が64.3%でもっとも割合が高く、次いで「12時～14時」が57.1%となっている。

また、希望する雇用形態別にみると、「スポットワーカー」では、他に比べて「～9時（主に早朝保育の時間帯）」、「18時～（主に延長保育の時間帯）」の割合が高くなっている。

図表 4-46 今後、保育士として働く場合の希望／働きたい時間帯：複数回答（問 28\_7）



図表 4-47 希望する雇用形態別 今後、保育士として働く場合の希望／働きたい時間帯：複数回答  
(問 28\_7)



注) 「その他」はサンプルサイズが小さいため、参考値。

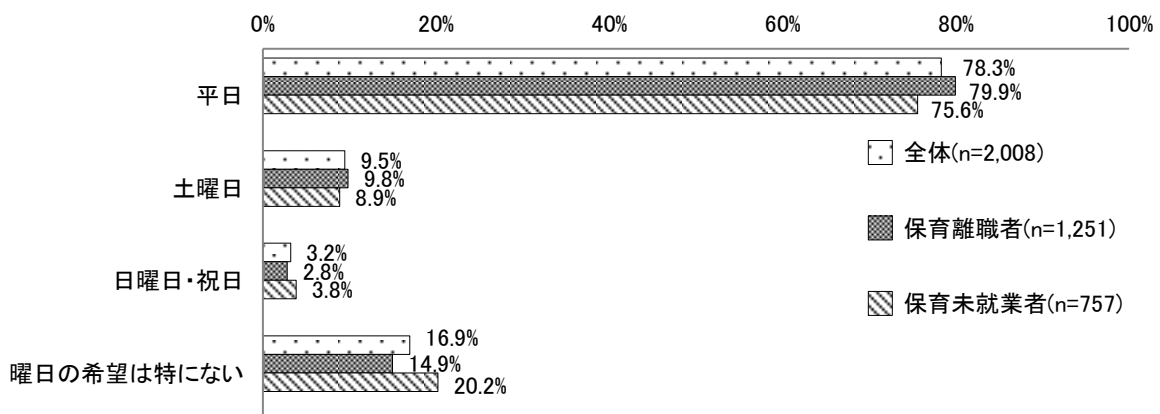
(9) 【共通】今後、保育士として働く場合の希望／働きたい曜日

今後、保育士として働く場合、曜日の希望についてみると、「全体」では、「平日」が78.3%でもっとも割合が高く、次いで「曜日の希望は特にない」が16.9%となっている。

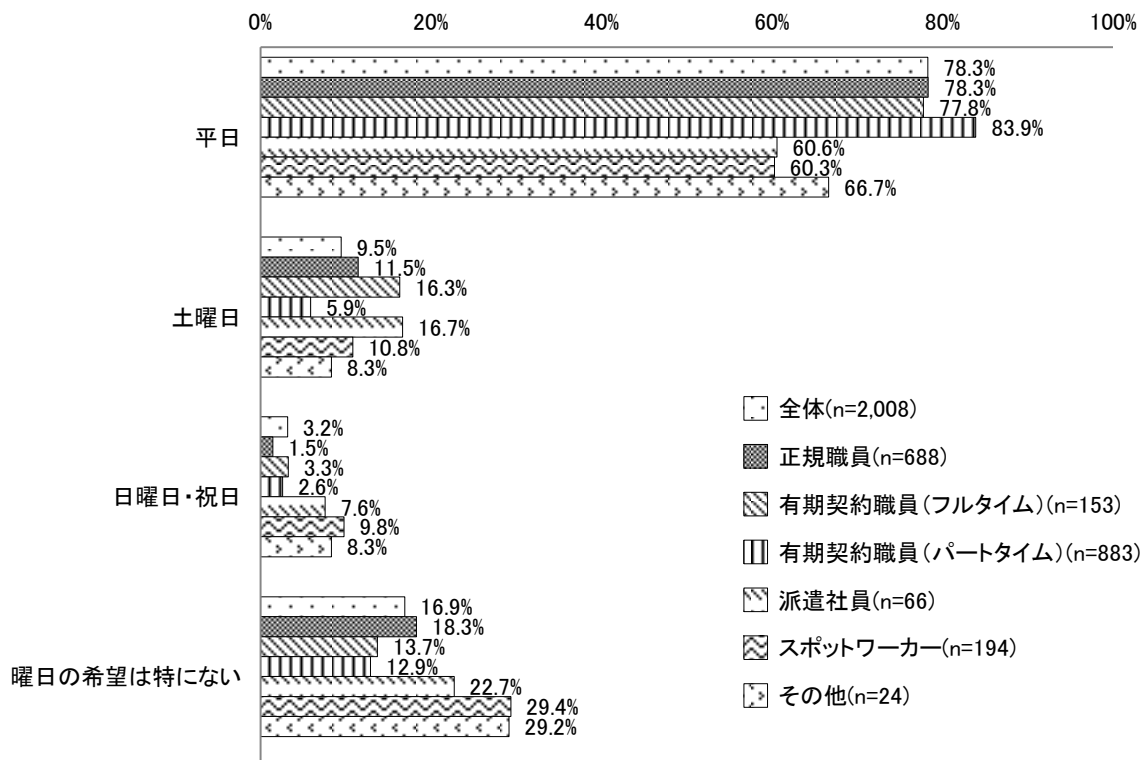
「保育離職者」では、「平日」が79.9%でもっとも割合が高く、次いで「曜日の希望は特にない」が14.9%となっている。「保育未就業者」では、「平日」が75.6%でもっとも割合が高く、次いで「曜日の希望は特にない」が20.2%となっている。

また、希望する雇用形態別にみると、「派遣社員」「スポットワーカー」では、他に比べて「曜日の希望は特にない」の割合が高くなっている。

図表 4-48 今後、保育士として働く場合の希望／働きたい曜日：複数回答（問 28\_8）



図表 4-49 希望する雇用形態別 今後、保育士として働く場合の希望／働きたい曜日：複数回答（問 28\_8）



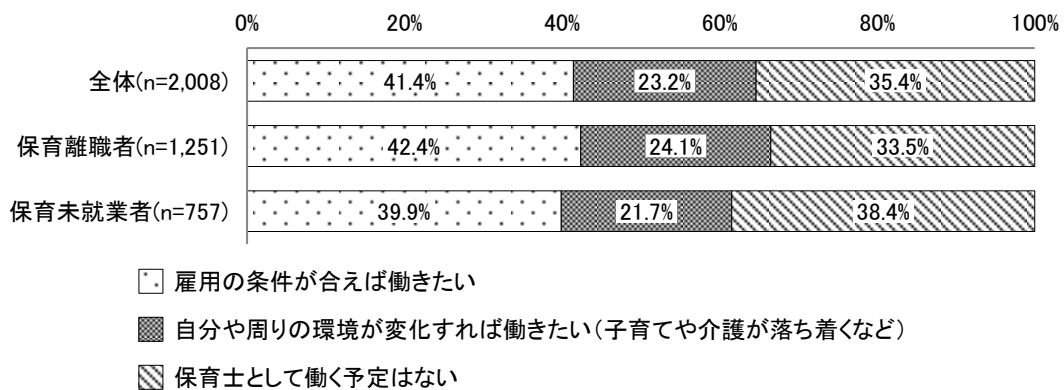
注) 「その他」はサンプルサイズが小さいため、参考値。

(10) 【共通】 今後、保育士として働く意向

今後、保育士として働く意向についてみると、「全体」では、「雇用の条件が合えば働きたい」が 41.4%でもっとも割合が高く、次いで「保育士として働く予定はない」が 35.4%となっている。

「保育離職者」では、「雇用の条件が合えば働きたい」が 42.4%でもっとも割合が高く、次いで「保育士として働く予定はない」が 33.5%となっている。「保育未就業者」では、「雇用の条件が合えば働きたい」が 39.9%でもっとも割合が高く、次いで「保育士として働く予定はない」が 38.4%となっている。

図表 4-50 今後、保育士として働く意向：単数回答（問 29）

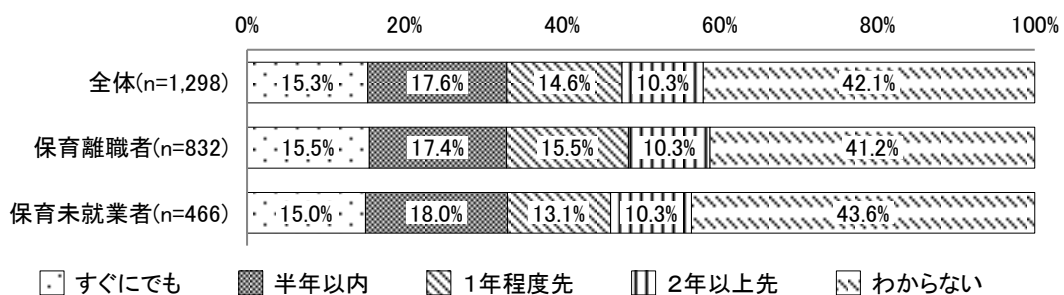


(11) 【共通】 保育士として働き始めたい時期

今後、保育士として働く意向（問 29）において、「雇用の条件が合えば働きたい」「自分や周りの環境が変化すれば働きたい（子育てや介護が落ち着くなど）」と回答した人について、保育士として働き始めたい時期についてみると、「全体」では、「わからない」が 42.1%でもっとも割合が高く、次いで「半年以内」が 17.6%となっている。

「保育離職者」では、「わからない」が 41.2%でもっとも割合が高く、次いで「半年以内」が 17.4%となっている。「保育未就業者」では、「わからない」が 43.6%でもっとも割合が高く、次いで「半年以内」が 18.0%となっている。

図表 4-51 保育士として働き始めたい時期：単数回答（問 30）

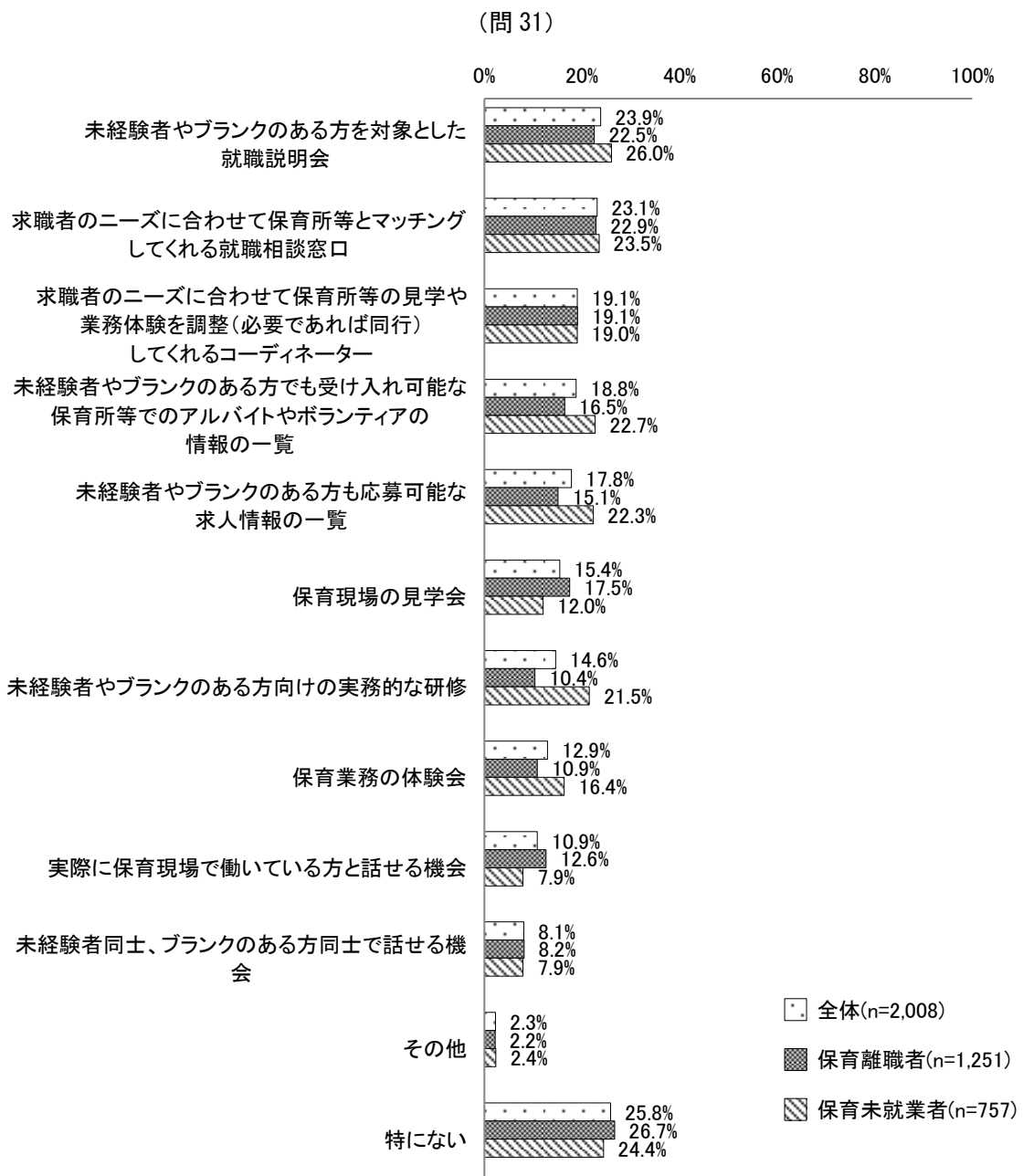


(12) 【共通】保育士への就職意向を高めるために、求職者向けにあるとよい取組

保育士への就職意向を高めるために、求職者向けにあるとよい取組についてみると、「全体」では、「特にない」が25.8%でもっとも割合が高く、次いで「未経験者やブランクのある方を対象とした就職説明会」が23.9%となっている。

「保育離職者」では、「特にない」が26.7%でもっとも割合が高く、次いで「求職者のニーズに合わせて保育所等とマッチングしてくれる就職相談窓口」が22.9%となっている。「保育未就業者」では、「未経験者やブランクのある方を対象とした就職説明会」が26.0%でもっとも割合が高く、次いで「特にない」が24.4%となっている。

図表 4-52 保育士への就職意向を高めるために、求職者向けにあるとよい取組：複数回答



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■給与の増額

- ・ 業務・責任が大きいのに給与がかなり低いことについて、改善策を講じている保育園等が分かること。
- ・ とにかく給料を上げないと保育士不足は解消されないと思う。
- ・ 給与を高くする必要がある。

■職場環境の改善

- ・ そもそも現場が過酷すぎるため、現場の改善が必要。
- ・ 新施設を設立するのではなく、今ある施設の現場調査や職場環境改善の取組について社会問題としてとらえ日本全体で取り組むべき。
- ・ 法令順守の徹底と厳しい罰則。サービス残業が横行し過ぎているのと、こどもの数を制限し業務の過密を防ぐ。

■勤務時間や休日の改善

- ・ 年間休日 120 日以上の義務化、大手や国家公務員と同水準の賃金。
- ・ 時間外労働上限の確約。

■保育士としてのキャリアアップ支援

- ・ 保育の質向上のため、研修制度の充実や職員体制改善に向けた具体的な支援を。
- ・ キャリアアップ研修。
- ・ 園長候補者への研修。

■正確、具体的な求人情報

- ・ 求人内容の保証。就職したら話が違うことが多かった。
- ・ ライフプランに沿った就職先の提供、アドバイス等（訪問含む）。

■職場の風土の把握や改善

- ・ 園に通っている保護者の方々の率直な感想や意見。
- ・ 職場の人間関係の改善。
- ・ パワハラ相談窓口。

■その他

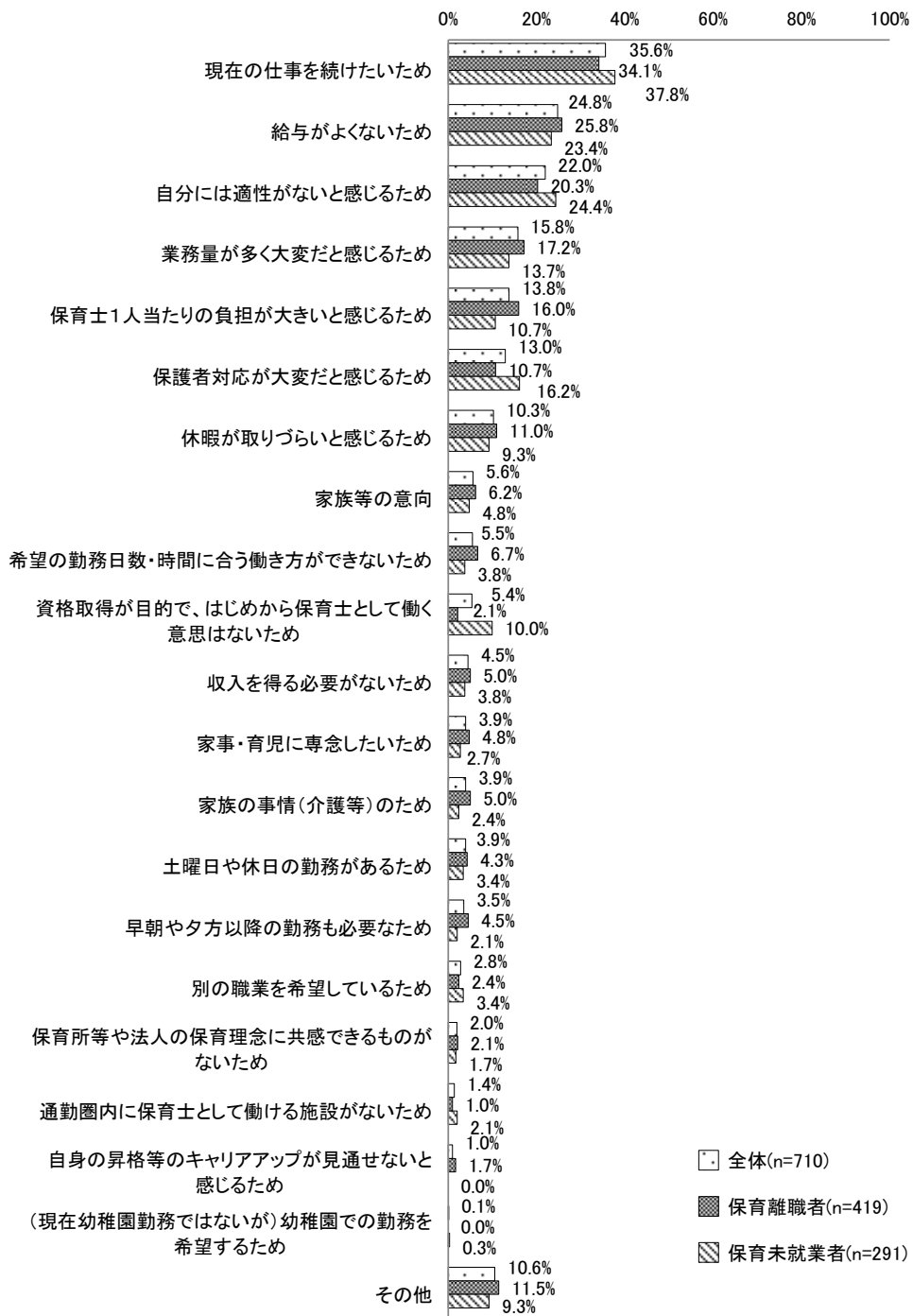
- ・ 保育業界が一般企業と同じような企業風土になること。
- ・ 専門職としての地位向上。
- ・ こどもを預けられる施設。

(13) 【共通】保育士として働く意向がない理由

今後、保育士として働く意向（問 29）において、「保育士として働く予定はない」と回答した人について、保育士として働く意向がない理由をみると、「全体」では、「現在の仕事を続けたいため」が35.6%でもっとも割合が高く、次いで「給与がよくないため」が24.8%となっている。

「保育離職者」では、「現在の仕事を続けたいため」が34.1%でもっとも割合が高く、次いで「給与がよくないため」が25.8%となっている。「保育未就業者」では、「現在の仕事を続けたいため」が37.8%でもっとも割合が高く、次いで「自分には適性がないと感じるため」が24.4%となっている。

図表 4-53 保育士として働く意向がない理由：複数回答（問 32）



<別の職業を希望しているための具体的回答>※主な回答を抜粋

- ・ 看護師。
- ・ 障害児保育（デイサービス等）の企業。
- ・ 介護福祉士になりたかった。
- ・ 放課後児童クラブ支援員。

<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■健康上の理由

- ・ 資格を取っただけで実務経験もないしブランクが空きすぎているため健康状態が不安なため。
- ・ 難病になったため、病院通いが週に2回あるため。
- ・ 自身が体調を壊しているため。

■体力の問題

- ・ 体力的に無理だと思う。
- ・ 年齢的に体力が続かない。
- ・ 年齢的に体力が落ちて、複数のこどもの世話が難しくなってきたため。

■人間関係の問題

- ・ 人間関係が悪いから。
- ・ 人間関係が嫌なため。
- ・ 新卒時に保育所で働いた時のパワハラと、人間関係のトラウマがある。

■保育士としてのキャリアアップ支援

- ・ 保育の質向上のため、研修制度の充実や職員体制改善に向けた具体的な支援を。
- ・ キャリアアップ研修。
- ・ 園長候補者への研修。

■感染症リスク

- ・ 感染症にかかりやすいため。
- ・ 感染症のリスクが大きい。

■待遇の悪さ

- ・ 休憩はないし、仕事も持ち帰り、最低賃金で他の仕事をしたほうが楽。
- ・ 会社が、いかに保育士を人として扱っていないかが分かったため。いくらでも替えがある、いつか少子化で不要になるなどの言動にうんざりした。
- ・ やりがい搾取感が今までのどの職種よりも段違いに酷い。

## 6. 今後保育士として働く際に求める支援や取組について

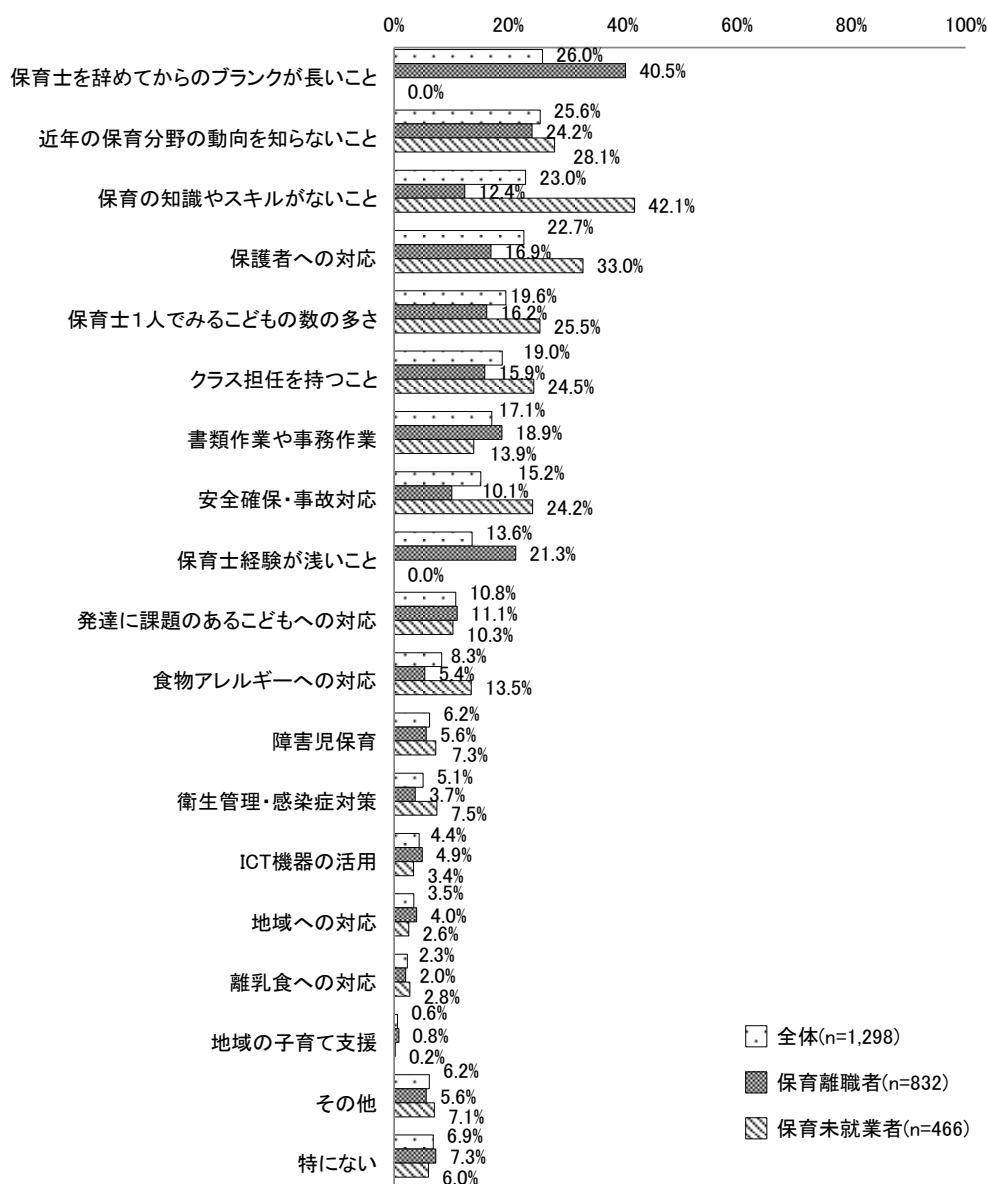
### (1) 【共通】今後、保育士として就職するにあたり不安なこと

今後、保育士として働く意向（問 29）において、「雇用の条件が合えば働きたい」「自分や周りの環境が変化すれば働きたい（子育てや介護が落ち着くなど）」と回答した人について、保育士として就職するにあたり不安なことをみると、「全体」では、「保育士を辞めてからのブランクが長いこと」が 26.0%でもっとも割合が高く、次いで「近年の保育分野の動向を知らないこと」が 25.6%となっている。

「保育離職者」では、「保育士を辞めてからのブランクが長いこと」が 40.5%でもっとも割合が高く、次いで「近年の保育分野の動向を知らないこと」が 24.2%となっている。「保育未就業者」では、「保育の知識やスキルがないこと」が 42.1%でもっとも割合が高く、次いで「保護者への対応」が 33.0%となっている。

※「保育士を辞めてからのブランクが長いこと」、「保育士経験が浅いこと」は、保育離職者のみの選択肢

図表 4-54 今後、保育士として就職するにあたり不安なこと：複数回答（問 33）



<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■人間関係

- ・ 職場の人間関係や持ち帰りの仕事がないかどうか、子育てに合わせて休みが取りやすいかどうか。
- ・ 保育士同士の揉め事。
- ・ パワハラ。

■給与の低さ

- ・ 給料が今より上がるか。
- ・ 業務量と給与のギャップ。
- ・ 低賃金。

■体力・体調面の問題

- ・ 体力的に働けるかどうか。
- ・ 腰痛など身体の問題。
- ・ 持病についての理解。

■未経験での不安

- ・ 保育士としての勤務経験がないこと。
- ・ 未経験でできるのか。人間関係や保護者との関わりが良好なら頑張れると思うが不安。
- ・ シニアの未経験者は通用するのか。

■育児との両立

- ・ 子育てとの両立のしにくさ。
- ・ 自分のこどもの急病や行事に合わせて休みを取ることができるか。
- ・ こどもの体調不良時に休めるかや、柔軟に働けるかが不安。

■職場の環境適合

- ・ 就職する職場の環境が自分に合うか。
- ・ 働く施設が合うかどうか。
- ・ 表面は良い保育園に見えても、実際入職後のギャップがある園が多い印象。園長・主任の資質、人間関係は入ってみないとわからない。

■保育士としての専門性

- ・ 役職ではなく保育士の専門性を重視してもらえるか。
- ・ 保育理念や就業規則の曖昧さ。
- ・ 幼稚園教諭の資格を持っていないため、保育教諭になれず、認定こども園で採用されにくい。
- ・ ピアノが弾けない。

■業務内容と負担

- ・ 仕事量の多さ。
- ・ 急な休みの穴埋め。
- ・ そこまで必要ないと思われる個別書類の多さ。

■職場の風土

- ・ 男性差別。
- ・ 園固有の合理性に欠けるルール。
- ・ 経営者が信頼できる事。

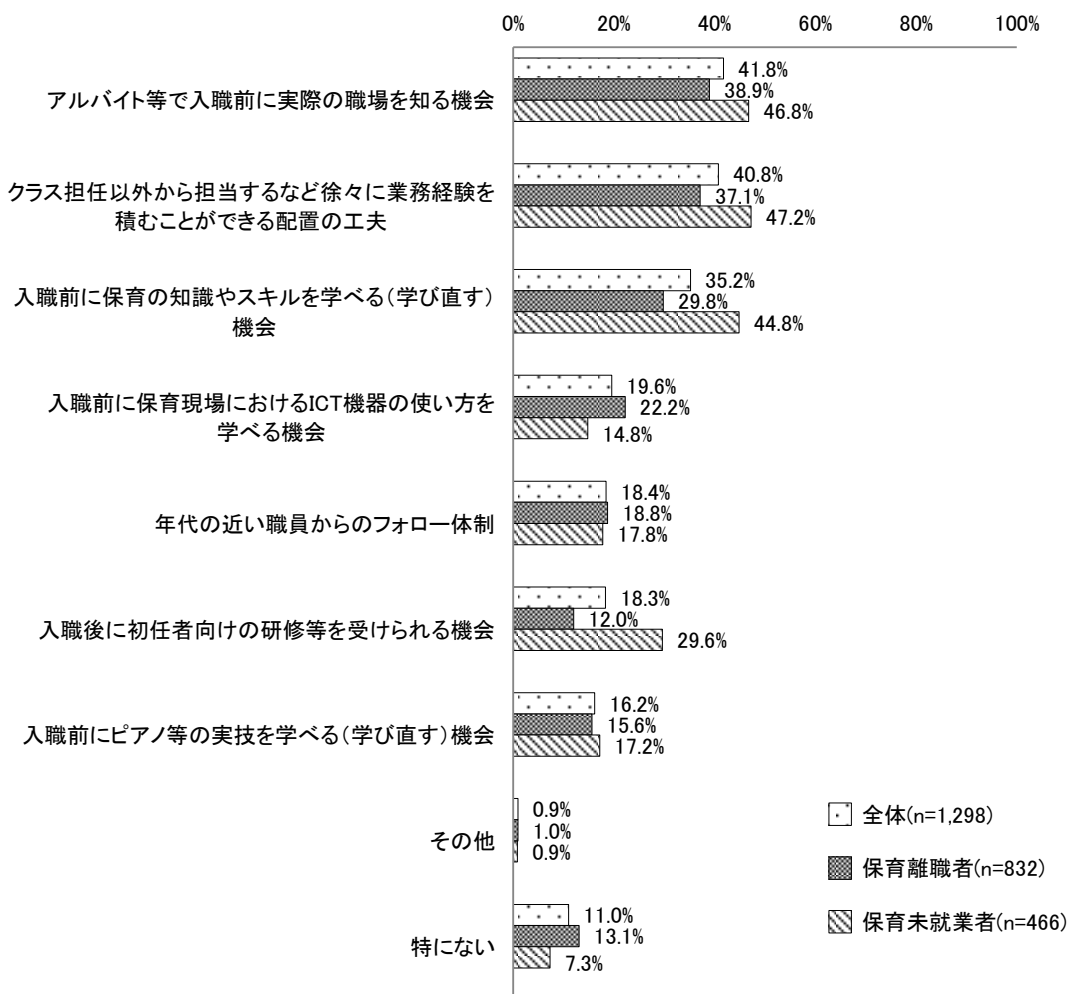
(2) 【共通】今後、保育士として就職するにあたり、入職前後にあるとよい支援

今後、保育士として働く意向（問 29）において、「雇用の条件が合えば働きたい」「自分や周りの環境が変化すれば働きたい（子育てや介護が落ち着くなど）」と回答した人について、保育士として就職するにあたり、入職前後にあるとよい支援についてみると、「全体」では、「アルバイト等で入職前に実際の職場を知る機会」が 41.8%でもっとも割合が高く、次いで「クラス担任以外から担当するなど徐々に業務経験を積むことができる配置の工夫」が 40.8%となっている。

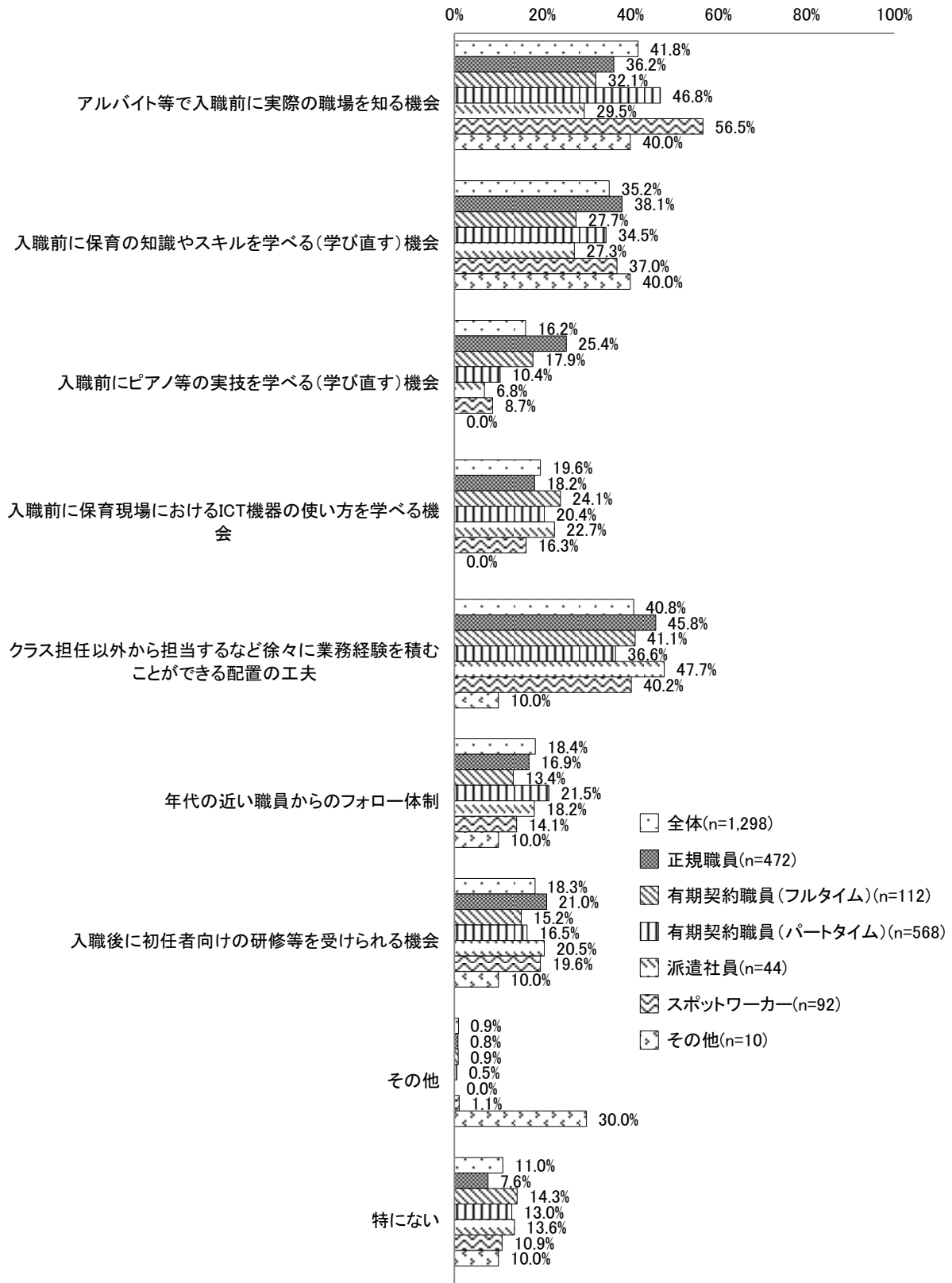
「保育離職者」では、「アルバイト等で入職前に実際の職場を知る機会」が 38.9%でもっとも割合が高く、次いで「クラス担任以外から担当するなど徐々に業務経験を積むことができる配置の工夫」が 37.1%となっている。「保育未就業者」では、「クラス担任以外から担当するなど徐々に業務経験を積むことができる配置の工夫」が 47.2%でもっとも割合が高く、次いで「アルバイト等で入職前に実際の職場を知る機会」が 46.8%となっている。

また、希望する雇用形態別にみると、「正規職員」では、他に比べて「入職前にピアノ等の実技を学べる（学び直す）機会」、「スポットワーカー」では、他に比べて「アルバイト等で入職前に実際の職場を知る機会」の割合が高くなっている。

図表 4-55 今後、保育士として就職するにあたり、入職前後にあるとよい支援：複数回答（問 34）



図表 4-56 希望する雇用形態別 今後、保育士として就職するにあたり、  
入職前後にあるとよい支援：複数回答（問 34）



注) 「その他」はサンプルサイズが小さいため、参考値。

<その他の具体的回答>※主な回答を抜粋

■働く環境を知る機会

- ・ 職業体験できるというのは見たことがあるが、若い人向けだろうし迷惑をかけるだけだと中々参加の勇気がもてない。未経験の30～40代でも参加できるイベントがあるとよい。
- ・ 働いている保育士の性格を知れる機会。
- ・ その職場の近年の離職率や離職理由を知れること。

■待遇や勤務する保育士への支援

- ・ 丁寧にアドバイスができる職員のフォロー体制。
- ・ こどもがケガをした際の保育士に対しての支援、保障費用の援助、弁護士費用の援助など。早番遅番手当、シフト勤務手当、自分のこどもを日中の保育園以外に預ける際の支援及び預け先の確保。
- ・ パワハラされないためや、された時の対策。

■その他

- ・ シニアの働き方提案。

## 第5章 潜在保育士グループインタビュー調査結果

### I 調査の概要

#### 1. 調査目的

潜在保育士へのアンケート結果を踏まえ、保育士として働いていた経験のある回答者に対し、勤務状況及び離職理由、復職に対する現在の意向と障壁、復職に際して必要と考えるサポートや情報提供等、特定のテーマについて深掘するため、グループインタビューを通じてより多角的な視点や具体的なニーズを把握する。

#### 2. 調査対象

17名

#### 3. 調査対象の選定の視点及び選定方法

調査対象の選定に当たっては、潜在保育士を対象としたアンケート調査に回答した方の中から、「①子育て層グループ」「②保育士経験3年未満グループ」「③保育士離職後のブランクが長期のグループ」「④働き方や職場環境を理由に離職したグループ」の4類型を設定し、それぞれ以下の条件に基づいて選定を行った。選定に当たっては、極力、参加者の年代や地域に偏りがないよう配慮した。

<各グループの選定条件>

①子育て層グループ	末子の年齢が0～12歳の方（女性のみ）
②保育士経験3年未満グループ	保育士通算の経験年数が3年未満の方（男女とも）
③保育士離職後のブランクが長期のグループ	保育士を辞めてからの年数が10年以上の方（女性のみ）
④働き方や職場環境を理由に離職したグループ	働き方や職場環境を理由に、保育の仕事に離職した方（男女とも）

#### 4. 調査実施方法

オンラインによるグループインタビュー（約90分）

#### 5. 調査実施時期

2026年2月

## 6. 調査内容

ヒアリング調査における主な調査内容は、次のとおりである。

### <①子育て層グループ>

1. 基本情報
2. 保育士の経験や過去の勤務施設について
3. 退職理由、保育士として働く中で子育てとの両立が難しいと感じたこと
4. 子育てと両立して働くために必要なこと
5. 復職（再び保育士として働く）の意向及び復職に当たっての不安等

### <②保育士経験3年未満グループ>

1. 基本情報
2. 保育士の経験や過去の勤務施設について
3. 退職理由、負担感が大きかった業務
4. 過去の勤務施設での職場環境改善の取組
5. 復職（再び保育士として働く）の意向及び復職に当たっての不安等

### <③保育士離職後のブランクが長期のグループ>

1. 基本情報
2. 保育士の経験や過去の勤務施設について
3. 退職理由、負担感が大きかった業務
4. 過去の勤務施設での職場環境改善の取組
5. 復職（再び保育士として働く）の意向及び復職に当たっての不安等

### <④働き方や職場環境を理由に離職したグループ>

1. 基本情報
2. 保育士の経験や過去の勤務施設について
3. 退職理由、負担感が大きかった業務
4. 過去の勤務施設での職場環境改善のための取組
5. 保育士として働きやすい職場環境づくりのために必要なこと
6. 復職（再び保育士として働く）の意向及び復職に当たっての不安等

## II グループインタビュー調査結果

### 1. グループインタビューのまとめ

#### (1) 保育士として就業していた保育所等を退職した理由、負担感が大きかった業務

##### ■過去に就業していた保育所等を退職した理由

各グループ共通して、職場内の人間関係・ハラスメントや、業務量の多さなどが挙げられた。職場内の人間関係・ハラスメントについては、職場の先輩や上司の機嫌を損ねないように気を遣って働く必要があったというケースや、職場の先輩から強い口調で注意を受けたことをきっかけに職場に居づらくなったというケース、施設管理者が職員に対してパワーハラスメントを行っていたが、私立で職員の入れ替わりがほとんどなく、自治体には相談したが改善がなく辞めてしまったというケースなどがみられた。

グループ別に特徴がみられた点としては、「子育て層グループ」では、不妊治療や引っ越し、育児との両立など、ライフステージの変化に伴って就業継続が困難となったことが挙げられた。自身も子どもを保育所に預けながら保育士として働く場合、早番、遅番の日は自分のこどもの送り迎えが問題となり、調整の負担が大きかったとの指摘があった。「保育士経験3年未満グループ」では、周囲からのサポートの少なさによる不安や、処遇と役割・責任の見合わなさが挙げられた。採用時に手厚いフォローがあると聞いて入職したが、実際は周囲からのサポートがないまま保護者対応や書類作成を行わざるを得なかったことや、就職時に聞いていた条件とは異なり、非正規の職員でも担任をせざるを得なかったことなどが退職理由となっていた。また、「保育士離職後のブランクが長期のグループ」では、行事の準備や保護者対応の負担感が挙げられた。「働き方や職場環境を理由に離職したグループ」では、健康上の理由として、体力的な負担が大きいことや、こどもの抱っこにより腰痛が悪化したことが挙げられた。

##### ■過去に保育士として勤務していた施設において、負担感が大きかった業務

各グループ共通して、保育士1人でみるこどもの数の多さ、残業や持ち帰り仕事の多さ、休暇の取得しづらさなどが挙げられた。いわゆる持ち帰り残業について、製作物等が終わらず、平日の帰宅後や休日に家で仕事をしなくてはいけなかったとの声が複数聞かれた。また、休暇の取得しづらさについては、「休んでよい」と言える風土・慣習がなかった、体調不良で休暇を取得する場合でも平謝りしながら申請しなくてはいけなかった、休んだことに文句を言われ続けたなど、休暇を申請しづらい環境にあり、そのことが大きなストレスとなっていたことが伺えた。

さらに、保護者対応や書類作業・事務作業の多さについても、多くのグループで負担が大きいと感じられていた。保護者対応については、こどものケガや嘔みつきがあった場合の対応のほか、行事の配役に対する保護者の不満への対応などもみられた。書類作業・事務作業の多さについては、連絡帳の記入、指導計画や月案・週案・日案など常にタスクに追われ、子どもと向き合う時間がとれないことなどが指摘された。

グループ別に特徴のあった点を見ると、「子育て層グループ」では、持ち帰り残業により自宅でも常に仕事のことが頭から離れない状況では、子育てとの両立が難しいという声がみられた。「保育士経験3年未満グループ」では、周囲からのサポートの少なさとして、保育士資格を取得して入職した際、現場には対応マニュアルが一切なく、例えば連絡帳の書き方、保育計画・記録等の書類の書き方、保護者トラブルがあった際の謝罪方法等、全て「見よう見まね」で仕事を覚えて

いく必要があり、そうしたことがうまくできる人もいればそうでない人もいるとの声が複数挙げられた。現場でどのように対応すればよいか迷っても、保育士1人が複数のこどもを見ている中で、他の職員と相談する余裕は全くないという切実な声もあった。困り事などを他の職員に相談し、解決できる職場風土がなければ、経験年数の浅い職員は手探りの中で保育業務に当たらざるを得ないことが伺えた。

## （2）復職（再び保育士として働く）の意向及び復職に当たっての不安等

### ■復職（再び保育士として働く）の意向、復職の際に重視すること

復職（再び保育士として働く）の意向について、各グループ共通でみると、「雇用の条件が合えば働きたい」がもっとも多かった。ただし、保育所以外で保育士の資格を活かせる仕事を希望する方もおり、こどもの命を預かるという責任の重さや、前述したような業務負担の重さに対して、保育士の処遇が見合っていないという声が複数あった。実際、こどもが好きで保育の仕事自体には魅力を感じても、給与水準を理由にベビーシッターを選んでいるという方もみられた。

復職の際に重視することについてグループ別にみると、「子育て層グループ」では、勤務時間に融通が効くこと、希望する勤務時間とのマッチングが可能なこと、早番・遅番がないことなど、働く時間・時間帯が多く挙げられた。一方で、過去の保育所等での就業経験を踏まえて、施設側にとって、融通が効かない保育士を採用することは、実際には難しいだろうとの声もあった。「保育士経験3年未満グループ」では、職場の人間関係や風通しのよさなど職場風土に関するもののほか、余裕のある人員配置もしくは小規模の保育所であることなど、余裕を持って働くことができる環境が多く挙げられた。「保育士離職後のブランクが長期のグループ」では、保育補助の仕事や早朝の短時間のみ働くなど、補助的な役割を担い、ワーク・ライフ・バランスを確保できる働き方が多く挙げられた。「働き方や職場環境を理由に離職したグループ」では、給与・キャリアアップ等の処遇面、職場の人間関係が多く挙げられた。

### ■復職に当たっての不安

復職に当たっての不安について、各グループに共通して、保育士を辞めてからのブランクの長さや保育士経験の浅さ、保育の知識・スキル不足等が多く挙げられた。グループ別に特徴のみられた点としては、「保育士離職後のブランクが長期のグループ」では、年齢的にも若い頃と同じような働き方は難しいため、体力面の不安を指摘する声が複数あった。

## （3）復職に向けて求められる支援等

入職前後にあるとよい支援として、各グループに共通してアルバイト等で入職前に実際の職場を知る機会の確保や、クラス担任以外の業務から担当する等、徐々に業務経験を積むことができる配置の工夫が比較的多く挙げられた。アルバイト等で入職前に実際の職場を知る機会については、施設内の人間関係や職場の雰囲気などは実際に経験してみないとわからないため、ボランティアや低い給与でもよいので、入職前に数日間～1週間程度、職場を体験できるとよいとの声が複数あった。また、現場を知る機会に関連して、保育所等を退職した人の口コミを閲覧できるウェブサイトがあれば、施設選びの参考にできるとの意見もあった。

グループ別に特徴のみられた点としては、「保育士経験3年未満グループ」では、手厚いフォロー体制を望む声が複数みられた。多忙な保育現場でマンツーマン指導のような育成は難しいとしても、困ったときに質問したり相談したりできる先輩職員がいると安心との声が多かった。また、新入職員に関する情報共有として、過去に保育所等での勤務経験があっても、業務経験年数が短かったり離職後のブランクが長かったりすると即戦力にはならないため、受け入れる施設では採用前にあらかじめ即戦力ではないと職員に伝えておくなど、認識を揃えておいてほしいとの意見もあった。「保育士離職後のブランクが長期のグループ」では、復職に際して保育所等に希望する働き方や処遇等を自ら伝えるのはハードルが高いため、求職者と保育所等の間に入って具体的な条件の調整やマッチングをしてくれるとよいとの声が聞かれた。そのほか、他の保育所等へ転園する際、以前の勤務施設に在職証明を依頼することが負担となっていることに対し、改善を求める声がみられた。「働き方や職場環境を理由に離職したグループ」では、年代の近い職員からのフォロー体制、入職前にピアノ等の実技や ICT 機器の使い方を学べることが挙げられた。

## 2. 各グループのインタビュー結果

### (1) 子育て層グループ

項目	A氏	B氏	C氏	D氏
①基本情報				
性別	女性	女性	女性	女性
年齢	40～44歳	35～39歳	55～59歳	30～34歳
こどもの有無・年齢	3人・末子3歳	2人・末子12歳	4人・末子8歳	2人・末子8歳
現在の仕事	託児スタッフ	無職	託児等	就労移行支援事業所
雇用形態	有期契約職員（パートタイム）	—	フリーランス	正規職員
②保育士の経験や過去の勤務施設について				
保育士経験年数	5年以上10年未満	1年以上3年未満	1年以上3年未満	10年以上15年未満
保育士を辞めてからの年数	10年以上15年未満	15年以上20年未満	3年以上5年未満	1年以上3年未満
過去勤務施設の種別	小規模保育事業所 ・小規模保育事業所の前は認定こども園で働いていた（クラス担任として、年少～年長まで担当）。	認可保育所	小規模保育事業所 ・途中で保育士資格を取得。	認可保育所 ・公立保育所2か所を5年ずつ経験。
当時の雇用形態	有期契約職員（パートタイム）	正規職員	有期契約職員（パートタイム）	正規職員
当時の役職	保育士（役職なし） ・0～2歳のこどもを担当。	保育士（役職なし） ・1クラス複数担任制。0～4歳のこどもを担当。	保育士（役職なし）	保育士（役職なし） ・クラス担任として、0歳から年長まで担当。
③退職理由、保育士として働く中で子育てとの両立が難しいと感じたこと				
退職理由	◆不妊治療 ・引っ越しと不妊治療のため、年度途中で退職。	◆パワーハラスメント ・職場のパワーハラスメントで離職。家族経営の保育所で、SOSを	◆転居 ・転居のため。 ◆育児との両立	◆育児との両立 ・自身のこどもの送り・迎えとの調整の問題が大きかった。16時10

項目	A氏	B氏	C氏	D氏
		<p>出せる先がなかった。保育士として働くことに心が折れてしまった。</p>	<p>・自分のこどもを育てることとの両立が必要だった。</p>	<p>分頃まで保護者対応をしていて、こどものお迎えのために 17 時 15 分には退勤しなければならず、書類作成や翌日の準備等の時間が十分に取れず難しかった。</p> <p>・また、こどもの卒園式と職場の卒園式が重なり、調整が難しかったことも大きな負担に感じた。</p> <p>◆保育観の違い</p> <p>・例えば運動会で、発達がゆっくりなこどもは、小さな箱馬のようなものを使っていたが、高い竹馬に乗れるこどもの差を保護者に見せつけるような場になっており、このような保育を行う保育所には勤められないと保育士を辞めた。</p>
業務量や業務内容	<p>◆残業が多い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書類を持ち出すことができず、記録は園で書く必要があった。保護者対応の後、残業していた。</li> <li>学年毎に行う行事の準備は園で行う必要があった。</li> </ul> <p>◆持ち帰り仕事が多い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>製作物は持ち帰って家で作成して</li> </ul>	<p>◆残業が多い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>書類を持ち帰ることができず、圧倒的に時間が足りず、サービス残業は当たり前であった。</li> </ul> <p>◆持ち帰り仕事が多い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>製作物は持ち帰りができたが、家に帰っても保育のことを考えなければならぬ状況だった。</li> </ul>	—	<p>◆保育士 1 人でみるこどもの数の多さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>非常勤職員もいたが、年長クラスの担任をしていた時は、1 人で 20 ～ 25 人をみており、負担は大きかった。</li> <li>担当クラスの年齢が上がるにつれて、業務負担は増していった。</li> </ul>

項目	A氏	B氏	C氏	D氏
	いた。 ◆常に仕事のことが頭から離れない ・土日も対応しており、常に保育のことを頭の片隅において生活していた。この生活がずっと続くことは難しいと思った。	◆常に仕事のことが頭から離れない ・頭の切り替えができず、家事をしながら、明日はどうしようかと考えたりしながら過ごしていた。		◆クオリティと配慮のバランスによる負担感 ・学年が上がるにつれて、行事の製作物のクオリティを求められ、負担に感じた。年長に見合ったものを求められつつ、目立ち過ぎないようにという配慮も必要だった。
職場環境・人間関係等	◆休暇の取得しづらさ ・インフルエンザ等の感染症に罹患した時でも、先輩達も平謝りで休暇を申請していた。そのような様子を見て、休みづらいつと感じた。 ・職員配置の基準を満たすためのコマの1つのように扱われているように感じた。 ・体調不良でも、「他にカバーする先生はいない」という圧力があり、納得がいかないまま、厳しいと思いつながら働いていた。	◆休暇の取得しづらさ ・休暇の取得は「悪」という雰囲気があり、休むはと言えない雰囲気だった。休んだら、文句を言われ続けたり、怒鳴られるなどした。 ◆パワーハラスメント ・離職理由は園長によるパワハラであったが、自治体に伝えたと動いてもらえなかった。 ・園長が職員全体にパワハラをしていたため、園外に気軽に相談できるところがあれば、精神的に楽だったと感じる。	◆特になし ・自身のこどもが病気になった際など、職員同士がフォローし合う関係にあり、休暇を取得することができた。	◆徹底したコスト管理 ・教材の作成にお金を使いすぎると注意された。ゴミ箱に紙の製作物で切った残りを捨てる、「こんなに使える部分があるではないか」などと言われ、余りが出ないように切るよう指導を受けた。 ◆休暇の取得しづらさ ・育休は取得しやすかったが、つわりに対する理解がなかった。「休んでいいよ」と言える風土、慣習がなかった。 ・連絡・報告も上司の機嫌を損なわないように、気を遣っていた。
④子育てと両立して働くために必要なこと				
子育てと両立して働くために必要なこと	◆時間制約への対応 ・出産後は時間の制約があり、保育士としての職場復帰は難しいと	—	◆決まった時間内での働き方 ・出産後は定時に帰る働き方が必要である。	—

項目	A氏	B氏	C氏	D氏
	<p>感じる。朝早くから働き、残業もあることから、自分のこどもをみる時間がない。</p> <p>◆急な休みの取得しやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身のこどもの急な体調不良の際、しわ寄せが同僚の先生にいつてしまう。</li> </ul> <p>◆柔軟な働き方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの急な病気・用事等、自分自身が融通の利く状態である必要がある。早番、遅番が必須となると復職は難しい。</li> </ul>		<p>◆助け合える職場環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上司・部下に関わらず、柔軟に助け合える人間関係、「そういうこともあるよね」と、お互いに言い合えるような職場であるとよい。</li> </ul> <p>◆過剰な対応の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無理なく働くことができる職場となることも大切である。例えば、製作物を持ち帰りまでして作らなくても、こどもたちと一緒に何か作ればよいだろう。何が必要か、根本を考えていく必要がある。</li> </ul>	
⑤復職（再び保育士として働く）の意向及び復職に当たっての不安等				
復職意向	雇用の条件が合えば働きたい	雇用の条件が合えば働きたい	雇用の条件が合えば働きたい	保育士として働く予定はない
復職時期	すぐにでも	わからない	すぐにでも	—
雇用形態の希望	有期契約職員（パートタイム）	スポットワーカー	スポットワーカー	正規職員
働き方の希望	シフト制（出勤曜日や勤務時間が固定されていない勤務形態）	シフト制（出勤曜日や勤務時間が固定されていない勤務形態）	シフト制（出勤曜日や勤務時間が固定されていない勤務形態）	シフト制（出勤曜日や勤務時間が固定されていない勤務形態）
時間帯の希望	9時～12時、12時～14時	9時～12時、12時～14時、14時～16時	～9時、9時～12時	9時～12時、12時～14時、14時～16時、16時～18時
曜日の希望	平日	平日	平日、土曜日、日曜日・祝日	平日
復職の際に重視すること	<p>◆勤務時間に融通が効くかどうか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の融通が第一優先である。</li> <li>・自分のこどもは、自分でみたいと</li> </ul>	<p>◆勤務時間に融通が効くかどうか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもは中学1年、小学6年だが、昼間に学校から電話がある。復職</li> </ul>	<p>◆希望する勤務時間とのマッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働く時間が、子育てと両立可能な</li> </ul>	◆職場の人間関係

項目	A氏	B氏	C氏	D氏
	<p>強く思っており、自分のこどもとの時間を大切にしたい。</p> <p>◆早番・遅番がないこと</p> <p>・早番、遅番に対応できない場合、保育士として働くことは難しいと感じている。融通が利かない保育士を採用することは難しいだろう。</p>	<p>する場合、時間の融通が可能かどうかにか不安がある。</p> <p>◆職場の雰囲気</p> <p>・求人情報について、職場の様子を分かりやすく伝えてくれるサイトがあると選びやすくなる。</p> <p>・良いところがあれば、保育士の仕事も選択肢に入るかもしれない。</p>	<p>時間帯であればよいが、そうでなければ、フォローしてくれる人が必要となる。</p> <p>・自分が希望する勤務時間と上手くマッチングできる仕組みがあるとよい。</p> <p>◆こどもをみてくれる人の確保</p> <p>・インターネットで助けたい、助けてほしいという人をつなげて、上手く、こどもをみてもらえるとよい。</p>	
復職に当たっての不安	<p>◆保育士を辞めてからのブランクが長いこと</p> <p>◆保育士経験が浅いこと</p> <p>◆ICT 機器の活用</p>	<p>◆保育士を辞めてからのブランクが長いこと</p> <p>◆保育士経験が浅いこと</p> <p>◆保育士1人でみるこどもの数の多さ</p>	—	—
入職前後にあるとよい支援	<p>◆入職前に保育の知識やスキルを学べる（学び直す）機会</p> <p>◆入職前に保育現場における ICT 機器の使い方を学べる機会</p> <p>◆クラス担任以外から担当するなど徐々に業務経験を積むことができる配置の工夫</p>	<p>◆アルバイト等で入職前に実際の職場を知る機会</p> <p>◆入職前にピアノ等の実技を学べる（学び直す）機会</p> <p>◆クラス担任以外から担当するなど徐々に業務経験を積むことができる配置の工夫</p>	◆アルバイト等で入職前に実際の職場を知る機会	—
その他	<p>◆保育士が働きやすい環境づくり</p> <p>・自身のこどもが通う保育所では、</p>	—	—	<p>◆質を高める創意工夫</p> <p>・こどもが民間の保育所に通った</p>

項目	A氏	B氏	C氏	D氏
	<p>保育補助の保育士がおり、保育士の人数が多い。発表会専任などイベント担当の保育士もいる様子である。職員に余裕があるためか、保育士の対応がよく、園の雰囲気が良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AI や ICT を活用し、紙の連絡帳はない。日々の保育の様子は園のブログで見ることができる。</li> <li>新しいことを取り入れて、保育士が働きやすい環境を作っており、こうした園であれば、働きたいという人も増えるのではと感じる。</li> </ul> <p>◆求人票と異なる対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>以前、保育士求人に登録したことがあるが、実際の施設との面談では求人票とは異なる勤務時間を提示され、不正確、不誠実に感じた。</li> </ul> <p>◆待遇</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特に男性保育士は、給与面が改善されなければ、保育士の仕事は続けられないと感じる。保育士の給与では家計を支えられず、転職してしまうだろう。</li> </ul>			<p>が、ICT 化が進んでいた。意思決定は速く、変化に対応していこうとする意識が高いと感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こどもが少なくなる中で、利用児童を確保するために民間のほう工夫しているようにも感じる。</li> </ul> <p>◆障害児の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>以前勤めていた園では、クラスの半分が発達検査で判定を受けたことがあった。公立は配慮が必要なこどもの最後の受け皿と言われたが、人手不足の中で対応が厳しかった。</li> </ul> <p>◆スポットワークと個人情報の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポットワークについて、個人情報保護の観点から、その場限りの働き方は、保護者の理解や対応が課題となるのではないかと。</li> </ul>

(2) 保育士経験3年未満グループ

項目	E氏	F氏	G氏	H氏
①基本情報				
性別	女性	女性	女性	女性
年齢	40～44歳	25～29歳	55～59歳	40～44歳
こどもの有無・年齢	2人・末子11歳	こどもはいない	1人・末子16歳	1人・末子12歳
現在のお仕事	会計業・事務職	福祉・事務職	無職	ベビーシッター
雇用形態	不明	正規職員	—	個人事業主
②保育士の経験や過去の勤務施設について				
保育士経験年数	1年以上3年未満	1年未満	1年以上3年未満	1年以上3年未満
保育士を辞めてからの年数	5年以上10年未満	5年以上10年未満	5年以上10年未満	1年以上3年未満
過去勤務施設の種別	幼保連携型認定こども園	認可保育所	認可保育所	認可保育所
当時の雇用形態	有期契約職員（フルタイム）	有期契約職員（パートタイム）	有期契約職員（パートタイム）	有期契約職員（フルタイム）
当時の役職	保育士（役職なし）	保育補助者（保育士資格あり）	保育補助者（保育士資格あり） ・保育士資格を取得後、加配保育士として障害のあるこどもを担当。	保育士（役職なし）
③退職理由、負担感が大きかった業務				
退職理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆契約社員としての雇用期間が満了 <ul style="list-style-type: none"> <li>・もともと雇用形態が契約社員だったため、コロナ禍だったことや正社員の枠が埋まっていたことなどが原因で契約更新できず退職。</li> </ul> </li> <li>◆実務経験がない場合は正社員になれない <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職する際には、正社員の募集に</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保育士の責任の重さと周囲からのサポートの少なさによる不安 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所で保育補助者としてアルバイトをしていたのは学生の時で、当時は保育士としての就職を希望していた。実際に、大学4年生の秋までは保育士の就活イベントなどにも出向いていた。しかし、ア</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆強く注意されたことがきっかけ（職場内の人間関係・ハラスメント） <ul style="list-style-type: none"> <li>・加配保育士としてクラスに配属された後、同じクラスの担任の保育士に、強く注意されたことがあった。その後仕事がやりづらくなってしまったが、少しの期間は頑張っていたが、ぷつと気持ちの糸</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆拘束時間が長く、家庭との両立が困難 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生のこどもの年齢が上がり学童保育の対象外となり、預けられなくなった。そのため、夏休みなど長期休暇中にこども1人で留守番をさせるわけにはいかず、フルタイムで働くことができなくなっ</li> </ul> </li> </ul>

項目	E氏	F氏	G氏	H氏
	<p>応募したが、当初保育士としての実務経験がなかったため、いきなり正社員は難しいと園側から伝えられて、契約社員になることを受け入れた。1年の契約期間で働き、正社員を目指していたが、大きな施設でなかったこともあり、正社員の枠ができず、かなわなかった。できれば3年程度は働きたかったと思う。</p>	<p>アルバイト先での保育士の働き方を見て、心身ともに耐えられるのかわりか不安に思うようになった。</p> <p>◆別の職業への就職が決定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動時には、保育所から就職後に手厚いフォローがある、いきなり単独で担任ではなく、複数人で担任を受け持つという言葉も聞いたものの、自身のアルバイト先ではそのようなサポートがなかったことを踏まえ、本当に支援してもらえるのか疑いを持ってしまい、別の職業に就こうと考えた。</li> </ul>	<p>が切れた瞬間があり、1か月間仕事を休み、最終的に退職した。</p> <p>◆同じクラスを受け持っていた保育士からのフォローの少なさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もし同じクラスを受け持っていた保育士の癖が強くなく、手厚くフォローしてくれていたなら、退職しなかったと思う。</li> </ul>	<p>た。フルタイム勤務が難しい期間を埋めてくれる職員がいるとよいと感じた。</p> <p>◆処遇と役割・責任の見合わなさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模な施設のため職員が少なく、非正規の職員も皆フルタイム勤務だった。また、フルタイムなら担任も持ってほしいと頼まれ、入職から半年後には担任になるなど、就職時に聞いていた条件とは違う仕事を頼まれ、非正規にもかかわらず、正社員と同等の業務量・責任になってしまった。</li> <li>・正規職員とは異なる待遇で、同等の仕事を求められるのが苦しかった。</li> </ul> <p>◆一部の保育士に負担が集中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ雇用形態でも、仕事ができない人はサポート業務のみで、自身は仕事が増え続けた。その差を不満に思うようになった。</li> </ul>
<p>負担感が大きかった業務</p>	<p>◆未経験の仕事で担任を受け持つことへの申し訳なさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定外の担任を持つことになり最初は不安だった。自身もこどもが</li> </ul>	<p>◆保育士1人でみるこどもの数の多さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳児でもクラスに大人が2人しかおらず、2人のうち1人が学生</li> </ul>	<p>◆周囲からのサポートの少なさによる不安</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身が加配保育士になってからは業務の相談をできる人がいたが、</li> </ul>	<p>◆こどもがケガをした際の保護者対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもがケガをした際の保護者対応が大変だった。保護者への説明</li> </ul>

項目	E氏	F氏	G氏	H氏
	<p>いたこともあり、未経験で担任を持つことが保護者に申し訳ない気持ちもあった。自身の後に入社した人は、タイミングよくフリーのポジションに就けていた。</p> <p>◆周囲からのサポートの少なさによる不安</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育は答えがない仕事で、どこまでやったらよいかを自分でつかんでいかなければならず、難しいと感じた。例えば、こどもが製作した物の手直しをどこまでやればよいかわからなかった。効率よくやることができず、見よう見まねでやっていた。</li> </ul> <p>◆書類作業や事務作業の負担</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初めての担任で、保護者対応のやり方もわからず、連絡帳の書き方の本を買って例をまねるなど、自分で勉強するのが大変だった。謝罪の際にどうしたらよいかも全くわからなかった。</li> </ul> <p>◆残業による家庭との両立の困難</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書類作業も初めてで残業することも多かった。こどもが小さく、家</li> </ul>	<p>アルバイトの自分だった。楽しかったが、こどもたちを正規職員1人と自分だけで見ていることに責任の重さと恐怖を感じた。</p> <p>◆こどもがケガをした際の保護者対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自身は保護者対応を担当しなかったが、正規職員を見ていて、ケガをしたこどもの対応は数日間続くことを知った。毎回同じ保育士が対応するわけではないため、全員でケガの情報を共有しないといけない。</li> <li>・ 「誰々先生のクラスはケガが多いよね」など、職場の人間関係に直結してしまいそうな発言も聞いていた。</li> </ul>	<p>それまでは全く何もフォローがないまま2年ほど補助をしていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まずパートタイムとして就職したが、書類仕事などの要領をわかっていなかったため大変だった。</li> <li>・ 他の職員からの指導も特になく、いきなり現場に放り出される感じだった。研修システムもなく、人手不足で困っているという割に不親切な職場だと感じていた。</li> </ul> <p>◆発達に課題のあるこどもへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加配保育士として担当したのは障害があり対応が難しいこどもであり、負担が重かった。負担が重なりに頑張ったが、保護者に渡す1日の報告の書き方もよくわからなかった。</li> </ul> <p>◆こどもがケガをした際の保護者対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10～15時の勤務で、直接保護者と会う機会はなかったが、一度担当のこどもがケガをしてしまったことがあった。保護者があまり気にしない方だったのでよかったが、人によっては大変なことになった</li> </ul>	<p>は時間外にやらなければならないし、気を遣う。傷の重大さにより、自分で対応するのか、園長にお願いするのかが変わる。また、噛みつきの場合は目撃した職員が言う必要があり、記録をつける必要があるなどの大変さがあった。</p> <p>◆持ち帰りの仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担任になってからは、保育計画を立てなければならなかった。業務時間内に終わられず、ケガの報告やメールなどを家に持ち帰ってこなすのがかなり負担だった。</li> </ul> <p>◆書類の作成が目的化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1歳児を見ていると発達が著しく、目指すところが個々に違うのは頭のなかにイメージできる上、こどもたちの発達について話し合う機会もある。その中で、保育計画等の書類に改めて文字書き起こす作業は、無駄ではないかと感じていた。保育計画等の書類業務を減らしている認可保育所もあるが、当時はそれを知る機会はなく、認可保育所は大変だと思っ</li> </ul>

項目	E氏	F氏	G氏	H氏
	<p>庭との両立も大変だった。</p> <p>◆経験の豊富な職員の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターナショナル保育園ならではの大きさがあった。通常であれば未経験の保育士は副担任になるはずだが、イングリッシュティーチャーも未経験だったため、頼ることができなかった。</li> </ul>		<p>かもしれない。自身は経験がないのに、どういう対応をするのかなどのマニュアルもない。マニュアルがあると安心だと思う。</p>	<p>った。</p>
④過去の勤務施設での職場環境改善の取組				
過去勤務施設での職場環境改善の取組	<p>◆休暇の取得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勤務していた園は、休暇を取得しやすい方だったと思う。土曜保育に出勤したら振替休日もあり、他の保育士も自身も、休暇はどんどん取得していた。</li> </ul>	<p>◆業務への ICT の導入・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勤務していた園では ICT を導入していたが、自身は使ったことがなかった。登降園管理と連絡帳などには ICT を利用していたが、正規職員から不満を聞いたことはなかった。</li> </ul>	<p>◆保育補助者の配置や保育支援者等の配置による負担軽減</p> <p>◆多様なシフト（勤務形態）の運用</p>	<p>◆キャリアパスの明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会社全体で、最初に就職した際にはサポート業務につくという仕組みがあった。また、社内研修や各保育所で研修を実施していたが、正規職員の定着にはつながっていなかった。</li> </ul>
⑤復職（再び保育士として働く）の意向及び復職に当たっての不安等				
復職意向	<p>◆自分や周りの環境が変化すれば働きたい（子育てや介護が落ち着くなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ すぐに保育士として働くイメージはできないが、せっかく取得した資格なので、将来的には活かして働きたい。</li> </ul>	<p>◆雇用の条件が合えば働きたい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条件が合えば保育士になりたい。今の職場は引っ越しのため退職することが決まっている。また保育所で働きたいと思っている。</li> </ul>	<p>◆雇用の条件が合えば働きたい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所で働くのは難易度が高いと感じている。それほど長時間ではなく、こどもを預かる仕事をしたいと思っている。</li> </ul>	<p>◆雇用の条件が合えば働きたい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所を魅力的に思う部分もあるが、今のようにベビーシッターとしてこどもにゆっくり関わりたい気持ちがあるため、業務の大きさで難しく思ってしまう。</li> <li>・ 給与面もベビーシッターのほうが格段に良い。</li> </ul>

項目	E氏	F氏	G氏	H氏
復職時期	わからない	すぐにでも	半年以内	わからない
雇用形態の希望	正規職員	有期契約職員（派遣）	有期契約職員（パートタイム）	有期契約職員（パートタイム）
働き方の希望	固定時間勤務（出勤曜日や勤務時間が決まっている勤務形態）	シフト制（出勤曜日や勤務時間が固定されていない勤務形態）	固定時間勤務（出勤曜日や勤務時間が決まっている勤務形態）	固定時間勤務（出勤曜日や勤務時間が決まっている勤務形態）
時間帯の希望	時間帯の希望なし	9時～12時、12時～14時、14時～16時	9時～12時、12時～14時	9時～12時、12時～14時
曜日の希望	曜日の希望なし	平日	平日	平日
復職の際に重視すること	<p>◆職場の人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普通の保育所は人間関係が大変そうだと感じるため、保育士という資格を保育所以外の仕事で活かしたいという気持ちが強い。</li> </ul> <p>◆小規模の事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少人数の子どもと向き合うほうが自分に合っていると思う。子どもと関わるにしても、発達支援の放課後等デイサービス等の事業所の求人は確認したことがある。</li> </ul>	<p>◆雇用形態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パートタイムは仕事の責任が待遇に見合わないため、派遣職員を考えている。時給が高く、短時間で自由な働き方ができるため、検討中である。</li> <li>・ 正社員だと早番を必ず担当しなければならない。朝早くに出勤するのは、家庭との両立も踏まえると体がもたないと思う。</li> </ul> <p>◆余裕のある人員配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士の人数の配置基準があるが、大人の数が多く、余裕のある現場だったら働きやすいと思う。</li> </ul> <p>◆待遇のよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給与も重視している。</li> </ul> <p>◆職場の人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人間関係は入ってみたいとわから</li> </ul>	<p>◆職場の人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員のほとんどが女性という「女性の職場」である点に人間関係の難しさを感じる。</li> </ul> <p>◆小規模の保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大規模な保育所だと、目の前の数人と全体の大勢の子どもの面倒を同時に見るのが難しく感じるため、少人数の預かりなどの仕事を希望している。</li> </ul>	<p>◆余裕のある人員配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前職では、正社員が退職していったことで、非正規の自分に負担がのしかかってしまった。正規職員については、国の基準よりも多いとよいだろう。大人の気持ちの余裕は子どもにも伝わると思う。</li> </ul> <p>◆待遇のよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ベビーシッターも人手不足だが、保育所がさらに人手不足なのは待遇が悪いからではないか。命を預かり、傷やケガなどにも気を張るのに、どうしてこの程度の待遇なのかと思ってしまう。</li> </ul> <p>◆風通しのよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな保育所があり、会社と園が言う方針が実態や風土と乖離していることがある。園長と主任</li> </ul>

項目	E氏	F氏	G氏	H氏
		ない。見学がある園もあるが、全体の雰囲気とこどもの様子しかわからない。		以外とも待遇について話し合えるような、透明性のある組織風土だとよい。
復職に当たっての不安	◆保育士経験が浅いこと	◆保育士経験が浅いこと ◆保育の知識やスキルがないこと ◆保護者への対応	◆保育士経験が浅いこと ◆保育の知識やスキルがないこと ◆書類作業や事務作業	◆就職前後のギャップ ・再就職してからのギャップをどう解消できるかが不安。
入職前後にあるとよい支援	◆アルバイト等で入職前に実際の職場を知る機会 ・実際に働くまでの試用期間があるとよい。 ◆手厚いフォロー体制 ・困ったときに聞きやすい職員がいてくれると安心だと思う。	◆手厚いフォロー体制 ・保育の現場で、手厚いフォローや、マンツーマン指導を受けるのは無理だと思っている。日々の業務とは離れた場面で、1対1で先輩が教育指導をしていくことは可能だろうが現場はそうした余裕もなく、体系的に学ぶことが難しい。 ◆新入職員に関する情報共有 ・新入職員の実務経験が乏しい場合はあらかじめ全職員に伝えておいてほしい。即戦力を期待されると、復職する職員にとっては負担に感じる。未経験に近い人材を採用するなら、そのつもりで受け入れ、どういうフォローが必要かという認識を整えておいてほしい。 ◆アルバイト等で入職前に実際の職場を知る機会	◆入職後に初任者向けの研修等を受けられる機会 ・個々の保育所では、新人教育の時間や人員を割けないことは理解できるが、園の外で、希望する人が受けられる実践的な研修等があると、新人でも働きやすいのではないかな。 ◆アルバイト等で入職前に実際の職場を知る機会 ・数日間、無給又は低い給与でよいので体験期間があるとよい。 ◆手厚いフォロー体制 ・相談できる職員が各保育所にいると何かあるときに頼れる。	◆アルバイト等で入職前に実際の職場を知る機会 ◆クラス担任以外から担当するなど徐々に業務経験を積むことができる配置の工夫 ◆年代の近い職員からのフォロー体制

項目	E氏	F氏	G氏	H氏
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入職前に、ボランティアでよいので、1週間くらい保育所で体験させてもらえるとよい。</li> </ul>		
その他	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保育の仕事の魅力</li> <li>・ 保育士は魅力的な仕事。こどもの人格形成に関われるのは素晴らしいと思っている。</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保育の仕事の魅力</li> <li>・ 受け持っているこどもが、保育士だけでなく、こども同士のかかわりの中で成長する姿を支援するのは、ベビーシッターでは経験できず、最大の魅力だと思う。</li> <li>・ また、他のいろいろな保育士がいて、自分とは保育のやり方が違う。その姿を見て自分も学び、成長できる。</li> </ul>

(3) 保育士離職後の空白が長期のグループ

項目	I氏	J氏	K氏	L氏
①基本情報				
性別	女性	女性	女性	女性
年齢	40～44歳	40～44歳	40～44歳	40～44歳
こどもの有無・年齢	2人・末子7歳	1人・末子15歳	こどもはいない	こどもはいない
雇用形態	スポットワーカー	正規職員	派遣社員	派遣社員
現在のお仕事	コンビニエンスストア勤務	福祉関係	金融機関・事務職	事務職
②保育士の経験や過去の勤務施設について				
保育士経験年数	3年以上5年未満	10年以上15年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満
保育士を辞めてからの年数	15年以上20年未満	20年以上	20年以上	10年以上15年未満
過去勤務施設の種別	認可保育所	幼保連携型認定こども園	認可保育所	認可保育所
当時の雇用形態	有期契約職員（フルタイム）	有期契約職員（パートタイム）	正規職員	正規職員
当時の役職	保育士（役職なし） ・短大卒業後、公立の保育所で嘱託保育士として働いていた。 ・1年目は人数の少ない保育所で、15人のこどもを2人の保育士で見ていた。次の異動先が大規模園だった。	主任保育士・主幹保育教諭級 ・直近で働いたのは私立の保育所。 ・短大卒業後、担任として6年勤務。退職して海外で働き、体調を崩して退職後結婚。体調回復後、保育所のパートを始める。その後妊娠し退職。出産後再度保育所に就職し、退職。	主任保育士・主幹保育教諭級 ・私立の保育所で担任も持っていた。結婚を機に東京に移住し、親族が経営していた幼稚園で、幼稚園教諭として3年間働いた。	分野別リーダー（乳児保育リーダー、食育リーダー等） ・短大卒業後、複数の保育所で働いた。いずれも私立で、最後の園でも担任を受け持っていた。
③退職理由、負担が大きかった業務				
退職理由	◆結婚のため ◆行事の準備の負担 ・毎月の誕生日会の準備が大変だった	◆風通しの悪さ・人間関係 ・自分よりも上の立場の保育士が帰らないと帰れなかった。上下関係	◆体力面の不安 ・体力的に家庭との両立が難しかった。	◆行事の準備の負担 ・ずっと行事に追われており、精神的にも追い込まれる。

項目	I氏	J氏	K氏	L氏
	<p>た。また、ピアノが苦手でプレッシャーだった。</p> <p>◆苦手な業務のプレッシャー</p> <p>◆保護者対応時のトラブル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こども同士の噛みつきで保護者に謝罪したが、その後、実際にはしていない発言を広められたことがあった（相手は違う風に受け取ったのだろう）。その頃にちょうど結婚することになったため、それを機に退職した。</li> </ul>	<p>は必ずあるものと思うが、それでも風通しがよく、上の立場の保育士が話を聞いてくれて働きやすい関係があるとよい。女性同士だからこそ問題が多いと感じる。</p> <p>◆持ち帰りの仕事の多さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帰宅してから行事の準備をすることなどが大変で、違う仕事をしてみたくなってしまった。</li> </ul>	<p>◆責任の重さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどもが日々成長していくのが楽しみで、やりがいもあったが、命を預かる仕事の責任の重さを日々感じていた。</li> </ul> <p>◆こどものことに集中できない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者対応、女性の多い職場の人間関係も大変で、こどものことだけを考えたかったがそれは難しかった。</li> </ul> <p>◆待遇の見合わなさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事が大変な割に給料が安いとはよく言われているが、「保育の仕事はお金じゃないでしょ？やりがいでしょ？」などと友人に言われた。それでも見合った給料をもらうことは大事だと感じる。</li> </ul>	<p>◆人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どの園でも園長や主任からの保育士への当たりが強く、働き甲斐がないと感じるようになり、別の職業にしようと思った。</li> </ul>
負担感が大きかった業務	<p>◆保護者への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳児クラスの対応をしていると、噛みつきなどのちょっとしたことにも逐一対応しなければならないという緊張・不安があった。</li> </ul> <p>◆早番・遅番</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早番は朝6時半から、遅番は夜7時までなど、毎日異なるリズムで</li> </ul>	<p>◆持ち帰りの仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどもと遊ぶこと、製作は好きだったが、行事で何をするか考えることや、そのために本屋に通うこと、書類作業や製作を持ち帰って家で対応することがしんどかった。</li> </ul> <p>◆保護者トラブル</p>	<p>◆持ち帰りの仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持ち帰りの仕事はかなり多く、保育士をしていた6年間は家でもいつも仕事をしていた。</li> </ul> <p>◆書類作業や事務作業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎日日案、保護者への連絡帳、製作、常に行事に追われているなど、常にタスクがあった。</li> </ul>	<p>◆書類作業や事務作業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどもが好きで目指した仕事だったので、こどもと関わるのが楽しかった。ただ、好きだけではやっていけない仕事だと感じる。指導計画を作るのに時間を取られ、それ以外の業務との兼ね合いが大変だった。</li> </ul>

項目	I氏	J氏	K氏	L氏
	<p>の勤務が負担だった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活発表会の劇ではこどもそれぞれに役があり、工夫して全員に見せ場があるようにしたつもりだが、保護者からは不満が出て大変だった。</li> <li>◆家族経営の保育所での人間関係</li> <li>・家族経営の保育所では、園長の娘が主任保育士だったのがやりづらかった。</li> <li>◆休暇の取りづらさ</li> <li>・こどもができて以降、こどもの体調不良などで仕事を休むと園長に「なんでそんなに休むの」などと言われたのがもっともしんどかった。</li> <li>◆担任・書類作業</li> <li>・復職の際には、書類のこともあり、絶対に担任は持ちたくないと思っていた。</li> <li>◆拘束時間の長さ</li> <li>・園長がいる日は退勤を促してくれたが、園長がいない日は遅くまで帰れなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保護者トラブル</li> <li>・担任としてはこどもの得意・不得意等をふまえ、1年間のどこかの行事で全員に花を持たせようと計画するが、保護者にその計画を伝えることができない。4月の行事で目立たなかったこどもの保護者から不満が出て、職員室に怒鳴り込んできた保護者もいた。</li> <li>・新卒ですぐに就職すると、「誰に預けても同じ保育料なのに20歳そこそこの小娘に預けるのか」と思われているように感じた。実際にそのように言ってくる保護者もいた。</li> <li>◆体方面・精神面の負担</li> <li>・体力的にも精神的にもきつい。持ち帰りの仕事もあり、常に仕事のことを考えなければならず、負担だった。大事なこどもを預かる仕事だからこそやりがいもあるが、難しく感じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週案・月案があり、園によっては日案もあった。毎日考えるのが苦手なものもあり、しんどかった。</li> <li>◆持ち帰りの仕事</li> <li>・特に製作などは持ち帰りも多かった。こどもの人数が多いとさばききれない部分もある。</li> </ul>
④過去の勤務施設での職場環境改善の取組				
過去勤務施設での職	◆帰宅の声かけ	◆書類業務の見直しなど、事務作業	-	◆帰宅の声かけ

項目	I氏	J氏	K氏	L氏
場環境改善の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>園長の声かけで残業ゼロデーができたことで、延長保育の担当者以外は早い時間に帰れるようになった。ただし、書類の量には変化がなかったので、帰宅後に家で作業してねという感じだった。</li> <li>◆休憩時間の確保</li> <li>途中から昼休憩ができた。また、日中に30分ほど現場から離れることができるようになり、正規職員はその間に書類を片付けるという環境に変わった。</li> </ul>	<p>の負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆メンタルヘルス対策（研修実施、ストレスチェックの実施、カウンセリングの提供等）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>昔は上の立場の職員が帰らないと帰れないということがあった。しかし、自身の退職後、勤務していた園の同期から聞いた話では、上の人から「早く帰ろう」という声かけをするようになり、そのおかげで職員皆が早く帰るようになっていったようだ。</li> </ul>
⑤復職（再び保育士として働く）の意向及び復職に当たっての不安等				
復職意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆雇用の条件が合えば働きたい</li> <li>早番・遅番がもっともネックだと感じる。子育てを優先したいと思うと、保育士は無理だと感じている。こどもはよく熱を出したり、ケガもするので、休む度に頭を下げなければならない。「また休み？」と言われるのが本当に苦痛だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆雇用の条件が合えば働きたい</li> <li>自分が保育士として働いていた時、早朝のみ働いていた70代の女性がいて、元気で素敵な方だった。自身も早朝だけというように、短時間で割り切って働けるならば、こどももかわいく、活力をもらえるだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保育士として働く予定はない</li> <li>長期雇用だと補助的な業務でも不安がある。スポット的に1～2日のみ働くのであれば久しぶりにやってみてもよいかという気持ちはある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保育士として働く予定はない</li> <li>保育の現場に戻ることは考えていない。補助などであればできるかなとは思っている。</li> </ul>
復職時期	すぐにでも	わからない	—	—
復職意向がない理由	—	—	◆年齢・体力の不安	◆家族の事情（介護等）のため
雇用形態の希望	有期契約職員（フルタイム）	有期契約職員（パートタイム）	派遣社員	有期契約職員（フルタイム）

項目	I氏	J氏	K氏	L氏
働き方の希望	シフト制（出勤曜日や勤務時間が固定されていない勤務形態）	シフト制（出勤曜日や勤務時間が固定されていない勤務形態）	シフト制（出勤曜日や勤務時間が固定されていない勤務形態）	シフト制（出勤曜日や勤務時間が固定されていない勤務形態）
時間帯の希望	9時～12時	9時～12時、12時～14時	9時～12時、12時～14時、14時～16時、16時～18時	9時～12時、12時～14時、14時～16時
曜日の希望	平日	平日	平日	平日
復職の際に重視すること	<p>◆勤務時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士として働いている時は、上の人が帰らないと帰れないという風土が嫌だったが、3～4時間だけ働いて帰るといことができるのであれば働きたい。</li> </ul> <p>◆責任が比較的重くない仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 週案などの計画を担当したり、主になって動いたりするのではなく、あくまでサポートとしてであれば、「頑張らない」と思い過ぎずにゆったりとした気持ちで働けると思う。</li> </ul>	<p>◆休暇の取りやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休みが取りやすく、休みたと言いやすく、休みをとっても何も言われないとよいと思う。正規職員よりもパート・アルバイトのほうが言い出しにくだらう。</li> </ul>	<p>◆こどもの人数の少なさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担任を持っていた時は5～6歳児を担当しており、1人で受け持つこどもの人数が多すぎると感じていた。どんなに気を付けていても全員には目を配れない。</li> <li>・ 復職するなら、少人数のこどもとゆっくり向き合い、それぞれが今日何をしていたかを思い出せるような環境がよい。</li> </ul> <p>◆ワーク・ライフ・バランス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持ち帰りの仕事もなく、仕事とプライベートの区別ができる仕事だったらよいと思っている。</li> </ul>	<p>◆待遇のよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少しでも給与が高いとよい。</li> </ul>
復職に当たっての不安	<p>◆保育士を辞めてからのブランクが長いこと</p>	<p>◆保育士を辞めてからのブランクが長いこと</p> <p>◆保育の知識やスキルがないこと、食物アレルギーへの対応</p> <p>◆体力面の負担</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昔はこどもと一緒に走り回っていた</li> </ul>	<p>◆年齢・体力の不安</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就業条件が良くなったとしても、年齢的に体力が厳しいかなという不安がある。</li> </ul>	—

項目	I氏	J氏	K氏	L氏
		<p>たが、今は肩が凝る、腰を痛める不安がある。ピアノの演奏や机の運搬なども必要なため、不安が大きい。</p>		
入職前後にあるとよい支援	<p>◆段階的に業務を覚える計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ やることが明確だと働きやすい。業務が多いので、慣れてきてから段階的にクラスに入る等の対応があるとよい。園の雰囲気慣れてから本格的に現場の補助に入るなどステップがあるとよい。ブランクが長いので、昔と変わった部分にも対応する必要がある。</li> </ul> <p>◆ブランクが長い人材でも歓迎しているという発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短大卒後すぐに働き始めた自分と、自分の子を育てた後の自分は違う。そうした人でも気軽に応募可能と言われると嬉しい。しっかり発信してほしい。</li> </ul>	<p>◆求職者と保育施設のマッチングサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マッチングサービスがあると、条件を言いやすそう。いきなり園には条件を言いにくい。</li> <li>・ 勤続年数が長いと収入も上がっていき、他の園に転職するよりもうまみが出てくる。求職の際の給与が「経験値による」などと言われているはっきりしないが、自分でも聞きにくい部分である。コーディネーターがいれば聞きたいことを聞けそうだと思う。</li> <li>・ ブランクがあっても大丈夫と求人募集に記載のある施設のほうが安心して応募できる。</li> </ul>	<p>◆就職前に現場を見学する機会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現場から離れていた期間が長いので、いきなり現場に入るのではなく、参観日のように、客観的に今の保育の様子をただ見学してみたい。それを見た上で、自分の働き方を考える時間をもてるとよい。</li> </ul> <p>◆退職者の口コミを閲覧できるウェブサイト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昔と違い、ネットの情報が多いので、園を知るきっかけにできるとよい。園からの発信は100%は信じられないため、信用できる情報を見つけるのは難しいが、実際に働いている人や退職した人、保護者のリアルな話を聞けるとよいのだろうと思う。</li> </ul>	<p>◆在職証明の取得の簡略化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別の園への転職の度に、これまでに働いたことのある全ての園から在職証明をもらわなければならないのが大変だった。転職の度に、「また違う園に行くの？」などと言われた。毎回、在籍したことのある全部の園にお願いしないといけないのがすごくしんどいため、もっと負担を軽くできないのか。</li> </ul>
その他	<p>◆保育の仕事の魅力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大変なことは多いが、こどもたちが「先生～！」と寄ってきてくれるのは嬉しく、心の充電になる。</li> </ul>	<p>◆保育の仕事の魅力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こどもたちがかわいくて続いていた。保護者からの励ましもあった。今でも会うこどももいる。</li> </ul>	—	—

(4) 働き方や職場環境を理由に離職したグループ

項目	M氏	N氏	O氏	P氏	Q氏
①基本情報					
性別	女性	女性	女性	男性	女性
年齢	60～64歳	65～69歳	40～44歳	40～44歳	35～39歳
こどもの有無・年齢	2人・末子27歳	2人・末子37歳	1人・末子21歳	2人・末子13歳	3人・末子10歳
現在のお仕事	放課後児童支援員(補助員を含む)	働いていない	ベビーシッター	幼稚園教諭	こどもに関わる職業以外
雇用形態	有期契約職員(パートタイム)	—	その他	正規職員	派遣社員
②保育士の経験や過去の勤務施設について					
保育士経験年数	5年以上10年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	3年以上5年未満
保育士を辞めてからの年数	5年以上10年未満	1年未満	5年以上10年未満	1年以上3年未満	5年以上10年未満
過去勤務施設の種別	小規模保育事業所	小規模保育事業所 ・そのほか、公立私立、小規模・大規模まで、様々な保育施設で勤務	認可保育所 ・上記以外に、企業主導型保育事業所での勤務経験あり	認可保育所	企業主導型保育事業
当時の雇用形態	有期契約職員(パートタイム)	派遣社員	有期契約職員(パートタイム)	正規職員	有期契約職員(パートタイム)
当時の役職	保育士(役職なし)	保育補助者	保育士(役職なし)	保育士(役職なし)	副主任保育士
当時の働き方	・中番(10～16時)で勤務することが多かった。残業は多くなかった。 ・お迎えが遅い子どもを見ることもあった。給食室の	・希望して中番で働いていた。最初はフルタイムで働き始めたが、体力が持たず、7時間勤務に変えた。 ・保育補助者としてクラス	・自宅近くの認可保育所にパートタイムで勤めていた。また、同時期にベビーシッターもしていた。 ・過去に勤めた企業型主導	・フルタイム勤務 ・モンテッソーリ教育を重視している施設だった。子どもがやりたいことを飽きるまでやらせる方針で、	・8時30分～16時までのパートタイムで5年間勤めた。 ・運動会などの行事に力を入れる施設だった。出来栄

項目	M氏	N氏	O氏	P氏	Q氏
	<p>片づけをしながら、こどもから目を離さないように、職員2人程度で対応していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳児クラスを担当することが多かった。0歳児クラスはこどもの発達の差が大きく、また保育士側が立ったり座ったりを繰り返すことも多く、大変だった。</li> </ul>	<p>に入ることが多かった。施設によっては、連絡帳を書いたりもした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早番から遅番まで様々なシフトで働いたこともあるが、リズムが定まらず、大変だった。</li> </ul>	<p>型保育事業所では早番で勤めながら、系列の他の施設の勤務も任されており、1日に3施設まわることがあった。</p>	<p>保育士は危険がないように見守るような接し方だった。この理念には共感していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設には男性の保育士が1人しかおらず、女兒やその保護者との接し方で難しさを感じる場面も多かった。女性の保育士とペアを組み、やりづらい場面はお任せしていた。</li> </ul>	<p>えにこだわる施設で、行事前には、こどもは毎日練習し、保育士も準備で忙しかった。会議も長く、深夜まで会議をしたことがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定した活動(運動、英語、運動会の練習など)は計画どおりに実施せざるを得ず、こどものやりたいことに応じて活動内容を変更できない施設だった。</li> </ul>
③退職理由、負担感が大きかった業務					
退職理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆健康上の理由(体力含む)のため</li> <li>・午睡の時間になると泣くこどもがおり、抱っこして付きっきりの対応をしていたが、腰痛がひどくなり、仕事を続けられなくなった。</li> <li>◆職場内の人間関係・ハラスメント</li> <li>・上記のように、泣いているこどもを抱っこすることに対し、周囲からはそんな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆通勤が大変だったため</li> <li>◆業務量が多く大変だったため</li> <li>◆健康上の理由(体力含む)のため</li> <li>・体力的にしんどかった。午睡後に夏場はプールで水遊び、夏場以外は砂場で遊ぶが、砂をかけあって遊ぶため、シャワーや着替えなど大変だった。</li> <li>◆保育観の相違</li> <li>・小規模な施設で施設長の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆給与がよくなかったため</li> <li>◆職場内の人間関係・ハラスメント</li> <li>・発達が気になるこどもへの支援に力をいれたいと考えていたが、同僚の保育士から自分たちと同じことをしてほしいと注意を受けたり、他保育士に発達障害について学ぶ意欲も見られず、考え方が合わず辞めた。</li> <li>・過去には、施設長と考えが</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆給与がよくなかったため</li> <li>・保育士の仕事は好きだったが、金銭面を理由に退職した。こどもが2人おり、共働きであっても経済的に苦しかった。</li> <li>◆家庭との両立</li> <li>・朝は早く、夜も遅いため、夫婦間で家事を分担しても、配偶者に負担が偏り、夫婦関係に悪影響を及ぼすこともあった。</li> <li>・持ち帰り仕事に時間が取</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆職場内の人間関係・ハラスメント</li> <li>◆業務量が多く大変だったため</li> <li>・先輩保育士が一斉に退職したことで、採用した新人の教育、パート社員のシフト調整、行事で使用する会場とのやり取り等を一手に引き受けることになり、業務負担に耐えかねて退職した。</li> <li>◆施設の理念との不一致</li> </ul>

項目	M氏	N氏	O氏	P氏	Q氏
	<p>に抱っこしなくてよいと言われ、周囲との温度差を感じたことも、続けづらくなった要因の一つである。</p>	<p>意向が強かった。こどもの主体性を尊重してこどもに遊ばせる方針だったが、実際は時と場合によることが多かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入職前に自身が読ませたい絵本を持参してもよいと言われたが、実際には担任の保育士に断られた。</li> </ul> <p>◆担当する業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除ばかりしなければならない園もあり、やりたい仕事ができず、退職した。</li> </ul> <p>◆雇用形態による格差</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回の職員会議は正社員と限られたパート職員しか出席できず、派遣社員は意見を言えなかった。</li> <li>・公立で勤務環境はよかったが、契約期間の関係上、長く勤められなかった。</li> </ul>	<p>合わず退職したこともある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性同士の派閥争いが激しい職場も経験した。こどもの世話をするために働いており、保育士間のいざこざに巻き込まれたいとは思ったこともある。</li> </ul> <p>◆健康上の理由（体力含む）のため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・階段の昇降の負荷に体が耐えかねて退職したこともある。</li> </ul>	<p>られ、家族との時間や睡眠時間も削られた。体力的にもきつと感じていた</p> <p>◆苦手な業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身は不器用でクリエイティブでもなく、勉強はしたものの、製作は苦手だった。他の保育士は素晴らしい製作をしており、自分は劣っているようにも思えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定した活動は計画どおりにしなければならぬシステムティックな方針が合わなかった。</li> <li>・施設長が壁面に飾るこどもの製作物を汚いと評した。保育士がきちんと手を添えて作るようにと指導を受け、心が折れたこともあった。</li> </ul>
負担感が大きかった業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保育士1人でみるこどもの数の多さ</li> <li>◆衛生管理・感染症対策</li> <li>◆安全確保・事故対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保育士1人でみるこどもの数の多さ</li> <li>◆衛生管理・感染症対策</li> </ul>	◆その他（先輩保育士からの嫉妬）	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保護者への対応</li> <li>◆離乳食への対応</li> <li>◆クラス担任をもつこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆クラス担任をもつこと</li> <li>◆安全確保・事故対応</li> <li>◆書類作業や事務作業</li> </ul>

項目	M氏	N氏	O氏	P氏	Q氏
④過去の勤務施設での職場環境改善のための取組					
過去勤務施設での職場環境改善の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆配置基準以上の人員配置</li> <li>◆多様なシフト（勤務形態）の運用</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保育補助者の配置や保育支援者等の配置による負担軽減</li> <li>◆業務負担軽減のための外部サービスの活用</li> <li>◆ノンコンタクトタイムの導入</li> <li>◆配置基準以上の人員配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保育補助者の配置や保育支援者等の配置による負担軽減</li> <li>◆働き方の見直し（ノー残業デーの設定等）</li> <li>◆職員同士のコミュニケーションを円滑にするような工夫（対話の機会の重視、親睦会等の実施、コミュニケーションスペースの確保等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ハラスメントに関する研修の実施（管理職向け・全職員向け）</li> <li>・研修直後は意識が高まるが、日々の業務の中で意識が続かなかった。定期的であればよいかもしれない。</li> </ul>
⑤保育士として働きやすい職場環境づくりのために必要なこと					
保育士として働きやすい職場環境づくりのために必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆マニュアル等の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・器具や遊具の使い方など、マニュアルが整備されているとよい。</li> </ul> </li> <li>◆保育士の仕事への理解 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士の仕事は、こどもと遊ぶだけの仕事と思われがちであるが全くそうではない。世間一般の保育士への見方や保育士の仕事の尊厳を高めてほしい。</li> </ul> </li> <li>◆その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度からこども誰でも</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆業務の軽減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に私立保育所は民営であるため、保護者の希望が多く受け入れる傾向にあり、対応することが多い。</li> </ul> </li> <li>◆待遇の改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣社員の仕事は掃除ばかりだった園もある。</li> <li>・派遣社員は比較的給料が高いが、正社員、パート社員は給料が低い。給料はやる気に直結する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆待遇の改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>・正社員、パート社員の給料が低い。</li> <li>・給料が低いにもかかわらず、業務量が多い。こどもの命を預かる仕事、人を育てる仕事にもかかわらず、待遇が悪すぎるだろう。</li> </ul> </li> <li>◆保育士の仕事への理解 <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもを育てることは専業主婦がするものという意識の強い人も未だ多いのではないか。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆職場環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育業界はブラックな職場だと言われるが、保育現場も同様である。</li> <li>・私立保育所では、職員を増やしてほしいと思っても、人件費が増やせないこともあるため、園への補助を充実してほしい。こどもが好きで保育の仕事を目指しても、待遇面等により他の仕事に就く人もおり、もったいないと感じる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆業務の効率化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル化と分散化が進むとよい。例えば、保護者への連絡はメールで一斉送信する、製作物はリースする、発表会の衣装はレンタルする、施設の掃除は外部委託する、などが考えられる。</li> </ul> </li> </ul>

項目	M氏	N氏	O氏	P氏	Q氏
	通園制度が始まる。突発的に預かってほしいというニーズはあるだろうが、アレルギー含め、こどものことがよくわからない状況で預かることはできない。現場には難しい対応が迫られると感じる。			◆男性保育士が働きやすい環境 ・男性保育士は自分1人だけだったが、同僚とうまく付き合うことができていたと思う。ただ、同性の保育士が複数いると、心強かっただろう。	
⑥復職（再び保育士として働く）の意向及び復職に当たっての不安等					
復職意向	雇用の条件が合えば働きたい	雇用の条件が合えば働きたい	雇用の条件が合えば働きたい	雇用の条件が合えば働きたい	自分や周りの環境が変化すれば働きたい(子育てや介護が落ち着くなど)
復職時期	1年程度先	半年以内	1年程度先	半年以内	2年以上先
雇用形態の希望	有期契約職員（パートタイム)	派遣社員	その他（ベビーシッター）	正規職員	有期契約職員（パートタイム)
働き方の希望	固定時間勤務（出勤曜日や勤務時間が決まっている勤務形態）	固定時間勤務（出勤曜日や勤務時間が決まっている勤務形態）	固定時間勤務（出勤曜日や勤務時間が決まっている勤務形態）	固定時間勤務（出勤曜日や勤務時間が決まっている勤務形態）	固定時間勤務（出勤曜日や勤務時間が決まっている勤務形態）
時間帯の希望	～9時、9時～12時	16時～18時	～9時、9時～12時、12時～14時、14時～16時、16時～18時	9時～12時、12時～14時、14時～16時、16時～18時	9時～12時、14時～16時
曜日の希望	土曜日、日曜日・祝日	平日	曜日の希望は特にない	平日	平日
復職の際に重視すること	◆やりがい ◆保育理念への共感 ◆保育所等の法人の評判	◆職場の人間関係 ◆勤務地（自宅から近い等） ◆勤務時間	◆職場の人間関係 ◆昇格制度（キャリアアップ）	◆保護者連絡等のシステムの導入がある ◆勤務する時間帯	◆職場の人間関係 ◆給与 ◆雇用が安定している

項目	M氏	N氏	O氏	P氏	Q氏
	<p>◆勤務施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士資格を活かせる仕事は多い。昨今の保育士の働き方を聞くと、保育施設で保育士として働きたいとは思えない。</li> </ul> <p>◆待遇面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的な妥当性も必要であるほか、休みやすいことも重要である。</li> </ul>		<p>◆保育所等や法人が職場環境向上に取り組んでいる</p>	<p>◆休暇が多い・とりやすい</p>	<p>◆勤務施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれ正社員で保育士として働きたい。ただし、保育施設ではなく、児童養護施設などで働きたい。</li> </ul> <p>◆働き方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休む時は休む、やるときはやるというメリハリが重要である。やりがいを持って働きたい。</li> </ul>
復職に当たっての不安	<p>◆保育士を辞めてからのブランクが長いこと</p> <p>◆保育士経験が浅いこと</p> <p>◆近年の保育分野の動向を知らないこと</p>	<p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除が多いのは困る。</li> </ul>	<p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の保育士の性格。</li> </ul>	<p>◆保護者への対応</p> <p>◆発達に課題のあるこどもへの対応</p>	<p>◆安全確保・事故対応</p>
入職前後にあるとよい支援	<p>◆クラス担任以外から担当するなど徐々に業務経験を積むことができる配置の工夫</p> <p>◆年代の近い職員からのフォロー体制</p>	<p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣でも希望を言える場。</li> </ul>	<p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設で働いている保育士の性格を知れる機会があるとよい。</li> </ul>	<p>◆入職前にピアノ等の実技を学べる（学び直す）機会</p> <p>◆入職前に保育現場における ICT 機器の使い方を学べる機会</p> <p>◆年代の近い職員からのフォロー体制</p>	<p>◆入職前に保育現場における ICT 機器の使い方を学べる機会</p> <p>◆年代の近い職員からのフォロー体制</p>

## 第6章 保育施設等ヒアリング調査結果

### I 調査の概要

#### 1. 調査目的

保育士確保に係る現場の課題を把握するとともに、保育士の業務改善・負担軽減に向けた職場環境の整備、保育士の離職防止、保育士資格保有者の復職促進等のための施策について検討することを目的として、保育施設等を対象としてヒアリング調査を実施する。また、現場の課題感や今後の施策に対するニーズ等を確認するため、協力いただける施設に対しては、施設管理者に加えて、中堅保育士へのヒアリングを実施する。

なお、調査は、主にアンケート調査設計の参考とするためのプレヒアリングと、アンケート調査結果を補足するための本ヒアリングに分けて実施した。

#### 2. 調査対象

プレヒアリング、本ヒアリングとも、施設種別は、全国の保育所等（認可保育所、地域型保育事業所、保育所型認定こども園、幼保連携型認定こども園）を対象とする。

<プレヒアリング>

2 施設

<本ヒアリング>

6 施設

#### 3. 調査対象の選定の視点及び選定方法

<プレヒアリング>

調査対象の選定に当たっては、保育補助者・保育支援者等を活用していない施設と、過年度調査研究等において業務負担軽減に関する積極的な取組がみられる施設を、各1施設選定した。

<本ヒアリング>

調査対象の選定に当たっては、「ICT活用園（都市部、地方部）」「ICT未導入園」「ICTを導入しているものの、未活用園」「保育補助者・保育支援者活用園」「保育補助者・保育支援者未活用園」の5類型を設定し、それぞれ以下の条件に基づいて選定を行った。選定に当たっては、自治体の人口規模や地域（都市部、地方部等）に偏りがないよう配慮した。

<選定条件>

ICT活用園（都市部）	保育ICTを積極的に導入・活用している施設（都市部）
ICT活用園（地方部）	保育ICTを積極的に導入・活用している施設（地方部）
ICT未導入園	保育ICTを未導入の園
ICTは導入しているものの、未活用園	保育ICTを導入しているものの、未活用の園
保育補助者・保育支援者活用園	保育補助者・保育支援者を活用している施設
保育補助者・保育支援者未活用園	保育補助者・保育支援者を活用していない施設

#### 4. 調査実施方法

オンラインによるヒアリング（施設管理者：約 60 分、中堅保育士：約 30 分）

#### 5. 調査実施時期

<プレヒアリング>

2025 年 11 月～2025 年 12 月

<本ヒアリング>

2026 年 1 月～2026 年 3 月

#### 6. 調査内容

ヒアリング調査における主な調査内容は、次のとおりである。

<施設管理者向け>

- ・ 保育施設の概要、勤務環境
- ・ 保育従事者の人員配置（保育士、保育補助者・保育支援者）
- ・ 保育補助者・保育支援者の活用について（担当業務内容・保育士との役割分担、保育士の業務負担軽減に及ぼす影響、活用にあたっての課題、今後サポートしてほしい業務内容）
- ・ 保育 ICT の導入・活用について（インターネット環境・端末・保育 ICT の整備・導入状況、ICT 導入による業務負担軽減の効果、導入・活用にあたっての課題と課題解消のための工夫、今後の導入・活用意向）
- ・ 業務負担軽減の取組状況及び効果について（保育現場において負担が大きい業務内容、保育補助者や保育 ICT の活用以外に取り組んでいる業務負担軽減の取組、取組による効果、今後の導入・活用意向）

<中堅保育士向け>

- ・ プロフィール（年代、担当クラス、役職、経験年数、雇用形態、勤務日数・時間、離職経験の有無等）
- ・ 保育補助者・保育支援者との関わり・サポートについて（サポートの有無、役割分担状況、サポートによる業務負担軽減効果、今後サポートしてほしい業務内容）
- ・ 業務負担軽減の取組状況及び効果について（保育現場において負担が大きい業務内容、保育補助者や保育 ICT の活用以外に取り組んでいる業務負担軽減の取組、取組による効果、今後の導入・活用意向）

## 7. 調査対象一覧

調査対象一覧は以下のとおりである。

No.	施設名	所在地	事業種別	定員規模	運営主体	保育補助者・ 保育支援者の 活用	保育 ICT の導入
1	A 施設	東京都	認可保育所	90～ 120 人	社会福祉法人	○	○
2	B 施設	滋賀県	認可保育所	90～ 120 人	営利法人	○	○
3	C 施設	埼玉県	認可保育所	151 人 以上	営利法人	○	○
4	D 施設	佐賀県	小規模保育 事業所 A 型	12 人以下	個人	○	○
5	E 施設	兵庫県	認可保育所	90～ 120 人	社会福祉法人	○	—※
6	F 施設	秋田県	幼保連携型 認定こども園	61～90 人	学校法人	○	○
7	G 施設	広島県	幼保連携型 認定こども園	61～90 人	学校法人	○	○
8	H 施設	岡山県	幼保連携型 認定こども園	61～90 人	社会福祉法人	—	○

注) 2026 年 4 月に保育 ICT を導入予定。

## II ヒアリング調査結果（保育施設等向け調査結果）

### 1. 保育士の業務負担状況

保育士の休憩の取得状況をみると、日中に十分確保できていないとの声が多く施設から聞かれた。具体的には、休憩とされている時間帯に、こどもの様子を見守りながら保育士も一緒に給食を食べていたり、こどもの午睡を見守りながらそのそばで事務作業や連絡帳に記入したりと、何らかの業務が行われていた。

そうした状況に対して課題感を有する施設管理者も少なくないが、保育室の人員配置や、施設内での休憩スペースの確保などが課題となり、十分な休憩時間が取得できていないことが伺えた。

ノンコンタクトタイムの取得状況は休憩の取得状況と同様、日中に十分確保できておらず、長くても1時間程度という実態が多くみられた。休憩時間や残業時間に事務作業を行っている状況もみられた。ノンコンタクトタイムを取得できている施設においては、非常勤の保育者が勤務している時間帯に取得したり、手の空いた時間に保育 ICT を活用して細切れに取得したりする様子が伺えた。

次に、保育の現場において業務負担が大きい業務内容をみると、保育にかかる計画や記録といった書類作成業務、運動会や発表会等の行事の準備等が挙げられた。保育士1人が担う業務が多く、保育 ICT を導入して効率化を図っているものの、業務負担は依然として大きいという声が聞かれた。また、業務量の多さだけでなく、配慮を必要とするこどもへの対応や保護者対応等に負担感がある様子も伺えた。近年、外国籍のこどもや保護者が増えており、コミュニケーションがうまく取れないことを課題に感じている施設もみられた。

1日の中では、朝の受け入れ、夕方のお迎えの時間帯が特に忙しいとの声が多かった。具体的には、職員が不足する時間帯でありながら、こどもの受け入れや送り出しの業務と並行して保育活動の準備や片付けを行わなければならない状況が伺えた。

図表 6-1 休憩の取得状況（ヒアリング調査結果より）

#### ■休憩時間を確保

- ・ 休憩はまとめて取得できる時にはまとめて取得してもらおうが、昼に職員会議があるため、難しい場合は30分ずつに分けて取得してもらっている。また、休憩を取れていない場合には声を上げてもらうようにしている。(A施設)
- ・ 休憩は、常勤の保育士は1時間、非常勤などの6時間勤務の保育士は45分間を取得している。休憩場所については、園内のスペースにあまり余裕がないため、園に隣接する賃借アパートの1室を利用している。(D施設)
- ・ 休憩時間は1日45分でおおむね取得できている。(E施設)

#### ■休憩時間の確保が困難

- ・ 休憩は、ほとんどの保育士はしっかり取得できているが、主任保育士のみ、保育計画の作成や保育士の指導、各保育士から相談を受けることが多いため、十分取得できないことがある。行事担当者は毎年変わるため、これまでの経緯に詳しい主任保育士が相談を受けることが多く、担当者間の引き継ぎが課題である。(C施設)
- ・ 休憩については、まとまって取得できていない。こどもが昼寝をしているのを見守りながら昼食をとり、午睡中に事務作業等を進める。乳児担当の場合はSIDSチェック（午睡チェック）も

必要になる。(B 施設)

- ・ 休憩は十分に確保できていない。昼休憩の際にこどもと一緒に給食を食べて過ごすことが多い。手厚い配置はある一方、日々、休憩を取得しやすい職場づくりについては課題が残っている。要因としては、保育教諭が現場を離れにくい雰囲気があるほか、こどもから離れている時間は、書類作業をするという意識になってしまうことが挙げられる。また、1人で別室でお昼をとるなら、こどもと一緒に給食を食べたほうが楽しいという声もある。「何もしない時間を確保する」という、休憩に対する意識改革が必要かもしれない。(G 施設)
- ・ 給食と午睡の時間帯に合わせて1時間程度の休憩を確保するという方針だが、十分に取得できていない。3歳以上児は3歳未満児に比べて眠りにつくまで時間がかかるため、特に3歳以上児を担当する保育教諭の場合、休憩時間が短くなる傾向にある。(F 施設)
- ・ 休憩時間はこどもの午睡の時間に設定されているが、保育時間後に残業するのを避けるため、実際は保育記録の作成等をしていることが多い。休憩室も十分な広さではないため、こどもが寝ている保育室の端でお茶を飲みながら作業している。(H 施設)

図表 6-2 ノンコンタクトタイムの取得状況（ヒアリング調査結果より）

■ ノンコンタクトタイムを日常的に確保

- ・ ノンコンタクトタイムは、非常勤保育教諭のいる時間帯や学生アルバイト（保育補助者）が多い時間帯に取得しており、常勤保育教諭が日中、担当クラスから全く離れられないという状況にはなっていない。(G 施設)
- ・ ノンコンタクトタイムは短くて30分、長くて1時間である。ただし、業務用のスマートフォンを導入したことで、ここ1～2年はすき間時間に指導計画の作成等を行えるようになり、まとまった時間をとらなくても、10～15分、現場を離れて記録を済ませられるようになった。そのため、全体としては時間が短縮された。(A 施設)
- ・ 製作の準備などは、スポット支援員の勤務日や、人員に余裕がある日などに交代で不定期にノンコンタクトタイムを確保し、アパートで行うこともある。(D 施設)

■ ノンコンタクトタイムの確保が困難

- ・ ノンコンタクトタイムは、人手が足りている日は一定確保できるが、実際にはほとんどとれないことが多い。こどもが昼寝をしている2～3時間の間に、食事を含む休憩と事務作業をしているため、日中に1時間確保できればかなりよい方である。職員全体ではどの程度確保できているのかはわからない。(B 施設)
- ・ ノンコンタクトタイムは、十分確保できていない状況である。日中に30分～1時間程度の時間ができた際に、気持ちを切り替えて時間を有効に活用できるようになることが必要である。ただし、保育室の保育士が少なくなると、保育室に残る他の保育士の負担が増えるため、代わりにフリーの保育士を配置するようにしている。今後ノンコンタクトタイムを増やすためには、保育士の配置人数を増やすことも必要である。(C 施設)
- ・ ノンコンタクトタイムを取得できるかどうかは、こどもの受け入れ人数、保育士の人数に加え、当日の急な欠員もあるため、予定どおりにはいかないことも多い。事務作業のため残業が必要な場合は施設長に申し出て、平日の定時後や土曜日に残業することがある。(C 施設)

- ・ ノンコンタクトタイムは時間帯を設定するなどしておらず、意識的に取得しているわけではない。基本的に勤務時間は全てこどもと一緒に過ごす時間となっており、事務作業の時間を別に設けてはいない。休憩時間や残業時間に事務作業を行っている。(H 施設)
- ・ 休憩時間と同様、十分に確保できていない。(F 施設)

図表 6-3 保育の現場において業務負担が大きい業務内容（ヒアリング調査結果より）

■書類作業、計画作成等の業務

- ・ 保育 ICT を導入しても、人手不足により、保育士 1 人が担当クラスのこども 16 人分の書類を作成しているため、やはり負担は重い。(B 施設)
- ・ 保育士の事務負担の多さが課題である。例えば、安全のためにチェックする項目は年々増えている。また、保育計画や保育要録は同じ内容を記入することも多く、重複する内容は省略したい。こどもと向き合う仕事がしたくて保育士になったものの、それ以外の業務に多くの時間を割かなくてはいけない状況である。(C 施設)
- ・ 保育日誌、保育計画等の書類作成、運動会、遊戯会等の行事の準備の負担が大きい。保育日誌、保育計画等は、記載内容の検討に苦勞するが、保育・教育活動のために必要なことである。(F 施設)
- ・ 書類等の作成の負担が大きい。具体的には、週案、個人記録、支援が必要なこどもの記録等、記入するものが多い。(F 施設)
- ・ 年長クラスの担任をしていると、特に冬頃は小学校に提出する書類の準備等の業務が増えるため、負担が重くなる。(A 施設)
- ・ 月案、年案、週案の作成等、帳票管理の負担が大きい。保育士によって書類の作成に対して得意不得意もあり、同じように作業時間を確保していても、それぞれ負担感が異なる。(C 施設)

■行事の準備等

- ・ 運動会や発表会等の年間行事も含め、日々業務に追われている。幼児教育プログラムで使用する教材の作成やこどもの理解度チェック、プログラミングレッスンの準備、クリスマス会の楽器練習等も現場の負担となっている。(B 施設)
- ・ 保育日誌、保育計画等の書類作成、運動会、遊戯会等の行事の準備の負担が大きい。(再掲) (F 施設)
- ・ 若い保育士の場合は、行事の前後の短い期間に業務量が急に増えることに慣れておらず、負担を感じることはあるだろう。(A 施設)

■配慮を必要とするこどもへの対応

- ・ アレルギーのあるこどもや発達段階に応じた細やかな配慮が必要なこどもが増えており、個別の配慮への難しさを感じている。緊張感を持って対応しており、精神的にも負担を感じることもある。(H 施設)
- ・ 自身のクラスには、発達にかかる診断を受けているこどもが 2 人、診断はないが保育教諭の目から見て気になるこどもが数名いる。発達面で配慮が必要なこどもは増えており、以前は施設に 1 人程度しかいなかったが、今ではどのクラスにも必ずいる。(H 施設)

- ・ こどもによって発達の差が大きく、配置基準にあるような、複数のこどもに職員1人で対応するのは非常に大変だと感じる。こどもから「一緒に遊ぼう」と言われても、他の業務で忙しく「10分だけ」など、こどもの誘いを断らなければならない状況に葛藤がある。(B施設)

#### ■早朝、お迎え、延長保育の時間帯

- ・ 早朝や延長保育の時間帯に勤務する保育士の確保が難しい。例えば、退勤前の机の出し入れや、保育中のこどもが遊ぶための環境整備等の際に、保育補助者に助けてもらえると非常に助かるが、現状は不足している。非常勤の保育士も、曜日によっては早めの時間に退勤することもあるため、常勤の保育士が担当することが多くなってしまっており、負担感が心配である。(A施設)
- ・ 週末の夕方のお迎えの時間帯は、保育士数人でこどもを見つつ、保護者が持ち帰るシーツや上靴等の準備とお迎えの対応を並行する必要があるため、バタバタすることがある。(A施設)

#### ■保護者対応

- ・ 保育士になりたての頃は、こどもと関わる時間が多かったが、経験年数が長くなるにつれて保護者対応が占める比重が多くなってきている。虐待・ネグレクトが疑われるケースや、外国籍のこどもの対応はより負担が大きい。(B施設)
- ・ 保護者対応も負担が大きい。保育士に対して強く意見を述べる保護者もいる。そうした保護者には、施設長が対応するが、保護者と施設長の間で板挟みになることを負担に感じる保育士もいる。(C施設)

#### ■外国籍の保護者とのコミュニケーション

- ・ 外国籍のこどもが増えてきており、こどもや保護者と日本語でコミュニケーションが取れず、負担が大きいと感じている。翻訳アプリとジェスチャーを駆使して対応している。(H施設)
- ・ 外国籍の保護者とのコミュニケーションは、保育ICTの有無にかかわらず課題である。外国籍の保護者の多くは、保育施設からの連絡をこまめに確認する習慣がなく、アプリの連絡をみていないことが多い。必ず伝えなければならない内容は、施設にお迎えに来た際などに直接コミュニケーションをとる必要がある。通訳をしてくれる先生の配置等も検討する必要がある。(B施設)

#### ■力仕事、用務の仕事

- ・ 保育士が女性のみであることもあり、大きな窓の掃除や、夏季に使用する屋根の着脱など、力仕事をできる男性の職員がいない。業者をお願いするしかなくなっていることが多い。また、用務員のような、壊れている備品の修理、畑の整備などを担当する職員がいるとありがたいと思う。求人を出したことはないものの、人材を探しているがなかなか見つからない。給与を充実させれば働いてくれるかもしれないが、男性が受け入れてくれるような額の給与を支払うのが難しい。(D施設)

## 2. 保育補助者の活用

こうした保育士の業務負担に対し、保育補助者を活用し、保育士の業務負担の軽減を図る施設がみられた。保育補助者の担当業務は、こどもと関わる活動や給食の配膳や後片付け、清掃・消毒、こどもの見守りや午睡チェックのサポート等が挙げられた。施設によっては、保育補助者の適性或資格に応じて業務配分を工夫しており、例えば、子育て支援員研修を修了した保育補助者には、なるべくこどもと関わる業務に配置している場合もあった。

多くの施設において、保育補助者の活用によって、保育士の業務量が減少し、保育士が休憩や休暇を取得できるようになったほか、保育士のこどもと関わる時間が増えるなどの効果がみられた。また、配慮を必要とするこどもや集団から外れてしまうこどもへの個別対応を保育補助者が担うことで、保育士が安心してクラスの保育活動を進められるという意見もあった。

一方で、保育補助者の活用における課題として、保育補助者に任せられる業務には限りがあるため、保育補助者がいても保育士が現場から離れられない実態があった。また、保育補助者の担当業務は多岐にわたるものの、保育活動の取りまとめ、保育にかかる計画や記録といった書類作成業務、保護者対応等の保育の中核にかかる業務は、保育士が担当するようにしている施設や、資格所有者のみを雇用する方針を取っており、保育補助者を配置しない施設もあった。

今後の保育補助者の活用については、現場の保育士からも増員を求める声が多く、こどもと関わる業務に加え、行事・製作物の準備や施設の衛生管理、力仕事のサポート等を任せたいという意見が聞かれた。保育士がこどもと向き合う時間やノンコンタクトタイムを増やすためにも、保育補助者のサポートに期待が寄せられている。一方で、前述の保育補助者の活用における課題に加え、最低賃金が年々上昇していることから、保育補助者を雇用できる時間が短くなっている点も課題として挙げられた。

図表 6-4 保育補助者の担当業務（ヒアリング調査結果より）

- |   |
|---|
| <p>■ こどもと関わる業務、給食の配膳・後片付け、清掃、午睡チェックのサポート等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 保育補助者にはこどもと関わる業務や、施設内の清掃等を担ってもらっている。業務内容は正規職員とほぼ同じだが、正規職員と比べて責任は小さい。(B 施設)</li><li>・ 保育士と保育補助者の業務内容は特に分けていない。保育補助者であっても、こどもとたくさん関わることで、モチベーションが向上し、保育士になりたいと思ってくれることが増えると考えている。具体的な業務内容は、用務や保育の環境準備、こどもとの関わりなどである。(A 施設)</li><li>・ 保育補助者の主な業務内容は、給食の配膳と後片付け、施設内の清掃である。また、保育士が連絡帳を記入する間、保育補助者がこどもの見守りを担ったり、保育士の午睡チェックのサポートをしたりしている。(C 施設)</li><li>・ 保育補助者の業務は、こどものトイレへの誘導、おむつ交換、布団敷き、こどもの見守り等である。当施設には清掃職員が別で1人いるが、クラス内の細かな消毒などは保育補助者が行っている。なお、書類作成、連絡帳の記入、ミルクの調乳、アレルギーのあるこどもの給食介助等の業務は保育教諭が実施している。(F 施設)</li><li>・ 給食やおやつの手伝い、簡易ベッドなどの備品の運搬・準備、散歩の付き添いなど、さまざまな業務に臨機応変に対応してもらっている。(D 施設)</li></ul> |
|---|

#### ■資格に応じた役割分担

- ・ 保育補助者が子育て支援員研修を修了しているかどうかで保育士との役割分担を調整している。子育て支援員の場合は、こどもの送迎で忙しい早番や遅番に配置している。施設の閉園業務もお願いしており、閉園前の30分程度、こどもの見守りに携わってもらっている。また、子育て支援員であれば、園児の情報共有をしながら、保育士と一緒にこどもと関わってもらっている。加配が必要なこどもは、多動であったり、他のこどもに手を出してしまったりすることがあるため、担任の保育士だけでは見切れないことがあり、子育て支援員にサポートしてもらうことがある。(C施設)
- ・ 特に子育て支援員の資格を有する保育補助者は、小さなこどもに関わっていることが多い。資格を持たない保育補助者には、なるべくこどもと関わりながら保育士のアシスタントのような仕事をしてもらい、子育て支援員の資格を取得するようにお願いしている。(A施設)

#### ■適性に応じた業務配分

- ・ 保育補助者の中には、手書きの書類であれば対応できる人や、書類は担当できないが環境整備、配膳、朝の受け入れはできる人等、様々な人材がいることを踏まえ、それぞれ得意な部分を担当してもらっている。(A施設)
- ・ 保育教諭と保育補助者の役割は明確に分けていない。保育補助者には施設内の清掃だけでなく、例えば、音楽の教員免許を保有している方にはピアノを弾いてもらう、特別支援教育の教員免許を保有している方には加配のこどもの見守りをしてもらうなど、それぞれの適性に合わせた配置を心がけている。ただし、こうした保育活動の取りまとめや、保育計画の作成、保護者対応等の保育の中核にかかる業務は、常勤の保育教諭が担っている。(G施設)

図表 6-5 保育補助者の活用が保育士の業務負担軽減に及ぼす影響（ヒアリング調査結果より）

#### ■保育士の負担軽減

- ・ 保育補助者がいることで、保育士が年次有給休暇を取得しやすくなっている。また、大きな行事の準備等に必要な人手が充足されている。(A施設)
- ・ 保育補助者の中には、休憩をとらずに短時間で退勤する人もいる。そのため、保育補助者が勤務している間に常勤の保育士が休憩をとってしまうなどの工夫ができています。(A施設)
- ・ 保育補助者が前述の業務を担うことで、保育士がこどもと関わる時間を生み出すことができおり、保育補助者の役割は重要だと実感している。(C施設)
- ・ 学生アルバイトが多いおかげで、保育教諭の業務負担軽減につながっている。また、手厚い配置により、保育教諭にゆとりがあると、指導監査等の際に評価を受けている。(G施設)
- ・ 保育補助者を雇う以前は、保育教諭が消毒、清掃等を全て行っており、勤務時間中は常にフル稼働で疲弊していた。保育補助者を配置してからは、保育教諭は午後に休憩が取れるようになり、こどもの世話以外の業務（おむつの補充等）の負担が軽減された。(F施設)

#### ■配慮が必要なこどもや、個別対応が必要な場合の対応

- ・ こどもとの関わりの中で、個別のフォローを担ってくれることがとても助かる。常勤の保育士は常に集団全体を見なければならぬ中で、集団から外れてしまう子に対応しきれなかった

り、目の届かない部分が出てきたりする。そのような時に保育補助者が個々のこどもに対応してくれることで、保育業務が円滑に進む。(A 施設)

- ・ 配置基準が定められている担任以外にもクラスを担当する保育補助者がいることで、担任が安心できる。こどもと接していると、例えば、劇の練習中に遅刻で登園してきたこどもや、集団に入れていないこどもへの個別対応のようなイレギュラーな業務が必ず発生する。その際にも保育補助者がいてくれることで、保育士がとても助かっている。(A 施設)
- ・ 集団行動が苦手な支援が必要なこどもがおり、新年度が始まった当初は、主に保育補助者がそのこどもに付きっきりで寄り添い、担任、副担任の保育教諭はその子を含むクラス全体をケアするという役割分担を行った。支援が必要なこどもに寄り添ってもらうことで、保育教諭は安心してクラス運営ができた。(F 施設)
- ・ 加配が必要なこどもについて、同じこどもを何年も見ているため、こどもがパニックになった際に上手に対応してくれる保育補助者もいる。(G 施設)

#### ■こどもの見守り、安心

- ・ 保育補助者のサポートがあることで、保育士が帳票管理等の事務で現場を離れることができる。保育補助者は、安全な保育の実現に貢献してくれている。(C 施設)
- ・ いつも同じ保育補助者がいることが、こどもの安心にもつながっている。(A 施設)

#### ■新卒職員のフォロー

- ・ 学生アルバイトは、卒業するまで数年間勤務することが多いため、物品の置き場所等の細々とした事柄を知っており、新卒の保育教諭をフォローすることもある。(G 施設)

図表 6-6 保育補助者の活用における課題（ヒアリング調査結果より）

#### ■依頼できる業務内容が限られること

- ・ 保育補助者をお願いできる業務には限りがある。例えば、こどもがトイレに行きたいといった時に、保育補助者には排泄介助をお願いできないため、正規職員に付いて行ってもらうことになり、結局は人員を割くことになる。保育補助者の人数があまり多くても、担当する業務がない。(B 施設)
- ・ 配置基準上、認可保育所では子育て支援員を保育従事者に含まれないため、任せられる業務には限りがある（子育て支援員1人に保育業務を任せないなど）。そのため、フルタイム勤務は考えにくく、1日当たり3～4時間の勤務となっている。保育士資格がなくとも、子育て支援員研修を修了した保育補助者の中には、こどもと関わるスキルを有する人もいる。(C 施設)
- ・ 保育補助者は配置しておらず、必要性も感じていない。保育現場で働く職員には、非常勤であっても保育記録の作成業務等を任せうため、保育教諭の資格保有を条件としている。また、資格保有者が多数在籍することは施設への信頼にもつながると考えている。(H 施設)

図表 6-7 保育補助者について、今後の活用意向（ヒアリング調査結果より）

■こどもとの関わり、行事の準備等のサポート

- ・ 現状、職員はほぼ配置基準どおりの人数で余裕がないため、保育補助者を増やしてもらえるとありがたい。日々のこどもとの関わりだけでなく、行事の衣装づくりや、運動会の飾り付け・製作等を保育補助者に手伝ってもらえると、保育士がこどもと関わる時間をもっと増やすことができる。(B 施設)
- ・ こどもが小さいほど、保育環境の整備やこどもとの一対一の対応が重要になる。人手が増えれば、一人一人に寄り添った対応に専念できるほか、こどもから目を離す時間が短くなるため、より安全に保育を実践することにもつながる。例えば、保育教諭がこどもと一緒に保育室から出て行った後、無資格の保育補助者が保育室を清掃したり、給食の配膳を準備したりすることがあってもよい。サポートしてくれる人がいれば、保育教諭がこどもとより向き合うことができるためありがたい。(H 施設)
- ・ 午睡の際には、こどもが眠りにつくまでトントンしており時間がかかることもある。保育補助者が寝かしつけを担ってくれるのであれば、その時間に書類作成等をしたり、休憩を取得できたりするため、保育補助者にサポートしてもらえるとありがたいだろう。(F 施設)

■力仕事のサポート

- ・ 当施設では簡易ベッドを使ってこどもが昼寝をしているため、昼寝の時間が終わった後、簡易ベッドを高い台の上に乗せる、テーブルを片付ける、キャスター付きの棚を動かす等の力仕事が生じる。女性保育士には負担が大きいため、用務を担ってくれる職員がいると助かる。また、園庭の管理や植栽の選定等を手伝ってくれる職員がいると助かる。(A 施設)

■施設内の日々の衛生管理

- ・ エアコンの掃除、給食室の換気扇清掃等の大規模な作業は業者に依頼しているものの、現状は日々の衛生管理を保育士が担わざるを得なくなっているため、改善したい。(A 施設)

■保育補助者雇上強化事業の要件

- ・ 保育補助者雇上強化事業に保育補助者の経験年数にかかる要件が加わったことで、2024 年度から補助額が削減され課題になっている。保育体制強化事業は単価据え置きで、補助額は十分な状況ではない。また、施設型給付から人件費を捻出することは難しい。最低賃金も上がってきており、補助額の中で雇用できる時間数も短くなった。行政は保育補助者を雇うための財源をしっかりと確保してほしい。(G 施設)

### 3. 保育 ICT の活用

保育士の業務負担軽減に対しての保育 ICT の効果を見ると、まず書類作成にかかる負担軽減が挙げられた。従来の手書きでの作業と比較して、転記や修正が容易になり、保育にかかる計画や記録の作成、連絡帳の記入にかかる所要時間が短縮されたほか、いつでもどこでも書類作成ができるようになったことで、すき間時間を有効に使えるようになったという声もあった。また、午睡チェックの記録にかかる負担が軽減されたという施設や、午睡センサーを活用することで、保育士の安心感につながっているという施設もみられた。

業務負担軽減だけでなく、保育 ICT は職員間の情報共有やコミュニケーションの活性化にも寄与する様子がヒアリングから伺えた。出勤時間の異なる職員とスムーズに情報共有ができるようになったほか、保育 ICT の導入によって時間に余裕が生まれ、職員同士のコミュニケーションが活発になった施設もあった。保護者との連絡についても、タブレット端末を使って写真付きで連絡するなどして、保護者への情報伝達が円滑になり、日々の様子を伝えやすくなったという意見もあった。また、会計にかかる事務負担軽減にもつながっていた。

一方で、保育 ICT の導入・活用に当たっては様々な課題も指摘された。具体的には、ICT 化に抵抗感を持ち導入に反対する保育士が一定数いた施設や、導入後も操作に不慣れで積極的に活用する風土が根付かず、十分に活用できていない施設がみられた。また、ICT スキルの習得が、かえって職員の負担になることを懸念し、ICT 導入を控えていた施設もあった。さらに、PC やタブレット端末等の不足、アプリ上の連絡を確認しない保護者への対応、ICT 化による情報漏洩の懸念等も課題として挙げられた。

こうした課題の解消のために、施設管理者が保育 ICT のメリットを根気よく説明した事例や、否定的な意見があっても割り切って導入を進めたことが振り返ってみると大切だったとされる事例もあった。また、ICT スキルの習得が負担にならないように、無理なく使いこなせる範囲で活用を始めたり、使いこなすのが難しい機能については無理に ICT 化せず、従来の運用方法を継続したりするなどの工夫もみられた。

今後の導入意向については、職員のシフト作成や保育士の書類作成業務に AI を活用することで、さらなる業務負担軽減を期待する声も聞かれた。

図表 6-8 保育 ICT の導入効果（ヒアリング調査結果より）

#### ■書類作成、午睡チェック等の負担軽減

- ・ 保育 ICT によって、職員の業務負担は大きく軽減されたほか、保護者の負担も軽減されたと感じる。乳児クラスの連絡帳記入や午睡チェックの所要時間は、保育 ICT 導入前後で1日当たり20分程度短縮された。特に午睡チェックは、以前は5分おきに延々と記録していたが、ICT 化により一気に入力できるようになったため、かなり負担が軽くなったと感じる。一方で、ICT 導入によって新規採用の促進や、職員の離職防止といった効果は特に感じていない。他施設でも徐々に普及しているため、いずれは当たり前になるのではないかと感じる。(B 施設)
- ・ 特に乳児の連絡帳がデジタル化したことで、文面をコピーしたり、間違えても修正ペンを使わずにすぐ修正できたりするのはありがたい。また、家庭からの朝の出欠連絡について、ICT 導入後は全員の状況を一覧で確認できるようになった。欠席連絡だけでなく、鼻水が出ている、膝をケガしているなど、こどもの体調に関する内容も、紙の連絡帳や電話で連絡を受けていた頃に比べて確認しやすくなった。(B 施設)

- ・ 指導計画の作成等をすき間時間で進められるようになり、所要時間も短縮された。(A 施設)
- ・ 特に新卒の保育士は、指導案の作成にもっとも苦慮する。かつては膨大な時間をかけて PC で作成していたが、スマートフォンで作成できるようになったことで、所要時間が短縮された。(A 施設)
- ・ 保育日誌をクラウド上で保管しており、いつでも誰でも入力できるようにしている。時間が空いた際に記入でき、業務効率化につながっている。(G 施設)
- ・ 若い保育士を中心に、PC、スマートフォンを使ったほうが早く記入できるため、内容をまとめることが得意な保育士であれば、業務時間は大幅に短縮されている。手書きの場合と比較して、入力に3分の1程度の時間しかかからない。(C 施設)
- ・ 保育計画は年案から月案を、月案から週案を作成していく。同じ言葉を使うなど重複する部分があるため、ICTを用いたほうが転記にかかる時間が短縮できる。(C 施設)
- ・ 午睡チェックは保育士が行っているが、午睡センサーによるサポートがあるおかげで、保育士の安心感につながっている。(C 施設)
- ・ 保育 ICT を教材作成に活用することもできている。(H 施設)

#### ■職員間の情報共有、コミュニケーションの活性化

- ・ 職員間の連絡については、1日の活動、こどもの出欠状況等をチャットで全員に共有しており、出勤時間の異なる職員とスムーズに情報共有できるようになっている。(G 施設)
- ・ 保育 ICT ツールの活用により時間に余裕が生まれた結果、職員間の直接のやりとりに時間を使うことができるようになり、コミュニケーションが活発になった。(A 施設)

#### ■保護者連絡の円滑化

- ・ 保護者連絡では、例えば、こどもに発疹が出た際、まず写真付きで報告し、必要に応じてお迎えをお願いするなど、タブレット端末を使って直接電話をしなくても円滑にやり取りすることができる。また、給食、おやつ、サッカー教室や英語教室等の活動の様子も写真で共有しており、日々の活動の様子が保護者に伝わっている。(G 施設)
- ・ 保育日誌には、スマートフォンで撮影した写真を貼り付けている。保育内容の見える化にもつながっている。(C 施設)
- ・ 保護者からは、紙のお便りは紛失してしまうことがあるが、アプリ連絡であれば紛失の心配がない上、いつでも資料を確認できて便利だと聞いている。(C 施設)
- ・ 保護者への連絡を一斉送信できるようになり、以前の紙配布と比較して負担は軽減した。(H 施設)

#### ■会計にかかる事務負担の軽減

- ・ キャッシュレス決済を導入し、会計にかかる事務負担も軽減した。現金でのやり取りがなくなったため、支払いに際しての間違いがなく、支払い記録も自動で残る点がメリットである。(C 施設)
- ・ 登降園管理機能は事務職員が主に活用しており、延長保育料の算定等において事務職員の業務負担軽減につながっている。(F 施設)

図表 6-9 ICT 導入・活用に当たっての課題と課題解消のための工夫（ヒアリング調査結果より）

■導入時の反対意見への対応

- ・ 保育 ICT を導入する際、ICT 化に抵抗感のある保育教諭が一定数いたが、導入すると決めたら、割り切って導入することが大切だったと考える。変化を好まない人はどこにでもおり、新しく何かを始める際、否定的な意見は必ずある。やると決めたことはやり切り、うまくいかなければやめる、という姿勢が必要ではないか。(G 施設)
- ・ 何か新しいことを始める際は常に反対勢力があるように、当施設で保育 ICT を導入する際も反対意見はあった。保育士の中には PC が苦手な ICT の操作の習得に苦労した方もいた。また、手書きには、手書きならではの温かみがあるという意見もよく聞かれる。こうした課題やデメリットを理解しつつも、保育 ICT を導入することによるメリットについて、施設長から保育士に対して根気よく説明を行った。どうしても保育 ICT を使いたくなければ、その考えも受け入れるが、保育 ICT の活用は必ず皆のためになると伝えた。また、実際に導入してみると、うまく使いこなす保育士がおり、最初は苦労して泣いていた保育士も自ずと慣れていった。(C 施設)

■活用スキルの向上や、積極的に活用する風土の醸成

- ・ 現場の保育教諭が登降園管理機能を活用できていない点が課題である。登降園管理と出席簿作成、保護者連絡等が連動しておらず、保育教諭はこどもの出欠を目視で確認し、登園していない場合は保護者に電話している。(F 施設)
- ・ 保育室に PC を持ち込む風土が根付いていないことも課題である。PC 上で登降園管理を見ることが自体はできるが、現場で活用できていない。PC は保育計画等の書類作成でしか利用できていない。(F 施設)
- ・ ICT 導入が保育現場の重荷になることを懸念しており、職員に負担がかからない形で ICT を取り入れていきたい。登降園管理など、保育士が使いやすい機能から徐々に ICT ツールを導入し、使いこなすのが難しそうな機能については無理に ICT 化するのではなく、紙ベースのままでもよいと考えている。例えば、保護者との連絡帳機能や午睡チェック、写真撮影・販売等については、しばらくは ICT 化せずに従来どおりのアナログ的なやり方を続けていく予定である。(E 施設)
- ・ 連絡帳機能に関しては、ICT に苦手意識を持っている保育士が当該機能を使いこなすのが難しく、ICT ツールの使い方を説明する際などにおいては、ICT を使える若手の保育士への業務負担がかえって大きくなるのではないかと懸念している。(E 施設)
- ・ 保育職の ICT リテラシーは、他業種と比較して決して高くないため、無理なく使いこなせる範囲で活用を始めることが重要だと考える。保育 ICT を導入する際には、一度に大きなことを実現しようとはせず、小さなこと（例えば、何度も繰り返し行う作業を一度きりの作業で済むようにするなど）や、複雑な作業を単純化することだけでもよい。(G 施設)

■PC・タブレット端末等の不足

- ・ 昼の時間になると PC を使いたくても使えない職員がいるなど、端末が不足している。就業時間内に書類関係の作業が終わらないこともあるため、端末を増やせるとよい。(B 施設)

- ・ 現状タブレットは1部屋に1台であり、PCも不足している。もう少し端末数を増やし、1人1台の端末を持てるようにしたい。そうすることで、トランシーバーアプリの確認や、写真のアップロードに誰でもすぐに対応できるようになる。(A施設)
- ・ PCの台数が少ないため、写真の印刷等にしたい時でも、全て使われている場合には待ち時間が発生してしまう。業務をやりたいときにできず、後回しになった結果、残業することになってしまうこともある。特にこどもが昼寝をしている時間は、保育士にとっては書類の処理を進められる時間であるが、どうしても皆タイミングが重なってしまう。(A施設)
- ・ PCの追加購入、タブレット端末の購入を検討しているが、価格の高さで課題となっている。ノンコンタクトタイムを増やすためにも、各クラスに1台では少なく、端末を増やしたい。また、PCは3年に一度の頻度で買い替えが望ましく、購入から5年も経つと操作に支障が出てくる。保育ICT補助金を活用して、端末を含めて保育ICTを導入したものの、買い替え等のランニングコストには補助がない。(C施設)
- ・ 月末に事務作業が多くなるが、複数担任制であるため、PCやタブレット端末の順番待ちになり、使いたいタイミングで使えないことがある。(H施設)

#### ■アプリを確認しない保護者への対応

- ・ 保護者連絡はアプリを介して行うことが増え、コミュニケーションの取りにくさを感じることもある。具体的には、アプリで連絡を配信しても確認していない保護者が一定数いる。連絡を見ていなかった、書類の提出期限を知らなかった、ということも少なくない。(C施設)

#### ■情報管理の徹底

- ・ ICT化を進めることによる情報漏洩を懸念している。なるべく職員室で利用するようにしている。また、あまり複雑な使い方にならないようにしたほうがよいと考えている。例えば、ドキュメンテーションも各クラスで月2回実施しているが、情報漏洩の懸念から写真の取り扱いに注意を払っている。(H施設)

#### ■新たな機能の導入

- ・ もっとも苦慮しているのはシフト作成である。現状はアナログで副主任が全体シフトを作成し、各クラスのリーダーがクラス内の非常勤の保育士も含めた休暇希望等を集約してシフト案を作成した上で、副主任が組み合わせを考えている。毎回時間がかかっており、シフト作成のために残業が発生していると思う。AI等を活用して短時間で作成できるツールがあれば利用したいと考えている。(A施設)
- ・ 今後は、AIを活用していきたい。例えば、保育教諭の自己評価や保護者向けの記録等、口頭で話し合ったことをAIに読み込ませ、文章を出力させるようにしたい。文章を書くことが苦手な保育教諭も多く、AIを活用できれば業務負担軽減につながると考えている。ただし、保育計画の作成等をAI任せにするような悪い活用がされないよう留意する必要がある。(G施設)

#### 4. 保育補助者や保育 ICT の活用以外の業務負担軽減の取組状況及び効果について

保育補助者や保育 ICT の活用以外にも、保育士の業務負担軽減につながる様々な取組がみられた。具体的には、保育以外の業務は極力他の職員（事務職員や用務員等）が担当し、保育士が保育に集中できる環境を整備することや、保護者向けのお便りについて、重複する内容や不要な発行を避け、必要な情報のみにして簡素化を図ることが挙げられた。また、職員同士のサポートや連携を促進するための担当業務の見える化や体制構築、現場のマネジメントスキル向上のための人材育成、グループ内で各施設共通の教材の作成等も行われていた。さらに、発達障害等のこどもとその保護者の支援のために外部の専門職を活用したり、外国籍の保護者とのコミュニケーションのために通訳を活用したりする取組もみられた。

使用済み紙おむつの廃棄、布団のリース等の外部サービスを活用している施設もみられた。外部サービスの利用に当たっては保護者の費用負担も生じることになるが、施設・保護者双方にとって負担軽減につながるものであり、紙おむつのサブスクリプションや洗濯サービスを今後活用したいという声も聞かれた。また、外部講師や地域の人材を活用し、保育士だけでは難しい多面的な活動の展開を望む声もあった。

図表 6-10 保育補助者や保育 ICT の活用以外に、業務の負担軽減・改善に向けて取り組んでいること、その際の課題（ヒアリング調査結果より）

##### ■保育に集中できる環境整備

- 施設全体の方針として、保育教諭が保育・教育に集中できる体制を整えている。施設長のほか、用務員、清掃員がおり、清掃、消毒等の設備の維持にかかる業務を全て行っている。また、豪雪地帯の施設では、職員総出で除雪作業することがよく聞かれるが、当施設では施設長と用務員で行い、保育教諭は行わない。また、送迎バスには、事務職員が添乗し、保育教諭は同伴しないこととしている。保育・教育以外の業務には、保育教諭以外の職員を担当につけ、保育教諭が自身の仕事に集中できるようにしている。(F 施設)

##### ■お便りの簡素化

- 他の園では通常、保護者へのお便りが、週だより、月だより、年だよりの3種類ある。しかし、実際には互いに重複する内容があったり、特に書くことがなくても無理に書いて発行していたりしており、業務負担につながっている。そのため、当園では、保護者にとって不可欠な情報は何かを第一に考えつつ必要十分な内容の記載にとどめ、月だよりのみの発行としている。(D 施設)

##### ■担当業務の見える化による職員同士のサポートの促進

- 保育 ICT だけでなく、一人一人の担当業務を見える化し、保育士同士でサポートし合える業務はサポートし合うようになったことで、残業時間が減った。この取組はグランドリーダー（現場の保育士をまとめる役職）を務めている保育士が始めたものである。(A 施設)

##### ■職員間の連携

- 年齢問わず、職員同士の仲が良く、一人一人のこどもをクラスを超えて皆でみる雰囲気がある。悩みがあればすぐに相談でき、互いに協力できるなど職員間の連携体制がしっかりあるため、

保育業務にかかる負担感は軽減されている。(G 施設)

#### ■専門職の活用

- ・ 発達障害のこどもの受け入れに力を入れており、こどもの対応に苦慮する保護者への支援のため、療育の専門医に週1回、公認心理師に月1～2回、理学療法士に月2回、言語聴覚士に月1回、当施設を訪問してもらっている。連携する専門職が保護者対応を支援することで、保育教諭の負担軽減につながっている。(G 施設)

#### ■人材育成の取組

- ・ これまで組織的な人材育成に取り組んでいなかったが、近年は、処遇改善等加算も踏まえ、組織として中堅保育士を育成し、マネジメント能力向上を図っている。現場での時間の使い方、他の職員の動かし方、コミュニケーションの取り方等のスキルを身に付けてもらうことで、仕事にスムーズに取り組めるようになり、業務負担軽減につながると考えている。(C 施設)

#### ■通訳の雇用

- ・ 外国籍の保護者とのコミュニケーションのため、月曜日の朝のみ、通訳を雇用している。普段のやり取りは簡単な日本語又はスマートフォンの翻訳機を利用しているが、通訳に比べると意思疎通に限界がある。最近では、AIの翻訳機能を利用することもある。特に重要事項を伝える必要がある場合は、保護者と通訳の時間をあらかじめ調整することもある。(B 施設)

#### ■グループ共通の教材作成

- ・ 幼児教育プログラムの教材を本社が作成し、各施設で活用できるようにする取組は以前に比べて進んだが、配置人数にも余裕がない中、依然として負担感は大きい。(B 施設)

#### ■布団のリース

- ・ 以前から布団のリースを活用している。感染症予防の効果があるほか、保育教諭の業務負担軽減につながっている。リース費用は保護者負担だが、保育教諭の業務負担を軽減することによって、こどもと関わる時間を増やすことにつながると、保護者にメリットを伝えている。(G 施設)

#### ■使用済みおむつの廃棄

- ・ 使用済みのおむつは、外部サービスを活用して廃棄している。保護者に持ち帰ってもらう準備が不要なため、保育士の業務負担軽減につながっているが、物価高により費用負担が課題となっている。(C 施設)

図表 6-11 業務負担軽減に向けて、今後活用したい取組・外部サービス等  
(ヒアリング調査結果より)

■おむつのサブスクリプション

- ・ おむつのサブスクリプションが導入されれば、保育士にとっても保護者にとっても、負担軽減につながると感じる。現状は保護者に持参してもらっているが、足りなくなって施設から貸し出した場合、新しいおむつを返却してもらおう際に、おむつに記名しないよう保護者に指示したり、貸出・返却数を記録したりすることが負担となっている。(B 施設)
- ・ おむつのサブスクリプションサービスがあるとよい。保護者が用意したおむつが一人一人のロッカーに入っているが、それぞれのロッカーから取り出す作業や、おむつの管理に時間がかかる。(C 施設)

■洗濯サービス

- ・ 現状、こどものエプロンは保護者に持ち帰ってもらっているが、洗濯サービスを利用できると保育士・保護者の負担軽減に加えて、衛生面でも望ましい。特に夏場は、カビなど衛生面の不安を感じる。(B 施設)

■外部講師、地域の人材などの活用

- ・ 運動、絵画、音楽、国際交流、自然教室など、教育的な側面で環境設定できる外部講師を活用していきたい。こうした多面的な活動を保育士が全て担うには限界があるため、地域の人材や社会資源を活用することが必要と考えている。外部講師を招き入れることで、保育士自身の成長・スキル向上にもつなげていきたい。(C 施設)

## 資料編

- 参考資料1：調査票
- 参考資料2：統計表（現役保育士等アンケート調査）
- 参考資料3：統計表（潜在保育士アンケート調査）

※参考資料2～3については、電子版報告書にのみ掲載している。電子版報告書は、以下の三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社ウェブサイトより、ダウンロード可能である。

ホーム>レポート>レポート・コラム>政策研究レポート>公開報告書

[https://www.murc.jp/report/rc/policy\\_research/public\\_report/](https://www.murc.jp/report/rc/policy_research/public_report/)

『「令和7年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業費補助金」の採択案件の成果報告書の公表について』に、令和8年4月以降、公開予定。

# 保育士等に関するアンケート調査【施設向け】

## 調査票見本

2025年12月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

### 回答方法のご案内

可能な限り、インターネット上でご回答くださいますようお願いいたします。

▶アンケートサイトはこちら <https://>

#### 【ご注意ください】

アンケートサイトでは恐れ入りますが、**途中保存ができかねます**。インターネット上でご回答いただく前に、**本調査票見本にてアンケート内容のご確認及び回答内容のご用意をお願いいたします。**

### ご回答にあたって

- 調査の対象について
  - ・ 全国の保育所等(認可保育所、地域型保育事業所、保育所型認定こども園、幼保連携型認定こども園)に**勤務する施設長**を対象としています。  
※**施設長かつ保育士資格をお持ちの方は、アンケート調査の間4で、「1. 施設向け調査」を選択ください。**  
(施設長かつ保育士資格なしと回答した場合は、自動的に施設向け調査の内容が表示されます)
- 回答について
  - ・ 本調査は特に指定のない限り、**回答時現在の状況**でお答えください。
  - ・ 回答に要するお時間は、本調査見本において回答を用意し、インターネット上で回答が完了するまでに20~30分程度です。
  - ・ インターネット回答画面上の設問番号と一致させるため、本調査票見本では設問番号が連番になっておりません。あらかじめご了承ください。
- 利用目的
  - ・ ご回答内容は、施策検討の基礎資料としてのみ利用いたします。調査結果の公開にあたっては、統計的に処理された結果のみ公開され、個々の施設の回答内容が公開されることはございません。
  - ・ 個票データをこども家庭庁に提出する場合があります。こども家庭庁において、施策検討の基礎資料として活用するほか、都道府県を通じて管内自治体に結果を還元する可能性があります。ただし、個々の施設の評価や検査を目的として利用することはありません。
  - ・ 調査結果は令和8年4月頃に三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社のホームページ等にて公開する予定です。
- ご回答期限
  - ・ **2026(令和8)年1月23日(金)まで**

#### ● お問い合わせ先

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
政策研究事業本部 社会政策部 保育士等に関するアンケート調査事務局 担当:野田、尾島  
TEL: (平日:10時~17時) E-mail:

※恐れ入りますが、年末年始期間中(12/27~1/4)は電話でのお問い合わせは受け付けておりません。また、年末年始期間中に頂いたメールでのお問い合わせは、1/5以降に順次ご回答申し上げます。

※複数の調査を実施しておりますため、お問合せの際は、「保育士等に関するアンケート調査」に関するお問い合わせであることを明示してください。

※お問い合わせに際してお預かりする個人情報は、当社の「個人情報保護方針」(<https://www.murc.jp/corporate/privacy/>)及び「個人情報の取扱いについて」(<https://www.murc.jp/corporate/privacy02/>)に従って適切に取り扱います。

### インターネット上でご回答が難しい場合の、ご回答方法

- 本調査票見本をお手元で印刷のうえ、紙面上にてご回答ください。印刷はA4片面またはA4両面にてお願いいたします。
- 紙面上にご回答の際はあてはまる番号に○をつけてください。
- 紙面にて回答後、本紙末尾にございます、返信用ラベルを切り取り、お手持ちの封筒に貼り付けのうえご返送ください。(恐れ入りますが、封筒はご回答者様にてご用意ください。)

## I. あなたご自身について

問1. あなたが勤務している施設の種別を教えてください。(1つ選択)

- |               |              |              |
|---------------|--------------|--------------|
| 1 認可保育所       | 5 小規模保育事業所B型 | 8 居宅訪問型保育事業所 |
| 2 幼保連携型認定こども園 | 6 小規模保育事業所C型 | 9 事業所内保育事業所  |
| 3 保育所型認定こども園  | 7 家庭的保育事業所   | 10 上記以外      |
| 4 小規模保育事業所A型  |              |              |

▶10の場合は、ここでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

問2. あなたの職種を教えてください。(1つ選択)

※ 保育士資格を保有していても、保育補助者として従事している場合は、「8.保育補助者」を選択してください。

※ 「9.保育支援者」には、園外活動時の見守りを行うスポット支援員を含みます。

- |                 |                             |               |
|-----------------|-----------------------------|---------------|
| 1 施設長・所長級       | 6 分野別リーダー(乳児保育リーダー、食育リーダー等) | 11 家庭的保育者     |
| 2 副施設長・副所長級     | 7 保育士(役職なし)                 | 12 家庭的保育補助者   |
| 3 主任保育士・主幹保育教諭級 | 8 保育補助者(保育士資格の有無を問わない)      | 13 保健師・看護師    |
| 4 副主任保育士        | 9 保育支援者                     | 14 管理栄養士・栄養士  |
| 5 専門リーダー        | 10 子育て支援員                   | 15 調理師・調理員    |
|                 |                             | 16 事務職員       |
|                 |                             | 17 あてはまるものはない |

▶13～17の場合は、ここでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

問3. あなたの保育士資格の取得方法をお答えください。(1つ選択)

※ 保育士資格を保有していない場合は、「6.保育士資格を保有していない」をお選びください。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 専門(専修)学校の保育士養成課程 | 4 その他養成施設等の保育士養成課程 |
| 2 短期大学の保育士養成課程     | 5 保育士試験            |
| 3 大学の保育士養成課程       | 6 保育士資格を保有していない    |

● 問2で「1.施設長・所長級」と回答し、かつ問3で「1.専門(専修)学校の保育士養成課程」～「5.保育士試験」と回答した方に伺います。

問4. これ以降、どちらの調査に回答するかご回答ください。(1つ選択)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 施設向け調査 | 2 保育士向け調査 |
|----------|-----------|

● 問11～13は全員に伺います。

## II. お勤め先の施設について

問11. あなたが勤務している保育所等の都道府県・市区町村をお答えください。

※この質問は、市区町村別の統計データ(例:人口規模、就業率、等)と紐づけた分析を行うために必要な項目です。回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。

※ウェブアンケート上ではプルダウン(選択式)にてご回答いただきます。

( ) 都道府県 ( ) 市区町村

問12. あなたが勤務している保育所等の運営主体を教えてください。(1つ選択)

- |                 |                    |           |
|-----------------|--------------------|-----------|
| 1 市区町村          | 5 営利法人(会社)※株式会社を含む | 9 その他の法人  |
| 1 社会福祉法人        | 6 特定非営利活動法人(NPO)   | 10 個人     |
| 2 医療法人          | 7 学校法人             | 11 その他( ) |
| 3 公益社団法人・公益財団法人 | 8 宗教法人             | 12 わからない  |
| 4 一般社団法人・一般財団法人 |                    |           |

問13. 2025年4月1日時点の定員を教えてください。(1つ選択)

- |          |          |            |          |
|----------|----------|------------|----------|
| 1 19人以下  | 3 41～60人 | 5 91～120人  | 7 151人以上 |
| 2 20～40人 | 4 61～90人 | 6 121～150人 |          |

● 問2で「1.施設長・所長級」と回答した方に伺います。(※ただし、問4で「2.保育士向け調査」を選択した方を除く)

問14. (1) 2025年4月1日時点の貴施設の年齢別の現員数をお答えください。(それぞれ数値記入)

(2) また、各年齢における現在の保育士の配置数をお答えください。(それぞれ数値記入)

- ※ 保育士の配置数は、常勤職員換算でご回答ください。パート、派遣の方など正規の職員以外の方も含まれます。なお、常勤換算数は小数点以下第1位まで記入してください。(小数点以下第2位を四捨五入)

$$\text{常勤換算数} = \frac{\text{従事者の1週間の勤務の延べ時間数(残業は除く)}}{\text{当該事業所において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数(所定労働時間)}}$$

- ※ 保育者として従事していない看護師・准看護師、保健師、栄養士、調理員、事務員、運転手等の職員は含めずお答えください。

	回答の方向	
	(1) 現員数	(2) 保育士の 配置数 (常勤換算)
1 0歳児	人	人
2 1歳児	人	人
3 2歳児	人	人
4 3歳児	人	人
5 4歳児	人	人
6 5歳児	人	人

● 問2で「1.施設長・所長級」と回答した方に伺います。(※ただし、問4で「2.保育士向け調査」を選択した方を除く)

問15. 保育補助者等について、常勤・非常勤別の職員数(実人数)をお答えください。(それぞれ数値記入)

- ※ **保育補助者は、「保育補助者雇上強化事業」を活用して雇用されている方、保育支援者(園外活動時の見守り、スポット支援員を含む。)は「保育体制強化事業」を活用して雇用されている方を対象としてください。以降の設問についても同様です。なお、該当する方がいない場合は、0人とお答えください。**

	回答の方向		
	(1) あり (保育補助者 資格)	(2) なし (保育補助者 資格)	(3) 保育支援者
1 常勤(フルタイム)	人	人	人
2 非常勤(パートタイム)	人	人	人
3 合計	人	人	人

● 問15で保育補助者等を雇用していると回答した方に伺います。((1)~(3)それぞれ、合計0人の場合は回答不要です)

問16. 保育補助者等について、雇用形態別の職員数(実人数)をお答えください。(それぞれ数値記入)

- ※ **スポットワーカーとは、短時間かつ単発の就労を内容とする雇用契約の下で働く者。主にスマートフォンのアプリを経由してマッチングが行われる者をいいます。**
- ※ 会計年度任用職員は、有期契約職員に含めてお答えください。
- ※ 雇用形態別の合計人数が、問15の「合計」と一致するようにしてください。内訳がわからない場合は、「不明」の欄にご記入ください。

	回答の方向		
	(1) あり (保育補助者 資格)	(2) なし (保育補助者 資格)	(3) 保育支援者
1 正規職員	人	人	人
2 有期契約職員(フルタイム)	人	人	人
3 有期契約職員(パートタイム)	人	人	人
4 派遣社員	人	人	人
5 スポットワーカー(※)	人	人	人
6 不明	人	人	人

● 問 15 で保育補助者等を雇用していると回答した方に伺います。((1)~(3)それぞれ、合計0人の場合は回答不要です)

問17. 保育補助者等の採用に必須としている資格等についてお答えください。(それぞれあてはまるものをすべて選択)

	(1)	(2)	(3)
	格あり (保育補助者 士資)	格なし (保育補助者 士資)	保育支援者
1 保育士	1		1
2 家庭的保育者	2	2	2
3 子育て支援員(地域保育コース修了者)	3	3	3
4 子育て支援員(地域保育コース以外の修了者)	4	4	4
5 選択肢 1~4 を除き、保育に関する 40 時間以上の実習を受けた者	5	5	5
6 選択肢 1~5 を除き、保育に関する 40 時間以上の実習を受けた者と同等の知識及び技能があると市町村が認めた者	6	6	6

● 問 15 で保育補助者等を雇用していると回答した方に伺います。((1)~(3)それぞれ、合計0人の場合は回答不要です)

問18. 貴施設で雇用している保育補助者等のうち、保育関連の資格を有する方の人数をお答えください。(それぞれ数値記入)

※ 内訳がわからない場合は、「不明」の欄にご記入ください。

	(1)	(2)	(3)
	格あり (保育補助者 士資)	格なし (保育補助者 士資)	保育支援者
1 保育士	人		人
2 家庭的保育者(研修受講者)	人	人	人
3 子育て支援員(研修受講者)	人	人	人
4 不明	人	人	人

● 問 15 で保育補助者等を雇用していると回答した方に伺います。((1)~(3)それぞれ、合計0人の場合は回答不要です)

問19. 保育補助者等を雇用している時間帯についてお答えください。(それぞれあてはまるものをすべて選択)

※ 該当者のうち、一人でも雇用している時間帯があれば、ご回答ください。

	(1)	(2)	(3)
	格あり (保育補助者 士資)	格なし (保育補助者 士資)	保育支援者
1 平日:~9時(主に早朝保育の時間帯)	1	1	1
2 平日:9~12時	2	2	2
3 平日:12~14時	3	3	3
4 平日:14~16時	4	4	4
5 平日:16~18時	5	5	5
6 平日:18時以降(主に延長保育の時間帯)	6	6	6
7 土曜日(時間帯は問わない)	7	7	7

● 問 15 で保育補助者等を雇用していると回答した方に伺います。((1)~(3)それぞれ、合計0人の場合は回答不要です)

問20. 貴施設で雇用している保育補助者等の年齢層についてお答えください。(それぞれあてはまるものをすべて選択)

※ 該当者のうち、一人でも雇用している年代があれば、ご回答ください。

※ 30代以上で在学中の保育補助者等については、該当する学校区分をご回答ください。

	回答の方向		
	(1)	(2)	(3)
	保育補助者 (保育士資格あり)	保育補助者 (保育士資格なし)	保育支援者
1 高校生	1	1	1
2 専門学生	2	2	2
3 大学生・大学院生	3	3	3
4 上記以外の20代	4	4	4
5 30代	5	5	5
6 40代	6	6	6
7 50代	7	7	7
8 60代以上	8	8	8

● 問 15 で保育補助者等を雇用していると回答した方((1)~(3)それぞれ、合計0人の場合は回答不要です)と回答した方に伺います。

問21. 保育補助者等が従事している業務内容についてお答えください。(それぞれあてはまるものをすべて選択)

※ 施設長・所長級の方はご自身の園で保育補助者等をお願いしている業務内容をご回答ください。

	回答の方向		
	(1)	(2)	(3)
	保育補助者 (保育士資格あり)	保育補助者 (保育士資格なし)	保育支援者
<b>【日常業務】</b>			
1 登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し	1	1	1
2 保護者対応(日常的な対応)	2	2	2
3 遊びや活動の指導・援助	3	3	3
4 散歩、園外活動時の見守り、付き添い	4	4	4
5 給食の指導・援助	5	5	5
6 こどもの着替え	6	6	6
7 給食の配膳・後片付け	7	7	7
8 寝かしつけ、午睡中の付き添い	8	8	8
9 寝具の用意・後片付け	9	9	9
10 排泄の指導・援助	10	10	10
11 沐浴の指導・援助	11	11	11
12 環境構成(翌日の準備含む)	12	12	12
13 会議(職員会議、職員間の連絡、相談、個別打ち合わせ等)	13	13	13
14 周辺業務(教材や遊具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等)	14	14	14
15 書類作成(年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価)	15	15	15
16 書類作成(保育記録の作成)	16	16	16
17 保護者への連絡(連絡帳記入、お知らせ作成等)	17	17	17
18 外国人のこどもの保護者とのやりとりに係る通訳及び翻訳	18	18	18
19 実費徴収費用の集金	19	19	19
<b>【非日常業務】</b>			
20 作品展示、室内装飾	20	20	20
21 行事の準備・運営・後片付け等	21	21	21
22 周辺業務(行事等の写真撮影(保育記録等の日常的な撮影を除く)・整理・販売等)	22	22	22
23 保護者対応(保護者への相談、家庭訪問、保護者会、保育参観等)	23	23	23
24 上記以外にかかる事務処理(集計事務、総務、経理、人事、物品管理・発注等)	24	24	24
25 その他( )	25	25	25

### III. 勤務先での働き方について

- 問2で「1.施設長・所長級」と回答した方に伺います。(※ただし、問4で「2.保育士向け調査」を選択した方を除く)

問34. 令和6年度に在籍していた常勤職員(保育士・保育教諭)のうち、年次有給休暇を10日以上取得した職員数の割合についてお答えください。(数値記入)

※ 四捨五入のうえ、小数点第一位まで記入してください。

( )%

### IV. 業務負担感について

- 全員に伺います。(※ただし、問2で「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方を除く)

問36. 以下の各業務の負担感について、お答えください。(それぞれ1つ選択)

※ 施設管理者の方は、園全体でみたときの負担感についてお答えください。

	1	2	3	4	5	6	
	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	ほとんど感じない	行っていない	
【日常業務】	(1) 登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し	1	2	3	4	5	6
	(2) 保護者対応(日常的な対応)	1	2	3	4	5	6
	(3) 遊びや活動の指導・援助	1	2	3	4	5	6
	(4) 散歩、園外活動時の見守り、付き添い	1	2	3	4	5	6
	(5) こどもの着替え	1	2	3	4	5	6
	(6) 給食の指導・援助	1	2	3	4	5	6
	(7) 給食の配膳・後片付け	1	2	3	4	5	6
	(8) 寝かしつけ・午睡中の付き添い	1	2	3	4	5	6
	(9) 寝具の用意・後片付け	1	2	3	4	5	6
	(10) 排泄の指導・援助	1	2	3	4	5	6
	(11) 沐浴の指導・援助	1	2	3	4	5	6
	(12) 環境構成(翌日の準備を含む)	1	2	3	4	5	6
	(13) 会議(職員会議、職員間の連絡、相談、個別打ち合わせ等)	1	2	3	4	5	6
	(14) 周辺業務(教材や遊具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等)	1	2	3	4	5	6
	(15) 書類作成(年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価)	1	2	3	4	5	6
	(16) 書類作成(保育記録の作成)	1	2	3	4	5	6
	(17) 保護者への連絡(連絡帳記入、お知らせ作成等)	1	2	3	4	5	6
	(18) 外国人のこどもの保護者とのやりとりに係る通訳及び翻訳	1	2	3	4	5	6
	(19) 実費徴収費用の集金	1	2	3	4	5	6
【非日常業務】	(20) 作品展示、室内装飾	1	2	3	4	5	6
	(21) 行事の準備・運営・後片付け等	1	2	3	4	5	6
	(22) 周辺業務(行事等の写真撮影(保育記録等のための日常的な撮影を除く)・整理・販売等)	1	2	3	4	5	6
	(23) 保護者対応(保護者への相談、家庭訪問、保護者会、保育参観等)	1	2	3	4	5	6
	(24) 研修(園外研修、園内研修、実習報告書の作成、実習生の指導等)	1	2	3	4	5	6
	(25) 上記以外にかかる事務処理(集計事務、総務、経理、人事、物品管理・発注等)	1	2	3	4	5	6

## V. 貴施設における保育 ICT の活用状況について

- 本調査における「保育 ICT」とは、保育業務のために活用することを目的としたシステムを指します。具体的には問 40(p.8)に示す機能を有するシステムを指し、オフィスソフト(エクセルやワードなど)等をカスタマイズしたものは含みません。また、調査票では「保育 ICT」を単に「ICT」と表記します。

- 問 2 で「1.施設長・所長級」と回答した方に伺います。(※ただし、問 4 で「2.保育士向け調査」を選択した方を除く)

問37. 貴施設に配備されている機器やインターネット環境について伺います。次のうち、貴施設に配備されているものがありますか。(あてはまるものをすべて選択)

- ※ 職員が業務のために使うものについてお答えください。
- ※ 「保育室」は保育室等の保育を実施する部屋を指します。

1 パソコン(職員室に配備されているもの)	7 有線のインターネット(職員室)
2 パソコン(保育室に配備されているもの)	8 有線のインターネット(保育室)
3 タブレット端末(職員室に配備されているもの)	9 無線のインターネット(Wi-Fi)(職員室)
4 タブレット端末(保育室に配備されているもの)	10 無線のインターネット(Wi-Fi)(保育室)
5 業務用スマートフォン・携帯電話	11 上記のいずれもない
6 インカム	

- (1)は問 37 で 1 または 2(パソコン端末を配備)と回答された方、(2)は 3 または 4(タブレット端末を配備)と回答された方、(3)は 5(業務用スマートフォン・携帯電話を配備)と回答された方に伺います。

問38. 貴施設で導入している端末の台数の整備状況の実態として、近いものを選んでください。(それぞれ1つ選択)

	回答の方向 ↓		
	(1) パソコン	(2) タブレット	(3) スマートフォン・携帯電話
1 保育者1人につき、1台としている	1	1	1
2 複数の保育者につき、1台としている	2	2	2
3 1クラスに1台としている	3	3	3
4 1クラスに複数台としている	4	4	4
5 その他(園全体で数台としている など)	5	5	5
6 あてはまるものはない	6	6	6

- 問 2 で「1.施設長・所長級」と回答した方に伺います。(※ただし、問 4 で「2.保育士向け調査」を選択した方を除く)

問39. 次の IoT デバイスのうち、

(1)貴施設に設置・配備しているものはありますか。(それぞれあてはまるものをすべて選択)

(2)うち、日々の保育業務において実際に活用している IoT デバイスはありますか。((1)で回答されたものの中から、あてはまるものをすべてお答えください。)

- ※ 「ICT と連動」とは、例えばスマート体温計で測定した体温の情報が、保護者への連絡帳機能を有する ICT に連携され、連絡帳に自動的に記録・転記されることなどを指します。

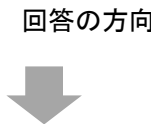
	回答の方向 ↓	
	(1) 設置・配備している	(2) 実際に保育業務に活用している
1 午睡センサー(カメラ型、マット型、取付型等)(ICT と連動している)	1	1
2 午睡センサー(カメラ型、マット型、取付型等)(ICT と連動していないもの)	2	2
3 園内カメラ(ICT と連動しているもの) ※単に防犯を目的としたものを除く。	3	3
4 園内カメラ(ICT と連動していないもの) ※単に防犯を目的としたものを除く。	4	4
5 その他の IoT デバイス( )	5	5
6 導入/活用している IoT デバイスはない	6	6

- 全員に伺います。(※ただし、問2で「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方を除く)

**問40. 次の機能を持つ ICT のうち、**

- (1)貴施設が導入しているものがありますか。(それぞれあてはまるものをすべて選択)
  - (2)うち、日々の保育業務において実際に活用している ICT はありますか。((1)で回答されたものの中から、あてはまるものをすべて選択)
  - (3)現在導入しておらず、今後導入したい(してほしい)と考えているものがありますか。((1)で回答しなかったものの中から、あてはまるものをすべて選択)
- ※ 職員が業務のために使うものについてお答えください。単にエクセルやワードを活用している場合を除いてください。

	(1)	(2)	(3)
	ICT 導入している	ICT 用いて保育業務に活用している	い(し)てほ(し)たい ICT
1 園児の登園及び降園の管理に関する機能	1	1	1
2 保育料・延長保育料の計算に関する機能	2	2	2
3 保護者との連絡に関する機能 ※ICT を介さない個別メールを除く。	3	3	3
4 職員間の連絡に関する機能	4	4	4
5 職員の出退勤管理に関する機能	5	5	5
6 保育に係る計画・記録に関する機能 ※10を除く。	6	6	6
7 指導要録・児童票の作成に関する機能	7	7	7
8 キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込まないもの)	8	8	8
9 キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込むもの)	9	9	9
10 写真・動画を活用した保育内容の記録(ドキュメンテーション)機能	10	10	10
11 写真のオンライン販売機能	11	11	11
12 その他の ICT ツール ( )	12	12	12
13 特になし	13	13	13



▶「(1)導入している ICT」について 13 を選んだ場合は、問 44 へ。

- 問 40(1)で「1. 園児の登園及び降園の管理に関する機能」～「9. キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込むもの)」と回答した方に伺います。

**問41. 貴施設で ICT を導入している業務について伺います。ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間を、それぞれ1日当たりの平均(単位:分)でお答えください。なお、ICT 導入前との比較ができない方やわからない場合は、空欄のまま次へお進みください。(それぞれ数値回答)**

- ※ 問 40 (1)の項目 1～9で「導入している」と回答した ICT についてのみ、下記 1～8にお答えください。
- ※ ICT 導入前後で業務にかかる時間が変わらない場合は、「0」とお答えください。

	(単位:分) 当日短縮した業務時間 の平均(1日あたり)
1 当日の出欠席人数の確認にかかる時間	分
2 延長保育・預かり保育の利用実績の確認や集計にかかる時間	分
3 保護者への連絡(おたよりの印刷・仕分け・配付など)にかかる時間	分
4 職員間の連絡にかかる時間	分
5 職員の出退勤管理にかかる時間	分
6 保育の計画・日誌作成にかかる時間	分
7 指導要録・児童票作成にかかる時間	分
8 利用者からの集金にかかる時間	分

- 問 40(1)でいずれかの ICT を導入していると回答された方に伺います。

問42. 貴施設では ICT 等の導入が進んでいると思いますか。(1つ選択)

1	1	3	どちらともいえない	5	そう思わない
2	ややそう思う	4	あまりそう思わない	6	わからない

- 問 40(1)でいずれかの ICT を導入していると回答された方に伺います。

問43. ICT 等の活用による業務負担軽減への効果についてお答えください。(1つ選択)

1	軽減された	3	どちらともいえない	5	軽減されなかった
2	やや軽減された	4	あまり軽減されなかった	6	わからない

- 問 40(1)で「13.導入している ICT はない」と回答した方、及び、問 42 で「4 あまりそう思わない」「5 そう思わない」と回答した方に伺います。

問44. 貴施設において ICT 等が導入されていない、または、ICT 等の導入が進んでいないと思う理由は何ですか。(最大3つまで選択可)

1	自施設の意向だけでは導入を決められないため	12	ICT 等のメリットが具体的にわからないため
2	法人の責任者や行政担当者などの決裁者が消極的なため	13	保育の質の低下への懸念があるため
3	施設長や管理職が消極的なため	14	帳票の書式を園独自で作成しているため
4	現場の保育者が消極的なため	15	個人情報漏洩やプライバシーへの懸念があるため
5	事務職員が消極的なため	16	情報セキュリティ上の懸念があるため
6	ICT 等の導入コストがかかるため	17	どの ICT 等を活用するとよいかわからないため
7	ICT 等に係るランニングコスト(維持費用・保守費用等)の負担が必要なため	18	どの事業者に相談すればよいかわからないため
8	インターネット環境(Wi-Fi など)への設備投資が必要なため	19	職員がパソコンでの操作に苦手意識があるため
9	パソコンなど情報機器への投資が必要になるため	20	職員が新しいツールの利用に対して億劫であるため
10	ICT 等について検討する時間がないため	21	自施設には必要性を感じないため(不要と考えるため)
11	ICT 等の機能や活用方法についてわからないことが多いため	22	その他( )
		23	特になし

## VI. 業務負担軽減に向けた取組及び効果について

- 問 2 で「1.施設長・所長級」と回答した方に伺います。(※ただし、問 4 で「2.保育士向け調査」を選択した方を除く)

問45. 保育補助者等について、今後の活用意向についてお答えください。(それぞれ1つ選択)

	1	2	3	4
	現在活用している	今後活用したいが、現在活用していない	現在活用しておらず、今後も活用したいとは思わない	現在の活用意向はわからず、今後の活用意向はわからない
(1) 保育補助者(保育士資格あり)	1	2	3	4
(2) 保育補助者(保育士資格なし)	1	2	3	4
(3) 保育支援者	1	2	3	4

- 問 45(1)～(3)それぞれで「1.現在活用している」と回答された施設に伺います。

問46. 保育補助者等の活用により、業務負担軽減に効果があったと思いますか。(それぞれ1つ選択)

- ※ 保育補助者は、「保育補助者雇上強化事業」を活用して雇用されている方、保育支援者(園外活動時の見守り、スポット支援員を含む。)は「保育体制強化事業」を活用して雇用されている方を対象としてください。
- ※ 施設管理者の方は、園全体でみたときの負担軽減についてお答えください。

	1	2	3	4	5	6
	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	該当する方はいない
(1) 保育補助者(保育士資格あり)	1	2	3	4	5	6
(2) 保育補助者(保育士資格なし)	1	2	3	4	5	6
(3) 保育支援者	1	2	3	4	5	6

- 問 45(1)～(3)それぞれで「2.現在活用していないが、今後活用したい」～「4.現在活用しておらず、今後の活用意向はわからない」と回答された方に伺います。

問47. 保育補助者等を活用していない理由について、お答えください。(それぞれあてはまるものをすべて選択)

	回答の方向		
	(1) 保育補助者 (保育士資格あり)	(2) 保育補助者 (保育士資格なし)	(3) 保育支援者
1 導入の必要性を感じないため	1	1	1
2 採用したいが、応募がない、もしくは応募がないことが想定されるため	2	2	2
3 人件費の負担が生じるため	3	3	3
4 補助事業の活用の際の手続き・書類作成等が煩雑なため	4	4	4
5 保育士との業務分担を含め、具体的な活用方法を検討できていないため	5	5	5
6 以前活用したことがあるが、業務負担軽減の効果が感じられなかったため	6	6	6
7 補助事業がない、もしくは知らないため	7	7	7
8 その他( )	8	8	8
9 特になし	9	9	9

- 問 2 で「1.施設長・所長級」～「7.保育士」と回答した方に伺います。(※ただし、問 2 で「1.施設長・所長級」かつ問 4 で「2.保育士向け調査」と回答した方を除く)

問48. 今後、保育補助者等を活用したい時間帯について、お答えください。(あてはまるものをすべて選択)

1 ~9時(主に早朝保育の時間帯)	4 14時～16時
2 9時～12時	5 16時～18時
3 12時～14時	6 18時～(主に延長保育の時間帯)
	7 特になし

- 問2で「1.施設長・所長級」～「7.保育士」と回答した方に伺います。(※ただし、問2で「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方を除く)

問49. 現在人手が足りておらず、保育補助者等に担ってほしい業務内容について、お答えください。(最大3つまで選択可)

＜日常業務＞		15	書類作成(年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価)
1	登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し	16	書類作成(保育記録の作成)
2	保護者対応(日常的な対応)	17	保護者への連絡(連絡帳記入、お知らせ作成等)
3	遊びや活動の指導・援助	18	外国人のこどもの保護者とのやりとりに係る通訳及び翻訳
4	散歩、園外活動時の見守り、付き添い	19	実費徴収費用の集金
5	こどもの着替え	＜非日常業務＞	
6	給食の指導・援助	20	作品展示、室内装飾
7	給食の配膳・後片付け	21	行事の準備・運営・後片付け等
8	寝かしつけ、午睡中の付き添い	22	周辺業務(行事等の写真撮影(保育記録等のための日常的な撮影を除く)・整理・販売等)
9	寝具の用意・後片付け	23	保護者対応(保護者への相談、家庭訪問、保護者会、保育参観等)
10	排泄の指導・援助	24	上記以外にかかる事務処理(集計事務、総務、経理、人事、物品管理・発注等)
11	沐浴の指導・援助	＜その他＞	
12	環境構成(翌日の準備含む)	25	その他( )
13	会議(職員会議、職員間の連絡、相談、個別打ち合わせ等)	26	特になし
14	周辺業務(教材や遊具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等)		

## VII. 仕事や生活の満足度等について

- 全員に伺います。(※ただし、問2で「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方を除く)

問52. あなたが現在保育の現場で対応が難しいと感じていることは何ですか。(最大3つまで選択可)

※ 施設管理者の方は、園全体でみたときの課題についてお答えください。

1	保護者への対応	8	クラス担任を持つこと
2	地域への対応	9	衛生管理・感染症対策
3	食物アレルギーへの対応	10	安全確保・事故対応
4	離乳食への対応	11	書類作業や事務作業
5	障害児保育	12	地域の子育て支援
6	発達に課題のあるこどもへの対応	13	ICT 機器の活用
7	保育士1人でみるこどもの数の多さ	14	その他( )

- 全員に伺います。(※ただし、問2で「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方を除く)

問53. 現在の職場に対して、日頃あなたが改善してほしいと思っている事柄はありますか。(最大3つまで選択可)

※ 施設管理者の方は、園全体で改善したいと思っているものについてお答えください。

※ ノンコンタクトタイム…休憩時間とは異なり、勤務時間中にこどもと関わらずに事務作業や打合せなどの業務をする時間のこと

＜業務負担の軽減に関する取組＞

- 書類業務の見直しなど、事務作業の負担軽減
- 業務へのICTの導入・活用
- 保育補助者の配置や保育支援者等の配置による負担軽減
- 業務負担軽減のための外部サービスの活用(清掃・洗濯・保育に係る事務のアウトソーシング、おむつのサブスクリプション等)

＜労働条件・環境に関する取組＞

- 給与水準の見直し
- 労働条件(労働時間、休日・休暇)の見直し
- 働き方の見直し(ノー残業デーの設定等)
- 残業の削減や、休暇取得促進
- 休憩室の整備や休憩時間の明確化等、休憩が取りやすい工夫
- ノンコンタクトタイム(※)の導入
- 配置基準以上の人員配置

＜福利厚生に関する取組＞

- 家賃補助等の福利厚生
- メンタルヘルス対策(研修実施、ストレスチェックの実施、カウンセリングの提供等)
- 職場や業務に関する、外部相談窓口の活用や自園での相談体制整備

＜多様な働き方の実現に関する取組＞

- 多様なシフト(勤務形態)の運用
- 子育てや介護等との両立支援制度の導入
- キャリアパスの明確化

＜職場の雰囲気づくりに関する取組、その他＞

- 職員向けに施設の運営等の意見や満足度を聞く調査の実施
- ハラスメントに関する研修の実施(管理職向け・全職員向け)
- 職員同士のコミュニケーションを円滑にするような工夫(対話の機会の重視、親睦会等の実施、コミュニケーションスペースの確保等)
- その他( )
- 特にない

VIII. 就業継続意向・キャリア展望について

- 問2で「1.施設長・所長級」と回答した方に伺います。(※ただし、問4で「2.保育士向け調査」を選択した方を除く)

問54. 現在の職場において、一般の保育士から施設長・所長級までの間に、下記の職位区分は設定されていますか。

(あてはまるものをすべて選択)

- |                 |                             |
|-----------------|-----------------------------|
| 1 副施設長・副所長級     | 4 専門リーダー                    |
| 2 主任保育士・主幹保育教諭級 | 5 分野別リーダー(乳児保育リーダー、食育リーダー等) |
| 3 副主任保育士        | 6 その他( )                    |

- 問2で「1.施設長・所長級」と回答した方に伺います。(※ただし、問4で「2.保育士向け調査」を選択した方を除く)

問55. 一般の保育士が、上位の役職に向けてキャリアを積んでいくためには、どのような専門知識を習得することが必要だと考えますか。可能な限り施設長としてのお考えに沿ってご回答ください。(最大3つまで選択可)

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| 1 乳児保育        | 7 マネジメント            |
| 2 幼児教育        | 8 人材育成、人事管理(採用・配置等) |
| 3 障害児保育       | 9 危機管理(有事の対応)       |
| 4 食育・アレルギー対応  | 10 地域連携、地域の子育て支援    |
| 5 保健衛生・安全対策   | 11 他機関との連携・協働       |
| 6 保護者支援・保護者対応 | 12 その他( )           |

- 問2で「1.施設長・所長級」と回答した方に伺います。(※ただし、問4で「2.保育士向け調査」を選択した方を除く)

問56. それぞれの職務内容や必要なスキルを明確にし、下位職から上位職へはしごを昇るように移行できるキャリア向上の道筋と、そのための能力開発の機会を提供するような仕組みのことを、『キャリアラダー』と言います。こうしたキャリアラダーが整備されることは、保育士のキャリア形成に対してどの程度重要だと考えますか。可能な限り施設長としてのお考えに沿ってご回答ください。(1つ選択)

1	とても重要である	4	あまり重要ではない
2	やや重要である	5	全く重要ではない
3	どちらともいえない		

- 問2で「1.施設長・所長級」と回答した方にお聞きます。

問58. 役職(上位の役職)に今後就きたいと思う理由をお聞かせください。施設長・所長級の方は、現在の役職に就いた理由をお聞かせください。(最大3つまで選択可)

1	上位の役職の仕事内容(マネジメント)に興味ややりがいを感じるため
2	責任・権限のある仕事がしたいため
3	より広い裁量をもって働きたいため
4	自身の知識や経験で、職場に貢献したいと思ったため
5	尊敬されるような仕事がしたいため
6	年齢や経験相応の役職を目指すのは当然だと考えたため
7	より高い収入が得られるため
8	上司・先輩から仕事を評価されたため
9	目標となる上司や先輩がいたため
10	上司・先輩から説得や励ましを受けたため
11	その他( )

- 全員に伺います。

## IX. 勤務先の施設名について

問61. 貴施設名	
-----------	--

※ 施設名のご回答は任意です。ヒアリング調査の依頼をさせていただく場合がございます。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

### 郵送にて返信される場合（インターネット上でご回答が難しい場合）

- 郵送にて返信される場合は、本調査票見本をお手元で印刷のうえ、紙面上にてご回答ください。
- 印刷は **A4 片面または A4 両面**にてお願いいたします。
- ご記入された回答票は**ホッチキス留め**をお願いいたします。
- ご回答後、以下の返信用ラベルを切り取って頂き、お手持ちの封筒に貼り付けてご返信ください。
  - ※ 大変恐れ入りますが、封筒はご回答者様にてご用意をお願いいたします。
  - ※ 下記の返信用ラベルは**長3の封筒サイズに適合**しますが、長3以外のサイズの封筒に貼り付けてお送りすることも可能です。
  - ※ 切手を貼る必要はございません。
- **ご投函期限：2026(令和8)年1月23日(金)まで**

### <返信用ラベル>

お手持ちの封筒に貼り付けてご返信ください。(切手を貼る必要はございません)

# 保育士等に関するアンケート調査【保育士等向け】

## 調査票見本

2025年12月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

### 回答方法のご案内

可能な限り、インターネット上でご回答くださいますようお願いいたします。

▶アンケートサイトはこちら <https://>

#### 【ご注意ください】

アンケートサイトでは恐れ入りますが、**途中保存ができかねます**。インターネット上でご回答いただく前に、**本調査票見本にてアンケート内容のご確認及び回答内容のご留意をお願いいたします**。

### ご回答にあたって

- 調査の対象について
  - ・ 全国の保育所等(認可保育所、地域型保育事業所、保育所型認定こども園、幼保連携型認定こども園)に勤務する**施設長・保育士・保育教諭等(保育士の業務を補助する保育補助者・保育支援者も含む)**を対象としています。
  - ・ **施設長の方で、保育士資格をお持ちの場合は、可能な範囲でご協力をいただけますと幸いです。**  
※アンケート調査の間4で、「2. 保育士向け調査」を選択ください。
- 回答について
  - ・ 本調査は特に指定のない限り、**回答時現在の状況**でお答えください。
  - ・ 回答に要するお時間は、本調査見本において回答を用意し、インターネット上で回答が完了するまでに20分程度です。
  - ・ インターネット回答画面上の設問番号と一致させるため、本調査票見本では設問番号が連番になっておりません。あらかじめご了承ください。
- 利用目的
  - ・ ご回答内容は、施策検討の基礎資料としてのみ利用いたします。調査結果の公開にあたっては、統計的に処理された結果のみ公開され、個々の施設の回答内容が公開されることはありません。
  - ・ 個票データをこども家庭庁に提出する場合があります。こども家庭庁において、施策検討の基礎資料として活用するほか、都道府県を通じて管内自治体に結果を還元する可能性があります。ただし、個々の施設の評価や検査を目的として利用することはありません。
  - ・ 調査結果は令和8年4月頃に三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社のホームページ等にて公開する予定です。
- ご回答期限
  - ・ **2026(令和8)年1月23日(金)まで**
- お問い合わせ先  
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
政策研究事業本部 社会政策部 保育士等に関するアンケート調査事務局 担当:野田、尾島  
TEL: (平日:10時~17時) E-mail:  
※恐れ入りますが、年末年始期間中(12/27~1/4)は電話でのお問い合わせは受け付けておりません。また、年末年始期間中に頂いたメールでのお問い合わせは、1/5以降に順次ご回答申し上げます。  
※複数の調査を実施しておりますため、お問合せの際は、「保育士等に関するアンケート調査」に関するお問い合わせであることを明示してください。  
※お問い合わせに際してお預かりする個人情報は、当社の「個人情報保護方針」(<https://www.murc.jp/corporate/privacy/>)及び「個人情報の取扱いについて」(<https://www.murc.jp/corporate/privacy02/>)に従って適切に取り扱います。

### インターネット上でご回答が難しい場合の、ご回答方法

- 本調査票見本をお手元で印刷のうえ、紙面上にてご回答ください。印刷はA4片面またはA4両面にてお願いいたします。
- 紙面上にご回答の際はあてはまる番号に○をつけてください。
- 紙面に回答後、本紙末尾にございます、返信用ラベルを切り取り、お手持ちの封筒に貼り付けのうえご返送ください。(恐れ入りますが、封筒はご回答者様にてご用意ください。)

## I. あなたご自身について

問1. あなたが勤務している施設の種別を教えてください。(1つ選択)

1 認可保育所	5 小規模保育事業所B型	8 居宅訪問型保育事業所
2 幼保連携型認定こども園	6 小規模保育事業所C型	9 事業所内保育事業所
3 保育所型認定こども園	7 家庭的保育事業所	10 上記以外
4 小規模保育事業所A型		

▶10の場合は、ここでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

問2. あなたの職種を教えてください。(1つ選択)

※ 保育士資格を保有していても、保育補助者として従事している場合は、「8.保育補助者」を選択してください。

※ 「9.保育支援者」には、園外活動時の見守りを行うスポット支援員を含みます。

1 施設長・所長級	6 分野別リーダー(乳児保育リーダー、食育リーダー等)	11 家庭的保育者
2 副施設長・副所長級	7 保育士(役職なし)	12 家庭的保育補助者
3 主任保育士・主幹保育教諭級	8 保育補助者(保育士資格の有無を問わない)	13 保健師・看護師
4 副主任保育士	9 保育支援者	14 管理栄養士・栄養士
5 専門リーダー	10 子育て支援員	15 調理師・調理員
		16 事務職員
		17 あてはまるものはない

▶13～17の場合は、ここでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

問3. あなたの保育士資格の取得方法をお答えください。(1つ選択)

※ 保育士資格を保有していない場合は、「6.保育士資格を保有していない」をお選びください。

1 専門(専修)学校の保育士養成課程	4 その他養成施設等の保育士養成課程
2 短期大学の保育士養成課程	5 保育士試験
3 大学の保育士養成課程	6 保育士資格を保有していない

● 問2で「1.施設長・所長級」と回答し、かつ問3で「1.専門(専修)学校の保育士養成課程」～「5.保育士試験」と回答した方に伺います。

問4. これ以降、どちらの調査に回答するかご回答ください。(1つ選択)

1 施設向け調査	2 保育士向け調査
----------	-----------

● 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

問5. あなたの性別をお答えください。(1つ選択)

1 女性	2 男性	3 回答しない
------	------	---------

● 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

問6. あなたの年齢をお答えください。(1つ選択)

1 19歳以下	5 35～39歳	9 55～59歳
2 20～24歳	6 40～44歳	10 60～64歳
3 25～29歳	7 45～49歳	11 65～69歳
4 30～34歳	8 50～54歳	12 70歳以上

● 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

問7. 婚姻状況について伺います。あてはまるものを1つお選びください。(1つ選択)

1 配偶者あり	2 配偶者なし
---------	---------

- 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

問8. お子さんはいらっしゃいますか。お子さんがいらっしゃる方は、人数と一番下のお子さんの年齢をお答えください。  
(1つ選択)

1 こどもがいる	2 こどもはいない
⇒ お子さんの人数 ( )人	
⇒ 一番下のお子さんの年齢 ( )歳	

- 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

問9. 保育士資格以外に保有する資格をお答えください。(あてはまるものをすべて選択)

1 幼稚園教諭	7 公認心理師(臨床心理士)
2 小学校教諭	8 看護師
3 中学校教諭	9 保健師
4 高等学校教諭	10 その他福祉やこどもに関する資格( )
5 社会福祉士	11 上記のうち保有している資格はない
6 精神保健福祉士	

- 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

問10. あなたが保育士(保育の仕事)を目指そうと思ったきっかけをお答えください。(最大3つまで選択可)

1 こどもの頃に憧れの先生に出会ったから	5 就職するのに困らない職業だと考えたから
2 こどもとふれあうのが楽しいから	6 親や学校の教員など周囲の人に勧められたから
3 小中高生のときに保育実習や体験を行って興味を持ったから	7 親や親族が保育関係者だったから
4 きょうだいなど、身近で小さなこどもとふれあう機会が多かったから	8 子育てを経験して興味が湧いたから
	9 その他( )

- 問11～13は全員に伺います。

## II. お勤め先の施設について

問11. あなたが勤務している保育所等の都道府県・市区町村をお答えください。

※この質問は、市区町村別の統計データ(例:人口規模、就業率、等)と紐づけた分析を行うために必要な項目です。回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。

※ウェブアンケート上ではプルダウン(選択式)にてご回答いただきます。

( ) 都道府県	( ) 市区町村
----------	----------

問12. あなたが勤務している保育所等の運営主体を教えてください。(1つ選択)

1 市区町村	6 営利法人(会社)※株式会社を含む	10 その他の法人
2 社会福祉法人	7 特定非営利活動法人(NPO)	11 個人
3 医療法人	8 学校法人	12 その他( )
4 公益社団法人・公益財団法人	9 宗教法人	13 わからない
5 一般社団法人・一般財団法人		

問13. 2025年4月1日時点の定員を教えてください。(1つ選択)

1 19人以下	3 41～60人	5 91～120人	7 151人以上
2 20～40人	4 61～90人	6 121～150人	

- 問2で「8.保育補助者（保育士資格の有無を問わない）」「9.保育支援者」と回答した方に伺います。

**問21. 保育補助者等が従事している業務内容についてお答えください。**（それぞれあてはまるものをすべて選択）

※ 施設長・所長級の方はご自身の園で保育補助者等をお願いしている業務内容を、保育補助者もしくは保育支援者として働いている方はご自身が担っている業務内容についてご回答ください。

	(1)	(2)	(3)
	あり (保育士資格 あり)	なし (保育士資格 なし)	保育支援者
回答の方向 			
<b>【日常業務】</b>			
1 登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し	1	1	1
2 保護者対応(日常的な対応)	2	2	2
3 遊びや活動の指導・援助	3	3	3
4 散歩、園外活動時の見守り、付き添い	4	4	4
5 こどもの着替え	5	5	5
6 給食の指導・援助	6	6	6
7 給食の配膳・後片付け	7	7	7
8 寝かしつけ、午睡中の付き添い	8	8	8
9 寝具の用意・後片付け	9	9	9
10 排泄の指導・援助	10	10	10
11 沐浴の指導・援助	11	11	11
12 環境構成(翌日の準備含む)	12	12	12
13 会議(職員会議、職員間の連絡、相談、個別打ち合わせ等)	13	13	13
14 周辺業務(教材や遊具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等)	14	14	14
15 書類作成(年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価)	15	15	15
16 書類作成(保育記録の作成)	16	16	16
17 保護者への連絡(連絡帳記入、お知らせ作成等)	17	17	17
18 外国人のこどもの保護者とのやりとりに係る通訳及び翻訳	18	18	18
19 実費徴収費用の集金	19	19	19
<b>【非日常業務】</b>			
20 作品展示、室内装飾	20	20	20
21 行事の準備・運営・後片付け等	21	21	21
22 周辺業務(行事等の写真撮影(保育記録等の日常的な撮影を除く)・整理・販売等)	22	22	22
23 保護者対応(保護者への相談、家庭訪問、保護者会、保育参観等)	23	23	23
24 上記以外にかかる事務処理(集計事務、総務、経理、人事、物品管理・発注等)	24	24	24
25 その他( )	25	25	25

- 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

**問22. あなたの担当クラス等を教えてください。**（あてはまるものをすべて選択）

- ※ 混合クラスの場合は、該当する年齢をすべて選択してください。
- ※ 障害児保育担当の場合は、「12.障害児保育」とともに、担当クラスの年齢を選択してください。

1 0歳児	6 5歳児	11 一時預かり
2 1歳児	7 フリー	12 障害児保育
3 2歳児	8 延長時間(標準時間前)	13 その他( )
4 3歳児	9 延長時間(標準時間後)	14 いずれもあてはまらない(保育業務を担当していない)
5 4歳児	10 休日保育	

- 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

**問23. あなたの雇用形態を教えてください。(1つ選択)**

- ※ スポットワーカーとは、短時間かつ単発の就労を内容とする雇用契約の下で働く者。主にスマートフォンのアプリを經由してマッチングが行われる者をいいます。
- ※ 会計年度任用職員は、有期契約職員に含めてお答えください。

1 正規職員	3 有期契約職員(パートタイム)	5 スポットワーカー(※)
2 有期契約職員(フルタイム)	4 派遣社員	6 その他( )

- 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

**問24. あなたは現在働いている施設で何年勤務していますか。また、あなたは保育に関わるお仕事に通算何年関わられていますか。(それぞれ1つ選択)**

- ※ 勤務年数には、産休・育休等の休業期間も年数に含めてお答えください。

	回答の方向	
	(1) のい現 勤る在 続施働 年設い 数でて	(2) 年通る保 数算お育 の仕に 経事関 験のわ
1 1年未満	1	1
2 1年以上3年未満	2	2
3 3年以上5年未満	3	3
4 5年以上10年未満	4	4
5 10年以上15年未満	5	5
6 15年以上20年未満	6	6
7 20年以上	7	7

- 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

**問25. 保育士として働き始めてからこれまでに、保育関係のお仕事で転職した回数(保育以外のお仕事への転職は除く)を教えてください。(1つ選択)**

- ※ 保育士以外の職業から保育士への転職や、保育士から保育士以外への転職は、転職回数に含みません。

1 転職したことはない	3 2回	5 4回以上
2 1回	4 3回	

- 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

**問26. あなたがこれまでに勤務した保育施設の箇所数を教えてください。同法人内や同自治体内で施設を異動した場合も箇所数に含めてお答えください。(1つ選択)**

1 1か所	3 3か所	5 5か所
2 2か所	4 4か所	6 6か所以上10か所未満
		7 10か所以上

- 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

**問27. あなたが現在働いている施設に就職した際、主にどのようなところから得た情報を活用しましたか。(最大3つまで選択可)**

1 保育士・保育所支援センター	6 民間職業紹介(求人情報誌・求人サイト等)
2 ハローワーク	7 お住まい又は就労を希望する保育所等の所在する市区町村
3 先輩や友人からの紹介	8 卒業した学校(指定保育士養成施設等)
4 就労を希望する保育所等のホームページ・チラシ・SNS等	9 就職説明会、ジョブフェア等
5 民間職業紹介(相談窓口)	10 その他( )

- 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

問28. あなたが現在働いている施設を選ぶ際、主にどのようなことを重視していましたか。(最大3つまで選択可)

1 やりがい	14 働き方(シフト制、固定時間勤務、スポット的な勤務等)
2 保育理念への共感	15 勤務する時間帯
3 保育所等や法人の評判	16 勤務する曜日
4 職場の人間関係	17 雇用が安定している
5 保育所等の施設や設備充実度(新しさ等)	18 昇格制度(キャリアアップ)
6 保護者連絡等のシステムの導入がある	19 寮や家賃補助制度の有無
7 福利厚生の実度	20 休暇が多い・とりやすい
8 研修制度の実度	21 保育士1人あたりのこどもの数
9 勤務地(自宅から近い等)	22 保育所等や法人が職場環境向上に取り組んでいる
10 1週間当たりの勤務日数	23 その他( )
11 勤務時間	24 特にない
12 雇用形態	
13 給与	

- 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

問29. あなたが勤務している園の施設長・所長級の仕事管理や職員育成について、主にあてはまるものをお答えください。施設長・所長級の方は、ご自身についてお答えください。(最大3つまで選択可)

1 業務量が特定の職員に偏らないように配慮している
2 職員の業務の状況を適切に把握している
3 職員の希望するキャリア実現に向けて適切な支援をしている
4 職員の仕事以外の生活や家庭のことにも配慮している
5 長時間働く職員(残業など)を評価するのではなく、仕事の質で評価している
6 職員とのコミュニケーションが良好である
7 職員間で情報共有がしやすいよう工夫している
8 施設長・所長自身が長時間労働せず、メリハリをつけた働き方をしている
9 特にあてはまるものはない

### III. 勤務先での働き方について

- 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

問30. あなたの働き方について教えてください。

(1) 平均的な1週間の勤務日数(1つ選択)

※ 変則勤務の方は主たる勤務パターンでお答えください。

1 週1日以下	4 週4日
2 週2日	5 週5日
3 週3日	6 週6日以上

(2) 1日あたりの平均的な勤務時間(1つ選択)

※ 残業時間も含めた時間をお答えください。変則勤務の方は主たる勤務パターンでお答えください。

1 2時間以下	5 8時間を超えて10時間以下
2 2時間を超えて4時間以下	6 10時間を超えて12時間以下
3 4時間を超えて6時間以下	7 12時間超
4 6時間を超えて8時間以下	

(3) 働いている時間帯(あてはまるものをすべて選択)

1	～9時(主に早朝保育の時間帯)	4	14時～16時
2	9時～12時	5	16時～18時
3	12時～14時	6	18時～(主に延長保育の時間帯)

(4) 平均的な月給(1つ選択)

※ 手当等も含めて、税金や社会保険料が引かれる前の総支給額をお答えください。なお、賞与は含みません。

1	10万円未満	4	20～25万円未満	7	35～40万円未満
2	10～15万円未満	5	25～30万円未満	8	40万円以上
3	15～20万円未満	6	30～35万円未満		

(5) 今年の年間賞与(1つ選択)

※ 手当等も含めて、税金や社会保険料が引かれる前の総支給額をお答えください。なお、年間に複数回賞与が支給される場合は合計額をお答えください。

1	20万円未満	5	80～100万円未満	9	160～180万円未満
2	20～40万円未満	6	100～120万円未満	10	180～200万円未満
3	40～60万円未満	7	120～140万円未満	11	200万円以上
4	60～80万円未満	8	140～160万円未満		

(6) 自宅から勤務先までの通勤時間(片道)(1つ選択)

1	15分未満	3	30分～1時間未満
2	15分～30分未満	4	1時間以上

● 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

問31. 1日の勤務の中で、昼休憩等、休憩時間は平均でどの程度取れていますか。(1つ選択)

1	45分以上	4	10分以上 20分未満
2	30分以上 45分未満	5	10分未満
3	20分以上 30分未満	6	勤務時間が短いため休憩時間は発生しない

● 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

問32. 1日の勤務時間の中で、ノンコンタクトタイムにあてている平均的な時間をお答えください。(数値記入)

( )分(1日あたり)

- ※ ノンコンタクトタイム…休憩時間とは異なり、勤務時間中に子どもと関わらずに事務作業や打合せなどの業務をする時間のこと
- ※ 1日あたりの合計時間をお答えください。
- ※ ノンコンタクトタイムがない場合は、「0」とご記入ください。

● 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

問33. あなたは保育業務の資質向上のために、現在どのような取組を行っていますか。勤務先での研修等のほか、自己啓発として取り組んでいることも含めてお答えください。(あてはまるものをすべて選択)

1	自施設内の研修へ参加	4	専門書等での自主的な勉強
2	自治体が行う研修や講演会等への参加	5	先進的な取組を行う他施設の見学
3	保育関連団体等、自治体以外が行う研修や講演会等への参加	6	その他( )
		7	特に取り組んでいることはない

## IV. 業務負担感について

- 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

問35. 直近における**1日当たりの平均的な業務時間**を、**勤務時間全体に占める割合(%)**で回答してください。毎日ではなく、特定の日にのみ実施している業務については、平均にならした時間を回答してください。正確な回答は難しいと思いますので、おおよその割合でけっこうです。(それぞれ数値記入)

※ 各項目の合計が100%となるようにしてください。担当していない業務は「0」とご回答ください。

※ 四捨五入のうえ、小数点第一位まで記入してください。

		1日当たりの平均的な業務時間割合
【日常業務】	(1) 登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し	%
	(2) 保護者対応(日常的な対応)	%
	(3) 遊びや活動の指導・援助	%
	(4) 散歩、園外活動時の見守り、付き添い	%
	(5) こどもの着替え	%
	(6) 給食の指導・援助	%
	(7) 給食の配膳・後片付け	%
	(8) 寝かしつけ・午睡中の付き添い	%
	(9) 寝具の用意・後片付け	%
	(10) 排泄の指導・援助	%
	(11) 沐浴の指導・援助	%
	(12) 環境構成(翌日の準備を含む)	%
	(13) 会議(職員会議、職員間の連絡、相談、個別打ち合わせ等)	%
	(14) 周辺業務(教材や遊具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等)	%
	(15) 書類作成(年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価)	%
	(16) 書類作成(保育記録の作成)	%
	(17) 保護者への連絡(連絡帳記入、お知らせ作成等)	%
	(18) 外国人のこどもの保護者とのやりとりに係る通訳及び翻訳	%
	(19) 実費徴収費用の集金	%
【非日常業務】	(20) 作品展示、室内装飾	%
	(21) 行事の準備・運営・後片付け等	%
	(22) 周辺業務(行事等の写真撮影(保育記録等のための日常的な撮影を除く)・整理・販売等)	%
	(23) 保護者対応(保護者への相談、家庭訪問、保護者会、保育参観等)	%
	(24) 研修(園外研修、園内研修、実習報告書の作成、実習生の指導等)	%
	(25) 上記以外にかかる事務処理(集計事務、総務、経理、人事、物品管理・発注等)	%

● 全員に伺います。(※ただし、問2で「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方を除く)

問36. 以下の各業務の負担感について、お答えください。(それぞれ1つ選択)

	1	2	3	4	5	6	
	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	ほとんど感じない	行っていない	
【日常業務】	(1) 登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し	1	2	3	4	5	6
	(2) 保護者対応(日常的な対応)	1	2	3	4	5	6
	(3) 遊びや活動の指導・援助	1	2	3	4	5	6
	(4) 散歩、園外活動時の見守り、付き添い	1	2	3	4	5	6
	(5) こどもの着替え	1	2	3	4	5	6
	(6) 給食の指導・援助	1	2	3	4	5	6
	(7) 給食の配膳・後片付け	1	2	3	4	5	6
	(8) 寝かしつけ・午睡中の付き添い	1	2	3	4	5	6
	(9) 寝具の用意・後片付け	1	2	3	4	5	6
	(10) 排泄の指導・援助	1	2	3	4	5	6
	(11) 沐浴の指導・援助	1	2	3	4	5	6
	(12) 環境構成(翌日の準備を含む)	1	2	3	4	5	6
	(13) 会議(職員会議、職員間の連絡、相談、個別打ち合わせ等)	1	2	3	4	5	6
	(14) 周辺業務(教材や遊具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等)	1	2	3	4	5	6
	(15) 書類作成(年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価)	1	2	3	4	5	6
	(16) 書類作成(保育記録の作成)	1	2	3	4	5	6
	(17) 保護者への連絡(連絡帳記入、お知らせ作成等)	1	2	3	4	5	6
	(18) 外国人のこどもの保護者とのやりとりに係る通訳及び翻訳	1	2	3	4	5	6
	(19) 実費徴収費用の集金	1	2	3	4	5	6
【非日常業務】	(20) 作品展示、室内装飾	1	2	3	4	5	6
	(21) 行事の準備・運営・後片付け等	1	2	3	4	5	6
	(22) 周辺業務(行事等の写真撮影(保育記録等のための日常的な撮影を除く)・整理・販売等)	1	2	3	4	5	6
	(23) 保護者対応(保護者への相談、家庭訪問、保護者会、保育参観等)	1	2	3	4	5	6
	(24) 研修(園外研修、園内研修、実習報告書の作成、実習生の指導等)	1	2	3	4	5	6
	(25) 上記以外にかかる事務処理(集計事務、総務、経理、人事、物品管理・発注等)	1	2	3	4	5	6

## V. 貴施設における保育 ICT の活用状況について

- 本調査における「保育 ICT」とは、保育業務のために活用することを目的としたシステムを指します。具体的には問 40(p.10)に示す機能を有するシステムを指し、オフィスソフト(エクセルやワードなど)等をカスタマイズしたものは含みません。また、調査票では「保育 ICT」を単に「ICT」と表記します。

- 全員に伺います。(※ただし、問 2 で「1.施設長・所長級」かつ問 4 で「2.保育士向け調査」と回答した方を除く)

### 問40. 次の機能を持つ ICT のうち、

(1)貴施設が導入しているものがありますか。(それぞれあてはまるものをすべて選択)

(2)うち、日々の保育業務において実際に活用している ICT はありますか。((1)で回答されたものの中から、あてはまるものをすべて選択)

(3)現在導入しておらず、今後導入したい(してほしい)と考えているものがありますか。((1)で回答しなかったものの中から、あてはまるものをすべて選択)

※ 職員が業務のために使うものについてお答えください。単にエクセルやワードを活用している場合を除いてください。

	(1)	(2)	(3)
	ICT 導入している	ICT 用いて 保育 業務に 実際に 活用 している	い (し て ほ し い) ICT 今後 導入 した もの
1 園児の登園及び降園の管理に関する機能	1	1	1
2 保育料・延長保育料の計算に関する機能	2	2	2
3 保護者との連絡に関する機能 ※ICT を介さない個別メールを除く。	3	3	3
4 職員間の連絡に関する機能	4	4	4
5 職員の出退勤管理に関する機能	5	5	5
6 保育に係る計画・記録に関する機能 ※10 を除く。	6	6	6
7 指導要録・児童票の作成に関する機能	7	7	7
8 キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込まないもの)	8	8	8
9 キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込むもの)	9	9	9
10 写真・動画を活用した保育内容の記録(ドキュメンテーション)機能	10	10	10
11 写真のオンライン販売機能	11	11	11
12 その他の ICT ツール ( )	12	12	12
13 特になし	13	13	13

回答の方向  
↓

▶「(1)導入している ICT」について 13 を選んだ場合は、問 44 へ。

- 問 40(1)で「1. 園児の登園及び降園の管理に関する機能」～「9. キャッシュレス決済に関する機能(保護者の方が直接、銀行に口座振替を申し込むもの)」と回答した方に伺います。

**問41.** 貴施設で ICT を導入している業務について伺います。ICT 導入前と比べて短縮できた業務時間を、それぞれ1日当たりの平均(単位:分)でお答えください。なお、ICT 導入前との比較ができない方やわからない場合は、空欄のまま次へお進みください。(それぞれ数値回答)

※ 問 40 (1)の項目1～9で「導入している」と回答した ICT についてのみ、下記 1～8にお答えください。

※ ICT 導入前後で業務にかかる時間が変わらない場合は、「0」とお答えください。

	(単位:分) 当日短縮した時間数 ／ 1日
1 当日の出欠席人数の確認にかかる時間	分
2 延長保育・預かり保育の利用実績の確認や集計にかかる時間	分
3 保護者への連絡(おたよりの印刷・仕分け・配付など)にかかる時間	分
4 職員間の連絡にかかる時間	分
5 職員の出退勤管理にかかる時間	分
6 保育の計画・日誌作成にかかる時間	分
7 指導要録・児童票作成にかかる時間	分
8 利用者からの集金にかかる時間	分

- 問 40(1)でいずれかの ICT を導入していると回答された方に伺います。

**問42.** 貴施設では ICT 等の導入が進んでいると思いますか。(1つ選択)

1 そう思う	3 どちらともいえない	5 そう思わない
2 ややそう思う	4 あまりそう思わない	6 わからない

- 問 40(1)でいずれかの ICT を導入していると回答された方に伺います。

**問43.** ICT 等の活用による業務負担軽減への効果についてお答えください。(1つ選択)

1 軽減された	3 どちらともいえない	5 軽減されなかった
2 やや軽減された	4 あまり軽減されなかった	6 わからない

- 問 40(1)で「13.導入している ICT はない」と回答した方、及び、問 42 で「4 あまりそう思わない」「5 そう思わない」と回答した方に伺います。

**問44.** 貴施設において ICT 等が導入されていない、または、ICT 等の導入が進んでいないと思う理由は何ですか。(最大3つまで選択可)

1 自施設の意向だけでは導入を決められないため	12 ICT 等のメリットが具体的にわからないため
2 法人の責任者や行政担当者などの決裁者が消極的なため	13 保育の質の低下への懸念があるため
3 施設長や管理職が消極的なため	14 帳票の書式を園独自で作成しているため
4 現場の保育者が消極的なため	15 個人情報漏洩やプライバシーへの懸念があるため
5 事務職員が消極的なため	16 情報セキュリティ上の懸念があるため
6 ICT 等の導入コストがかかるため	17 どの ICT 等を活用するとよいかわからないため
7 ICT 等に係るランニングコスト(維持費用・保守費用等)の負担が必要なため	18 どの事業者に相談すればよいかわからないため
8 インターネット環境(Wi-Fi など)への設備投資が必要なため	19 職員がパソコンでの操作に苦手意識があるため
9 パソコンなど情報機器への投資が必要になるため	20 職員が新しいツールの利用に対して億劫であるため
10 ICT 等について検討する時間がないため	21 自施設には必要性を感じないため(不要と考えるため)
11 ICT 等の機能や活用方法についてわからないことが多いため	22 その他( )
	23 特になし

## VI. 業務負担軽減に向けた取組及び効果について

- 問2で「2.副施設長・副所長級」～「7.保育士」と回答した方にうかがいます。

問46. 保育補助者等の活用により、業務負担軽減に効果があったと思いますか。(それぞれ1つ選択)

- ※ 保育補助者は、「保育補助者雇上強化事業」を活用して雇用されている方、保育支援者(園外活動時の見守り、スポット支援員を含む。)は「保育体制強化事業」を活用して雇用されている方を対象としてください。
- ※ 施設管理者の方は、園全体でみたときの負担軽減についてお答えください。

	1	2	3	4	5	6
	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	該当する方はいない
(1) 保育補助者(保育士資格あり)	1	2	3	4	5	6
(2) 保育補助者(保育士資格なし)	1	2	3	4	5	6
(3) 保育支援者	1	2	3	4	5	6

- 問2で「1.施設長・所長級」～「7.保育士」と回答した方に伺います。(※ただし、問2で「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方を除く)

問48. 今後、保育補助者等を活用したい時間帯について、お答えください。(あてはまるものをすべて選択)

1	～9時(主に早朝保育の時間帯)	4	14時～16時
2	9時～12時	5	16時～18時
3	12時～14時	6	18時～(主に延長保育の時間帯)
		7	特になし

- 問2で「1.施設長・所長級」～「7.保育士」と回答した方に伺います。(※ただし、問2で「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方を除く)

問49. 現在人手が足りておらず、保育補助者等に担ってほしい業務内容について、お答えください。(最大3つまで選択可)

<p>&lt;日常業務&gt;</p> <p>1 登降園時のこどもの受け入れ・引き渡し</p> <p>2 保護者対応(日常的な対応)</p> <p>3 遊びや活動の指導・援助</p> <p>4 散歩、園外活動時の見守り、付き添い</p> <p>5 こどもの着替え</p> <p>6 給食の指導・援助</p> <p>7 給食の配膳・後片付け</p> <p>8 寝かしつけ、午睡中の付き添い</p> <p>9 寝具の用意・後片付け</p> <p>10 排泄の指導・援助</p> <p>11 沐浴の指導・援助</p> <p>12 環境構成(翌日の準備含む)</p> <p>13 会議(職員会議、職員間の連絡、相談、個別打ち合わせ等)</p> <p>14 周辺業務(教材や遊具の準備・片付け・清掃・消毒・洗濯等)</p>	<p>15 書類作成(年間・月間の指導計画作成、週案・日案の作成、指導計画の評価)</p> <p>16 書類作成(保育記録の作成)</p> <p>17 保護者への連絡(連絡帳記入、お知らせ作成等)</p> <p>18 外国人のこどもの保護者とのやりとりに係る通訳及び翻訳</p> <p>19 実費徴収費用の集金</p> <p>&lt;非日常業務&gt;</p> <p>20 作品展示、室内装飾</p> <p>21 行事の準備・運営・後片付け等</p> <p>22 周辺業務(行事等の写真撮影(保育記録等のための日常的な撮影を除く)・整理・販売等)</p> <p>23 保護者対応(保護者への相談、家庭訪問、保護者会、保育参観等)</p> <p>24 上記以外にかかる事務処理(集計事務、総務、経理、人事、物品管理・発注等)</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <p>25 その他( )</p> <p>26 特になし</p>
--	--

## VII. 仕事や生活の満足度等について

- 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

問50. 下記の項目について、現在のあなたの満足度をお答えください。(それぞれ1つ選択)

	1	2	3	4	5
	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
(1) 勤務日数	1	2	3	4	5
(2) 勤務時間	1	2	3	4	5
(3) 通勤時間	1	2	3	4	5
(4) 給与・賞与等	1	2	3	4	5
(5) 仕事内容	1	2	3	4	5
(6) 職員1人あたりの負担の大きさ	1	2	3	4	5
(7) 休暇・休憩の取りやすさ	1	2	3	4	5
(8) 福利厚生	1	2	3	4	5
(9) 職場の人間関係	1	2	3	4	5
(10) 保護者との関係性	1	2	3	4	5
(11) 職場の周辺環境・立地	1	2	3	4	5
(12) ICTの導入・活用	1	2	3	4	5
(13) 教育・研修体制	1	2	3	4	5
(14) キャリアパス(昇級、昇格等)	1	2	3	4	5
(15) 保育施設や法人の保育理念や運営方針	1	2	3	4	5
(16) やりがい	1	2	3	4	5

- 問2で「2.副施設長・副所長級」～「12.家庭的保育補助者」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

問51. あなたが現在保育の現場でやりがいを感じていることは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。(あてはまるものをすべて選択)

1 自己実現が得られている	6 地域の子育て支援の役に立てた
2 信頼できる仲間ができた	7 自分の子育ての役に立った
3 社会の役に立っている	8 収入が得られている
4 こどもの育ちに関わることができた	9 その他( )
5 子育てする保護者の役に立てた	10 特になし

- 全員に伺います。(※ただし、問2で「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方を除く)

問52. あなたが現在保育の現場で対応が難しいと感じていることは何ですか。(最大3つまで選択可)

※ 施設管理者の方は、園全体でみたときの課題についてお答えください。

1 保護者への対応	8 クラス担任を持つこと
2 地域への対応	9 衛生管理・感染症対策
3 食物アレルギーへの対応	10 安全確保・事故対応
4 離乳食への対応	11 書類作業や事務作業
5 障害児保育	12 地域の子育て支援
6 発達に課題のあるこどもへの対応	13 ICT機器の活用
7 保育士1人でみるこどもの数の多さ	14 その他( )

- 全員に伺います。(※ただし、問2で「1.施設長・所長級」かつ問4で「2.保育士向け調査」と回答した方を除く)

問53. 現在の職場に対して、日頃あなたが改善してほしいと思っている事柄はありますか。(最大3つまで選択可)

※ 施設管理者の方は、園全体で改善したいと思っているものについてお答えください。

※ ノンコンタクトタイム…休憩時間とは異なり、勤務時間中に子どもと関わらずに事務作業や打合せなどの業務をする時間のこと

＜業務負担の軽減に関する取組＞

- 1 書類業務の見直しなど、事務作業の負担軽減
- 2 業務へのICTの導入・活用
- 3 保育補助者の配置や保育支援者等の配置による負担軽減
- 4 業務負担軽減のための外部サービスの活用(清掃・洗濯・保育に係る事務のアウトソーシング、おむつのサブスクリプション等)

＜労働条件・環境に関する取組＞

- 5 給与水準の見直し
- 6 労働条件(労働時間、休日・休暇)の見直し
- 7 働き方の見直し(ノー残業デーの設定等)
- 8 残業の削減や、休暇取得促進
- 9 休憩室の整備や休憩時間の明確化等、休憩が取りやすい工夫
- 10 ノンコンタクトタイム(※)の導入
- 11 配置基準以上の人員配置

＜福利厚生に関する取組＞

- 12 家賃補助等の福利厚生
- 13 メンタルヘルス対策(研修実施、ストレスチェックの実施、カウンセリングの提供等)
- 14 職場や業務に関する、外部相談窓口の活用や自園での相談体制整備

＜多様な働き方の実現に関する取組＞

- 15 多様なシフト(勤務形態)の運用
- 16 子育てや介護等との両立支援制度の導入
- 17 キャリアパスの明確化

＜職場の雰囲気づくりに関する取組、その他＞

- 18 職員向けに施設の運営等の意見や満足度を聞く調査の実施
- 19 ハラスメントに関する研修の実施(管理職向け・全職員向け)
- 20 職員同士のコミュニケーションを円滑にするような工夫(対話の機会の重視、親睦会等の実施、コミュニケーションスペースの確保等)
- 21 その他( )
- 22 特になし

## VIII. 就業継続意向・キャリア展望について

- 問2で「2.副施設長・副所長級」～「7.保育士」と回答した方に伺います。

問57. 現在の職場で働き続けるうえで、施設長や主任保育士、専門リーダーなどの役職に今後就きたいと思いませんか。現在、役職に就いている場合は、現在の役職よりも組織上で上位の役職(専門リーダー⇒主任保育士など)に就きたいと考えていますか。(1つ選択)

- |       |   |
|-------|---|
| 1 はい  | 3 役職に就くことが期待できない、あるいは今の役職よりは上がれない管理区分・職種である |
| 2 いいえ |   |

● 問 57 で「1. はい」と回答した方にお聞きします。

問58. 役職(上位の役職)に今後就きたいと思う理由をお聞かせください。施設長・所長級の方は、現在の役職に就いた理由をお聞かせください。(最大3つまで選択可)

- 1 上位の役職の仕事内容(マネジメント)に興味ややりがいを感じるため
- 2 責任・権限のある仕事がしたいため
- 3 より広い裁量をもって働きたいため
- 4 自身の知識や経験で、職場に貢献したいと思ったため
- 5 尊敬されるような仕事がしたいため
- 6 年齢や経験相応の役職を目指すのは当然だと考えたため
- 7 より高い収入が得られるため
- 8 上司・先輩から仕事を評価されたため
- 9 目標となる上司や先輩がいたため
- 10 上司・先輩から説得や励ましを受けたため
- 11 その他( )

● 問 2 で「2.副施設長・副所長級」～「7.保育士」もしくは「1.施設長・所長級」かつ問 4 で「2.保育士向け調査」と回答した方に伺います。

問59. 今後の就業継続意向について、あなたの考えにもっとも近いものをお答えください。(1つ選択)

- 1 今後も保育士として働き続けたい
- 2 今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい
- 3 今後は保育士を辞め、働くつもりはない

● 問 59 で「2.今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい」「3.今後は保育士を辞め、働くつもりはない」と回答した方にお聞きします。

問60. あなたが現在保育士としてお勤めされている保育所等を退職したいと考える理由は何ですか。(最大3つまで選択可)

- |                           |                           |
|---------------------------|---------------------------|
| 1 結婚のため                   | 15 保護者対応が大変なため            |
| 2 妊娠・出産のため                | 16 自分には適性がないと感じるため        |
| 3 家事・育児に専念するため            | 17 自身の昇格等のキャリアアップが見通せないため |
| 4 家族の事情(介護等)のため           | 18 保育士1人あたりの負担が大きいため      |
| 5 健康上の理由(体力含む)のため         | 19 業務量が多く大変なため            |
| 6 転居のため                   | 20 保育所等や法人の保育理念に共感できないため  |
| 7 希望の勤務日数・時間に合う働き方ができないため | 21 福利厚生が不十分なため            |
| 8 給与がよくないため               | 22 幼稚園での勤務を希望するため         |
| 9 休暇が十分に取れない、取りにくい        | 23 別の職業を希望するため(具体的に )     |
| 10 労働時間が長い                | 24 進学のため                  |
| 11 早朝や夕方以降の勤務があるため        | 25 家族等の意向                 |
| 12 土曜日や休日の勤務があるため         | 26 雇用期間満了のため              |
| 13 通勤が大変なため               | 27 その他( )                 |
| 14 職場内の人間関係・ハラスメント        |                           |

● 全員に伺います。

## IX. 勤務先の施設名について

問61. 貴施設名

※ 施設名のご回答は任意です。ヒアリング調査の依頼をさせていただく場合がございます。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

### 郵送にて返信される場合（インターネット上でご回答が難しい場合）

- 郵送にて返信される場合は、本調査票見本をお手元で印刷のうえ、紙面上にてご回答ください。
- 印刷は **A4 片面または A4 両面**にてお願いいたします。
- ご記入された回答票は**ホッチキス留め**をお願いいたします。
- ご回答後、以下の返信用ラベルを切り取って頂き、お手持ちの封筒に貼り付けてご返信ください。
  - ※ 大変恐れ入りますが、封筒はご回答者様にてご用意をお願いいたします。
  - ※ 下記の返信用ラベルは**長3の封筒サイズに適合**しますが、長3以外のサイズの封筒に貼り付けてお送りすることも可能です。
  - ※ 切手を貼る必要はございません。
- **ご投函期限：2026(令和8)年1月23日(金)まで**

### <返信用ラベル>

お手持ちの封筒に貼り付けてご返信ください。(切手を貼る必要はございません)

# 保育士等の意識及び業務負担軽減に関する調査研究

## 【潜在保育士等向けアンケート 調査票】

### ●フェイスシート

SC1. あなたの性別をお答えください。(1つ選択)

1 女性	2 男性	3 回答しない
------	------	---------

SC2. あなたの年齢をお答えください。(1つ選択)

1 19歳以下	5 35～39歳	9 55～59歳
2 20～24歳	6 40～44歳	10 60～64歳
3 25～29歳	7 45～49歳	11 65～69歳
4 30～34歳	8 50～54歳	12 70歳以上

SC3. あなたがお住いの都道府県・市区町村をお答えください。

※この質問は、市区町村別の統計データ(例:人口規模、就業率、等)と紐づけた分析を行うために必要な項目です。回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。

※ウェブアンケート上ではプルダウン(選択式)にてご回答いただけます。

( ) 都道府県	( ) 市区町村
----------	----------

SC4. あなたは保育士資格を保有していますか。(1つ選択)

1 保有している	2 保有していない
----------	-----------

▶2の場合は、対象外のためアンケートはこちらで終了。

SC4で「1」と回答した方(保育士資格を有する方)に伺います。

SC5. あなたの現在の就業状況(自営・パートを含む)をお答えください。

※現在、休職中の方(産休・育休含む)は、「働いている」としてお答えください。(1つ選択)

※保育士資格と幼稚園教諭免許状の両方をお持ちで、

- ・(幼保連携型認定こども園等で)保育教諭として働いている、もしくは働いた経験がある場合には「保育士」
- ・(幼稚園で)幼稚園教諭として働いている、もしくは過去に働いた経験がある場合には「保育士以外の職種」としてお答えください。

1 現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には、保育士として働いた経験がある
2 現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも、保育士として働いた経験はない
3 現在、働いていないが、過去には、保育士として働いた経験がある
4 現在、働いていないが、過去、保育士以外の職種で働いた経験がある
5 現在、働いておらず、過去にも、職種問わず働いた経験はない
6 現在、保育士として働いている

▶6の場合は、対象外のためアンケートはこちらで終了。

SC5で「1」「2」と回答した方(保育士資格を有する方)に伺います。

SC6. 現在のお仕事の雇用形態を教えてください。(1つ選択)

※ スポットワーカーとは、短時間かつ単発の就労を内容とする雇用契約の下で働く者。主にスマートフォンのアプリを経由してマッチングが行われる者をいいます。

※ 会計年度任用職員は、有期契約職員に含めてお答えください。

1 正規職員	3 有期契約職員(パートタイム)	5 スポットワーカー(※)
2 有期契約職員(フルタイム)	4 派遣社員	6 その他( )

SC5 で「1」「2」と回答した方に伺います。

SC7. 現在のお仕事についてお答えください。(1つ選択)

- |                    |   |
|--------------------|---|
| 1 幼稚園教諭            | 8 保育士・教員以外の福祉・教育関係の専門職(社会福祉士、<br>スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等) |
| 2 小学校教諭            | 9 保育士・教員及び8以外の公務員   |
| 3 その他教諭            | 10 一般企業や団体(保育や子どもに関連する企業・団体)                                |
| 4 子育て支援員           | 11 一般企業や団体(10以外の企業・団体)                                      |
| 5 保育補助者            | 12 その他子どもに関わる職業( )  |
| 6 放課後児童支援員(補助員を含む) | 13 上記のいずれもあてはまらない   |
| 7 子ども向けの塾や習い事の講師   |   |

## I. あなたご自身について

問1. 婚姻状況について伺います。(1つ選択)

- |         |         |
|---------|---------|
| 1 配偶者あり | 2 配偶者なし |
|---------|---------|

問2. お子さんはいらっしゃいますか。お子さんがいらっしゃる方は、人数と一番下のお子さんの年齢をお答えください。

(1つ選択)

- |                    |           |
|--------------------|-----------|
| 1 こどもがいる           | 2 こどもはいない |
| ⇒ お子さんの人数 ( )人     |           |
| ⇒ 一番下のお子さんの年齢 ( )歳 |           |

問3. 現在、同居、別居を問わず、あなたの介護が必要な家族はいらっしゃいますか。(1つ選択)

※介護対象者は、親、義理の親、配偶者・パートナー、子ども、その他親族など、家族・親族の対象は問いません。

※介護とは、日常生活における入浴・着替え・トイレ・移動・食事などの際に何らかの手助けをすることを指します。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1 介護が必要な家族がいる | 2 介護が必要な家族はいない |
|---------------|----------------|

問4. あなたの保育士資格の取得方法をお答えください。(1つ選択)

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 専門(専修)学校の保育士養成課程 | 4 その他養成施設等の保育士養成課程 |
| 2 短期大学の保育士養成課程     | 5 保育士試験            |
| 3 大学の保育士養成課程       |                    |

問5. 保育士資格以外に保有する資格をお答えください。(あてはまるものをすべて選択)

- |           |                       |
|-----------|-----------------------|
| 1 幼稚園教諭   | 7 公認心理師(臨床心理士)        |
| 2 小学校教諭   | 8 看護師                 |
| 3 中学校教諭   | 9 保健師                 |
| 4 高等学校教諭  | 10 その他福祉や子どもに関する資格( ) |
| 5 社会福祉士   | 11 上記のうち保有する資格はない     |
| 6 精神保健福祉士 |                       |

◆ここからは、過去に保育士として働いていた方(SC5で、「1」「3」と回答した方)に伺います。

## II. 保育士として働いた経験や過去に勤務した施設について

問6. あなたは保育士として直近の施設で何年勤務されましたか。また、保育士として通算何年働かれましたか。(それぞれ1つ選択)

※ 勤務年数には、産休・育休等の休業期間も年数に含めてお答えください。

		回答の方向 ↓	(1) の直近 施設で 勤務年数	(2) の保育士 通算 年数
1	1年未満		1	1
2	1年以上3年未満		2	2
3	3年以上5年未満		3	3
4	5年以上10年未満		4	4
5	10年以上15年未満		5	5
6	15年以上20年未満		6	6
7	20年以上		7	7

問7. 直近の施設に就職した際、主にどのようなところから得た情報を活用しましたか。(最大3つまで選択可)

※ 特に参考にしたものを3つまで選択してください。

1	保育士・保育所支援センター	6	民間職業紹介(求人情報誌・求人サイト等)
2	ハローワーク	7	お住まい又は就労を希望する保育所等の所在する市区町村
3	先輩や友人からの紹介	8	卒業した学校(指定保育士養成施設等)
4	就労を希望する保育所等のホームページ・チラシ・SNS等	9	就職説明会、ジョブフェア等
5	民間職業紹介(相談窓口)	10	その他( )
		11	覚えていない

問8. 保育士として働き始めてからこれまでに、保育士として転職した回数(保育士以外のお仕事への転職は除く)を教えてください。(1つ選択)

※ 保育士以外の職業から保育士への転職や、保育士から保育士以外への転職は、転職回数に含みません。

1	転職したことはない	3	2回	5	4回以上
2	1回	4	3回		

問9. あなたがこれまでに保育士として勤務した施設の箇所数を教えてください。同法人内や同自治体内で施設を異動した場合も箇所数に含めてお答えください。(1つ選択)

1	1か所	3	3か所	5	5か所
2	2か所	4	4か所	6	6か所以上10か所未満
				7	10か所以上

問10. あなたは保育士を辞めて何年になりますか。(1つ選択)

1	1年未満	3	3年以上5年未満	5	10年以上15年未満
2	1年以上3年未満	4	5年以上10年未満	6	15年以上20年未満
				7	20年以上

問11. あなたが保育士として職場を選ぶ際、どのようなことを重視していましたか。(最大3つまで選択可)

1 やりがい	14 働き方(シフト制、固定時間勤務、スポット的な勤務等)
2 保育理念への共感	15 勤務する時間帯
3 保育所等の法人の評判	16 勤務する曜日
4 職場の人間関係	17 雇用が安定している
5 保育所等の施設や設備充実度(新しさ等)	18 昇格制度(キャリアアップ)
6 保護者連絡等のシステムの導入がある	19 寮や家賃補助制度の有無
7 福利厚生の実度	20 休暇が多い・とりやすい
8 研修制度の実度	21 保育士1人あたりのこどもの数
9 勤務地(自宅から近い等)	22 保育所等や法人が職場環境向上に取り組んでいる
10 1週間当たりの勤務日数	23 その他( )
11 勤務時間	24 特にな
12 雇用形態	
13 給与	

※以下問 12～問 25 まで過去に保育士としてお勤めされていた施設について伺います。複数施設で勤務したご経験がある場合には、直近の施設についてお答えください。

問12. 過去、保育士としてお勤めされていた施設の運営主体を教えてください。(1つ選択)

1 市区町村	6 営利法人(会社)※株式会社を含む	10 その他の法人
2 社会福祉法人	7 特定非営利活動法人(NPO)	11 個人
3 医療法人	8 学校法人	12 その他( )
4 公益社団法人・公益財団法人	9 宗教法人	13 わからない
5 一般社団法人・一般財団法人		

問13. 過去、保育士としてお勤めされていた施設の種別を教えてください。(1つ選択)

1 認可保育所	8 病児保育事業	14 学童クラブ
2 幼保連携型認定こども園	9 ベビーシッター(居宅訪問型保育事業を含む)	15 児童養護施設
3 保育所型認定こども園	10 院内保育施設	16 乳児院
4 認証保育所	11 ベビーホテル	17 障害児入所施設・障害児通所支援事業
5 小規模保育事業所	12 企業主導型保育事業	18 その他(具体的に )
6 家庭的保育事業所	13 子育て広場	19 わからない
7 事業所内保育事業所		

問14. 過去、保育士としてお勤めされていた施設の所在地を教えてください。

※この質問は、市区町村別の統計データ(例:人口規模、就業率、等)と紐づけた分析を行うために必要な項目です。回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。

※ウェブアンケート上ではプルダウン(選択式)にてご回答いただきます。

( ) 都道府県	( ) 市区町村
----------	----------

問15. 過去、保育士としてお勤めされていた施設の未就学児の定員規模を教えてください。(1つ選択)

1 0人(未就学児は受け入れていなかった)	3 20～40人	5 61～90人	7 121～150人
2 1～19人	4 41～60人	6 91～120人	8 151人以上
			9 わからない

問16. 過去、保育士としてお勤めされていた施設での雇用形態を教えてください。(1つ選択)

※ スポットワーカーとは、短時間かつ単発の就労を内容とする雇用契約の下で働く者。主にスマートフォンのアプリを經由してマッチングが行われる者をいいます。

※ 会計年度任用職員は、有期契約職員に含めてお答えください。

1 正規職員	3 有期契約職員(パートタイム)	5 スポットワーカー(※)
2 有期契約職員(フルタイム)	4 派遣社員	6 その他( )

問17. 過去、保育士としてお勤めされていた施設での役職を教えてください。(1つ選択)

1 施設長・所長級	4 副主任保育士	7 保育士(役職なし)
2 副施設長・副所長級	5 専門リーダー	8 保育補助者
3 主任保育士・主幹保育教諭級	6 分野別リーダー(乳児保育リーダー、食育リーダー等)	9 その他( )

### III. 離職・働いていない理由や退職した施設の労働環境について

問18. あなたが保育士として就業された保育所等を退職した理由を教えてください。(最大3つまで選択可)

1 結婚のため	15 保護者対応が大変だったため
2 妊娠・出産のため	16 自分には適性がないと感じたため
3 家事・育児に専念するため	17 自身の昇格等のキャリアアップが見通せなかったため
4 家族の事情(介護等)のため	18 保育士1人あたりの負担が大きいため
5 健康上の理由(体力含む)のため	19 業務量が多く大変だったため
6 転居のため	20 保育所等や法人の保育理念に共感できなかったため
7 希望の勤務日数・時間に合う働き方ができなかったため	21 福利厚生が不十分なため
8 給与がよくなかったため	22 幼稚園での勤務を希望したため
9 休暇が十分に取れない、取りにくかったため	23 別の職業を希望したため(具体的に )
10 労働時間が長かったため	24 進学のため
11 早朝や夕方以降の勤務があるため	25 家族等の意向
12 土曜日や休日の勤務があるため	26 雇用期間満了のため
13 通勤が大変だったため	27 その他( )
14 職場内の人間関係・ハラスメント	

問19. 保育所等を退職した時の月給を教えてください。(1つ選択)

※ 手当等も含めて、税金や社会保険料が引かれる前の総支給額をお答えください。なお、賞与は含みません。

1 10万円未満	4 20～25万円未満	7 35～40万円未満
2 10～15万円未満	5 25～30万円未満	8 40万円以上
3 15～20万円未満	6 30～35万円未満	9 覚えていない

問20. 保育所等を退職した時の年間賞与を教えてください。(1つ選択)

※ 手当等も含めて、税金や社会保険料が引かれる前の総支給額をお答えください。なお、年間に複数回賞与が支給される場合は合計額をお答えください。

1 20万円未満	5 80～100万円未満	9 160～180万円未満
2 20～40万円未満	6 100～120万円未満	10 180～200万円未満
3 40～60万円未満	7 120～140万円未満	11 200万円以上
4 60～80万円未満	8 140～160万円未満	12 覚えていない

問21. 保育所等を退職した際の 1 日あたりの平均的な勤務時間は何時間でしたか。覚えている範囲での回答でかまいません。(1つ選択)

※ 残業時間も含めた時間をお答えください。変則勤務だった方は主たる勤務パターンでお答えください。

1	2時間以下	5	8時間を超えて10時間以下
2	2時間を超えて4時間以下	6	10時間を超えて12時間以下
3	4時間を超えて6時間以下	7	12時間超
4	6時間を超えて8時間以下	8	覚えていない

問22. 過去に勤務していた保育所等では、取得可能な年次有給休暇のうち、年間にどの程度取得できましたか。覚えている範囲での回答でかまいません。(1つ選択)

1	すべて取得していた	3	5割程度取得していた	5	ほぼ取得できなかった
2	8割程度取得していた	4	半分未満しか取得できなかった	6	覚えていない

問23. 過去に勤務していた保育所等では、1日の勤務の中で、昼休憩等、休憩時間は平均でどの程度取れていましたか。覚えている範囲での回答でかまいません。(1つ選択)

1	45分以上	3	20分以上30分未満	6	勤務時間が短いため休憩はなかった
2	30分以上45分未満	4	10分以上20分未満	7	覚えていない
		5	10分未満		

問24. 過去に勤務していた保育所等で働く中で、負担感が大きかった業務は何でしたか。(最大3つまで選択可)

1	保護者への対応	8	クラス担任を持つこと
2	地域への対応	9	衛生管理・感染症対策
3	食物アレルギーへの対応	10	安全確保・事故対応
4	離乳食への対応	11	書類作業や事務作業
5	障害児保育	12	地域の子育て支援
6	発達に課題のあるこどもへの対応	13	ICT機器の活用
7	保育士1人でみるこどもの数の多さ	14	その他( )

問25. 過去に勤務していた保育所等において、職場環境を改善するための以下のような取組は実施されていましたか。(あてはまるものすべて)

※1 保育支援者…保育士資格を持たなくても可能な業務(清掃や見守り等)を行い、保育士をサポートする職員

※2 ノンコンタクトタイム…休憩時間とは異なり、勤務時間中にこどもと関わらずに事務作業や打合せなどの業務をする時間のこと

<b>&lt;業務負担の軽減に関する取組&gt;</b>		<b>&lt;多様な働き方の実現に関する取組&gt;</b>	
1	書類業務の見直しなど、事務作業の負担軽減	15	多様なシフト(勤務形態)の運用
2	業務へのICTの導入・活用	16	子育てや介護等との両立支援制度の導入
3	保育補助者の配置や保育支援者(※1)等の配置による負担軽減	17	キャリアパスの明確化
4	業務負担軽減のための外部サービスの活用(清掃・洗濯・保育に係る事務のアウトソーシング、おむつのサブスクリプション等)	<b>&lt;職場の雰囲気づくりに関する取組、その他&gt;</b>	
<b>&lt;労働条件・環境に関する取組&gt;</b>		18	職員向けに施設の運営等の意見や満足度を聞く調査の実施
5	給与水準の見直し	19	ハラスメントに関する研修の実施(管理職向け・全職員向け)
6	労働条件(労働時間、休日・休暇)の見直し	20	職員同士のコミュニケーションを円滑にするような工夫(対話の機会の重視、親睦会等の実施、コミュニケーションスペースの確保等)
7	働き方の見直し(ノー残業デーの設定等)	21	その他( )
8	残業の削減や、休暇取得促進	22	特になかった
9	休憩室の整備や休憩時間の明確化等、休憩が取りやすい工夫	23	覚えていない
10	ノンコンタクトタイム(※2)の導入		
11	配置基準以上の人員配置		
<b>&lt;福利厚生に関する取組&gt;</b>			
12	家賃補助等の福利厚生		
13	メンタルヘルス対策(研修実施、ストレスチェックの実施、カウンセリングの提供等)		
14	職場や業務に関する、外部相談窓口の活用や自園での相談体制整備		

問26. (これまでに保育士として働いたことのない方(SC 5で、「2」「4」「5」と回答した方))あなたが保育士として働かなかった理由は何ですか。(最大3つまで選択可)

1	収入を得る必要がなかったため	13	自分には適性がないと感じたため
2	家事・育児に専念したかったため	14	自身の昇格等のキャリアアップが見通せないと感じたため
3	家族の事情(介護等)のため	15	保育士1人あたりの負担が大きと感じたため
4	就職活動をしたが、採用されなかったため	16	業務量が多く大変だと感じたため
5	希望の勤務日数・時間と合致する求人がなかったため	17	保育所等や法人の保育理念に共感できるものがなかったため
6	給与がよくないため	18	幼稚園での勤務を希望したため
7	休暇が取りづらいと感じたため	19	別の職業を希望したため(具体的に )
8	早朝や夕方以降の勤務も必要のため	20	資格取得が目的で、はじめから保育士として働く意思はなかったため
9	土曜日や休日の勤務があるため	21	家族等の意向のため
10	通勤圏内に保育士として働ける施設がなかったため	22	その他( )
11	そもそも保育士の求人の情報がなかったため		
12	保護者対応が大変だと感じたため		

◆ここからは、全ての方に伺います。

#### IV. 今後保育士として働く際に求める条件等について

問27. あなたが今後保育士として働く場合に重視することを教えてください。(最大3つまで選択可)

- |                       |                               |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1 やりがい                | 14 働き方(シフト制、固定時間勤務、スポット的な勤務等) |
| 2 保育理念への共感            | 15 勤務する時間帯                    |
| 3 保育所等の法人の評判          | 16 勤務する曜日                     |
| 4 職場の人間関係             | 17 雇用が安定している                  |
| 5 保育所等の施設や設備充実度(新しさ等) | 18 昇格制度(キャリアアップ)              |
| 6 保護者連絡等のシステムの導入がある   | 19 寮や家賃補助制度の有無                |
| 7 福利厚生の実充実度           | 20 休暇が多い・とりやすい                |
| 8 研修制度の実充実度           | 21 保育士1人あたりのこどもの数             |
| 9 勤務地(自宅から近い等)        | 22 保育所等や法人が職場環境向上に取り組んでいる     |
| 10 1週間当たりの勤務日数        | 23 その他( )                     |
| 11 勤務時間               | 24 特にない                       |
| 12 雇用形態               |                               |
| 13 給与                 |                               |

問28. あなたが今後保育士として働く場合、以下の項目の希望について教えてください。

①平均的な1週間の勤務日数(もっともあてはまるもの1つ選択)

- |         |         |
|---------|---------|
| 1 週1日以下 | 4 週4日   |
| 2 週2日   | 5 週5日   |
| 3 週3日   | 6 週6日以上 |

②平均的な1日の勤務時間(もっともあてはまるもの1つ選択)

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 2時間以下        | 5 8時間を超えて10時間以下  |
| 2 2時間を超えて4時間以下 | 6 10時間を超えて12時間以下 |
| 3 4時間を超えて6時間以下 | 7 12時間超          |
| 4 6時間を超えて8時間以下 |                  |

③雇用形態(もっともあてはまるもの1つ選択)

※ スポットワーカーとは、短時間かつ単発の就労を内容とする雇用契約の下で働く者。主にスマートフォンのアプリを經由してマッチングが行われる者をいいます。

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1 正規職員           | 4 派遣社員        |
| 2 有期契約職員(フルタイム)  | 5 スポットワーカー(※) |
| 3 有期契約職員(パートタイム) | 6 その他( )      |

④月給(もっともあてはまるもの1つ選択)

※ 手当等も含めて、税金や社会保険料が引かれる前の総支給額をお答えください。なお、賞与は含みません。

- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 10万円未満    | 4 20～25万円未満 | 7 35～40万円未満 |
| 2 10～15万円未満 | 5 25～30万円未満 | 8 40万円以上    |
| 3 15～20万円未満 | 6 30～35万円未満 |             |

⑤年間賞与(もっともあてはまるもの1つ選択)

※ 手当等も含めて、税金や社会保険料が引かれる前の総支給額をお答えください。

- |             |               |                |
|-------------|---------------|----------------|
| 1 20万円未満    | 5 80～100万円未満  | 9 160～180万円未満  |
| 2 20～40万円未満 | 6 100～120万円未満 | 10 180～200万円未満 |
| 3 40～60万円未満 | 7 120～140万円未満 | 11 200万円以上     |
| 4 60～80万円未満 | 8 140～160万円未満 |                |

⑥働き方(もつともあてはまるもの1つ選択)

- |                                |                        |
|--------------------------------|------------------------|
| 1 シフト制(出勤曜日や勤務時間が固定されていない勤務形態) | 3 スポットの勤務(短時間かつ単発での勤務) |
| 2 固定時間勤務(出勤曜日や勤務時間が決まっている勤務形態) |                        |

⑦働きたい時間帯(あてはまるものすべて選択)

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1 ~9時(主に早朝保育の時間帯) | 5 16時~18時          |
| 2 9時~12時          | 6 18時~(主に延長保育の時間帯) |
| 3 12時~14時         | 7 時間帯の希望は特にない      |
| 4 14時~16時         |                    |

⑧働きたい曜日(あてはまるものをすべて選択)

- |       |              |
|-------|--------------|
| 1 平日  | 3 日曜日・祝日     |
| 2 土曜日 | 4 曜日の希望は特にない |

問29. あなたは、今後保育士として働く意向はありますか。(1つ選択)

- |                                     |                 |
|-------------------------------------|-----------------|
| 1 雇用の条件が合えば働きたい                     | 3 保育士として働く予定はない |
| 2 自分や周りの環境が変化すれば働きたい(子育てや介護が落ち着くなど) |                 |

問30. (保育士として働く意向のある方(問29で、「1」「2」と回答した方))保育士として働き始めたい時期はいつですか。

(1つ選択)

- |         |         |
|---------|---------|
| 1 すぐにでも | 4 2年以上先 |
| 2 半年以内  | 5 わからない |
| 3 1年程度先 |         |

問31. 保育士への就職意向を高めるために、求職者向けにあるとよい取組を教えてください。(最大3つまで選択可)

- |  |                              |
|--|------------------------------|
| 1 未経験者やブランクのある方を対象とした就職説明会                           | 7 実際に保育現場で働いている方と話せる機会       |
| 2 求職者のニーズに合わせて保育所等とマッチングしてくれる就職相談窓口                  | 8 未経験者同士、ブランクのある方同士で話せる機会    |
| 3 求職者のニーズに合わせて保育所等の見学や業務体験を調整(必要であれば同行)してくれるコーディネーター | 9 未経験者やブランクのある方も応募可能な求人情報の一覧 |
| 4 保育業務の体験会   | 10 未経験者やブランクのある方向けの実務的な研修    |
| 5 保育現場の見学会   | 11 その他( )                    |
| 6 未経験者やブランクのある方でも受け入れ可能な保育所等でのアルバイトやボランティアの情報の一覧     | 12 特にない                      |

問32. (保育士として働く予定はない方(問 29 で「3」と回答した方))あなたが保育士として働く意向がない理由を教えてください。(最大3つまで選択可)

1 現在の仕事を続けたいため	12 自分には適性がないと感じるため
2 収入を得る必要がないため	13 自身の昇格等のキャリアアップが見通せないと感じるため
3 家事・育児に専念したいため	14 保育士1人あたりの負担が大きいため
4 家族の事情(介護等)のため	15 業務量が多く大変だと感じるため
5 希望の勤務日数・時間に合う働き方ができないため	16 保育所等や法人の保育理念に共感できるものがないため
6 給与がよくないため	17 (現在幼稚園勤務ではないが)幼稚園での勤務を希望するため
7 休暇が取りづらいと感じるため	18 別の職業を希望しているため(具体的に )
8 早朝や夕方以降の勤務も必要のため	19 資格取得が目的で、はじめから保育士として働く意思はないため
9 土曜日や休日の勤務があるため	20 家族等の意向
10 通勤圏内に保育士として働ける施設がないため	21 その他( )
11 保護者対応が大変だと感じるため	

◆ここからは、保育士として働く意向のある方(問 29 で「1」「2」と回答した方)に伺います。

#### V. 今後保育士として働く際に求める支援や取組について

問33. 今後、保育士として就職するにあたり不安なことはどのようなことですか。(最大3つまで選択可)

1 保育士を辞めてからのブランクが長いこと	11 保育士1人でみるこどもの数の多さ
2 保育士経験が浅いこと	12 クラス担任を持つこと
3 近年の保育分野の動向を知らないこと	13 衛生管理・感染症対策
4 保育の知識やスキルがないこと	14 安全確保・事故対応
5 保護者への対応	15 書類作業や事務作業
6 地域への対応	16 地域の子育て支援
7 食物アレルギーへの対応	17 ICT 機器の活用
8 離乳食への対応	18 その他( )
9 障害児保育	19 特になし
10 発達に課題のあるこどもへの対応	

問34. 今後、保育士として就職するにあたり、入職前後にあるとよい支援を教えてください。(最大3つまで選択可)

1 アルバイト等で入職前に実際の職場を知る機会	5 クラス担任以外から担当するなど徐々に業務経験を積むことができる配置の工夫
2 入職前に保育の知識やスキルを学べる(学び直す)機会	6 年代の近い職員からのフォロー体制
3 入職前にピアノ等の実技を学べる(学び直す)機会	7 入職後に初任者向けの研修等を受けられる機会
4 入職前に保育現場における ICT 機器の使い方を学べる機会	8 その他( )
	9 特になし

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。



令和7年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業  
保育士等の意識及び業務負担軽減に関する調査研究  
報告書

---

令和8年3月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社